静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第138集

大岡元長窪線関連遺跡Ⅰ

平成11～14年度(主)大岡元長窪線第二東名アクセス道路
整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

桜畑上遺跡
中峯遺跡
柏窪B遺跡

2003

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第138集

大岡元長窪線関連遺跡Ⅰ

平成11～14年度（主）大岡元長窪線第二東名アクセス道路
整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

桜畑上遺跡
中峯遺跡
柏窪B遺跡

２００３

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所

序

大岡元長窪線に関連する遺跡群は、昭和40年代に「上長窪遺跡群」として調査が行なわれた地域にある。その当時は静かな畑作地帯で、今日のような大規模な開発が行なわれ、大きく地域が変貌をとげることを誰が想像したであろうか。

遺跡の非常に多い地域である愛鷹山は、近年の開発によって発掘調査が進められ、旧石器時代、縄文時代を中心に多くの成果があげられている。今回の調査も第二東名高速道路長泉インターへのアクセス道路整備工事の一環として、静岡県沼津土木事務所の委託を受けて平成11年度より確認調査が開始され、平成12年度、13年度にわたって本調査が行なわれた。

調査対象地周辺は、戦前から多くの遺跡の存在が確認されており、これまでも部分的に調査が行なわれて来た。その成果から、尾根上のほぼ全域にわたって旧石器時代から縄文時代の遺跡が分布するであろうことが推定されている。今回はこの地区の大規模な開発の県事業部分についての報告である。

桜畑上遺跡からは旧石器時代の石器ブロックが検出され、またひとつ愛鷹山の旧石器時代を解明する上で、良好な資料が加わったと言える。以前の調査で縄文時代早期末から前期初頭の土器が出土していた中峯遺跡においては、この時期の住居址が検出され、集落が存在したことが証明された。出土した土器もぜひ今後の研究に活かすべき資料であると思う。遺跡の範囲については不明瞭な部分が残っているが、今後、第二東名や東駿河湾環状道関連の調査成果の報告によって、この地域の各時代ごとの状況が解明されるであろう。

最後になったが、大岡元長窪線関連遺跡の現地調査ならびに本書の作成にあたって、静岡県沼津土木事務所をはじめ、多くの関係機関の援助、協力を得たことについて、厚く御礼申し上げる。また、この場をお借りして、広大な現地の調査、資料整理にあたった調査員、そして多くの作業員の皆様方の労をねぎらいたい。

平成15年３月

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所
所長　斎藤　忠

例　言

1　本書は静岡県駿東郡長泉町上長窪～元長窪に存する、桜畑上遺跡、中峯遺跡、柏窪B遺跡の発掘調査報告書である。

2　現地調査は「平成11～13年度(主)大岡元長窪線第二東名アクセス道路整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務」として、静岡県沼津土木事務所の委託を受け、静岡県教育委員会文化課指導のもと、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が行なった。確認調査を平成11年７月より10月まで実施し、本調査を平成12年６月より平成13年３月までと、平成13年６月より10月まで実施した。また、本調査と平行して確認調査を平成12年７月から10月までと、平成13年９月から10月まで実施した。

3　資料整理は平成13年10月より平成14年３月までと、平成14年６月から平成15年３月まで財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が行なった。

4　調査の体制は次のとおりである。

平成11年度（確認調査）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事　伊藤友雄

総務課長　杉木敏雄　　会計係長　大石真二

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長　及川　司　　調査研究二課長　遠藤喜和

調査研究員　望月由佳子

平成12年度（本調査・確認調査）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事　伊藤友雄

総務課長　杉木敏雄　　会計係長　大橋　薫

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長　及川　司　　調査研究二課長　篠原修二

調査研究員　望月由佳子　富田　孝

平成13年度（本調査・確認調査・資料整理）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事　桑田徳幸

総務課長　本杉昭一　　会計係長　大橋　薫

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長　栗野克己　及川　司　　調査研究三課長　飯塚晴夫

調査研究員　鈴木秀樹（本調査・確認調査）　　望月由佳子（本調査・確認調査・資料整理）

平成14年度（資料整理）

所長　斎藤　忠　　副所長　飯田英夫　　常務理事　桑田徳幸

総務課長　本杉昭一　　会計係長　大橋　薫

調査研究部長　山本昇平　　調査研究部次長　栗野克己　　同次長兼二課長　佐野五十三

調査研究員　望月由佳子

5　本書の執筆は静岡県埋蔵文化財調査研究所職員が行った。執筆分担は次のとおり。

第Ⅰ章～第Ⅴ章　望月由佳子

石材個体別分類表　森嶋富士夫

6　放射性炭素年代測定と炭化材の樹種同定は㈱パレオ・ラボに委託した。分析結果は第Ⅵ章に自然科学分析として掲載した。放射性炭素年代測定は㈱パレオ・ラボの山形秀樹氏、樹種同定は㈱パレオ・

ラボの植田弥生氏が原稿執筆を行った。

黒曜石の蛍光X線分析法による産地同定は沼津工業高等専門学校の望月明彦氏に委託した。分析の推定結果については一覧表を巻末に掲載した。

石器の実測については㈱シン技術コンサルに剝片石器の実測図の作成・トレースを委託した。

7　本書掲載の遺物写真は当研究所三島整理事務所写真室において調査研究員の望月が撮影した。

8　縄文土器については日本考古学協会会員の加藤賢二氏にご指導をいただいた。

9　本書の編集は、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所職員が行った。

10　調査に関するすべての記録は、静岡県教育委員会文化課が保管する。

凡　例

本書の記述・図示については、以下の基準に従っている。

1　実測図の縮尺は遺構分布図が1/200～1/500、遺構引出図が1/20～1/40、遺物は1/1～1/4を基本として作成した。これ以外の縮尺も遺物の大きさにより適宜使用し、スケールを図中に示した。

2　使用した測地系は日本測地系（改正前）である。方位は、全て方眼北であり、方位が記入されていない挿図については、本文の中に特に記述がない限り、図の上方が北（方眼北）である。

3　土層、遺物（土器）の色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に基づいている。

4　本書における遺構表記（略号）は次のとおりである。

SF　土坑　　SD　溝状遺構　　SY　集石　　SB　住居址・竪穴状遺構　　FP　焼土

SP　小穴　　PG　土器集中地点　RG　礫群　　PB　石器ブロック

SX　その他の遺構

5　石器の石材分類は(有)石器石材研究所の柴田徹氏と山本薫による石材標準資料を用いて、当研究所技術員森嶋富士夫が実施した。石材の略号は次ページの表のとおりである。

6　黒曜石の産地判別群は沼津工業高等専門学校の望月明彦氏の分類によるものである。判別群の略号は次ページの表のとおりである。

7　礫の観察にあたり、受熱・赤化の状況を次ページの表を用いた。旧石器一覧表には略号で赤化の状況を記入した。

石材略号一覧表

和　　名	略　　号	和　　名	略　　号
石英閃緑岩	QD	チャート（灰色）	Ch（Gy）
ガラス質黒色安山岩	GAn	結晶片岩	Sch
玄武岩	Ba	角閃石片岩	AmS
多孔質玄武岩	VBa	緑色片岩	GS
安山岩（斑晶）	An（Py）	硬質細粒凝灰岩	HFT
細粒安山岩	FAn	火山礫凝灰岩	LT
輝石安山岩	PAn	緑色凝灰岩	GT
多孔質安山岩	VAn	粘板岩	SI
軽石	Pm	珪質粘板岩	SSI
黒曜石	Ob	頁岩	Sh
流紋岩	Rhy	珪質頁岩（黒色）	SSh（Bl）
ヘキ玉（赤褐色）	RJa	珪質頁岩（灰色）	SSh（Gy）
ホルンフェルス	Hor	珪質頁岩（暗灰色）	SSh（DG）
メノウ	Ag	砂岩（細粒）	FSS
玉髄	Cha	砂岩（中粒）	MSS
水晶	RC	砂岩（粗粒）	CSS
石英	Qt	滑石	Ta
石英岩	Si	細粒斑レイ岩	FG

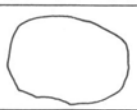
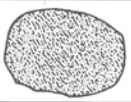
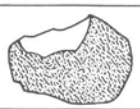
石材標準資料は(有)石器石材研究所の柴田徹氏と山本薫氏作成のものを使用

黒曜石産地略号一覧

都道府県	エ　リ　ア	判　別　群	記　号	備考（旧判別群）
長　　野	和　　田（WD）	鷹　山　群	WDTY	和田峠１群
		土屋橋西群	WDTN	和田峠４群
	諏　　訪	星ケ台群	SWHD	霧ケ峰系
	蓼　　科	冷　山　群	TSTY	蓼　科　系
神奈川	箱　　根	畑　宿　群	HNHJ	畑　　宿
静　　岡	天　　城	柏　峠　群	AGKT	柏　　峠
東　　京	神津島	恩馳島群	KZOB	神津島１群

黒曜石の判別群は望月明彦氏（国立沼津工業高等専門学校）の分類による。

礫の受熱・赤化状況分類図

略号	模　式　図	名　　称	特　　徴
A		非赤化完形礫	完形で、受熱していない礫
B		非赤化破損礫	完形ではなく、受熱していない礫
C		赤化完形礫	完形で全面もしくは部分的に受熱している礫
D		全面赤化破損礫	完形ではなく、割れ口も赤化している礫。
E		割れ面非赤化礫	表面は赤化しているが、割れ口は赤化していない礫。

礫石器実測図

	磨面
	敲打面
	磨りの範囲
	敲打の範囲

目　次

序
例言・凡例

第Ⅰ章　はじめに
第1節　位置と環境……1
1　地理的環境　2　歴史的環境　3　基本土層
第2節　調査に至る経過……8
1　過去における上長窪遺跡群の調査　2　今回の発掘調査
第3節　調査経過……10
1　平成11年度の確認調査　2　平成12年度の本調査・確認調査
3　平成13年度の本調査・確認調査
第4節　調査方法……15
1　現地調査　2　基礎整理作業　3　整理作業

第Ⅱ章　桜畑上遺跡の調査
第1節　桜畑上遺跡の概要……17
1　位置と地形　2　堆積状況
第2節　中世の遺構・遺物……19
1　土坑　2　溝状遺構　3　遺物
第3節　縄文時代の遺構……25
1　集石　2　土坑　3　焼土　4　小穴　5　竪穴状遺構
6　土器集中地点　7　その他の遺構
第4節　縄文時代の遺物……38
1　土器　2　石器
第5節　旧石器時代の遺構・遺物……64
1　YL層の遺構　2　YL層の遺物　3　BBⅠ層の遺構　4　BBⅠ層の遺物
5　NL層以下の遺構・遺物

第Ⅲ章　中峯遺跡の調査
第1節　中峯遺跡の概要……102
1　位置と地形　2　堆積状況　3　検出された遺構・遺物
第2節　中近世の遺構・遺物……104
1　土坑　2　溝状遺構　3　遺物　4　古代の遺物
第3節　縄文時代中期の遺構……109
1　土坑　2　焼土　3　炭化物の集中地点
第4節　縄文中期～後期の遺物……115
1　土器　2　石器　3　土製品

第５節　縄文時代早期末～前期初頭の遺構 ……178
　1　住居址　　2　集石　　3　陥穴　　4　焼土・炭化物の集中地点
第６節　縄文時代早期末～前期初頭の遺物 ……188
　1　土器　　2　石器
第７節　その他の縄文時代の遺構・遺 ……213
　1　草創期の遺物　　2　時期不明の遺構
第８節　旧石器時代の遺構・遺物 ……216
　1　YL層の遺物　　2　BBIII層の遺構・遺物　　3　SCIIIb－２層の遺構・遺物

第IV章　柏窪B遺跡の調査
第１節　柏窪B遺跡の概要 ……229
第２節　中世の遺構・遺物 ……229
　1　遺構　　2　遺物
第３節　縄文時代の遺構・遺物 ……233
　1　遺構　　2　遺物

第Ｖ章　まとめ ……247

第VI章　自然科学分析
第１節　放射性炭素年代測定　（パレオ・ラボ　山形秀樹） ……248
　1　はじめに　　2　試料と方法　　3　結果　　4　考察
第２節　放射性炭素年代測定試料の樹種同定　（パレオ・ラボ　植田弥生） ……251
　1　はじめに　　2　炭化材樹種同定の方法　　3　結果

旧石器時代遺物一覧表 ……253
石器個体別分類表 ……275
黒曜石製石器産地推定結果 ……283

写真図版
　桜畑上遺跡　図版１～30
　中峯遺跡　　図版31～80
　柏窪Ｂ遺跡　図版81～86
参考文献・調査協力者
報告書抄録

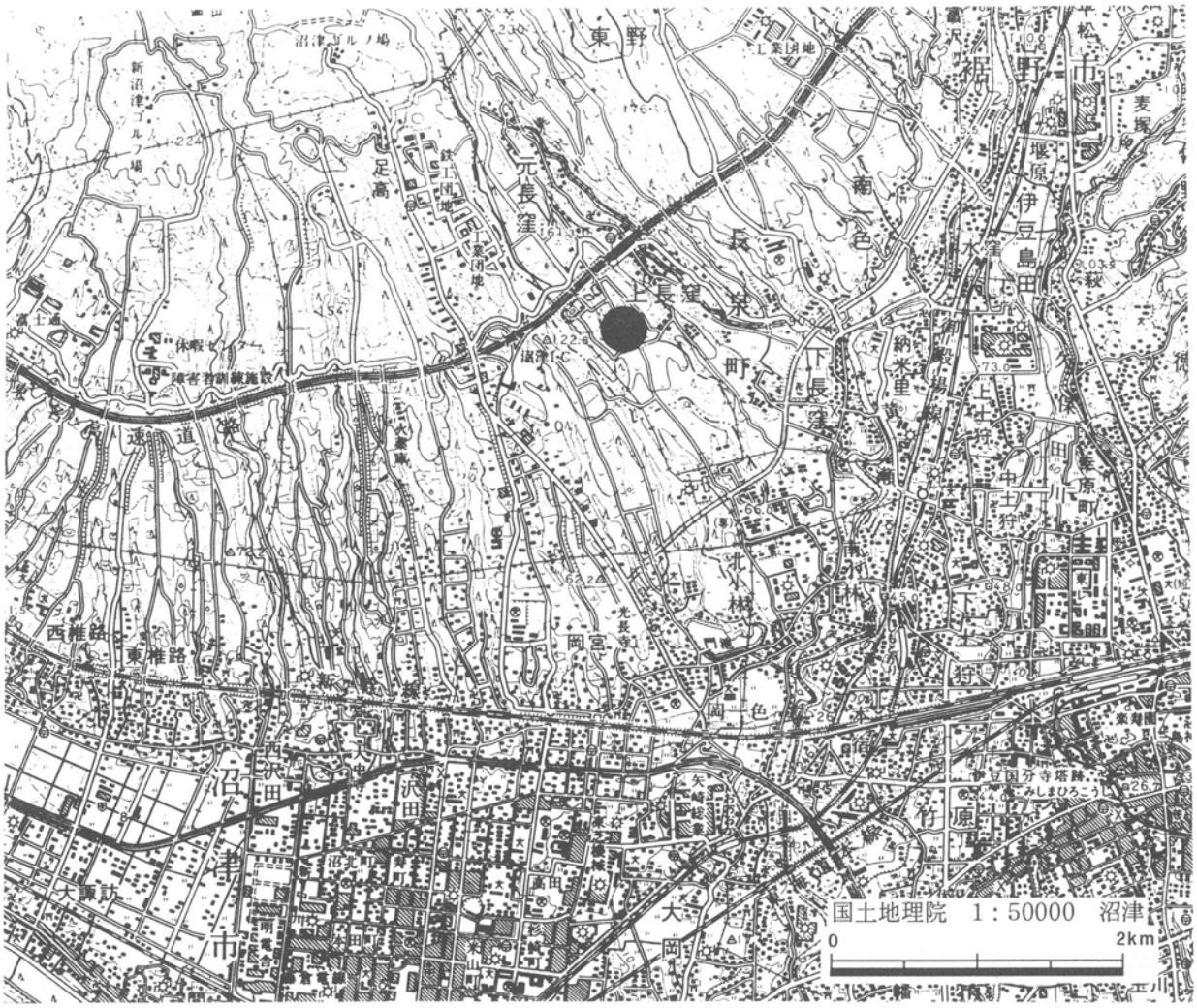
第Ⅰ章　はじめに

第1節　位置と環境

1　地理的環境

駿東郡長泉町は静岡県東部地域の経済的中心地である沼津市と三島市の中間にあり、南東部にある黄瀬川扇状地を中心とした平野は各種の産業の発達した市街地となっている。特に南部は富士山からの湧水が多く、これを利用した工業が盛んである。これに対して北西部は愛鷹山の山麓となり、豊富な自然を利用した畑作・牧畜の盛んな地域となっているが、近年は東名沼津ICに近く、国道246号バイパスの開通などにより交通が発達し、工業団地などの建設が進んできている。

大岡元長窪線は沼津市街地より長泉町の愛鷹山山麓を結ぶ道路であり、本書で扱う遺跡は愛鷹山東南の山麓の部分に位置し、標高は100mから135mの間である。長泉町の長窪地区を流れる桃沢川より西、沼津市の鳥谷から東にあたる地域は、愛鷹山山体の崩落の際に形成された扇形に広がる土砂の上に、富士山からの火山灰が厚く堆積して、緩斜面を形成している。本書で扱う遺跡群はこの緩斜面の東端にあたり、北西から南東に向かって緩やかに低くなる尾根上にある。両側に深い谷に挟まれた尾根は、間にいくつもの浅い谷や低い尾根といった小地形を持っている。



第1図　遺跡位置図

2　歴史的環境

愛鷹山麓に人間が生活した痕跡は約3万年前より確認されている。富士山に近いこの地域では富士山の噴火の盛んな時期には火山灰が厚く覆い、休止期にはこれが植物などによって腐植し土壌化するため、間に火山灰を挟む文化層が何層にもわたって検出される。これらの層位と遺物との関係で、愛鷹山麓における旧石器時代が現在では5期の段階に区分されている。特に1期や2期とする古い時期の遺物が出土する遺跡は少なかったが、近年の大規模開発によって調査が進み、資料が増加しつつある。

縄文時代の遺跡はほとんどの尾根に存在し、非常に数が多く、古くから知られる遺跡が多い。時期により遺跡数に変化があると言われる。草創期の土器や遺構を有する遺跡は確認されている例が少ないが、この時期に相当する石器類は愛鷹山麓で出土している。早期の土器が出土する遺跡は非常に多く愛鷹山東南麓全域にわたっている。前期には遺跡がやや少なくなり、中期になると再び増加する。中期には拠点となる集落が約5km前後に離れて存在し、周辺に小規模な集落が形成される傾向が指摘されている。当遺跡群周辺では中期前半の集落として北西に2km離れた上山地遺跡、中期後半では当遺跡群の中峯遺跡から多くの住居址が検出されている。後期になると遺跡数は減少し、晩期の遺跡は愛鷹山麓ではほとんど確認されなくなる。以後、弥生後期頃までは遺跡が非常に少なく、愛鷹山においては空白の時期となっている。

上長窪と呼ばれる当地域では、第2図に示すように尾根上全域に遺跡が分布している。同じ尾根の上部に旧石器時代から縄文時代中期にかけての中尾・イラウネ・野台遺跡、下部に縄文中期初頭の柏窪遺跡、中期後半の八反田後遺跡が隣接する。浅い谷を挟んで西側の尾根には旧石器時代から縄文時代前期の清水柳北遺跡、縄文中期から後期の丸尾遺跡、縄文中期の丸尾第III遺跡がある。

第1表　遺跡地名表

市町村	番号	遺跡名	市町村	番号	遺跡名	市町村	番号	遺跡名	市町村	番号	遺跡名
沼津市	112	築地鼻	沼津市	180	丸尾	長泉町	12	ハサマ	長泉町	43	茶木畑
沼津市	115	荒工	沼津市	181	丸尾第III	長泉町	13	中峯	長泉町	44	上野E
沼津市	117	中沢田円丸	沼津市	182	柏窪	長泉町	14	柏窪B	長泉町	45	上野A
沼津市	119	長塚	沼津市	183	柏葉尾	長泉町	15	八分平	長泉町	46	長久保城
沼津市	137	葛原沢第II	沼津市	184	池田	長泉町	16	八分平観音	長泉町	47	上野B
沼津市	139	葛原沢	沼津市	185	池田東	長泉町	17	富士石	長泉町	49	大久根
沼津市	141	拓南	沼津市	188	子ノ神	長泉町	18	東野	長泉町	51	山下
沼津市	142	土手上	沼津市	189	大谷津	長泉町	19	八分平B	長泉町	52	山岸上B
沼津市	143	葛原沢第IV	沼津市	190	山崎第II	長泉町	20	追平A	長泉町	53	山岸A
沼津市	144	西洞	沼津市	191	丸尾II	長泉町	21	東細尾B	長泉町	54	桜畑上
沼津市	145	中見代III	沼津市	192	山崎	長泉町	22	向田B	長泉町	55	柏窪A
沼津市	146	中見代II	沼津市	194	三明寺	長泉町	23	追平B	長泉町	56	桜畑下
沼津市	147	尾上広合	沼津市	A	拓南東	長泉町	24	八分平D	長泉町	57	八反田後
沼津市	148	二ツ洞	沼津市	B	平戸	長泉町	25	梅ノ木平	長泉町	58	八反田
沼津市	149	広合南	沼津市	C	尾上第一	長泉町	26	手代	長泉町	59	西願寺
沼津市	150	中見代I	沼津市	D	丸尾北	長泉町	29	大峰A	長泉町	60	平畦
沼津市	158	木戸上	長泉町	1	東細尾上	長泉町	30	上山地A	長泉町	62	陣場上A
沼津市	159	上松沢平	長泉町	2	東細尾	長泉町	31	上山地B	長泉町	63	池田
沼津市	161	東熊堂荒狗	長泉町	3	西細尾A	長泉町	32	大峰B	長泉町	65	尾尻
沼津市	163	大泉寺畑	長泉町	4	西細尾B	長泉町	33	南一色	長泉町	E	上野C
沼津市	168	宮久保	長泉町	5	東細尾A	長泉町	35	間渡	長泉町	F	(仮称) 細尾
沼津市	171	尾上イラウネ北	長泉町	6	向田A	長泉町	36	池田A	長泉町	G	八分平E
沼津市	172	清水柳北	長泉町	7	尾上イラウネ	長泉町	37	池田B	長泉町	I	西山
沼津市	175	土手頭	長泉町	8	上イラウネB	長泉町	38	鉄平	裾野市	59	中林
沼津市	177	清水柳	長泉町	9	中尾	長泉町	41	中見代	裾野市	60	平林II
沼津市	178	寺林	長泉町	10	イラウネ	長泉町	42	木戸	裾野市	H	平林I
沼津市	179	寺林南	長泉町	11	野台						

遺跡番号は静岡県文化財地図I・地名表I（1985）を使用。

第２図　愛鷹山東南麓遺跡分布図

第2表　愛鷹山東南麓遺跡時代別一覧

市町村	県番号	遺跡名	旧石器	BBVII	BBVI	BBV	BBIV	SCIIIb2	SCIIIb1	BBIII	BBII	NL	BBI	SCI	BB0	YL	縄文	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	備考
沼津	106	山ノ神道																	○					市誌下
沼津	108	尾上III橋															○		○					
沼津	110	大曲															○		○					
沼津	111	築地鼻北																	○					市教委調査1985
沼津	112	築地鼻	○																○					市教委調査1985
沼津	115	荒句（荒工）																	○					駿豆考古会調査
沼津	117	中沢田円丸														○			○					市教委調査1978
沼津	119	長塚	○																					
沼津	122	稲荷林	○																					
沼津	137	葛原沢第II	○																					
沼津	138	葛原沢第III	○																○					
沼津	139	葛原沢	○														○							
沼津	141	拓南																	○		○			
沼津	142	土手上			○	○	○			○		○	○	○	○	○			○	○	○			市教委調査1988、1995
沼津	143	葛原沢第IV						○	○	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○		市教委調査
沼津	144	西洞					○		○	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○		市教委調査1999
沼津	145	中見代III							○	○	○		○		○	○			○					市教委調査1988
沼津	146	中見代II		○						○		○	○		○	○			○	○	○			市教委調査1988
沼津	147	広合(尾上広合)											○			○			○	○	○			市教委調査1987、1990、1991
沼津	148	二ツ洞		○		○	○					○	○	○		○		○	○	○	○			市教委調査1991、1993
沼津	149	広合南														○			○		○			市教委調査1990
沼津	150	中見代I			○	○			○	○			○			○		○	○	○	○			市教委調査1989
沼津	158	木戸上	○																○					愛鷹縄文研、市教委調査1985
沼津	159	上松沢平								○	○					○			○					県埋文研調査
沼津	161	東熊堂荒狗	○																					
沼津	163	大泉寺畑																	○					市誌下
沼津	168	宮久保																			○			市誌下
沼津	171	尾上イラウネ北																	○	○				
沼津	172	清水柳北			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○		市教委調査1989、1990
沼津	175	土手頭															○			○				市教委調査
沼津	177	清水柳	○													○			○		○			市教委調査1966
沼津	178	寺林						○								○			○		○			市教委調査1994、県埋文研調査
沼津	179	寺林南									○		○	○					○		○			市教委調査1985
沼津	180	丸尾																			○	○		市誌下
沼津	181	丸尾第III																			○			市誌下
沼津	182	柏窪																			○			
沼津	183	柏葉尾								○						○			○		○			市教委調査1996
沼津	184	池田																	○					
沼津	185	池田東																	○					
沼津	188	子ノ神		○									○		○				○		○	○		市教委調査1982
沼津	189	大谷津							○							○			○	○	○	○		市教委調査1982、1990、1994
沼津	190	山崎第II																	○					市教委調査1982
沼津	191	丸尾II																	○		○	○		市教委調査1982
沼津	192	山崎																	○	○	○	○		市教委調査1976
沼津	194	三明寺				○		○	○	○	○	○			○	○					○	○		市誌下、市教委調査
沼津	A	拓南東											○			○		○	○	○	○			市教委調査1998
沼津	B	平戸																			○			
沼津	C	尾上第一																	○	○				市教委調査、県埋文確認調査
沼津	D	丸尾北																			○			県埋文確認調査
長泉	1	東細尾上																	○					郷土誌、町史上
長泉	2	東細尾																	○	○				郷土誌、町史上
長泉	3	西細尾A																	○	○				郷土誌、町史上
長泉	4	西細尾B																	○	○				町史上
長泉	5	東細尾A																	○	○				町史上
長泉	6	向田A						○		○		○				○			○	○	○	○		県埋文調査
長泉・沼津	7	尾上イラウネ									○		○		○	○		○	○	○	○			沼津市教委調査
長泉	8	上イラウネB																	○					町史上
長泉	9	中尾														○			○	○	○			町教委調査1986
長泉	10	イラウネ								○			○			○			○	○	○			町教委調査1986
長泉	11	野台									○	○				○			○	○	○			町教委調査1986
長泉	12	ハサマ																	○					
長泉	13	中峯														○			○	○	○	○		調査団1971、本書

市町村	県番号	遺跡名	旧石器	BBVII	BBVI	BBV	BBIV	SCIIIb2	SCIIIb1	BBIII	BBII	NL	BBI	SCI	BB0	YL	縄文	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	備考
長泉	14	柏窪B(柏窪西)	○																		○			調査団1971、本書
長泉	15	八分平																	○	○				町史上
長泉	16	八分平観音																	○		○			郷土誌、町史上
長泉	17	富士石				○				○	○		○			○			○	○	○	○		町教委調査1981、県埋文研調査
長泉	18	東野	○														○				○			県埋文研調査
長泉	19	八分平B														○			○	○				町教委調査1981
長泉	20	追平A																	○					町史上
長泉	21	東細尾B																	○	○				郷土誌、町史上
長泉	22	向田B																			○			
長泉	23	追平B																	○	○				郷土誌、町史上
長泉	24	八分平D																	○		○			
長泉	25	梅ノ木平(八分平C)																	○	○				郷土誌、町史上、S.39調査
長泉	26	手代																	○					町史上
長泉	29	大峰A																			○	○		
長泉	30	上山地A														○					○			町教委調査
長泉	31	上山地B													○	○					○			町教委調査1988、1990
長泉	32	大峰B																	○	○	○	○		町史上
長泉	33	南一色																			○			町史上
長泉	35	間渡																			○	○		郷土誌、町史上
長泉	36	池田A																			○	○		郷土誌、町史上
長泉	37	池田B										○			○	○			○	○	○	○		県埋文研調査2000
長泉	38	鉄平																	○		○			郷土誌、県埋文研調査2002
長泉	40	東野II橋下	○																○	○	○			町教委調査1985
長泉	41	中見代																	○	○				町教委調査1985
長泉	42	木戸																	○	○	○			町教委調査1985
長泉	43	茶木畑														○		○	○	○	○			県埋文研調査1985
長泉	44	上野E																	○	○	○	○		S.28調査
長泉	45	上野A														○			○	○	○	○		郷土誌、町教委調査1979
長泉	46	長久保城(城山)																	○		○	○	○	S.49調査
長泉	47	上野B														○			○	○	○	○	○	町史上
長泉	49	大久根	○																○		○			町史上
長泉	51	山下																	○					町史上
長泉	52	山岸上B																	○		○		○	郷土誌
長泉	53	山岸A																	○		○		○	町史上
長泉	54	桜畑上				○	○	○	○			○	○		○	○		○	○	○	○	○		調査団1971、県埋文研調査、本書
長泉	55	柏窪A																		○	○			調査団1971、町教委調査1992
長泉	56	桜畑下																	○	○	○	○		遺跡調査団1971
長泉	57	八反田後																			○			町教委調査1984
長泉	58	八反田																			○			町史上
長泉	59	西願寺								○	○	○							○	○	○	○		町教委調査1975、1976
長泉	60	平畦	○													○			○	○	○			町教委調査1976
長泉	61	陣場上B											○			○			○		○			町教委調査1976
長泉	62	陣場上A														○			○		○			町教委調査1976
長泉	63	池田																	○	○	○	○		郷土誌
長泉	65	尾尻	○															○	○					沼津商業高校調査
長泉	E	上野C																		○				郷土誌
長泉	F	細尾		○	○				○	○	○		○			○								県埋文研調査
長泉	G	八分平E																	○	○	○			県埋文研調査
長泉	I	西山											○			○		○	○	○	○			
裾野	40	茗荷沢															○							
裾野	59	中林															○							
裾野	60	平林I(富沢平林)														○	○		○		○			市史I
裾野	61	八反田															○							市史I
裾野	H	平林II																	○					市史I

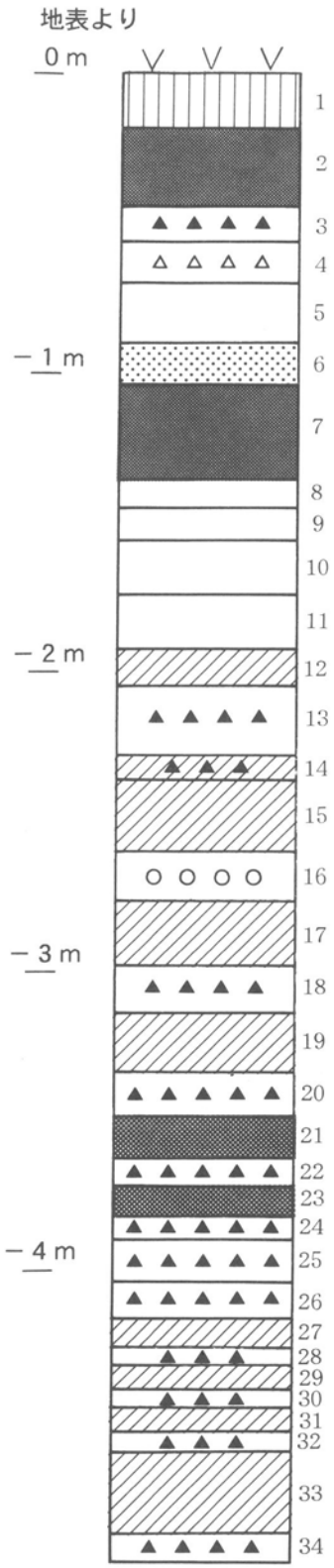
3　基本土層

愛鷹山は約70～80万年前に活動を開始し、10万年前頃には活動を終了した火山である。その後、北側に富士火山が噴火を開始し、周囲を厚い火山噴出物で厚く覆ったため、愛鷹山東南麓は愛鷹ロームと呼ばれる主として富士山起源の火山灰土が厚く堆積している。1967～1968年に愛鷹ローム団研による調査でその層序が研究され、含有される鉱物の違いなどにより、上部ローム・中部ローム・下部ロームと大別し、遺跡調査は主に遺物の含まれる上部ロームを中心に行なわれている。上部ローム層は下限が約3万年前で、関東地方の立川ローム層に相当するとされている。上部ロームの土層断面を観察すると、火山灰土の堆積とこれに植物が生えて腐蝕した黒色土が交互に縞のようになっており、旧石器時代の遺構・遺物は、この腐蝕した黒色土より検出されることが多い。上部ロームの黒色帯とスコリア層はそれぞれ順に番号が付されており、愛鷹山周辺の発掘調査の層名もこれに基づいて表記されている。

当地区は上部ロームが良好に堆積していたと思われるが、昭和45年の農地構造改善事業により地形が改変されており、各地区によって堆積の残存状況は大きく異なっていることが、確認調査によって判明している。各地区の状況は次の通りである。

第3表　各地区土層堆積状況

地区名	現地形	表土下の状況
1-1区	尾根の端部	中世の黒色土が残る。
1-2区	尾根の端部	暗褐色土層が残る
1-3区	尾根の端部	北側は暗褐色土層。南側は尾根が削平され、第Ⅰ黒色帯くらいまで削平されている。
1-4区	尾根状	休場層が残存する。
2-3区	浅い谷地形	浅い谷を埋め立てた盛土があり、その下に暗褐色土層が存在する。東側は休場層である。
3-1区	浅い谷地形	深い谷が入り、大量の産業廃棄物で埋め立てられている。
3-3区	尾根状	北側は新期スコリア層。南側は第Ⅰ黒色帯まで削平されている。
3-4区	尾根状	第Ⅲスコリア帯まで削平されている。
3-5区	尾根状	第Ⅲスコリア帯まで削平されている。
4-1区	尾根の端部	新期スコリア層が残存する。南側は厚い盛土である。
4-2区	平坦地	浅い谷が埋められる。新期スコリア層が残存する。
4-3区	平坦地	浅い谷が埋められる、攪乱が著しい。新期スコリア層が残存する。
4-4区	平坦地	埋没谷の中。谷の堆積有り。
4-5区	平坦地	切り盛りが著しく、中央に削平された尾根、両側に埋められた浅い埋没谷が確認された。
5-1区	尾根状	栗色土層が残存。一部、過去に発掘調査されている。
5-2区	平坦地	斜面を段状に削平したため、北側が大きく削平される。残りの良いところでニセローム層である。
5-3区	平坦地	中央に埋没谷が存在する。両側は削平され、谷部分に盛土を行なう。
5-4区	平坦地	西側に上部のロームが残存北側はBBⅠまで削平され、南側はFB層が残る。東側は尾根が削平され、中部ロームである。
5-7区	尾根状	休場層が残存する。
5-8区	尾根状	北側は暗褐色土層、南側は新期スコリア層が残存する。



第3図　標準土層図

層位	層　名	色	しまり	粘性	特　色
1	耕作土	10YR2/2 黒褐	なし	なし	畑の耕作土が多い。地区によっては盛土が厚い箇所がある。橙色スコリアを少量含む。
2	黒色土	10YR2/1 黒	なし	なし	中世の層と言われている。径1㎜以下の橙色スコリアと白色パミスをわずかに含む。
3	新期スコリア層 (NS)	10YR2/1 黒	有	なし	「マサ土」と呼ばれる固い層。径1～5㎜の橙色スコリアを多量に含む。
4	カワゴ平パミス包含層 (KGP)	10YR2/1 黒	なし	なし	白色のカワゴ平パミスを大量に含む。下部に径5～6㎜の褐色の仙石スコリアを少量含む。
5	暗褐色土 (AN)	10YR1.7/1 黒	弱	なし	径1㎜以下の赤色、橙色スコリアを少量含む。白色パミスを上部に少量含む。
6	栗色土層 (KU)	10YR2/3 黒褐	弱	弱	径3㎜以下の赤色、橙色スコリアをごくわずかに含む。場所により不明瞭である。
7	富士黒土層 (FB)	10YR2/2 黒褐	弱	弱	径1～3㎜の黄土色、橙色スコリアを含む。場所により発色がやや悪い。
8	漸移層 (ZN)	10YR3/3 暗褐	弱	有	スコリアはほとんどない。径2～5㎜の橙色スコリアをわずかに含む。
9	休場層上層 (YLU)	10YR4/4 褐	弱	有	下層より色調が白っぽく明るい。径2～3㎜の橙色スコリアをわずかに含む。炭化物を含む。
10	休場層中層 (YLM)	10YR4/4 褐	弱	有	径1～3㎜の橙色スコリアを含む。炭化物を含む。
11	休場層下層 (YLL)	10YR3/4 暗褐	弱	有	径5～8㎜の大粒の橙色スコリアを含む。
12	休場層下部黒色帯 (BB0)	10YR2/3 黒褐	弱	有	発色は悪く不明瞭で、ややハードローム化する。径3～8㎜の橙色、褐色スコリアを含む。
13	第Ⅰスコリア層 (SCⅠ)	7.5YR2/3 極暗褐	有	有	径1～8㎜の橙色、赤色、黄色、褐色、黒褐色スコリアが密集する。
14	第Ⅰ黒色帯上層 (BBⅠU)	10YR2/2 黒褐	有	有	土は黒色帯だが、5～10㎜の橙色、褐色スコリアを多量に含む。
15	第Ⅰ黒色帯 (BBⅠ)	10YR1.7/1 黒	有	有	発色が良好で、スコリアは比較的少ない。径1～5㎜の橙色、褐色スコリアを少量含む。
16	ニセローム層 (NL)	10YR3/4 暗褐	有	有	径1～7㎜の赤色、黒色、黄色、橙色、褐色スコリア密集。ATをパッチ状に含む。
17	第Ⅱ黒色帯 (BBⅡ)	10YR2/3 黒褐	有	有	発色はやや悪い。径1～4㎜の橙色スコリアを少量含む。
18	第Ⅱスコリア層 (SCⅡ)	10YR2/2 黒褐	有	有	黒色土に径2～7㎜の赤色、橙色、褐色のスコリアが多く含まれる。
19	第Ⅲ黒色帯 (BBⅢ)	10YR1.7/1 黒	有	有	発色が良好で、スコリアは少ない。径3～7㎜の橙色、褐色スコリアをわずかに含む。
20	第Ⅲスコリア帯s-1 (SCⅢs-1)	10YR2/3 黒褐	強	有	径2～4㎜の赤色、褐色、橙色、こげ茶色スコリアが密集し、強くしまっている。
21	第Ⅲスコリア帯b-1 (SCⅢb-1)	10YR2/2 黒褐	有	有	発色は比較的良好である。径1～5㎜赤色、橙色、褐色スコリアを含む。
22	第Ⅲスコリア帯s-2 (SCⅢs-2)	7.5YR3/4 暗褐	有	有	径1～3㎜の赤色、橙色、褐色スコリアが密集する。黄白色のパミスを含む。
23	第Ⅲスコリア帯b-2 (SCⅢb-2)	10YR2/2 黒褐	有	有	発色はやや悪い。径2～9㎜のやや粒の大きい褐色、橙色スコリアを含む。岩片を含む。
24	第Ⅲスコリア帯s-3 (SCⅢs-3)	7.5YR3/2 極暗褐	強	有	径2～5㎜の赤色、褐色、橙色スコリアが密集し、強くしまっている。岩片を含む。
25	第Ⅲスコリア帯s-4 (SCⅢs-4)	7.5YR3/2 極暗褐	強	有	上部がイオウ色、下部が鉄錆色で非常に固い。岩片を含む。
26	第Ⅲスコリア帯s-5 (SCⅢs-5)	7.5YR3/3 暗褐	有	有	径1～2㎜の赤色、褐色スコリアを大量に含む。
27	第Ⅳ黒色帯 (BBⅣ)	10YR2/2 黒褐	有	有	発色が良好で、径1～3㎜の橙色、褐色、灰茶色、赤色の細かいスコリアを多く含む。
28	スコリア層 (sc)	10YR2/3 黒褐	強	有	径2～7㎜の褐色、橙色、こげ茶色、灰色スコリアが密集。大粒のこげ茶スコリア目立つ。白色パミスを含む。
29	第Ⅴ黒色帯 (BBⅤ)	10YR2/2 黒褐	有	有	発色はやや良好。径3～5㎜の橙色、褐色、灰茶色スコリアを多く含む。
30	スコリア層 (sc)	10YR2/3 黒褐	有	有	径3～10㎜の赤色、橙色スコリアを多く含む。やや大粒のスコリアが目立つ。
31	第Ⅵ黒色帯 (BBⅥ)	10YR2/3 黒褐	有	有	発色はやや良好。径3～8㎜の褐色、赤色、灰色、橙色スコリアを含む。
32	スコリア層 (sc)	10YR2/2 黒褐	有	有	径3～5㎜の褐色、赤色、橙色、灰色、灰茶色スコリアを多く含む。
33	第Ⅶ黒色帯 (BBⅦ)	10YR2/2 黒褐	有	有	発色が良好でスコリアは少ない。径2～10㎜の赤色、橙色、褐色、灰茶色スコリアを含む。
34	中部ローム上面	10YR4/6 褐	有	有	明るい色調で、径1～5㎜の赤色、黒色スコリアを多く含む。

第2節　調査に至る経過

1　過去における上長窪遺跡群の調査

愛鷹山は静岡県内でも遺跡の多い地域として知られ、その中でも当遺跡群を含む東南麓は遺跡の特に多い地域として古くから知られている。上長窪地区は戦前に故江藤千萬樹氏が積極的に踏査を行い、柏窪遺跡で表採した中期初頭の縄文土器を「柏窪式土器」として学会に発表していたことでも有名である。その後も多くの研究者がこの地を踏査に訪れている。

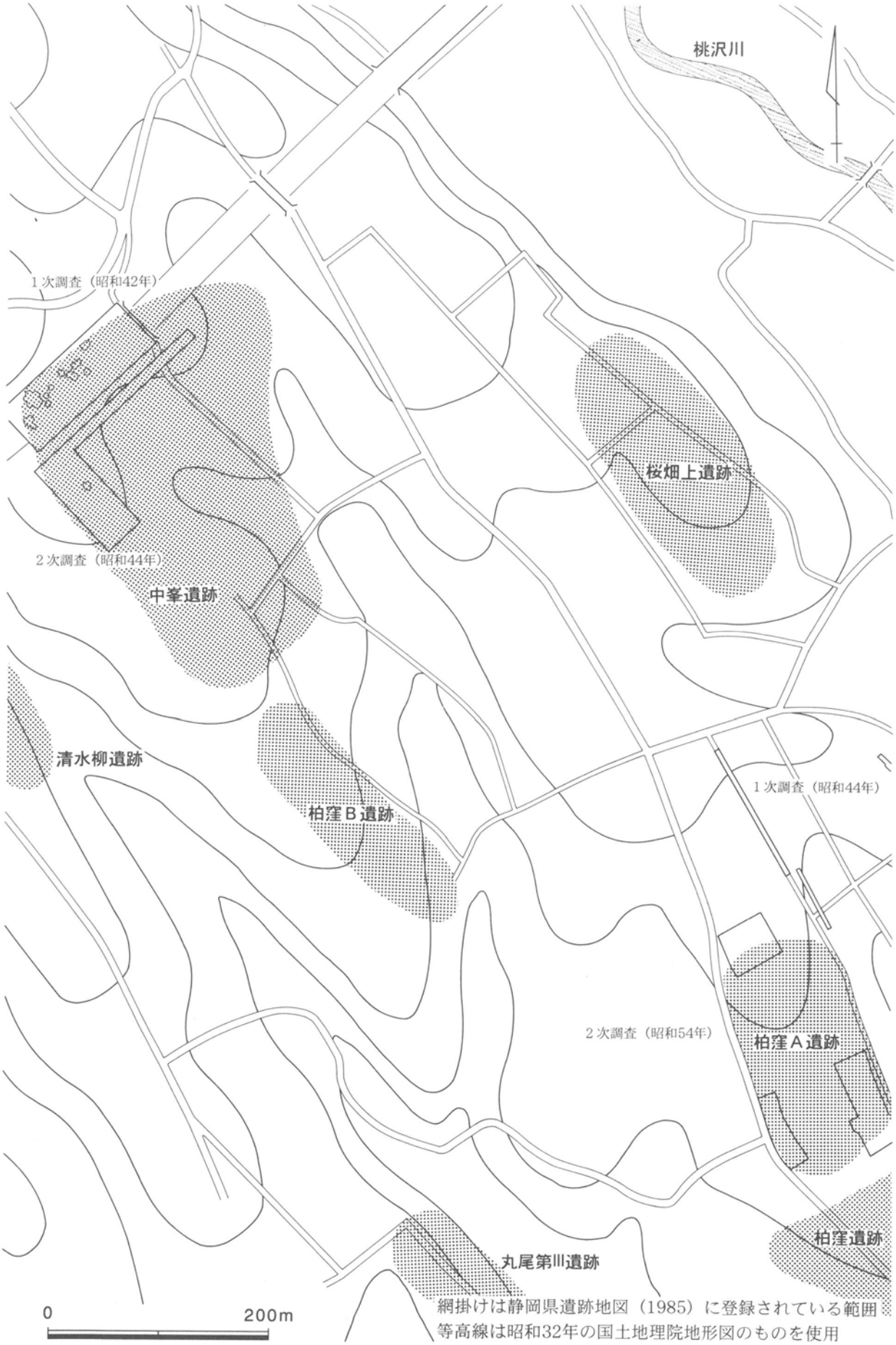
開発による遺跡の破壊が急激に進んだのは昭和40年代である。これに対応するため上長窪遺跡群調査会が結成され、緊急的に開発予定地の発掘調査を行った。昭和42年に東名高速道路建設の際の中峯遺跡1次調査、昭和44年に付近の農業構造改善事業の際の中峯遺跡2次調査、昭和43年に住宅地造成に伴う桜畑下遺跡の調査、昭和44年に桜畑上遺跡、柏窪遺跡（1次）の一部調査などが次々と行われた。この一連の調査で縄文時代中期の集落址や縄文時代早期から後期の遺物が検出されている。この成果は『上長窪遺跡群』として報告書にまとめられている。

昭和50年代にはこれらの遺跡群の周辺にも多くの遺跡が確認されるようになった。柏窪遺跡が北側に延長して柏窪A遺跡と呼称され、北西の尾根には柏窪B遺跡、西には丸尾第III遺跡が発見され、桜畑下遺跡の南側に八反田後遺跡が発見されている。このうち、柏窪A遺跡については土取り工事による破壊が進み、長泉町教育委員会が昭和54年に発掘調査（2次）を実施し、縄文時代中期初頭の土器が出土している。中峯遺跡の北側にも野台遺跡が発見され、昭和58年に畑地帯総合土地改良事業に伴い、長泉町教育委員会が発掘調査を行なっている。旧石器時代の炉址や縄文時代早期から中期の土器などが出土している。これまでの調査位置を第4図に示す。

2　今回の発掘調査

愛鷹山山麓では東駿河湾環状道の建設、第二東名高速道路の建設計画に伴い、平成8年度より路線内の遺跡調査が行なわれている。上長窪地域では平成10年度より第二東名高速道路関連の発掘調査が開始された。このような大規模な道路の建設に伴い、静岡県沼津土木事務所により第二東名高速道路のインターチェンジ周辺の整備が計画された。この一環として、主要地方道大岡元長窪線の新路線の建設と、第二東名インターチェンジへのアクセス道路の整備が行われることになった。

建設用地の取得が進んだ平成10年度末に、静岡県教育委員会文化課と静岡県沼津土木事務所、長泉町都市計画課で協議が持たれ、次年度より静岡県埋蔵文化財調査研究所が調査を実施することになった。年度末に文化課と静岡県埋蔵文化財調査研究所の担当者により現地踏査が行われ、5万m²程度を確認調査の対象とした。平成11年度に第1期の事業として3カ月間の確認調査を実施し、この結果を受けて、平成12年度と13年度に桜畑上遺跡、中峯遺跡、柏窪B遺跡の範囲内について本格的調査を実施した。（第5図参照）なお、本調査と並行して、下層の確認調査、新たに取得した用地についての確認調査を実施した。桜畑上遺跡については、すでに日本道路公団の第二東名長泉インター部分の発掘調査が実施されていたが、国土交通省の東駿河湾環状道のアクセス道路、静岡県沼津土木事務所の大岡元長窪線のアクセス道路と、1つの遺跡をそれぞれの事業区分により、三分割して調査されることとなった。また中峯遺跡・柏窪B遺跡も同様に国土交通省と静岡県沼津土木事務所の事業が複雑に入り組んでいる。これについては静岡県教育委員会文化課と各事業委託者と静岡県埋蔵文化財調査研究所の協議によって調査を進めている。（第6図参照）このため、本報告書は沼津土木事務所の用地分のみの第1期調査結果の報告となる。



第4図　上長窪地区遺跡分布図

第３節　調査経過

１　平成11年度の確認調査

平成11年度は、平成10年度以前に取得されたアクセス道路の部分を中心に49472㎡を対象として、確認調査を行った。20～40mおきにトレンチを入れ、トレンチと一部重なるように20mおきにテストピットを開け、1790㎡を掘削した。この結果、昭和45年の構造改善事業で大きな地形の改変を受けていることが判明した。尾根の削平、窪地や谷部の盛土、緩やかな斜面の階段状の切盛りなどである。このため、一部の土地については包含層が全く残っていないため、調査不要と判断された。また、包含層の存在する地区や、盛土の深い部分については安全上の問題により下層調査が出来なかったため、本調査の中で確認調査を行うこととした。

２　平成12年度の本調査・確認調査

平成12年度は、第二東名高速道路のインターチェンジの工事が開始されることから、東側のアクセス道路部分（１区）より調査が開始された。

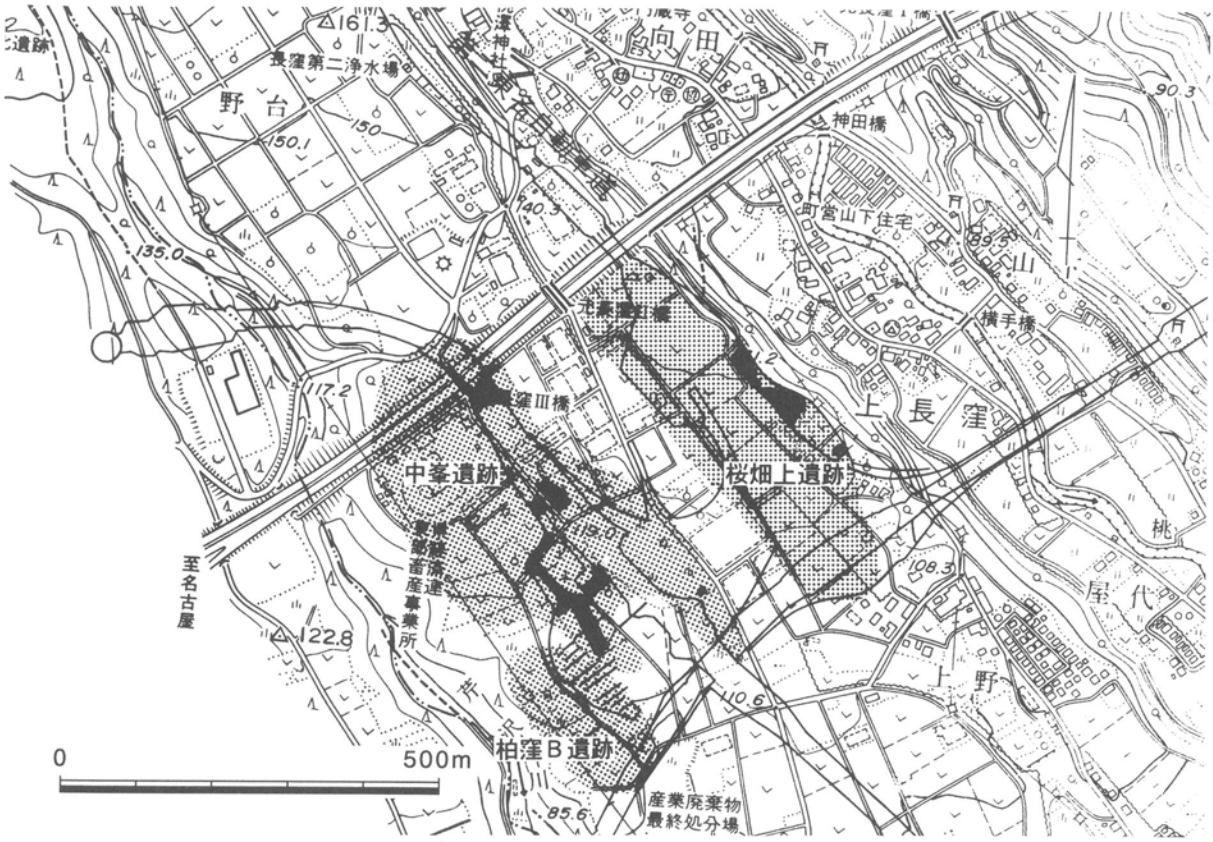
１区は第二東名沼津工区』１地点桜畑上遺跡の南側に当たる部分である。確認調査の結果、中世・縄文・旧石器時代の遺構・遺物が確認されている。現況は階段状に３段になっている。上の段より１－１区、１－２区、１－３区とした。（第７図参照）

１－１区は重機により、表土から新期スコリア層（NS）までを除去し、上面を精査して中世面の調査を行なった。調査終了後、新期スコリア層から暗褐色土層（AN）までを再び重機で除去し、栗色層（KU）から富士黒層（FB）までの縄文時代遺物包含層を人力により掘削した。栗色層が不明瞭であったため、スコップ半分くらいの深さずつ掘り下げ、最初に掘った層を暗褐色土層、次に掘った層を栗色層、最後に掘った層を富士黒層として遺物を取り上げた。富士黒層下面の休場層（YL）との漸移層（ZN）の部分で精査を行ない、縄文時代の土坑検出作業を行なった。その後、テストピットを２カ所に設定し、下層の確認調査を行った。この結果、第Ｉスコリア層（SCＩ）上面に休場層の落ち込む土坑が１基検出され、ニセローム層下部で石器が１点、第III黒色帯（BBIII）で剥片１点が出土した。いずれも重機で周囲を拡張して調査したが、休場層で一部から剥片３点が出土した以外は、遺構・遺物は検出されなかった。

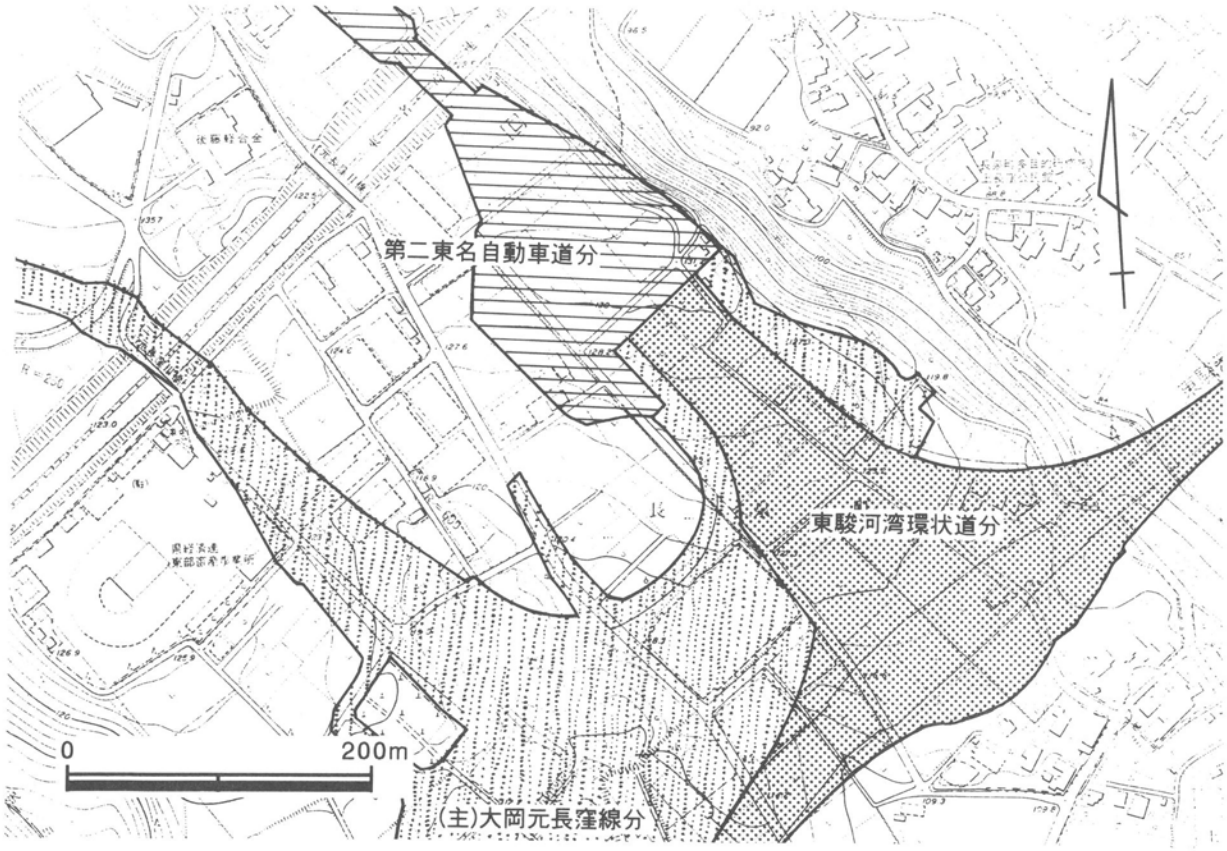
１－２区は重機により、表土からカワゴ平パミス包含層までを除去した。当初は栗色層まで機械で掘削する予定であったが、上層の暗褐色土層より礫が検出されたため、暗褐色土層以下、富士黒層までを縄文時代包含層とし、人力掘削に切り替えた。休場層との漸移層部分で精査を行い、縄文時代の遺構検出を行った。縄文時代の遺構調査後、第Ｉ黒色帯の遺物分布を確認するため、３×３mのテストピットを５カ所設定し、ニセローム層（NL）まで掘削することにした。テストピット掘削作業中、調査区東側で休場層において石器ブロックが存在することが分かり、急きょ周辺を広げて調査を行った。南側は遺構遺物が認められなかった。このため南側は調査対象外とし、重機で残りの部分の休場層を除去し、第一黒色帯上層（BBＩU）から、人力で掘削を行った。掘削は10m四方に３m四方のテストピットを４カ所開け、遺物などが検出された場合は、周辺を広げるという方法を取った。調査後、10m四方にテストピットを２カ所開け、２mの深さまで掘削して下層の確認調査を行った。

１－３区は確認調査において、第IIIスコリア帯のb－１層に大形の礫が検出されたため、周辺を重機で広げ、第IIIスコリア層上面からB－２層まで人力掘削を行った。

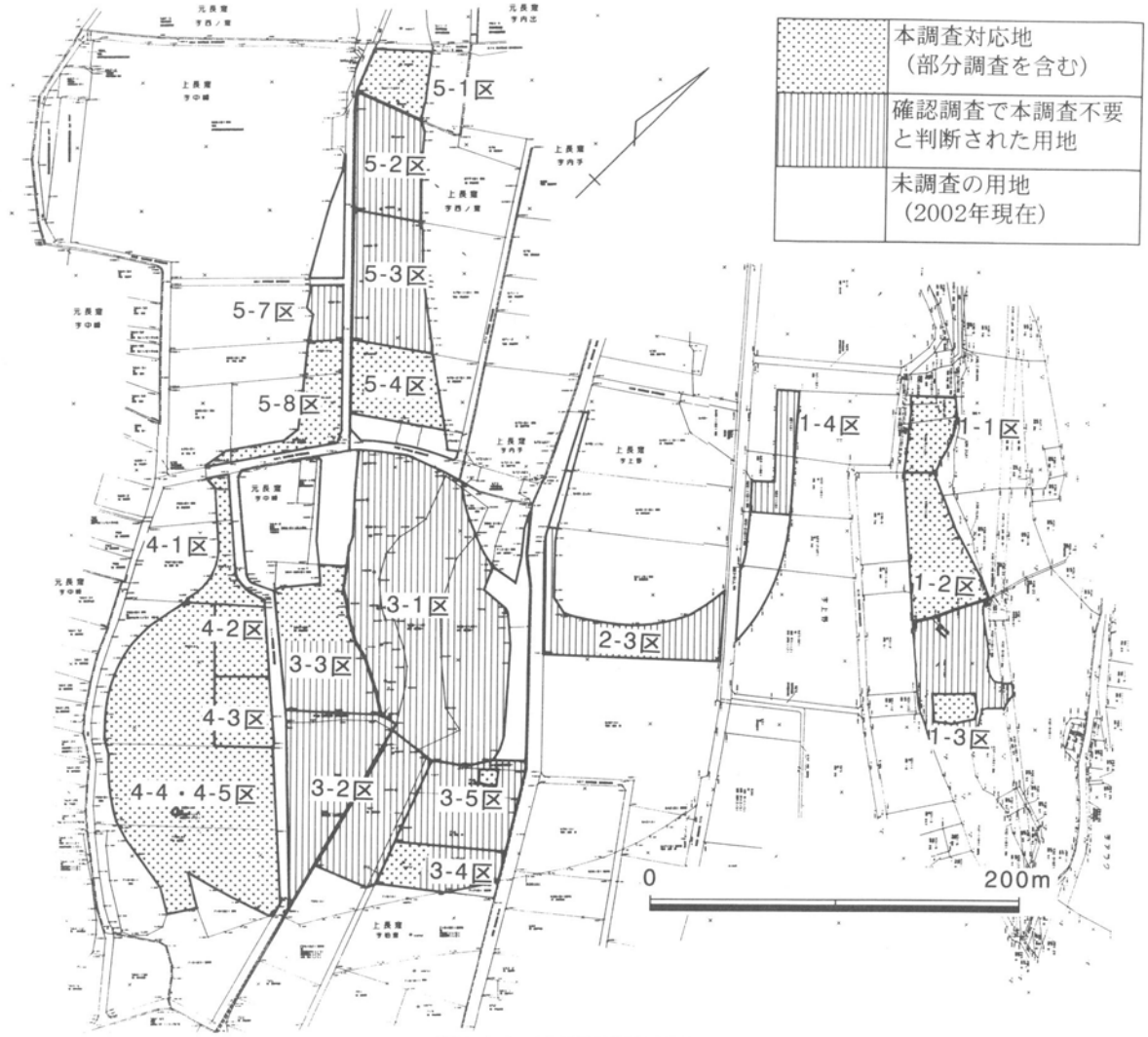
次に３区と５区の確認調査を実施した。３－３区・５－４区・５－７区の調査である。昨年度と同様にトレンチとテストピットを各地区に入れる方法で行った。一部は盛土が１mもあったため、トレンチ調査



第5図　遺跡分布と本調査位置図



第6図　各事業調査地区区分図



第７図　調査区区分図

第４表　現地調査工程表

	平成12年度									平成13年度					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6月	7月	8月	9月	10月	
1-1区 本調査Ⅰ期				終了											
1-2区 本調査Ⅰ期					終了										
1-3区 本調査Ⅰ期		終了													
5-1区 本調査Ⅰ期			表土除去					終了							
5-8区 本調査Ⅰ期									終了						
4-2区 本調査Ⅰ期					終了										
4-3区 本調査Ⅰ期					終了										
4-4区 本調査Ⅰ期						終了									
4-5区 本調査Ⅰ期									終了						
3-4区 本調査Ⅰ期									終了						
5-3区 確認その２									終了						
5-4区 確認その２				終了											
5-7区 確認その２				終了											
3-3区 確認その２					終了										
2-3区 確認その３							終了								
5-4区 本調査Ⅱ期												終了			
4-1区 本調査Ⅱ期															終了
3-3区 本調査Ⅱ期														終了	
3-5区 確認その４															終了
基礎整理作業															

を中止し、テストピットを広く設定して盛土を除去し、掘削を行った。今年度の確認調査も構造改善事業の際の切盛りの跡が見られ、部分的に表土直下に包含層に相当する土が全く残っていないところもあった。

これに平行して4区～5区の調査を実施した。4区・5区とも用地境や地形から4－1区・5－1区と区分して調査を行なった。(第7図参照)最初に5－8区の調査から開始した。確認調査の結果、石器ブロックが近くに存在する可能性があったため、昨年度のトレンチを中心に20m×15mの調査区を設定し、重機で表土を除去した後、人力で休場層を掘削した。また、昨年度確認調査が不十分であった南側についてテストピットによる確認調査を行った。東側については遺構・遺物の検出がなかったが、西側については本調査対応が必要となった。このため、4－1区の遺跡の延長として本調査を行うこととし、一時中断した。

次に4－2区の調査を行った。重機で表土からカワゴ平パミス包含層までを掘削した後、人力により暗褐色土層の掘削を行った。南側については中世の土層が残っているため、4－3区と同時に調査を行うこととし、4－2区の延長で4－3区を設定し、同時に調査を行った。一旦、新期スコリア層上面までを重機で掘削し、人力で精査して中世の遺構検出を行った。しかし、広い範囲で天地返しが行われており、遺構が検出された面はごくわずかであった。4－3区の北側の一部分は土層が残っていたため、縄文時代の包含層については4－2区と同時に調査し、4－2区として遺物も取り扱った。

この後、4－4区、4－5区の調査を行なった。4－4区は昨年度、縄文時代と考えられる陥穴を検出した部分で、今年度は完掘を行った。4－5区は柏窪B遺跡の縄文時代の遺物と陥穴の分布を調査するため、調査はトレンチ状に掘削することとなった。現在は平坦な地形であるが、これは切盛りを行った結果であり、中央に削平された痩尾根を挟んで2つの浅い谷の地形である。南側では上部の土層の残存状況が良く、中世の土坑なども検出された。4－5区は縄文時代の包含層まで掘り下げを行い、遺物の取り上げと遺構検出作業を行った。遺構が検出された部分についてはトレンチを拡張して完掘を行った。トレンチの土層堆積状況については部分的に土層図を作成した。また、トレンチの一部は非常に深くなったため、排土置場の関係から、掘削を一時中断した。

4区の調査終了後、引き続いて5－1区の調査を行った。5－1区は中峯遺跡の東端にあたり、縄文時代の集落跡が期待される地区である。遺構面が浅いことから、表土は人力で除去し、遺物包含層を精査し遺構の検出を行った。途中一部に2m角程度のテストピットが並んでいるものが検出され、昭和44年の中峯遺跡二次調査時のテストピット跡と判明した。当時の記録があまり明瞭ではないため、このテストピット跡については外形をトータルステーションを用いて計測し、位置を記録した。縄文時代面調査後、テストピットを9カ所設定し、下層の確認調査を実施した。BB0層においてナイフ一点、BBⅠ層において剥片1点を検出したのみに留まった。

5－1区の調査中、沼津土木事務所との協議が行われ、用地の買収が出来たことから急きょ2－3区と5－3区の確認調査を実施することとなった。これに伴い、本調査が計画されていた4－1区は次年度調査となった。2－3区はトレンチ1本とテストピット9カ所による調査を計画した。しかし、掘削中に西側が深い谷であることが分かり、トレンチを拡張して下部まで確認を行った。遺物は谷へ流れ込んだものがわずかに出土したのみで、東側は縄文時代の包含層が削平を受けて存在していなかった。また、旧石器時代の遺物は出土しなかった。調査区北西側のテストピットは尾根の肩部で、焼土と陥穴が検出された。

5－3区はトレンチ3本とテストピット6カ所による確認調査を行った。この地区も深い谷があり、谷に流れ込んだ土からわずかに遺物が検出された程度であった。

5－8区の西側はテストピット調査を行った結果、拡張の必要があることから調査が一時中断していたが、再開した。重機により広い範囲で再び表土を除去し、縄文時代包含層の精査を行った。この結果、

縄文時代の遺物と焼土が多数検出された。下層についてはテストピット３カ所による確認調査を実施したが、旧石器時代の遺構・遺物は検出されなかった。

埋め戻しを実施する中で、一部中断していた４－５区のトレンチを調査した。縄文時代の遺物を少量検出したのみに留まり、調査を終了した。

3　平成13年度の本調査・確認調査

平成13年度は前年度に実施しなかった４－１区、前年度の確認調査で本調査対応とされた５－４区、３－３区の一部を調査対象とした。また、昨年度のプレハブ跡地も３－５区として確認調査を実施した。

調査は５－４区から着手した。重機で遺物包含層のBBIII層の上のSCII層まで掘削した。調査区南側において、確認調査部分にはなかったYL層が表土直下に存在したため、重機で表土を除去した後、２m四方のテストピットを４カ所設定し、NL層まで掘削して遺物が存在しないかを確認した。この結果、BBIII層より上の層には遺物が存在しないことが確認されたため、この部分についても重機でSCII層まで掘削した。その後、人力でSCII層からBBIII層まで掘削をした。遺構は礫群２カ所、石器ブロック１カ所を検出した。第３黒色帯の調査終了後、下層の確認が不十分であると考えられるため、尾根上にテストピットを３カ所設定し、下層の確認を行なった。掘削終了後、重機による埋戻しを行い、調査を終了した。遺物については洗浄を行い、コンテナに仮収納した。

４－１区は縄文時代の調査を行なった。カワゴ平パミス包含層上面まで重機で掘削し、遺物包含層であるカワゴ平パミス包含層を人力で掘削した。多量の縄文土器、石器などが出土し、遺物の出土状況を記録後、取り上げを行った。遺構は特に検出されなかったため、引き続き下層の遺物包含層である暗褐色土層を人力で掘削した。この層でも多量の遺物や細かい炭化物や焼土粒も検出されている。精査を行って遺構の有無を確認するとともに、焼土の調査を行った。遺物の出土が減った層位で地形を測量し、確認調査時に調査が不十分であったカ所についてテストピットによる下層の確認を行った。調査区の南東部で谷の中に流入したYL層より剥片が出土したため、周囲を拡張して調査したが、遺物は他に検出されなかった。

３－３区は４－１区の東に隣接する地区で、縄文時代包含層の調査を実施した。４－１区と同様にカワゴ平パミス包含層まで重機で掘削し、以下の層を人力で掘削した。４－１区とほぼ同じ層位に土器、石器類が出土した。遺物は４－１区に比較すると少ないため、下部の富士黒層については10m四方につき３m角のテストピットを４カ所開け、遺物が出土した部分を拡張して調査を行った。

３－５区の確認調査については安全通路や調査区の設定を行い、重機で表土を除去し、テストピットとトレンチを人力で掘削した。北側のトレンチのSCIIIb－２層（旧石器時代）より礫が出土したため、重機で周囲を拡張し、人力で掘削を行った。掘削終了後、記録を取り、重機による埋め戻しを行った。

第４節　調査方法

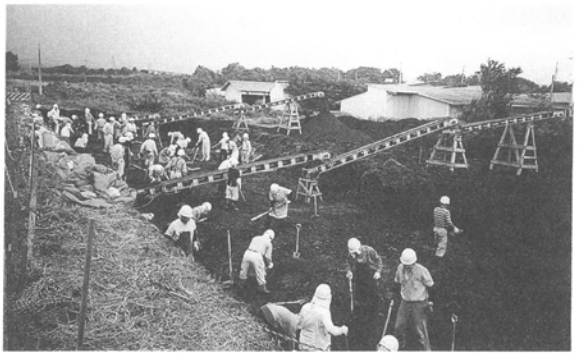
1　現地調査

調査地区が広大な面積であったため、主要道路により１区～５区に大きく地区分けを行った。また、用地の買収状況が地区の中の各々の筆により異なっていたため、第7図のようにさらに細分化した地区分けを行なった。これを元に各々の地区で調査を実施した。

重機を表土や中間層除去等の掘削、排土の積込み、搬出入と埋戻しおよび整地に用いた。遺物包含層・遺構面・遺構の掘削は主として人力で行った。

遺構・遺物の検出状況は平面実測と写真撮影により記録を行った。遺構実測図は縮尺1/20を基本とし、必要に応じて縮尺1/10の図面を作成した。写真撮影は６×７判（白黒）と35㎜（カラーネガ、カラースライド、白黒）を組み合わせて記録を行い、遺構写真等は適宜ローリングタワーを使用して高所から撮影を行った。遺構については各遺構ごとに遺構観察表を作成し、現地で検出状況等の観察事項を記入した。　遺物の取り上げについては１点ずつ遺物番号を付して取り上げた。土器(P)、石器(S)、礫(R)に大別し、各々に番号を付した。番号は重複を避けるため、確認調査時の番号に引き続いて付している。遺物の取り上げ、地形測量等には、トータルステーションを用いた。計測・図化処理・台帳管理にはシン技術コンサルの遺跡管理システムを使用した。

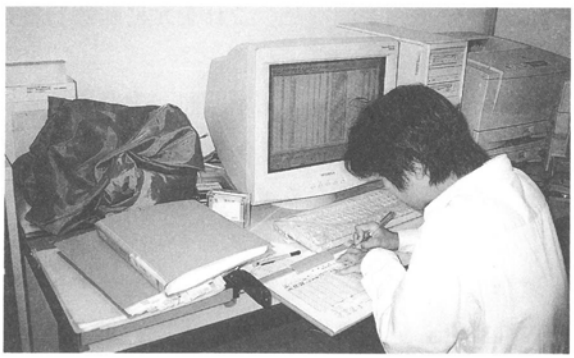
測量については日本測地系（改正前）を使用し、国土平面直角座標系Ⅷ系のX＝-94970.000、Y＝＋34000.000を(A、1)とし、西から東へ向かって１～63まで、南から北へ向かってA～Z、AA～AZ、BAと記号をつけた。各地区が細分されているため、グリッドは設けず、地区名で出土位置を示した。遺構図は手取りを基本とし、位置をトータルステーションで計測した。土層図は手取りと遺跡管理システムによる図化とを併用している。トータルステーションを用いて実測した遺構図・土層図などは、パソコンで出力したものを図面に貼付または転記している。土層注記については図とは別に個々の地点について観察表を作成した。これも断面図にコピーを貼付けている。



人力堀削作業

写真撮影作業

遺構実測作業



パソコンによるデータ処理

2　基礎整理作業

現地調査と平行して、基礎整理作業を現地で行った。

計測データについては、毎日の作業後にデータ打ち出し、図化の確認を行った。取り上げた遺物のデータも打ち出して遺物台帳とした。必要に応じて全体図等の編集を行った。

遺構については遺構観察表に遺構単位の写真を付した遺構ファイルを作成した。

遺物は洗浄・注記を行い、地区別・層位別・種別にコンテナに仮収納をした。注記は遺跡名・遺物番号の順に記入した。遺跡名は略号を用い、桜畑上遺跡がSSB、柏窪B遺跡がSKKB、中峯遺跡がSNMである。桜畑上遺跡は3事業の分割調査であったため、本事業の調査出土遺物についてはSSBAと注記を行った。

縄文時代の礫については、大きさ・重量等を計測し、被熱の有無を観察して礫台帳に登録した。重量の計測は5kgまでは最小目盛10gの標準秤、5kgを超える物については最小目盛500gの体重計を用いた。石器でホルンフェルスなどの風化が著しいものについては、石材強化剤OHによる強化処理を行なった。

写真の整理は雨天時などを中心に現地と平行して行った。確認調査と本調査を併行して行っていることや、後の資料の活用を考えて、確認調査と本調査はファイルを別にし各々にネガにはそれぞれ1番から番号を付した。調査が3遺跡に渡り、複数遺跡を並行して調査していたため、1本のフィルムで複数遺跡を撮影せざるを得なかったため、遺跡ごとにファイルの分類は出来なかった。このため、写真ファイルのタイトルは「大岡元長窪線」とし、中の写真の注記に遺跡名を付すようにした。

3　整理作業

整理作業は平成13年度に全体の概要と桜畑上遺跡分(1－1区～1－3区)、平成14年度に桜畑上遺跡の旧石器時代の残務と中峯遺跡（3区～5区)、柏窪B遺跡（4－5区の西側）について実施した。土器については残存状況の良いものを現地調査と併行して優先的に接合・復原作業を行った。また、黒曜石は超音波洗浄機を使用して洗浄を行った。

石器の石材同定は柴田徹氏と山本薫氏の作成した石材標準を元にして研究所職員が同定を行った。同定と同時に旧石器時代の礫については被熱の状況についての観察を行った。

遺物分布図や遺構全体図は主として遺跡管理システムを用いて作成し、必要に応じて手取り図面等と合成した。各遺構図は手取り図面を元に作成した。

縄文時代の石鏃、石匕、石斧等については実測・トレースを外部委託し、磨石、叩石等は研究所で実測・トレースを行った。石器の重量の計測は、1,200gまで細小目盛0.1gの電子天秤で計測し、1,200gを超えるものについては5kgまでは最小目盛10gの標準秤、12kgまで最小目盛50g小包秤、12kgをこえる物については最小目盛500gの体重計で計測を行った。

旧石器時代の石器については注記を行わず、コピー機で概形をとり、遺物取り上げカードの裏に貼付した。主要剝離面を見て、打点を上にして長さ、幅を計測した。この後、黒曜石は蛍光X線による産地同定を外部委託で行った。これを元に石器石材の母岩別分類は研究所職員が行なった。実測トレースについては外部委託を行った。

縄文土器は接合の後、拓本、断面実測を行ない、石膏による復原作業を行った。着色には水性アクリル絵の具を用いた。拓本は保管のために裏打ちを行った。

遺物の写真撮影はなるべく図版ごと、分類ごとの集合写真とし、事前に割付けを行ってから撮影をした。図面の保管にはシートファイルを用い、全ての図面に番号を付し、台帳を作成した。

遺物については、報告書編集と並行して遺物カードを作成し、データ検索のためパソコンによる登録を行なった。遺物は遺跡ごとに分け、ポリコンテナに報告書掲載遺物から順に収納した。

第II章　桜畑上遺跡の調査

第１節　桜畑上遺跡の概要

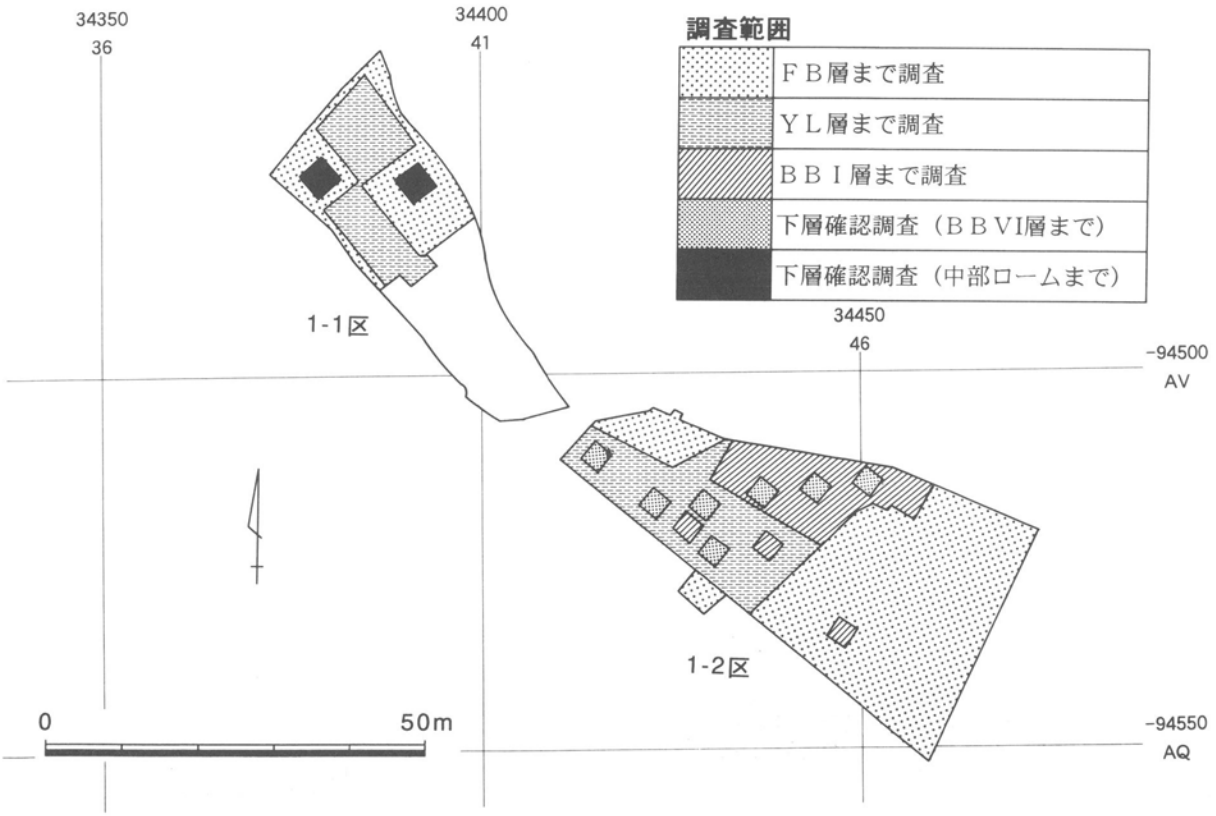
１　位置と地形

桃沢川と芹沢川に挟まれた舌状の屋根は、桜畑上遺跡付近では、緩やかに南東に傾斜する幅600mの台地となっている。その中に浅い谷などを挟みながら、小規模の微高地が存在し、小地形を形成している。桜畑上遺跡はこれらの最も東側の微高地に存在する。東側は桃沢川の浸食により現在は比高差40mの崖となっている。西側は浅い谷を挟んで中峯遺跡に隣接する。南側は緩やかに傾斜し、桜畑下遺跡に隣接する。

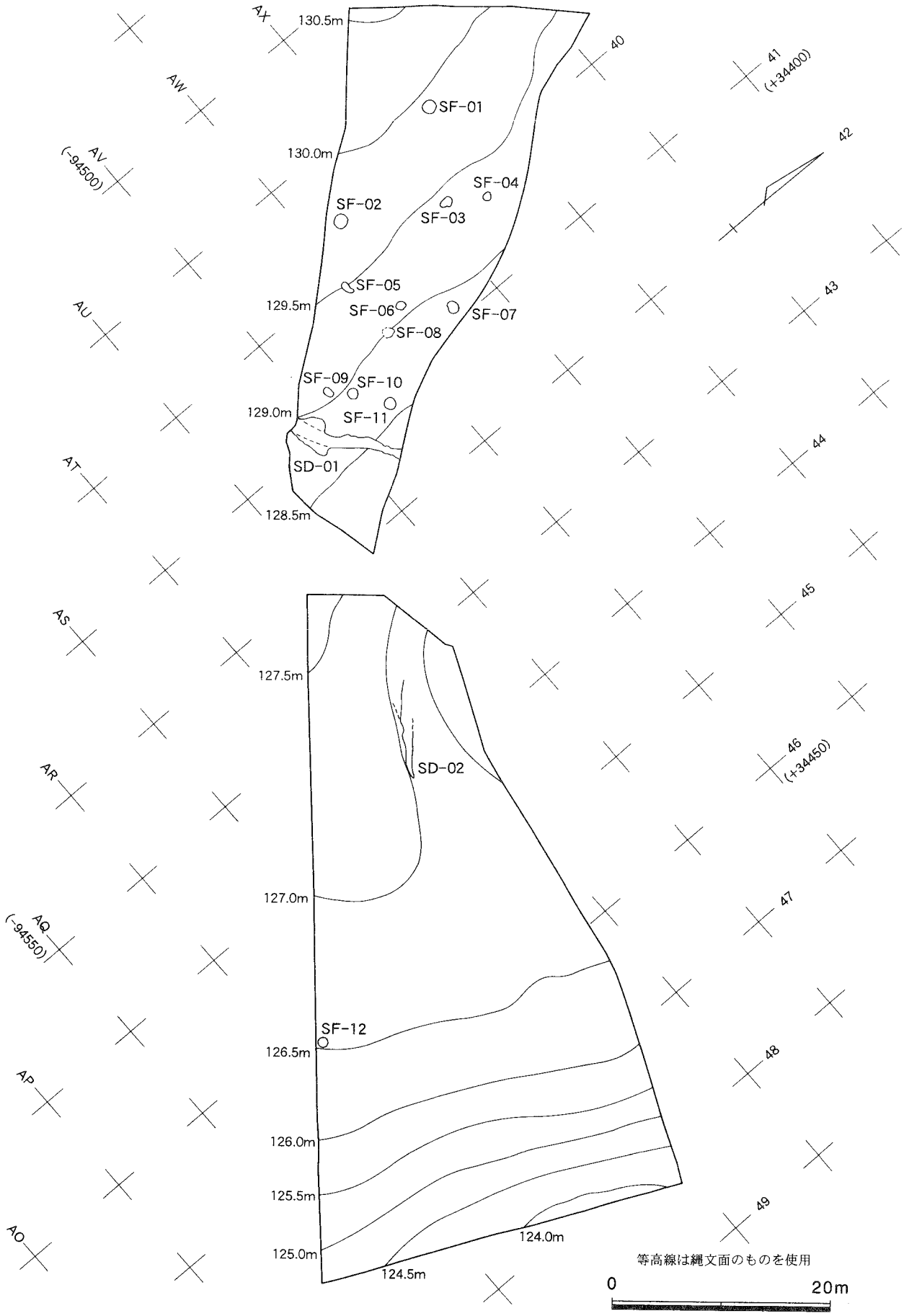
２　堆積状況

愛鷹ローム層の上部ローム層が良好に堆積し、その厚さは４m強である。１－１区においては表土直下にも中世の黒色土が良好に残存していた。１－２区は北東側に中世の層が残存していたが、他は流失してしまい、表土直下が縄文時代の包含層であった。昭和45年の構造改善事業により付近一帯が切り盛りされていたが、１－１区・１－２区は境に谷頭があり、この部分についてのみ盛土が行われたのみであった。１－３区は１－２区との間に谷が入り、南側が尾根状に高まっていたが、削平されてしまっていた。このため、１－３区は谷部を除くと、旧石器時代の層のみであった。

表土直下の中世と考えられる面と、カワゴ平パミス包含層を除去後に検出された縄文時代の面、これ以下の旧石器時代の面の三時代が確認された縄文時代はさらに複数の時期に細分されると思われる。旧石器時代も休場層と第Ｉ黒色帯に遺構が確認される。



第８図　１－１区・１－２区掘削状況



第9図　桜畑上遺跡中世面全体図

第2節　中世の遺構・遺物

黒色土が中世の層にあたり、遺構も本来はこの層中より掘り込まれていたと考えられるが、実際には掘り込み面の検出は非常に難しく、下部の新期スコリア層（NS層）上面で検出を行なった。この結果、遺構は土坑12基と溝状遺構2条が検出された。遺物はほとんど認められず、木根の攪乱と考えられるが土坑と同じ覆土を持つ箇所よりカワラケの小片が出土した。

1　土坑

土坑は12基検出された。（第10～13図）11基が1－1区で検出され、いずれもNS層上面にて検出されている。1－2区で検出された1基のみ表土下にNS層が残存せず、縄文時代の層を掘り込んで作られていた。覆土は他の土層と同じであるため、土坑が掘り込まれた時期にNS層があまり残存していなかったものと思われる。表土に近いため、木根の攪乱を受けているものも少なくない。

SF-01・02・04・06・07・08・10・11・12は円形土坑である。大きさは径80～120cmまであり、小形のものと、やや大形のものが見られる。深さは残存値で20～30cmだが、確認調査時にトレンチの壁面で観察されたSF-08の掘り込みは確認面の上部の黒色土中で、40cmを越える深さであったと思われる。SF-04は底面がわずかに残存しているだけであった。SF-08は木根で一部が攪乱されているが、円形の掘り込みがやや深く残存していた。SF-10は検出時に西側を楕円形の攪乱で切られていた。SF-12は他の土坑群から離れた箇所で暗褐色土掘削中に検出された。覆土は他の円形土坑と同じであるため、同時期のものと考えられる。

SF-03・05は不整形の楕円形土坑である。SF-03の覆土は円形土坑と同じであるため、同時期のものと考えられる。SF-05の覆土は褐色を帯びるため、他のものと時期が異なると考えられる。覆土のしまりも弱く、比較的新しい時期のものである可能性が高い。

SF-09は炭化物を多量に含み、他のものと性格が異なると思われる。覆土の下部には円形土坑と同じような土が存在したが、上部は炭化物で黒くなった土であり、時期が異なる可能性がある。

2　溝状遺構

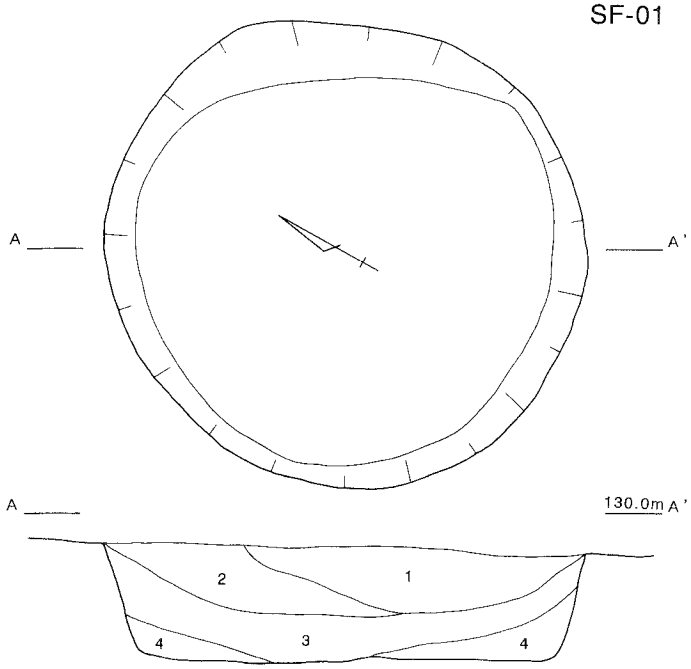
溝状遺構は2条検出された。（第13～14図）SD-01は1－1区の南側に検出された。1－1区は1－2区との間に表土上では階段状の段差が存在したが、これは盛土で、表土を除去した段階で1－1区から1－2区に向かってやや急に落ち込む地形であることがわかった。SD-01はこの落ち込みの肩部にある。この溝状遺構の北側では土坑が多く検出されたが、南側ではほとんど検出されていない。また、地形的にも用地の境にあたり、区画溝となっていた可能性がある。覆土は粒径の大きい砂状で流水の痕跡が認められ、東側の谷斜面に向かって排水を行なう機能も持っていたようである。

SD-02は尾根の端部に東の深い谷に平行するような形で検出された。レベルは南側に高く北に向かって低くなる。NS層が削平されてしまっていて不明ではあるが、さらに南側にも続いていたようである。北側に東に向って広がる谷頭があり、これに向かう流水痕または細い山道の可能性がある。

3　遺物

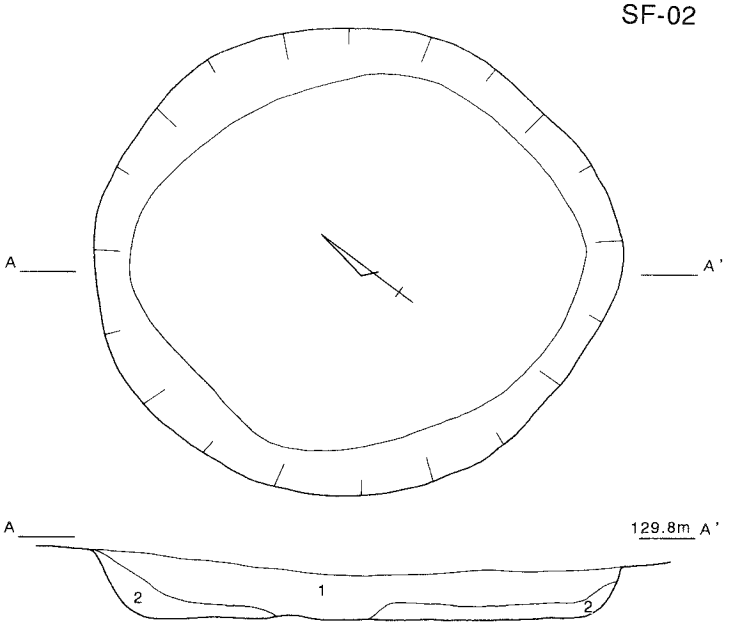
遺構に伴う遺物は出土しなかった。木根の攪乱中に円形土坑との覆土と同じ土があり、この土中よりカワラケ片と思われる土器片が1点出土したが、細片であるため時期は不明である。

SF-01



1 10YR1.7/1 しまりなし 粘性なし
黒 径1～2㎜の橙色スコリアを含む
2 10YR1.7/1 しまりなし 粘性なし
黒 径1～2㎜の橙色スコリアを含む
径1.5㎝大のNS層のブロックを
少量含む
3 10YR2/1 しまりややあり 粘性なし
黒 色調はやや褐色ぎみ
径1.5㎝大のNS層のブロックを
少量含む
4 10YR3/1 しまりややあり 粘性なし
黒褐 上層よりも褐色(AN層か？)
径1㎜の橙色スコリアをごくわずかに
含む

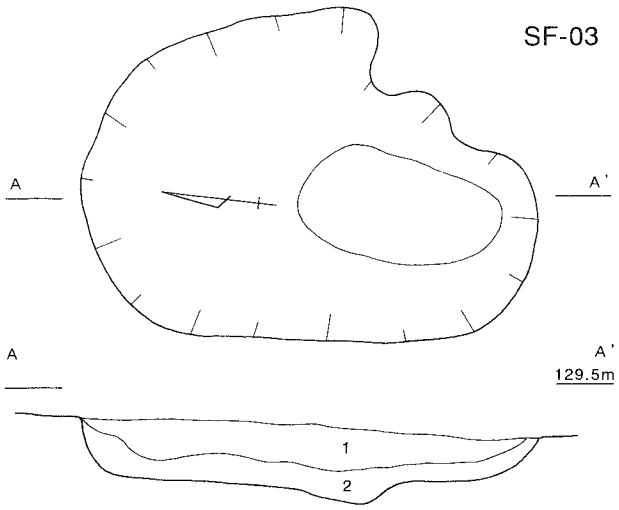
SF-02



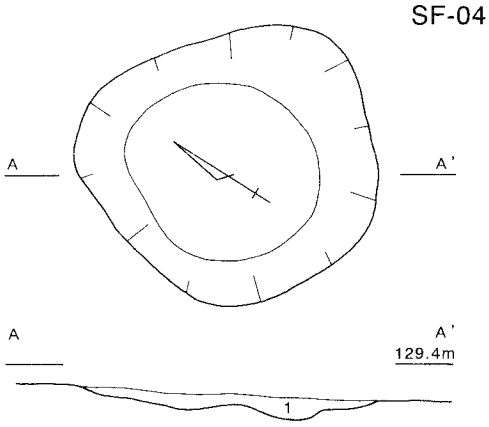
1 10YR1.7/1～2/1 しまりなし 粘性なし
黒 下層よりやや褐色ぎみ
径1～2㎜の橙色スコリアを含む
NS層のブロックを含む
2 10YR1.7/1 しまりややあり 粘性なし
黒 カワゴ平パミスをわずかに含む
径1㎜以下の橙色スコリアを
含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-01	1-1区	130	122	(30)	円形
SF-02	1-1区	140	125	(16)	円形

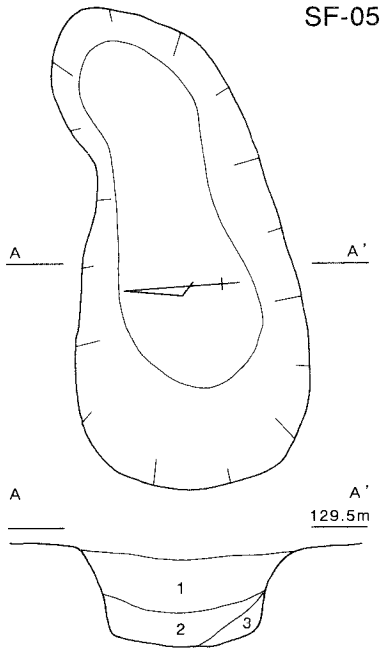
第10図　中世面遺構図１（土坑）



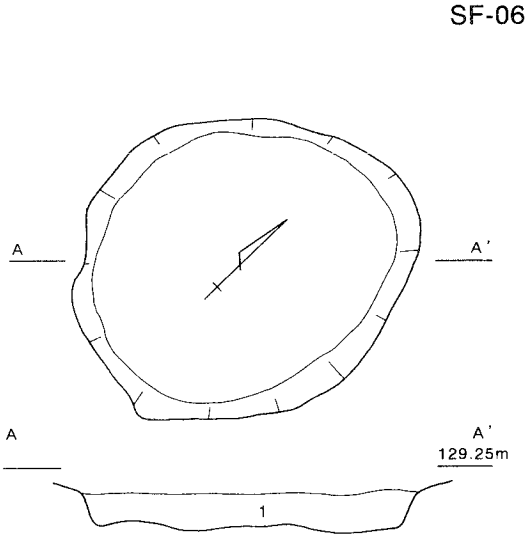
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　　白色パミスと径1㎜以下の橙色スコリアを
　　わずかに含む
2　10YR2/1　しまりややあり　粘性なし
　黒　　NS層のブロックを含む
　　径2㎜以下の橙色スコリアをわずかに含む



1　10YR1.7/1　しまりなし　粘性なし 径1㎜以下の
　黒　　橙色スコリア・白色パミスを含む
　　NS層のブロックを含む



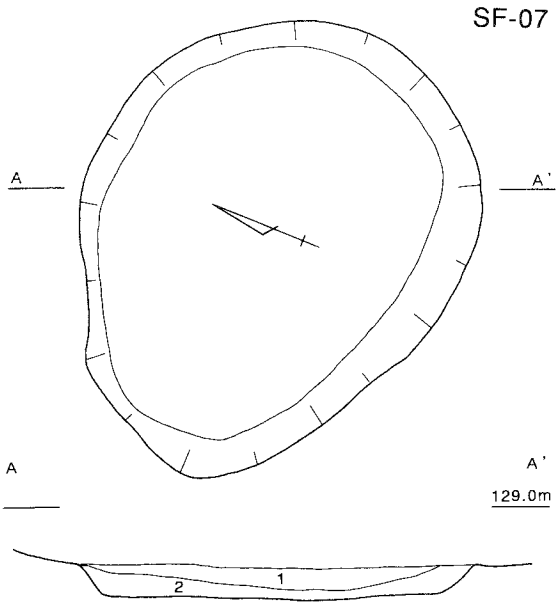
1　10YR1.7/1　しまりなし　粘性なし　やや褐色
　黒　　径1～2㎜の橙色スコリアをわずかに含む
2　10YR2/1　しまりややあり　粘性なし　やや黒色
　黒　　スコリアを含んでいない
3　10YR1.7/1　しまりややあり　粘性なし
　黒　　NS層のブロックを含む
　　径1～2㎜の橙色スコリアを含む



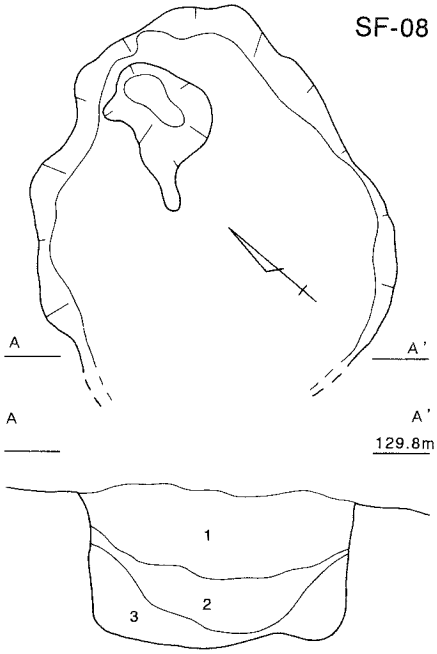
1　10YR1.7/1　黒色土　新期スコリアのブロックを含む
　黒　　径1㎜以下の橙色スコリア・白色粒子を含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-03	1-1区	122	57	(20)	不整形の楕円
SF-04	1-1区	82	70	(6)	円形
SF-05	1-1区	132	40	(23)	不整形の楕円　時期不明
SF-06	1-1区	95	78	(10)	円形

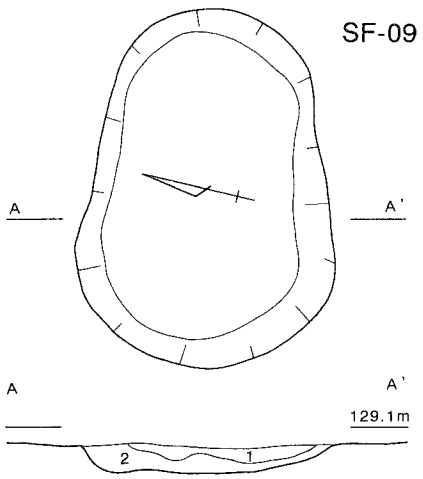
第11図　中世面遺構図2（土坑）



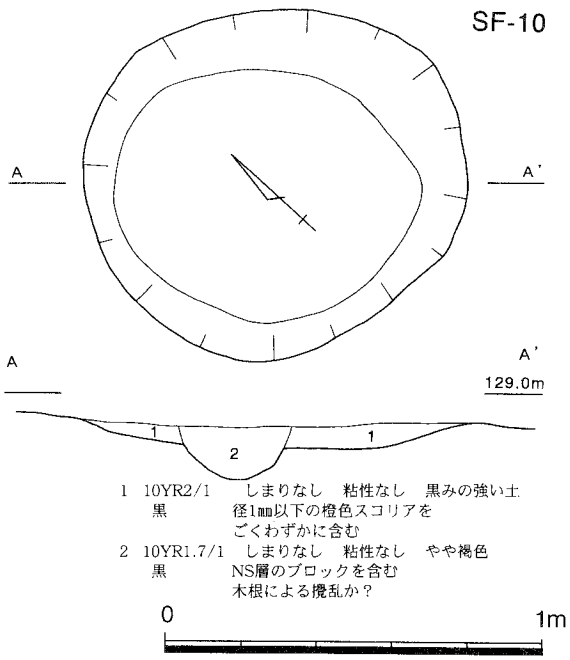
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　　径1.5㎜以下の橙色スコリアを含む
2　10YR1.7/1　しまりややあり　粘性なし
　黒　　上層より赤みが強い
　　NS層のブロックとカワゴ平パミスを含む
　　径3㎜以下の橙色スコリアを含む



1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　　新期スコリアのロームブロックを
　　含む黒色土　まだら状
2　10YR1.7/1　しまりなし　粘性なし
　黒　　ロームブロックは含まない
　　径1㎜赤色スコリアをわずかに含む
3　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　　両側は側壁のロームブロック(新期
　　スコリア)が流れ込み まだら状となる



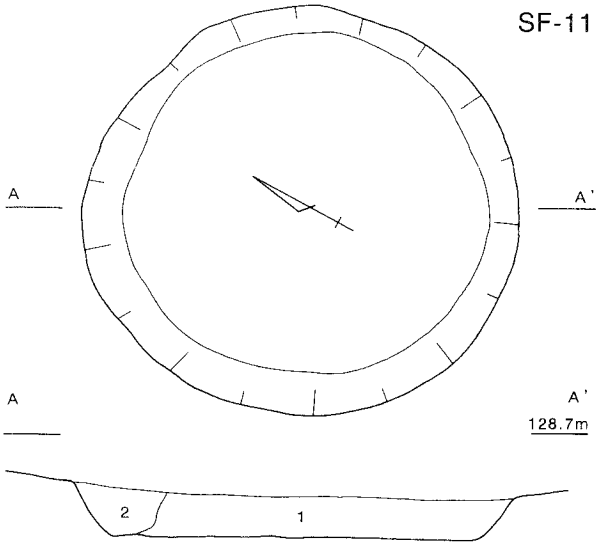
1　7.5YR1.7/1　しまりなし　粘性なし　炭化物を
　黒　　多く含み色調が黒い 炭化物が非常に多い
　　径 1～2㎜の橙色スコリアを多く含む
2　7.5YR1.7/1　しまりなし　粘性なし　炭化物を
　黒　　多く含む　NS層のブロックを多く含む
　　径1～4㎜の橙色スコリアを多く含む



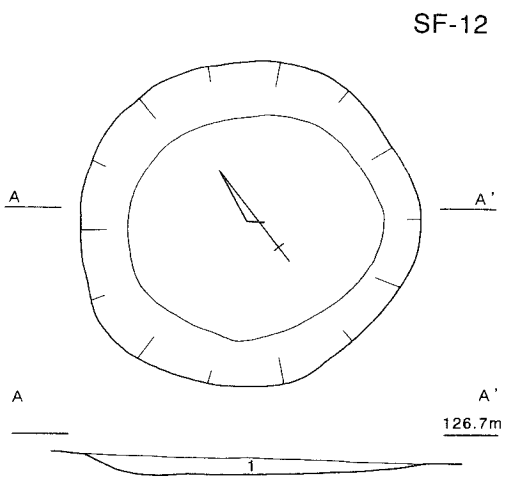
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし　黒みの強い土
　黒　　径1㎜以下の橙色スコリアを
　　ごくわずかに含む
2　10YR1.7/1　しまりなし　粘性なし　やや褐色
　黒　　NS層のブロックを含む
　　木根による攪乱か？

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-07	1-1区	126	101	(8)	円形
SF-08	1-1区	(96)	95	(42)	円形　木根による攪乱あり
SF-09	1-1区	95	63	(8)	炭化物が多い
SF-10	1-1区	103	91	(6)	円形

第12図　中世面遺構図３（土坑）

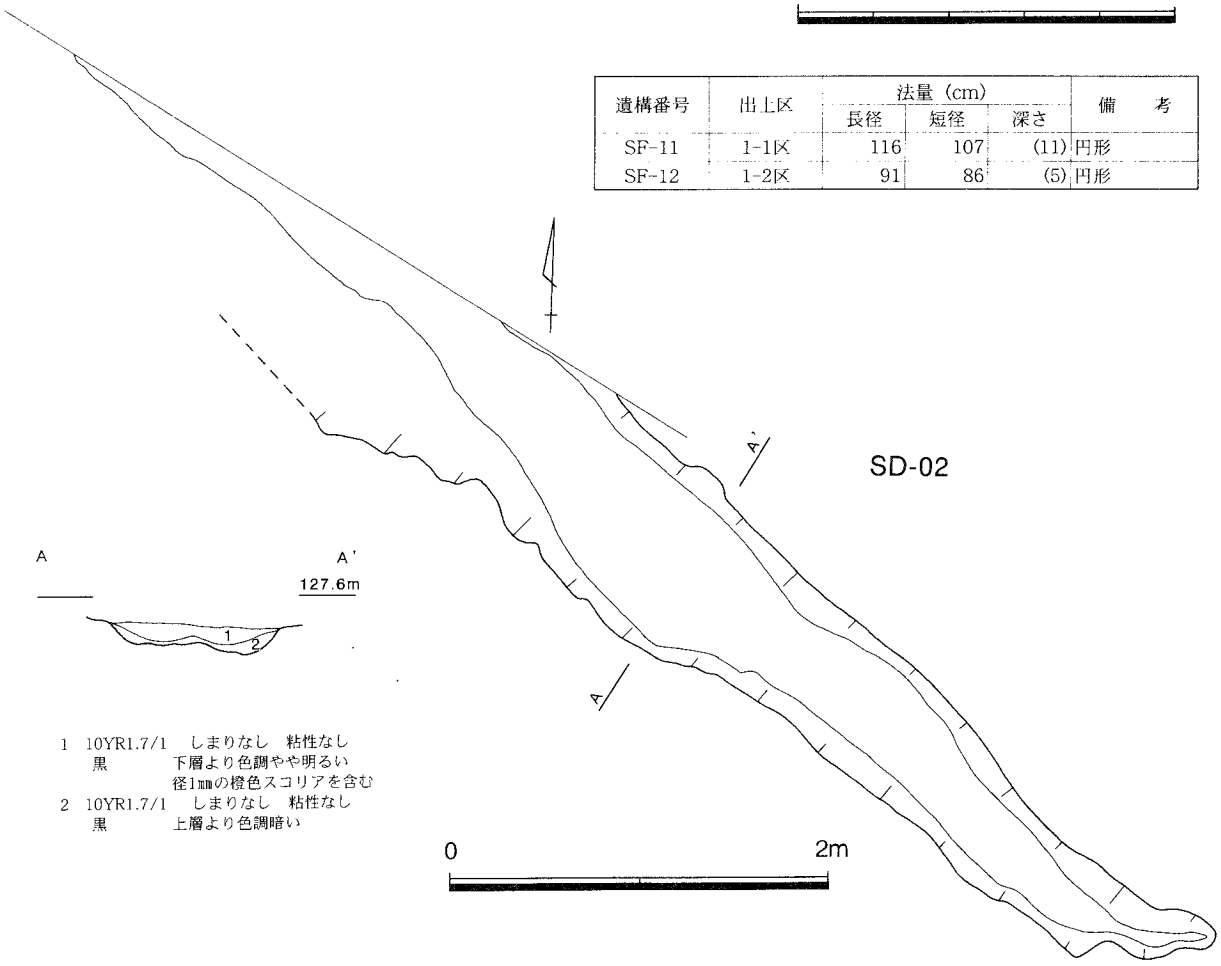


1 10YR2/1 黒　しまりなし　粘性なし　下層よりやや褐色
径2㎜以下の橙色スコリアを多量に含む
NS層のブロックを含む
2 10YR2/1 黒　しまりなし　粘性なし　上層よりやや黒色
カワゴ平パミス　径1㎜の橙色スコリアを
少量含む　※木根による撹乱か？



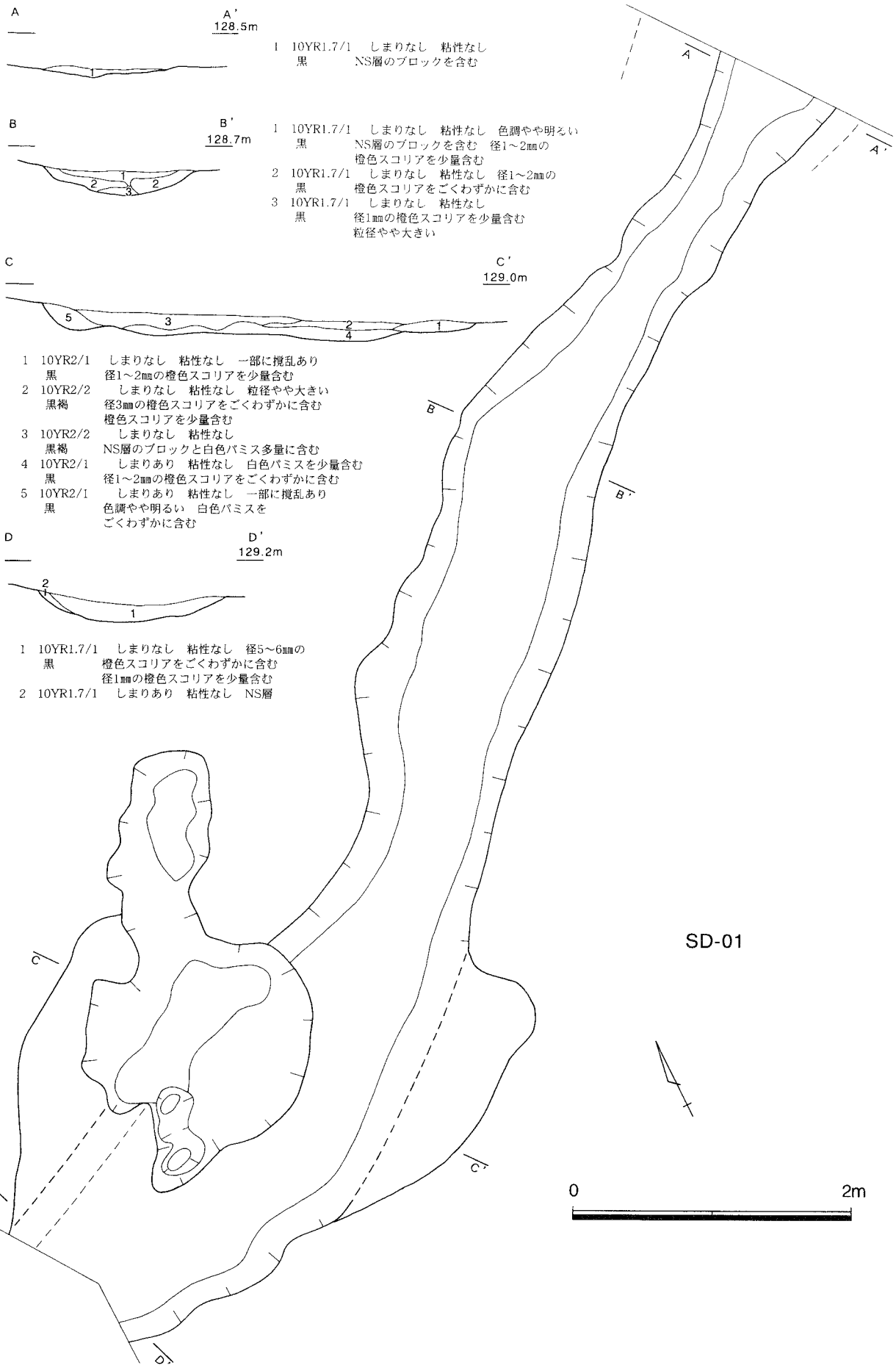
1 10YR1.7/1 黒　しまりややあり　粘性なし　径1～5㎜の
橙色スコリアを多量に含む
NS層のブロックを多量に含む
カワゴ平パミスを含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-11	1-1区	116	107	(11)	円形
SF-12	1-2区	91	86	(5)	円形



1 10YR1.7/1 黒　しまりなし　粘性なし
下層より色調やや明るい
径1㎜の橙色スコリアを含む
2 10YR1.7/1 黒　しまりなし　粘性なし
上層より色調暗い

第13図　中世面遺構図４（土坑・溝状遺構）



第14図　中世面遺構図５（溝状遺構）

第3節　縄文時代の遺構

縄文時代の遺構、遺物は1－1区の北側と1－2区全域より検出された。確認調査時に1－2区の南側にも一部縄文の遺物包含層が存在したが、1－2区から続く斜面の流れ込みと考えられ、本調査の範囲から除外された。1－2区が中心となるが、尾根状の堆積が悪く、暗褐色土層から富士黒土層が不明瞭であった。遺物は一定の深さまで掘削して、上から順次層名を付した。遺構は表土除去後の掘削中に検出された集石などを中心とした上部の遺構と、漸移層状面で検出された土坑などの下部の遺構がある。

1　集石

1－2区より3基検出された。(第16～18図)いずれも1－2区の中央にある尾根の頂部に位置し、隣接している。SY-01は暗褐色土掘削中、SY-02とSY-03は栗色層掘削中に検出し、SY-01が他の2基よりもやや上の面で検出されている。

SY-01は暗褐色土掘削中に検出され、栗色土層上面に径13～15cm前後のやや扁平な礫が集中する。礫の表面は熱を受けて赤化しているものが多い。周囲に細かい礫片も分布する。上面に機械耕作による攪乱があり、上部の礫が動いて周辺に散った可能性がある。検出時には掘り込みが確認出来なかったが、下部から礫が出土し、おそらくは礫の下部まで掘り込みがあったと考えられる。周辺より土器が2点と石器4点が出土した。土器は諸磯b式の浅鉢の口縁部の小片と、半截竹管による2条の条線のある時期不明の小片である。石器は黒曜石の剥片である。

SY-02は栗色土層掘り下げ中に検出され、栗色層中に礫が分布する。礫は円礫が少なく割れたものがほとんどで、赤化しているものが多い。礫の集中する部分を精査したところ、やや色調の暗い土の落ち込みと下に礫が埋まっている状況が確認された。礫以外の遺物は黒曜石の細片が5点出土している。

SY-03は栗色土層掘り下げ中に検出され、富士黒層上面に分布する。他のものに比べ、やや礫の数が少ない。中央部に浅い掘り込みが検出された。出土遺物は土器が3点、石器が点である。このうち、礫の集中する中央部から出土した土器は、やや厚手の無文土器片で時期不明である。下吉井式の土器片が周囲から出土している。石器はホルンフェルスの剥片である。

2　土坑

土坑は、栗色層上面で検出されたもの1基と漸移層上面で検出されたもの9基の計10基である。(第19～22図)

SF-13は1－2区の尾根上のSY-01の北側で栗色層掘削中に検出された。径約1mの円形で底面は漸移層上面である。栗色層にやや色調の暗い土が落ち込み、乾燥すると分かりにくくなる。覆土には白色のカワゴ平パミスが含まれる。底面に近い部分の覆土に炭化物を含み、集石に関連する土坑である可能性がある。

SF-14は1－1区中央部の漸移層上面で検出された。径約90cmのほぼ円形で底面はSCⅠ層上面である。

SF-15は1－1区中央部の漸移層上面で検出された。径約80cmのほぼ円形で底面はYL層を少し掘り込んでいる。周辺は上層から炭化物が多く検出されている部分である。

SF-16は1－1区中央部の漸移層上面で検出された。長径1m、短径約80cmの楕円形で底面はYL層下部で止まっている。覆土1の下部から縄文時代早期の条痕文系の土器片1点が出土している。

SF-17は1－1区西側で、重機によりYL層を掘削している際に検出された。おそらく漸移層上から落ちていたと推定されるが、上部は約40cmを重機で掘削したために底面に近い部位のみが残る。残存値で

あるが長径80cm短径50cmの楕円形の平面を持つと考えられる。底面はSCⅠ層上面である。

SF-18は1－2区の北西部尾根上の漸移層上面で検出された。当初は径1.3mの円形と思われたが、重機でYL層を除去する際、壁が実際にはYL層が流れ込んだ覆土であり、実際には一回り大形であると判明した。このため、実際の径は約1.6m前後であると推定される。底面はニセローム層上面である。

SF-19は1－2区北東の尾根上の谷に落ち掛かる肩部で、重機によりYL層を除去している際に検出された。SF-18と同様の覆土の状況から、実際の掘り込み面は約20cm上の漸移層上であったと推定される。堆積がSF-18より悪い位置であったためか、底面はSCⅡ層である。

SF-20は1－2区の西側尾根上の漸移層上面で検出された。長径約1m、短径約80cmの楕円形で底面はBBⅠ層を掘り込んでいる。底は8の字形に一段下がる。覆土の上部には炭化物が多く、覆土1の下部より縄文中期初頭の五領ケ台2式の土器が横倒しの状態で出土した。下部からは約5cmの小礫が1点出土している。炭化物は加速器質量分析法による放射性炭素年代測定で4760±40（yrBP±1σ）である。

SF-21は1－2区の西寄りの尾根上の漸移層上面で検出された。径約1.3mのほぼ円形で底面はSCⅠ層を少し掘り込んでいる。覆土6の上面よりこぶし大の礫1点が出土した。

SF-22は1－2区中央部の尾根頂部の漸移層上面で検出された。長径1.1m短径80cmの楕円形で底面はSCⅠ層を少し掘り込む。覆土には炭化物を含む。

3　焼土

焼土は栗色層下部で1カ所、漸移層上面で2カ所重なって検出された。（第23図）

FP-01は1－2区の北側の谷頭部の漸移層上面で検出された。場所はかなり傾斜のきつい箇所であり、居住するには無理があるような場所である。半裁したところ、焼土はかなり厚いが、固く焼き締ってはいない状態であった。拡張して掘削したところ、焼土が奥にも厚い部分があり、焼土の中心が2カ所存在したと推定される。拡張した部分には正断層が走り、層位がずれてはいるが、断面で検出面を確認すると、当初の焼土が富士黒層下部であり、奥の焼土は栗色層直下くらいで、やや層位的に上下があったようだ。遺物は検出されず、性格は不明である。

FP-02は1－2区のFP-01の北西に隣接し、FP-01掘削中に検出された。明確な焼土はなく、径46cmの範囲に焼土粒が多く集中する。層位的には富士黒層の中位であり、FP-01とも層位的に異なる。遺物は検出されなかった。

FP-03は1－2区の南西の緩斜面地にあり、栗色層下部から富士黒層上面を掘削中に検出された。径約40cmの範囲に焼土粒が集中し、周囲には径1.5mの範囲に炭化物が分布していた。壁近くから3cmの焼けた小礫1点が出土した。覆土1、2はやや炭化物が多く、攪乱を受けている可能性がある。付近を精査したが、住居址と考えられるような掘り込みは検出されなかった。

4　小穴

1－1区で3カ所検出された。（第23図）いずれも栗色層から富士黒層掘削中にやや色調の暗い土の落ち込みを検出したもので、すべて単独であり、各々の関連性はないと考えられる。深さが12cmから16cmであるため掘り込み面がさらに上層であった可能性がある。

5　竪穴状遺構

竪穴状遺構は漸移層上面で3基検出された。（第24図）竪穴状に掘り込みはあるが、遺物が出土せず、明確な炉や柱穴が検出されなかったため、住居址とせず竪穴状遺構とした。

SB-01は1－2区調査区の北西端で漸移層からYL層掘削中に富士黒層が落ち込んでいるのが検出さ

れた。尾根上に立地する。長径約1.9m、短径約1.6mの楕円形で、皿状に窪む。遺物は覆土1より細かい安山岩の小片が出土したのみである。中央部付近より1cm大の炭化物を検出したが、焼土は確認出来なかった。また、明確な柱穴は確認出来なかった。炭化物は加速器質量分析法による放射性炭素年代測定で8500±30（yrBP±1σ）である。（第VI章参照）周辺に遺物は少なく、遺構外であるが、鵜ケ島台式の小片が2点出土している。

SB-02は1－2区北西側の尾根上に検出された。SB-01の南西に並ぶように検出された。当初は径約2mの範囲に炭化物が検出され、一帯に富士黒層が落ち込んでいるのが確認された。出土遺物はなく、覆土は炭化物を含むが、焼土は確認出来なかった。底面のレベルがややずれているが、これは中央を断層が走っているためである。

SB-03は1－2区の南西側のYL層をを重機で掘削していた際に調査区の壁に掘り込みが確認された。尾根上に立地し、漸移層からYL層を掘り込んでいる。このため、調査区を拡張して調査を実施した。掘削により一部が削平されてしまったが、長径約2.5m、短径約2mの楕円形の平面であると推定される。出土遺物はなく、炭化物や焼土も検出されなかった。明確な柱穴も確認されなかった。

6　土器集中地点

土器が集中して検出されたカ所は栗色層中に2カ所検出された。

PG-01は1－1区の北側で検出された。径約3mの範囲に炭化物と土器片が集中していた。中央部よりやや大形の土器片が出土した。この土器片は五領ケ台式の口縁部である。周囲から出土した土器片は、五領ケ台式などの破片である。住居址の可能性があったため、掘り下げてみたが、明確な掘り込みは確認出来ず、下部からは土器が出土しなかった。炭化物の量は上面に多く、5cm程度下げると減少するが、下部の方がやや粒径が大きい。

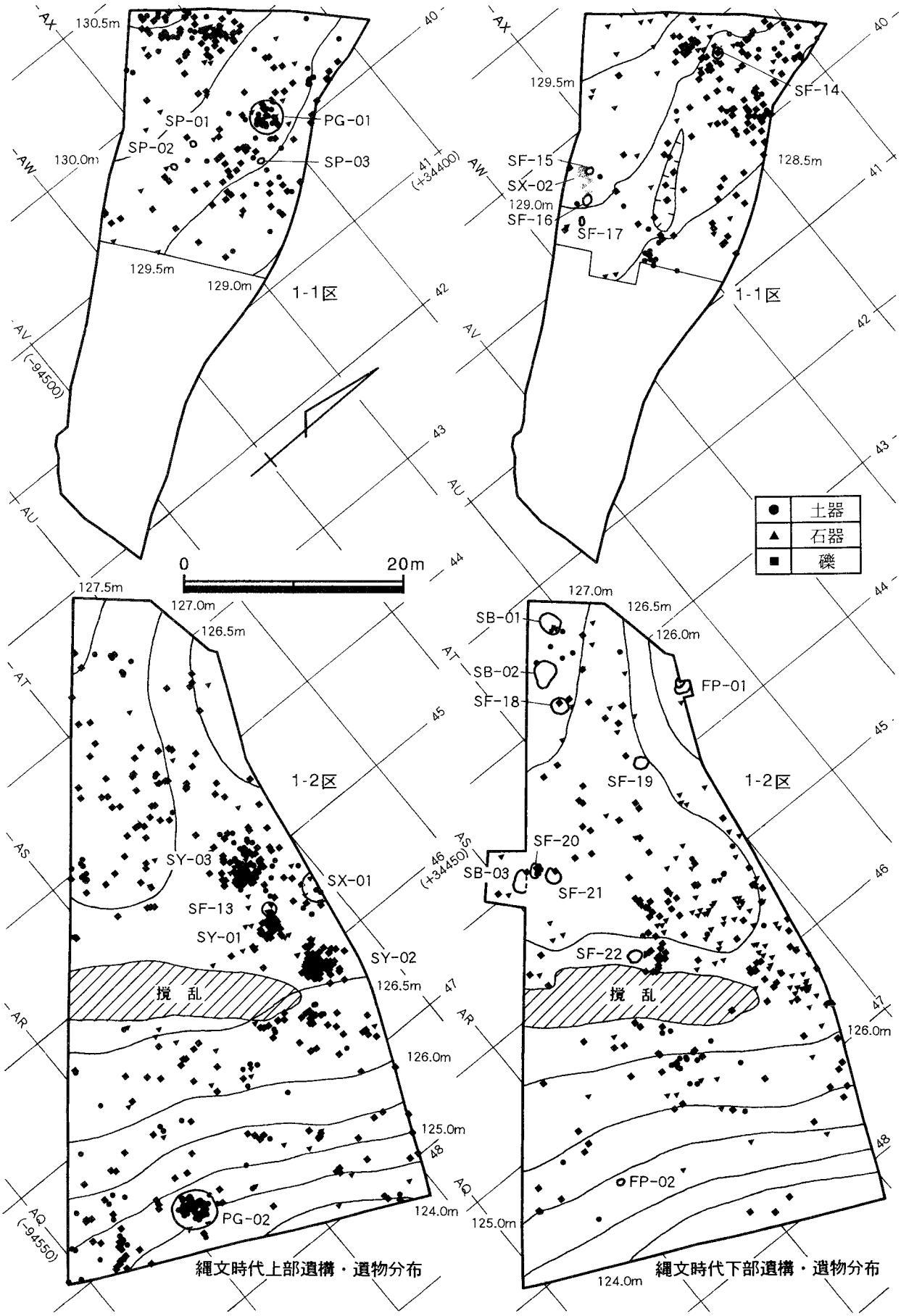
PG-02は1－2区南側斜面地で検出された。径約2.5mの範囲に土器片が57点集中して出土した。これらを接合したところ、ほぼ1個体のものであった。出土したレベルもほぼ斜面の傾きに沿うことから、斜面に投棄された土器が壊れて散っている状況であると考えられる。土器は後期の堀之内2式である。

7　その他の遺構

上記の遺構以外に炭化物の集中カ所が2カ所検出された。

SX-01は1－2区の北壁中央部の栗色層上面に検出された。尾根上に径約2mの範囲で炭化物が分布している。中央部には0.5cmから1cm大の炭化物があり、縁辺部では粒径が小さくなる。明確な焼土や掘り込みは確認されなかった。厚さ10cm程度のレンズ状に炭化物が堆積した状況である。上面から前期の諸磯b式の土器が出土した。同時期の土器が検出された集石SY-01の北側に隣接するため関連性が考えられる。土器以外には黒曜石の石鏃1点とガラス質黒色安山岩の小片1点が出土している。

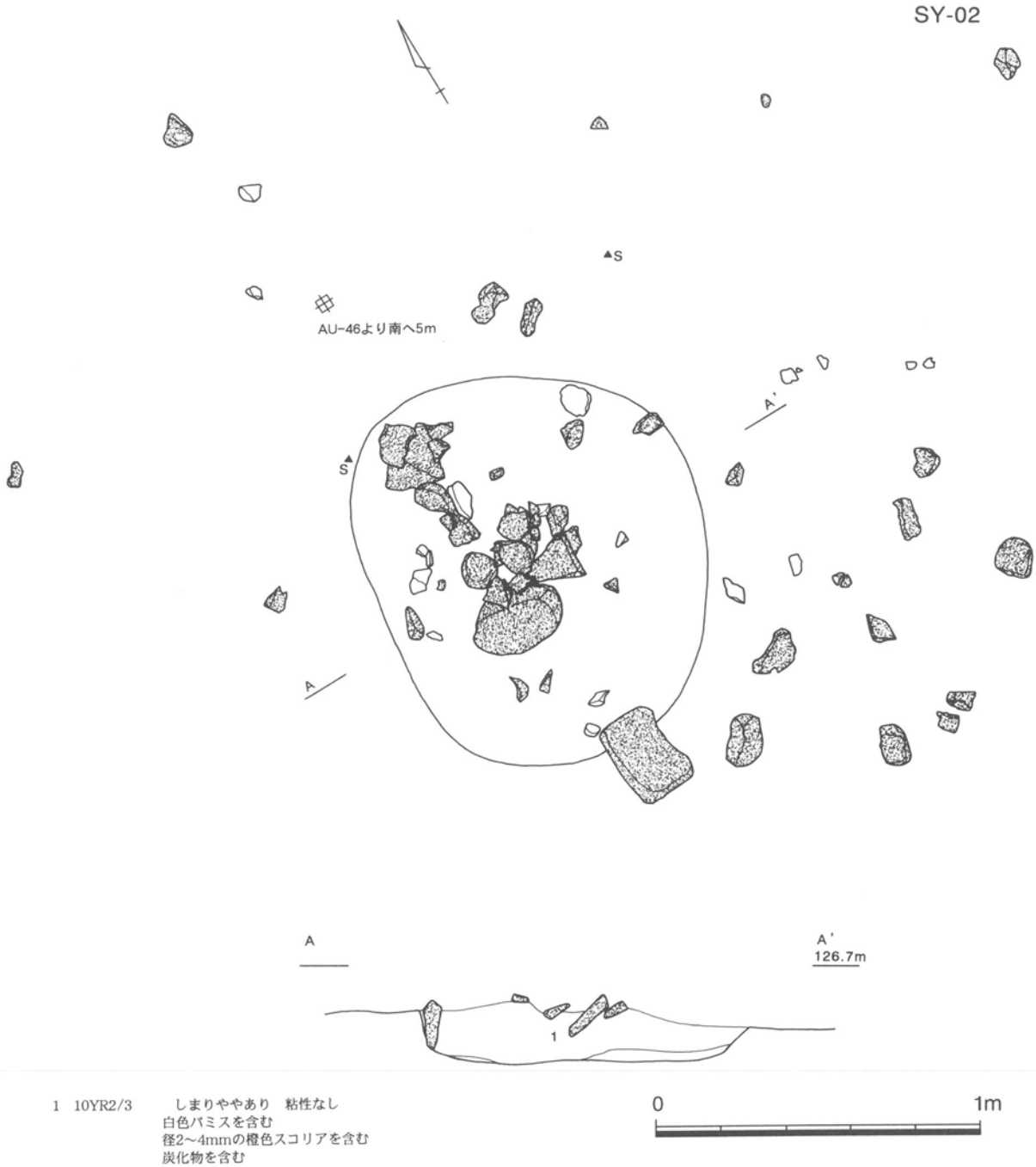
SX-02は1－1区の調査区南側で栗色層掘削中に検出された。当初は径約2mの範囲に炭化物が集中している部分を検出したが、周囲を精査したところ、周辺の富士黒層上面にも部分的に炭化物が集中する範囲を検出した。栗色層下面から富士黒層状面には炭化物が多く、広い範囲に分布するが、富士黒層中には炭化物の範囲が狭く、量も減少する。周囲に掘り込みは確認されず、レンズ状に炭化物が堆積した状況である。出土遺物はなく、東側に隣接した場所からSF-15が検出された。



第15図　桜畑上遺跡縄文面全体図

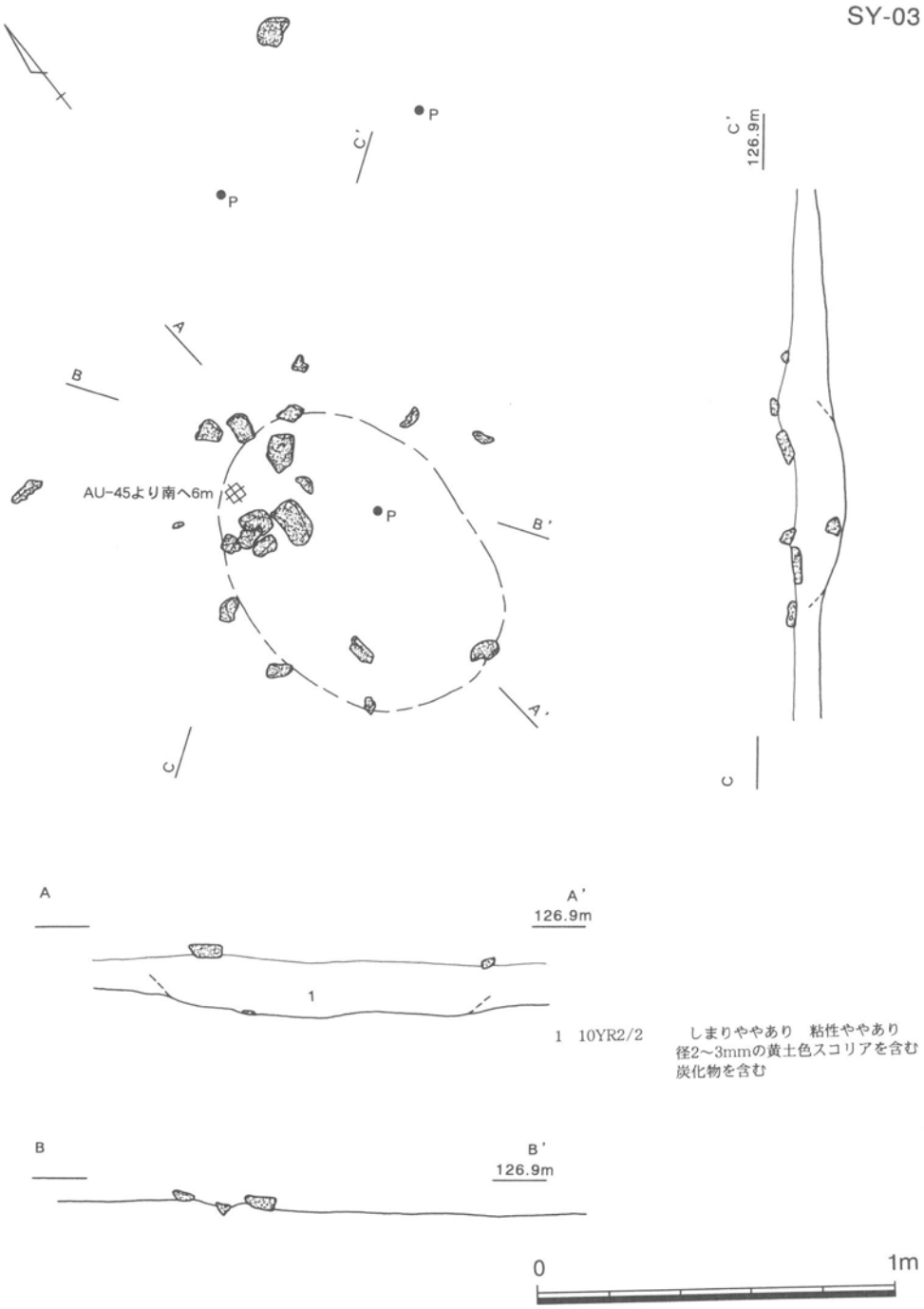
検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量	共伴遺物	構築時期
ＡＮ層	84	53	220㎝×200㎝	不明	不明	8.7kg	縄文土器 諸磯ｂ式	前期 諸磯ｂ式

第16図　縄文面遺構図１（集石）



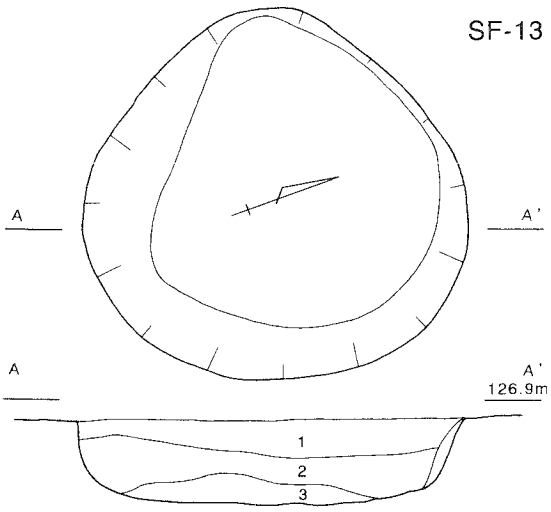
検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量	共伴遺物	構築時期
ＫＵ層	80	62	330㎝×230㎝	126㎝×105㎝	不明	42.5kg	黒曜石細片	不明

第17図　縄文面遺構図２（集石）

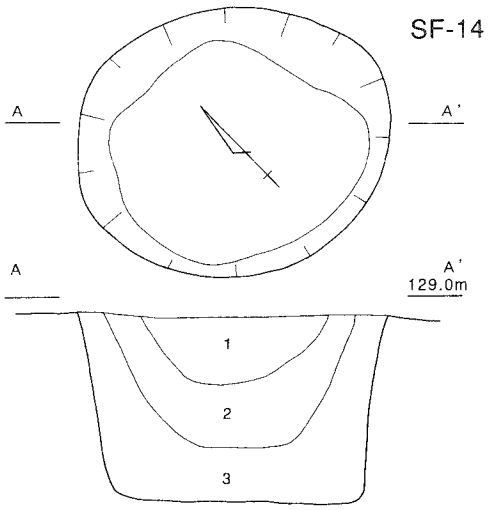


検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量	共伴遺物	構築時期
ＫＵ層	21	21	200㎝×135㎝	92㎝×66㎝	不明	2.2kg	縄文土器 下吉井式	早期カ 下吉井式

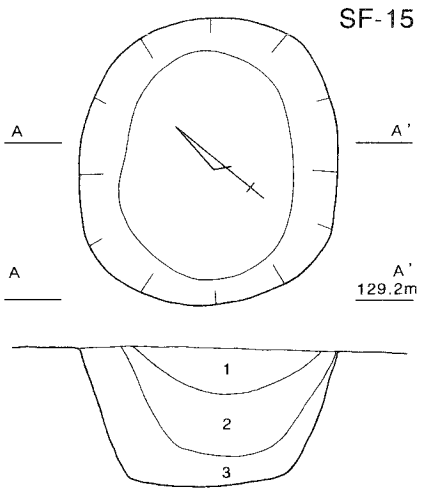
第18図　縄文面遺構図３（集石）



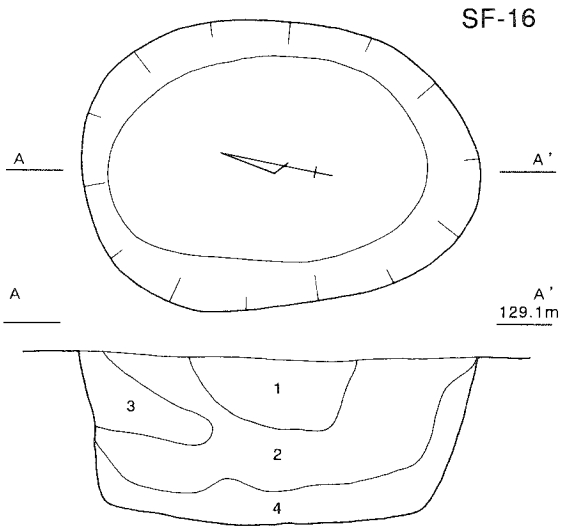
1　10YR2/2　　しまりなし　粘性なし
　黒褐　　色調は下層に比べてやや暗い
　　径1～2㎜の黄土色スコリアを含む
　　径1㎜以下の橙色スコリアをごくわずかに含む
　　白色パミスを少量含む
2　10YR2/2　　しまりなし　粘性なし
　黒褐　　径1～2㎜の黄土色スコリア・橙色スコリアを
　　少量含む
3　10YR2/2　　しまりなし　粘性あり　白色パミスを少量含む
　黒褐　　やや色調明るめ　漸移層的
　　径2㎜の黄土色・橙色スコリアを少量含む
　　炭化物を少量含む



1　10YR2/2　　しまりあり　粘性なし
　黒褐　　YL層の土がまだら状に含まれる
　　径2～3㎜の橙色スコリアを少量含む
2　10YR2/3　　しまりあり　粘性なし
　黒褐　　径1～2㎜の黄土色スコリアを少量含む
3　10YR3/3　　しまりあり　粘性あり　YL層を含む
　暗褐　　周囲の壁が流れ込んだような土



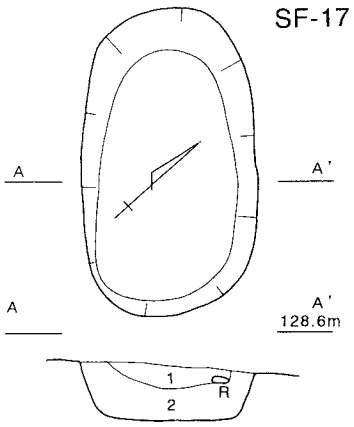
1　10YR2/1　　しまりあり　粘性弱
　黒　　径2～5㎜の炭化物を含む　スコリアほとんどなし
　　径2㎜の橙色スコリアをわずかに含む
2　10YR2/2　　しまりあり　粘性弱　上層よりスコリア多い
　黒褐　　径2㎜の炭化物を少量含む
　　径1㎜の黄土色スコリアを少量含む
3　10YR2/3　　しまりややあり　粘性あり
　黒褐　　YL層の土を含む　漸移層的な土
　　（周囲の壁が流れ込んだもの）



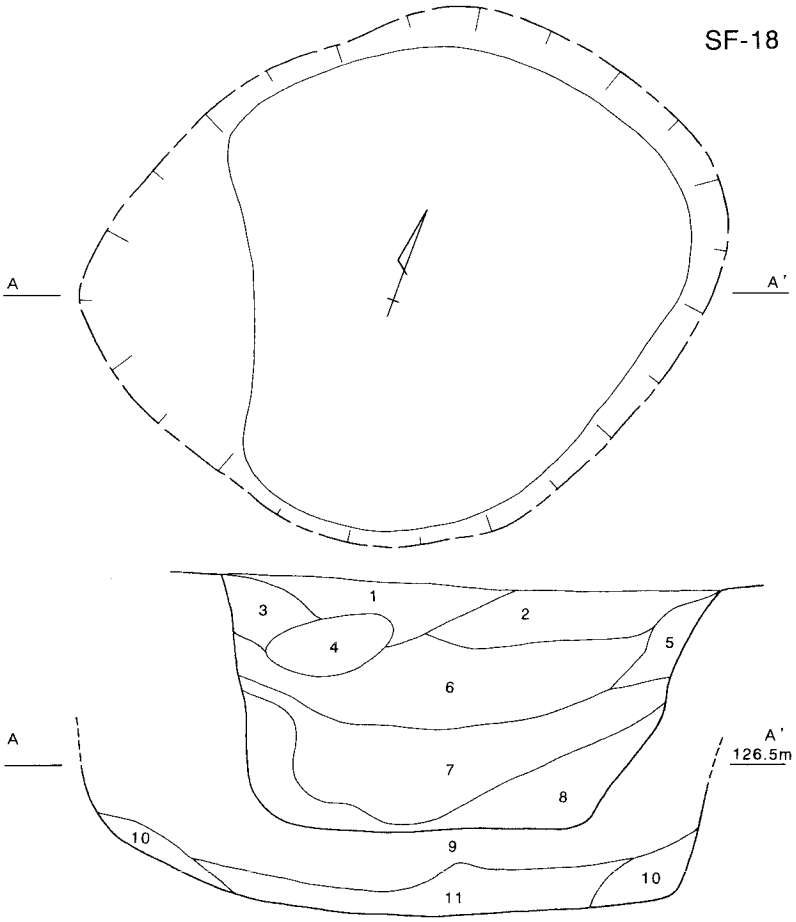
1　10YR2/1　　しまりあり　粘性弱
　黒　　炭化物を少量含む　スコリアほとんどなし
　　径2㎜の橙色スコリアをわずかに含む
2　10YR2/2　　しまりあり　粘性弱　上層よりやや色調明るい
　黒褐　　径1～5㎜の黄土色スコリアを少量含む
3　10YR2/3　　しまりあり　粘性あり
　黒褐　　混ざったようなYL層　YL層のブロックを含む
　　木根の攪乱か？
4　10YR3/3　　しまりあり　粘性あり　YL層の土をまばらに含む
　暗褐　　（周囲の壁が流れ込んでいる）SY-1

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-13	1-2区	98	95	(22)	円形　ＫＵ層上面で検出
SF-14	1-2区	85	72	(49)	ほぼ円形　漸移層状面で検出
SF-15	1-1区	75	68	(36)	ほぼ円形　漸移層状面で検出　上層に炭化物多い
SF-16	1-1区	106	75	(43)	楕円形　覆土より早期条痕文系土器出土

第19図　縄文面遺構図４（土坑）



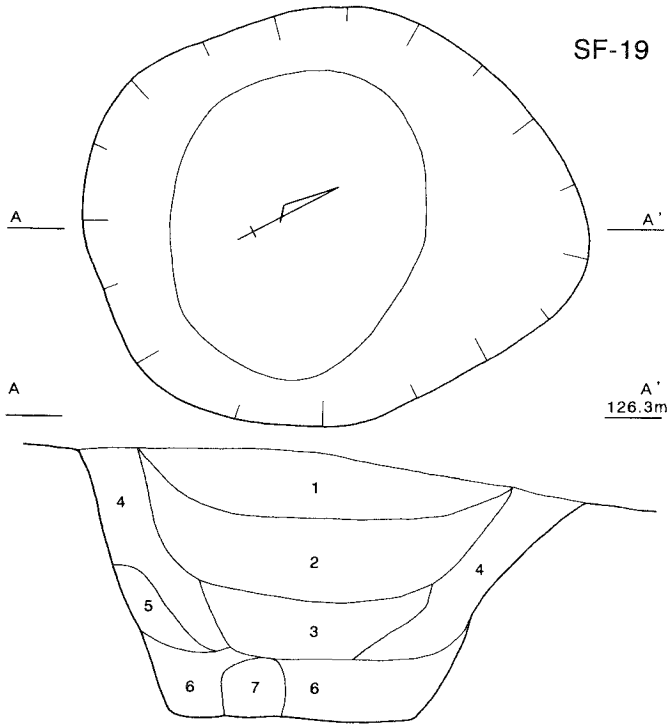
1 10YR1.7/1～2/2 しまりなし 粘性なし
黒～黒褐 色調やや暗い 径1～3㎜の
黄土色スコリアを含む
径5㎜の赤色スコリアを
わずかに含む
2 10YR2/2 しまりなし 粘性弱
黒褐 周囲のYL層の流れ込みに
黄褐色の土が混ざっている
炭化物を含む
径3～8㎜の赤色スコリア・
橙色スコリアを含む



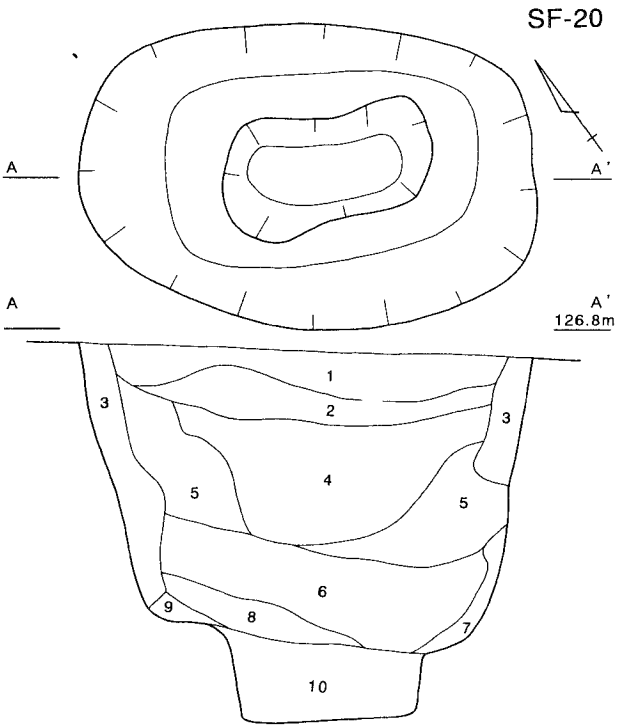
1 10YR2/2 しまり弱 粘性弱 色調やや暗い スコリアやや多い
黒褐 径1～5㎜の黄土色・赤色スコリアを含む
2 10YR2/2 しまり弱 粘性ややあり 色調やや明るい スコリアは少ない
黒褐 径1～2㎜の橙色・黄土色スコリアをわずかに含む
3 10YR2/3 しまり弱 粘性ややあり 色調やや明るい スコリアは少ない
黒褐 径1～2㎜の黄土色・赤色スコリアをわずかに含む
4 10YR2/3 しまり弱 粘性弱 色調明るい スコリアが密集している
黒褐 径1～7㎜の黄土色・橙色スコリアが密集
5 10YR2/3 しまり弱 粘性あり 色調明るい スコリアはほとんどない
黒褐 径1～2㎜の橙色スコリアをごくわずかに含む
6 10YR2/2～2/3 しまり弱 粘性ややあり 色調は7の層よりやや明るい
黒褐 径2～5㎜の橙色・黄土色スコリアを少量含む
7 10YR2/2 しまり弱 粘性ややあり 色調やや暗い
黒褐 径3～8㎜の橙色スコリアを少量含む
やや粒の大きなスコリアが目立つ
8 10YR3/3 しまり弱 粘性あり 色調やや明るい
暗褐 径2～5㎜の橙色スコリアを少量含む
9 10YR3/4 しまり弱 粘性ややあり YL層のような土
暗褐 径3～5㎜の赤色・橙色スコリアを含む
径2～5㎜の黄色スコリアを少量含む
10 10YR1.7/1 しまりあり 粘性あり BBⅠ層の崩落
黒 径3～7㎜の赤色・橙色スコリアを含む
11 10YR2/3 しまり弱 粘性ややあり YL層とBBⅠ層が混ざったような色
黒褐 10の層より色調が薄い 径2～7㎜の赤色・橙色スコリアを含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-17	1-1区	82	47	(15)	楕円形　YL層掘削中検出
SF-18	1-2区	172	134	(88)	ほぼ円形　YL層掘削中検出

第20図　縄文面遺構図5（土坑）



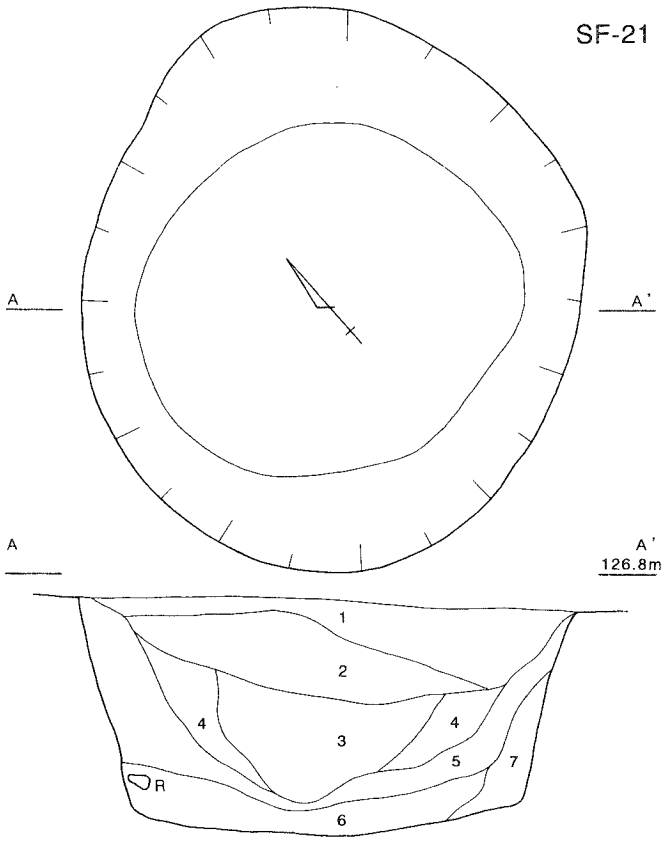
1 10YR2/3 黒褐　しまりややあり　粘性弱　色調やや暗い
径1～3㎜の赤色・橙色・黄色スコリアを含む
2 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性ややあり
径2～4㎜の赤色・橙色スコリアを含む
上層よりスコリアが多い　炭化物を含む
3 10YR2/3 黒褐　しまりややあり　粘性弱
径3～8㎜の赤色・橙色スコリアを少量含む
4 10YR3/4 暗褐　しまり弱　粘性あり
やや色調が明るい　YL層のような土
径3～5㎜の橙色スコリアを少量含む
5 10YR2/3 黒褐　しまり弱　粘性あり　色調暗い
径3～4㎜の黄土色・橙色スコリアを少量含む
6 10YR3/3 暗褐　しまり弱　粘性あり
NL層のブロックを含む
BBⅠ層力のブロックを少量含む
径2～8㎜の橙色・褐色スコリアを少量含む
7 10YR2/2 黒褐　しまりあり　粘性あり
BBⅠU層のブロックか？
径5～10㎜の橙色スコリアを含む



1 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性弱　径1～3㎜の黄土色スコリアを少量含む　スコリアが少なくやわらかな土
下部より土器出土
2 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性弱　径1～5㎜の黄土色スコリアを含む　径1～3㎜の赤色スコリアをごくわずかに 含む
炭化物を含む　やわらかだがスコリアがやや多い
土器の入っていた層
3 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性ややあり　スコリアはほとんどない
径1～3㎜の赤色スコリアをごくわずかに含む
壁のYL層が崩れたような土
4 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性あり
2の層よりしまっている（やや固くなる）
径2～3㎜の黄土色・橙色・褐色・灰茶色スコリアを多量に含む　ややしまっており 削ると歯ごたえがあるスコリアが多い
5 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性弱　4の層より色調が暗くスコリア量が少ない　径1～3㎜の灰茶色スコリアをわずかに含む　径5～8㎜の橙色スコリアをごくわずかに含む
6 10YR2/1 黒　しまり弱　粘性あり　色調は上層よりもやや暗い
径3～4㎜の黄土色・橙色スコリアを含む
7 10YR2/2～2/3 黒褐　しまりなし　粘性あり　スコリアはほとんどない
下部にSCⅠ層のスコリア（橙色スコリア）が混ざる
壁のYL層が崩れて流れ込んだような土
8 10YR2/2～1.7/1 黒褐～黒　しまりあり　粘性あり　やや固くしまる
径1～4㎜の赤色・橙色・黄土色スコリアを多量に含む
9 10YR2/3 黒褐　しまりあり　粘性なし　径3～4㎜の赤色・橙色スコリアを含む　色調は明るいが 固くしまる
10 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性ややあり
大形の炭化物を検出する

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-19	1-2区	134	102	(70)	ほぼ円形　ＹＬ層掘削中検出
SF-20	1-2区	121	80	(98)	楕円形　炭化物多い　覆土より中期五領ヶ台式土器出土

第21図　縄文面遺構図６（土坑）



1 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし
径1～3㎜の黄土色・橙色スコリアを
少量含む
左側の深くなる部分は
スコリアがほとんどない

2 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし
径1～5㎜の黄土色スコリアを含む
径2～3㎜の橙色スコリアを少量含む
炭化物を少量含む

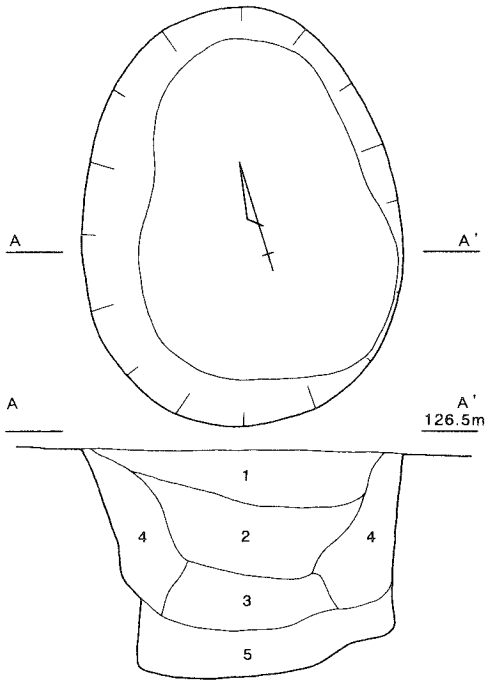
3 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性弱　やや色調暗い
ややしまり・粘性のある土
スコリア量が多い　径1～8㎜の
赤色・橙色・黄土色・灰茶色スコリアを含む
やや粒の大きいスコリアが目立つ

4 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性弱
径1～3㎜の赤色スコリアを少量含む

5 10YR2/2～2/3 黒褐　しまり弱　粘性弱
径1～2㎜の赤色・黄土色スコリアを少量含む

6 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性弱
色調やや暗い
径3～4㎜の赤色・橙色スコリアを少量含む

7 10YR3/3 暗褐　しまり弱　粘性弱　壁のYL層の崩れか？
スコリアはほとんどない
径2～5㎜の赤色スコリアをわずかに含む



1 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし
径5～6㎜の橙色スコリアを少量含む
径2㎜の黄土色スコリアを含む
炭化物をわずかに含む

2 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし
やや色調暗い　径2～3㎜の
赤色スコリア・黄土色スコリアを
少量含む
炭化物を含む

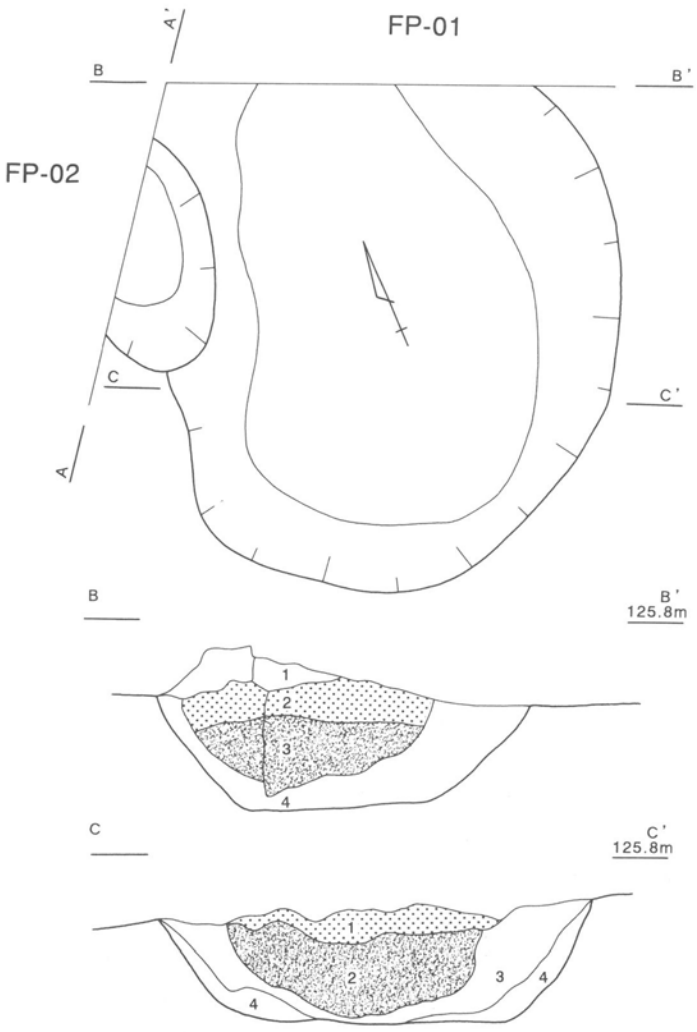
3 10YR4/4 褐　しまりなし　粘性あり
壁のYL層が崩れて流れ込んでいる
スコリアはほとんどない
径4～5㎜の橙色スコリアをわずかに含む
やや粒の大きいスコリアが目立つ

4 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性ややあり
スコリアは少ない
径1～2㎜の赤色スコリア・橙色スコリアを
少量含む
炭化物をわずかに含む

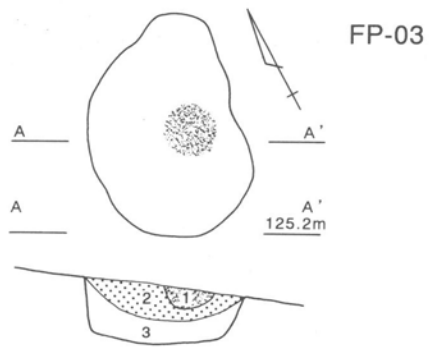
5 10YR2/2 黒褐　しまりあり　粘性あり
径2～3㎜の赤色スコリアを少量含む
炭化物をわずかに含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-21	1-2区	149	138	(62)	ほぼ円形　漸移層上面で検出
SF-22	1-2区	110	83	(60)	楕円形　漸移層上面で検出

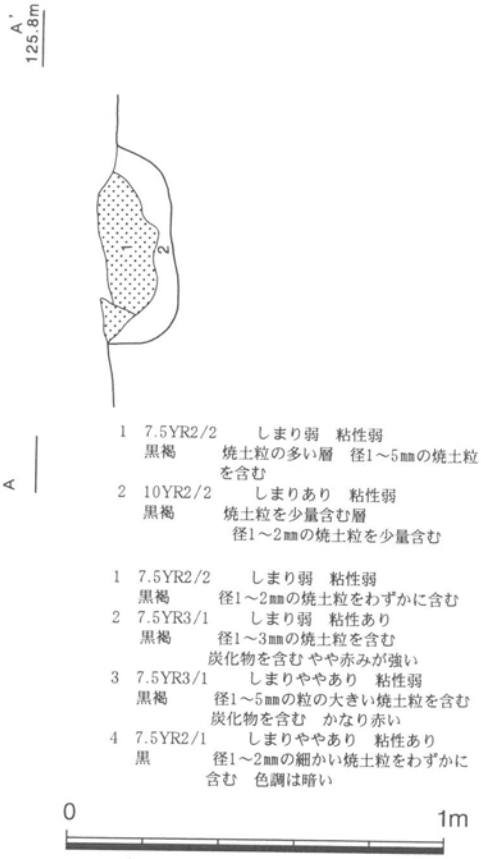
第22図　縄文面遺構図７（土坑）



1 7.5YR2/3　しまりなし　粘性なし
極暗褐　焼土粒を多く含む　炭化物を含む　焼土が巻き上がっているような状態
2 5YR3/6　しまりなし　粘性なし　厚い焼土層だが固く焼きしまっていない
暗赤褐　炭化物をわずかに含む
3 7.5YR2/2　しまりなし　粘性なし
黒褐　焼土粒・炭化物を含む
4 7.5YR2/2　しまりややあり　粘性ややあり　色調はやや暗い
黒褐　焼土粒・炭化物を含む

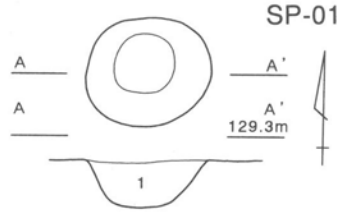


1 10YR2/2　しまりややあり　粘性ややあり　(大きな焼土粒のある範囲)
黒褐　径1～3㎜の焼土粒を含む　径2～3㎜の炭化物を含むが
5㎜大のものも見られる
2 10YR2/2　しまりややあり　粘性ややあり　上層と色調はほぼ同じ(焼土粒の多い範囲)
黒褐　径1㎜弱の焼土粒を含む　炭化物を含む
3 10YR2/3　しまりややあり　粘性あり　色調は明るめ(漸移層と混ざっている?)
黒褐　(焼土粒・炭化物を含む範囲)
径1㎜以下の焼土粒をわずかに含む　炭化物を少量含む

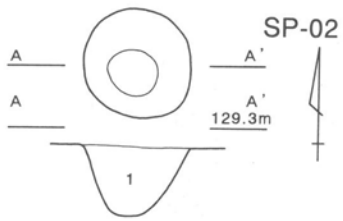


1 7.5YR2/2　しまり弱　粘性弱
黒褐　焼土粒の多い層　径1～5㎜の焼土粒を含む
2 10YR2/2　しまりあり　粘性弱
黒褐　焼土粒を少量含む層
径1～2㎜の焼土粒を少量含む

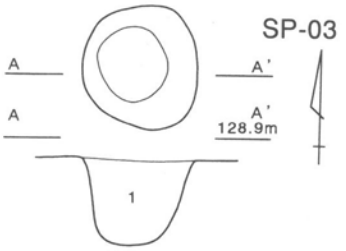
1 7.5YR2/2　しまり弱　粘性弱
黒褐　径1～2㎜の焼土粒をわずかに含む
2 7.5YR3/1　しまり弱　粘性あり
黒褐　径1～3㎜の焼土粒を含む
炭化物を含む やや赤みが強い
3 7.5YR3/1　しまりややあり　粘性弱
黒褐　径1～5㎜の粒の大きい焼土粒を含む
炭化物を含む　かなり赤い
4 7.5YR2/1　しまりややあり　粘性あり
黒　径1～2㎜の細かい焼土粒をわずかに含む　色調は暗い



1 10YR2/1　径1～2㎜のオレンジ色スコリアを少量含む
黒

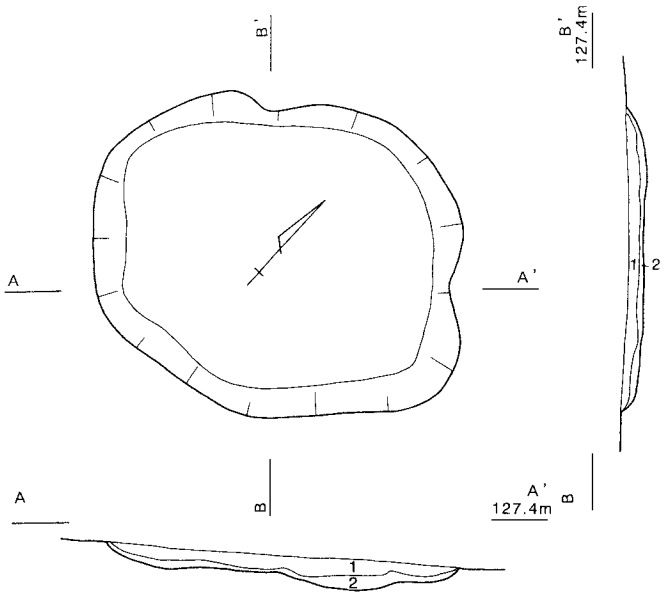


1 10YR2/1　径1㎜の黄土色スコリアを少量含む
黒



1 10YR2/1　径1㎜のオレンジ色スコリアをごくわずかに含む
黒

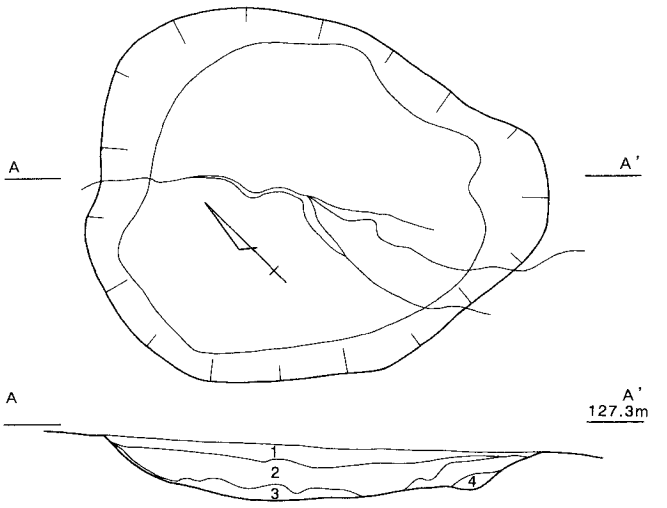
第23図　縄文面遺構図8 (焼土・小穴)



SB-01

1 10YR2/3 黒褐　しまり弱　粘性微弱
径1～4㎜の赤色・橙色・黄土色のスコリアを含む　炭化物を含む
2 10YR3/4 暗褐　しまり弱　粘性ややあり　漸移層的な層　径2～5㎜の赤色・橙色スコリアを含む　径1～2㎜の黄土色スコリアを含む

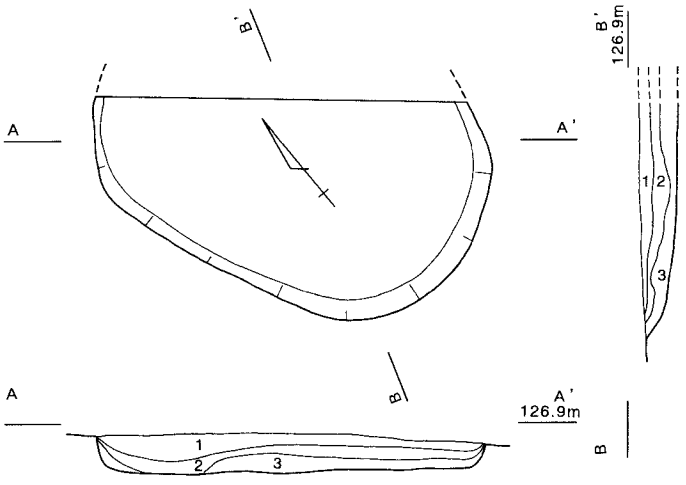
長径　214cm　　平面形　楕円形
短径　172cm
深さ　(32cm)



SB-02

1 10YR2/2 黒褐　しまりややあり　粘性なし
FB層のような土黒みが強い
径1～2㎜の黄土色スコリアを多量に含む　径1～5㎜の炭化物がまばらに分布する
2 10YR2/3 黒褐　しまりややあり　粘性なし
FB層のような土　上層より色調やや明るい　径2～5㎜の橙色スコリアをやや多く含む　径1～5㎜の炭化物を少量含む
3 10YR3/4 暗褐　しまりややあり　粘性弱
ZN層のような土　径2～5㎜の橙色スコリアを少量含む　炭化物をごくわずかに含む
4 10YR3/3 暗褐　しまりややあり　粘性弱
根の撹乱か

長径　238cm　　平面形　楕円形
短径　192cm　　備考　中央に断層あり
深さ　(30cm)



SB-03

1 10YR1.7/1 黒　しまり弱　粘性弱
径1～2㎜の黄土色・赤色スコリアを含む
白色パミスを含む
2 10YR1.7/1 黒　しまり弱　粘性あり
径1～3㎜の黄土色・褐色スコリアを含む
白色パミスを含む
径5～6㎜大のスコリアをわずかに含む
3 10YR2/3 黒褐　スコリアなし　ZN層のような層

長径　(214cm)　　平面形　楕円形
短径　(100cm)　　備考　調査区壁面で検出
深さ　(20cm)

第24図　縄文面遺構図９（竪穴状遺構）

第4節　縄文時代の遺物

縄文時代の遺物は1－1区、1－2区ほぼ全域にわたって検出された。堆積が悪く、分層して取り上げることが難しかったため、掘り下げるごとに機械的に層位名を付して取り上げたが、遺物のほとんどは暗褐色土層（AN層）から富士黒層（FB層）の出土であった。下部の漸移層は縄文土器が旧石器とが混在している層であるが、量的にはわずかである。

1　土器

縄文土器は量的には破片がテンバコ3箱程度で量的にはあまり多くない。しかし、早期前半の撚糸文、押型文から後期の堀之内II式まで時期幅が広く、長期にわたってこの付近に人間が住んでいたことを示している。時代・形式等により、大きく6グループに分けられ、時期が不明瞭なものを最後にまとめた。各時期の土器の分布を第25～26図に示した。時期によって出土にやや偏りが見られる。

(1)　第1群土器（第27図～第28図40）

早期前半の土器である。1～5は撚糸文を施文する。ほとんどが1－2区の南端の斜面で出土した。1～3に比べ4、5は原体の縄が細く、器面も固く調整されている。6は縄文を施文する。胎土は前述の土器に似る。7は細かい米粒状の押型文を施文すると思われる。胎土が1～3に似るため、磨滅した撚糸文の可能性も残る。

8～40は楕円押型文である。土器の厚さ、原体の違い、含有物等の胎土の違いから、少なくとも10個体以上の土器の存在が確認される。文様は沈線を伴う細久保2類に相当するもの（8～13）と器壁の厚く高山寺式と考えられるもの（32～40）、内面に縦の条痕が残り黄島式と推定されるもの（30、31）が各1個体分で、他は細長い米粒状の楕円を全面施文するものが大半を占める。円形に近い楕円の文様のもの（27～29）もあるが、量的にはわずかである。胎土は鉱物等の粒径に左右されるところが大きいが、粗い物が多い。胎土に繊維を含み、長石を多く含む。金雲母は入っているものが多い。

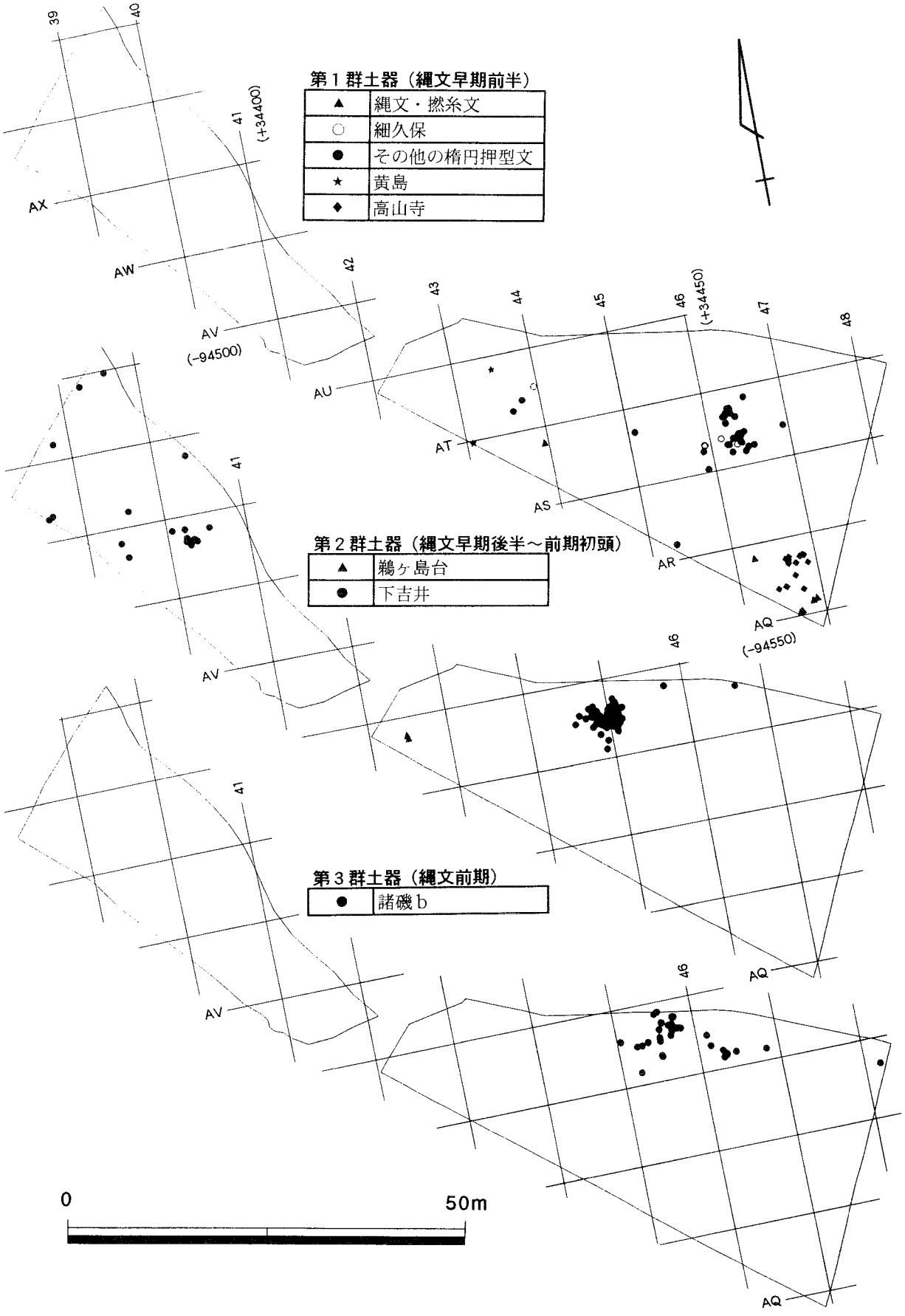
細久保2類に相当するものと、粒の細長いものが1－2区の南半部の尾根の肩でほぼまとまって出土した。また、円形に近い楕円のものと、黄島式と推定されるものは1－2区の北西部で出土した。高山寺式と考えられるものは南端の斜面より出土した。

14は欠損が著しいが、胴部に磨滅した楕円押型文が残存している底部で、楕円押型文の底部の一形態であることがわかる。15～18は比較的楕円の間が密であるが、19～26は楕円の上下の列の間隔がやや開いている。27～29は楕円の粒が円形に近く彫りも深くない。29は密だが、27はやや楕円の間隔が広くなっている。30～31は不明瞭な楕円が散在し、内面の文様の方が際立っている。32～40は器壁が1.5cmと非常に厚く、文様も不明瞭になっている。撚糸文と併行する押型文と、明瞭な押型文、不明瞭な押型文と幅広い時期差が存在するようである。

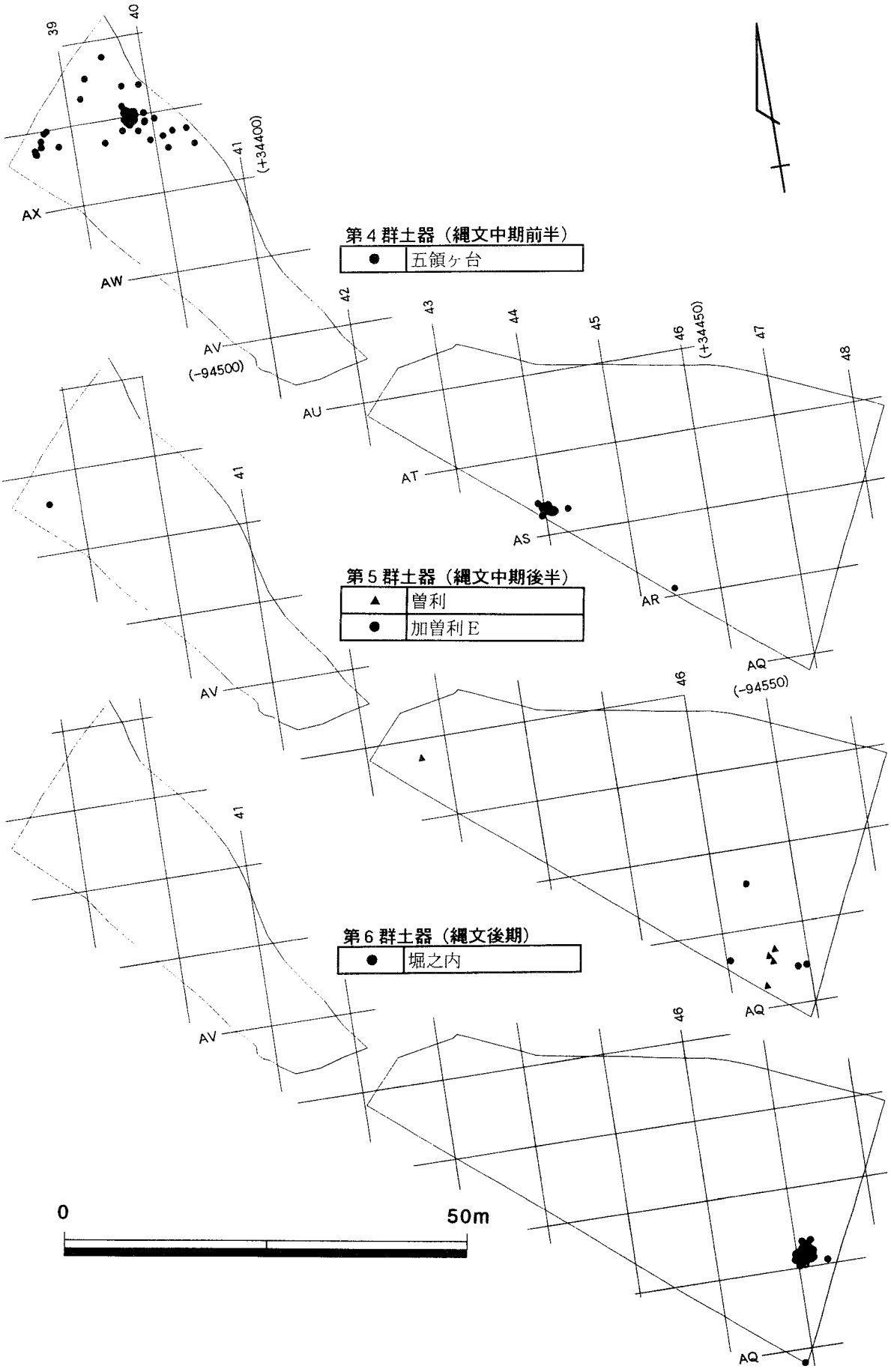
(2)　第2群土器（第28図41～第29図）

早期から前期初頭の条痕文系土器群である。早期の鵜ケ島台式(41、42)、早期末から前期初頭の下吉井式（43～55）、下吉井併行期の条痕文土器（56～65）に細分される。鵜ケ島台式は口縁部文様帯の破片が2点、下吉井式は4個体が確認される。このほかに下吉井併行期の条痕文系が少なくとも6個体存在すると考えられるが、これらは下吉井式の胴部である可能性もある。

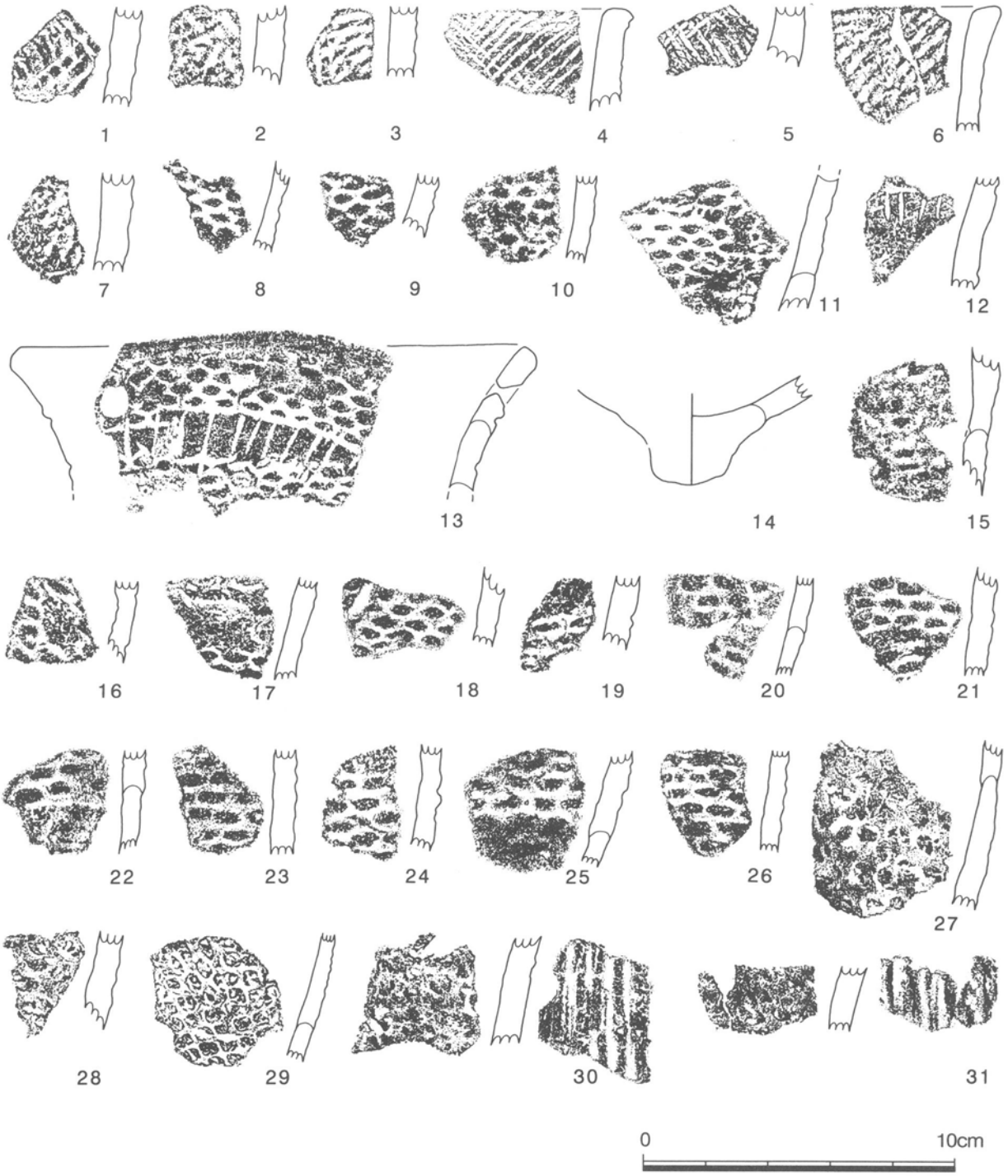
41、42は鵜ケ島台式の口縁部文様帯の小片と考えられる。41は隆帯の交点の円形刺突が残り、42は区画内の条線が残る。1－2区の北西端で出土した。



第25図　桜畑上遺跡各期土器分布図１

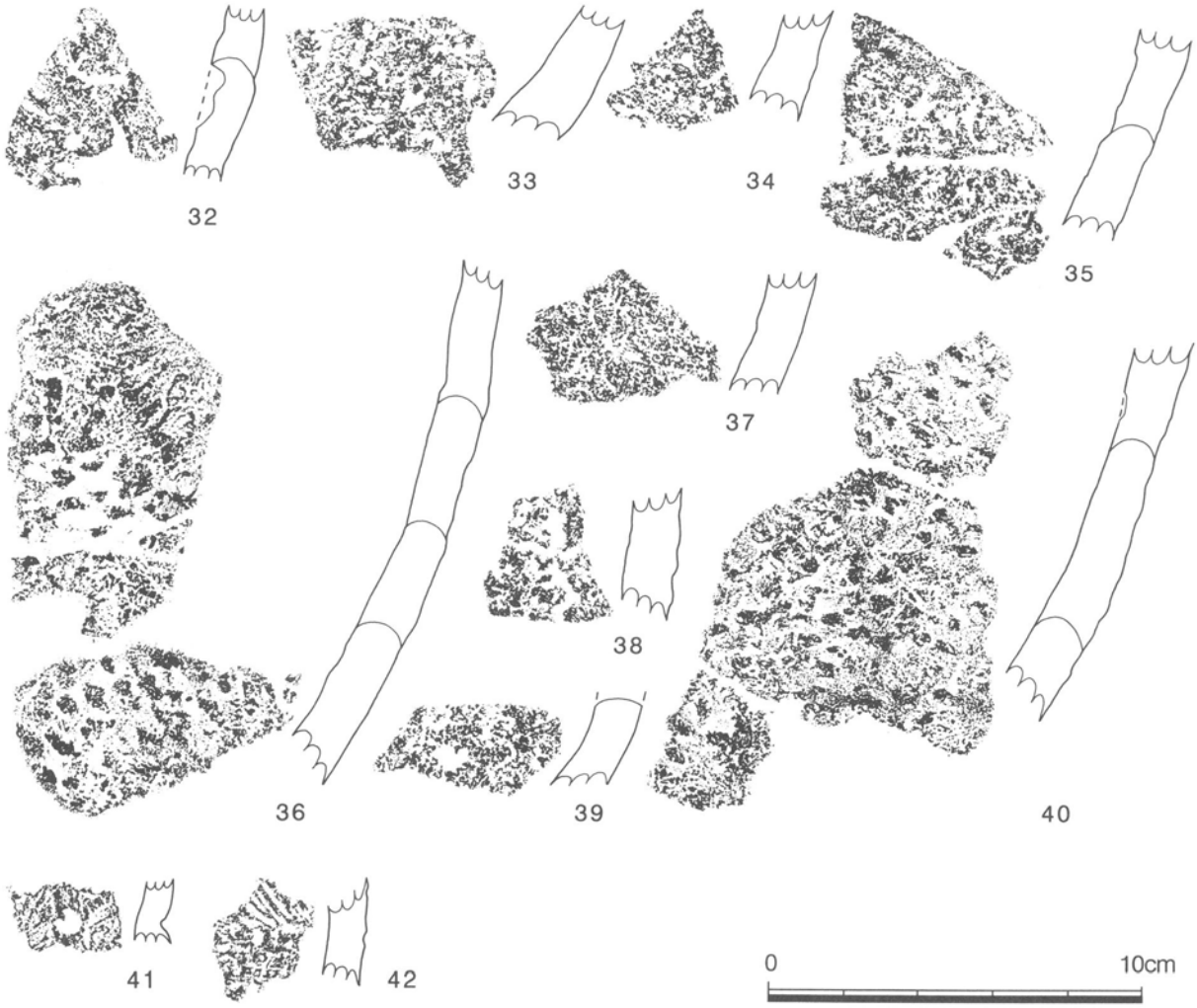


第26図　桜畑上遺跡各期土器分布図２



第27図　第１群土器実測図

43～55は下吉井式の口縁部文様帯の破片である。口縁部の文様はみな浅い沈線である。43～53は細い半截竹管状の工具で波状の文様を描く。文様帯と胴部の間に低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕文を斜めに施文する。54、55も半截竹管による沈線と思われるが、縦方向の線も見られ、前述のものより文様が複雑で沈線も明瞭である。下吉井式の土器は１－１区の中央部と、１－２区中央部の東壁寄りSY-03周辺で出土した。



第28図　第１～２群土器実測図

(3)　第３群土器（第30図）

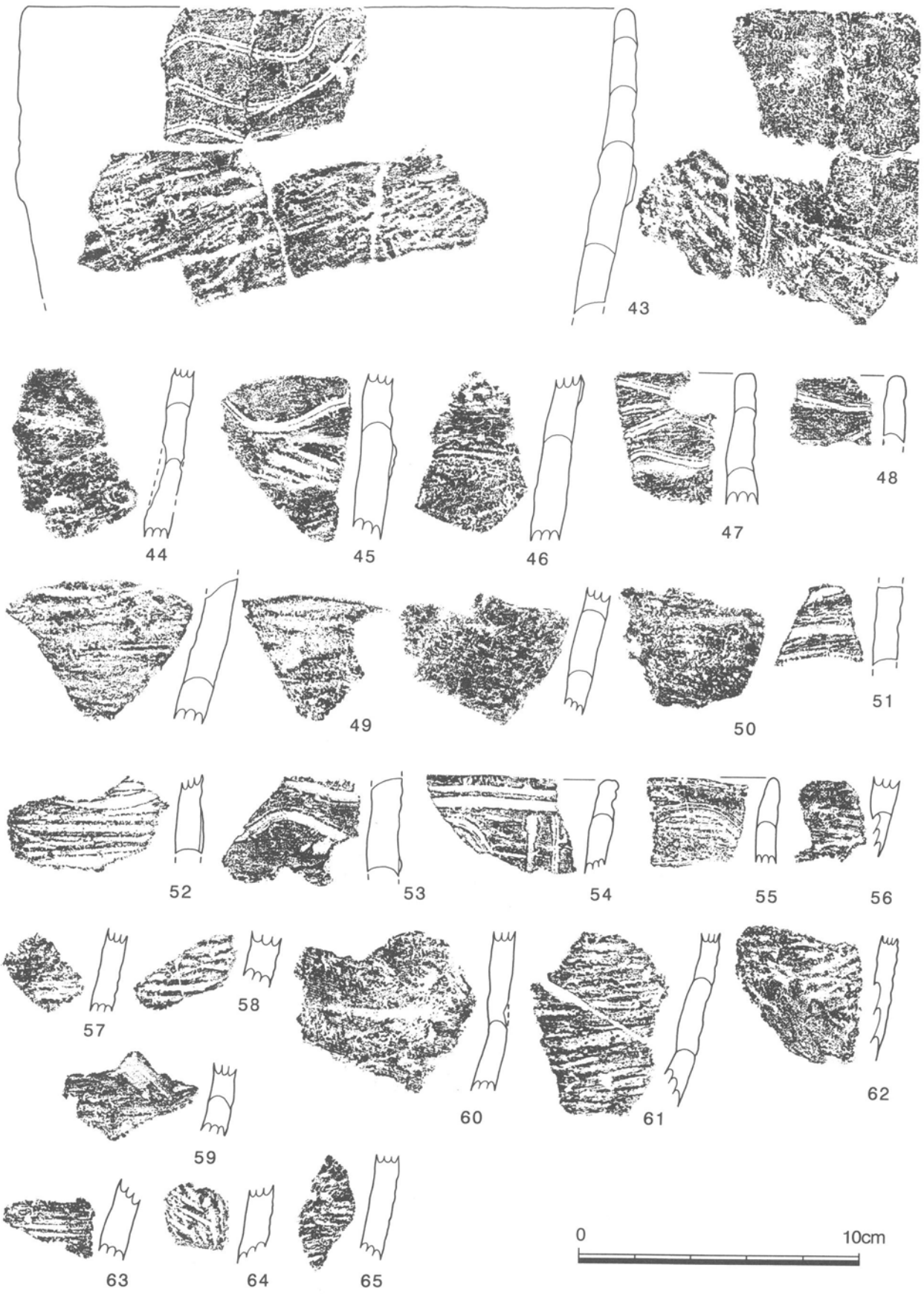
前期の諸磯ｂ式の土器群である。浅鉢と深鉢が各１点、他に小片が２点出土している。66～69は口縁部が内湾する浅鉢である。口唇部には文様は欠損しているが、隆帯を貼付けていたと考えられる三角形の突起が１カ所残る。色調も暗く、非常に固く焼きしまっている。70は無文に二条の隆帯の見える口縁部破片で、前述の土器よりやや古い段階のものと考えられる。71は半截竹管による二条の沈線の残る小片で、70と近位置的に近いため、諸磯式と判断した。72は鍔付の浅鉢である。入組木葉文を鍔部分に描き、内部には赤色の顔料がわずかに残る。66～69に比べ、やや焼きが悪く脆い。１－２区の中央部東壁寄りSY-01、SY-02周辺で出土した。

(4)　第４群土器（第31図～第32図83）

中期前葉の五領ケ台式土器である。いずれも遺構に関連して出土し、３個体が確認される。73～81は半截竹管状の工具で文様を描く胴部破片でPG-01から出土した。樽状の胴を持つ器形と考えられる。沈線文様の破片は中途で文様が途絶する無文部分があり、文様が胴部を一周しない。文様も破片が多く全容が不明であるが、胴上部に横方向の文様帯があり、帯状に下垂する文様帯が存在するようである。82は円筒状の深鉢で、SF-20の覆土上部から出土した。完形に近い出土であるため、器形と全体の文様が明確である。やや胴の長い器形である。先に隆帯を貼付けてから隆帯と胴下半の地文に縄文を施文していることがわかる。区画内の文様を刻むのは最後となる。隆帯上は隆帯に沿って施文するが、胴下部は上下方向に回転して広範囲を施文している。83は深鉢の口縁部でPG-01から出土した。ほぼ口縁だけが

第5表　第1群土器観察表

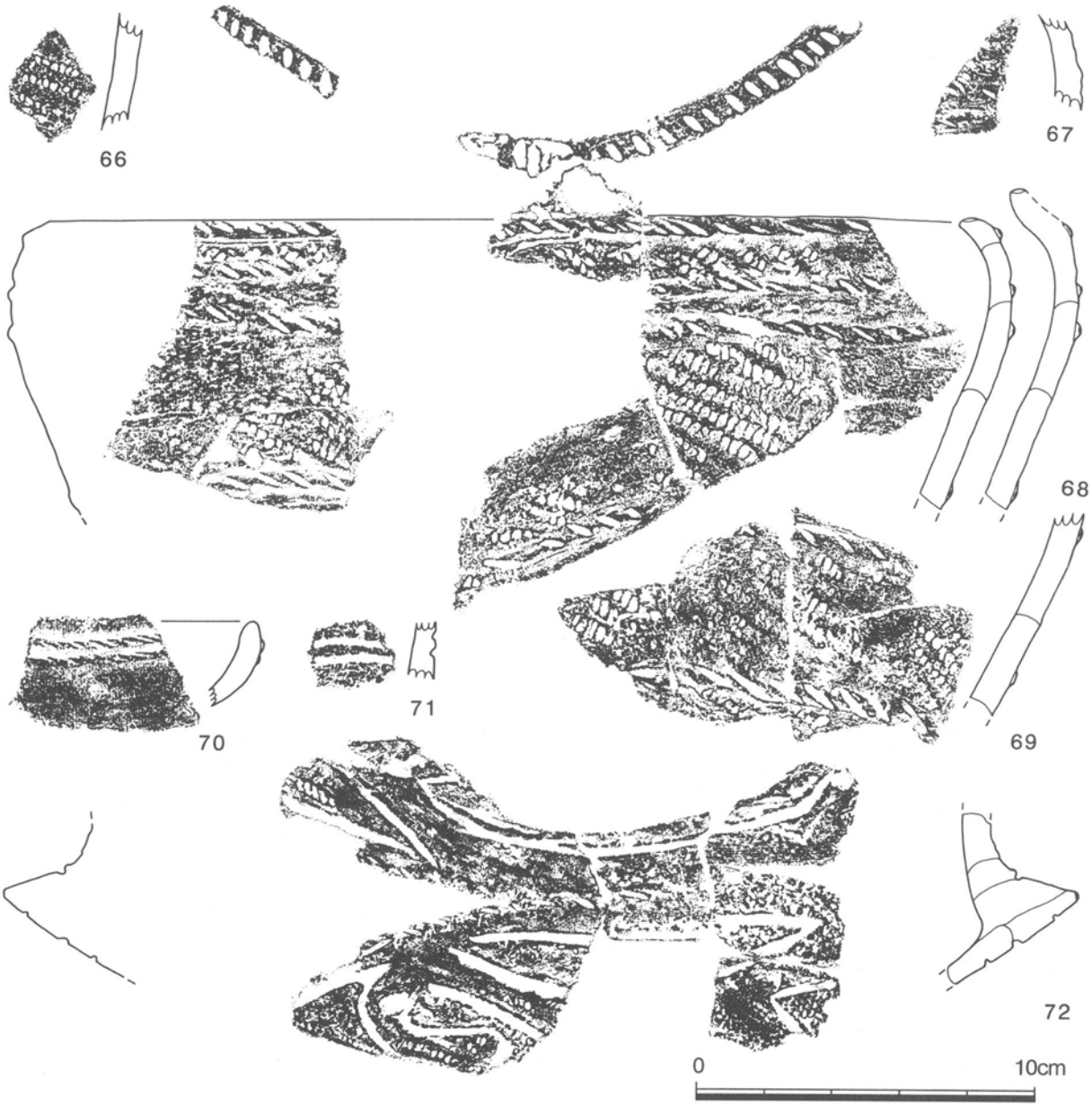
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
1 第27図 図版16	P431	1-2区 AN 包含層	早期前半 撚糸文	深鉢ヵ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) Rの撚糸文を網目状に施文する。内面ナデ。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
2～3 第27図 図版16	P482、709	1-2区 AN～ ZN 包含層	早期前半 撚糸文	深鉢ヵ 厚さに多少の差あり。	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 撚糸文を網目状に施文。摩滅しているため撚方向不明。1より密接して施文している。内面ナデ。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
4～5 第27図 図版16	P579、621	1-2区 KU 包含層	早期前半 撚糸文	深鉢ヵ	口縁部、胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) Rの撚糸文を網目状に施文。内面磨き。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
6 第27図 図版16	P670	1-2区 KU 包含層	早期前半 縄文	深鉢ヵ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) LRの縄文を横方向に施文。内面磨き。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
7 第27図 図版16	P481	1-2区 AN 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 米粒大の細かい押型文。内面磨き。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
8～13 第27図 図版16	P4755、343、330、337、643、617	1-2区 KGP ～FB 包含層	早期前半 押型文 (楕円) 細久保2類	深鉢 口縁やや外反ぎみ。補修孔あり。	口縁～胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR4/4　褐	(1) 細長い楕円押型文。口唇部は無文で横方向に面取りするようになでている。口縁に近い部位に細く無文体を作り、上下方向の沈線を施す。内面は磨いている。 (2) 長石、石英、金雲母を多く含む。黒雲母を少量含む。	焼成良好。固く焼き締まる。胎土密。
14 第27図 図版16	P608-609-344	1-2区 KU～ FB 包含層	早期 押型文 (楕円)	深鉢 尖底	乳頭状の底部～胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR5/3 にぶい褐	(1) 磨滅が著しいが、細長い楕円の押型文。内面はナデ。 (2) 長石、金雲母を多く含む。石英を少量含む。	焼成がやや悪い。胎土はやや粗い。 同一個体あり：P414、415、611、
15～16 第27図 図版16	P699-704、706	1-2区 AN～ ZN 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ 尖底ヵ	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 5YR5/6　赤褐	(1) 細長い楕円文を全面に施文。 (2) 長石、石英、金雲母多い。輝石を少量含む。繊維がやや多い。	焼成良好。胎土粗い。 同一個体あり：410、413、416、615、703
17～18 第27図 図版16	P702、618	1-2区 KU～ FB 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ 尖底。他の物に比べやや薄手。	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR4/4　褐	(1) 細長い楕円押型文。底部側面まで施文している。裏面は磨滅のため不明だが、ナデか。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石を少量含む。	やや焼成悪い。胎土密。 同一個体あり：P417、619、701
19～26 第27図 図版16	P411、607、613、345、700、610-612、616、705	1-2区 AN～ FB 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 細長い楕円で、文様の間がやや広く空いた原体を使用している。原体の彫りも深く、文様が明瞭である。内面はナデ。 (2) 長石を多く含む。石英、輝石、金雲母を少量含む。	焼成良好。鉱物の粒径が大きく、胎土が粗く見える。
27～28 第27図 図版17	P450、578	1-2区 AN～ KU 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ	胴部破片 5YR4/4 にぶい赤褐 5YR3/2　暗赤褐	(1) やや粒径の大きい、円に近い楕円押型文を施文する。施文方向が横、斜めと一定していない。内面は磨き。 (2) 2～5㎜の白色と赤色の小礫を含む。繊維を含む。長石、石英を多く含む。	焼成良好。胎土密。やや厚手。
29 第27図 図版17	P336	1-2区 FB 包含層	早期前半 押型文 (楕円)	深鉢ヵ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) やや粒径の大きい、円に近い楕円押型文を施文する。原体の彫りが浅い。内面は磨き。 (2) 繊維を多く含む。非常に細かい石英を含む。	焼成良好。胎土密。やや薄手。
30～31 第27図 図版17	P577、593	1-2区 KU 包含層	早期前半 押型文 (楕円) 黄島式	深鉢ヵ 外反している	口縁部付近破片 7.5YR4/4　褐	(1) 粗く散在する楕円状の押型文を施文する。内面は幅の太い条痕文を縦に施文。 (2) 繊維を含む。径1～1.5㎜の小礫を含む。長石、石英を含む。	焼成良好。胎土密。
32～40 第28図 図版17	P659-711、666、673、668-669、662-663-661、665、664、660、476-710、	1-2区 AN～ FB 包含層	早期 押型文 (楕円) 高山寺式 (新)	深鉢 尖底。厚手で底部に向かってさらに厚くなる。底は乳房状で緩やかに尖る。	底部～胴部 7.5YR7/6　橙 10YR8/4　浅黄橙	(1) 器面全体に細長い米粒状の楕円押型文を施す。文様の粒径がやや大きい。底部周辺は無文。内面横方向の弱い擦痕あり。 (2) 繊維を多く含む。白色粒子、石英をわずかに含む。輝石を含む。	焼成やや悪く、非常に脆い。やや厚手。 同一個体あり：P667



第29図　第２群土器実測図

第6表　第2群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
41～42 第28図 図版18	P645、576	1-2区 KU～ FB 包含層	早期後半 鵜ケ島台式	深鉢カ	胴部上部の文様帯の破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 幅3㎜の細い隆帯を貼り、その交点に円形の刺突を行なう。隆帯の内部は浅い条線によって充塡される。内面は劣化により不明。 (2) 繊維を多く含む。径1～2㎜の白色の小礫を含む。輝石、石英を含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
43～50 第29図 図版18	P383-443-376-496-374-392-386、445-483、369、491-442、434、604、375、437	1-2区 AN～ KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 丸底カ。やや厚手で繊維が目立つ。 口径21.7cm。	口縁部1/6残存、胴上部1/4残存 7.5YR6/6　橙 10YR5/4　にぶい黄褐	(1) 口縁部文様帯は丸棒で波状の浅い沈線を三条描く。文様帯と胴部との境には太い隆帯を貼付け、上からヘラ状の棒で幅の広い斜線を描く。胴部は横方向の条痕文を施す。内面は摩滅しているが、横方向の擦痕が残る。 (2) 繊維を多く含む。白色粒子、石英、輝石、金雲母を少量含む。	焼成良好。胎土緻密。胴部下部は二次的に火を受けて赤化している。 同一個体あり：489-379-490-488、435-373、444-690、485-597、492-382、329、368、370、371、372、377、380、381、385、388、436、438、439、440、441、484、486、487、493、494、495、595、596、602、2179
51～53 第29図 図版18	P575、545、561	1-1区 KGP～ KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 丸底カ	口縁部文様帯破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁部文様帯は少なくとも2条の浅い沈線で波状の文様を描く。胴部との境に低い隆帯を貼付け、横方向に幅広の条痕をつける。内面は横方向に擦痕が残る。 (2) 径1㎜以下の長石目立つ。白色の小礫、繊維を含む。輝石、石英をわずかに含む。	焼成良好。胎土密。外面やや赤化。 同一個体あり：573、627
54 第29図 図版18	P562	1-1区 KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 丸底カ	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 5YR5/6　明赤褐	(1) 口縁部文様帯は上に2条のやや太い沈線を口縁に平行するようにに引き、下に波状の沈線1条と、上下方向の沈線2条を引く。内面ナデ。 (2) 径1～2㎜の白色の小礫を含む。輝石を少量含む。長石、石英を含む。繊維を少量含む。	焼成良好。胎土は小礫を含有するため、やや粗い。二次的に火を受けて赤化している。
55 第29図 図版18	P688	1-1区 ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 丸底カ	口縁部破片 10YR4/3　にぶい黄褐 10YR5/4　にぶい黄褐	(1) 横方向に擦痕が残る。少なくとも2条の浅い幅広の沈線で波状の文様を描く。内面は横方向のナデ。 (2) 繊維を含む。白色の小礫、石英、輝石を含む。	焼成良好。胎土密。外面スス付着。
56～61 第29図 図版18	P680、677、676、326、558、683、	1-1区 KU～ ZN 包含層	早期～ 前期初頭 条痕文系	深鉢カ	胴部破片 10YR6/6　橙 10YR5/4　にぶい黄橙	(1) 幅の広い条痕文を施すが、無文の部分もある。内面はナデ。 (2) 繊維を含む。径1～2㎜の白色の小礫を含む。輝石、長石、石英を含む。	外面は焼成良好。内面はやや焼成が悪く、脆い。 同一個体あり：679、682、654、681
62 第29図 図版18	P692	1-1区 SF-16 覆土 SF-16	早期～ 前期初頭 条痕文系	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR4/3　褐	(1) 貝殻条痕文を施文。内面は欠損が著しく不明。 (2) 石英、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土密。やや薄手である。外面が二次的に火を受けて赤化している。外面スス付着。
63 第29図 図版18	P327	1-1区 FB 包含層	早期～ 前期初頭 条痕文系	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4　にぶい黄褐 10YR5/4　にぶい黄褐	(1) 内外面とも条痕文を施文。 (2) 繊維を含む。石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好。胎土密。
64 第29図 図版18	P698	1-2区 ZN 包含層	早期～ 前期初頭 条痕文系	深鉢カ	胴部破片 2.5Y6/4　にぶい黄 10YR4/2　灰黄褐	(1) 条痕文を横方向と斜め方向に施文。内面はナデ。 (2) 繊維を含む。長石、石英を含む。	焼成やや良好。胎土緻密。色調がやや黄白色を帯びる。
65 第29図 図版18	P714	1-2区 ZN 包含層	早期～ 前期初頭 条痕文系	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR5/4　にぶい黄褐	(1) 条痕文を横方向に施文。内面はナデ。 (2) 繊維を含む。径1～2㎜の小礫を含む。輝石、長石、石英を少量含む。	焼成良好。胎土やや密。二次的に火を受け、赤化している。



第30図　第３群土器実測図

まとまった状態で出土した。胴部は樽形をすると思われるが、これに対応する胴部破片は出土しなかった。

(5)　第５群土器（第32図84～90）

中期中葉から後葉の土器群である。量的には少ない。34は勝坂式の口縁部破片である。85～86は曽利III式以降、87～90は加曽利E３式と考えられる。88～90は同一個体であろう。１－２区南端の斜面で出土した。

(6)　第６群土器（第32図91・92）

後期堀之内式の土器である。91は土器集中PG-02の出土で、土器片がほぼ１個体となった。やや胴部

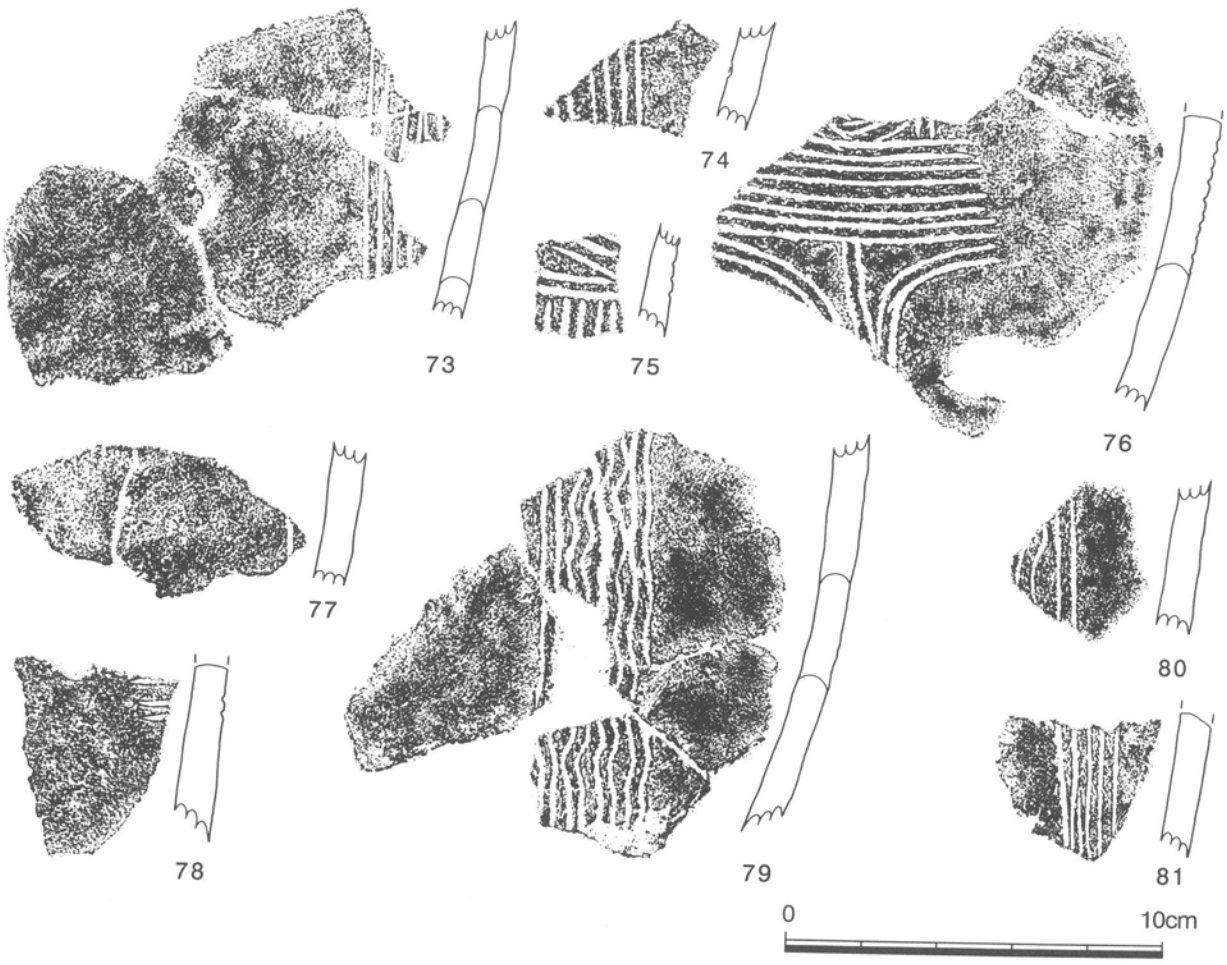
第７表　第３群土器観察表

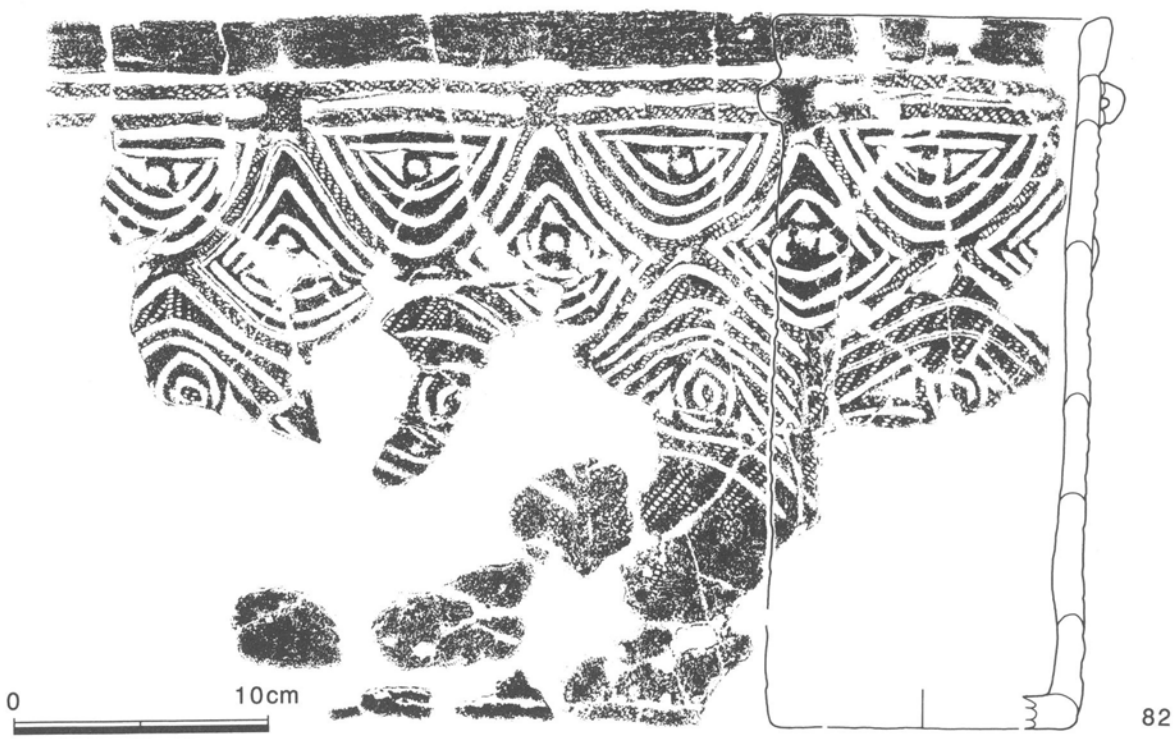
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
66～69 第30図 図版19	SX01P1、 SX01P2、 P395-397- 600-402- 724-400- 599、 391-393- 394-387、	1-2区 AN～ ZN SX-01	前期後半 諸磯ｂ式中 段階	深鉢 口縁部はやや内湾し、口唇部に三角形の突起を持つ。 口径26cm	口縁部1/4残存、胴部1/3残存。 10YR3/1　黒褐 7.5YR4/6　橙	(1) 地文にRLの縄文を施文。細い隆帯を貼付け、隆帯上に斜めに刻みを入れる。口唇部に上から刻みを入れる。隆帯は口縁部に３条、胴部に１条残存する。口縁部隆帯は１本目は口縁を縁取るように貼り、他の２本は波状に貼付ける。内面は磨き。 (2) 長石、金雲母を多量に含む。石英、輝石を含む。	焼成良好。胎土密。 同一個体あり： P396、390、446、448
70 第30図 図版19	RG01P1	1-2区 AN SY-01	前期後半 諸磯b式	浅鉢 口縁部はやや内湾する。	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 5YR5/6　明赤褐	(1) 口縁部に２本の細い隆帯を口縁に平行するように貼付け。隆帯上にはヘラで斜めに刻みを入れる。内面は横方向の磨き。	焼成良好。胎土密。
71 第30図 図版19	RG01P2	1-2区 KU SY-01	前期後半 諸磯b式か	不明 やや薄手。	小片 10YR6/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 半截竹管による二条の線を描く。内面はナデか。 (2) 白色粒子を多く含む。径1～2㎜の白色の小礫、赤色の小礫、長石、石英を含む。	焼成良好。胎土は小礫のためやや粗い。
72 第30図 図版19	P408-405- 406-407、	1-2区 AN～ KU 包含層	前期後半 諸磯ｂ式中 段階	浅鉢 鍔付。鍔部分は非常に厚い。鍔最大径31.8cm	鍔部分1/5残存。鍔周辺の胴部破片。 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 地文にRLの縄文を施文。ヘラで入組木葉文を鍔の上下に描く。内面は横方向に磨く。 (2) 径１～３㎜の小礫を含む。細かい長石、石英を含む。黒雲母を微量含む。	焼成良好。口縁に近いところが良く焼き締まる。内面に朱が残る。 同一個体あり： 389-401-399、165、398、403、404、419、430、606、601、2178

が膨らみ、加曽利Ｂ式へ変化する直前の形態と考えられる。92はこれと併行すると考えられる粗製土器である。１－２区南端の斜面で出土した。

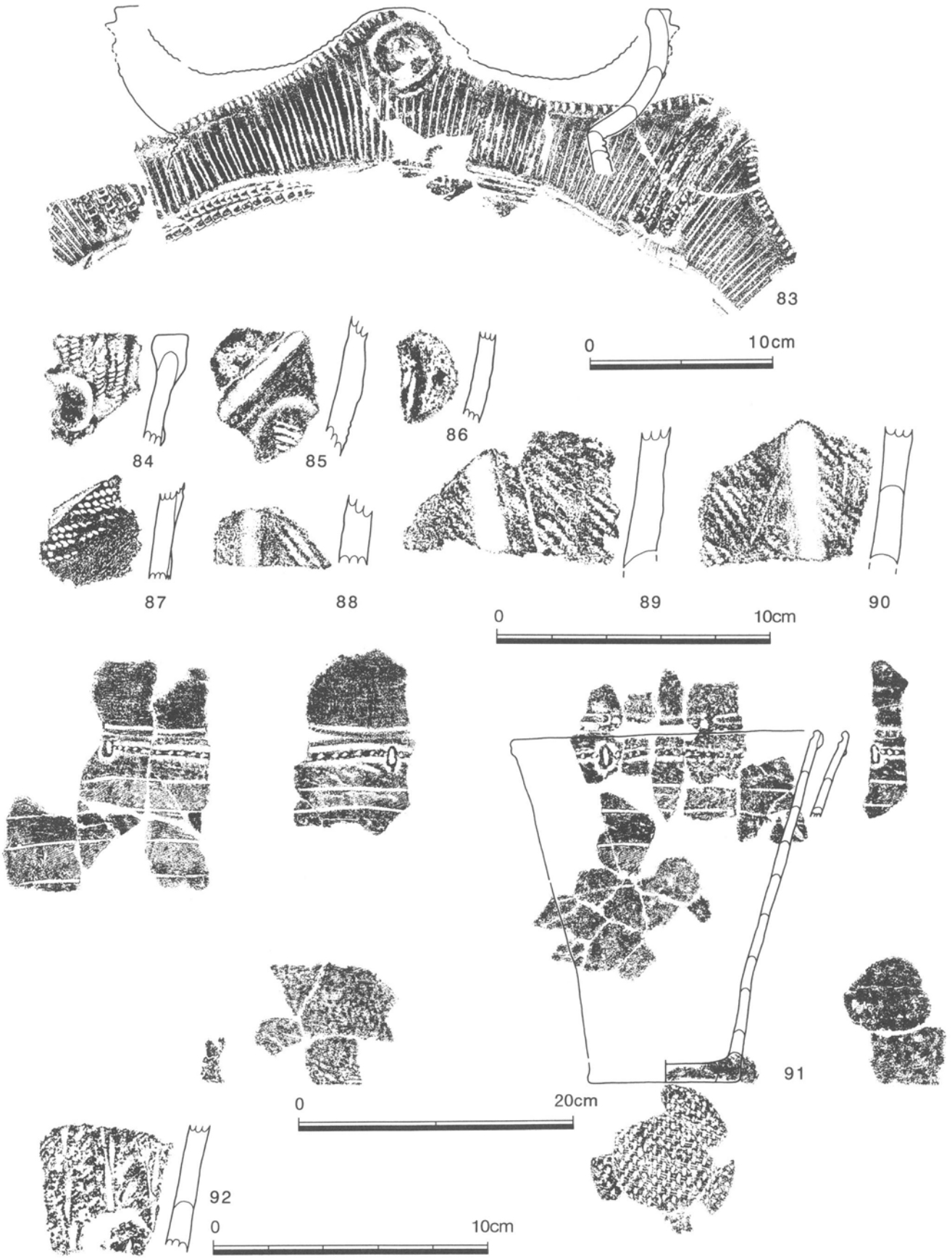
(7)　第７群土器（第33図）

時期不明の土器である。繊維を含むものや含まないもの、底部の形状からある程度の時期は推定される。93～97はやや厚手の土器で繊維を含まない。文様は一見無文に見えるが、拓本を取ると、ごく微細な沈線が横方向と斜め方向に見える。中期のものと推定される。第４群土器が集中する１－１区北端で出土した。98は胎土が第１群の撚糸文土器に似るため、早期の土器である可能性がある。１－２区南端の斜面で出土した。99は明瞭な隆帯に深い刻みを入れるため、中期勝坂式の可能性があるが、やや器壁が薄い。１－２区南半部の東壁寄りで出土した。100は胎土に繊維を含むため、早期の土器の可能性がある１－２区南半部の東壁寄りで出土した。101、102は縄文が施文される前期の土器か。101は１－１区の北端、102は１－１区の中央部で出土した。103は無文であるため、時期の決め手に欠くが、器壁がやや厚く、良く焼きしまっているため、中期頃の可能性がある。１－１区北端で出土した。104～108は底部破片を反転復原したものである。104は大きく上に開くため、浅鉢の底部と考えられる。105～108は深鉢の底部と考えられ、いずれも平底である。これらは胎土に繊維を含まず、前期～後期の土器と推定される。104、106は１－２区南半部の尾根の肩で出土した。105、107、108は１－２区の北端で出土した。107、108は近接して出土し、形状も似る。





第31図　第４群土器実測図



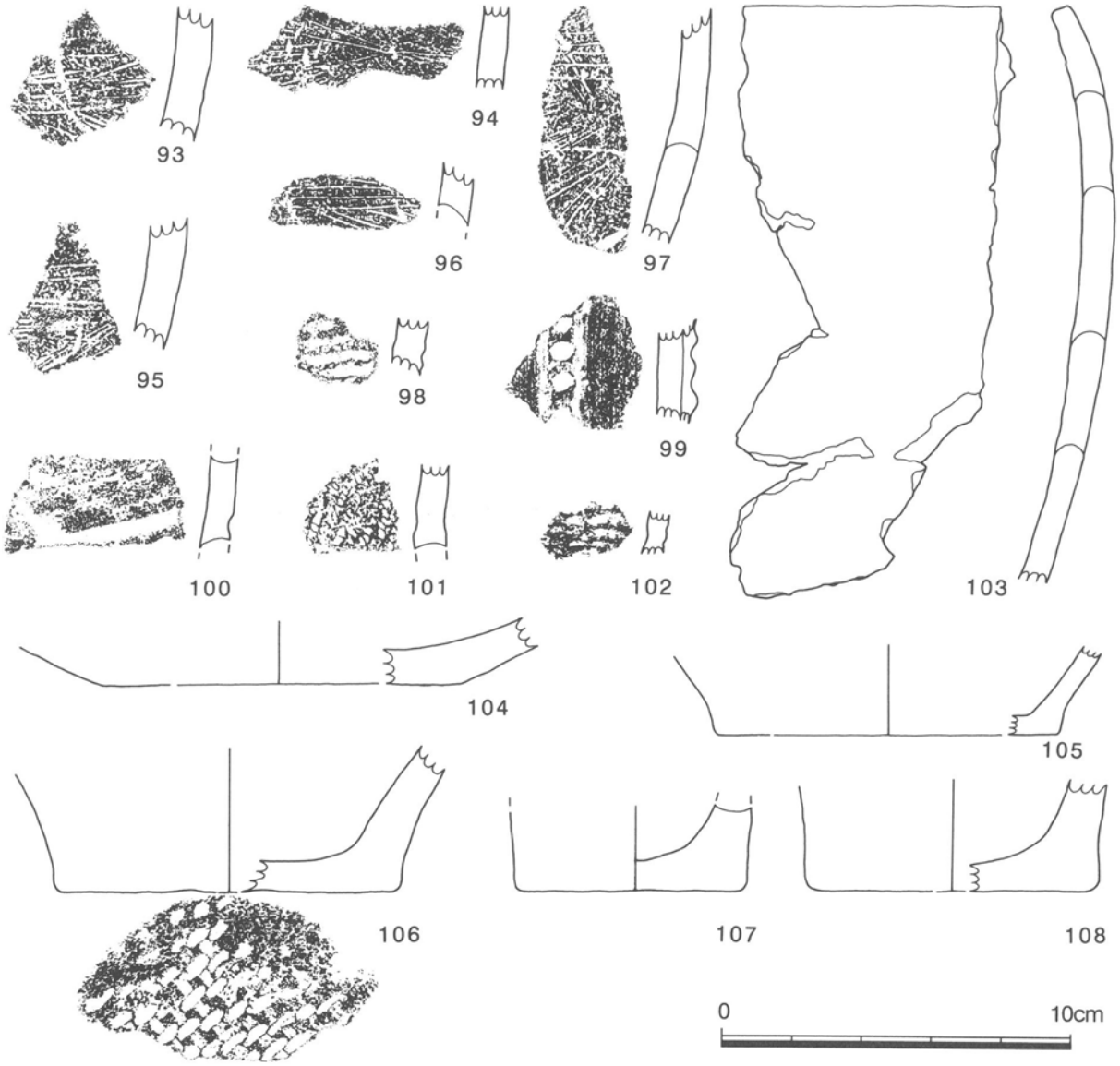
第32図　第４～６群土器実測図

第8表　第4～5群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
73～81 第31図 図版20	P531-555-532-533、653、544、509-508-563、528-529、514、513-541-652-521、572、651、	1-1区 AN～KU PG-01	中期前葉 五領ヶ台式	深鉢 樽形に膨らむ胴部	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 縦方向に器面を磨き、半截竹管による沈線文を施す。横位、下垂の施文が見られる。内面はナデ。 (2) 長石、金雲母を多量に含む。1㎜以下の細かい小礫を含む。石英、輝石を少量含む。	焼成良好。 同一個体あり：516-535、550-542、507、510、511、512、515、517、519、520、522、523、525、527、534、538、540、543、547、548、549、564、630、650、675
82 第31図 図版22	P458-461～462-580～590-598-632-633～636-638-696-713-717～720-722、	1-2区 AN～KU、 SF-20 覆土 SF-20	中期前葉 五領ヶ台II式	深鉢 平底、円筒状の器形、小把手4カ所。	口縁～底部、口縁は全周残存。胴部下部～底部が欠損著しく、1/2程度残存。 7.5YR6/6　橙 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 口縁部は無文で、横方向のナデ。口唇から約2cmの部位に細い粘土紐を2条貼付けて隆帯を作る。4カ所、隆帯を繋ぐように小形の把手を貼付ける。この把手を起点として、魚鱗状に隆帯を下に巡らし、さらにこの半円の下端を起点として波状の隆帯を巡らす。波状の下端より隆帯を直線的に下垂させる。隆帯上と胴下半の地文にはRLの縄文を施文する。隆帯の中の区画は浅い沈線で枠を描き、中央に玉抱三叉文を刻む。内面は磨き。 (2) 長石、金雲母を多く含む。輝石、石英を含む。径2～3㎜の赤色の小礫を含む。	焼成良好。胎土密。 口径 12.9cm。 胴部最大径 14.5cm。 底部復原径 11.4cm。 器高28.1cm。 同一個体あり：453、455、456、459、457、460、463、591、592、634、635、637、640、697、712、721
83 第32図 図版21	P622-537-536-530、539、625	1-1区 KU～FB PG-01	中期前葉 五領ヶ台式	深鉢 波状口縁（4単位）。口唇部内側はやや内湾し、角を面取りする。	口縁部～頸部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 口唇部に上から刻みを入れる。口縁部は半截竹管による状線で充塡し、幅広の部分2カ所には粘土紐を貼付けて上下方向の隆帯を作る。隆帯の上は半截竹管の内側で押し引きしている。また、幅広の部分1カ所には渦巻き状に粘土紐を貼付けている。頸部は半截竹管の内側で押し引きが2条めぐる。胴部は残存している部分については無文である。 (2) 長石、金雲母を多く含む。石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好。 同一個体あり：524
84 第32図 図版21	P4756	1-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢カ 口縁部は直立ぎみ。口唇部を内湾ぎみに厚く作り、上面を平滑に仕上げる。	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR6/6　橙	(1) RLの縄を斜め方向に回転させて、縦方向の縄文を施文し、径2cmの断面円形の刺突により大形の円形の窪みを作り出している。内面は磨き。 (2) 長石、石英を多量に含む。白色粒子を含む。	焼成良好。胎土は含有物が多く、やや粗い。
85 第32図 図版21	P426-425	1-2区 AN 包含層	中期後葉 曽利式	深鉢カ やや薄手	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR4/3 にぶい黄橙	(1) 低い隆帯で区画された楕円状の区画に斜め方向の条線が5本残存する。 (2) 長石、石英を多く含む。輝石、金雲母、白色の小礫を含む。	焼成良好。胎土は粗い。 同一個体あり：424、427
86 第32図 図版21	P470	1-2区 AN 包含層	中期後葉 曽利式	深鉢カ	胴部破片 2.5Y5/1　黄灰 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 2本の短い沈線が2カ所に残存。内面磨き。 (2) 長石、石英を多く含む。赤色粒子、白色の小礫を含む。	
87 第32図 図版21	P499	1-1区 KGP 包含層	中期後葉 加曽利E3式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 粘土紐を貼付けて幅広の低い隆帯を作り、隆帯状にRLの縄文を施文する。隆帯下部はヘラで擦り、弱い沈線を付ける。他の部分は無文か。内面磨き。 (2) 輝石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成やや良好。胎土やや密。
88～90 第32図 図版21	P423、428-429、451	1-2区 AN 包含層	中期後葉 加曽利E3式	深鉢カ	胴部下部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/6　橙	(1) RLの縄文を施文し、上下方向に幅広の浅い沈線により磨消している。内面は横方向に磨く。 (2) 長石を多量に含む。径1～5㎜の小礫を含む。石英、輝石を少量含む。	焼成良好。胎土は含有物の粒径が大きいため、やや粗い。

第９表　第６群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
91 第32図 図版22	土器集中 P１～57	1-2区 AN PG-02	後期 堀之内２式	深鉢 口縁部が外側に緩やかに開く。平底。	口縁部～胴上部3/7、胴中部1/4、胴下部2/5、底部4/5残存 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁部に幅６cmにわたって一段低くなる部分があり、この両側の内面に円形の刺突があり、その両側に細長い楕円状の沈線を描く。他の口縁部内面は沈線が１条である。口縁部外側には粘土紐を貼付け、刻み目を入れる。この粘土紐に直交するように粘土粒を４カ所貼付け、上から刻み目を入れる。胴上部に沈線と沈線の間を細かいLRの縄文で充填した文様帯が２本胴を一周する。底部は綾織の網代痕。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子を少量含む。	焼成良好。胎土密。 口径 22.3cm。 底部 10.5cm。 器高復原値 26cm。
92 第32図 図版21	P433	1-2区 AN 包含層	後期 堀之内式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 5YR6/4 にぶい橙	(1) RLの縄カにRの縄を付加した縄で上下方向に施文。内面は磨き。 (2) 径２㎜以下の小礫を含む。長石、石英を多く含む。輝石を少量含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。粗製土器。



第33図　第７群土器実測図

第10表　第７群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
93～97 第33図 図版23	P628、631、686、687、626	1-1区 FB～ZN 包含層	中期カ	深鉢カ やや径が小さく、厚手である。	胴部破片 2.5YR5/8　明赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 幅２～４㎜の竹管状の浅い沈線文を斜め方向、縦方向に施文する。内面は磨き。 (2) 白色粒子、輝石、石英を含む。径１～２㎜の小礫を含む。	焼成良好。胎土はやや粗い。
98 第33図 図版23	P477	1-2区 AN 包含層	早期カ	不明	胴部破片 10YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 磨滅しているが、LRの縄文を横方向に施文か。内面ナデか。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母を含む。	焼成良好。胎土やや粗い。
99 第33図 図版23	P642	1 2区 KU 包含層	前期～中期カ	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 幅８㎜の粘土紐を貼付け、下垂する隆帯を作る。隆帯に大きな刻みを入れる。隆帯周辺は隆帯に沿ってナデ。内面ナデ。 (2) 石英、輝石、白色の小礫を含む。	焼成良好。胎土密。
100 第33図 図版23	P648	1-2区 KU 包含層	早期カ	不明	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) やや太めの沈線１条と、貝の縁の刺突による沈線。内面は磨き。 (2) 繊維を含む。白色粒子を多量に含む。石英を含む。	焼成良好。胎土密。
101 第33図 図版23	P649	1-1区 FB 包含層	前期カ	不明	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄褐 10YR3/2　黒褐	(1) LRの縄文を横方向に施文。内面は欠損が著しいが、磨きカ。 (2) 石英、輝石、白色の小礫を含む。	焼成良好。胎土密。
102 第33図 図版23	P684	1-1区 FB RG-03 周辺	早期カ	不明	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR6/6　橙	(1) 磨滅しているが、RLの縄文を横方向に施文か。内面は欠損が著しいがナデか。 (2) 繊維を含む。白色の小礫、赤色の小礫、石英を含む。	焼成良好。二次的に火を受け赤化している。胎土密。
103 第33図 図版23	P505-552-501-500	1-1区 KGP 包含層	中期カ	深鉢 やや口縁が内湾ぎみ。口唇部は平坦に仕上げる。	口縁部～胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 無文。内外面を磨く。磨いた際に小礫が引っ張られて付いた線状の痕が残る。 (2) １～３㎜の白色小礫を含む。石英、雲母、輝石を少量含む。	焼成やや良。 同一個体あり：553-551-500-506、503、554
104 第33図 図版23	P412	1-2区 KU 包含層	前期～中期	浅鉢カ 底部 底部復原径10.4cm	底部破片 7.5YR6/6　橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 無文。横方向のナデ。内面は磨き。 (2) 石英、輝石、金雲母を含む。	焼成良好。胎土は含有物の粒径により、やや粗い。
105 第33図 図版23	P474	1-2区 AN 包含層	前期～中期	深鉢カ 平底　底部から外側へやや大きく開く。器壁は薄く、小形か。 底部復原径9.8cm	底部1/8残存、胴部一部残存。 5YR5/6　橙 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 無文。内外面ナデ。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。径１～２㎜の小礫を含む。	焼成良好。胎土密。
106 第33図 図版23	P421	1-2区 AN 包含層	後期カ	深鉢カ 平底　底部復原径9.6cm 網代痕	底部1/2残存。 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 底部下面に綾織りの網代痕。胴部の残存部は無文。上下方向のナデ。 (2) 径2㎜以下の小礫を含む。石英を多く含む。白色粒子、赤色粒子、雲母を含む。	焼成良好。胎土密。含有物の粒径はやや粗い。底径10cm。
107 第33図 図版23	P467	1-2区 AN 包含層	中期～後期	深鉢カ 平底　底部復原径6.3cm 網代痕	底部1/4残存。胴下部1/4残存。 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 底部下面は劣化しているが、綾織りの網代痕。胴部の残存部は無文。 (2) 径２㎜以下の小礫を多く含む。石英を多く含む。白色粒子を含む。	焼成良好。胎土粗い。
108 第33図 図版23	P465	1-2区 AN 包含層	中期～後期	深鉢カ 平底　底部復原径7.5cm 網代痕	底部1/4残存。胴下部1/4残存。 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 底部下面は劣化しているが、綾織りの網代痕。胴部の残存部は無文。 (2) 径３㎜以下の小礫を多く含む。石英を多く含む。白色粒子、赤色粒子を含む。	焼成良好。胎土粗い。

2　石器

桜畑上遺跡では石鏃26点、石匕２点、打製石斧５点、磨製石斧１点、磨石14点、叩石１点、凹石２点、石皿１点、礫器２点が出土した。ほとんどが包含層からの出土であるが、11の石鏃は炭化物の集中であるSX-01内より出土した。

(1)　石鏃

形状が不明瞭な物を含めて26点出土した。このうち、残りの良いもの21点を第34図～第35図21に図示する。ほとんどが黒曜石製であるが、２が水晶製、13が玉髄製、14･15がガラス質黒色安山岩製である。石材は異なっても、外形は黒曜石とほとんど変わらず、石材による特に目立った変化はない。石鏃はほぼ全層位にわたって出土している。形状では富士黒層から漸移層にかけて出土したもの(１～７)と、暗褐色土から栗色層にかけて出土したもの(８～21)を比較すると、下層出土のものの方がやや先端角が大きい傾向にある。外形は先端から側面にかけての形状や、下部の形状によってさらに細分することができるが、これらの時代的変遷は不明である。１～３はＶ字形、４は鋭いＶ字形に仕上げられている。５はやや脚部が細く加工されているもの、６～７は脚部が明瞭に作られないものである。７は小形で加工も粗い。８～15は先端がやや鋭角になり、縦長になる三角鏃である。８～11のように脚部が明瞭に作られないものと12～15のように明瞭に作り出されるものがある。16～18は側面の形状が木葉状にやや丸みを帯び、脚部が長く作られるものである。17はやや丸みが少ない。19～21は上記以外の形状の石鏃である。19は片方の脚部が欠損しているが、やや緩いＶ字形になり、側面は丸みを帯びる。20は先端が槍先状で、下部はわずかに脚部の加工を作る。21は最も長い石鏃である。先端がやや鋭く、脚部はやや緩いＶ字形で、側面は鋸歯状に加工する。

(2)　石匕

横形の石匕が２点出土している。いずれもホルンフェルス製である。第35図22～23に図示する。22は未製品のようなやや粗い作りであるが、使用痕が端部に残存する。23はやや小形で下端は両刃に作る。

(3)　石斧

打製石斧が５点、磨製石斧が１点出土した。第36図に図示する。いずれも暗褐色土から栗色層の出土で、縄文包含層の上部に集中する傾向がある。打製石斧は24～27が頁岩製でやや厚めの形状、28ががが安山岩製で板状の形状であり、石の割れ方の特徴を利用して作成されている。24は柄を装着するために中央部がやや幅狭く、表面を約４cmにわたって割り取り、やや薄くしている。打撃の際に下端が大きく破損し、柄の装着部分が石の摂理で割れたため、廃棄されたものと考えられる。25は撥状の形状である。下端の刃部が欠損している。26は薄く細長い形状のものと思われるが下部を大きく欠損している。27は26に比べて、やや厚みがある。折れた刃部のみである。28も刃部のみだが、短冊状の形状をしていたと思われる。磨製石斧は緑色凝灰岩で、残存部全面を磨いている。これも折れた刃部である。他の部分は再加工のために持ち去られたのか同じ石材の破片は出土しなかった。

(4)　磨石、叩石、凹石、石皿

主機能により名称を付したが、複数の機能を持つ物がほとんどである。第37～40図に図示する。凹石については用途が異なるためか、45、46のように扁平化の早い段階で凹石としての機能を持たせるものと、32、34のように扁平化してから中央に弱い凹みを持たせる物が存在するようである。30～36が扁平な楕円状に作られるものである。31は周囲の敲打痕が鮮明である。32、34は片面の中央が浅く凹む。33は上下でやや厚みが異なる。34は外形が楕円になりきっていない。35は磨石の最終形態でほとんどの面が摩滅し、小形になってしまっている。36はまだ厚みのある段階で楕円化している。これは粒の粗い玄武岩製であり、石材の特徴から磨石としての使用が中心であったと考えられる。37～43は扁平化していな

第11表　縄文時代石器一覧表

番号	遺物番号	器種名	石材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
1	S-241	石鏃	Ob	1-2区	FB	2.05	2.05	0.4	0.9	
2	S-649	石鏃	RC	1-2区	FB	1.85	1.6	0.45	0.9	
3	S-145	石鏃	Ob	1-2区	ZN	1.6	1.4	0.45	0.6	
4	S-231	石鏃	Ob	1-2区	FB	1.45	(1.45)	0.2	0.1	
5	S-253	石鏃	Ob	1-2区	FB	2.0	1.6	1.35	0.7	
6	S-366	石鏃	Ob	1-1区	ZN	1.8	1.3	0.45	0.8	
7	S-141	石鏃	Ob	1-2区	FB	1.3	1.15	0.3	0.3	
8	S-312	石鏃	Ob	1-1区	KU	2.45	(1.65)	0.5	1.3	
9	S-367	石鏃	Ob	1-1区	KU	2.1	1.35	0.45	0.7	
10	S-339	石鏃	Ob	1-2区	KU	1.9	1.75	0.45	0.9	
11	SX-01-S1	石鏃	Ob	1-2区	KU	1.8	1.25	0.55	0.9	
12	S-228	石鏃	Ob	1-2区	KU	2.35	1.75	0.55	1.2	
13	S-360	石鏃	Cha	1-2区	KU	2.2	1.35	0.5	0.9	
14	S-267	石鏃	GAn	1-2区	AN	2.4	1.65	0.4	0.9	
15	S-136	石鏃	GAn	1-2区	FB	1.9	1.5	0.3	0.4	
16	S-313	石鏃	Ob	1-2区	KU	2.85	1.75	0.4	1.3	
17	S-340	石鏃	Ob	1-2区	KU	2.35	1.65	0.45	1.0	
18	S-285	石鏃	Ob	1-1区	KU	(1.85)	1.15	0.4	0.5	
19	S-254	石鏃	Ob	1-2区	AN	2.25	(1.75)	0.4	0.8	
20	S-329	石鏃	Ob	1-2区	KU	2.65	1.4	0.6	1.6	
21	S-359・233	石鏃	Ob	1-2区	KU	(1.95)	(2.0)	0.45	1.7	
	S-384	石鏃	Ob	1-1区	FB	(1.4)	(0.8)	0.25	0.1	
	S-290	石鏃	Ob	1-1区	KU	1.5	1.35	0.25	0.4	
	S-261	石鏃	Ob	1-2区	AN	(1.35)	(1.65)	0.35	0.6	有茎カ
	S-143	石鏃	Hor	1-2区	FB	1.7	1.7	0.25	0.4	
	S-300	石鏃カ	Hor	1-1区	KU	2.45	2.0	0.5	3.0	
	S-385	R F	Ob	1-1区	FB	2.4	2.15	0.6	3.2	
22	S-7271	石匕	Hor	1-2区	不明	4.2	6.15	1.3	21.0	
23	S-273	石匕	Hor	1-2区	KU	2.75	4.6	0.65	6.6	
24	S-262・338	打製石斧	Sh	1-2区	AN	15.9	6.9	3.1	350	
25	S-287	打製石斧	Sh	1-1区	KU	(10.3)	(6.2)	2.05	166.4	
26	S-314	打製石斧	Sh	1-2区	KU	(5.2)	(4.6)	1.05	28.0	
27	S-229	打製石斧	Sh	1-2区	AN	(5.15)	5.3	1.9	52.7	
28	S-7270	打製石斧	An(Py)	1-1区	KUカ	(8.5)	6.7	1.2	76.8	
29	S-205・2526	磨製石斧	GT	1-2区	AN	(7.4)	5.05	(3.3)	102.1	
30	S-242	磨石	PAn	1-2区	AN	8.15	7.5	4.45	397.3	弱い敲打痕あり
31	S-148	磨石	PAn	1-2区	KU	9.5	7.2	3.7	369.9	敲打痕あり。赤化。
32	S-207	磨石	Ba	1-2区	AN	9.25	7.5	4.2	395.8	片面中央凹みあり。弱い敲打痕あり。
33	S-252	磨石	VBa	1-2区	AN	5.7	6.5	3.0	124.1	弱い敲打痕あり。
34	S-2527	磨石	PAn	1-2区	KU	10.7	7.7	4.15	384.1	片面中央凹みあり。敲打痕あり。赤化。
35	S-2531	磨石	PAn	1-2区	KU	5.2	5.1	3.9	138.6	弱い敲打面あり。
36	S-217	磨石	Ba	1-2区	KU	(10.0)	(8.25)	5.15	(502.7)	1/4欠損。敲打痕あり。
37	S-197	磨石	An(Py)	1-2区	ZN	9.6	8.0	4.9	576.3	弱い敲打痕あり。
38	S-431	磨石	PAn	1-2区	FB	11.5	6.9	6.4	637.7	弱い敲打痕あり。
39	S-213	磨石	VBa	1-2区	KU	9.85	5.85	4.5	279.9	弱い敲打痕あり。
40	S-192	磨石	MSS	1-2区	FB	15.5	8.75	6.6	1150.7	敲打痕あり。
41	S-2529	磨石	Ba	1-2区	KU	8.15	8.95	6.4	506.7	弱い敲打痕あり。
42	S-2528	磨石	VBa	1-1区	KU	8.9	7.0	6.1	469.3	弱い敲打痕あり。赤化。
43	S-2533	磨石	PAn	1-1区	KU	11.75	10.0	6.3	845.2	弱い敲打痕あり。
44	S-346	叩石	An(Py)	1-1区	FB	6.45	4.15	4.0	132.5	
45	S-191	凹石	VAn	1-2区	AN	10.2	7.3	5.35	522.3	片面が敲打により大きく凹む。磨痕、敲打痕あり。
46	S-2537	凹石	PAn	1-2区	FB	10.55	8.7	5.2	443.9	両面とも凹む。敲打痕あり。
47	S-328・332	石皿カ	PAn	1-2区	KU	11.95	12.6	4.45	961.2	両面とも平坦。弱い敲打痕あり。
48	S-2530	礫器	PAn	1-2区	KU	11.15	12.2	4.5	779.7	下端を刃状に割る。弱い敲打痕あり。
49	S-2534	礫器	PAn	1-1区	FB	13.9	8.4	5.0	803.1	下端が弱い刃状。敲打痕多い。

第12表　縄文時代中形～大形礫一覧表

遺物番号	出土区・遺構	層位	石材名	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	備考		実測図番号
S- 256	1-2区	KGP	PAn	30.2	25.1	7.0	7.0			
R- 262	1-2区	An	PAn	24.9	14.4	11.1	4.4			
R- 552	1-2区	An	PAn	31.3	12.8	12.1	8.0		受熱	
R- 559	1-2区	An	LT	27.5	20.5	11.4	6.5			
R- 602	1-2区	An	VAn	31.9	24.3	13.6	12.0			
R- 766	1-1区	KU	PAn	23.6	22.3	9.5	6.5		受熱	
R- 791	1-1区	KU	PAn	21.6	17.3	8.6	2.97			
R- 792	1-1区	KU	PAn	22.4	15.0	4.1	1.8			
R- 798	1-1区	KU	PAn	27.8	25.3	8.8	7.5			
S- 209	1-2区	KU	PAn	35.7	32.2	10.8	20.5	炉石カ	受熱、ライン状に赤化。	
S- 331	1-2区	KU	PAn	18.0	16.4	6.5	2.19		受熱	
S- 382	1-2区	KU	PAn	36.0	33.2	13.4	16.5		受熱	
S- 218	1-2区	KU	PAn	23.6	20.0	10.5	7.0	石　皿	表面を磨っている。	第41図50
S- 278	1-2区	KU	PAn	35.6	25.1	9.4	10.5			
S- 358	1-2区	KU	PAn	28.7	25.6	11.7	9.5		受熱	
R- 217	1-2区	KU	PAn	29.6	23.0	7.8	8.0	台　石	表面に叩き痕が残る。	第41図53
R- 961	1-2区	KU	PAn	14.3	9.5	9.9	2.05			
R-1080	1-2区	KU	PAn	32.9	22.9	11.4	11.5	石　皿	表面を磨っている。	第41図52
R-1047	1-2区	KU	PAn	23.7	19.0	10.9	7.0	石　皿	受熱、表面を磨っている。	第41図51
R-1192	1-2区	KU	PAn	23.7	18.8	6.7	4.0		受熱	
R-1210	1-2区	KU	PAn	17.1	15.4	6.5	2.53		受熱	
R-1094	1-1区	FB	PAn	20.5	14.1	7.2	3.07		受熱	
R-1109	1-1区	FB	PAn	20.0	12.2	3.9	1.28		受熱	
R- 267	1-2区	FB	PAn	29.1	24.1	9.4	8.5			
R-1281	1-2区	FB	VAn	38.5	28.2	11.6	16.5			
R-1225	1-2区	FB	PAn	22.1	15.0	12.5	5.5	台　石		第41図54

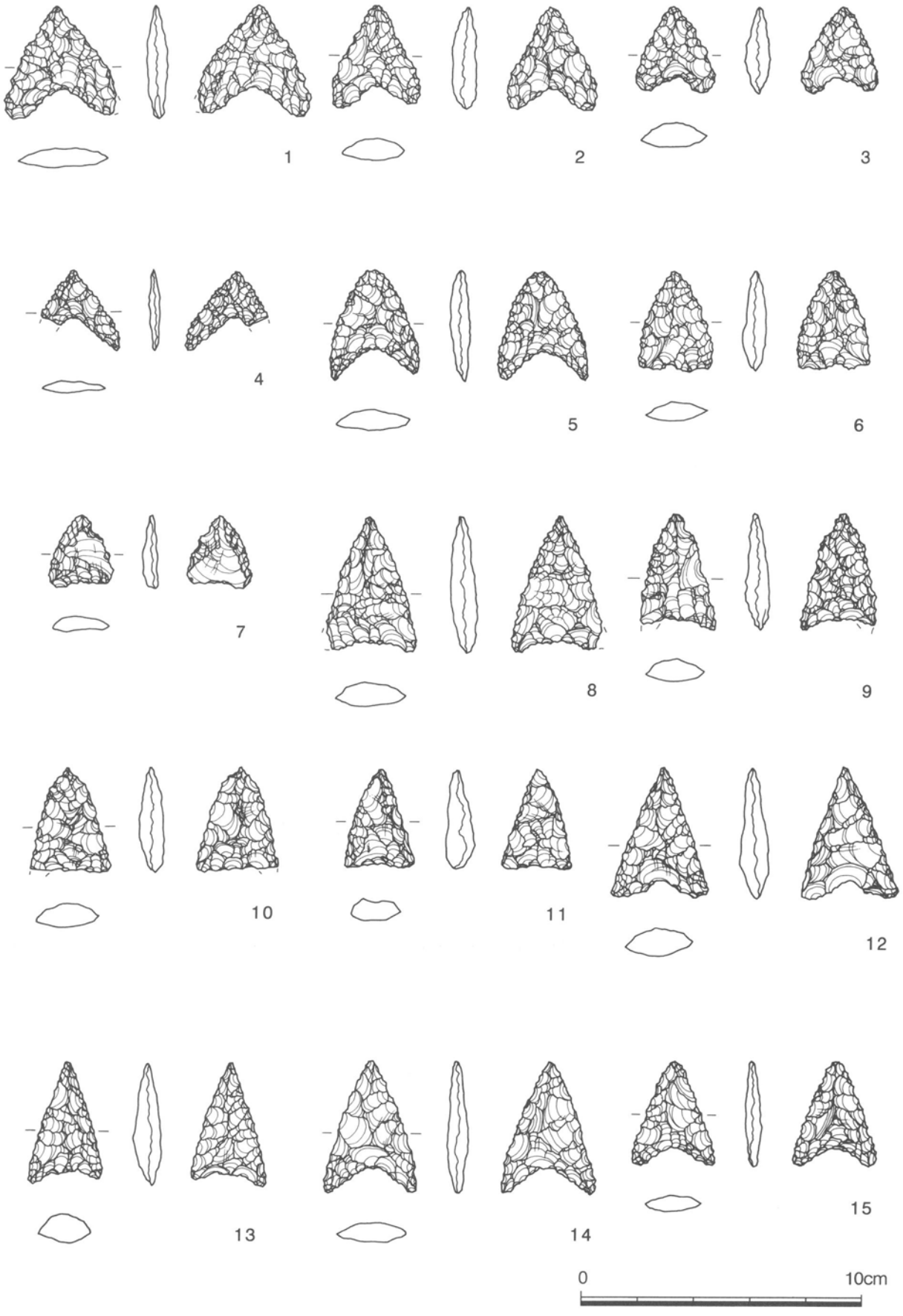
いものである。37は磨面が固定化されつつあり、やや扁平化されつつある段階のものである。38も側面を中心に磨面を形成し、楕円化する段階にあるようである。39、40は扁平な面を作り出すために集中的に敲打面として利用している部分がある。41～43は一面のみを集中的に磨面として使用しているが、他の部分にも使用が広がりつつある。44は上下の面に敲打痕が著しく、叩石としての機能が中心であると思われる。45、46は大きな凹みを持つ。45は片面で、外形的には磨石として使用されていた観がある。凹みは片面にしか見られない。46は両面の中央が凹む。47は磨石として使用するにはやや大きいため、石皿とした。両面共に平坦である。1－2区の諸磯式土器が出土する東壁中央と、早期楕円押型文の集中する南寄りに分布する。付近には大形礫もあり、関連性が考えられる。

(5)　礫器

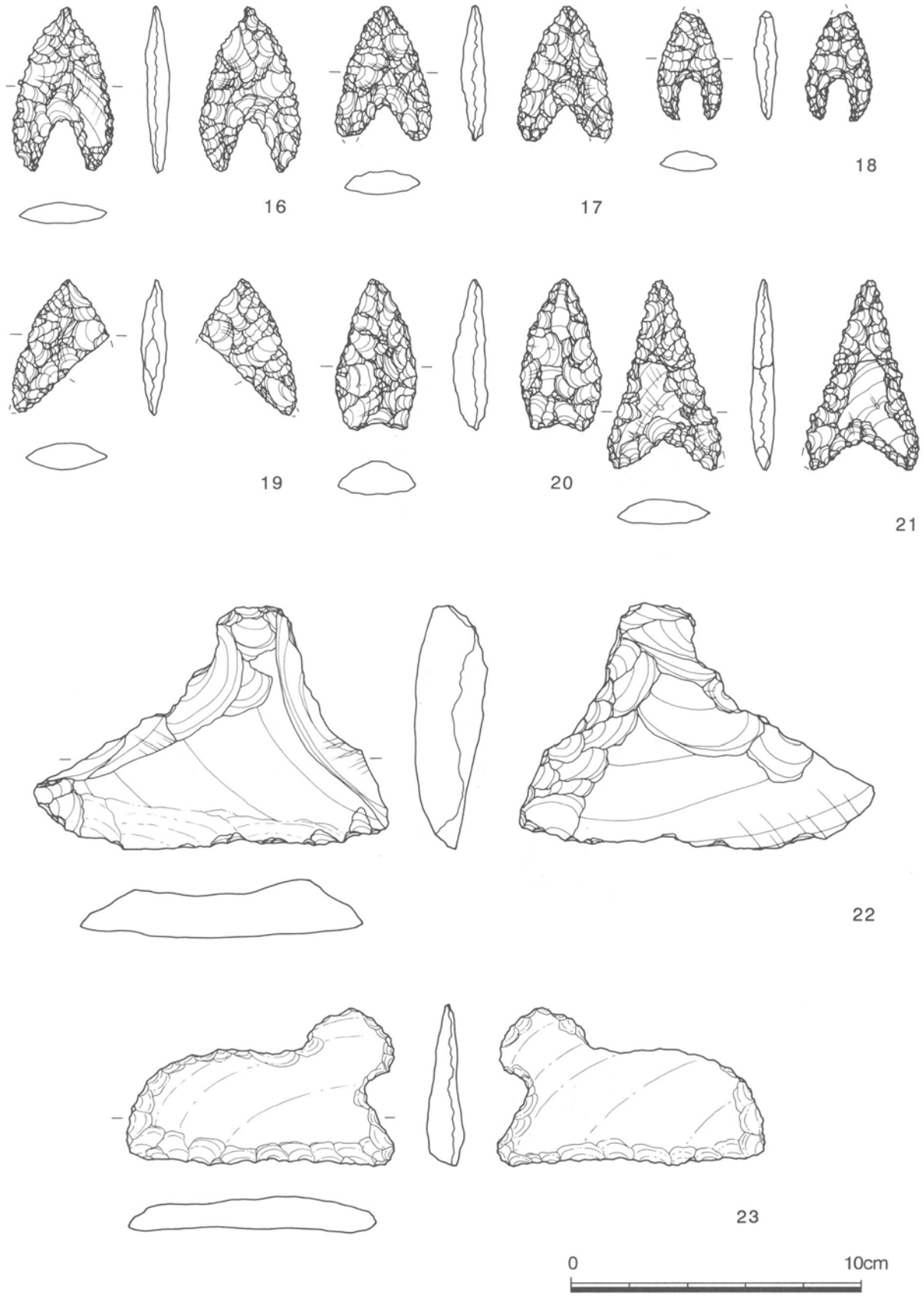
下端を粗く割って刃を作る形状の物が2点出土している。第40図に図示する。いずれも800g前後の重量である。48は刃が良好に残るが、49は磨滅して不明瞭である。

(6)　礫

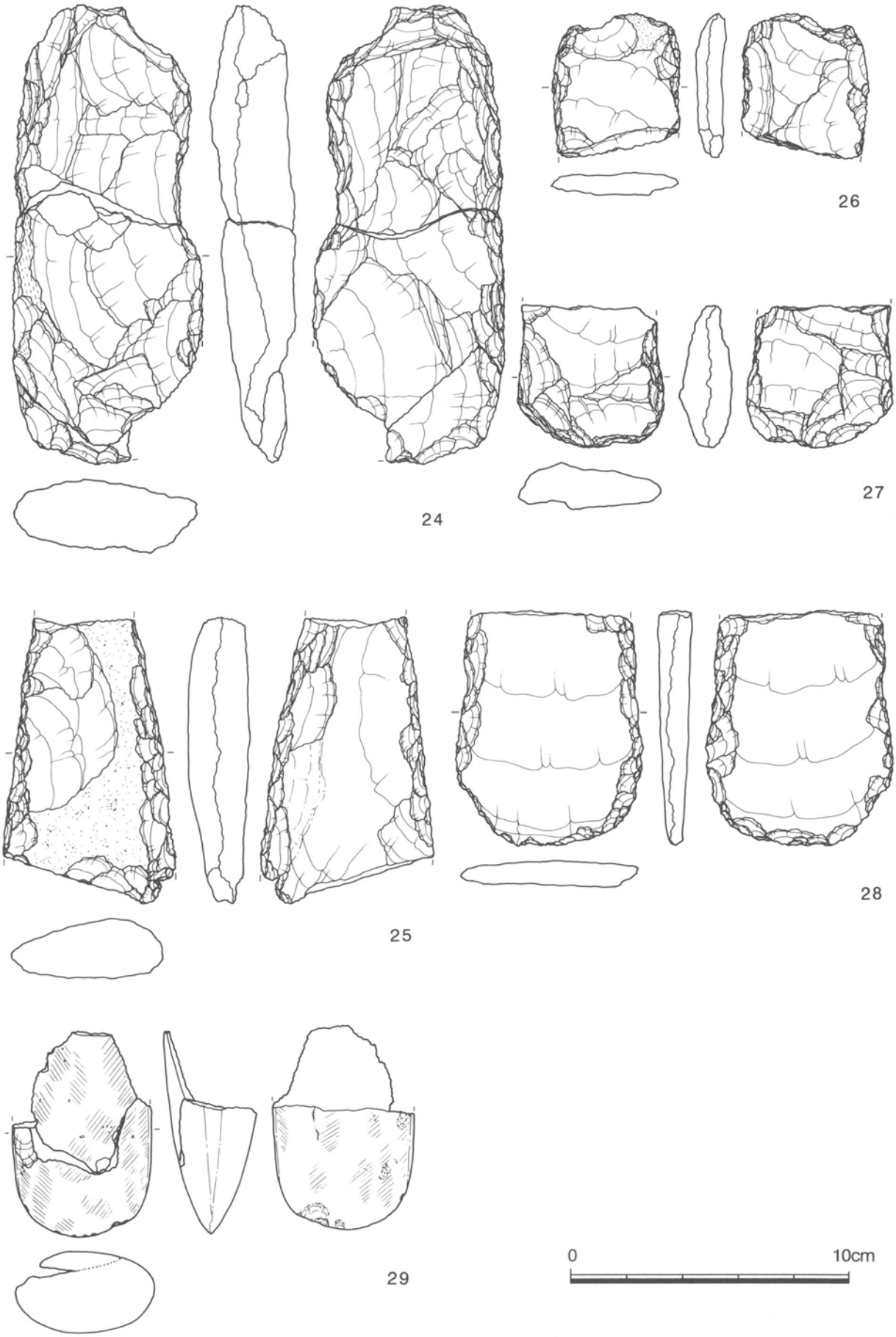
調査区内には中形～大形の礫が散在していた。いずれも単独出土である。台石として2点、石皿として3点の使用状況が確認され、第41図に図示した。これ以外にもわずかながら擦痕が見られ、台石や石皿として使用した可能性のあるものや、受熱していて炉石に使用された可能性のあるものも見られる。



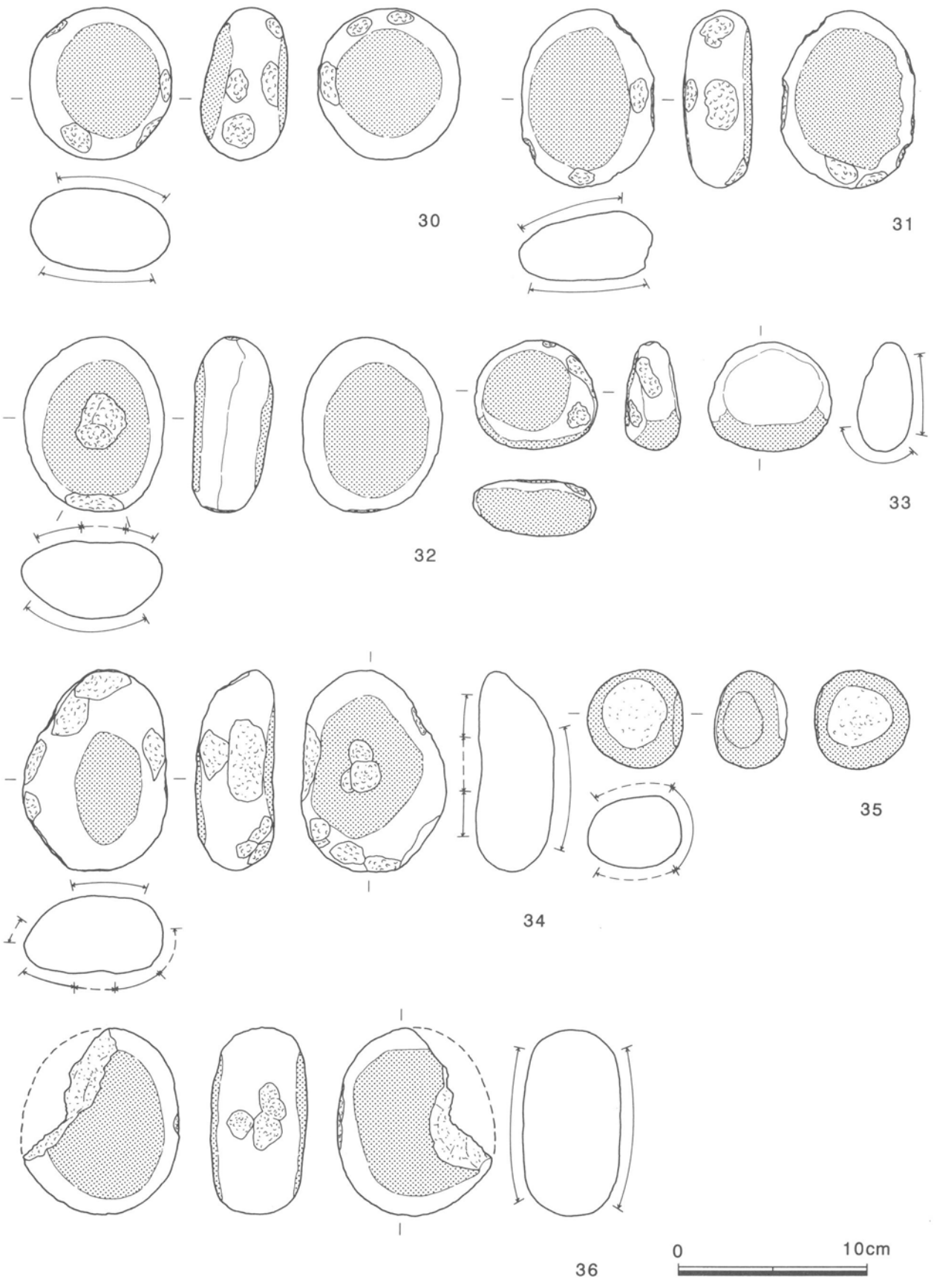
第34図　石器実測図１（石鏃）



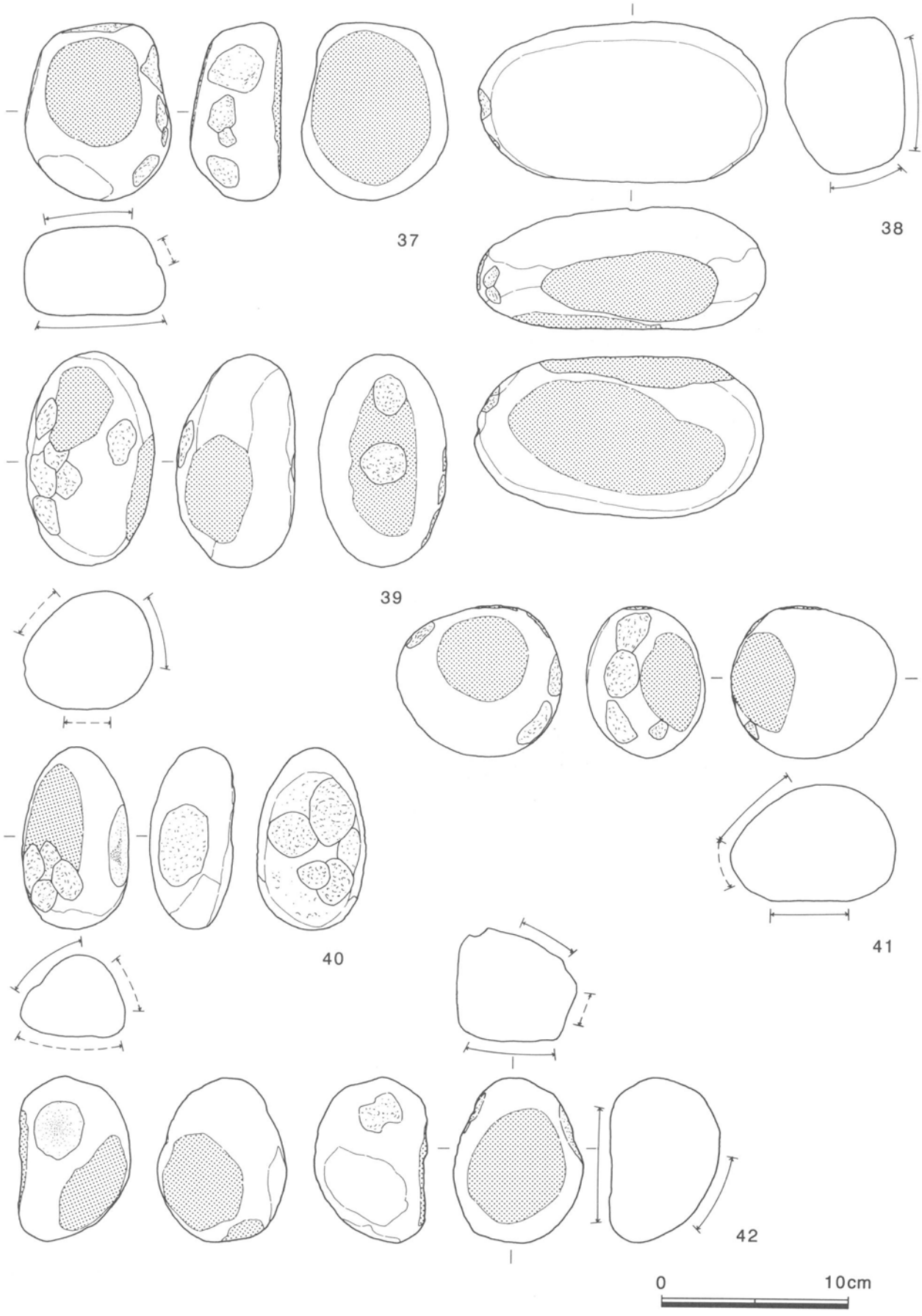
第35図　石器実測図２（石鏃・石匕）



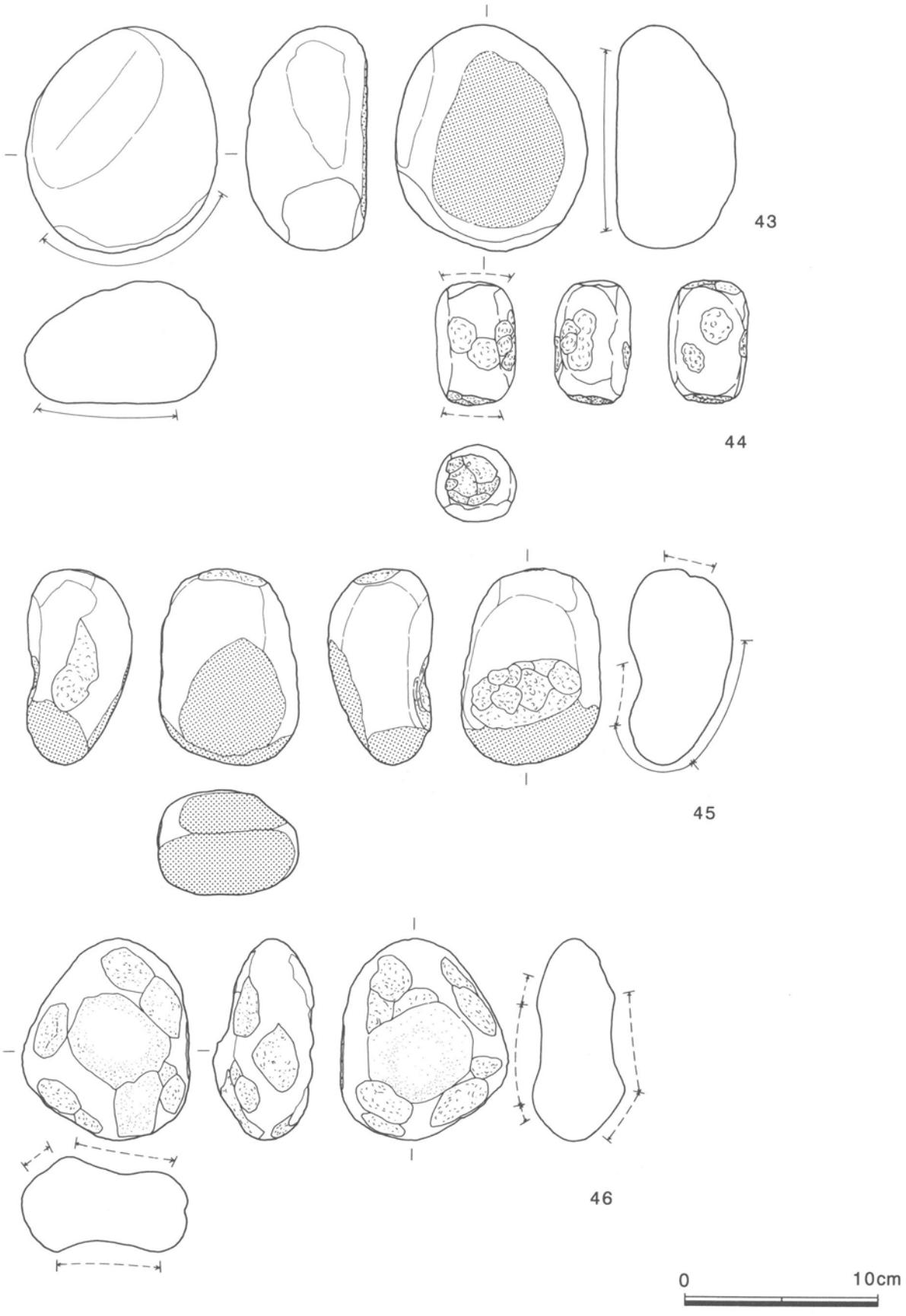
第36図　石器実測図３（石斧）



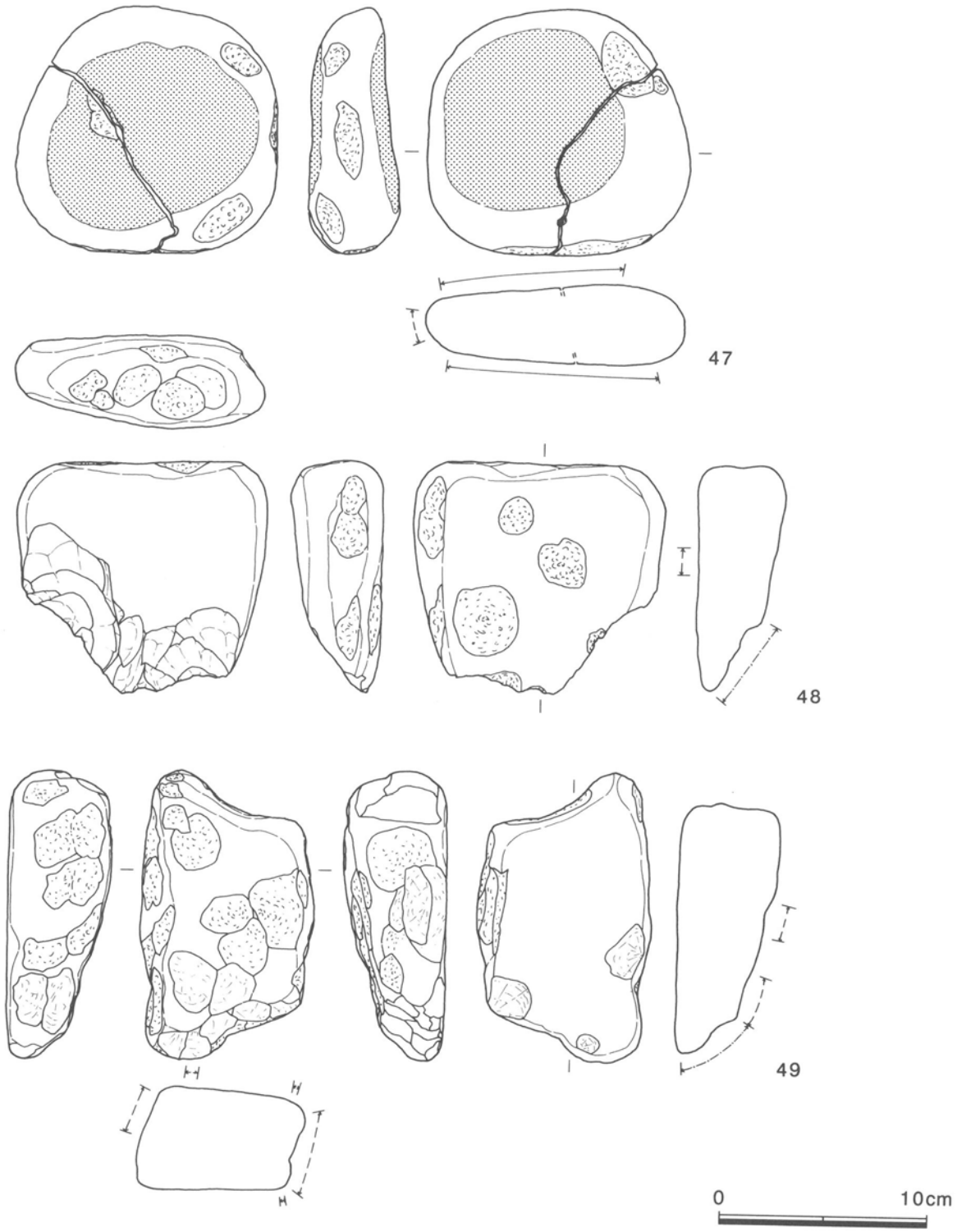
第37図　石器実測図4（磨石等）



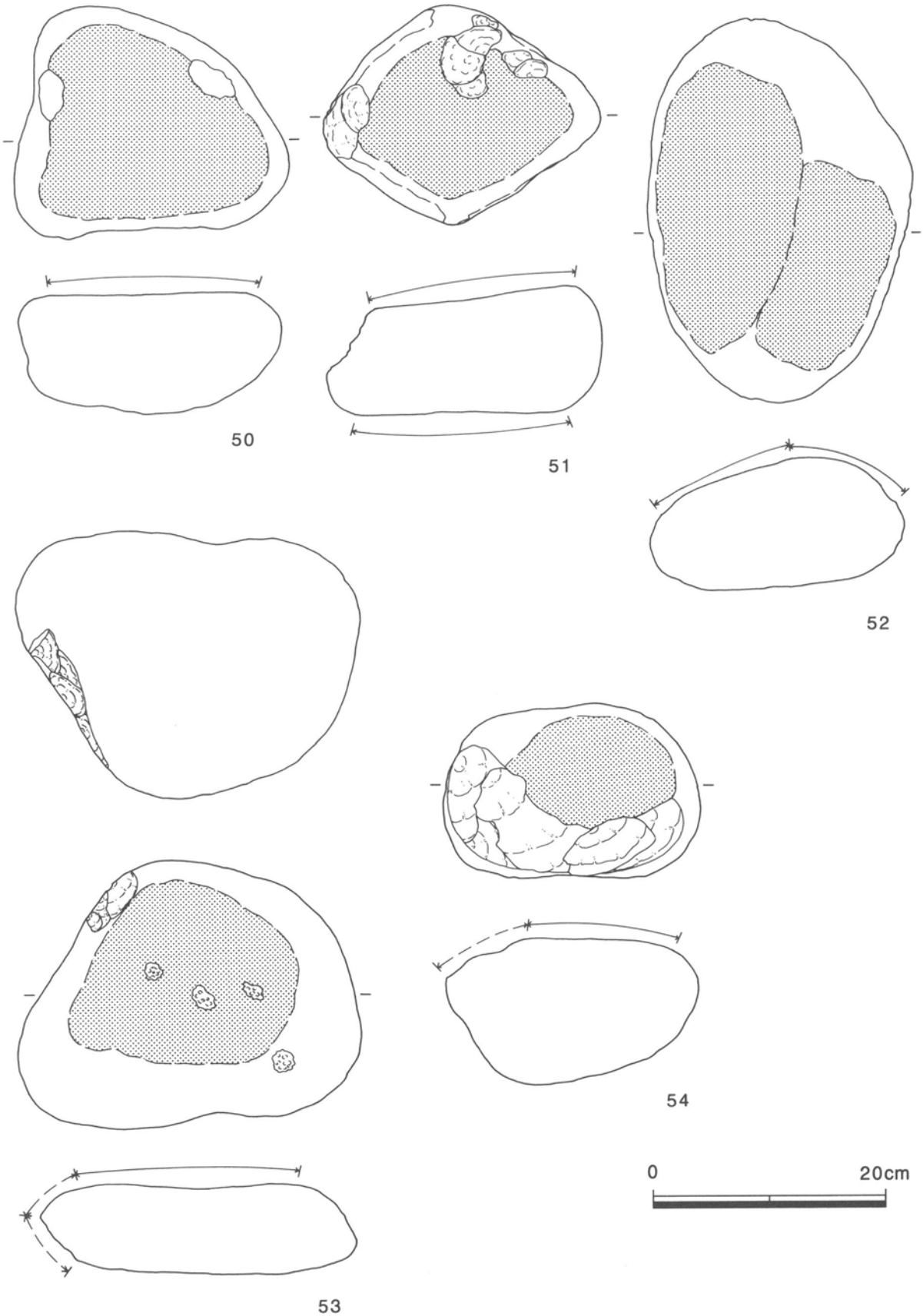
第38図　石器実測図５（磨石等）



第39図　石器実測図 6 （磨石等）



第40図　石器実測図７（石皿・礫器）



第41図　石器実測図8（石皿・台石）

第５節　旧石器時代の遺構遺物

旧石器時代の遺構、遺物は富士黒層（FB層）中よりナイフ形石器などが出土しているが、主としてその下部の休場層（YL層）と第１黒色帯（BBⅠ層）に分布の中心がある。いずれの層の遺構、遺物も１－２区の尾根状に分布するが、遺物の分布の中心が層位的にも位置的にもずれているため、明らかに２つの異なる文化面が存在することが現地で確認された。ただし、前後の層位の遺物については上下している可能性を考え、遺構周辺の遺物については遺構引き出し図にともに図化している。

１　YL層の遺構

(1)　土坑、小穴

１－１区で土坑１基、１－２区で土坑１基と小穴１基を検出した。（第44図）

SF-23は１－１区でテストピットを掘削している際に、休場層下部黒色帯（BB０層）にYL層が円形に落ち込んでいるのが検出された。形状は径１m弱の円形で、やや南北に長い。深さは約１mでニセローム層（NL層）を抜き、第Ⅱ黒色帯（BBⅡ層）の上部まで掘り込まれている。覆土の上面は白みの強いYL層で、下部はやや色調が暗く、BBⅠ層のロームブロックを含むようになる。深さや大きさから、陥穴と推定される。周辺の他事業の調査でも同様の土坑が検出されているため、尾根を横断するように分布する陥穴の１つである可能性が高い。

SF-24は１－２区の北側で、重機によりYL層～BB０層除去中に検出された。形状は径約80cmの円形で、BBⅠ層を抜き、NL層中まで掘り込んでいる。覆土はスコリアの少ないYL層であり、下部は第Ⅰスコリア層（SCⅠ層）やBBⅠ層のロームブロックを含む。覆土の状況から見ると、実際の掘り込み面は20cm以上は上であると考えられる。

SP-04は１－２区北端でBBⅠ層上面精査中にYL層の落ち込みが検出された。形状は長径33cm、短径28cmの楕円形である。BBⅠ層を抜き、底はNL層上面である。覆土はYL層にSCⅠ層が混ざっているような土で、下部はBB０に似て、やや粘性があり色調が暗い。

(2)　石器ブロック

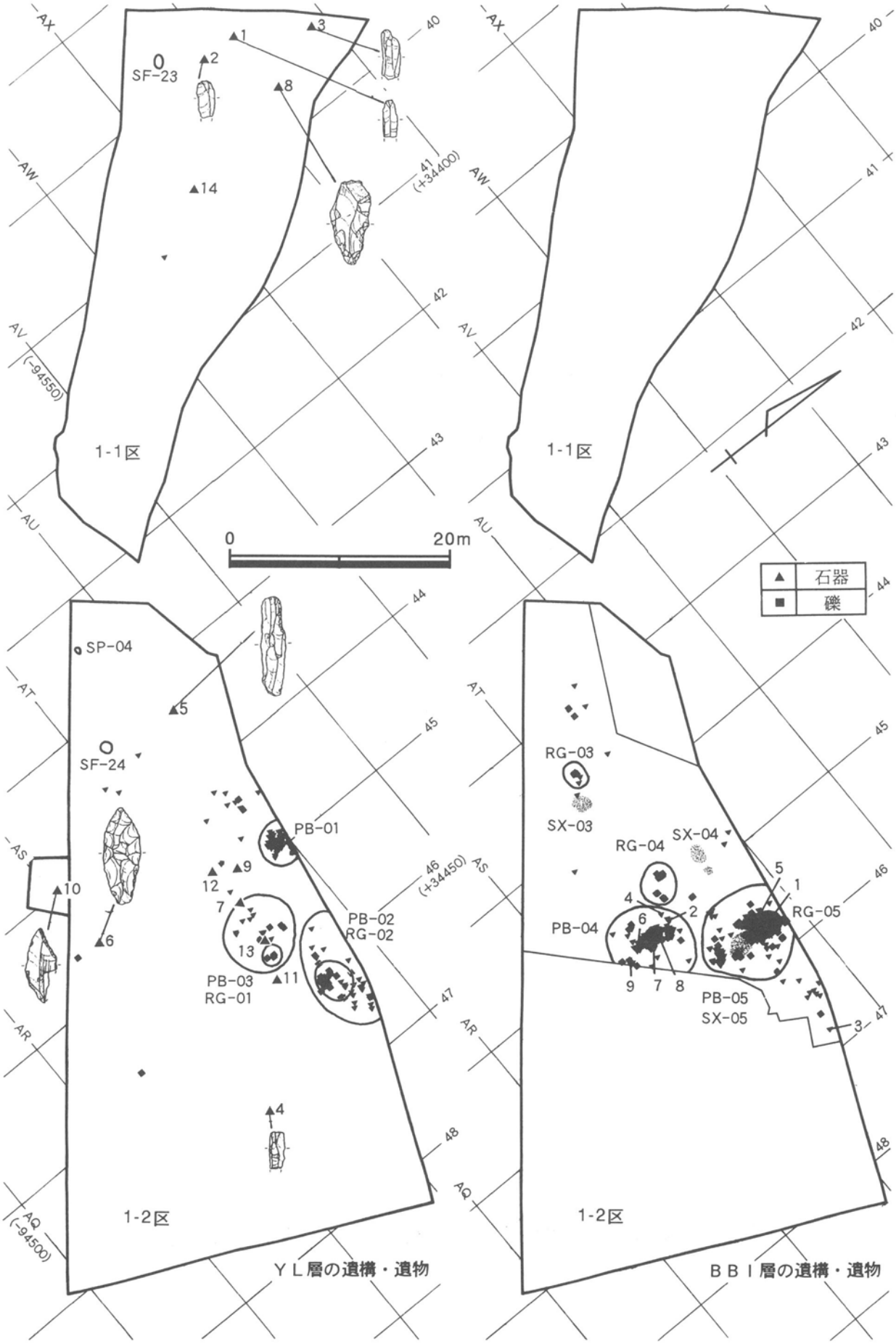
PB-01は１－２区東壁沿いの中央で、尾根上のYL層掘削中に検出された。（第45図）径2.5mの範囲にホルンフェルスの剥片が分布する。YL層の堆積が悪く30cm弱であり、細かい分層は出来ないが、遺物はYL層からBB0層まで上下している。炭化物が検出されたため、加速器質量分析法による放射性炭素年代測定を行ったが、結果は4500±40（yrBP±1σ）で、縄文層からの混入と考えられる。

PB-02は１－２区東壁沿いで、PB-01の尾根続きの南東側に位置し、YL層掘削中に検出された。（第47図）範囲が不明瞭で、RG-02を境に南東側は黒曜石とホルンフェルス、北西側は珪質頁岩とホルンフェルスであり、石材が異なるため、２つのブロックであった可能性もある。

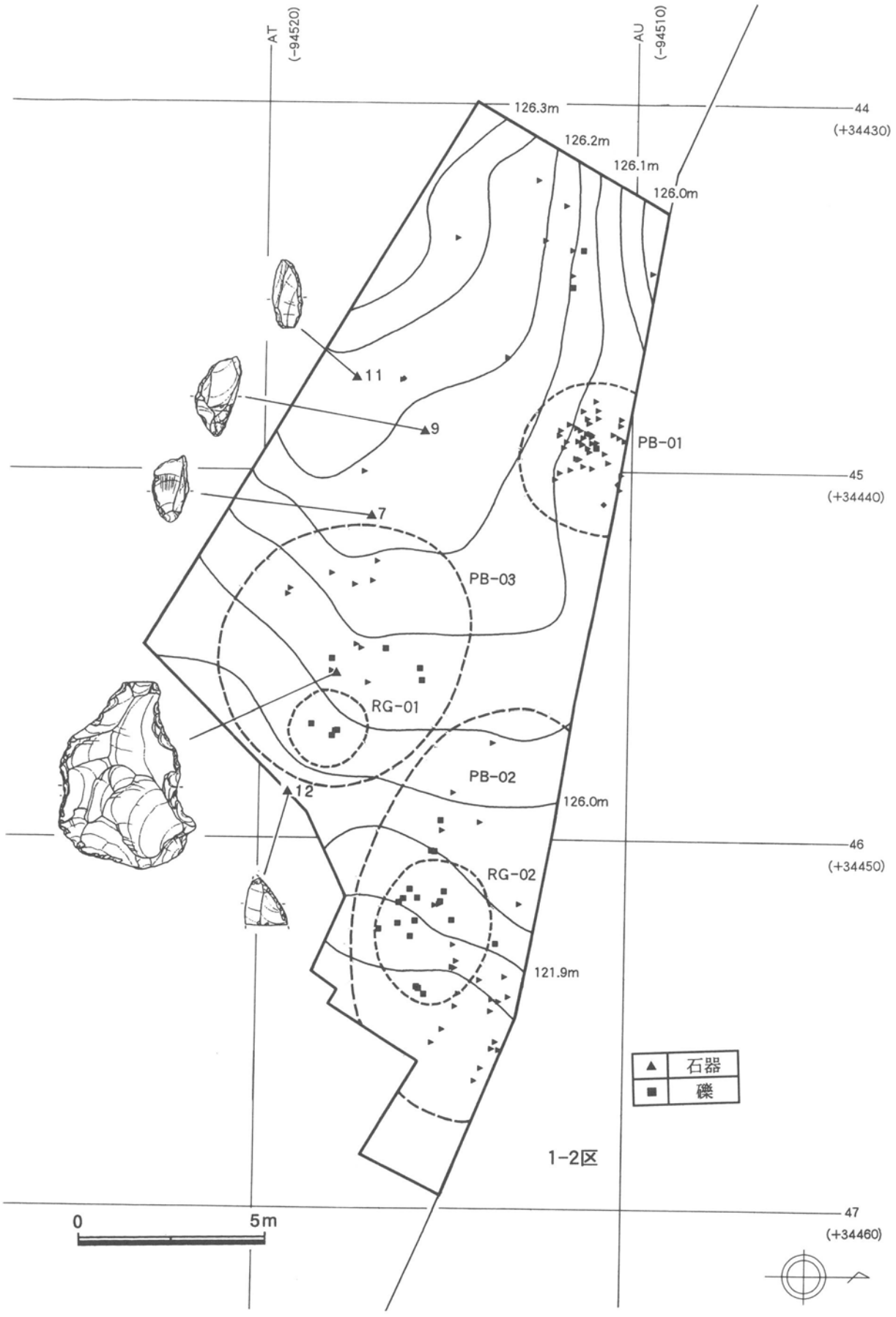
PB-03は１－２区中央部の尾根上で、YL層掘削中に検出された。（第48図）径約４mの範囲に遺物が出土した。石材はホルンフェルスが多く、黒曜石も含まれている。

ホルンフェルスの個体別の分布を第49図に示す。ホルンフェルスは全てのブロックに存在し、個体は共通している。PB-01に密集し、PB-02とPB-03はやや散在する。接合資料が得られているが、ブロック間での接合は存在しなかった。

黒曜石の産地別分布を第50図に示す。PB-02には天城柏峠、立科産、PB-03には神津恩馳島、諏訪星ケ台産が特徴的で、箱根畑宿産は双方に共通するが、PB-02に多い分布を示す。



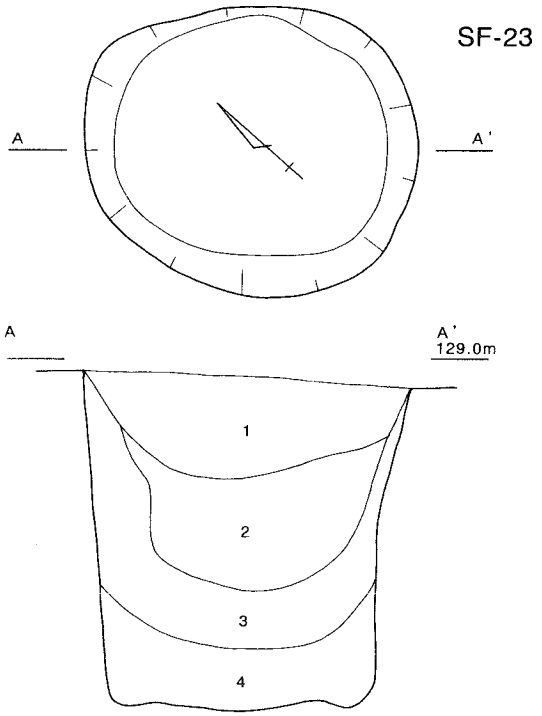
第42図　桜畑上遺跡旧石器時代全体図



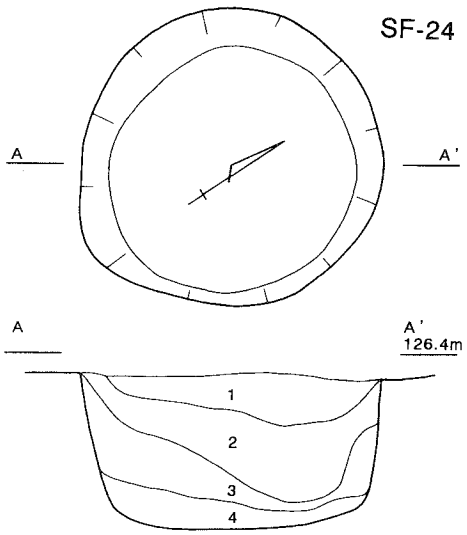
第43図　YL層遺構分布図

(3) 礫群

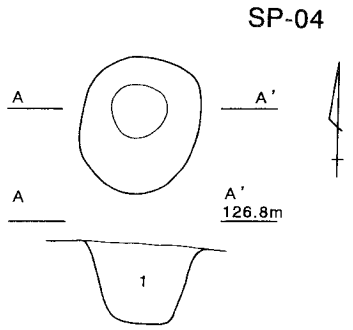
RG-01は1－2区の漸移層からYL層上部を掘削中に検出された。尾根上に立地し、輝石安山岩の礫が3点出土している。(第48図)このうちやや大きな2点は近接するが、1点は割れており、1mほど離れた場所から出土した。レベルも他の2点よりやや高い。最も大形の1点は非赤化であるが、残りの2点は赤化している。周辺からは礫よりもやや浮いたレベルで黒曜石とホルンフェルスの剝片が数点出土しているが、礫群との関連性は不明である。



1 10YR4/4 しまり弱 粘性ややあり
褐 径2～3mmの橙色スコリアを含む
2 10YR4/4 しまり弱 粘性あり
褐 上層よりやや暗く、しまっている
径3～6mmの橙色スコリアを含む
3 10YR4/4 しまり弱 粘性あり
褐 上層と色調は同じ。BB0のロームブロックを含む
4 10YR3/4 しまり弱 粘性あり
暗褐 色調暗い。BBIのロームブロックを含む



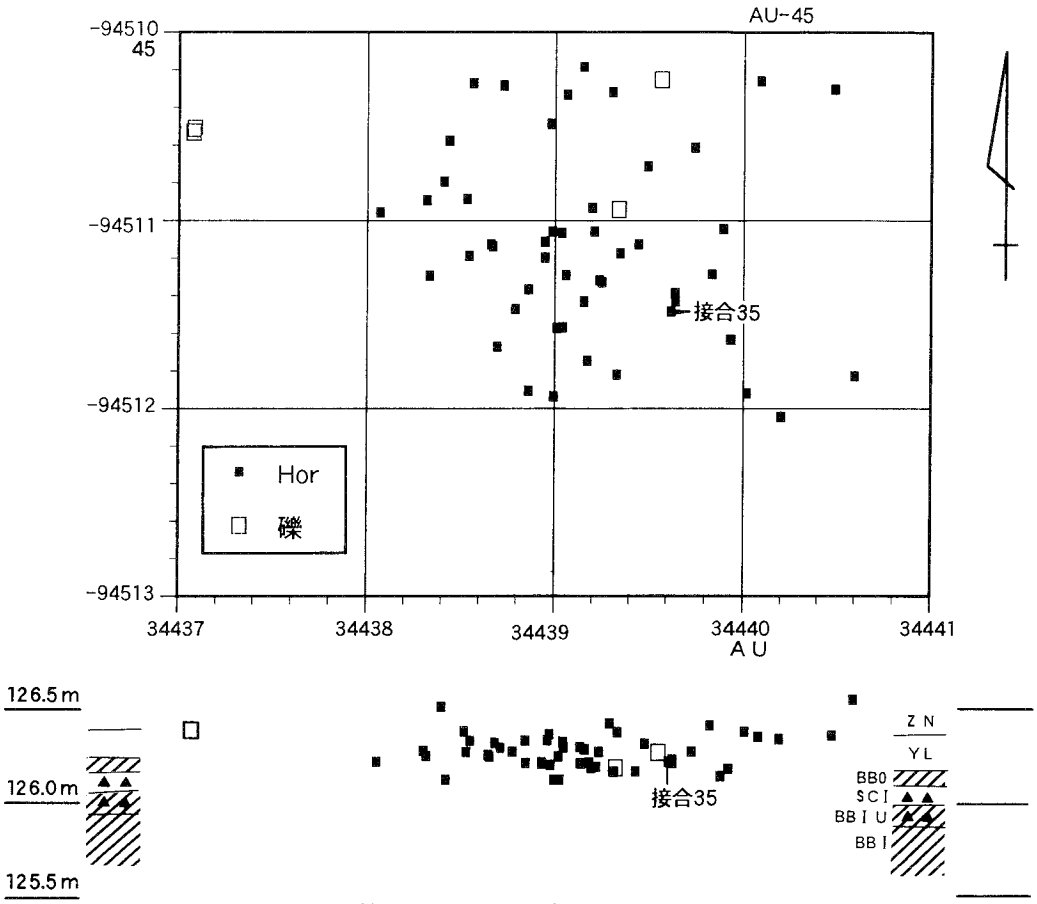
1 10YR4/4 しまり弱 粘性ややあり
褐 YLU～YLMのような土
径2～3mmの橙色スコリアを少量含む
2 10YR4/4 しまり弱 粘性ややあり
褐 YLU～YLLが混ざったような土
色調が上層よりやや暗い
径2～8mmの橙色、赤色、褐色スコリアを含む
3 10YR3/4 しまりややあり。粘性弱
暗褐 黒色土と混じり、まだら状となっている
SCI～BBIがブロック状に混ざる
径2～8mmの赤色、橙色、こげ茶色スコリアを多量に含む
径2～3mmの黄色スコリアを少量含む
4 10YR4/4 しまりあり 粘性あり
褐 YLU～YLMのような土
径2～4mmの橙色スコリアを少量含む



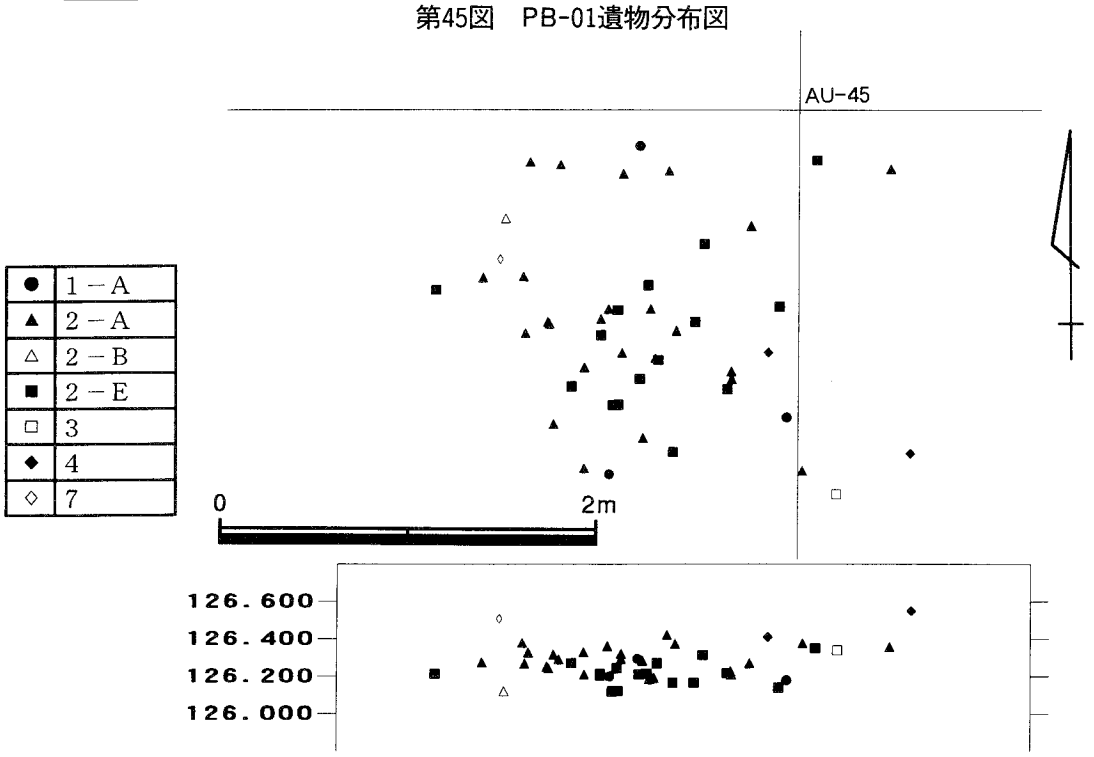
1 10YR4/4 しまり弱 粘性ややあり
褐 YLU～YLMのような土にSCIが混じる
径2～7mmの橙色スコリアを含む
径5mmの黄色スコリアを少量含む

遺構番号	出土区	法量 (cm)			備 考
		長径	短径	深さ	
SF-23	区	92	79	(90)	
SF-24	区	84	78	(40)	

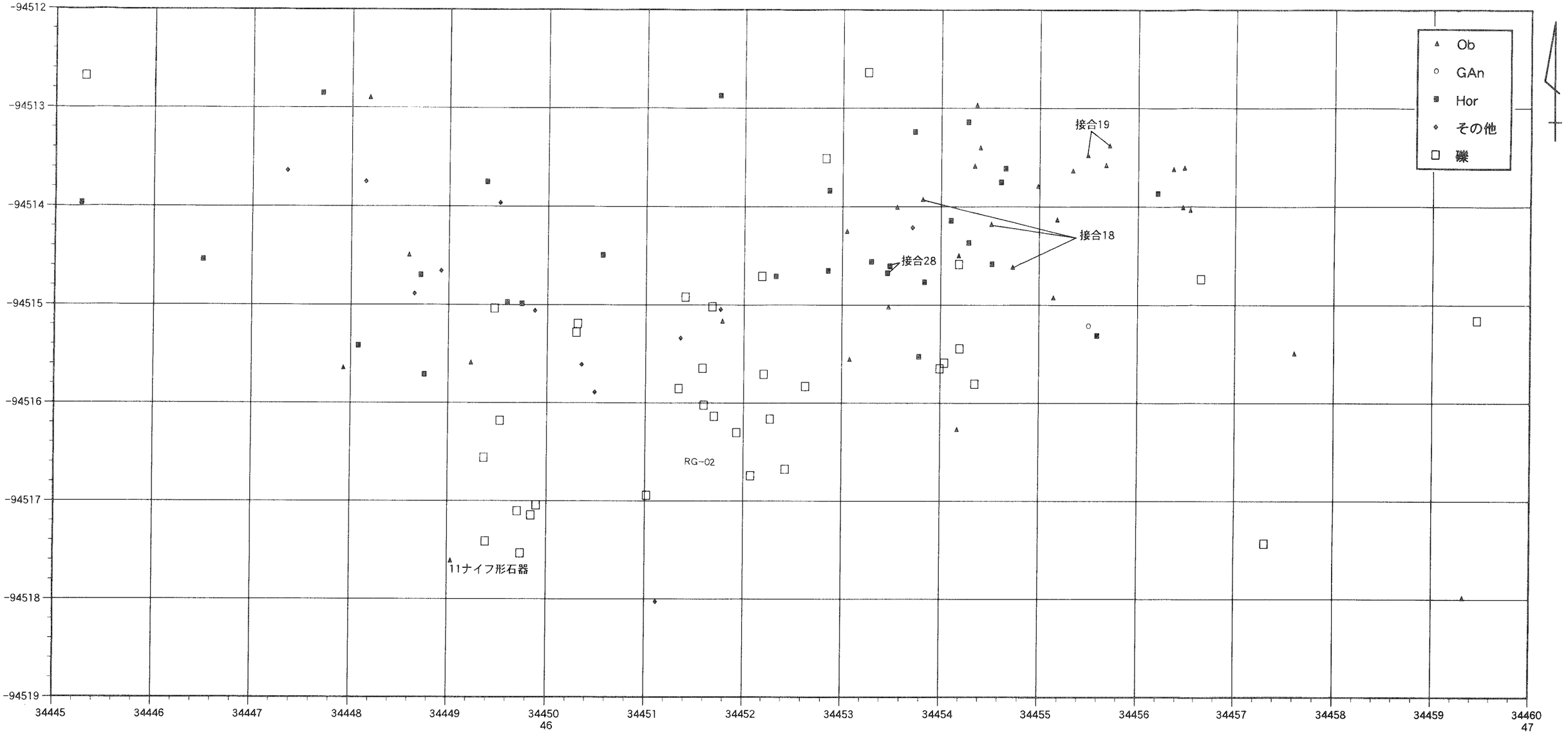
第44図 YL層土坑・小穴実測図

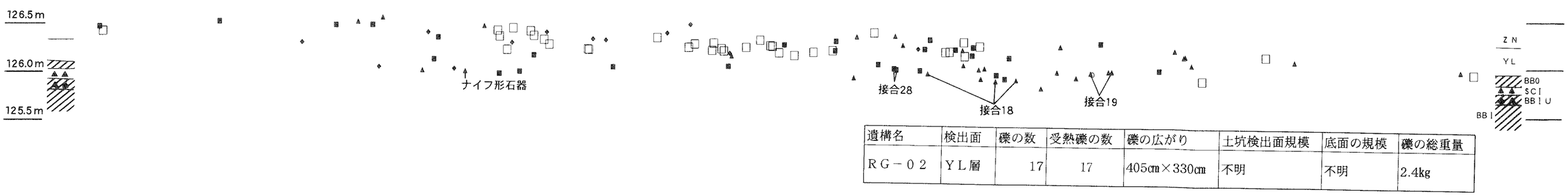


第45図　PB-01遺物分布図



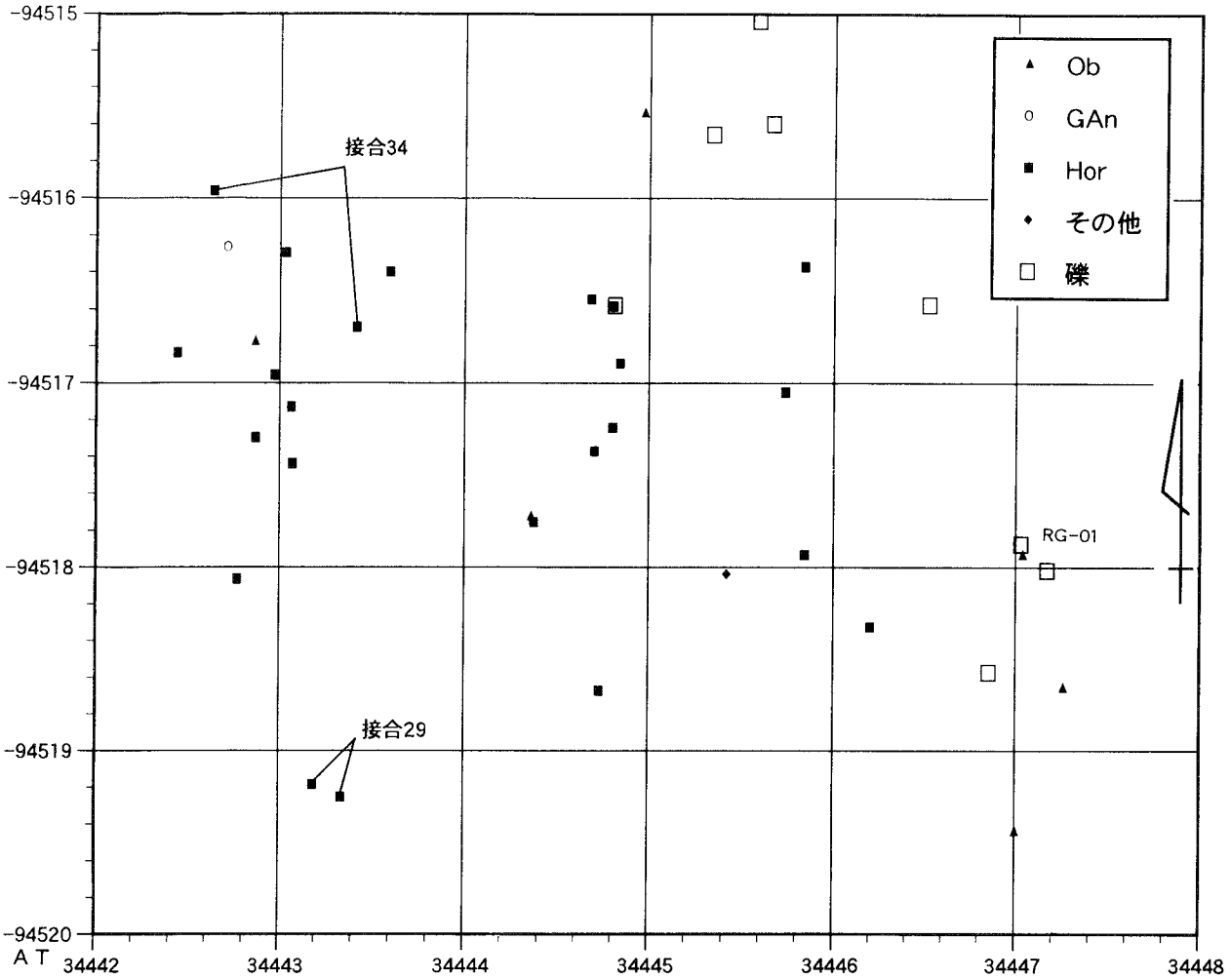
第46図　PB-01 Hor個体別分布図





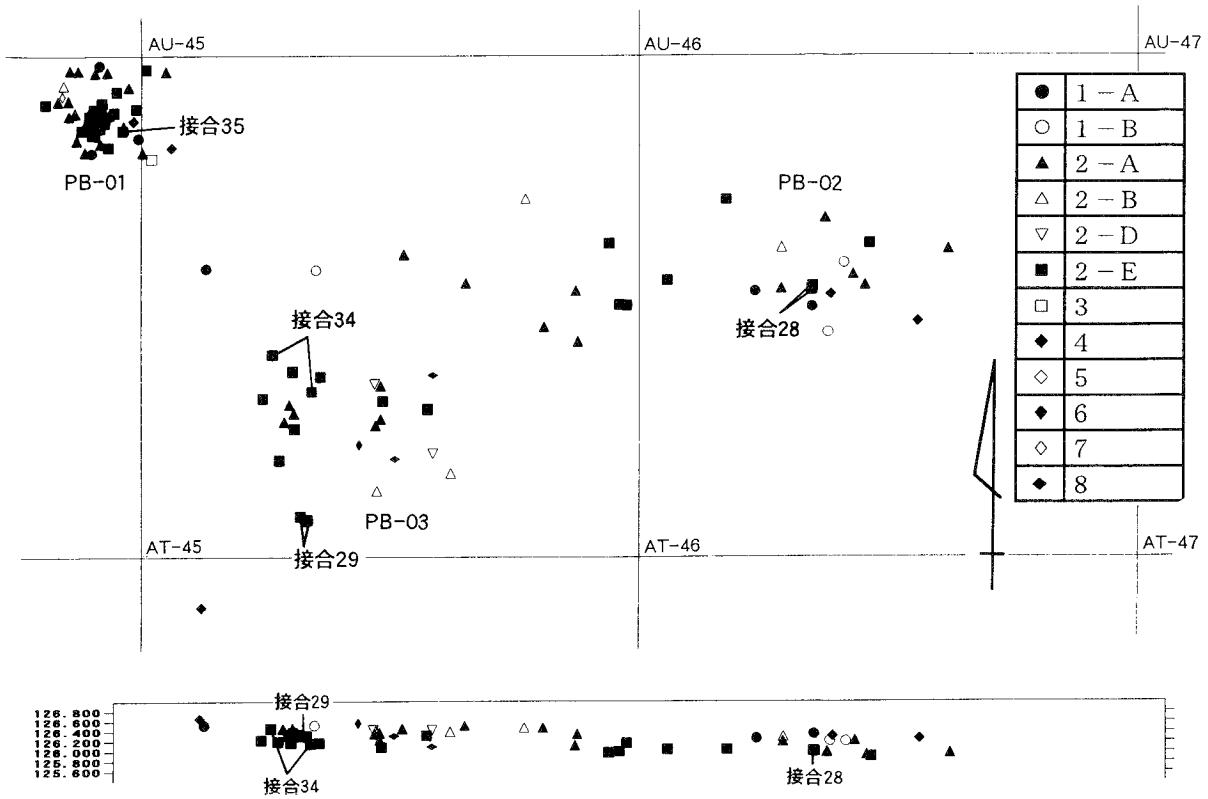
遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
RG－02	YL層	17	17	405cm×330cm	不明	不明	2.4kg

第47図　PB-02・RG-02遺物分布図

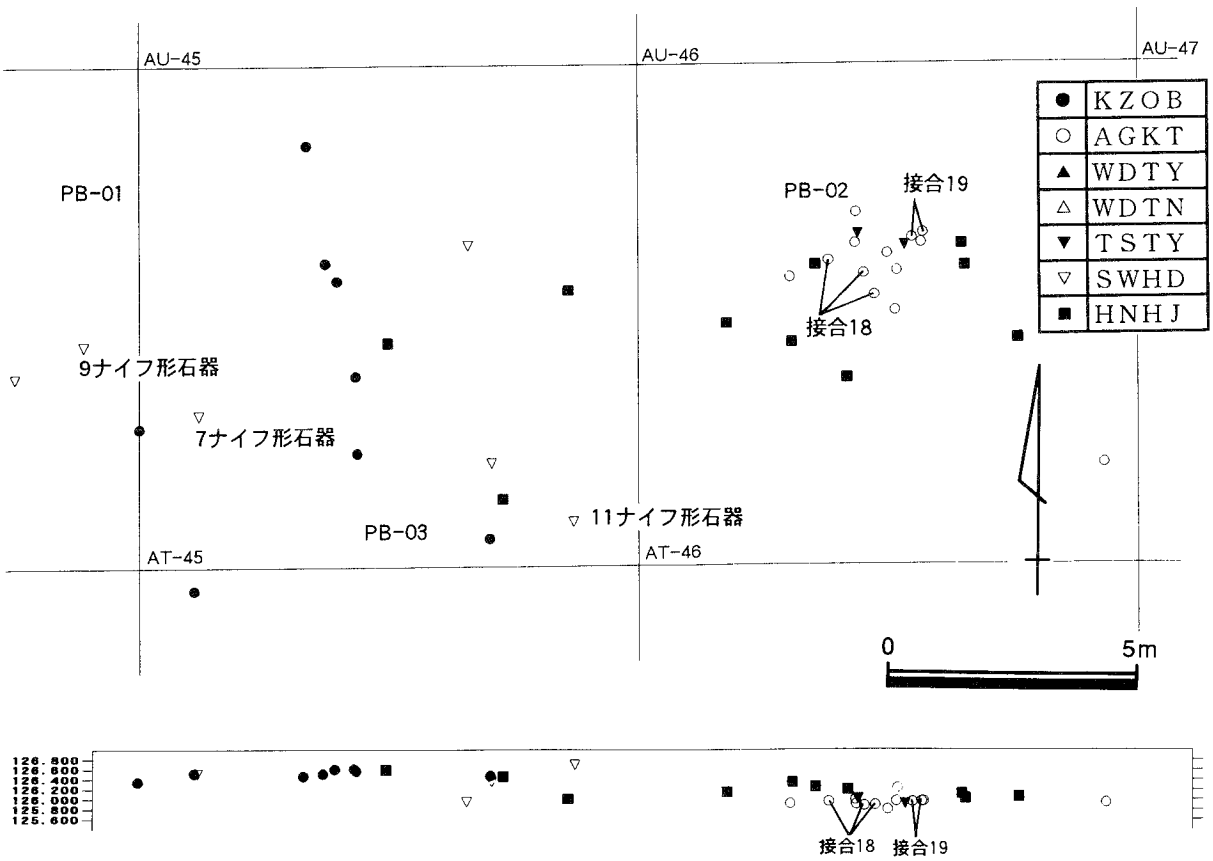


遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
ＲＧ－０１	ＹＬ層	3	2	85㎝×50㎝	不明	不明	0.8kg

第48図　PB-03・RG-01遺物分布図



第49図　YL層Hor個体別分布図



第50図　YL層Ob産地別分布図

RG-02は1－2区YL層掘削中、YL層上位から中位にかけて検出された。尾根状に立地し、径約4mの範囲に輝石安山岩を中心とした礫18点が出土した。(第47図)礫は散在しているが、いずれも赤化し割れているものが多い。位置的にPB-02にの中にあるが、関連は不明である。

2　YL層の遺物

剥片類はZN層からYL層、BB0層で検出されていたが、製品のほとんどは上部のKU層、FB層、ZN層として取り上げられた遺物の中に認められた。堆積が悪いため、多少の遺物の上下があったと考え、これらもYL層相当の遺物として、YL層出土のものと合わせてここで取り扱う。

剥片類はホルンフェルスが多く、次いで黒曜石、珪質頁岩の順となる。ガラス質黒色安山岩もわずかであるが出土している。黒曜石は箱根畑宿産、天城柏峠産が多く、神津島、立科、和田峠のものが少量混じる。

(1)　細石器

KU層からFB層にかけて5点出土した。すべて黒曜石製である。第51図1～4に図示する。4点は1.5cm前後で全て折れている。1点は3.5cmを越える長さの完形で、やや反っている。出土が量的に少なく、細石核は出土しなかった。

(2)　有舌尖頭器

ZN層より1点出土している。ホルンフェルス製で、基部と先端部が欠損しており、表面の劣化が著しい。

(3)　尖頭器

ZN層から1点出土している。ガラス質黒色安山岩製で、長さが約3.5cmと小形である。第51図6に図示する。

(4)　ナイフ形石器

KU層からZN層にかけて6点出土している。第51図7～12に図示する。1点がホルンフェルス製、4点は諏訪星ケ台産の黒曜石製である。1点は折れていて長さが不明だが、他のものは3cm弱の非常に小さいものが多い。

(5)　掻器・削器

片面をスクレイパーとして、もう片面をノッチとして使用しているものがYLU層より1点出土している。ホルンフェルス製で、長さが約7cmである。ZN層から出土したやや大形の剥片と接合し、第53図に接合資料36-aとして図示する。

(6)　楔形石器

線状の潰れがあり、片側に打痕の残る楔形石器がFB層より1点出土している。表面の風化の度合いと形状から旧石器時代のものと考えられる。和田峠産の黒曜石の原石の剥片を利用しているため、片側の面の風化の度合いが著しい。

(7)　接合資料

YL層の剥片資料の接合を行った結果、8点の接合資料が得られた。このうち、剥離の明瞭な4点を第52図・第53図に図示する。接合は前後の層位出土の剥片も含めて実施した。接合資料はPB-01よりホルンフェルスが1点、PB-02より黒曜石が2点、ホルンフェルスが1点、PB-03からホルンフェルスが2点、遺構間から珪質頁岩が1点、遺構外から珪質頁岩が1点得られた。黒曜石はいずれも天城柏峠産であった。接合したものは互いに近い位置の出土である。1点は風化のために加工が不明瞭であるが、他の物は全て剥片を取るために割っている。

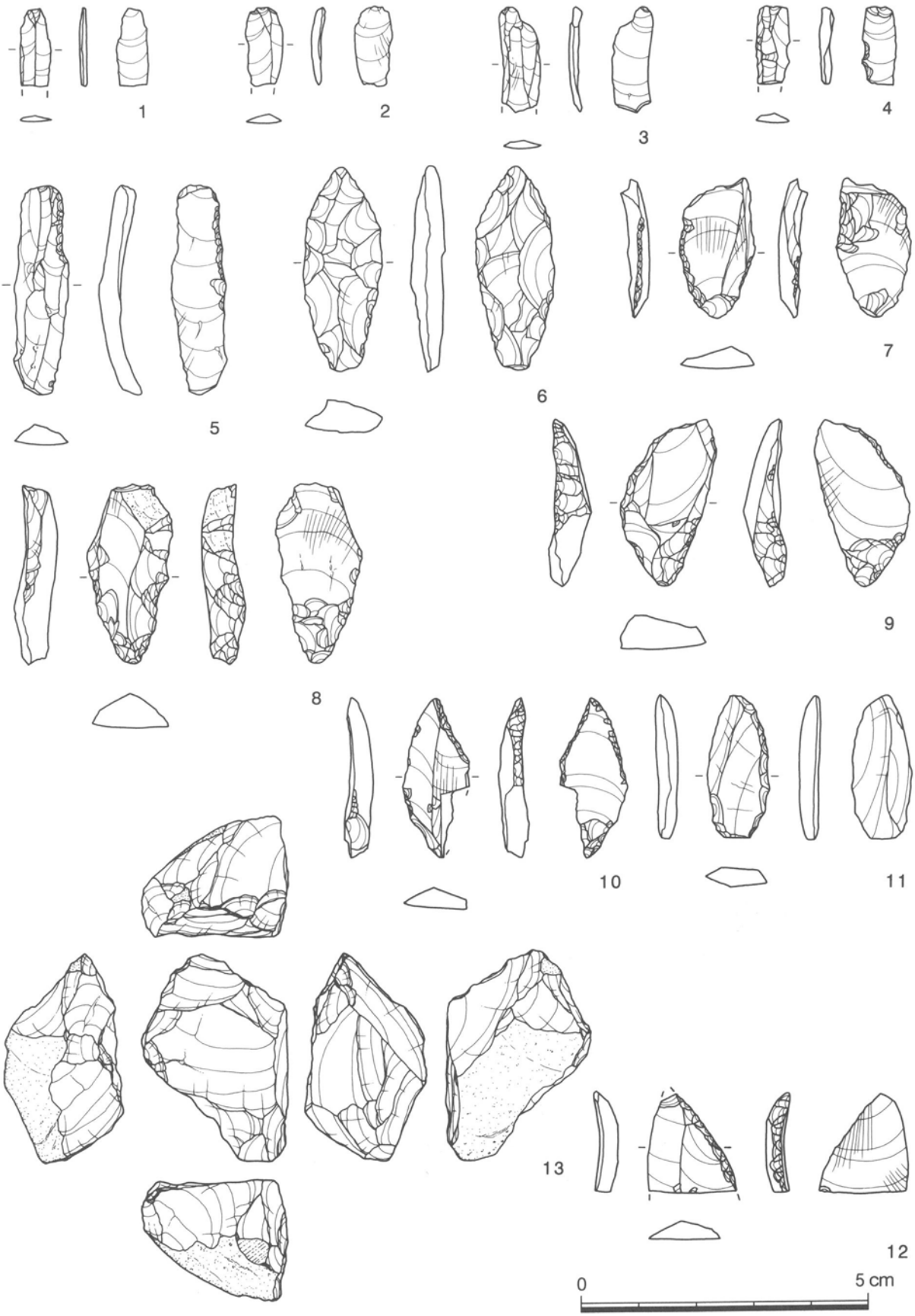
接合資料36はサイドスクレーパーとノッチの機能を持つ石器が剥片と接合している。PB-02とPB-03の範囲に含まれるものがそれぞれ接合している。珪質頁岩は他の石材に比べ出土量も少ないため、第62図にYL層とBBI層出土の珪質頁岩の個体別分布を合わせて記載した。この分布状況からは接合36は確実にそれぞれの遺構に所属するとは考えにくい状況である。

第13表　YL層出土石器一覧表

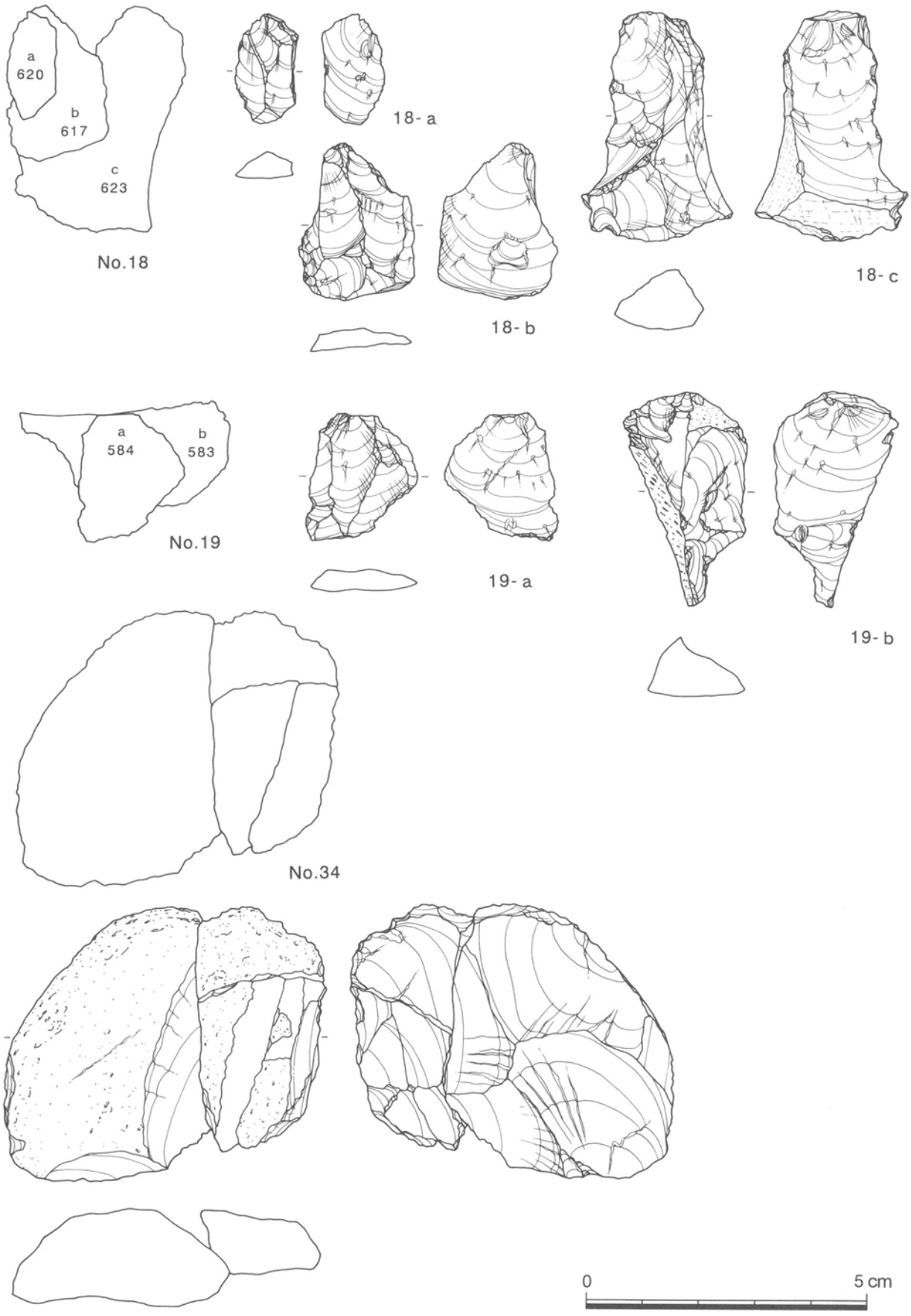
番号	遺物番号	器　種	区	層位	石　材	長さ	幅	厚さ	重量	加　工　等
1	S-296	細石器	1-1区	K U	Ob	1.35	0.5	0.1	0.1	細い縦長剝片。折れている。
2	S-294	細石器	1-1区	K U	Ob	1.4	0.65	0.15	0.1	細い縦長剝片。折れている。
3	S-365	細石器	1-1区	F B	Ob	1.8	0.7	0.15	0.2	細い縦長剝片。折れている。
4	S-432	細石器	1-2区	F B	Ob	1.4	0.55	0.15	0.1	細い縦長剝片。折れている。
5	S-357	小形石刃	1-2区	F B	Ob	3.65	0.95	0.4	1.2	細い縦長剝片。完形。やや反っている。
6	S-551	尖頭器	1-2区	Z N	GAn	3.6	1.4	0.6	2.6	
7	S-499	ナイフ形石器	1-2区	Z N	Ob(SWHD)	2.45	1.3	0.4	1.2	上部欠損。基部両側縁を加工。裏面は基部先端のみ加工。刃部下部に裏を抉るような加工あり。
8	S-386	ナイフ形石器	1-1区	F B	Ob(SWHD)	3.1	1.5	0.65	2.5	上部欠損。基部両側縁加工。基部裏面も加工。
9	S-555	ナイフ形石器	1-2区	Z N	Ob(SWHD)	2.9	1.65	0.65	2.2	上部欠損。基部両側縁加工。基部裏面も加工。
10	S-648	ナイフ形石器	1-2区	F B	Ob(SWHD)	2.75	1.2	0.4	1.0	基部の一部を欠損。基部両側縁加工と思われる。基部裏面も加工。
11	S-562	ナイフ形石器	1-2区	Z N	Hor	2.5	1.05	0.35	1.0	磨滅のため加工不明瞭。片側にブランティングあり。
12	S-220	ナイフ形石器	1-2区	K U	Ob(SWHD)	1.75	1.55	0.35	0.8	上部欠損。片側にブランティングあり。
13	S-138	石核	1-3区	F B	Hor	7.25	5.1	4.1	152.3	一部に自然面が残る。
	S-485	ノッチ・スクレーパー	1-2区	YLU	Hor	6.8	5.0	1.6	43.2	やや厚みのある石材。片側をスクレーパー、片側をノッチとして作る。
	S-286	有舌尖頭器	1-1区	Z N	Hor	4.3	1.2	0.5	2.9	上下端を欠損。風化が著しい。

第14表　YL相当層接合資料一覧

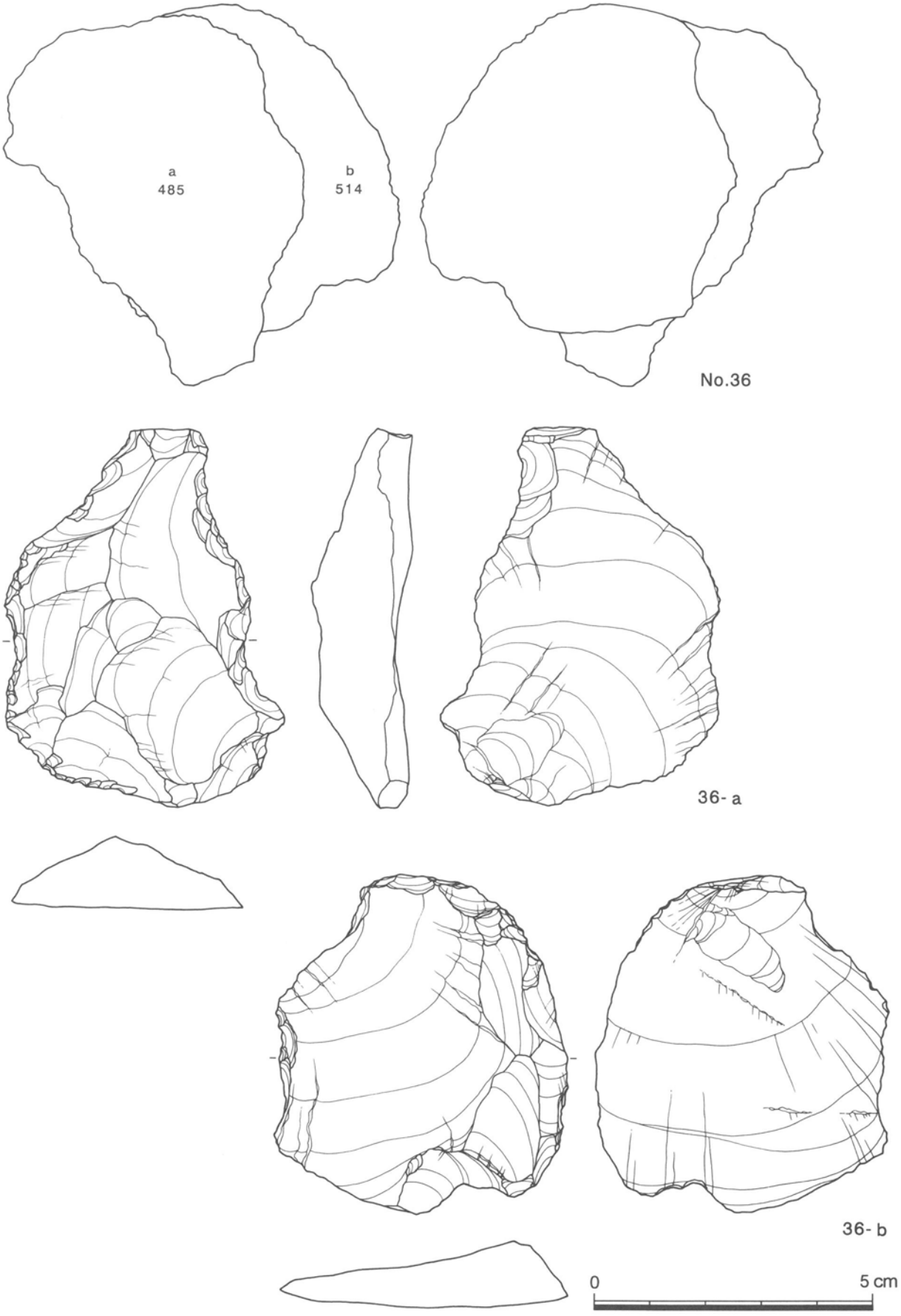
接合番号	遺物番号	石　材	個体別	層　位	遺　構	加　工
18	S-617、620、623	Ob(AGKT)	AGKT1	YLL 〜 BBO	PB-02	一部に原石の表面が残る。横に打った痕が残り、打面を90度変えて、縦方向に打って剝片を取っている。接合した3片は同一方向からの打撃による剝離である。
19	S-583、584	Ob(AGKT)	AGKT1	YLM 〜 YLL	PB-02	一部に原石の表面が残る。この表面を打面として使用した後、打面を90度変えて打っている。
27	S-534、535	SSh	SSh4-A	Z N		同方向からの2回の剝離が見られる。打撃時に節理で割れたもの
28	S-590、591	Hor	Hor2-E	YLL	PB-02	風化のため剝離状況不明。
29	S-626、627	Hor	Hor2-E	YLM	PB-03	風化のため、剝離状況不明瞭。横に打った痕が残り、打面を90度変えて、縦方向に打って剝片を取っている。
34	S-501、600	Hor	Hor2-E	ZN・BBO	PB-03	一部に原石の表面が残る。左右から打撃を加えて剝片を取った後、上面に打面を作り、剝離を行なっている。
35	S-465、466	Hor	Hor2-E	YLL	PB-01	一部に原石の表面が残る。上面に打面を作り、縦方向に打って剝片を取っている。
36	S-485、514	SSh	SSh1-A	ZN・YL		S-485は製品（サイドスクレーパー・ノッチ）である。上下に打面を作り、下から打った後、180度打面を変えて剝片を取っている。



第51図　YL層遺物実測図



第52図　YL層接合資料実測図 1



第53図　YL層接合資料実測図 2

3　BBⅠ層の遺構

BBⅠ層上では、1－2区より石器ブロックが2カ所、礫群が3カ所、炭化物集中が3カ所検出された。第54図に位置を示す。いずれの遺構も西から東に向かって延びる痩尾根上に分布する。

(1)　石器ブロック

PB-04は1－2区中央部で検出された石器ブロックである。石材は黒曜石とガラス質黒色安山岩を中心とし、わずかにホルンフェルスや珪質頁岩が出土した。(第55図)ブロックの中心は黒曜石とガラス質黒色安山岩の2つに分かれ、互いの中心との距離は約2mである。遺構の中に礫はあまり存在しなかった。黒曜石の産地は蛍光X線分析によれば、ほとんどが箱根畑宿のものである。(第57図)

PB-05は1－2区の東壁よりで検出された石器ブロックである。石材はほとんどが黒曜石で、ホルンフェルス、珪質頁岩などがわずかに混じる。(第56図)中心は4mほど離れて二カ所存在する。東壁よりの方が遺物量が圧倒的で、下部に炭化物と礫群を伴っている。黒曜石の産地は蛍光X線分析によれば、箱根畑宿と諏訪星ケ台のものが混在する。(第57図)

箱根畑宿産の黒曜石の個体別の分布を第58図に示す。接合作業の結果、17点の接合資料が得られた。ほぼ各ブロック内での接合である。接合1の資料のみPB-05の南側に接合する剝片が存在する。また、個体別の分類により、共通する個体と各ブロックに特有の個体が存在する。諏訪星ケ台産の黒曜石の個体別の分布を第59図に示す。ほとんどがPB-05の分布であり、南北で接合する資料が得られた。PB-04にもわずかであるが諏訪星ケ台産のものが存在するが、PB-05のものとは異なる個体である。

ホルンフェルスの個体別の分布を第60図に示す。量的には少ないが、PB-04とPB-05でほぼ共通する個体の分布がある。接合資料は得られなかった。

ガラス質黒色安山岩の個体別の分布を第61図に示す。PB-04にのみ分布し、5点の接合資料が得られた。個体は複数存在するが、上下差も少なく密集していることから、同時期の分布と考えられる。

珪質頁岩については量が少なく、1つのブロックの可能性を検討するため、YL層の分布とBBⅠ層の分布を重ねて第62図に示した。近い範囲に分布しているが、分布範囲がややずれており、標高的にもはっきりと上下に分離している。接合した資料も上層と下層で接合するものは存在しなかった。上層と下層とで時期が異なると考えて良いであろう。

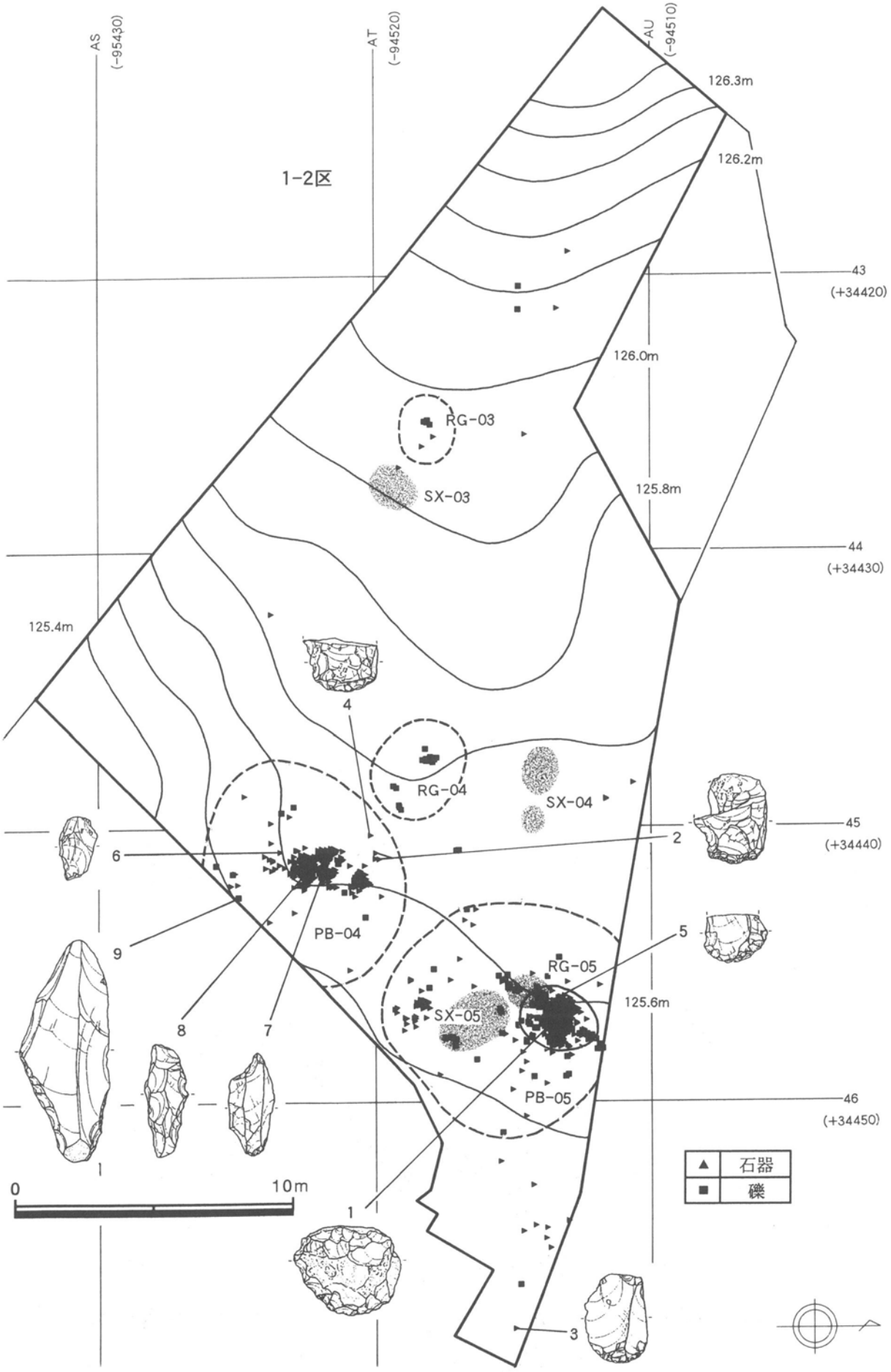
(2)　礫群

RG-03は1－2区の北側でBBⅠ層掘削中に検出された。約1mの範囲に輝石安山岩の礫4点が分布する。(第64図)2点は近接しているが、2点はそれぞれ離れた位置から出土した。1点は赤化完形礫で3点は赤化破損礫である。このうち1点はススが付着している。2点の礫の近接しているカ所から表面が赤化したホルンフェルス2点が出土した。この2点は接合する。

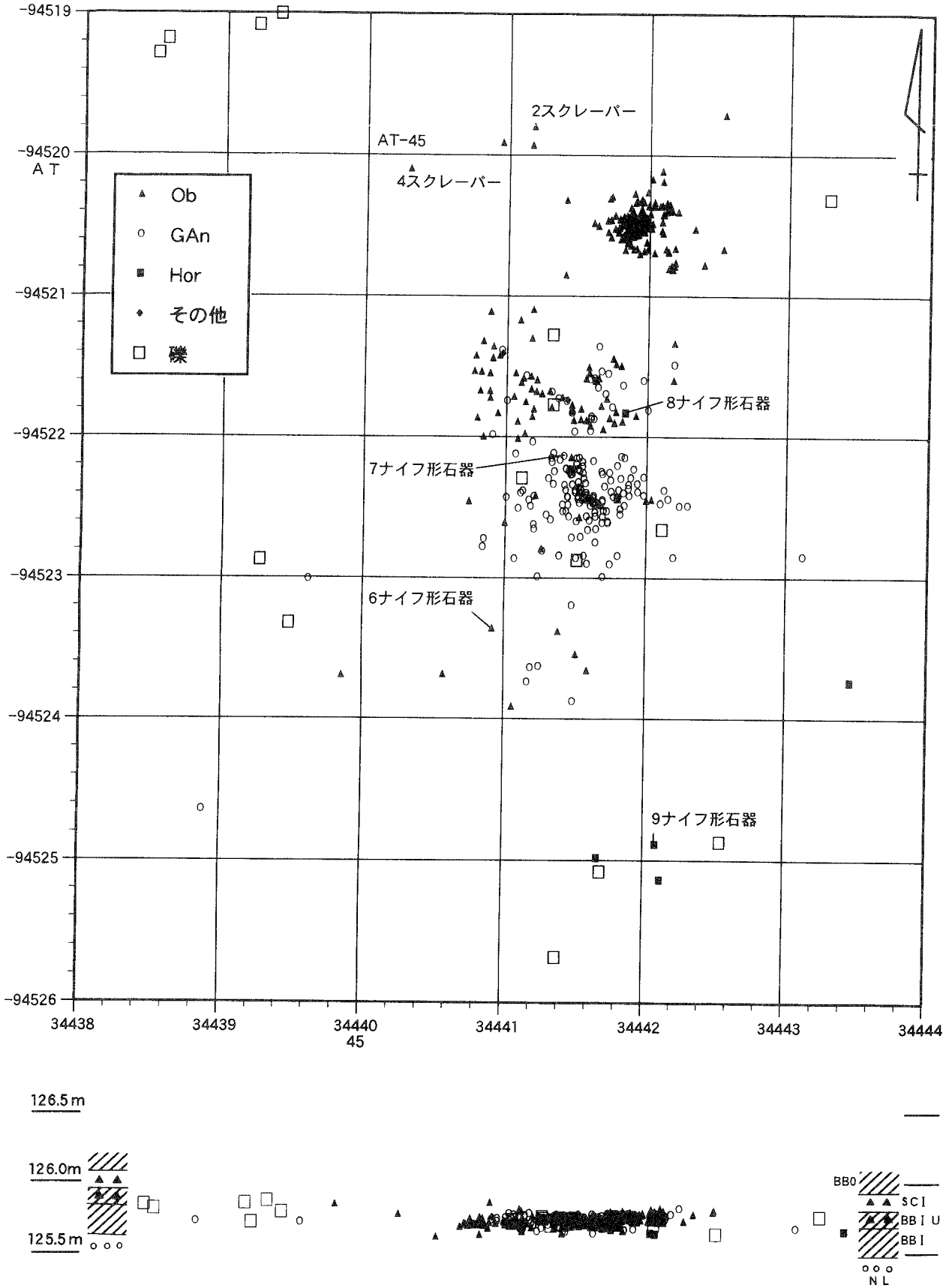
RG-04は1－2区のほぼ中央で、BBⅠ層掘削中にBBⅠ層のほぼ中位から礫が20点出土した。(第65図)玄武岩が1点混じるが、他はすべて輝石安山岩である。全ての礫が全面赤化しており、完形礫と破損礫がほぼ半々くらいの割合である。帯状に礫が集中する部分があり、この片側に炭化物が分布する。

RG-05はPB-05調査中、重なるようにBBⅠ層中位から下位にかけて検出された。径約4mほどの範囲に礫が分布し、中央には礫が集中し、下部から炭化物が多量に検出された。(第66図)この礫の下部にさらに径約20cmの範囲で柔らかい土が落ち、取り囲むように礫3点が出土した。礫は全て輝石安山岩で、全面が赤化し、完形礫より破損礫がやや多い。炭化物は加速器質量分析法による放射性炭素年代測定で24610±100、24540±110、24320±100（yrBP±1σ）である。

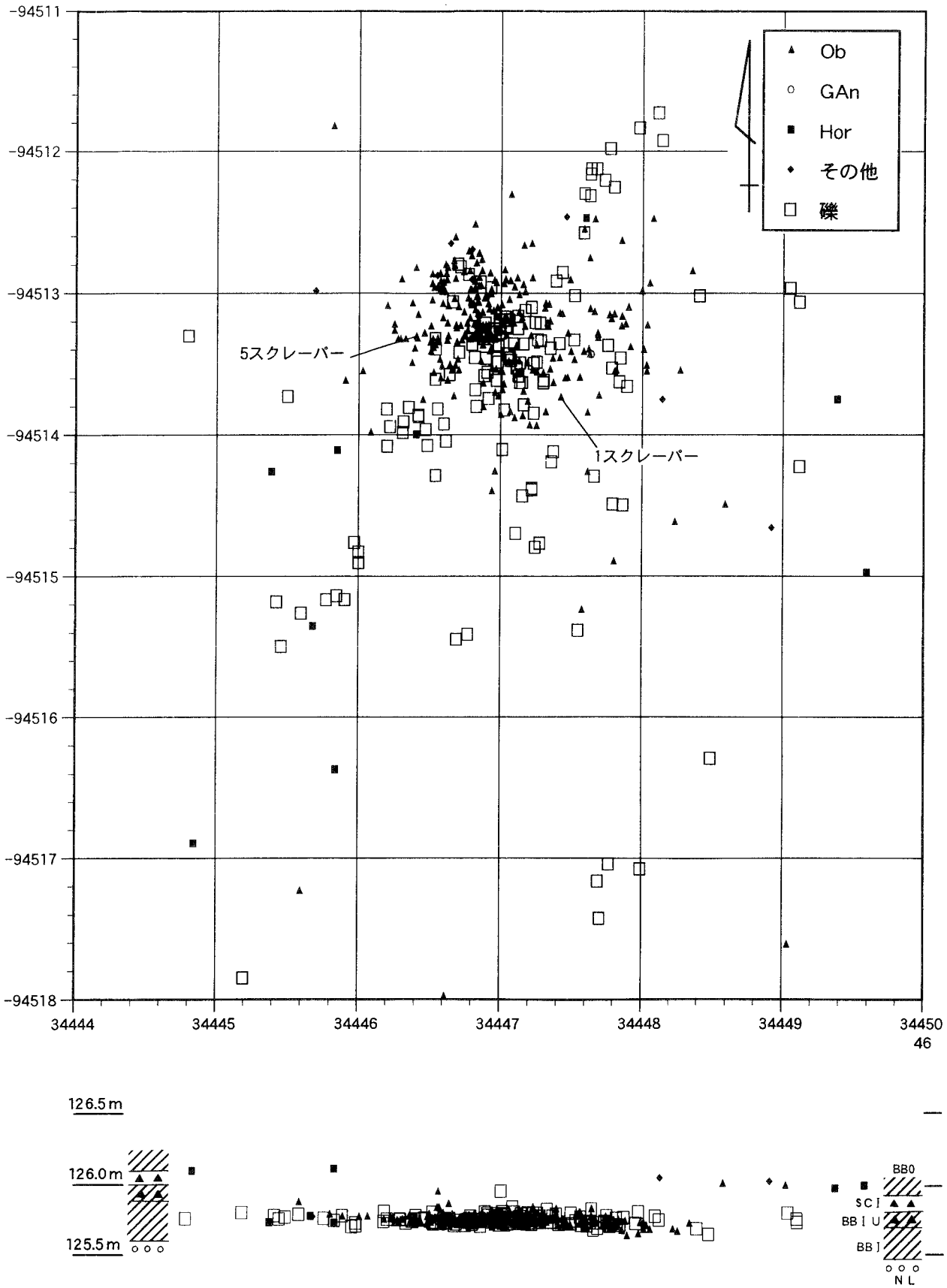
BBⅠ層で出土した礫について接合を行なった結果、RG-04とRG-05、遺構外出土の礫が多く接合した。接合の状況を第63図に示す。礫は破損面まで全面赤化しているものがほとんどで、再利用されている。遺構の残存状況はRG-05が良く、同一礫の分布はRG-05でかなり広がる。このことから、RG-04で使用



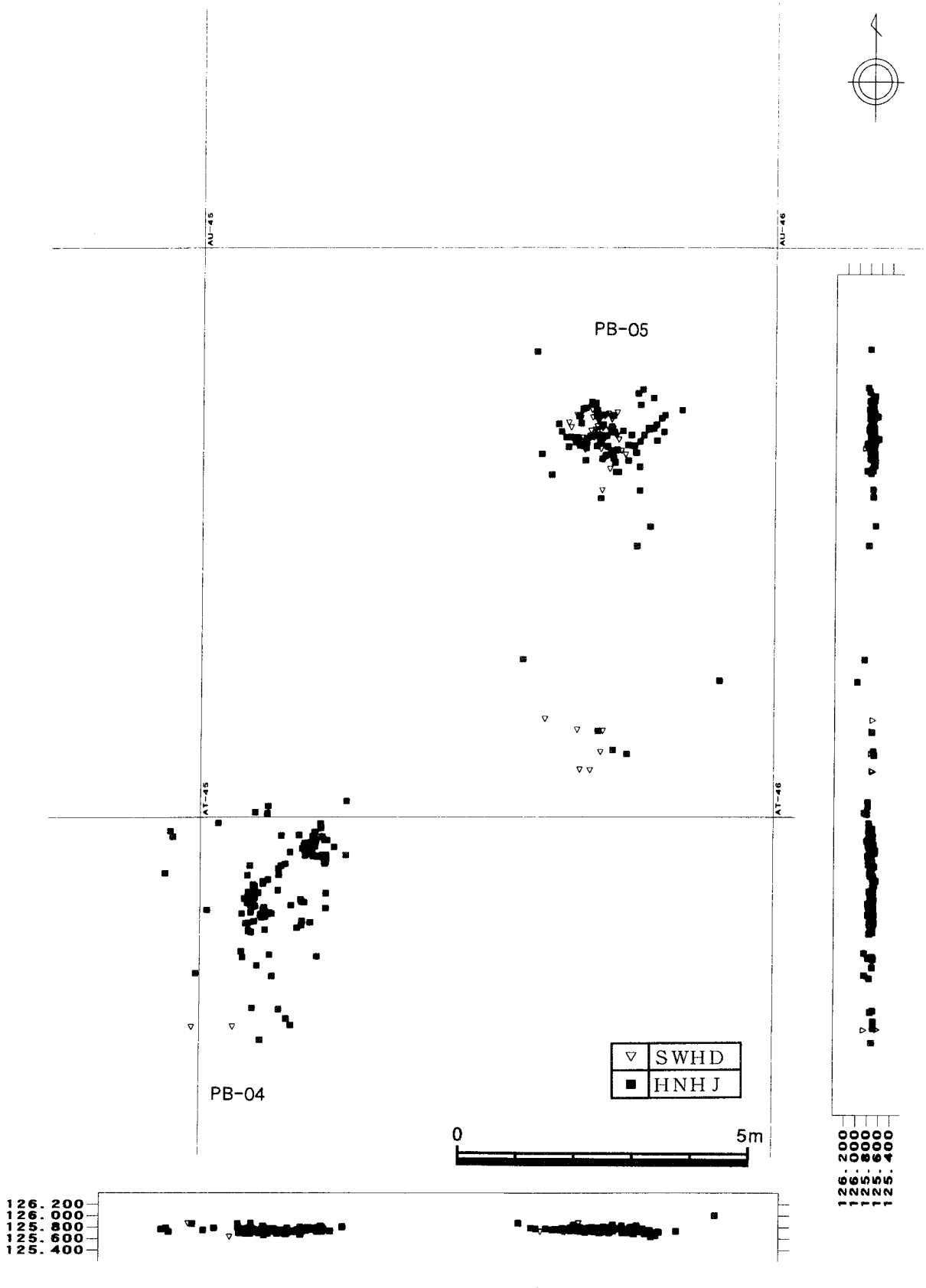
第54図　BBI層遺構分布図



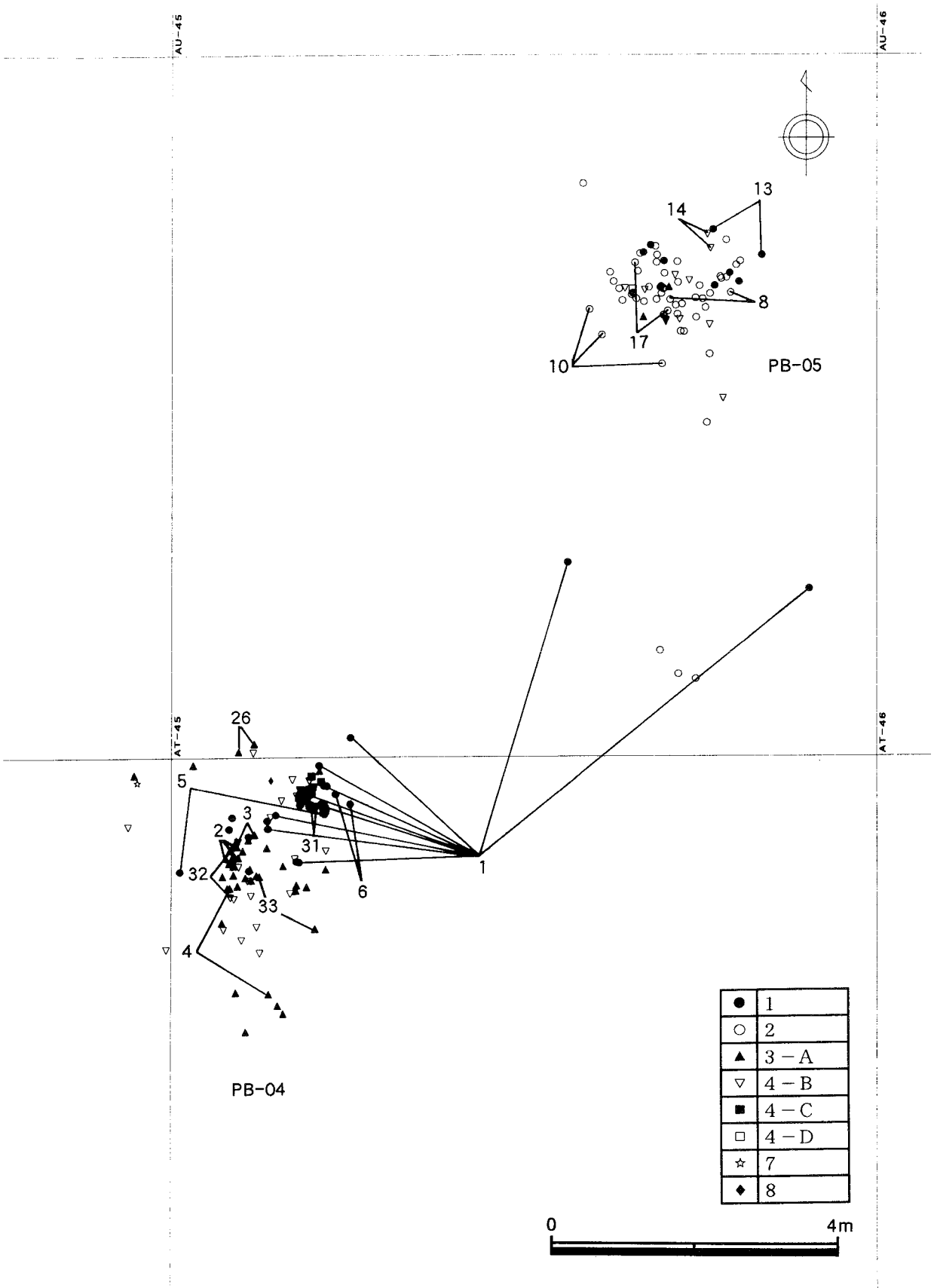
第55図　PB-04遺物分布図



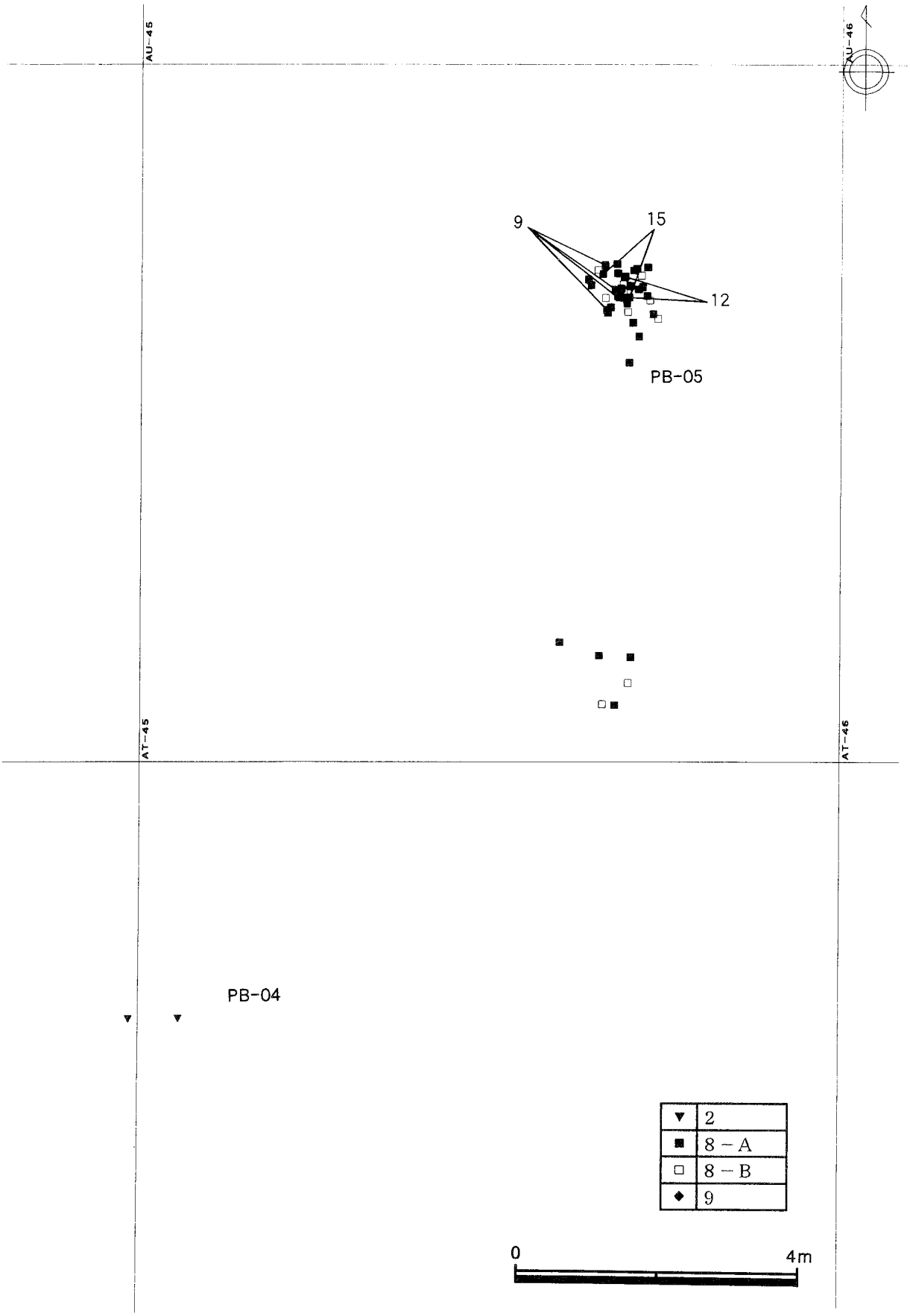
第56図　PB-05・RG-05遺物分布図



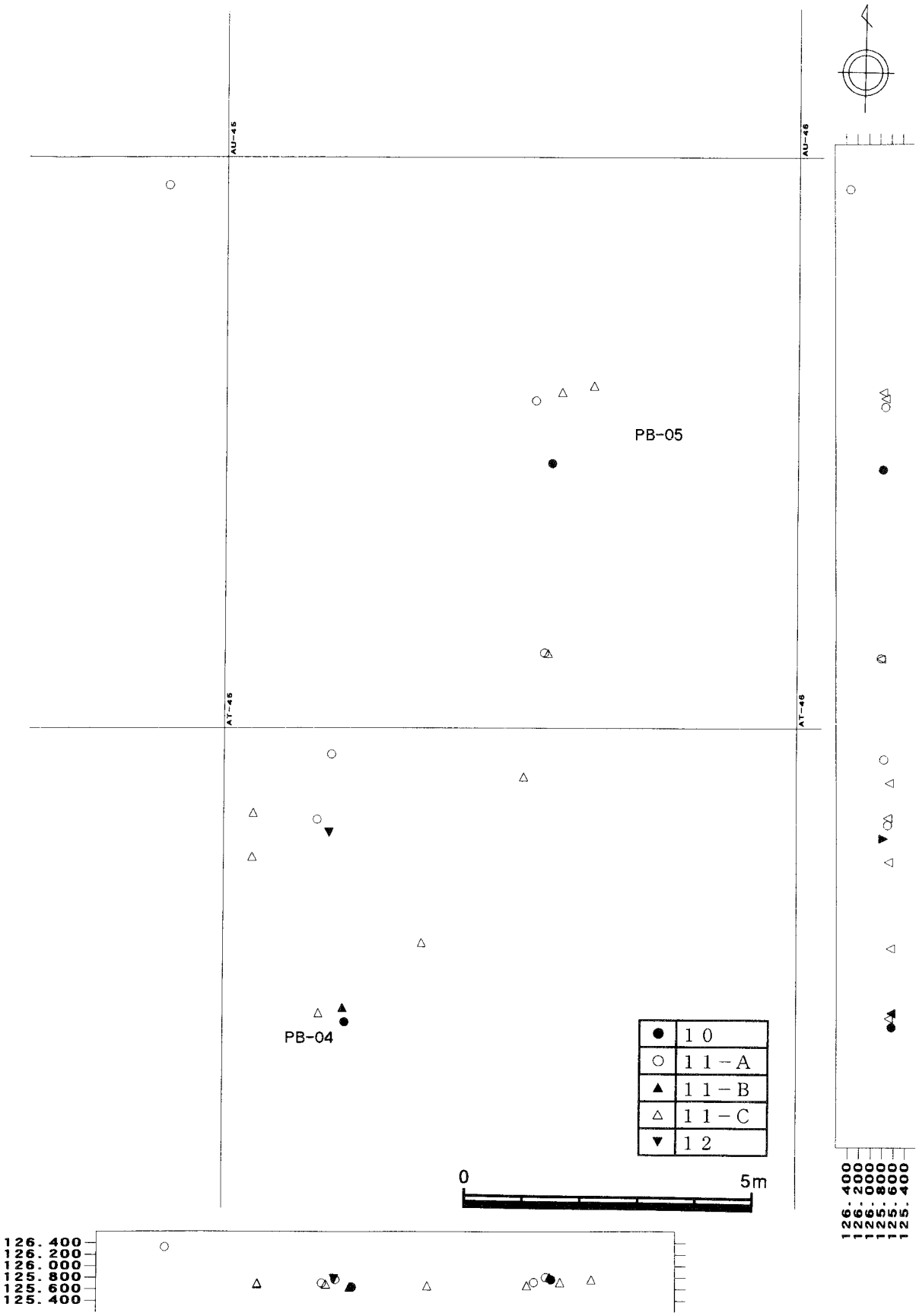
第57図　BBI層Ob産地別分布図



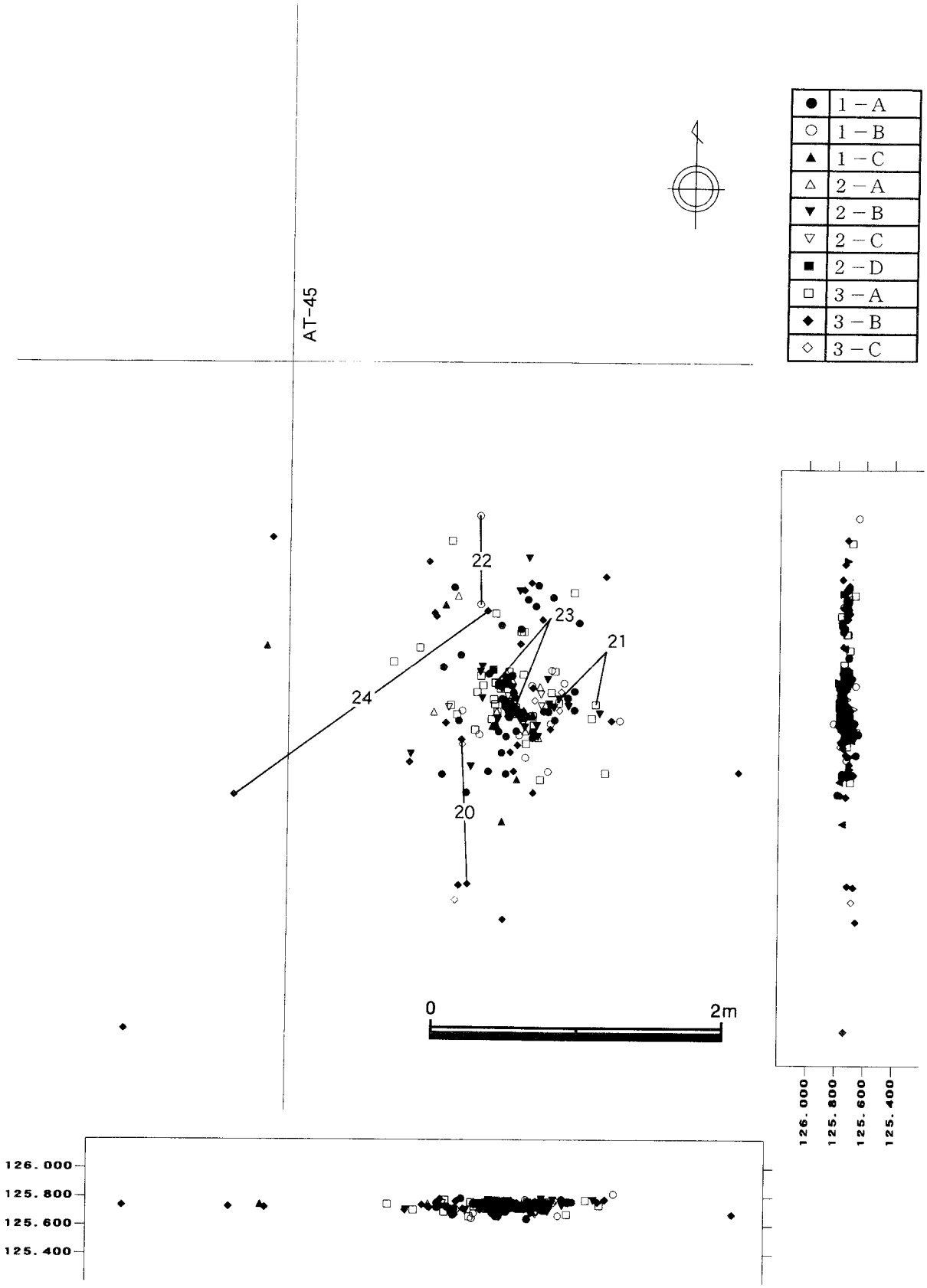
第58図　BBI層HNHJ産Ob個体別分布図



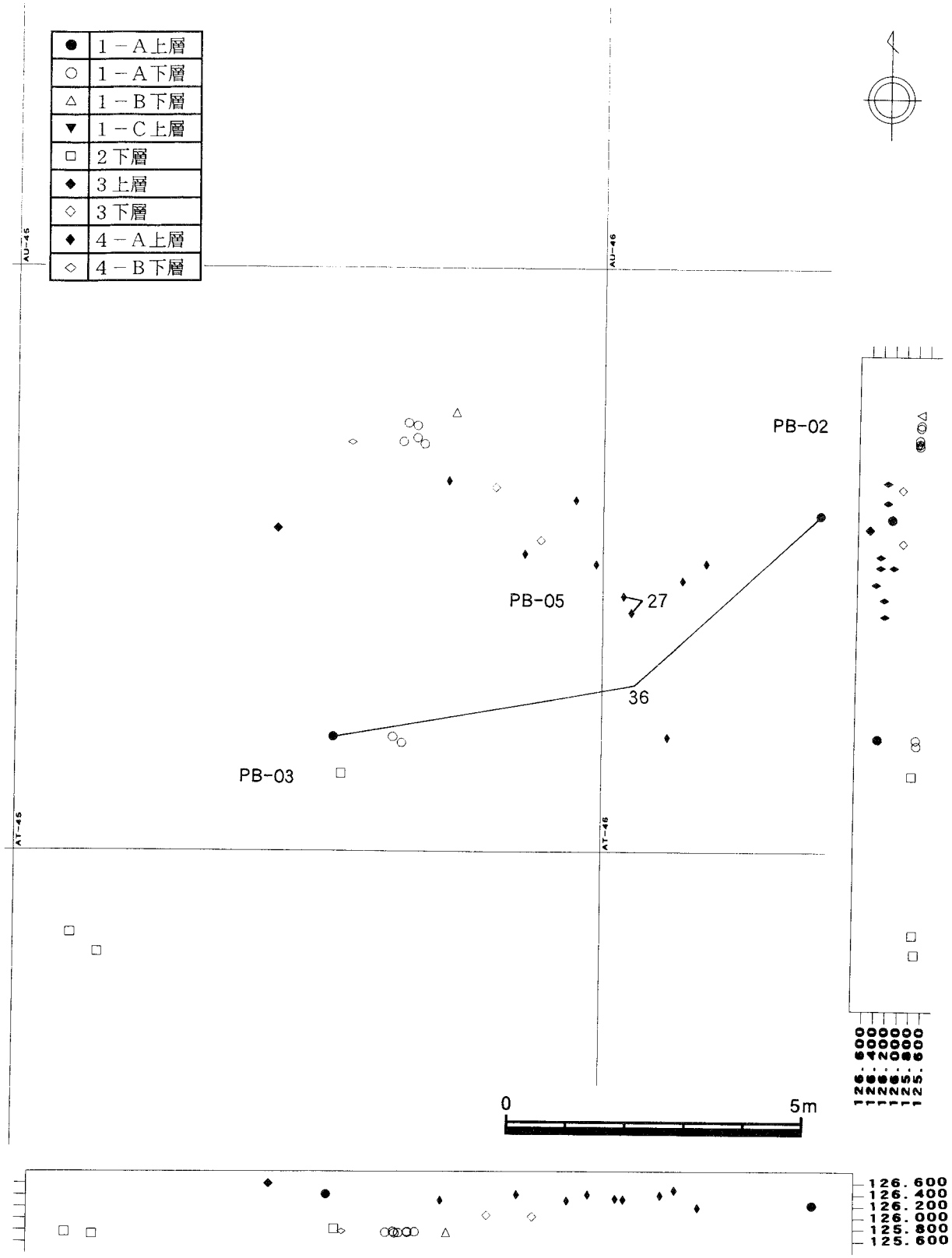
第59図　BBI層SWHD産Ob個体別分布図



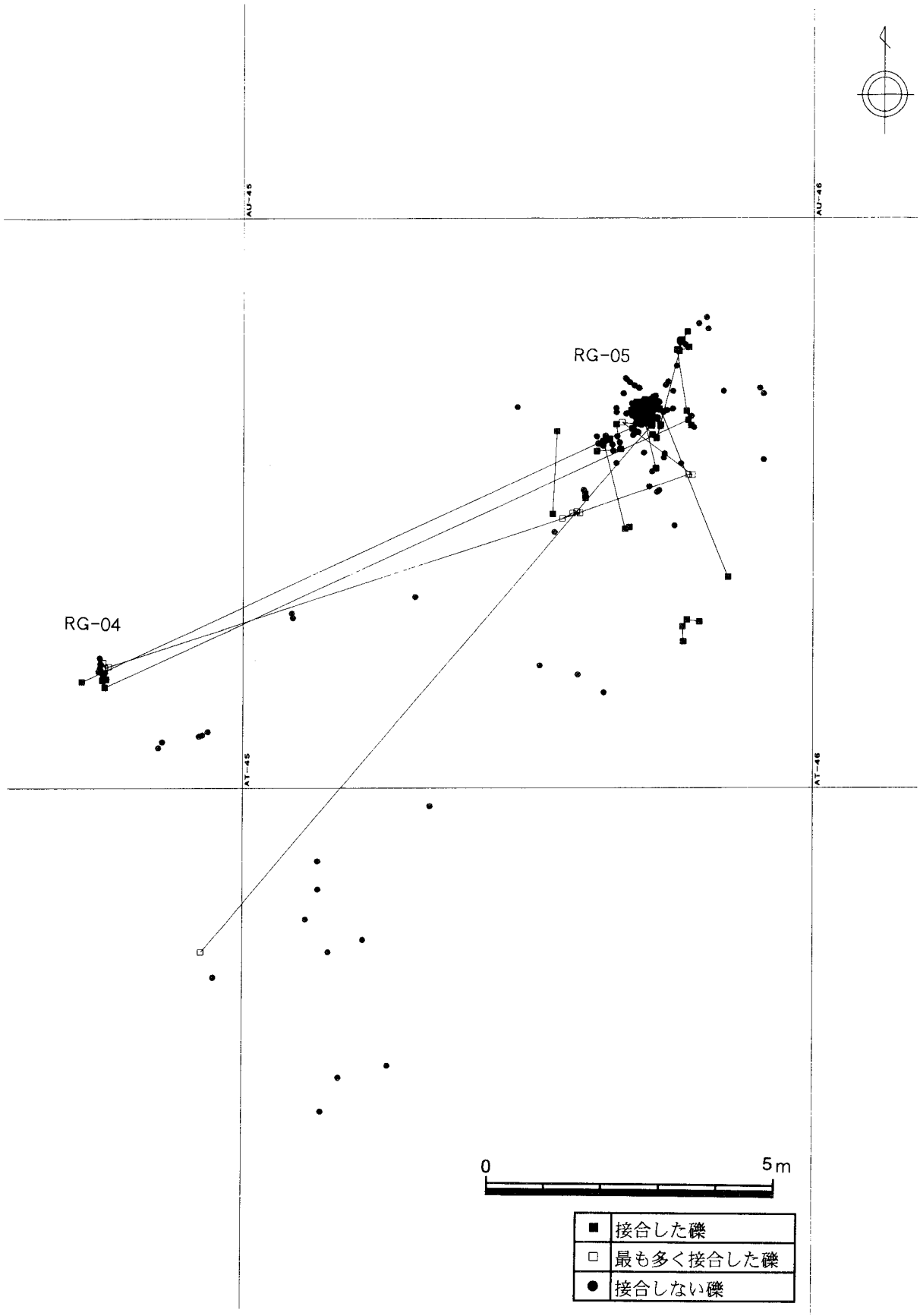
第60図　BBI層Hor個体別分布図



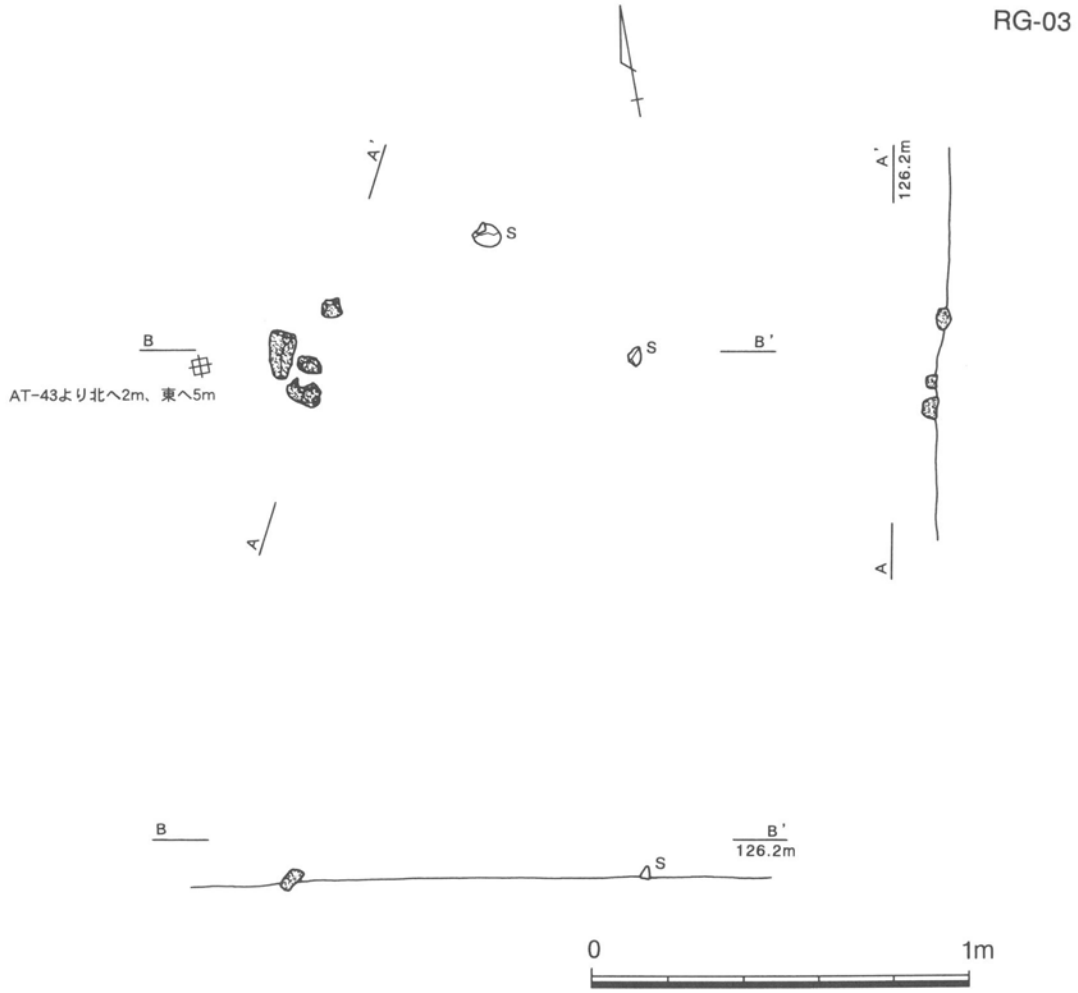
第61図　BBI層GAn個体別分布図



第62図　YL～BBI層SSh個体別分布図



第63図　BBI層礫接合図



遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
ＲＧ－０３	BBⅠ層	4	4	120㎝×95㎝	不明	不明	0.8kg

第64図　RG-03遺構図

された礫がRG-05で再利用されていると考えられる。RG-04の礫を多く持ち去っているため、両者の時期差はごくわずかであると考えられる。遺構外の接合礫はRG-04やRG-05から周囲に散ったものと考えられる。RG-03は他の遺構との接合関係がなかったため、同時期のものであるかは不明である。

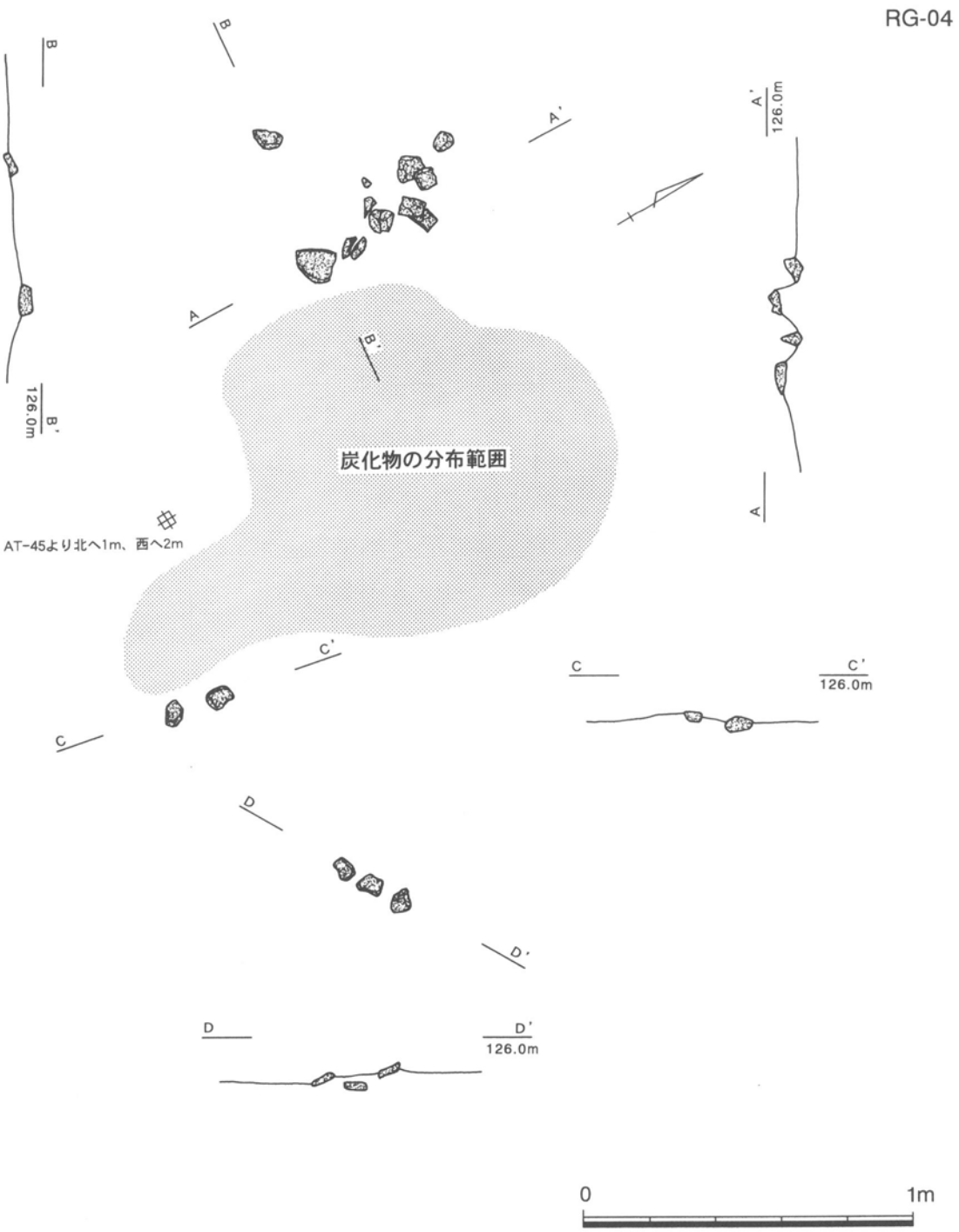
(3)　炭化物の集中

炭化物の集中はいずれも礫群に近接した位置で検出された。礫群の礫が被熱していることから、礫群との関連性は高いと考えられる。

SX-03はRG-03の南側で、BBⅠ層掘削中に検出された炭化物の分布である。BBⅠ層下位からNL層上面にかけて、2.5m×1.5mの範囲に薄く炭化物が広がっていた。

SX-04はPB-05のの北側で、BBⅠ層掘削中に検出された炭化物の分布である。BBⅠ層下位からNL層にかけて、径約1.5mの範囲に径2～５㎜の細かい炭化物が薄く分布していた。

SX-05はRG-05の西側から南西側にかけて、検出された炭化物の分布である。BBⅠ層下位からNL層にかけて検出された。分布の中心が２カ所あり、一方は1.4m×１m、もう一方は2.6m×1.4mの範囲に分布する。加速器質量分析法による放射性炭素年代測定で25330±110（yrBP±1σ）である。



遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
ＲＧ－０４	BBⅠ層	18	18	270㎝×160㎝	不明	不明	2.8kg

第65図　RG-04遺構図

遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
ＲＧ－０５	BBⅠ層	81	81	330㎝×240㎝	不明	不明	19.2kg

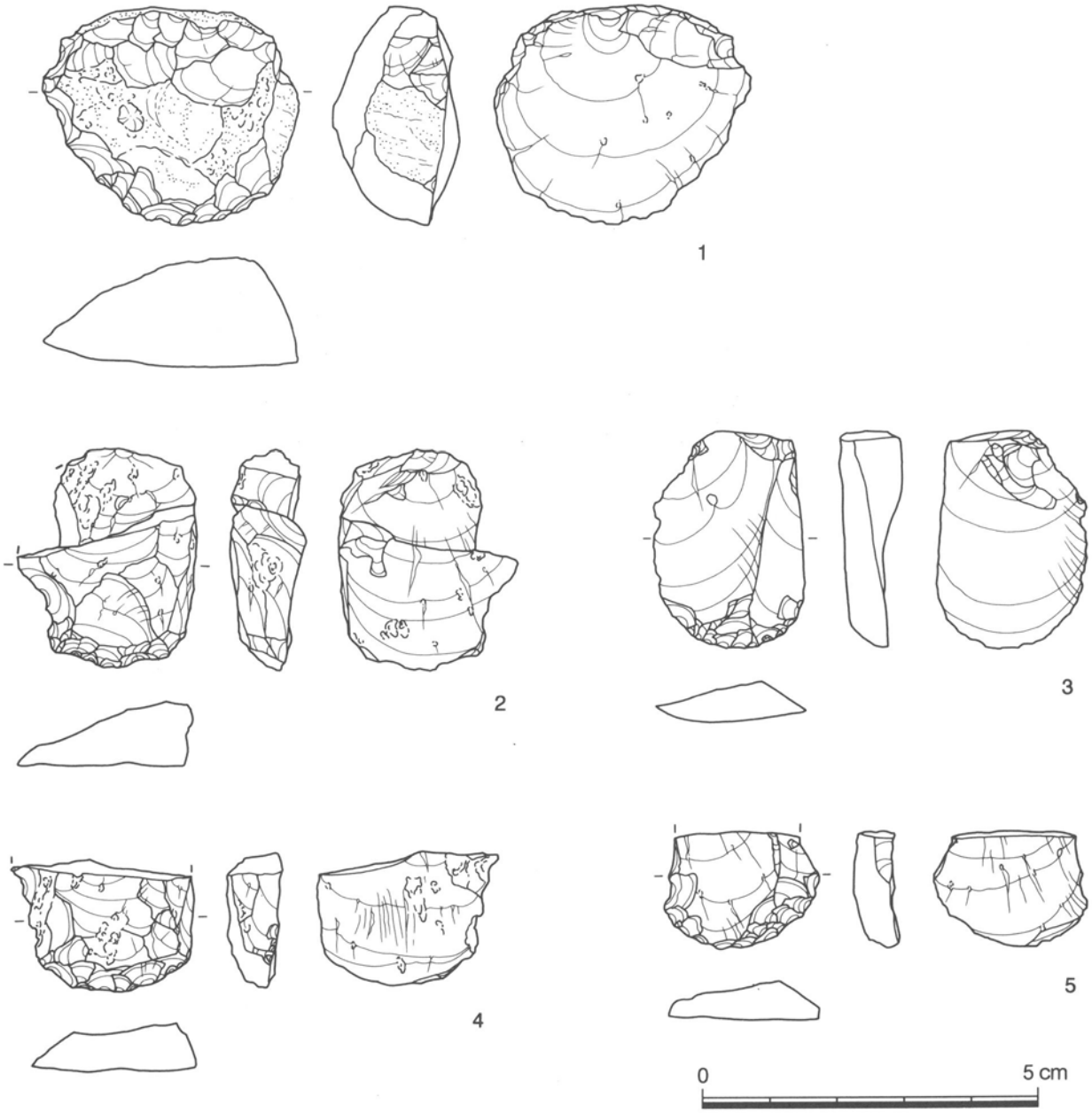
第66図　RG-05遺構図

4　BB I 層の遺物

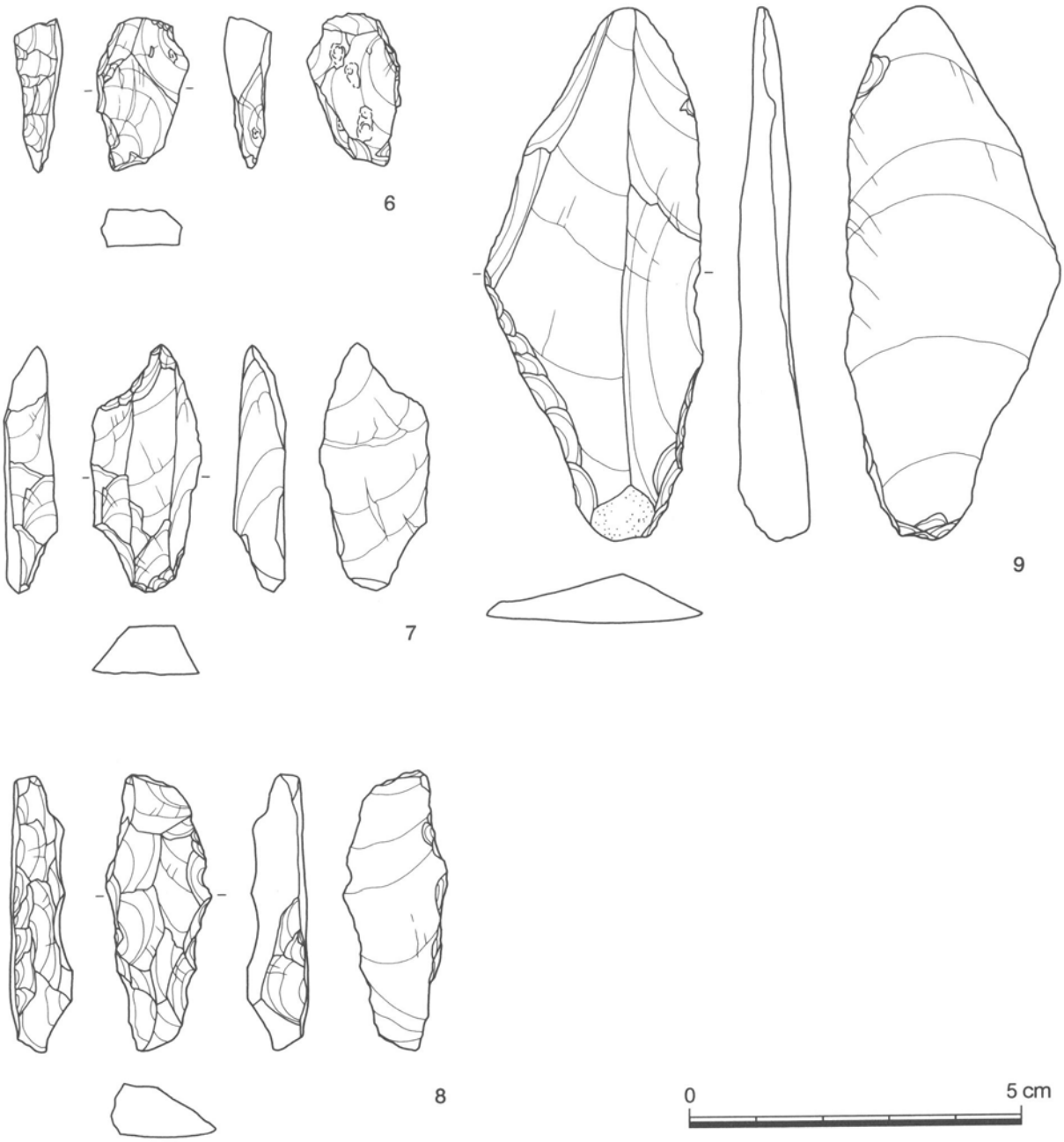
BB I 層は石器ブロックより多量の剥片が出土している。これらの剥片に混じって少量ではあるが、製品が出土した。また、剥片は接合作業により、多くの接合資料が得られた。

(1)　スクレイパー

エンドスクレーパーが５点出土した。第67図に図示する。いずれも黒曜石で、縦長剥片の打点から遠い部分を加工して刃を作っている。刃は下端がやや丸みを持つように作り出される。石材は箱根産のものが４点、諏訪産のものが１点である。１は表面に自然面が残存する厚みのある円形の剥片を加工している。２はやや厚みのある縦長剥片を加工する。上部が折れていた。３は諏訪産の黒曜石を使用しているためか、やや他のものにくらべると薄い。４・５もは上端が折れて欠損しているが、断面が台形状になる縦長剥片を加工していると考えられる。



第67図　BBI層遺物実測図１



第68図　BBI層遺物実測図2

第15表　BB I 層出土石器一覧表

番号	遺物番号	器種	区	層位	石材	長さ	幅	厚さ	重量	加工等
1	S-880	エンドスクレーパー	1-2区	BB I PB-05	Ob (HNHJ)	3.25	3.9	1.9	22.9	平面円形の下端に刃を作る。表面に自然面残存。
2	S-808・810	エンドスクレーパー	1-2区	BB I PB-04	Ob (HNHJ)	3.3	2.7	1.15	8.1	平面方形の下端に刃を作る。縦長剝片を加工。
3	S-912	エンドスクレーパー	1-2区	BB I PB-05	Ob (SWHD)	3.19	2.22	0.65	4.7	縦長剝片の先端を加工する。
4	S-811	エンドスクレーパー	1-2区	BB I PB-04	Ob (HNHJ)	1.99	2.81	0.8	4.1	平面方形の下端に刃を作る。上部は折れている。
5	S-844	エンドスクレーパー	1-2区	BB I PB-05	Ob (HNHJ)	1.7	2.3	0.6	2.6	平面方形の下端に刃を作る。上部は折れている。
6	S-656	ナイフ形石器	1-2区	BB I PB-04	Ob (HNHJ)	2.3	1.4	0.75	1.9	上部を欠損する。片側にブランティングがあり、反対側は折る。
7	S-1003-1	ナイフ形石器	1-2区	BB I PB-04	GAn	3.75	1.65	0.75	4.6	断面台形の剝片の先端を鋭く加工する。
8	S-761	ナイフ形石器	1-2区	BB I	Hor	4.2	1.6	0.9	20.8	片側はほぼ垂直に加工。反対側も基部を加工する。角錐状石器の可能性あり。
9	S-815	ナイフ形石器	1-2区	BB I	Hor	8.0	3.3	1.05	5.7	縦長剝片を加工する。基部の両側を加工する。

(2) ナイフ形石器

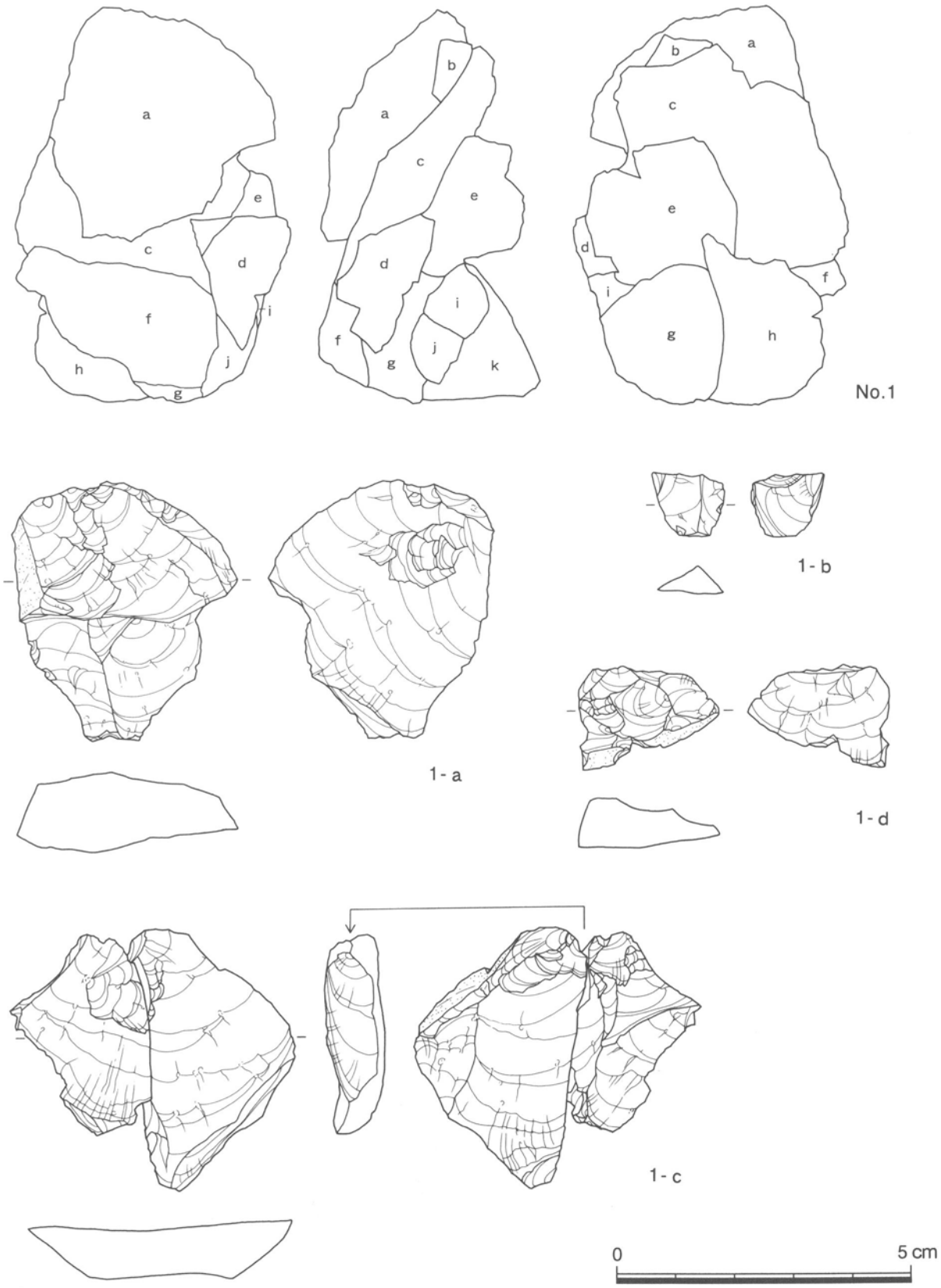
ナイフ形石器は4点出土した。第68図に図示する。6は黒曜石製で、箱根産のものを使用している。上部は折れている。基部は右側にブランティングを施し、左側を折り取っている。7はガラス質黒色安山岩製で、緻密なものを使用している。基部と先端部の左側を加工している。8はホルンフェルス製で左側は全面をほぼ垂直に加工し、右側は基部を加工する。上部が欠損しているため刃部が不明瞭で、角錐状石器の可能性もある。9はホルンフェルス製で、大形の縦長剥片を加工している。

(3) 接合資料

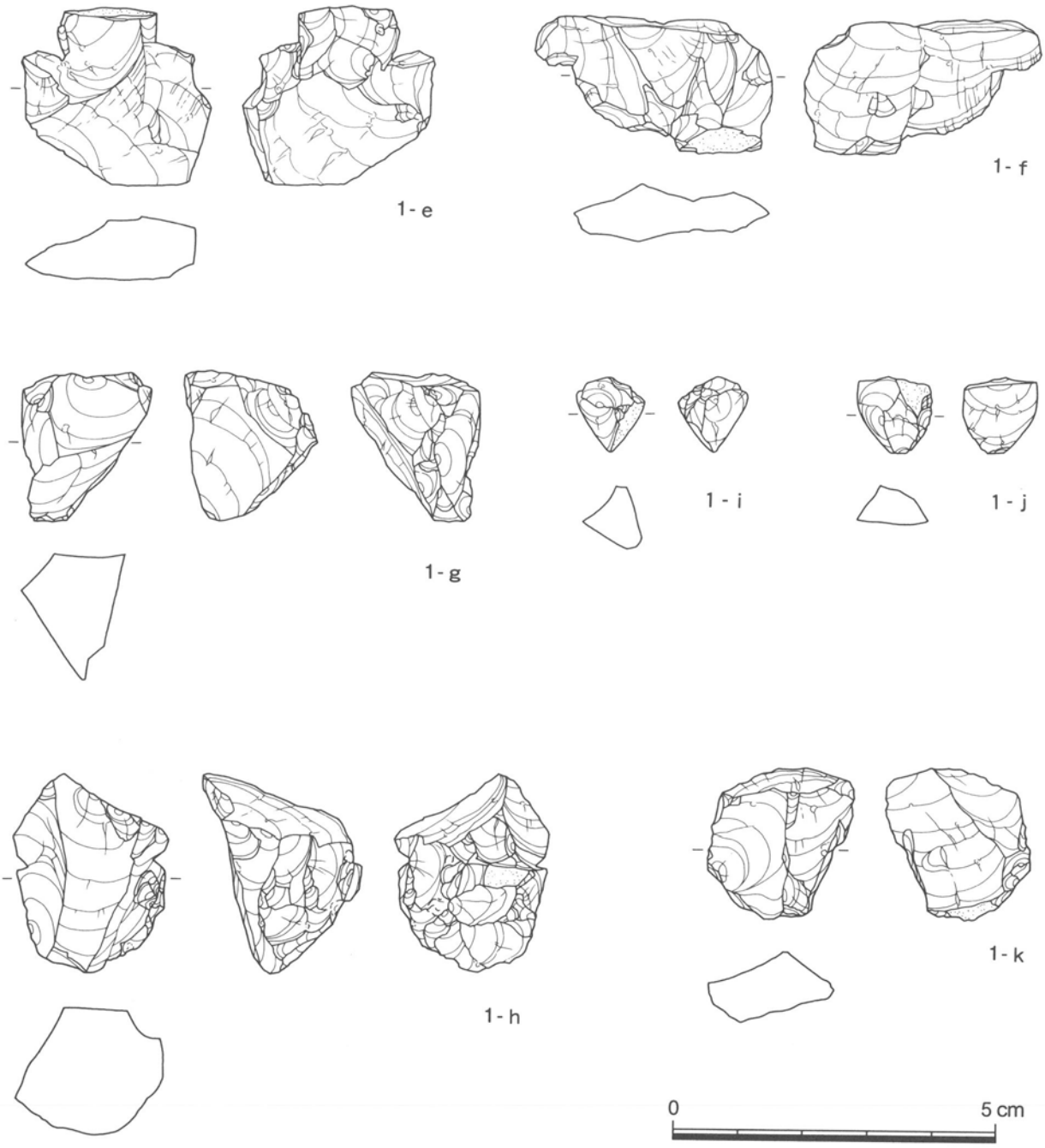
BBⅠ層の剥片の接合を行った結果、23点の接合資料が得られた。このうち剥離の状況の明瞭な11点を第69図～第75図に図示する。PB-04で黒曜石が6点、ガラス質黒色安山岩が5点、PB-05で黒曜石が11点、RG-03でホルンフェルス1点が得られた。打撃時に摂理面などで割れたものも11点含まれるが、残りは剥片を取るために割っていることがわかる。黒曜石は箱根産のものと諏訪産のものがある。

第16表　BBⅠ層接合資料一覧

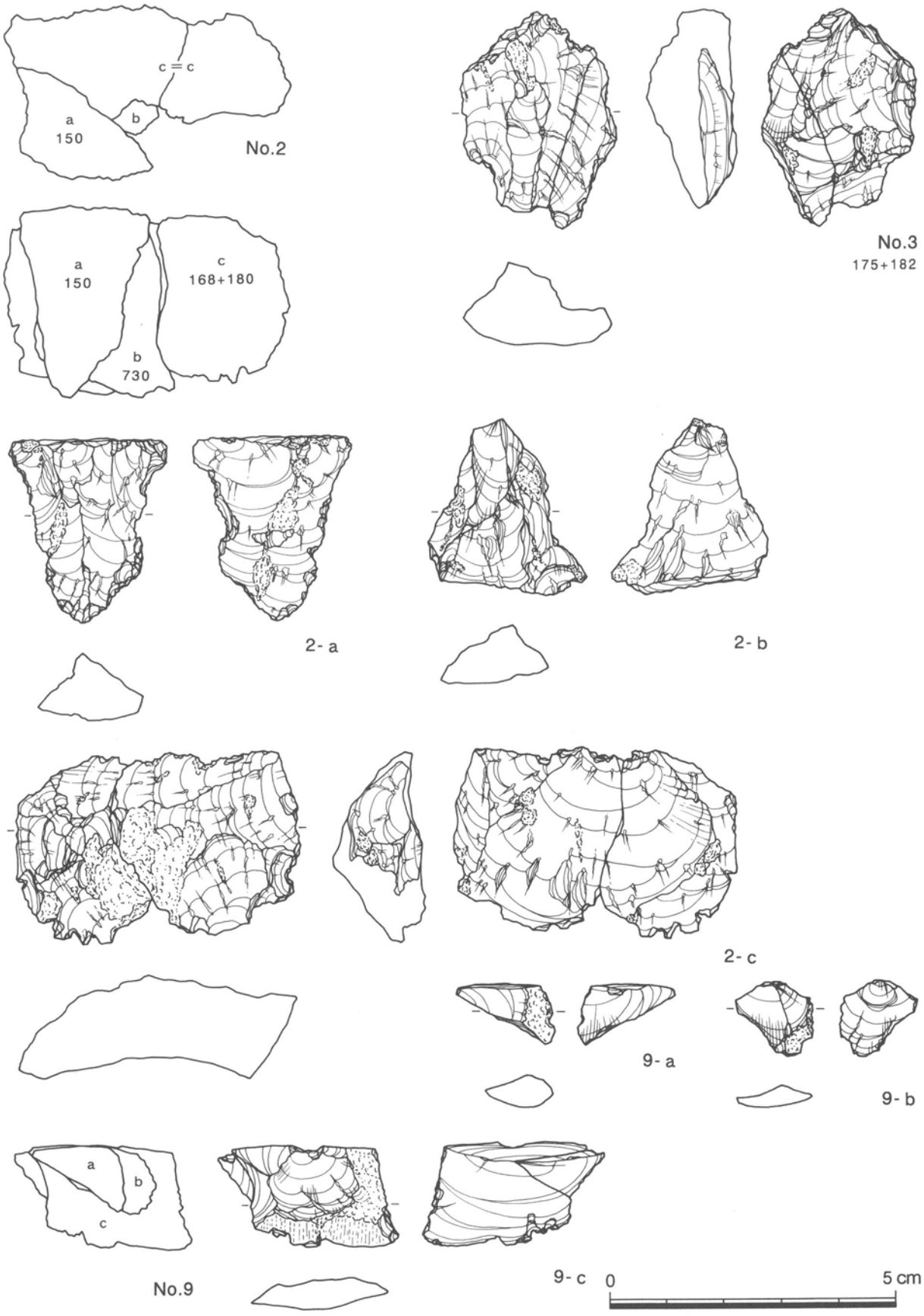
接合番号	遺物番号	石材	個体別	層位	遺構	加工
1	S-185、188、190、781、786、787、793、812、1027	Ob (HNHJ)	HNHJ1	BBⅠ	PB-04	三面に原石の面が残る。打面から縦方向に何回か打ってやや厚みのある剥片を作っている。
2	S-150、168、180、730	Ob (HNHJ)	HNHJ3-A	BBⅠ	PB-04	上部に打面を作り、不純物の多い部分を割り取るように粗く打っている。
3	S-175、182	Ob (HNHJ)	HNHJ3-A	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
4	S-663、726	Ob (HNHJ)	HNHJ3-A	BBⅠ	PB-04	打撃時に摂理面で割れる。
5	S-159、1219	Ob (HNHJ)	HNHJ1	BBⅠ	PB 04	打撃時の割れ。
6	S-778、779	Ob (HNHJ)	HNHJ1	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
7	S-1324、1375	Ob (HNHJ)	HNHJ2	BBⅠ	PB-05	片面に原石の表面が残る。剥片を剥がした後、側面に打面を作り、打つ方向を90度変えて厚い部分を割り剥がしている。
8	S-1747、1878	Ob (HNHJ)	HNHJ2	BBⅠ	PB-05	打撃時に節理面で割れる。
9	S-865、1041、1047、1318	Ob (SWHD)	SWHD8-A	BBⅠ	PB-05	原石の表面が残る。上に打面を作り、原石の表面の荒れた部分を割り取るように細かく打っている。
10	S-825、835、838	Ob (HNHJ)	HNHJ2	BBⅠ	PB-05	片側に原石の表面が残る。原石を割り取って打面を作り、さらに細かい剥片を割り取っている。
11	S-1129、1133、1372	Ob (HNHJ)	HNHJ4-B	BBⅠ	PB-05	縦方向に割られた細かい剥片。
12	S-853、868	Ob (SWHD)	SWHD8-A	BBⅠ	PB-05	打撃時に節理面で割れる。
13	S-902、906	Ob (HNHJ)	HNHJ1	BBⅠ	PB-05	打撃時の割れ。
14	S-904、905	Ob (HNHJ)	HNHJ4-B	BBⅠ	PB-05	打撃時の割れ。
15	S-1113、1142	Ob (SWHD)	SWHD8-A	BBⅠ	PB-05	上下交互に打面を変えて薄い剥片を割り取っている。
16	S-1182、1282	Ob (SWHD)	HNHJ2	BBⅠ	PB-05	一部に原石の表面が残る。縦方向からの打撃で縦長剥片を取っている。
17	S-1200、1373	Ob (HNHJ)	HNHJ2	BBⅠ	PB-05	縦方向に細かく打った後、打面を90度変えて打っている。
20	S-659、715	GAn	GAn3-B	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
21	S-685、997	GAn	GAn3-A	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
22	S-751、7269	GAn	GAn1-B	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
23	S-932、1103	GAn	GAn3-A	BBⅠ	PB-04	縦方向に割って剥片を取っている。
24	S-653、1159	GAn	GAn3-B	BBⅠ	PB-04	原石の表面が一部に残る。大きく割って打面調整をしている。
25	S-1270、1271	Hor	Horl1-A	BBⅠ	RG-03	受熱しほぼ全面が赤化している。加工は不明。
26	S-808、810	Ob	HNHJ3-A	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。
30	S-612、1350	SSh	SSh3	BBⅠ～BB0		縦方向に打ち、細かい剥片を取っている。
31	S-784、1085	Ob	HNHJ1	BBⅠ	PB-04	打面再生の加工をしている。
32	S-163、181	Ob	HNHJ4-B	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。段状に割れる。
33	S-686、746	Ob	HNHJ3-A	BBⅠ	PB-04	打撃時の割れ。



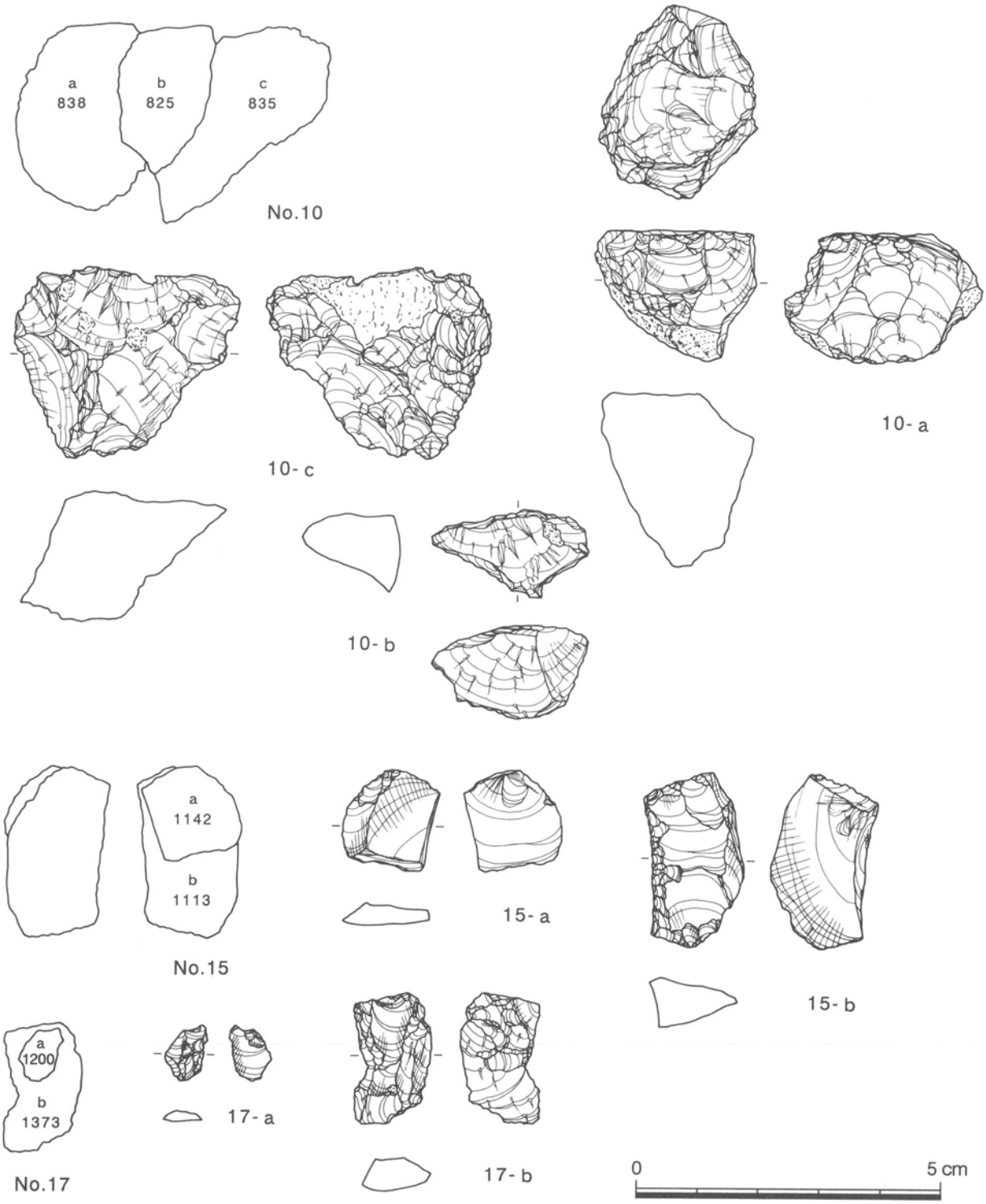
第69図　BBI層接合資料実測図 1



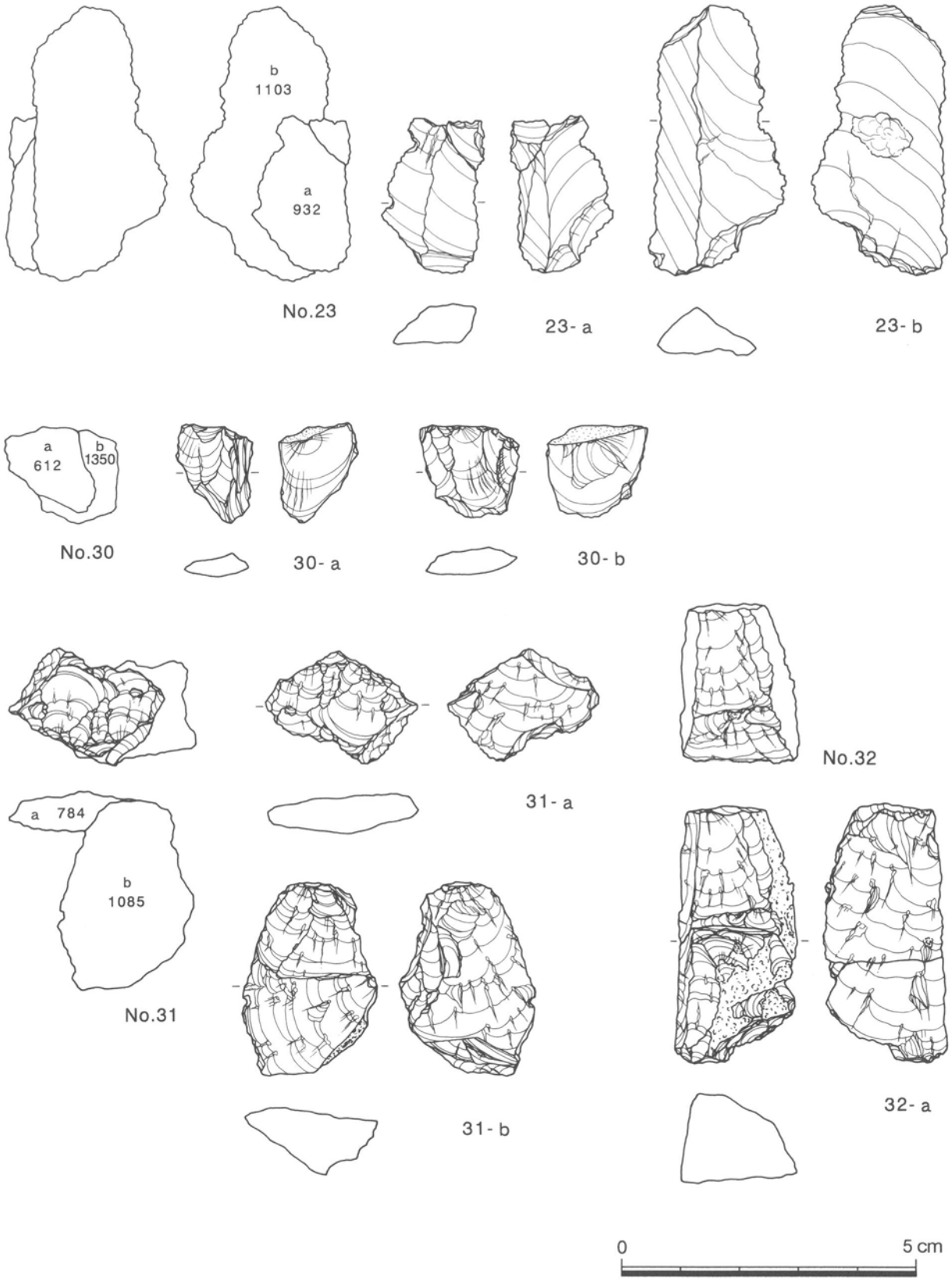
第70図　BBI層接合資料実測図 2



第71図　BBI層接合資料実測図 3



第72図　BBI層接合資料実測図 4



第73図　BBI層接合資料実測図 5

5　NL層以下の遺構遺物

NL層以下についてはテストピットで下層の確認調査を行ったが、明瞭な遺構はなかった。遺物が出土した部分については周囲を拡張して遺物の広がりを調査したが、他に遺物が出土しなかった。１－１区のNL層で尖頭器１点、１－２区BBII層で剥片１点、１－１区BBIII層で剥片１点が出土したのみである。１－３区のSCIIIb-1層からは確認調査時に大形礫が出土したため、遺構の存在が考えられ周囲を拡張して調査をしたが、他に遺物は出土しなかった。

(1)　ナイフ形石器（第74図１）

１－１区のNL層で下層確認のテストピットより１点出土した。ホルンフェルス製で、先端は尖り、基部はやや丸みを帯びるように加工されている。周囲を拡張して調査したが、他に遺物は出土しなかった。

(2)　剥片

１－２区のBBII層と１－１区BBIII層で、下層確認のテストピット掘削中にホルンフェルスの剥片がそれぞれ１点出土した。周囲を拡張して調査したが、他に遺物は検出されなかった。BBII層出土のもの（第74図２）は約７cmの縦長剥片で、受熱している。BBIII層出土のものは約３cmの剥片で、一部が折れている。

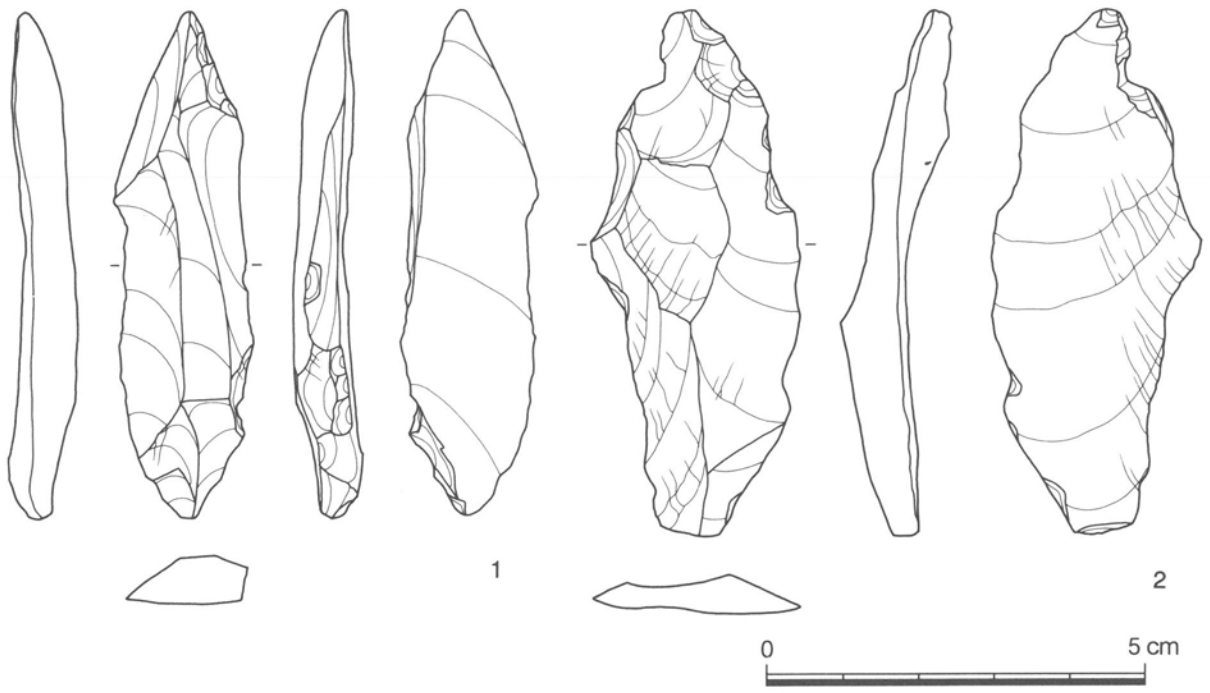
(3)　大形礫

１－３区確認調査時にSCIIIb-1層で出土した。やや扁平な輝石安山岩の大形礫である。周辺を拡張して調査したが、関連する遺構は検出されなかった。受熱していない。

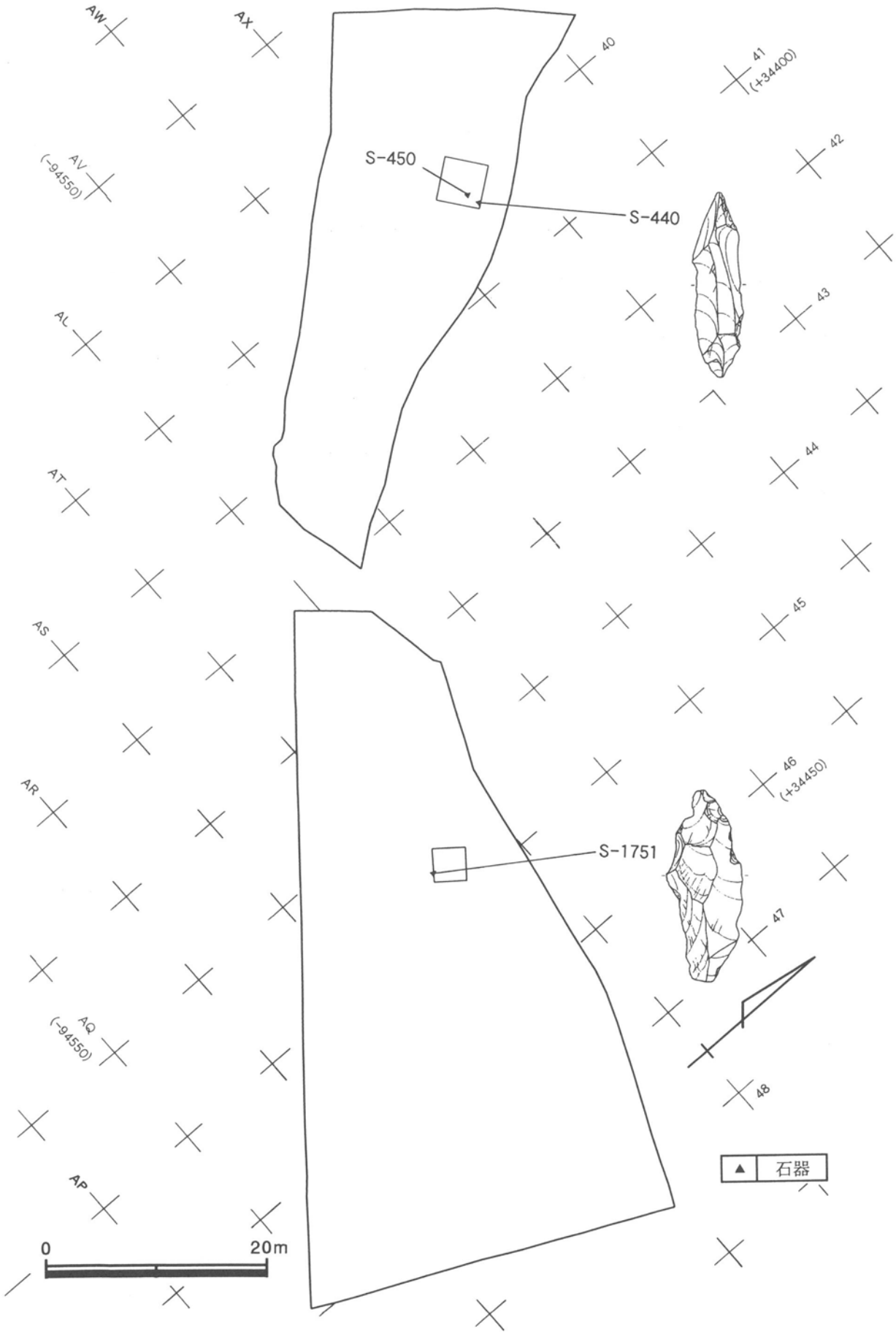
このほか、SCIIIS-3層から細粒斑糲岩の岩片が２点出土したが、長さが4.5cmと７cmで火山噴火に伴う堆積物である可能性が強い。

第17表　NL層以下出土遺物一覧

番号	遺物番号	器　種	区	層位	石　材	長さ	幅	厚さ	重量	加　工　等
1	S-440	ナイフ形石器	1-1区	NL	Hor	6.7	1.85	0.8	10.1	
2	S-1751	剥片	1-2区	BBII	Hor	6.95	2.8	0.9	11.7	
	S-450	剥片	1-1区	BBIII	Hor	3.1	3.2	0.4	4.7	



第74図　NL層以下出土遺物実測図



第75図　NL層以下遺物出土位置

第III章　中峯遺跡の調査

第1節　中峯遺跡の概要

1　位置と地形

中峯遺跡は本来、現在の東名高速道路部分を中心とする縄文時代中期の集落址であるが、今回の調査で尾根に沿って南に遺跡が連なり、旧石器時代、縄文時代早期を含む複合遺跡であることが明らかとなった。

現在の地形は昭和45年の構造改善事業によって大きく改変されてしまっているが、緩やかに南に傾く尾根である。この中にも浅い谷や低い尾根などの小地形が調査により多く確認された。

東は桜畑上遺跡との間に浅い谷を挟み、西側は芹沢川が流れるやや深い谷になる。

一番北側の5－1区は以前調査された中峯遺跡の範囲を一部に含み、縄文時代早期末～前期初頭の集落跡であることが確認された。5－4区は縄文時代の層が削平され、痩尾根上に旧石器時代（BBIII層）の礫群が確認された。中央部の5－8区南側、4－1区、3－3区は縄文時代中期末の遺物が広く分布し、一連の遺跡であると推定される。また、4－2区、4－3区、4－5区は谷頭部や浅い谷地形で、前述の地区から流れ込んだ遺物が多数検出された。また、4－2、4－3区からは中近世の土坑や溝も確認されている。2－3区、3－4区は南東に向かって延びる細い尾根で、本書では中峯遺跡の範囲内として扱うが、遺跡の中心地域から離れ、今後の調査により遺跡の連続が確認されなければ別遺跡と考えても良いと思われる。2－3区からは縄文時代の陥穴、3－4区からは旧石器時代（SCIIIb-1）の礫群が検出された。

2　堆積状況

構造改善事業により土地の切盛りが行われて、地区により残存する層位が大きく異なる。5－1区はほぼ旧来の地形であるが、5－2～5－4区は5－1区とは大きく段がつき、5－2区はNL層付近まで土採りが行われている。5－4区は痩尾根とこれを挟む谷であったが、尾根が大きく削平されていた。5－8区は北側は縄文時代の層が削平されていたが、南側は表土直下がKGP層で、縄文時代の層の大部分が残存していた。4－1区も縄文時代の層位が良好に残存していた。4－2、4－3区は谷部分で中近世の層が残存し、両側の尾根部分は縄文時代の層も一部削平を受けていた。4－5区は中央に削平された痩尾根が検出され、両側の谷に盛土を行っていた。

3　検出された遺構・遺物

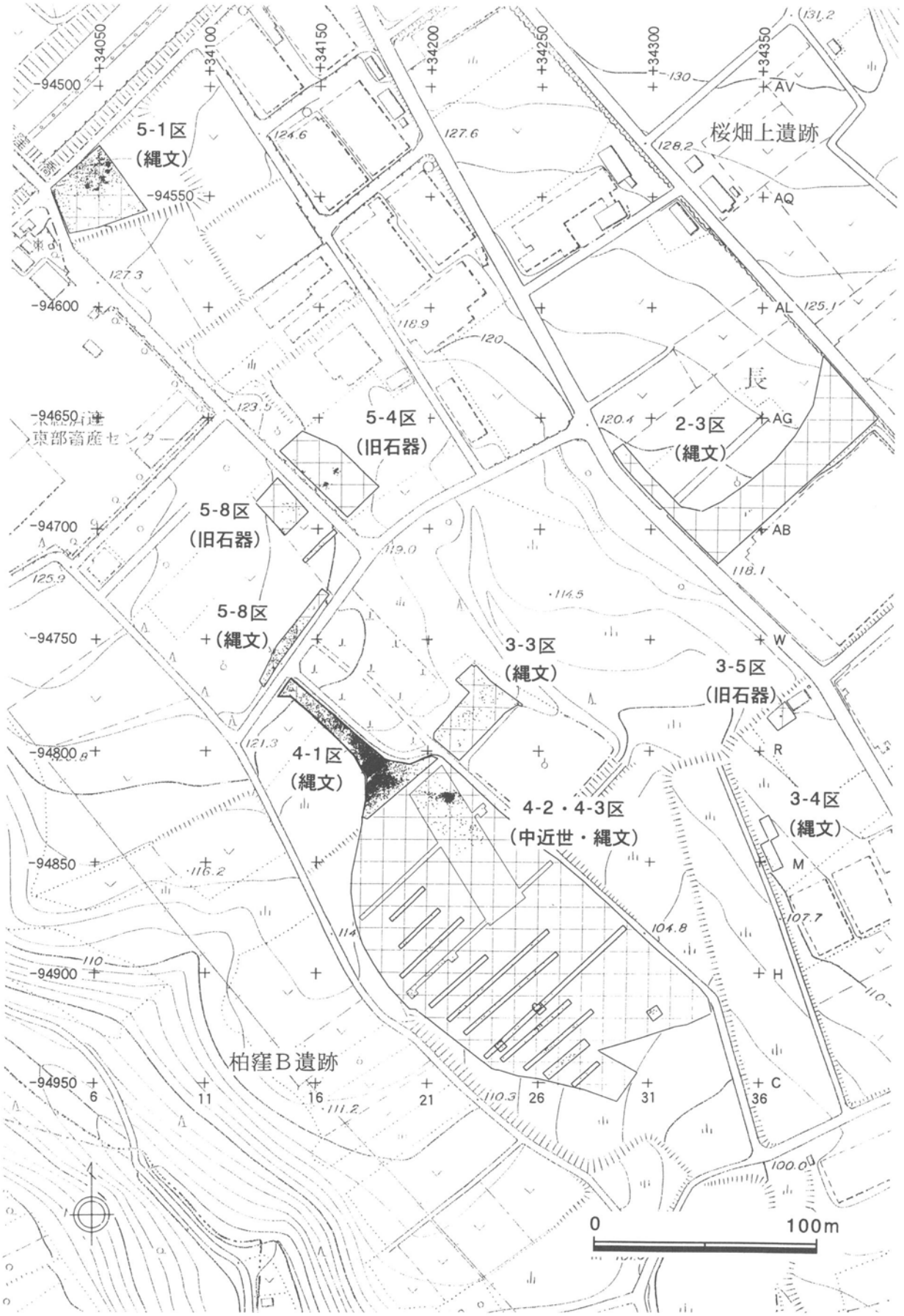
今回の調査区の位置と、出土遺物の位置を第78図に示す。

ほぼ中央に当たる4－3区より中近世と考えられる土坑・溝状遺構が検出された。

また、4－1区を中心として、5－8区南側より4－2区から4－3区、3－3区北側にかけて、縄文時代中期末の土器が多量に出土した。これは時期的に過去の中峯遺跡の調査における出土土器の範囲に含まれるため、この付近が集落域の南辺部であると考えられる。南に続く4－5区・4－4区は流れ込みと考えられる遺物が出土した。中峯遺跡の東端にあたる5－1区では、当初縄文時代中期の遺構・遺物が期待されたが、ほとんど包含層が残存していなかった。しかし、下層より縄文早期末～前期初頭の住居址等が検出された。桜畑上遺跡との境に当たる2－3区からは縄文時代と考えられる陥穴が1基検出された。

5－4区は削平を受けていたが、西側部分で旧石器時代のBBIII層より礫群が検出された。削平の著しい3－5区はSCIIIb-1層より礫が検出された。

なお、地形が改変されているために遺跡の連続性が不明であるが、2－3区・3－5区は中峯遺跡とは尾根が異なるため、別の遺跡である可能性が高い。



第76図　中峯遺跡調査位置図

第２節　中近世の遺構・遺物

中近世の層が残存していたのは４－３区、４－５区である。４－３区は以前、造園業者が利用していた土地であったため、重機による攪乱が著しく、土層が残存している部分はわずかであった。残存している部分のみ調査を行なった。調査範囲を第77図に示す。黒色土が中近世の層にあたり、遺構も本来はこの層中より掘り込まれていたと考えられるが、掘り込み面の検出が困難であったため、下部のＮＳ層上面で検出を行った。遺物はほとんど検出されなかった。

１　土坑

４－３区より５基の土坑が検出された。第78～79図に示す。いずれも浅い谷地形の肩部分に存在し、遺構内より遺物は出土しなかった。

SF-25は径120～114cmのほぼ円形で深さは残存値で12cmである。４－３区北側で、NS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出された。底部はKGP層をやや掘り込んでいる。

SF-26は長径75cm、短径53cmの南北方向に長い楕円形で、深さは残存値で約26cmである。４－３区北側で、NS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出された。底部はKGP層をやや掘り込んでいる。

SF-27は径約1.9mの不整円形で、深さは残存値で11cm、皿状に窪む。４－３区北側でNS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出された。SD-4に切られている。底部はKGP層上面で止まる。

SF-28は北側を攪乱で失っているが、円形土坑と考えられ、径は残存している部分で135cmである。残存している形状から、やや東西方向に長いと推定される。深さは残存値で23cmである。４－３区南側の北端でNS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出された。底部はKGP層を掘り込んでいる。

SF-29は径約１mのほぼ円形で、深さは残存値で約25cmである。４－３区南側で、NS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出された。底部はKGP層をやや掘り込んでいる。

２　溝状遺構

４－３区で３条の断面Ｕ字形の溝が検出された。第80図に示す。いずれも４－３区北側でNS層上面に黒色土が落ち込んでいるのが検出され、南北方向に走る。覆土は土坑のものに比べてやや砂質で色調がわずかに明るい。また、SD-4がSF-27を切っているため、溝状遺構は土坑よりも後の時代のものであることがわかる。

SD-3は幅40cm弱、深さは残存値で30cm弱である。北側は攪乱により壊されているため、長さは残存値で約5.6mである。底部はAN層をやや掘り込んでいる。

SD-4は幅約35cm、深さは残存値で20～28cmである。南側は攪乱により壊されているため、長さは残存値で約3.1mである。底部はKGP層をやや掘り込んでいる。

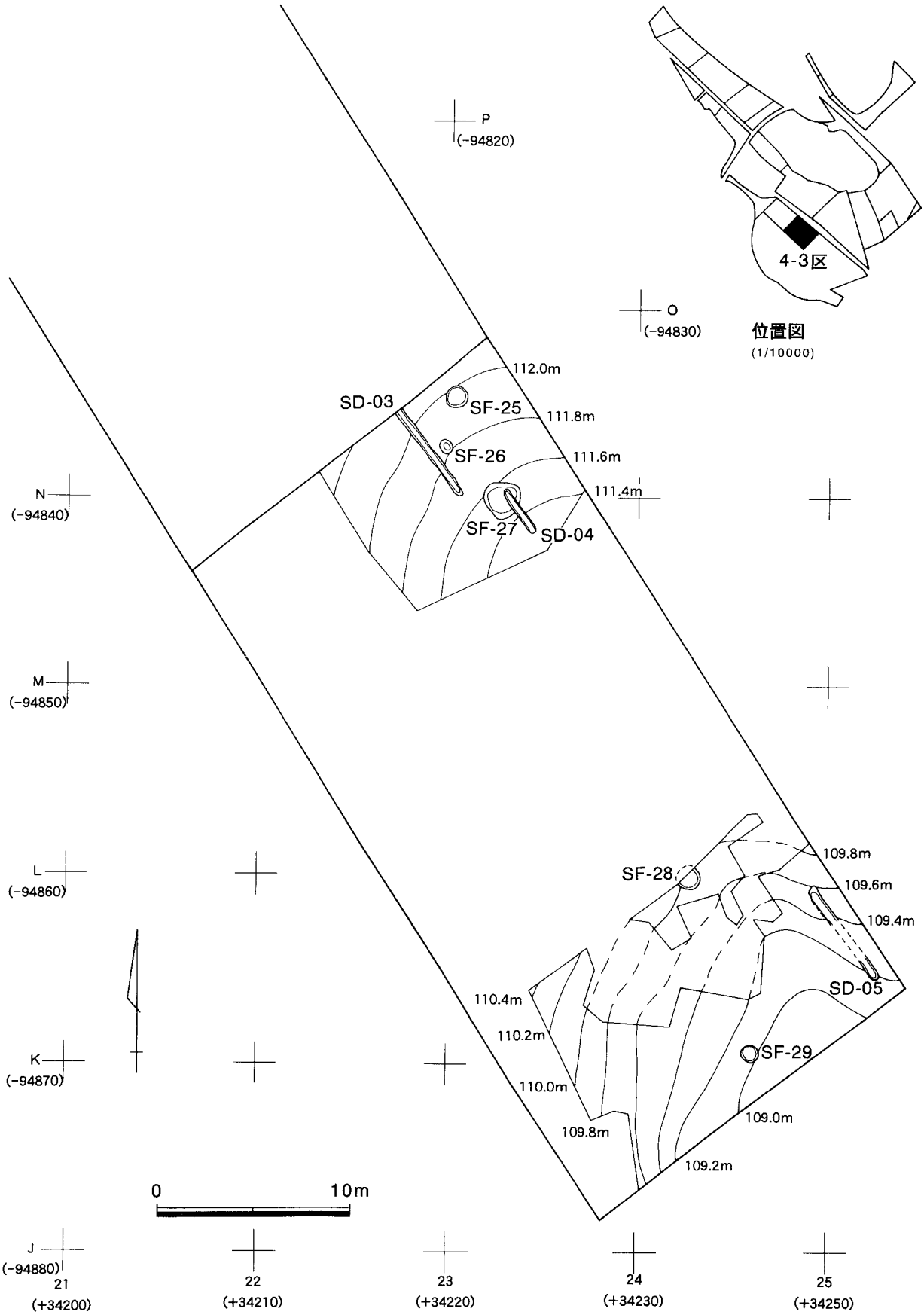
SD-5は幅45～50cm、深さは残存値で約24cmである。長さは中央部が確認調査時のトレンチで切られ、北側は攪乱で壊されているが、残存値で約３mである。底部はAN層をやや掘り込んでいる。覆土内より土師質の土器片が出土したが、細片であるため、年代等は不明である。覆土が表土とほとんど変わらないため、比較的新しい時期のものと考えられる。

３　遺物

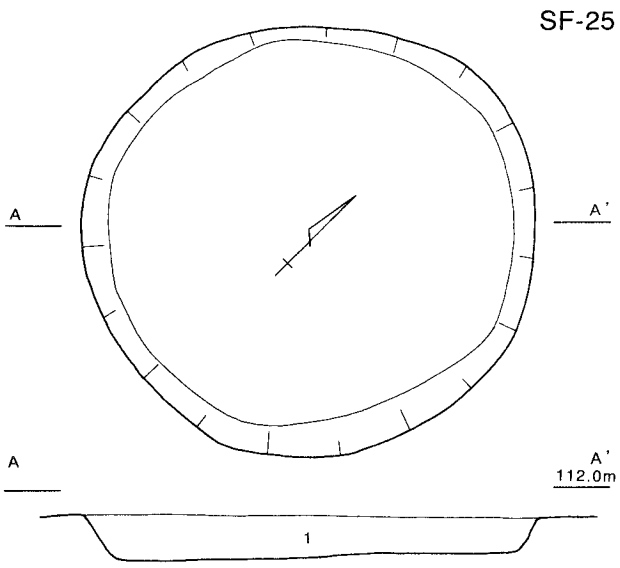
４－３区SD-5の覆土より土師質の土器の細片が出土している。また５－１区からもわずかであるが、土師質の土器の細片が出土している。

４　古代の遺物

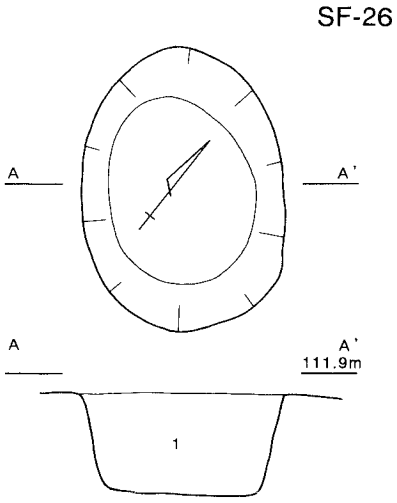
４－１区の表土より土師器の甕の細片、須恵器の長頸壷・坏等の破片がわずかに出土した。いずれも細片で、形状が不明瞭である。



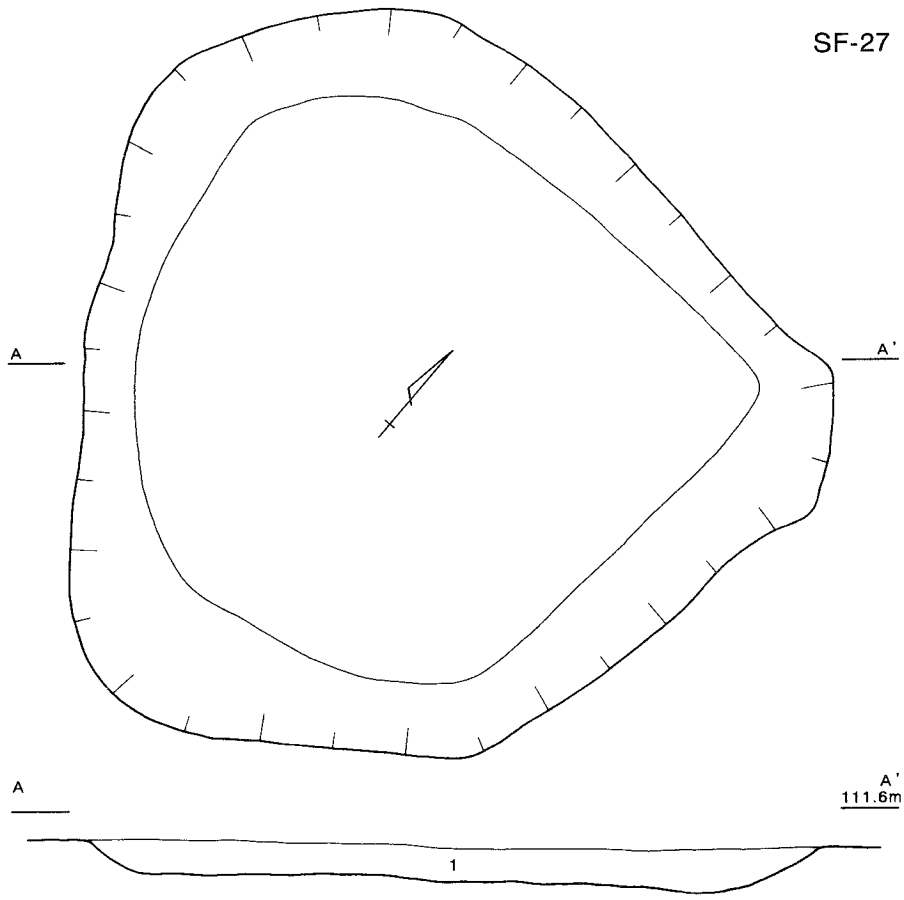
第77図　4 － 3 区中世面遺構分布図



1　N1.5/0　　しまりなし　粘性なし　スミのように黒い土
　黒　　径2～4㎜の橙色スコリアを多く含む
　　（量はNS層よりかなり少ない）

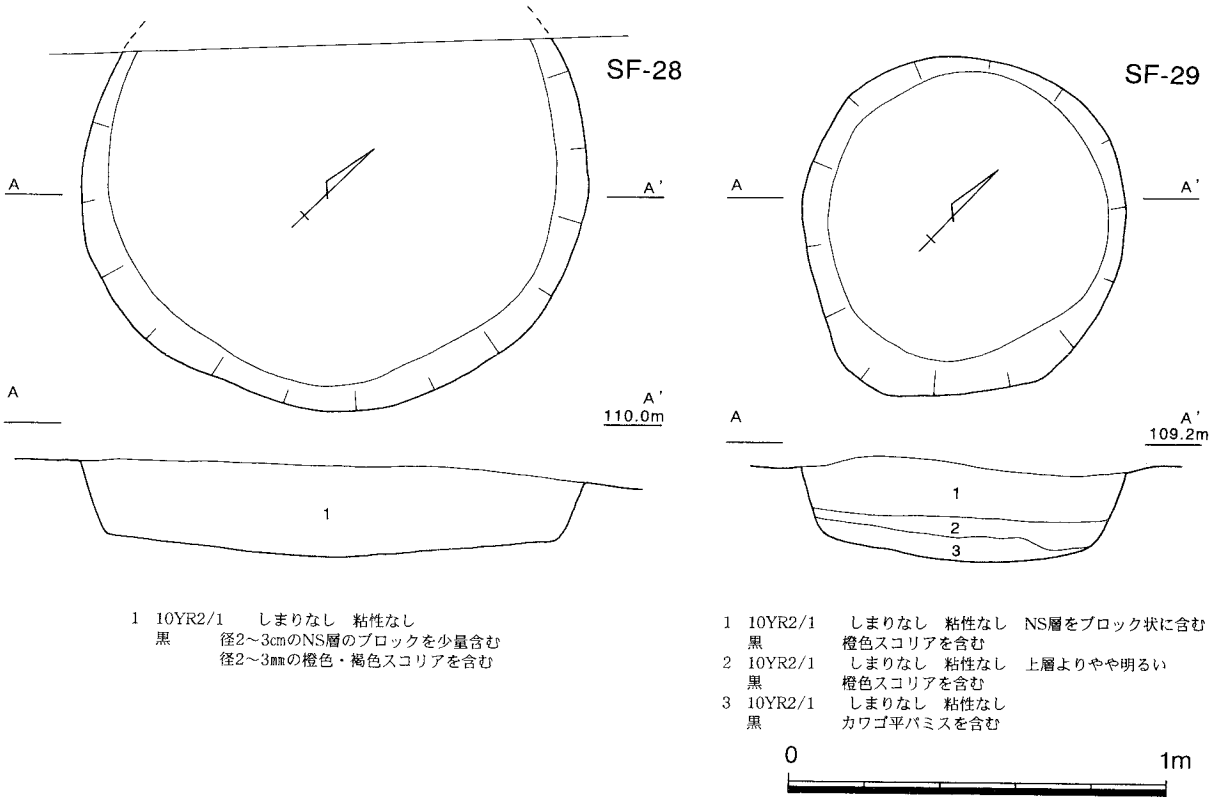


1　2.5Y2/1　　しまりなし　粘性なし
　黒　　NS層のブロックを含む
　　径1～4㎜の橙色スコリアを多く含む
　　白色パミスを含む



1　10YR2/1　　しまりなし　粘性なし
　黒　　径2～4㎜の橙色スコリアを多く含む
　　白色パミスを含む

第78図　中近世面遺構図１（土坑）



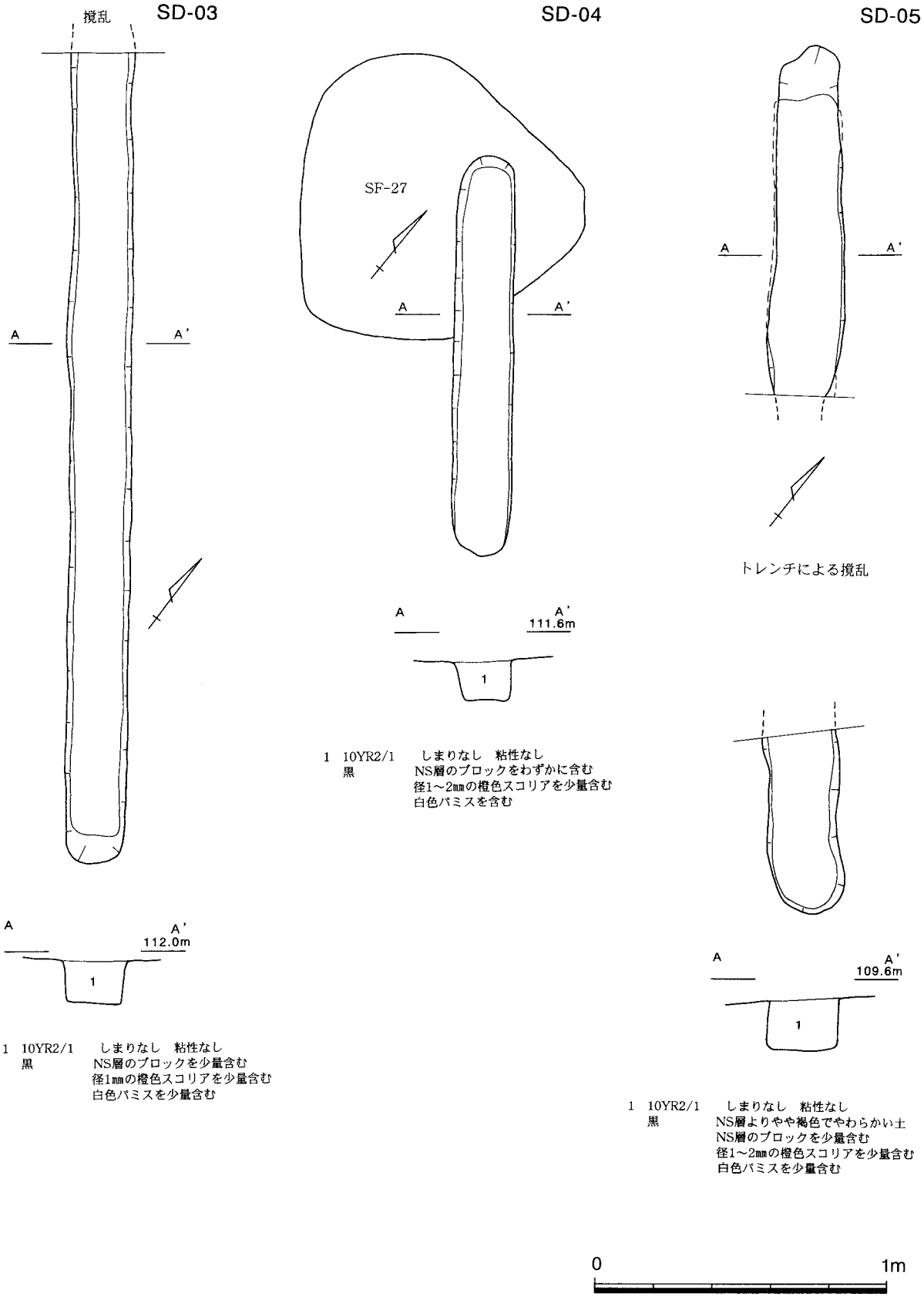
1 10YR2/1 しまりなし 粘性なし
黒 径2～3cmのNS層のブロックを少量含む
径2～3mmの橙色・褐色スコリアを含む

1 10YR2/1 しまりなし 粘性なし NS層をブロック状に含む
黒 橙色スコリアを含む
2 10YR2/1 しまりなし 粘性なし 上層よりやや明るい
黒 橙色スコリアを含む
3 10YR2/1 しまりなし 粘性なし
黒 カワゴ平パミスを含む

0 1m

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-25	4-2区	120	114	(12)	
SF-26	4-2区	75	53	(26)	
SF-27	4-2区	198	196	(11)	
SF-28	4-2区	135	(98)	(23)	
SF-29	4-2区	94	87	(25)	

第79図　中近世面遺構図２（土坑）



1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　NS層のブロックを少量含む
　径1㎜の橙色スコリアを少量含む
　白色パミスを含む

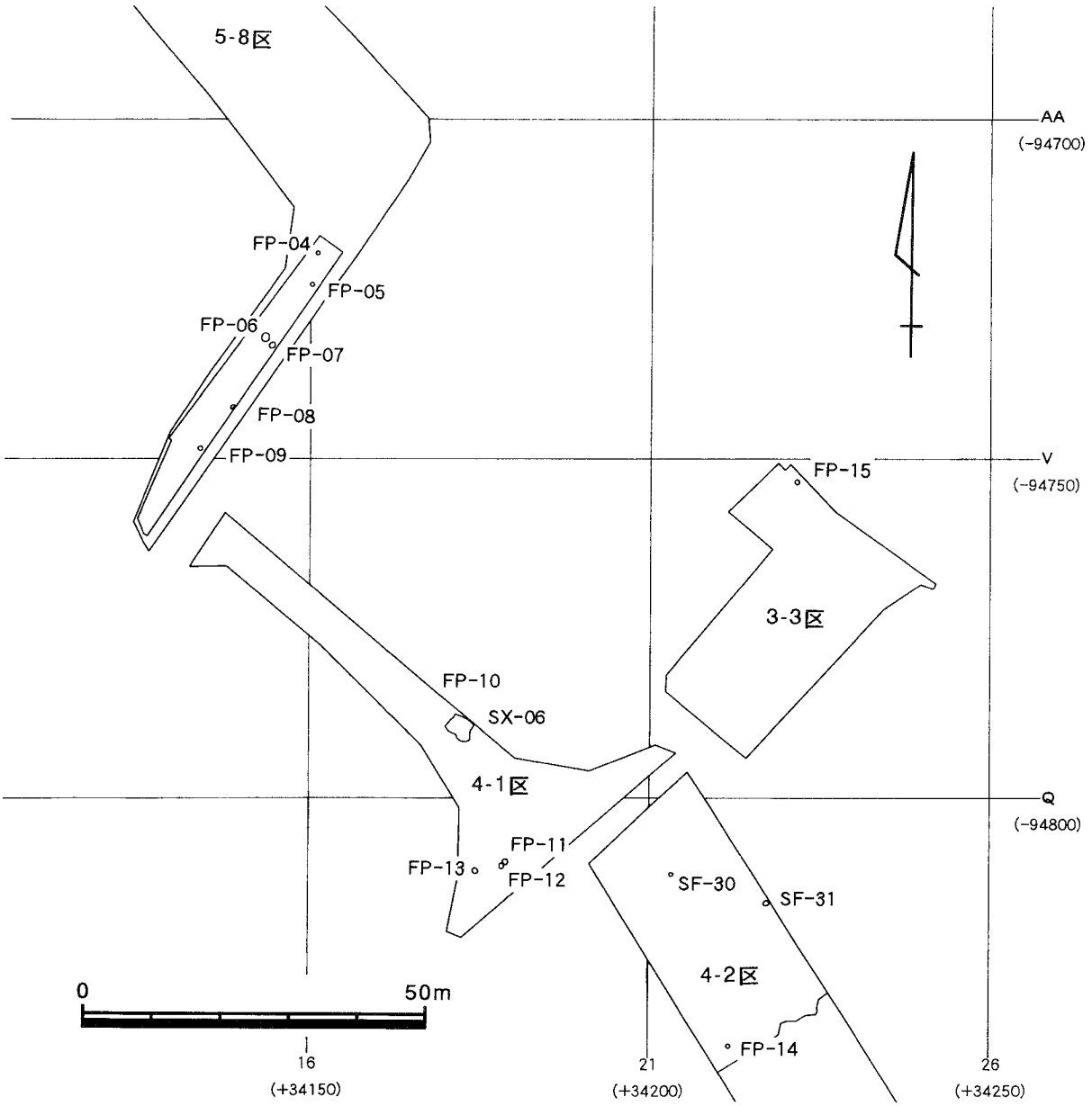
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　NS層のブロックをわずかに含む
　径1～2㎜の橙色スコリアを少量含む
　白色パミスを含む

1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　黒　NS層よりやや褐色でやわらかい土
　NS層のブロックを少量含む
　径1～2㎜の橙色スコリアを少量含む
　白色パミスを少量含む

第80図　中近世面遺構図３（溝状遺構）

第３節　縄文時代中期の遺構

４－１区を中心として、北は５－８区南側、南東は３－３区北側、南は４－２区～４－３区付近まで、縄文時代中期末の遺物が多量に検出された。また、若干ではあるが、５－１区と３－３区から中期中葉の遺物が出土している。遺構は５－８区南側から４－１区を中心として焼土等が検出された。遺物の量に比べて遺構は明確なものが少なく、わずかに土坑２基と焼土12カ所の検出のみである。位置を第83図に示す。昭和44年の二次調査では、北西側の尾根上に中期末の集落址が検出されており、この地域は集落の中心部よりやや南に下がった位置にある。地形的にも谷頭部へ向かう緩斜面であり、集落の縁辺部に存在した土器捨て場と推定される。遺物は黒曜石のチップが最も多く、４－１区と４－２区で径約２ｍの範囲からまとまって大量に出土した箇所があった。土器はほとんどが細かい破片の状態で出土し、大形の破片は少ない。形がある程度残っているものも少なかった。土壌が強い酸性であるため、動植物遺存体は検出されなかった。



第81図　縄文時代中期面遺構分布図

1　土坑

土坑は4－2区で2基検出された。第82図に示す。いずれも性格は不明である。遺物をほとんど伴っていないが、縄文時代中期の遺物が周辺で出土したため、この時期との関連が考えられる。

SF-30は4－2区の北側でKU層上面精査中にAN層の落ち込みが検出された。短径51cm、長径62cmの東西方向にやや長い円形である。底はFB層を少し掘削し、深さは残存値で16cmである。覆土の上部より黒曜石のチップが3点出土した。

SF-31は4－2区の東壁より中央部でKU層上面掘削中にAN層の落ち込みが検出された。短径74.5cm、長径87cmの東西方向にやや長い円形である。底はFB層を少し掘削し、深さは残存値で27cmである。遺物は出土していない。付近には中期末の縄文土器が分布している。

2　焼土

焼土は不明瞭なものも含めて5－8区で6カ所、4－1区で4カ所、4－2区で1カ所、3－3区で1カ所検出された。5－8区は尾根の平坦な部分、4－1区は谷頭へ向かう緩斜面、4－2区は谷頭部の緩斜面、3－3区は尾根の肩部に位置する。遺物はほとんど伴わない。縄文時代中期末を中心とした包含層内の検出であり、この時期との関連が考えられる。第83～85図に図示する。

FP-04は5－8区の南側調査区東端でKU層掘削中に検出された。40～50cmの範囲に径1～3㎜の焼土が分布する。耕作による攪乱を受けており、外形が不明瞭である。炭化物を含む。

FP-05は5－8区の南側調査区の北東寄り表土直下精査中に検出された。径47cmの範囲に1～3㎜の焼土が密集する。耕作により一部攪乱を受けている。

FP-06は5－8区の南側調査区の中央部でAN層掘削中に検出された。径80cmの範囲に1～8㎜の焼土粒が密集し、炭化物を少量含む。周囲よりやや大粒の炭化物も出土した。周囲に焼土が広く散り、部分的に密集する。

FP-07は5－8区の南側調査区の中央部壁寄りでAN層掘削中に検出された。径80cmの範囲に1～5㎜の焼土粒が密集し、炭化物も多く含む。

FP-08は5－8区の南側調査区の中央部南壁際で、AN～KU層掘削中に検出された。径67cmの範囲に焼土粒が分布する。全体の3分の1が南壁で不明だが、東西に長い楕円形と思われる。炭化物を少量含む。

FP-09は5－8区南側調査区西側の南壁寄りでKU層掘削中に検出された。径50cmの範囲に炭化物と焼土が分布する。半裁している際に、下部から大形の薪状の炭化物が出土した。この大形の炭化物は樹種同定の結果、コナラ属アカガシ亜属の樹木であることが判明した。当時は照葉樹林帯に属し、周囲にはアカガシ亜属が豊富に生育していたと考えられる。また、炭化物の加速器質量分析法による放射性炭素年代測定では4500±30（yrBP±1σ）である。

FP-10は4－1区中央部でAN層下部精査中に検出された。径30cmの範囲に1㎜以下の細かい焼土粒が集中している。土が受熱により赤化しているが、焼きしまってはいない。周囲より土器片がまとまって出土した。

FP-11は4－1区の南東部でAN層掘削中に検出された。径70cmの範囲に径1～4㎜の焼土粒が集中し、上部は炭化物も少量含んでいる。FP-12が西側に隣接するが、レベルは異なり、FP-12よりもやや高い位置にある。上面や周囲から縄文時代中期末の土器が出土している。

FP-12は4－1区の南東部でAN層掘削中に検出された。径57cmの範囲に径1～6㎜の焼土粒が集中し、上部は炭化物も多く含んでいる。FP-11が東側に隣接するが、レベルは異なり、FP-11よりもやや低い位置にある。周囲から縄文時代中期末の土器が出土している。

FP-13は４－１区南西でKU層上面精査中に検出された。径70cmの範囲に１～７㎜の焼土粒が分布する。特に中央の径30cmに焼土粒が集中する。炭化物を少量含んでいる。上面や周囲より縄文時代中期末の石斧と縄文土器が出土している。

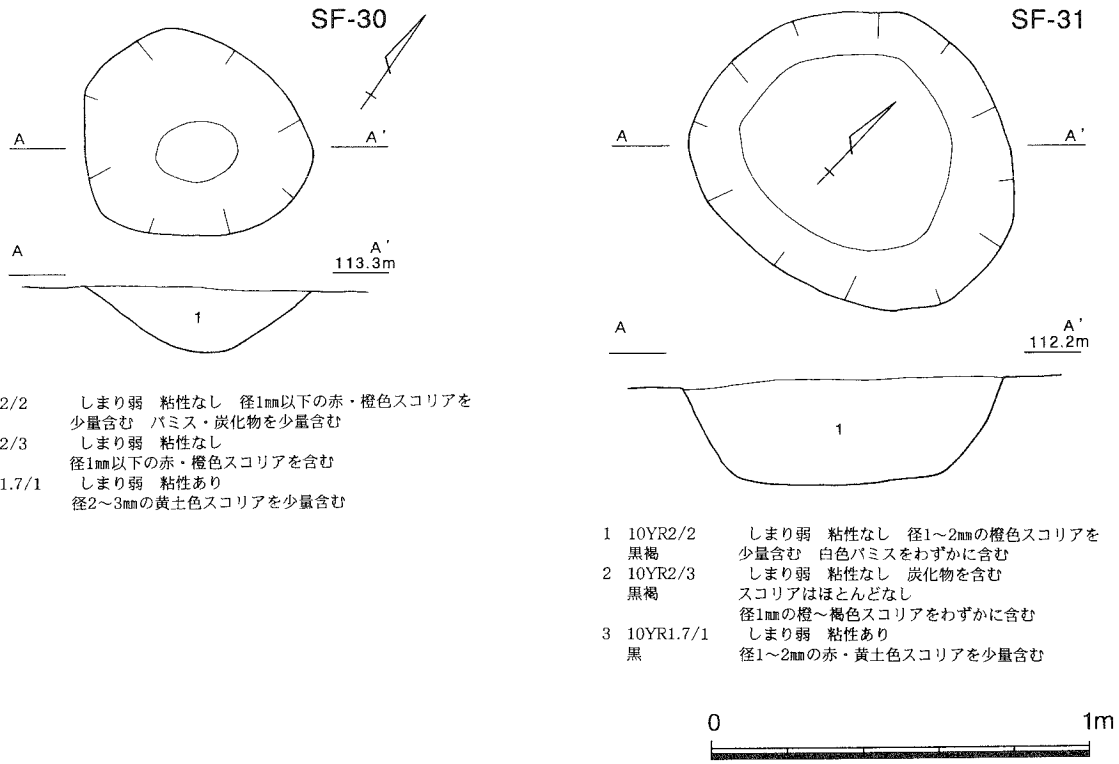
FP-14は４－２区南端でKU層上面精査中に検出された。短径50cm、長径70cmの範囲に焼土が広がり、長軸は斜面の傾斜方向と一致する。径１～５㎜の焼土が密集し、炭化物も多く含む。

FP-15は３－３区北端でAN層掘削中に検出された。径60cmの範囲で焼土が分布する。AN層中で径１～６mの焼土粒が検出され、KU層上面で明確となった。周囲からの遺物の出土はなかった。

3　炭化物の集中地点

SX-06は４－１区中央部のFP-10の南西で、KU層掘削中に炭化物が多く検出された。２～３mの範囲に炭化物が分布する。周囲は遺物が非常に多く住居址の可能性も考えたが、人為的な掘り込み等は検出されなかった。

このほか、４－１区のほぼ中央付近の遺物包含層中より炭化物が検出された。この炭化物の加速器質量分析法による放射性炭素年代測定で、AN層検出の物が4070±30（yrBP±1σ）、KU層検出のものが4080±30（yrBP±1σ）である。

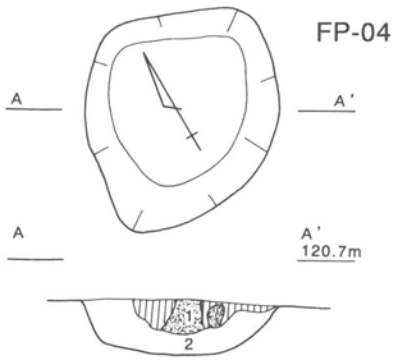


1　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性なし　径1㎜以下の赤・橙色スコリアを少量含む　パミス・炭化物を少量含む
2　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性なし　径1㎜以下の赤・橙色スコリアを含む
3　10YR1.7/1　黒　しまり弱　粘性あり　径2～3㎜の黄土色スコリアを少量含む

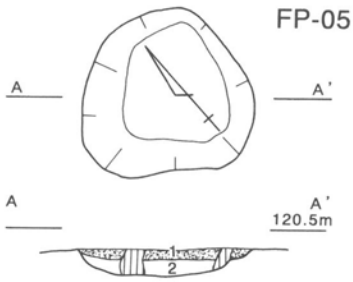
1　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性なし　径1～2㎜の橙色スコリアを少量含む　白色パミスをわずかに含む
2　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性なし　炭化物を含む　スコリアはほとんどなし　径1㎜の橙～褐色スコリアをわずかに含む
3　10YR1.7/1　黒　しまり弱　粘性あり　径1～2㎜の赤・黄土色スコリアを少量含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-30	4-2区	62	51	(16)	
SF-31	4-2区	87	74.5	(27)	

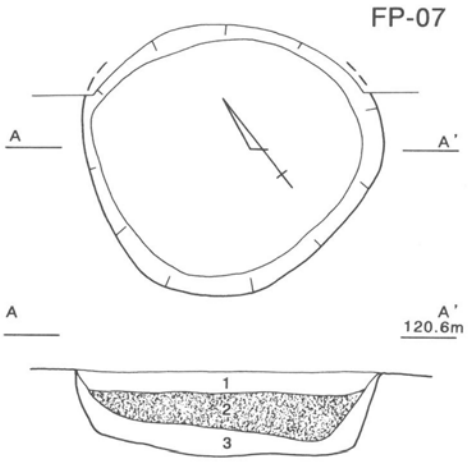
第82図　縄文時代中期面遺構図１（土坑）



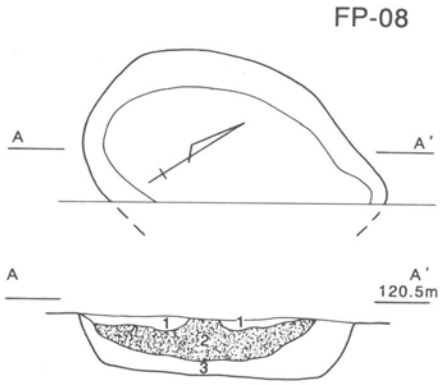
1　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性なし　焼土が多く赤く見える
径1～3㎜の焼土粒が密集　炭化物を含む
2　10YR2/2　黒褐　しまりなし　粘性弱　FB層のような色
径1.5㎜以下の焼土粒をわずかに含む
炭化物をわずかに含む



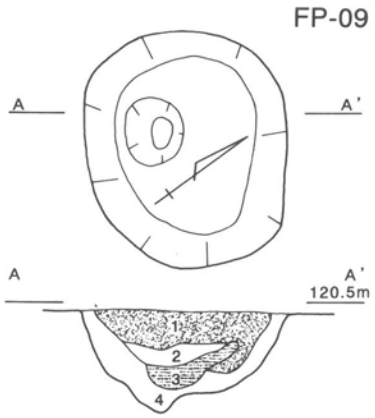
1　10YR3/4　暗褐　しまり弱　粘性なし　やや赤く見える
径2㎜以下の焼土粒を含む　炭化物を含む
2　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性なし　FB層のような色
径1㎜以下の焼土粒をわずかに含む
炭化物をわずかに含む



1　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性弱
径1～3㎜の焼土粒を含む　炭化物を含む
2　7.5YR3/2　黒褐　しまり弱　粘性弱　径1～5㎜の焼土粒を多く含む
焼土量が多く赤く見える　炭化物を多く含む
3　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性あり　やや色調暗い（FB層のような色）
径1～2㎜の焼土粒をわずかに含む
炭化物をわずかに含む

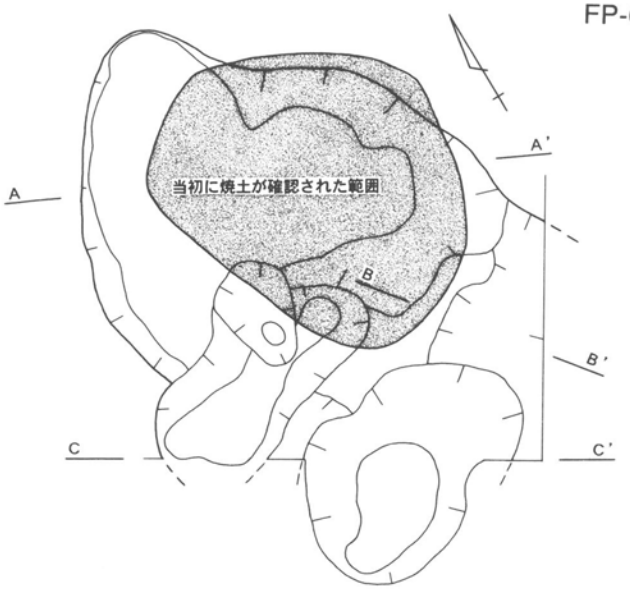


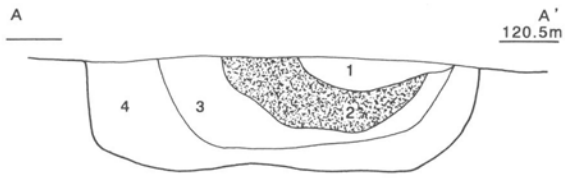
1　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性弱　KU層のような土
径1～3㎜の焼土粒を含む
2　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性弱　焼土の密集
径3㎜以下の焼土粒が密集　中央部に特に密集し
赤く見える　炭化物を含む
3　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性あり　やや色調暗い（FB層のような色）
径1㎜以下の焼土粒を少量含む
炭化物を含む



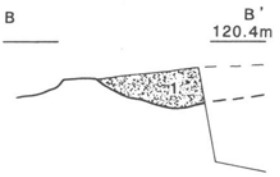
1　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性なし　径5㎜以下の焼土粒を
多く含む　径1～6㎜の炭化物を含む
（径1cm大の炭化物も見られる）
2　10YR2/2　黒褐　しまり弱　粘性なし　径1～2㎜の焼土粒を
わずかに含む　径1～3㎜の炭化物を含む
3　N1.5/0　黒　しまりあり　粘性なし　炭化物の塊　非常に固い
4　10YR2/3　黒褐　しまり弱　粘性弱　径1～2㎜の焼土粒を含む
径1～2㎜の炭化物を含む　（径7～8㎜のものも見られる）

第83図　縄文時代中期面遺構図２（焼土）

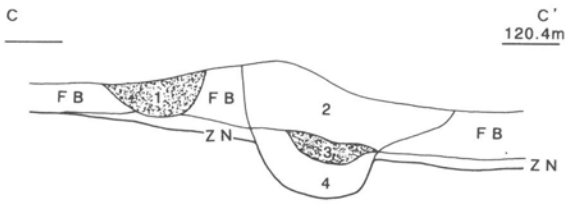




1 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～3㎜の焼土粒を含む 炭化物を少量含む
2 10YR2/2～7.5YR4/4 黒褐～褐 焼土粒を多量に含み赤く見える 径1～8㎜の焼土粒を含む 炭化物を含む
3 10YR2/2 黒褐 しまりあり 粘性弱 FB層のような色 径1～4㎜の焼土粒を少量含む 炭化物を少量含む
4 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～3㎜の焼土粒を含む 径1～3㎜の炭化物を少量含む

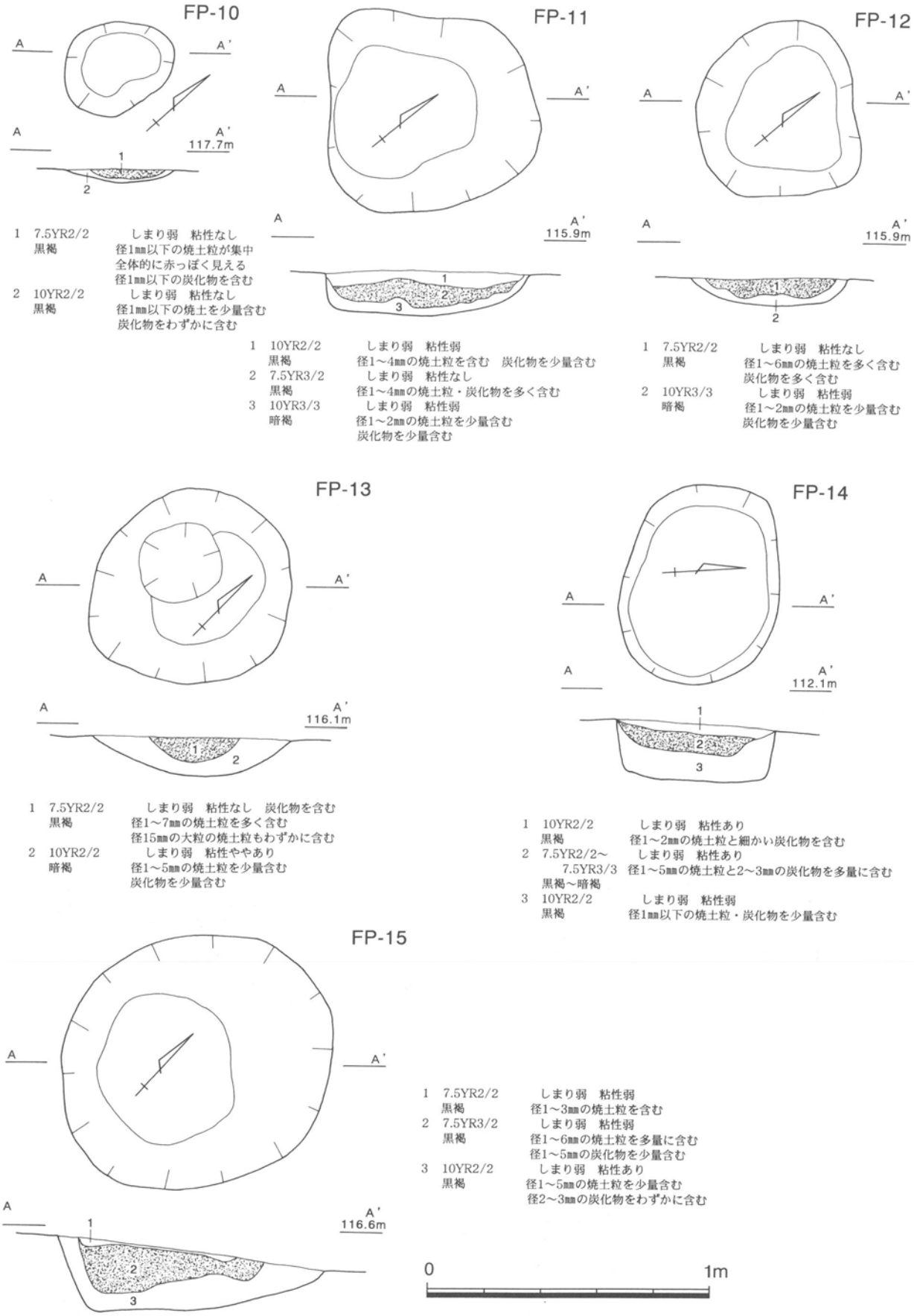


1 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～6㎜の焼土粒を多く含む



1 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～4㎜の焼土粒を多く含む 径2～3㎜の炭化物を少量含む
2 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～3㎜の焼土粒を含む 径1～3㎜の炭化物を少量含む
3 10YR2/3 黒褐 しまり弱 粘性なし 径1～3㎜の焼土粒を多く含む
4 10YR3/3 暗褐 しまり弱 粘性あり やや色調明るい 径1～2㎜の焼土粒をわずかに含む

第84図　縄文時代中期面遺構図３（焼土）



第85図　縄文時代中期面遺構図4（焼土）

第４節　縄文時代中期～後期の遺物

４－１区を中心として、縄文土器片と黒曜石の剝片が多量に出土した。分布を見ると、４－１区南側に弧状となっている。これは４－１区西側の尾根を取り囲むような形で、尾根の肩部に遺物が集中している。土器片はある程度接合するものの、完形に近くなるものがない。再利用されなかった破片のみが廃棄されているという状態である。また、石器は石鏃未製品、石鏃欠損品がほとんどで、大量の黒曜石の破片が出土している。４－１区と４－２区にそれぞれ剝片が集中的に出土した部分があり、石鏃製作後に細かい剝片を集めたものと考えられる。

１　土器

(1)　前期末～中期初頭の土器

わずかではあるが、５－１区より五領ケ台式の土器片が出土した。第86図１～３に図示する。沈線を縦や横に組み合わせた文様を持つ土器である。遺跡の南方に柏窪遺跡があることから、この付近も生活圏の範囲であったと推定される。

(2)　中期中葉の土器

少量ではあるが、５－１区、５－８区、４－１区、４－２区、３－３区、２－３区から中期中葉の勝坂式と考えられる土器片が出土している。第86図４～28、第87図、第88図に図示する。新道期、藤内期、井戸尻期とやや時代幅があると考えられるが、井戸尻期と考えられるものが多い。特に５－１区、５－８区に分布し、遺跡の北方に井戸尻期の生活域が存在していた可能性がある。文様は半截竹管を多用して沈線、押し引きを行っている。胎土は長石や白色粒子を多く含む物がほとんどである。

(3)　中期後葉の土器

量的には最も多く、出土遺物の中心をなす。第89図～第98図に代表的なものを図示する。曽利式、加曽利E式の２形式の土器が出土しているが、４－１区を中心に分布する加曽利E４式が大半を占め、これに曽利式がわずかに加わる。

第89図１～４は加曽利E３式、第89図５～第94図は加曽利E４式と考えられる土器である。また第95図も加曽利E４式と伴出した遺物で、加曽利E４式の範疇に属するものと考えて良いだろう。

施文方法により次の４類に大別される。

A類（沈線系）　沈線のみで主文様を描くもの。文様は渦巻状、対向U字、V字、J字がある。第89図５～第90図に示す。

B類（隆帯系１）　口縁部に隆帯を施すもの。胴部の文様はA類とほぼ同じである。第91図～第92図81に示す。口縁部の隆帯の下に沈線入れないもの（第91図）と入れるもの（第92図）がある。

C類（隆帯系２）　口縁部だけでなく胴部の文様も隆帯で表現するもの。第92図82～第94図126に示す。比較的大形の土器が多い。文様は渦巻状、幅の広いU字、下垂する帯状の文様帯をもつものなど、A類・B類とは文様をやや異にする。

D類（竹管文系）　口縁部が厚く、胴部は半截竹管による沈線で示されるもの。第94図127～138に示す。隆帯が胴部との境の段差を明瞭にするのみで、口縁へ続くという不明瞭なものになっている。竹管文は曲線的であり、対向U字または

V字の文様を描き、中を斜線で充填していると考えられる。文様はすべて竹管のみで、縄文は見られない。

施文順序は次の4種類が見られる。

a　地文を施文した後に区画を作り、「磨消縄文」の手法をとるもの

b　地文は施文するが、磨り消しをしないもの

c　沈線で区画してから中に縄文を充填する手法をとるもの

d　沈線のみで縄文を省略しているものがある。

aとcは沈線系にも隆帯系にも見られ、遍在傾向は見られなかった。bやdはa・cの省略された状態であると考えられ、量的には少なかった。

第96図1～17は曽利Ⅰ～Ⅲ式でやや時代的に先行する。出土地区も5－1区が中心で、古い時期は遺跡の中心が北側にあったことを考えさせられる分布である。第96図18～第99図は曽利Ⅳ～Ⅴ式で、4－1区を中心に加曽利E4式と伴出している土器である。沈線で区画した中をさらに沈線で充填する。この充填する沈線には縦方向または横方向の細かい沈線、斜線、ランダムな沈線、ハの字または綾杉状の沈線がある。

第98図は小形土器である。ほとんどが4－1区の出土である。1は曽利Ⅴ式の文様を描くが、他は加曽利E4式である。1の胎土はやや白色を帯び、他地域からの搬入品の可能性がある。3～6、9～16、20は沈線で文様を描いて中を縄文で充填する。7は口縁部に刺突をする。17は沈線のみで文様描く。18、19、22は口縁の下に低い隆帯を張り付ける。21は口唇直下から縄文を施文する。25、26は隆帯で文様を表現する。27は小形注口土器で注口の上に環状の把手が付く。実際にこの部分を持って中の液体を注ぐのは不可能であるため、反対側にも同様の把手が付き、蔓状のものをかけて使用していた可能性がある。28も口縁の突起状の部分に孔があり、さらに別の材料を組み合わせている可能性がある。8、29～31は把手である。8のように蛇を表現した物や環状に粘土紐を張り付け、縄文を施文する。

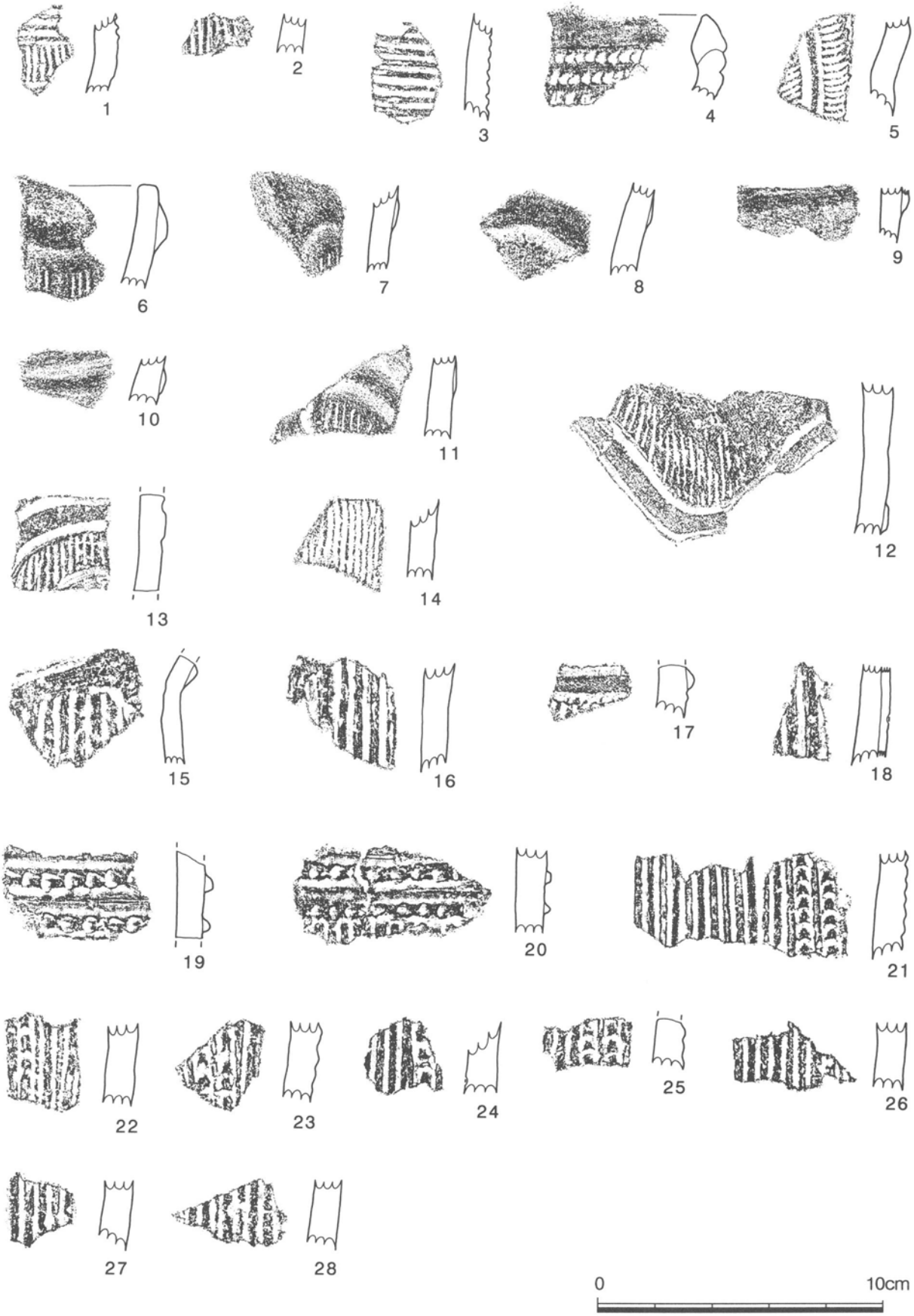
土器の大きさは大・中・小あったと推定される。屈曲のほとんどない緩やかなキャリパー形の中形の土器が大半で、文様のバリエーションも多い。大形土器にはキャリパー形と屈曲のない丸みを帯びたバケツ形の器形がある。また、器壁の厚い土器も存在する。

(4)　底部破片

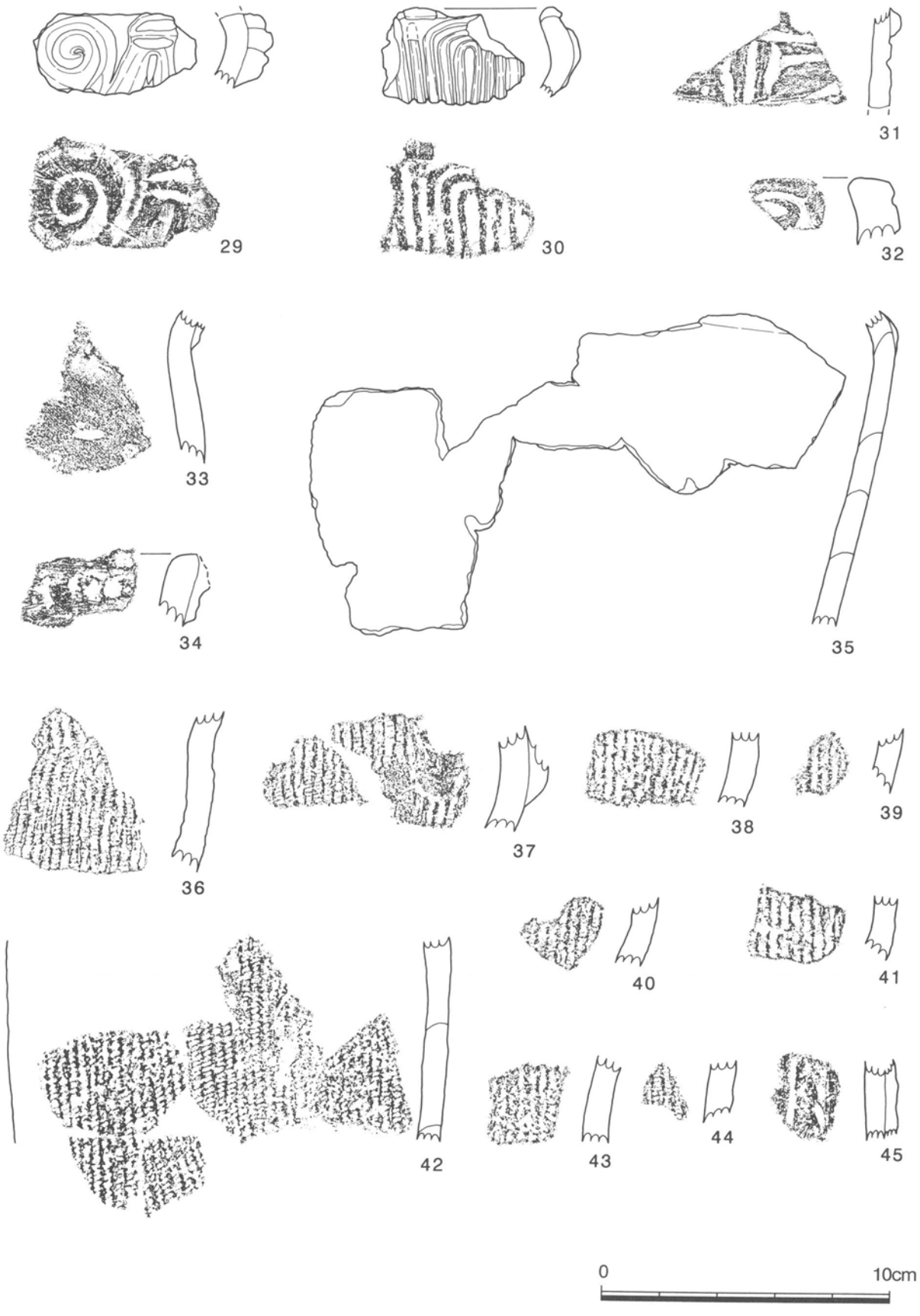
底部の破片を第99図に図示する。全て平底である。大半が4－1区で出土しているため、加曽利E4式土器の底部である可能性が非常に高い。このうち、7点には接地面に網代痕が認められた。いずれも綾織のものと考えられる。1・2・12・13は経糸が明瞭である。16・17・23は経糸が不明瞭で、経糸と緯糸の材質または太さが異なるものと推定される。接地面は平坦で、器壁はやや外側に向かって開いているものが多い。21は表面の劣化により接地面がやや丸くなっている。

(5)　後期の土器

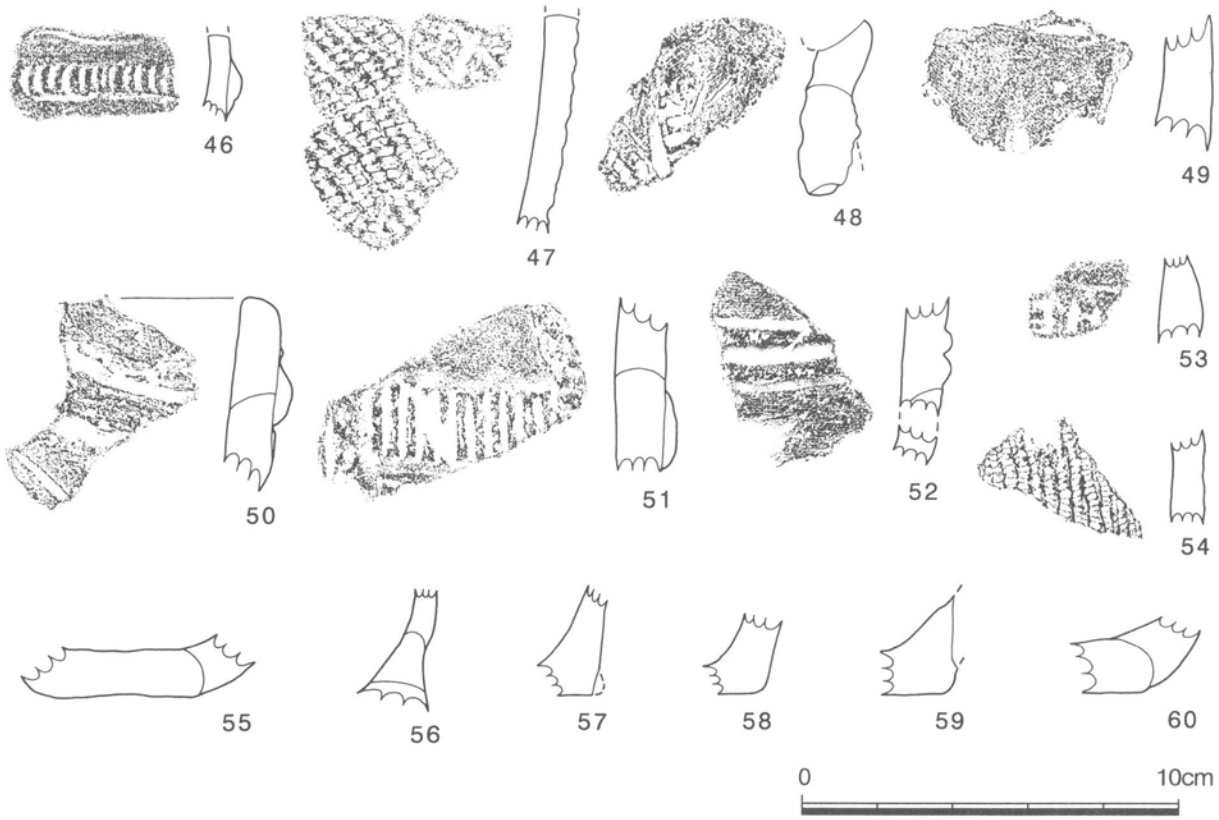
量的にはごくわずかで出土区もばらばらである。1～4は太い沈線で文様を描き、なかに細かい縄文を施文する。称名寺式の破片と思われる。5も同様に施文するが、器壁が薄い。文様から堀之内1式の破片と考えられる。6は胎土から堀之内式と推定される。7・8は底部である。上げ底状であるため後期かと推定したが、4－1区の出土であるため、中期末の可能性も大きい。9は堀之内式併行の粗製土器と推定される付加縄文の土器である。3－3区の西側、4－1区に近い部分から破片がまとまって出土した。



第86図　縄文時代中期前葉～中葉の土器 1



第87図　縄文時代中期前葉～中葉の土器 2



第88図　縄文時代中期前葉～中葉の土器 3

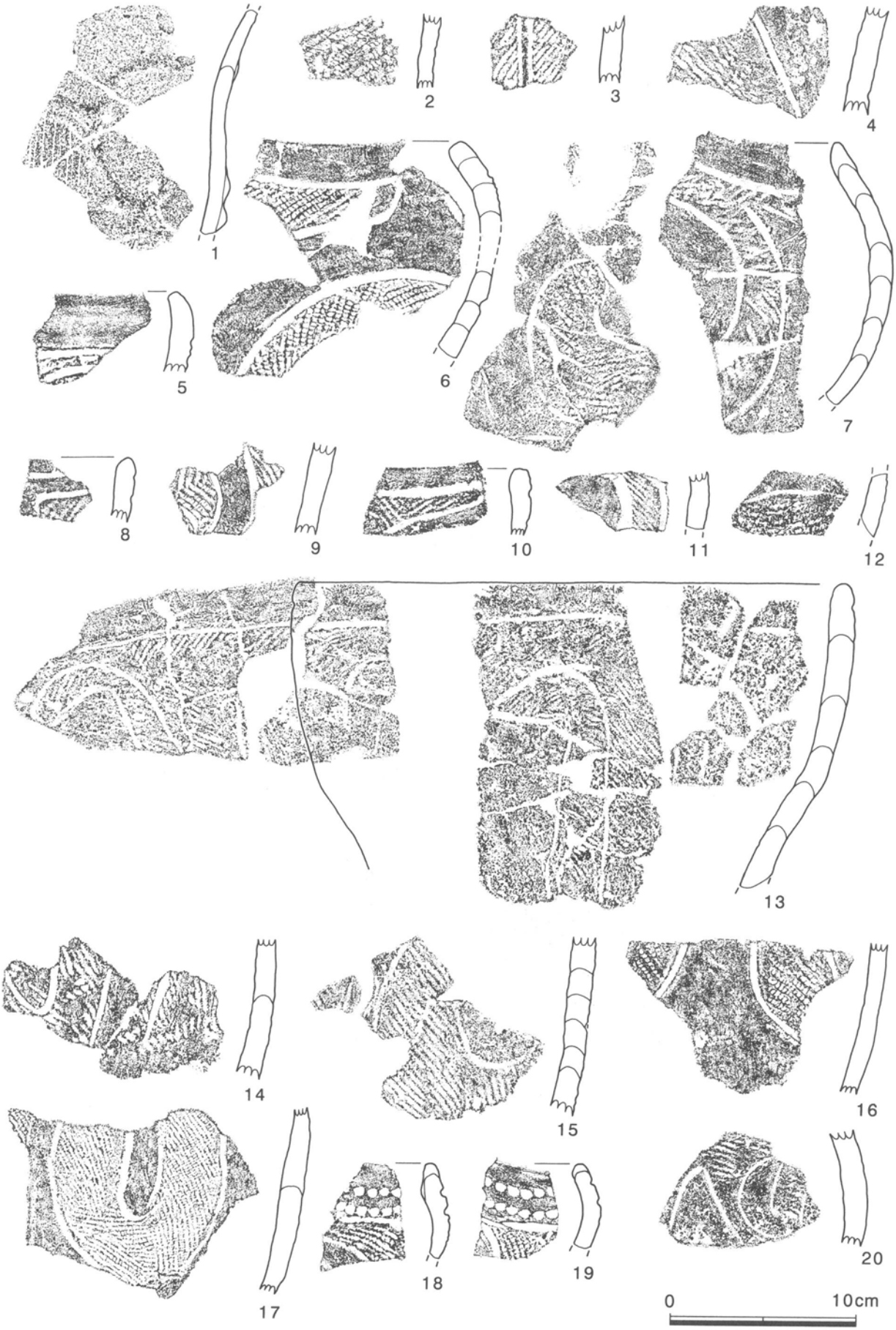
第18表　縄文中期前葉～中葉土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
1 第86図 図版38	P-1120	5-1区 AN 包含層	前期末～ 中期初頭 五領ヶ台式 カ	不明	胴部破片 2.5Y4/1　黄灰 2.5Y/6 にぶい黄	(1) 半截竹管を利用した沈線を縦と横方向に引く。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
2 第86図 図版38	P-1343	5-1区 KU 包含層	前期末～ 中期初頭 五領ヶ台式 カ	不明	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 半截竹管を利用した沈線を縦方向に引く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
3 第86図 図版38	P-1827	5-1区 ZN 包含層	前期末～ 中期初頭 五領ヶ台式 カ	不明	胴部破片 2.5Y6/4 にぶい黄 2.5Y6/3 にぶい黄	(1) 半截竹管を利用した条線を横方向に引く。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
4 第86図 図版38	P-4021	3-3区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式 （新道期）	不明	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 三角押文が二列に施文され、その下にキャタピラ文を施文。 (2) 長石、輝石、白色粒子、黒色粒子を含む。石英を少量含む。	焼成良好 胎土密
5 第86図 図版38	P-725	5-8区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式 （藤内期）	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/3　褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 半截竹管で沈線を引き、両側にキャタピラ文を施文し、さらにその外側に波線を引く。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。輝石、石英、金雲母を少量含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
6～11 第86図 図版38	P-2106、2070、2097、2150、2157、2111	5-8区 AN～KU 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付け、区画を作る。中に半截竹管の条線を縦方向に引いている破片もある。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗い
12 第86図 図版38	P-265	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 二条の沈線で区画を作り、中に細い半截竹管で条線を入れる。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、黒雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
13 第86図 図版38	P-313	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 二条の沈線で区画を作り、中に細い半截竹管で沈線を描く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、黒雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
14 第86図 図版38	P-1125	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 細かいLRの縄文。 (2) 長石、石英、輝石、径3㎜程度の小礫、白色岩片、赤色岩片を含む。金雲母を多く含む。	焼成良好 胎土密
15 第86図 図版38	P-1149	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 粘土紐を貼付けて区画した中を半截竹管で縦方向に沈線を引く。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
16 第86図 図版38	P-955	5-1区 表土	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	不明	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 半截竹管で縦方向に沈線を引く。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
17 第86図 図版38	P-1631	5-1区 FB 包含層	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	不明	胴部破片 10YR4/2　灰黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 粘土紐を貼付け、脇に浅い沈線を引く。区画の中を半截竹管で縦方向に沈線を引く。 (2) 石英、輝石、白色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
18 第86図 図版38	P-4780	5-1区 表土	中期中葉 勝坂式	深鉢	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 縦方向に細い粘土紐を2本貼付け、細い半裁竹管の押し引きによる刻みを入れる。周囲は欠損して不明瞭だが、半裁竹管による縦方向の条線が引かれていると推定される。 (2) 長石、石英、輝石、径1㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密 被熱により表面劣化
19～28 第86図 図版38	P-966、1699-2018、1697-1948-4778、1118、1124、1314、4779、280、4776、4777、	5-1区 AN～ZN 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢	胴部破片 5YR4/4 にぶい赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 細い粘土紐を横方向に貼付け、上に半截竹管で押し引きをして刻みを入れる。この下に半裁竹管で縦方向に条線を入れる。部分的に爪形文を縦方向に入れる。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、赤色粒子、白色岩片、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
29 第87図 図版38	P-1824	5-1区 ZN 包含層	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	深鉢カ	口縁部付近破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 渦巻状の粘土紐を貼付け、突起状にする。その横に「人」字状に粘土紐を貼り、上部に2回刻みを入れる。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
30 第87図 図版38	P-4773	5-1区 表土	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	深鉢	口縁部破片 10YR4/2　灰黄褐 10YR5/2　灰黄褐	(1) 細い粘土紐を三重にU字状に貼付ける。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色粒子、白色岩片を含む。	焼成やや不良 胎土密
31 第87図 図版38	P-1119	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR6/5　明褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 幅広の浅い沈線による三角区画の中に三叉文を描く。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密

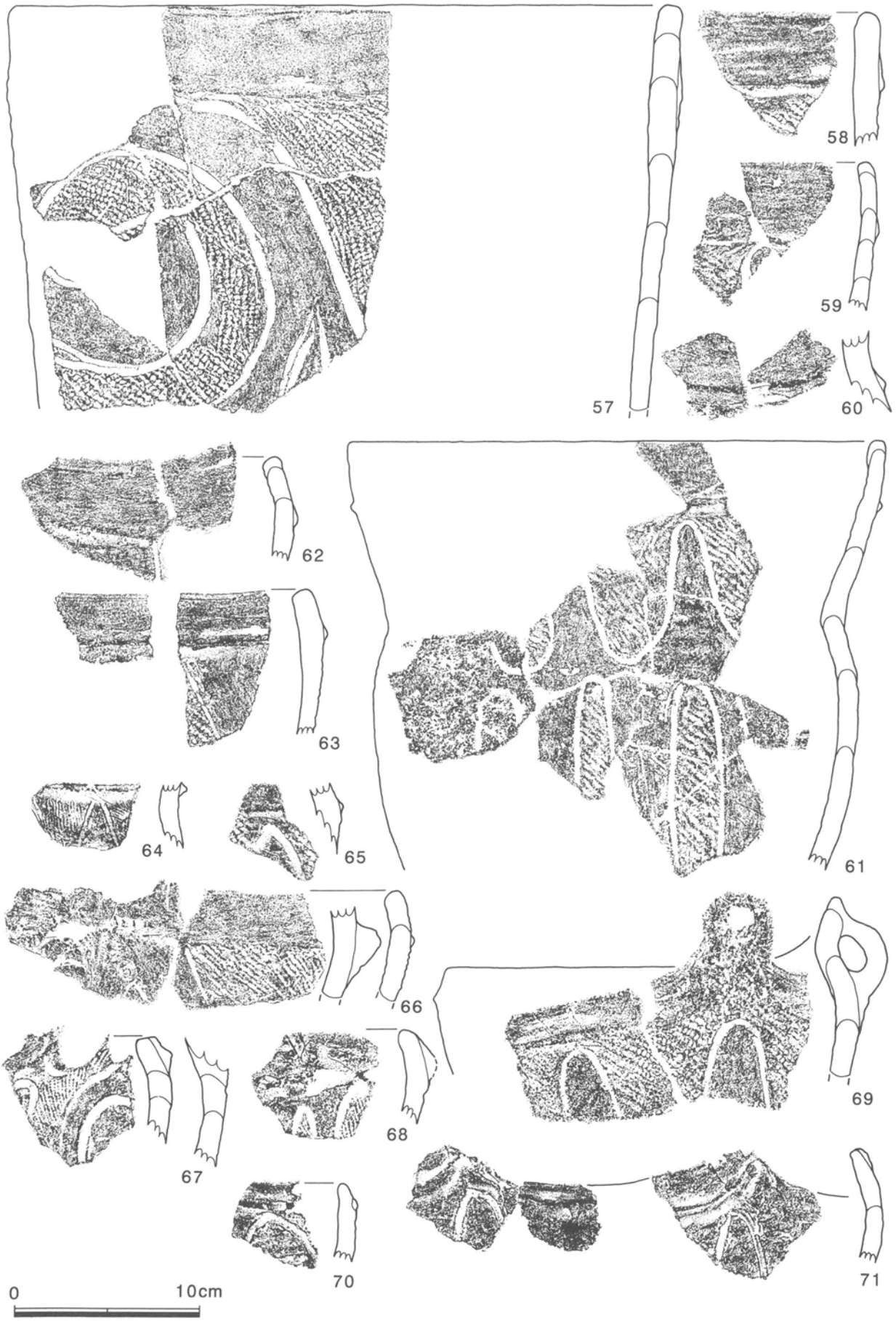
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
32 第87図 図版38	P-4774	5-1区 表土	中期中葉 勝坂式 (井戸尻期)	不明	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 沈線で渦巻状カの文様を描く (2) 長石、石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
33 第87図 図版38	P-1157	5-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 5YR4/6　赤褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 屈曲部に粘土紐を貼付け、上から刻みを入れる。他は無文。 (2) 長石、石英、輝石、黒雲母、径2㎜以下の小礫を含む。金雲母を多く含む。	焼成良好 胎土密 内面炭化物付着
34 第87図 図版38	P-4775	5-1区 表土	中期中葉 勝坂式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 粘土紐を貼付けて断面三角形の低い隆帯を作り、これに刻みを入れる。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
35 第87図 図版38	P-2066～ 2069-2156- 2118	5-8区 AN～ KU 包含層	中期中葉 勝坂式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR7/3 にぶい橙	(1) 無文。屈曲部に粘土紐を貼付けるが、隆帯にはなっていない。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、径3㎜以下の小礫を含む。 同一個体：2065、2117、2110 同一個体カ：2068、2113、2164	焼成良好 胎土やや粗い
36～41 第87図 図版39	P-2146、 2037-2171、 2130、2132、 2159、2174	5-8区 AN～ FB 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/4　暗褐 10YR3/2　黒褐	(1) LRの縄文。太い隆帯を貼付けている破片もある。 (2) 長石を多く含む。石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土やや粗い
42 第87図 図版39	P-2127- 2099-2148	5-8区 AN～ KU 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢	胴部破片 7.5YR4/4　暗褐 10YR3/1　黒褐	(1) RLカの縄文を施文。同一個体の破片には横方向の沈線や無文帯がある。 (2) 長石、白色粒子、径1.5㎜以下の小礫を含む。 同一個体：2057、2063、2071、2081、2098、2107、2109、2116、2122、2124、2125、2129、2131、2141、2144、2145、2149、2160、2166、2167-2、2173、2175、	焼成良好 胎土やや粗い 内面炭化物付着
43～44 第87図 図版39	P-2090、 2167-1	5-8区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 5YR4/6 にぶい赤褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) LRの縄文。 (2) 長石を多く含む。石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
45 第87図 図版39	P-2137	5-8区 KU 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 粘土紐を貼付けて隆帯を作り、隆帯の片方の脇を沈線、もう一方は刺突状の列をつける。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。輝石、金雲母を含む。	焼成やや良 胎土やや粗
46 第88図 図版39	P-4561	4-1区 KU 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢	胴部破片 10YR6/6　明黄褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 粘土紐を貼付け、断面半円形の低い隆帯を作り、隆帯上に爪形文を施文する。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
47 第88図 図版39	P-727-4、 826	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 5YR4/8　赤褐	(1) LRの縄文を施文。 (2) 長石を多く含む。石英、輝石、金雲母、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
48 第88図 図版39	P-4781	4-2区 攪乱	中期中葉 勝坂式	不明 口縁に朝顔状の突起を持つ	口縁部突起 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 突起から下垂する2列の沈線を引き、刻みを入れる。 (2) 長石、石英を含む。径1.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
49 第88図 図版39	P-727-2	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 一部に浅い沈線や幅広の低い隆帯の端部が残る。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。輝石、石英、金雲母を少量含む。	焼成良好 胎土密
50 第88図 図版39	P-862-103	4-2区 AN～ KU 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 粘土紐を貼付けて幅広の低い隆帯を作り、両側に沈線を引く。下部に浅い沈線がある。 (2) 径1.5㎜以下の小礫を含む。長石、石英を少量含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
51 第88図 図版39	P-833-855	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/5 明褐	(1) 粘土紐を貼付けて幅広の低い隆帯を横方向に作り、上からキャタピラ状に刻みを入れる。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。輝石を含む。金雲母を少量含む。	焼成良好 胎土密
52 第88図 図版39	P-820-819	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 10YR3/2 黒褐	(1) 竹管で押さえ、2列の平行した隆帯を作る。 (2) 長石、白色粒子輝石を含む。金雲母を少量含む。	焼成良好 胎土密
53 第88図 図版39	P-4039	3-3区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR4/2 灰褐 10YR3/1 黒褐	(1) 沈線状の刻み目が縦方向と横方向にある。縦方向はパネル文様の一部カ。 (2) 輝石を多く含む。長石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
54 第88図 図版39	P-2009	2-3区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式	不明	胴部破片 7.5YR4/2 灰褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) RLカの縄文。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
55 第88図 図版39	P-2380	4-1区 KGP 包含層	中期中葉 勝坂式カ	小形土器カ 平底	底部破片 5YR5/6 明赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、輝石を少量含む。	焼成やや良 胎土やや粗
56 第88図 図版39	P-2452	4-1区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明 平底カ	底部に近い胴部破片 10YR5/2 灰黄褐 10YR4/1 褐灰	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 長石、白色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
57 第88図 図版39	P-4627	4-1区 KU 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明 平底	底部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。輝石、金雲母を含む。	焼成良好 胎土密
58 第88図 図版39	P-4650	4-1区 KU 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明 平底	底部破片 5YR4/6 にぶい赤褐 10YR3/1 黒褐	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、輝石を含む。	焼成やや不良 胎土やや粗
59 第88図 図版39	P-727-3	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明 平底	底部破片 7.5YR6/6 橙 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
60 第88図 図版39	P-817	4-2区 AN 包含層	中期中葉 勝坂式カ	不明 平底	底部破片 5YR5/6 明赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 底部に近い胴部は無文。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。赤色粒子、黒色粒子を含む。輝石、金雲母をわずかに含む。	焼成良好 胎土密

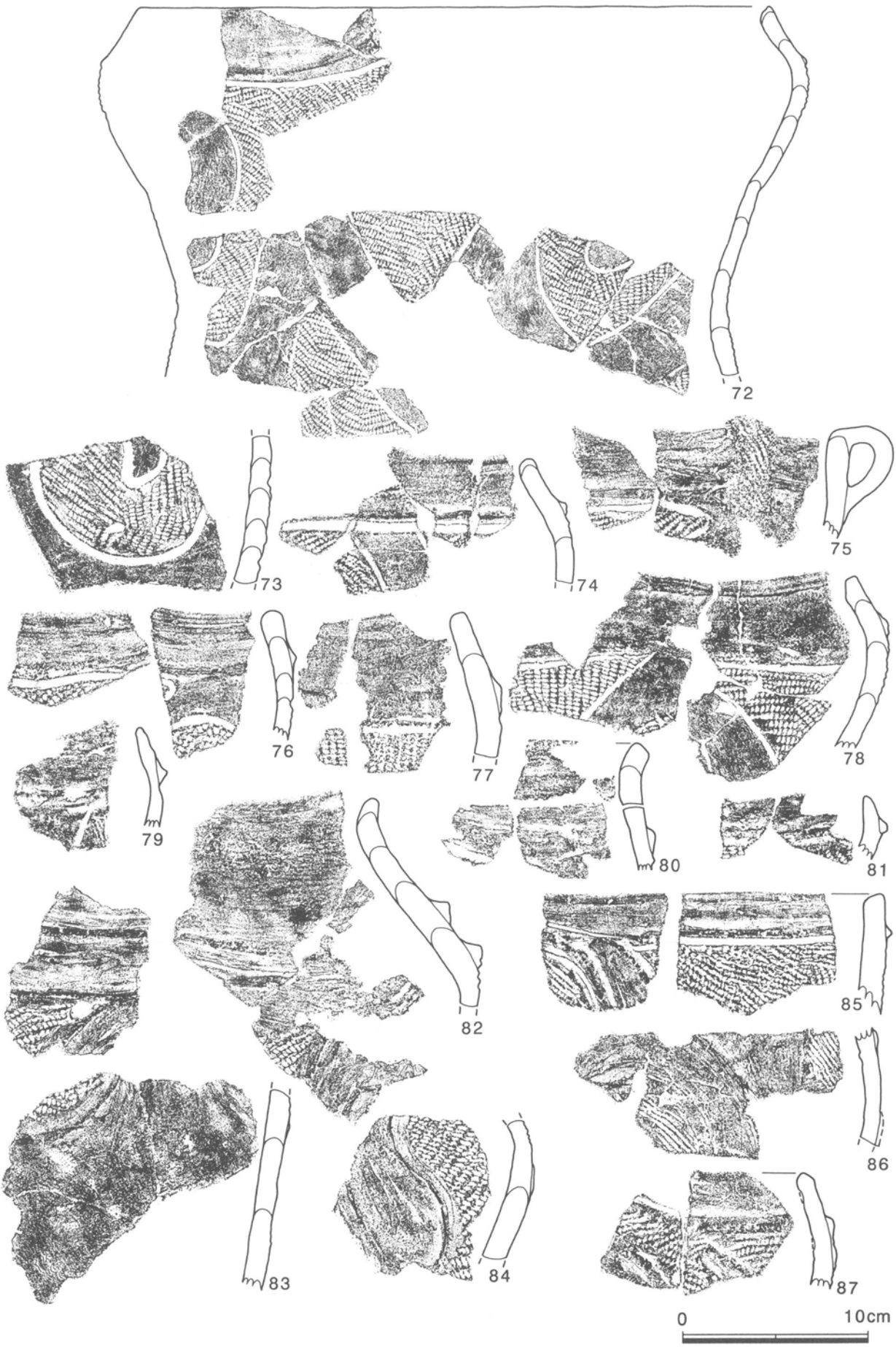


第89図　縄文時代中期後葉の土器１（加曽利Ｅ）

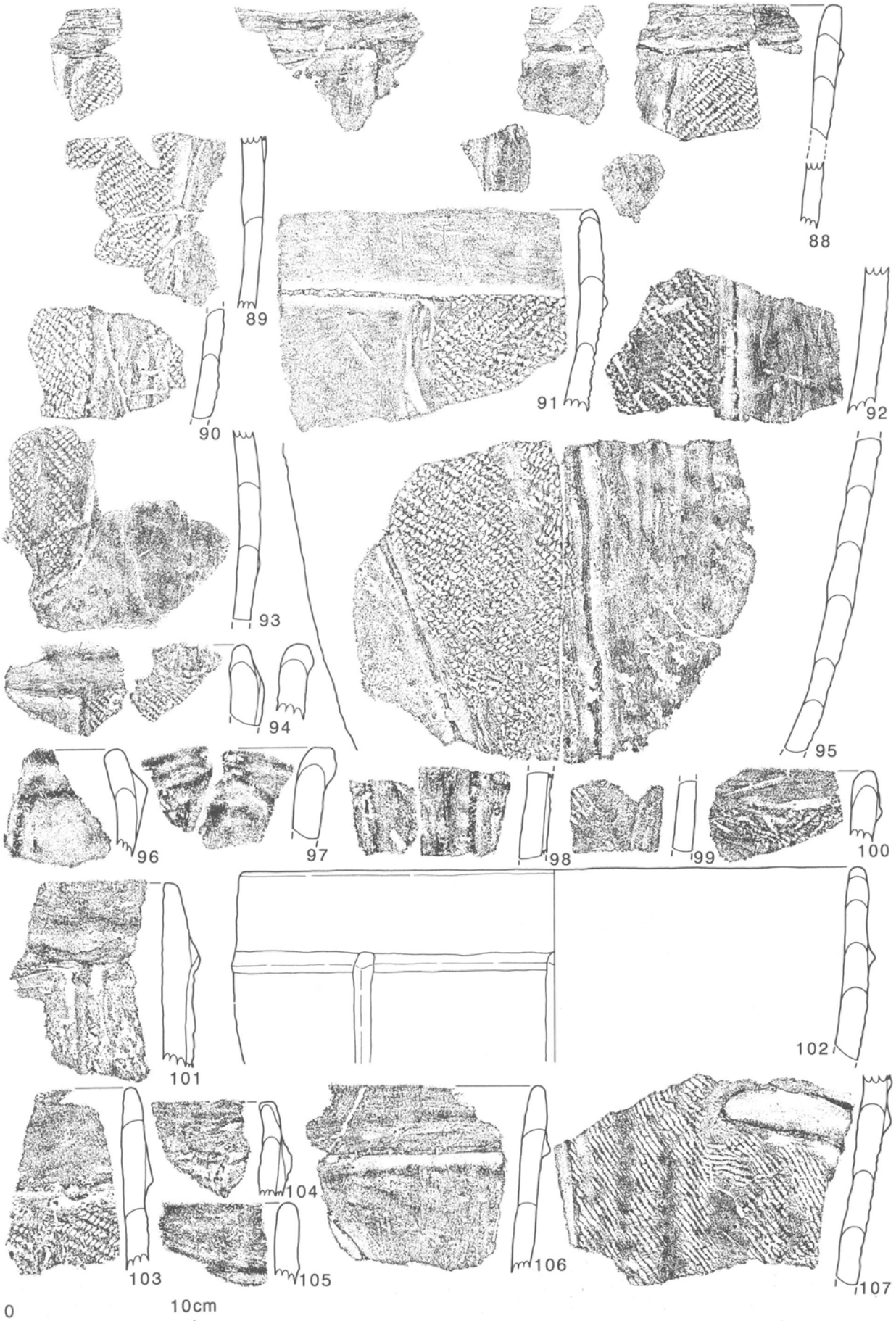
第90図　縄文時代中期後葉の土器２（加曽利Ｅ）



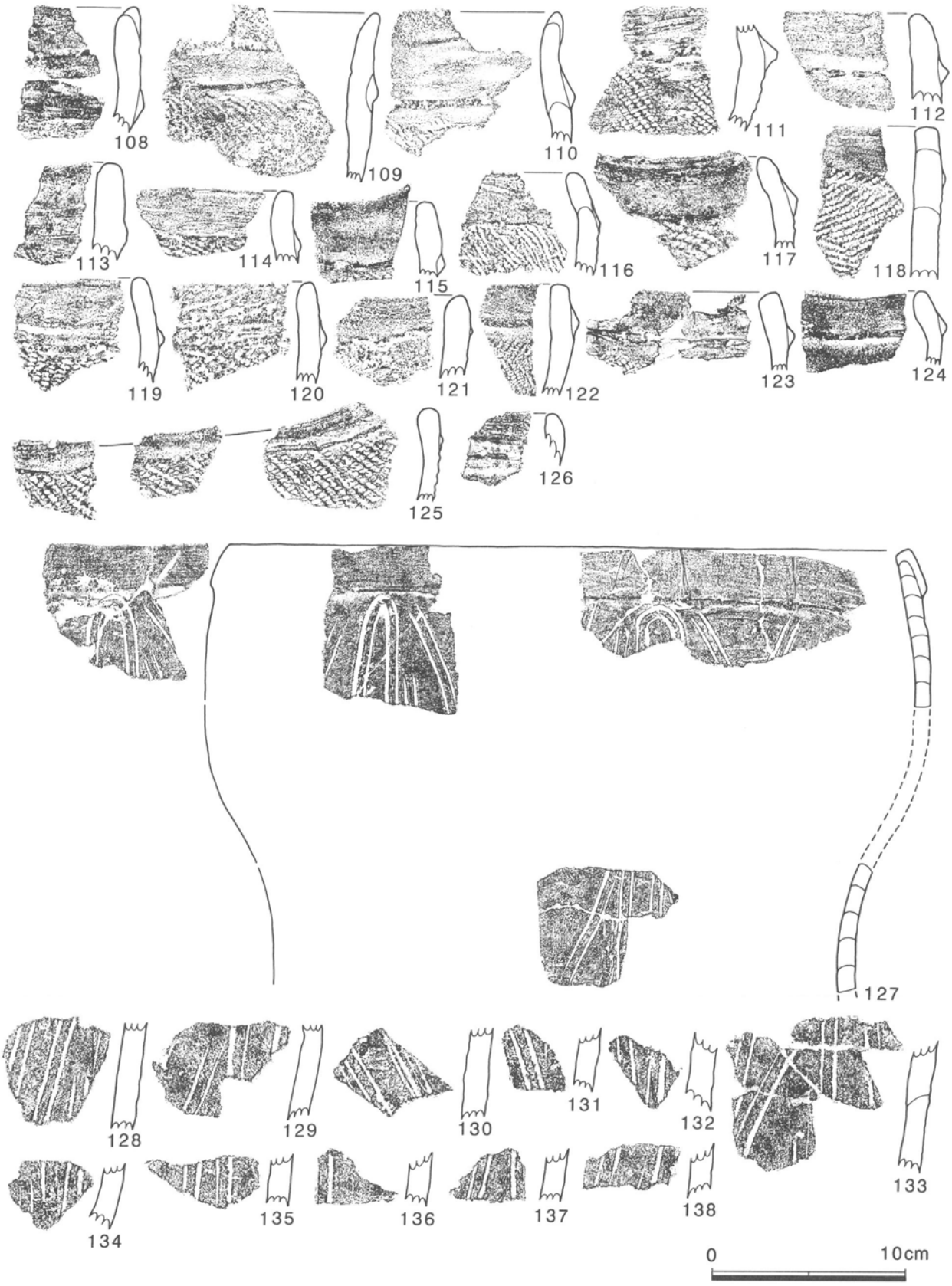
第91図　縄文時代中期後葉の土器３（加曽利Ｅ）



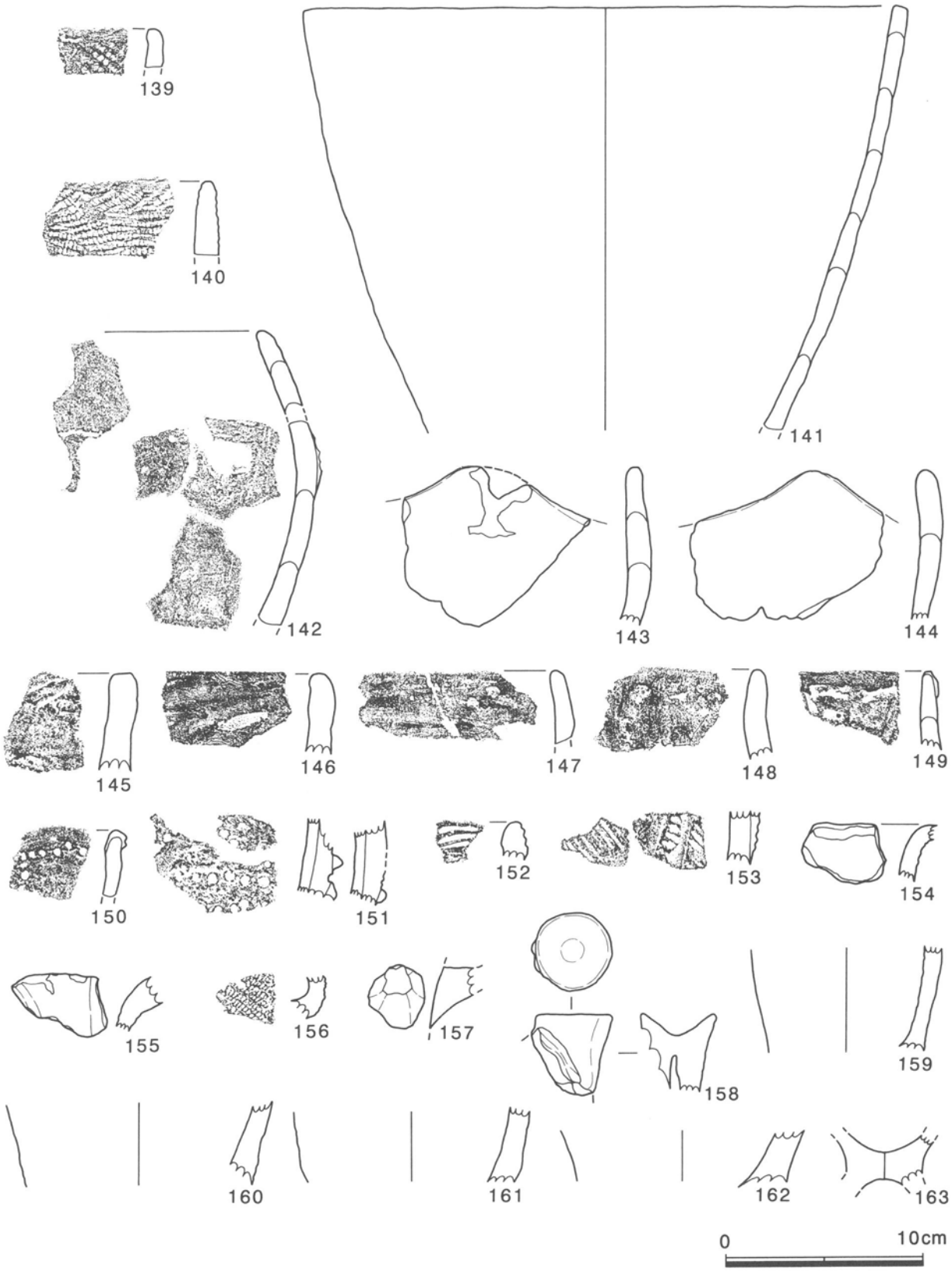
第92図　縄文時代中期後葉の土器４（加曽利Ｅ）



第93図　縄文時代中期後葉の土器５（加曽利Ｅ）



第94図　縄文時代中期後葉の土器 6 （加曽利 E ）



第95図　縄文時代中期後葉の土器７（加曽利Ｅ）

第19表　加曽利E式土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
1 第89図 図版40	P-2061、2127、2162、2163、2172	5・8区 AN～KU FP-08 覆土	中期後半 加曽利E 3式カ	深鉢	胴部破片 10YR5/4　にぶい黄褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 幅広の低い隆帯で区画を作り、区画の一部には細い半裁竹管で縦方向の沈線を描く。 (2) 石英、輝石、金雲母、長石、2㎜以下の赤色岩片、白色岩片、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
2 第89図 図版40	P-4788	5-1区 表土	中期後半 加曽利E 3式	深鉢	胴部破片 5YR4/4　にぶい赤褐 7.5YR6/4　にぶい赤褐	(1) RLを縦方向に施文して地文とし、上から細い隆帯を下垂させる。隆帯は直線状のものと波状のものがある。 (2) 石英を多く含む。長石、輝石、金雲母、黒色粒子を含む。	焼成やや不良 胎土やや粗
3 第89図 図版40	P-1132	5-1区 AN	中期後半 加曽利E 3式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 磨滅しているがLRの縄文を地文とし、半截竹管で縦方向に平行線を引いて区画を描く。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、白色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。 曽利縄文系の可能性もある。	焼成良好 胎土密
4 第89図 図版40	P-1312	5-1区 KU	中期後半 加曽利E 3式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4　にぶい黄橙 7.5YR7/6　橙	(1) LRの縄文を縦方向に施文し、沈線で区画を描く。 (2) 石英、長石、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
5 第89図 図版40	P-2422	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	口縁部破片 2.5Y7/5　暗灰黄 10YR6/4　にぶい黄橙	(1) LRカの縄文を文様に沿って施文し、太い沈線で縁を明瞭に描く。文様は渦巻状カ。 (2) 石英、輝石、黒色粒子、赤色粒子、2㎜以下の小礫を含む。1.5㎜以下の白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
6 第89図 図版40	P-2509、3337、3651、3905、2837	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢 弱い波状口縁	口縁～胴部破片 7.5YR5/4　にぶい褐 ～5/6　明褐 10YR5/2　灰黄褐	(1) LRの縄文を文様に沿って渦巻状に施文し、太い沈線で縁を明瞭に描く。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、金雲母、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
7 第89図 図版40	P-2839、2855、3452、4522、3655、4194、3714	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁～胴部破片 7.5YR5/4　にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRの縄文を文様に沿ってJ字状に施文し、太い沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 石英、長石、黒色粒子、3㎜以下の赤色岩片、6㎜以下の小礫を含む。白色粒子を多く含む。輝石を少量含む。 同一個体カ：P-30、2448、2898、3403、3456	焼成良好 胎土密
8 第89図 図版40	P-967	5・1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRカの縄文を文様に沿って施文し、沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 輝石を多く含む。石英、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
9 第89図 図版40	P-3492	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4　にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) Lの縄文を文様に沿って渦巻状に施文し、沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、白色粒子、黒色粒子、径3～4㎜の岩片を含む。	焼成良好 胎土密
10 第89図 図版40	P-2402	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/6　明黄褐	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRの縄文を文様に沿って施文し、太い沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 石英、輝石、黒色粒子、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
11 第89図 図版40	P-1795	4-5区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4　にぶい黄橙 10YR6/4　にぶい黄橙	(1) 渦巻状の文様を太い沈線で描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
12 第89図 図版40	P-2370	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢	胴部破片 7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR6/6　橙	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRカの縄文を施文し、太い沈線で縁を描く。文様は渦巻状カ。 (2) 長石、石英、赤色粒子、3.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
13 第89図 図版41	P-2754、3297、3656、3663、4105、4305、4188、2280、2803、2814、3165、3344、3513、3637、3729	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E4式	深鉢 キャリパー形 口径（28.8cm） 器高（15.6cm）	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR4/4　褐	(1) 口唇部以外ほぼ全面にLRの縄文を施文し、沈線で細長いJ字とU字を対向させる文様を描く。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、輝石、金雲母、8㎜以下の赤色岩片、白色岩片、9㎜以下の小礫を含む。 同一個体カ：2300、2507、3063、3727、3836、4140、4159、4734	焼成良好 胎土やや粗
14 第89図 図版41	P-2457、3496、4511	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、ほぼ全面にLRの縄文を施文し、沈線で細長いJ字文様を描く。 (2) 白色粒子を多く含む。石英、輝石、黒色粒子、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
15 第89図 図版41	P-2894、3712、4592	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式	深鉢	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRの縄文を文様に沿って施文し、太い沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、白色粒子、黒色粒子、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
16 第89図 図版41	P-2881	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式	深鉢	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を文様に沿って施文し、太い沈線で縁を描いて磨り消す (2) 長石、石英、輝石を含む。赤色粒子、黒色粒子を少量含む。径5㎜の小礫を含む。白色粒子を多く含む。 残存部胴部13.8cm	焼成良好 胎土密
17 第89図 図版41	P-4164	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式	深鉢	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を文様に沿って施文し、太い沈線で縁を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、黒色粒子、径1㎜程度の小礫を含む。 残存部胴部11.8cm	焼成良好 胎土密
18、19 第89図 図版41	P-2769、3661-3823	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式	深鉢カ 緩い波状口縁	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁部に沿って棒状工具で二列の刺突をする。RLの縄文を施文し、沈線で文様を描いて磨り消す。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
20 第89図 図版41	P-32	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 文様が磨滅して不明瞭だが、LRの縄文を施文し、沈線で文様を描いて磨り消す。文様はやや変則的な渦巻文様カ。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、白色粒子を含む。径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
21 第90図 図版42	P-4636	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 沈線で縦長の区画を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、4㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
22 第90図 図版42	P-742、760、4415、4591	4-1区 4-2区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で縦長の区画を描き、Lの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、黒色粒子、赤色粒子、白色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
23 第90図 図版42	P-4282	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式	深鉢	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 沈線でU字状の区画を描き、中をRの縄文で充填する。 (2) 白色粒子を多く含む。石英、長石、輝石、金雲母、径3㎜以下の赤色岩片、径6㎜以下の白色岩片を含む。 内面にコゲ付着。	焼成良好 胎土やや粗
24 第90図 図版42	P-120	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) LRの縄文を縦方向に施文し、沈線で区画を描くが、区画外の部分の縄文を磨り消していない。 (2) 長石、石英、白色粒子、黒色粒子、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
25 第90図 図版42	P-2283、2284、2285、2286、2287、2317、2503、2506、2536、2537、2538、2539、2289、2755、2542、4542、2761、3035、3032、4104	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E4式	深鉢 キャリパー形 口径（18.5cm） 器高（24.4cm）	口縁～胴部破片 2.5Y6/4 にぶい黄 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口唇部以外ほぼ全面にLRの縄文を施文し、沈線で細長い対向U字ををを描く。磨り消しはしていない。 (2) 石英、長石、輝石、金雲母、白色粒子、2㎜以下の白色岩片、赤色岩片、小礫を含む。 同一個体カ：3068、.3576、4484	焼成良好 胎土やや粗

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
26 第90図 図版42	P-3726、 4203	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 全面にLカの縄文を施文。太い沈線でやや開きぎみの対向U字を描く。磨り消しはしていない。 (2) 石英、輝石、白色粒子、2㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
27 第90図 図版42	P-2492	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 全面にLカの縄文を施文。太い沈線でやや開きぎみの対向U字を描く。磨り消しはしていない。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
28 第90図 図版42	P-3012	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/3 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 不明瞭だが、太い沈線で対向U字の文様を描き、中をLRの縄文で充塡する。口唇部には沈線無し。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、赤色粒子、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
29 第90図 図版42	P-3718、 4679	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 2.5Y6/3 にぶい黄 2.8YR6/2　灰黄	(1) 不明瞭だが、太い沈線で対向U字の文様を描き、中をLRの縄文で充塡する。口唇部には沈線無し。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、金雲母を含む。 内面コゲ付着。	焼成良好 胎土やや粗
30 第90図 図版42	P-4735	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR7/6　橙	(1) 磨滅により不明瞭だが、口縁部に沿って横方向にLRの縄文を細い帯状に施文し、胴部は縦方向に全面施文して、口縁部の付近が羽状に見えるようにしている。胴部には沈線で対向U字の文様を描く。 (2) 白色粒子を多く含む。輝石、石英、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
31 第90図 図版43	P-4315	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 口縁部は幅広の無文帯で、沈線を引き、胴部と区画する。胴部の文様は不明。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、白色粒子、小礫を含む。	焼成良好 胎土密
32 第90図 図版43	P-4508	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 5YR6/4 にぶい橙	(1) 口縁部は幅広の無文帯で、沈線を引き、胴部と区画する。胴部にはRLカの縄文を施文。 (2) 石英、輝石、白色粒子、5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
33 第90図 図版43	P-2232	4-1区 KGP	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 口縁部は幅広の無文帯で、沈線を引き、胴部と区画する。胴部の文様は不明。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、白色粒子、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
34 第90図 図版43	P-4447	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ 緩い波状口縁カ	口縁部破片 10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って沈線を引き、その下に沈線で文様を描く。文様の形状は不明。 (2) 長石、石英、金雲母、黒色粒子を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
35 第90図 図版43	P-2838	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 口縁に沿って沈線を引き、その下に沈線で文様を描く。文様の形状は不明。区画の中は反節縄文で充塡される。 (2) 長石、石英、黒色粒子、白色粒子、径2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
36 第90図 図版43	P-4069	3-3区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ 緩い波状口縁	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って沈線を引き、その下にLRの縄文を施文。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、金雲母、黒色粒子、白色岩片、8㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
37 第90図 図版43	P-4190	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR7/6　橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で円形状の文様を描き、中をRLカの縄文で充塡する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、黒色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
38 第90図 図版43	P-4789	4-1区 表土	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR5/2　灰黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 口縁に沿って沈線を引き、下にRLカの縄文を施文。 (2) 長石を多く含む。石英、金雲母、輝石、赤色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
39 第90図 図版43	P-727-7	4-2区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁に沿って沈線を引き、下にRLカの縄文を施文。 (2)長石、石英、白色粒子を多く含む。金雲母、輝石、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土やや粗
40 第90図 図版43	P-2023	5-8区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10TR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って沈線を引き、下に沈線で文様を描き、中をLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土やや粗
41 第90図 図版43	P-2026	5-8区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に沿って2状の沈線を引く。下部の文様は不明。 (2) 長石、石英、輝石、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
42 第90図 図版43	P-4790	4-1区 表土	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR4/2　灰褐	(1) 口縁に沿って太い沈線を引き、Lの縄文を施文。 (2) 石英、輝石、長石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
43 第90図 図版43	P-3812	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 2.5Y3/2　黒褐 2.5Y4/1　黄灰	(1) 胴部に沈線で文様を書き、口縁に沿って太い沈線を描く。 (2) 石英、輝石を少量含む。白色粒子、径2.5㎜の赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
44 第90図 図版43	P-2626、 3423	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って沈線を描く。一部沈線が上に跳ね上がったように引かれている部分がある。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、径2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
45 第90図 図版43	P-4533	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ やや小形	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR6/6　橙	(1) LRの縄文を胴部に施文し、口縁に沿って沈線を引く。 (2)輝石、石英、白色粒子、白色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
46 第90図 図版43	P-2909	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	口縁部破片 5Y3/2 オリーブ黒 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って浅い沈線を描く。この下に沈線でU字状の文様を書き、中をRの縄文で充填する。 (2) 輝石、白色粒子、径2㎜の小礫を含む。赤色粒子を少量含む。	焼成良好 胎土密
47 第90図 図版43	P-3549	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 沈線を口縁に沿って描き、波頂部で下垂させる。 (2) 石英、長石、白色粒子、黒色粒子を含む。金雲母を多く含む。	焼成良好 胎土密
48 第90図 図版43	P-3555	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁。口唇部横が弱い沈線状に窪む。 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子、径2～3㎜の岩片を含む。石英、金雲母を少量含む。	焼成良好 胎土密
49 第90図 図版43	P-4467	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR8/4 浅黄橙	(1) 無文の口縁。口唇部横に口縁に沿うように弱い沈線を引く。 (2) 石英、金雲母、輝石、白色粒子、赤色粒子、径3㎜程度の岩片を含む。	焼成良好 胎土密
50 第90図 図版43	P-2930、 3744	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 2.5Y3/1　黒褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 太い沈線で区画を描き、中を太いLの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、赤色粒子、黒色粒子、を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
51 第90図 図版43	P-3887、 3958、4692	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 太い沈線で区画を描き、中をLの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、3㎜以下の赤色岩片、5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
52 第90図 図版43	P3148	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を施文し、沈線で区画を描く。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、輝石、金雲母を含む。	焼成良好 胎土密
53 第90図 図版43	P-4535	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 2.5Y5/2　暗灰黄 2.5Y5/2　暗灰黄	(1) 沈線で文様を描き、Lカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、白色粒子、白色岩片を含む。輝石を多く含む。	焼成良好 胎土密
54 第90図 図版43	P-4019	3-3区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 沈線で文様を描く。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、輝石、金雲母、赤色粒子、径2㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
55 第90図 図版43	P-4050	3-3区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR8/4　浅黄橙	(1) Lの縄文を縦方向に帯状に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、3㎜以下の白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
56 第90図 図版43	P-2770	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部に近い破片 7.5YR3/3　暗褐 10YR5/2　灰黄褐	(1) 沈線を横方向に引く。文様は不明。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、輝石、金雲母、1.5㎜以下の白色岩片を含む。 口縁部がやや外反する。補修孔あり。外側から内側へ穿孔する。	焼成良好 胎土密
57 第91図 図版44	P-3247、3248、3552、4417	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁～胴部破片 7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。RLカの縄文を渦巻文様状に施文し、太く浅い沈線で縁取る。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、3.5㎜以下の赤色岩片、1㎜以下の白色粒子、5㎜以下の小礫を含む。 口径（36.0cm）　器高（21.9cm）	焼成良好 胎土密
58 第91図 図版44	P-3533	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。RLカの縄文を施文する。 (2) 長石を多く含む。石英、輝石、金雲母、白色粒子、黒色粒子、赤色岩片、径4㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
59 第91図 図版44	P -2827-3897、3652	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 10YR5/3 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。下部には磨滅して不明瞭だがLRカの縄文を施文し、沈線でU字状の区画を描く。 (2) 石英、輝石、白色粒子、2㎜以下の白色岩片を含む。 61と同一個体の可能性	焼成良好 胎土密
60 第91図 図版44	P-4691	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	無頸壺カ	口縁部に近い破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。下部には沈線で区画を描く。文様は不明。 (2) 長石、石英、白色粒子、赤色粒子、2㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
61 第91図 図版44	P-2427-3160-3972-2824-3863-2842-3528-3159-3531	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 キャリパー形	口縁～胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR4/3 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。下部には磨滅して不明瞭だがLRカの縄文を施文し、沈線で対向U字の区画を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、3㎜以下の赤色岩片、4.5㎜以下の小礫を含む。 口径（28.2cm）　器高（23.3cm） 同一個体カ：、3493、4198	焼成良好 胎土密
62 第91図 図版44	P -3615-40	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/6　黄褐	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。下部には沈線で区画を描く。文様は不明。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、3㎜以下の白色岩片、6㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
63 第91図 図版44	P-3195、4686	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR7/6　橙	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。下部にはRLカの縄文を施文し、沈線で区画を描いて磨り消す。 (2) 長石、輝石、石英、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
64 第91図 図版45	P-49	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ やや小形	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁部の下に高い隆帯を貼付け、沈線でU字状の区画を描く。区画内をLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、輝石、白色岩片、3㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
65 第91図 図版45	P-209	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢カ	口縁部に近い破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 口縁部の下に高い隆帯を貼付け、沈線でU字状の区画を描く。区画内をLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、1㎜程度の小礫を含む。黒色粒子を少量含む。	焼成良好 胎土密
66 第91図 図版45	P -3707-4299	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 把手付き	口縁～胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁の下部に低い隆帯を貼付ける。下にLRの縄文を施文し、沈線でV字状の区画を描く。 (2) 長石、石英、輝石、3㎜以下の赤色岩片、5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
67 第91図 図版45	P-2861	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 キャリパー形カ 把手付き	口縁部破片 10YR4/1　褐灰 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って細い隆帯を貼付ける。太い沈線で渦巻状の文様を描き、中を細かいLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、赤色粒子、白色岩片、赤色岩片、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
68 第91図 図版45	P-3483	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 キャリパー形カ	口縁部 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。LRカの縄文を施文し、太い沈線で渦巻状カの文様を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、赤色岩片、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。輝石を少量含む。	焼成良好 胎土密
69 第91図 図版45	P -3529-3532	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 キャリパー形カ 把手付き	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。RLの縄文を施文し、沈線で対向U字の文様を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、白色岩片、3㎜以下の小礫を含む。 口径（21.0cm）　器高（9.8cm）	焼成良好 胎土密
70 第91図 図版45	P-4219	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。沈線でU字状の区画を描く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、1.5㎜程度の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
71 第91図 図版45	P-3681、 368-117	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 口縁に沿って細い隆帯を貼付ける。隆帯は波頂部で口唇部に上がる。沈線でU字状カの文様を描く。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、白色岩片、赤色岩片、径6㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
72 第92図 図版45	P-2312- 2691-2810- 3387、2297- 2652-2235- 3230-2648- 3589-3218- 3241-2647- 3222-4562- 2655-3691- 2530	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 キャリパー形 大形	口縁～胴部破片 5YR6/6　橙 5YR5/6　明赤褐	(1) 口縁に沿って細い隆帯を貼付ける。隆帯は数カ所で口唇部に上がると思われる。隆帯の下に沈線を引き、さらに沈線で対向J字とV字の文様を胴部に描き、LRの縄文で中を充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、3.5㎜以下の赤色岩片、2㎜以下の白色岩片を含む。 同一個体： P-2244、2904、3500、3742-4391、3926、4319、4418、4453 口径（45.8cm）　器高（26.4cm）	焼成良好 胎土密
73 第92図 図版46	P-3545	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 太い沈線でJ字状の文様を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、2.5㎜以下の赤色岩片、2㎜以下の小礫を含む。 種子痕あり	焼成良好 胎土密
74 第92図 図版46	P-3752 -216-3678- 189-185	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 5YR5/6　明赤褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、隆帯の下に沈線を引く。沈線で文様を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、2㎜以下の白色岩片、3.5㎜以下の小礫を含む。白色粒子を多く含む。 同一個体カ：118、183、2773、4791	焼成良好 胎土密
75 第92図 図版46	P -3289-4009、 2579、4218	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 把手付き	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、沈線で文様を描き、中をLRの縄文で充填する。把手の表面にもLRの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
76 第92図 図版46	P-159、 4792	4-1区 AN～ KU・ 表土	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR4/6　褐 5YR4/6　赤褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、沈線で文様を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、2㎜以下の白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
77 第92図 図版46	P-236	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、隆帯の下に沈線を引く。胴部はLRの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、5㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
78 第92図 図版46	P-2327-36 -4167-4083- 3065-3605	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁～胴部破片 10YR6/6　明黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、沈線でJ字状カの文様を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、2㎜以下の小礫を含む。 同一個体カ：112、196、2613、2644、3086、3978、4269、4706	焼成良好 胎土密
79 第92図 図版46	P-2680	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR4/6　褐	(1) 無文の口縁に沿ってやや高い隆帯を貼付ける。沈線で文様を描き、LRカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色岩片、径8㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
80 第92図 図版46	P -4714-3635 -3089、 3808-3720	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR6/3 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁に沿って太い隆帯を貼付け、下に太い沈線で文様を描く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
81 第92図 図版46	P-3564、 3883	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 2.5Y3/2　黒褐 10YR4/6　褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、下にLRカの縄文を施文する。 (2) 石英、黒色粒子、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
82～83 第92図 図版47	P -4162-3569、 186、191、 2302、3881、 3301-4654、	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E 4 式	無頸壷	口縁～胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文の口縁の下に2条の高い隆帯を貼付け、肩部を作る。下にRLの縄文を施文し、低い隆帯で縁取りをする。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、2.5㎜以下の赤色岩片、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
84 第92図 図版47	P-4476、 4010	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) RLの縄文を施文し、低い隆帯で縁取りをして磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、2.5㎜以下の赤色岩片、4㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
85 第92図 図版47	P-4166、 2921	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁の下にLRの縄文を施文し、口縁に沿って隆帯を貼付ける。胴部にも隆帯で文様を作り、隆帯間を磨り消す。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
86 第92図 図版47	P -4318-3473 -3736	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 胴部に下垂する隆帯と渦巻状の隆帯を貼り付け、中をLの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、黒色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
87 第92図 図版47	P -2961-4793	4-1区 AN・ 表土	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/6　明黄褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付ける。胴部にも隆帯で文様を付け、LRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、黒色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
88 第93図 図版48	P -3683-4488、 2587、753、 2310、 252-75、 2226	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 無文の口縁に沿って隆帯を貼付け、この隆帯から下垂させる隆帯を貼付ける。区画内をLRの縄文で充填し、隆帯の脇をなでて磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密

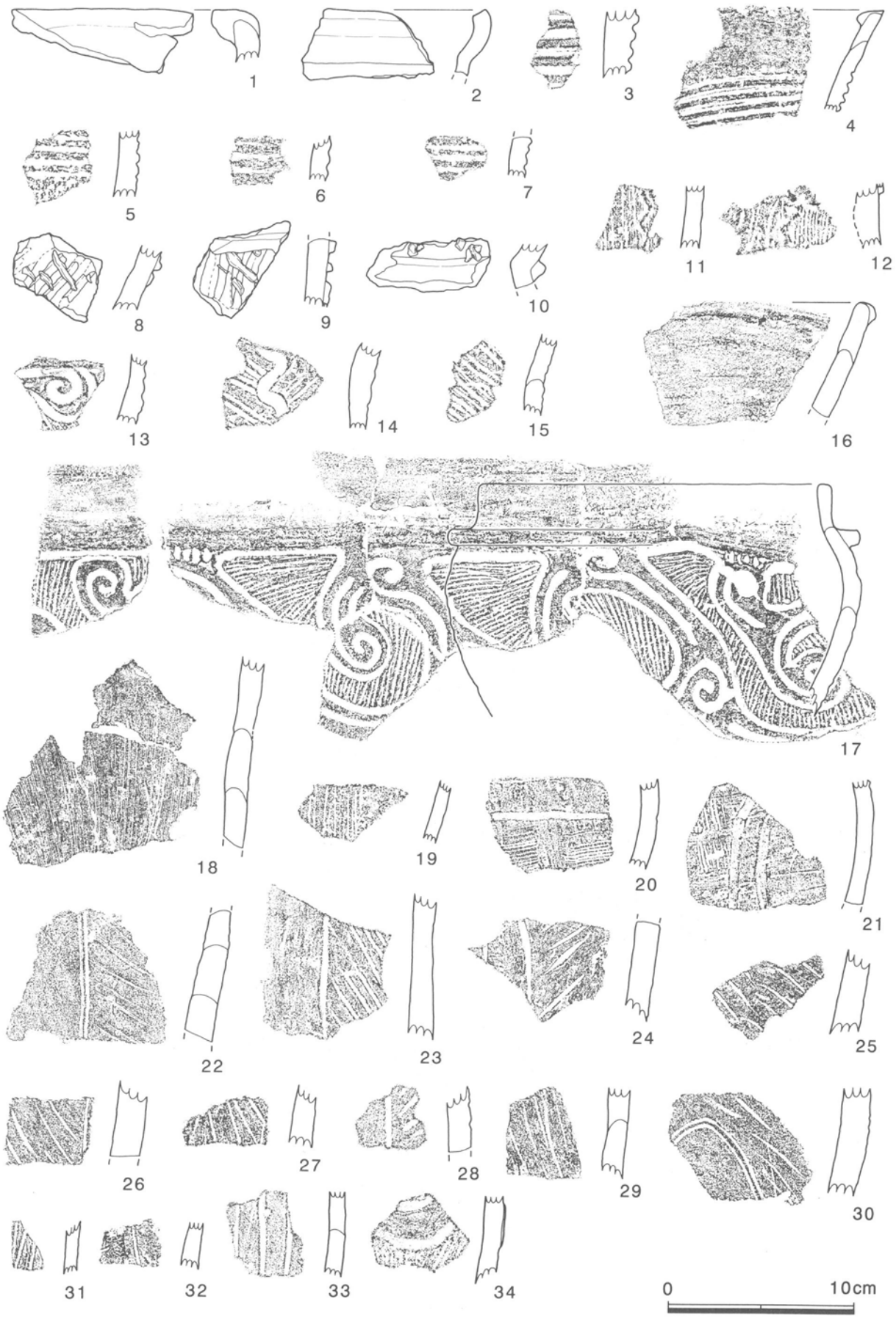
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
89 第93図 図版48 90	P-3600- 2771-4086- 3789	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部に近い破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 無文の口縁に沿って隆帯を貼付ける。下部にLRの縄文を施文し、隆帯をなでて隆帯状の縄文を磨り消す。 (2) 石英、輝石、金雲母、白色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
第93図 図版48	P-177- 2597-4210	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	胴部破片 5YR5/6　赤褐 7.5YR6/6　橙	(1) 下垂する隆帯で区画を作り、中をRLの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
91 第93図 図版48	P-4015	3-3区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文の口縁に沿って隆帯を貼付け、この隆帯からU字状に隆帯を貼付ける。中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
92 第93図 図版48	P-4372	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢	胴部破片 5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 下垂する隆帯で区画を作り、中をLRの縄文を帯状に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、1.5㎜程度の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
93 第93図 図版48	P-3327- 3573-3565	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	胴部破片 10YR4/2　灰黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 隆帯をU字状に貼付け、中にLRの縄文を帯状に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、約1㎜小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
94 第93図 図版49	P-3135、 4794	4-1区 AN・ 表土	中期末 加曽利E 4 式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に沿って隆帯を貼付け、波頂部に向かって上に上がる。波底部から隆帯を下垂させて区画を作り、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片、2.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
95 第93図 図版48	P-2915	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 胴部にLRの縄文を施文し、下垂する隆帯を貼付けて区画し、区画の外の縄文を磨り消す。隆帯の両側もなでて磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、3㎜以下の小礫を含む。白色粒子、2㎜以下の白色岩片を多く含む。 残部器高（16.9cm）	焼成良好 胎土やや粗
96～97 第93図 図版49	P-243-1、 P243-2- P2421	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢 弱い波状口縁	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 隆帯を口縁に沿い、波長部で上に上がるように貼付ける。この隆帯の下部に隆帯を貼付けて区画を作る。 (2) 長石、石英、輝石、5㎜以下の小礫、4㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
98～99 第93図 図版49	P 4038- 4041、4047、	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4 式カ	深鉢	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 胴部に隆帯を下垂させる。 (2) 石英、輝石、2.5㎜以下の白色岩片を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
100 第93図 図版49	P-3379	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁に沿って隆帯を貼付ける。この隆帯から胴部に向かって隆帯を貼付けて区画を作る。区画内はLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、赤色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
101 第93図 図版49	P-3935	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 10YR5/2　灰黄褐 10YR6/6　明黄褐	(1) 無文の口縁に沿って隆帯を貼付ける。この隆帯から胴部に向かって隆帯を下垂させ区画を作る。区画内はLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、2㎜以下の白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
102 第93図 図版49	P-2515、 3572-3568- 3561-3334	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 式	深鉢	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10TR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付ける。この隆帯から下垂する隆帯を貼付ける。。 (2) 長石、石英、輝石、8㎜以下の赤色岩片、6㎜以下の黒色岩片、7㎜以下の白色岩片を含む。 口径（33cm）	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
103 第93図 図版49	P-255	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下にLRの縄文を施文し、口縁部と胴部の境に太く低い隆帯を貼付ける。胴部の縄文を縦方向に磨り消す。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、赤色岩片、径6㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
104 第93図 図版49	P-895	4-3区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢	口縁部破片 10YR6/6 明黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、この隆帯から下垂させる隆帯を貼付ける。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、輝石、金雲母、赤色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
105 第93図 図版49	P-4672	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	口縁部破片 2.5Y7/4 浅黄 2.5Y7/4 浅黄	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付ける。 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子、約2㎜の白色小礫を含む。石英を少量含む。	焼成良好 胎土密
106 第93図 図版49	P -2274-3152	4-1区 KGP ～AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁～胴部破片 5YR4/6 赤褐 5YR4/6 赤褐	(1) 無文の口縁の下に細い隆帯を貼付ける。胴部にも細い隆帯を貼付け、隆帯の両側をなでる。 (2) 石英、白色粒子、赤色岩片、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
107 第93図 図版49	P -3198-3588	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 隆帯を下垂させて区画を作る。一部横に屈曲するように隆帯を貼付けている。区画内はLの縄文を帯状に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、3.5㎜以下の白色岩片、赤色岩片、4㎜以下の小礫を含む。白色粒子を多く含む。 曽利縄文系の可能性がある。	焼成良好 胎土密
108 第94図 図版50	P -3792-4149	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢カ	口縁部破片 10YR5/1 褐灰 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、石英、金雲母、黒色粒子を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
109 第94図 図版50	P-2494	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 7.5YR7/6 橙 7.5YR6/6 橙	(1) 無文の口縁部の下にRLカの縄文を施文し、口縁部と胴部の境に太く低い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、径2㎜以下の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
110 第94図 図版50	P-3505	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 7.5YR5/6 明褐 7.5YR6/6 橙	(1) 無文の口縁部の下に隆帯を貼付け、LRカの縄文を胴部に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、3㎜以下の赤色岩片、1.5㎜以下の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
111 第94図 図版50	P-2054	5-8区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢カ	口縁部に近い破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 無文の口縁部の下に高い隆帯を貼付け、LRカの縄文を胴部に帯状に施文する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、黒色粒子、径1㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
112 第94図 図版50	P-841	4-2区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下に細く高い隆帯を貼付ける。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、3㎜程度の赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
113 第94図 図版50	P-3784	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR7/6 橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける。 (2) 石英、輝石、金雲母、径2㎜程度の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
114 第94図 図版50	P-2919	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6 橙	(1) 無文の口縁部の下に低い隆帯を貼付ける、胴部にLRカの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
115 第94図 図版50	P-2639	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢 波状口縁	口縁部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐	(1) 無文の口縁部の下に細い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、赤色粒子を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土やや粗

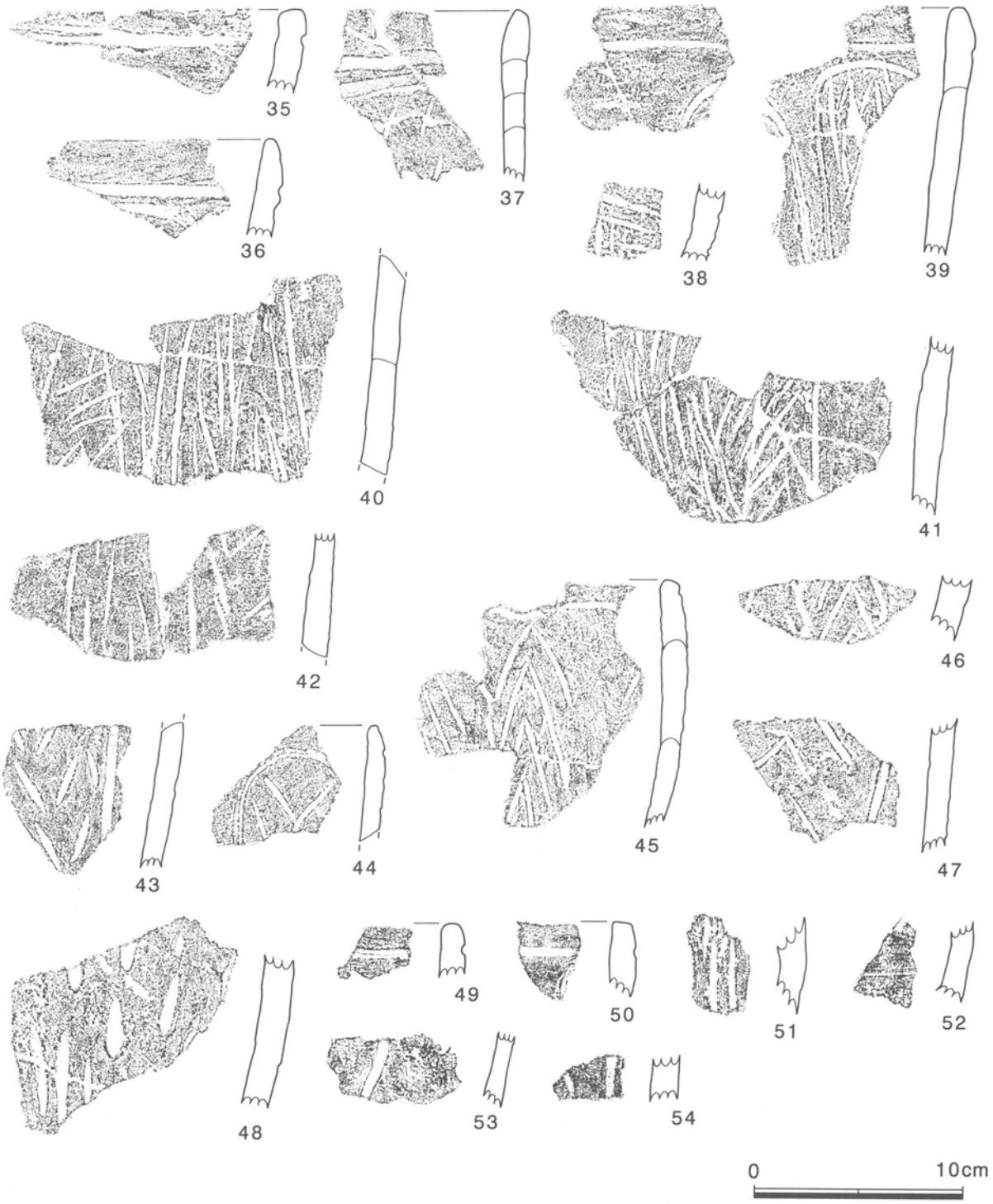
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
116 第94図 図版50	P-4360	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 5YR5/7　明赤褐 5YR6/8　橙	(1) 無文の口縁の下に低い隆帯を貼付け、LRカの縄文を胴部に施文する。 (2) 長石、石英、金雲母、1.5㎜の赤色岩片、3㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
117 第94図 図版50	P-3833	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 7.5YR4/3　褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文の口縁の下に太く低い隆帯を貼付け、胴部にRLカの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、1.5㎜以下の白色岩片を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
118 第94図 図版50	P-4295	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 2.5Y7/4　浅黄 7.5YR7/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁の下に低い隆帯を貼付け、LRカの縄文を胴部に施文する。 (2) 長石、石英、輝石を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
119 第94図 図版50	P-2860	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文の口縁の下に太く低い隆帯を貼付け、胴部にLRカの縄文を施文する。 (2) 白色粒子、白色岩片、赤色岩片を含む。輝石を多く含む。	焼成良好 胎土密
120 第94図 図版50	P-4141	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR7/6　橙	(1) 無文の口縁の下に太く低い隆帯を貼付け、胴部にLRカの縄文を施文する。 (2) 輝石、石英、白色粒子、白色岩片を含む。 表面の磨滅が著しい。	焼成良好 胎土密
121 第94図 図版50	P-2411	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢 波状口縁 把手付きカ	口縁部破片 5YR4/6　赤褐 5YR4/6　赤褐	(1) 無文の口縁の下に細い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、黒色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
122 第94図 図版50	P-3753	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁の下にLRの縄文を施文し、境に細い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
123 第94図 図版50	P-727-8	4-2区 AN	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/2　灰黄褐	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付け、胴部にLRの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、白色粒子、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
124 第94図 図版50	P-3485	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4式カ	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 7.5YR8/6 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁の下に隆帯を貼付ける。 (2) 石英、白色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
125 第94図 図版50	P-3242、 3350、3871	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E 4式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 5YR4/3 にぶい赤褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁の下に細い隆帯を貼付け、胴部にLRの縄文を施文する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
126 第94図 図版50	P3120	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4式	深鉢カ やや小形	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文の口縁の下に細く高い隆帯を貼付ける。 (2) 長石、石英、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
127 第94図 図版51	P-4716- 2947-2497- 2871、2491、 2376-3915、 3101-3906- 2403-4795、	4-1区 AN～ KU・ 表土	中期末 加曽利E 4式	深鉢 キャリパー形カ	口縁～胴部 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部の下部に粘土紐を貼付け、胴部との間に段差を付ける。胴部には半截竹管による2条の沈線により対向U字状の文様を描く。 (2) 白色粒子、赤色粒子を多く含む。長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、赤色岩片を含む。 同一個体：2516、3435、2746、3913、2987、2478、101、3559、4473、61、67、4585、4584、95、865-840、2339、2382、861、4558-3397-4506、3347、58、3155、3118-3102-4797、2562、4604、3088、2475、4578、2308、2222、2788、3920、4251、151、797、322、2879、3911、4545、3625、4239、2223、2369、4798、4799、4800、4801、3375	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
128～138 第94図 図版51	P-4454、2393-2410、3459、4802、3620、4551-2389-3095-3342、3698、2848、2878、2847、3520、	4-1区 KGP ～KU 表土	中期末 加曽利E4式	深鉢	胴部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 ～6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 半截竹管による2条の沈線で対向U字カを書く。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、金雲母、白色岩片、赤色岩片、輝石、小礫を含む。 同一個体：P-3668、2840	焼成良好 胎土密
139 第95図 図版52	P-2873	4-1区	中期末 加曽利E4 並行	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 口縁からLRの縄文を全面に施文。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
140 第95図 図版52	P-4165	4-1区 KU	中期末 加曽利E4 並行	深鉢カ	口縁部破片 2.5Y6/4 にぶい黄 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 口縁からRLの縄文を全面に施文。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
141 第95図 図版52	P-3687-3252-3259-3055-3263-4246-3597-2558-2612-3757-2645-3056-2332-4183-3476-3256-2605	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4 並行	深鉢	口縁～胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	(1) 無文。口縁部は横方向、胴部は縦方向の器面調整が残る。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、3㎜以下の小礫、2㎜以下の白色岩片を含む。 同一個体： 2354、2553、2727、2833、3026、3349、3613、3647、3734-4106-4307、4284、4310、4343、4700、4728、4736	焼成良好 胎土密
142 第95図 図版52	P -4410-2524、4107-2527	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4 並行	深鉢 把手付き	口縁～胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 無文。把手の剝がれた痕跡が残る。胴部は磨いたような器面調整。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子、2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
143 第95図 図版52	P -2793-2795 -3759-4121	4-1区 KU	中期末 加曽利E4 並行	深鉢 波状口縁	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 無文。横方向の器面調整痕が残る。 (2) 石英、金雲母、輝石、4㎜以下の赤色岩片を含む。長石、白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
144 第95図 図版52	P -2935-3997	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4 並行	深鉢 波状口縁 やや小形	口縁部破片 7.5YR4/6　褐 7.5YR7/6　橙	(1) 無文。縦方向に擦痕が残る。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、金雲母、約1㎜の小礫、約3㎜の岩片を含む。 内面コゲ付着	焼成良好 胎土やや粗
145 第95図 図版53	P-2999	4-1区 KU	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR4/4　褐 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文で幅のある口縁部。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、輝石、黒色粒子、1.5㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
146 第95図 図版53	P-3069	4-1区 AN	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 無文で幅のある口縁部。横方向の器面調整痕が残る。 (2) 輝石、白色粒子、約2㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
147 第95図 図版53	P -1154-1155	4-1区 AN	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ	口縁部破片 2.5YR7/4　浅黄 2.5Y3/1　黒褐	(1) 無文で幅のある口縁部。胴部の文様帯との間に段がつくように口縁が下に向かって厚くなる。127の口縁に形状が似る。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
148 第95図 図版53	P-3231	4-1区 KU	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR4/2　灰黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 無文で幅のある口縁部。縦方向の器面調整痕が残る。口縁はやや外反する。 (2) 石英、輝石、白色粒子、3㎜程度の岩片を含む。	焼成良好 胎土密
149 第95図 図版53	P-2689	4-1区 AN	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁部。口唇部外側に粘土紐を貼付け、外側をやや厚くする。太く浅い沈線で区画を描く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、約2㎜の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
150 第95図 図版53	P-3754	4-1区 KU	中期末 加曽利E4 カ	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 波頂部の外側に細い粘土紐を貼付ける。口縁に沿って細い棒で刺突をする。また、下に向かって下垂する刺突の列もある。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色粒子、4㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
151 第95図 図版53	P -4650-4641	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢カ 波状口縁カ	口縁部に近い破片 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 欠損により不明瞭だが、口縁に沿って棒で刺突し、この下に隆帯を2条貼付け、隆帯間を棒で円を書くように刺突をする。下の隆帯の下部も棒で刺突をする。 (2) 長石、石英、輝石、黒色粒子、2.5㎜以下の白色岩片、小礫を含む。	焼成良好 胎土密
152 第95図 図版53	P-2072	5-8区 AN	中期 不明	不明 波状口縁カ	口縁部破片 5YR4/3 にぶい赤褐 5YR4/3 にぶい赤褐	(1) 口縁に沿って3条の平行する沈線を引く。 (2) 石英、長石、輝石、白色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
153 第95図 図版53	P -59-3599	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢	胴部破片 10YR4/1　褐灰 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 高い隆帯を下垂させ、Lの縄文を施文する。隆帯の両側をなでて磨り消すが、隆帯状に縄文が残存している。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
154 第95図 図版53	P-2653	4-1区 AN	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢の把手カ 把手	把手破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR8/6 浅黄橙	(1) 無文。中央が窪むように整形している。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
155 第95図 図版53	P-835	4-2区 AN	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢の把手カ 把手	把手破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文。中央が窪むように整形している。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、1.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
156 第95図 図版53	P-3228	4-1区 KU	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢の把手カ 把手	把手破片 7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙	(1) LRの縄文を施文する。 (2) 白色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
157 第95図 図版53	P-2115	5-8区 AN	中期末 加曽利E 4 カ	深鉢の把手カ 把手	把手破片 7.5YR6/6　橙	(1) 無文。やや細い把手。 (2) 白色粒子を多く含む。長石、石英、金雲母、1～2㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
158 第95図 図版53	P-4337	4-1区 KU	中期 不明	深鉢の把手カ 把手カ	把手破片カ 7.5YR6/6　橙	(1) 無文。朝顔形にやや先端に開く形状。中心部に孔があり、胴部との接合に棒状の物を中に入れていた可能性がある。 (2) 長石、石英、金雲母、3㎜以下の小礫を含む。白色粒子、赤色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土やや粗
159 第95図 図版53	P-4125	4-1区 KU	中期末 不明	深鉢	底部に近い破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文。横方向の器面調整痕が残る。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、約3～5㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
160 第95図 図版53	P-4214	4-1区 KU	中期末 不明	深鉢	底部に近い破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文。縦方向の器面調整痕が残る。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、4㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
161 第95図 図版53	P-3288	4-1区 KU	中期末 不明	深鉢	底部に近い破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR4/2 灰黄褐	(1) 無文。縦方向の器面調整痕が残る。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子、約3㎜の岩片を含む。	焼成良好 胎土密
162 第95図 図版53	P-2048	5-8区 KGP	中期末 不明	深鉢	底部に近い破片 7.5YR6/6　橙 10YR7/3 にぶい黄橙	(1) 無文。横方向の器面調整痕が残る。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、約1～2㎜の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
163 第95図 図版53	P-2757	4-1区 AN	中期末 不明	不明 小形カ　台付	台付きの底部 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 無文。台部には縦方向の調整痕が残る。 (2) 長石、石英、輝石を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密



第96図　縄文時代中期後葉の土器 8 （曽利）



第97図　縄文時代中期後葉の土器９（曽利）

第７表　第３群土器観察表

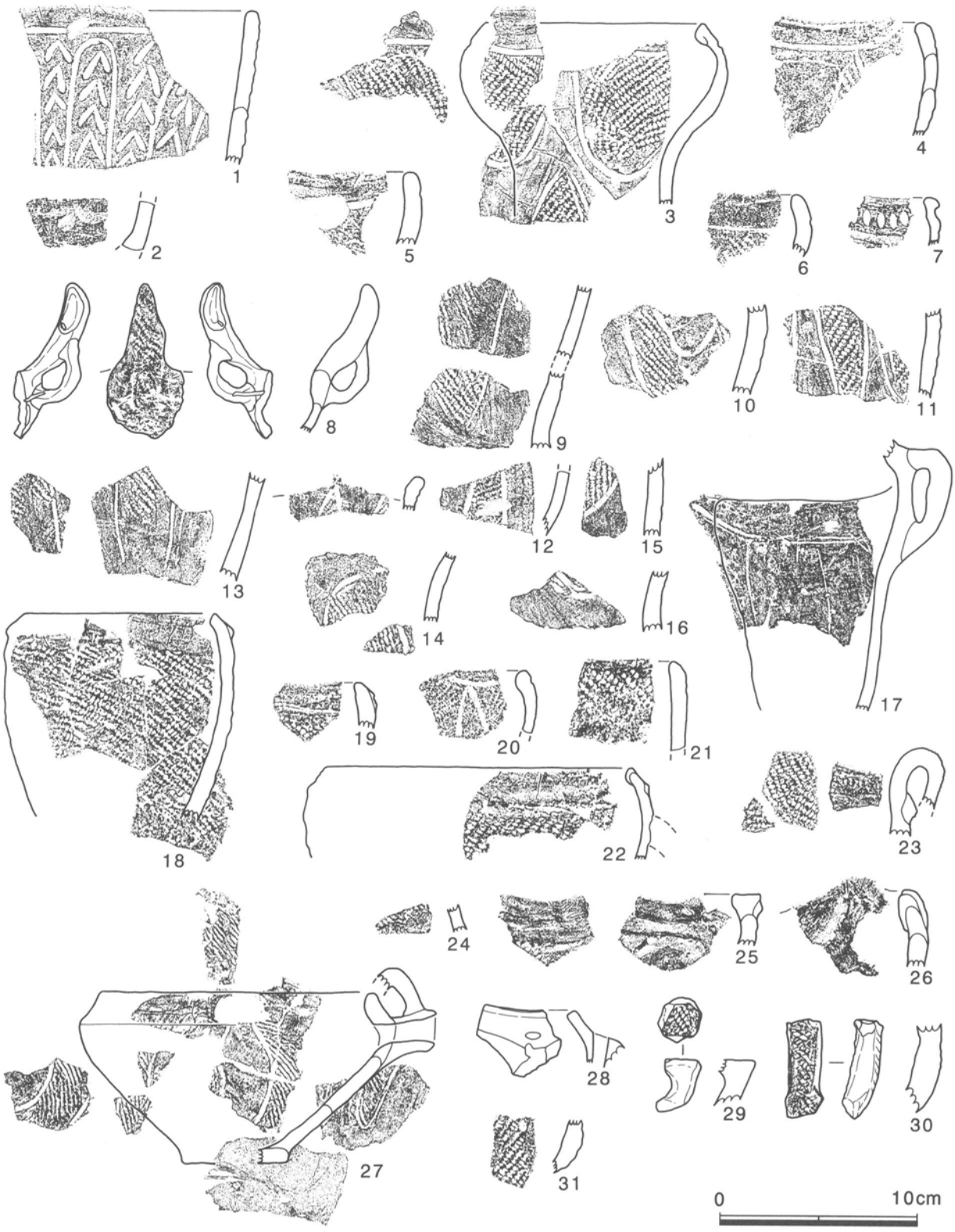
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
1 第96図 図版53	P-260	5-1区 AN	中期後半 曽利Ⅰ式カ	深鉢	口縁部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 厚手の無文の口縁。 (2) 石英、輝石、金雲母、長石を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
2 第96図 図版53	P-950	5-1区 AN	中期後半 曽利II式	深鉢カ	口縁～頸部 10YR4/2 灰黄褐 10YR4/3 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁。 (2) 石英、輝石、長石を多く含む。	焼成良好 胎土密
3 第96図 図版53	P 1355	5-1区 KU	中期後半 曽利II式	深鉢	頸部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6 橙	(1) 半截竹管で断面半円の隆帯に似た文様を横方向に施す。4条残存する。 (2) 長石、石英、輝石を含む。金雲母を多く含む。	焼成良好 胎土密
4 第96図 図版53	P-1205	5-1区 FB	中期後半 曽利II式	深鉢	口縁～頸部 5YR4/2 灰褐 7.5YR4/2 灰褐	(1) 口縁は無文。頸部に半截竹管で断面半円形の隆帯に似た文様を施す。4条残存する。 (2) 石英、長石、輝石を含む。金雲母を多く含む。	焼成良好 胎土密
5 第96図 図版53	P-1586	5-1区 FB	中期後半 曽利II式	深鉢	頸部～胴部 5YR5/6 明赤褐 7.5YR4/2 灰褐	(1) 頸部に半截竹管で断面半円形の隆帯に似た文様を施す。胴部は磨滅しているが、半截竹管による条線カ。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径3～4㎜程度の小礫を含む。	焼成 表面の風化あり 胎土やや粗
6 第96図 図版53	P-4784	5-1区 表土	中期後半 曽利II式カ	深鉢	頸部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 半截竹管によると考えられるやや太い沈線を横方向に施文。4条残存する。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成 表面の風化あり 胎土やや粗
7 第96図 図版53	P-4785	5-1区 表土	中期後半 曽利II式カ	深鉢	頸部破片 7.5YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい黄褐	(1) 半截竹管によると考えられるやや太い沈線を横方向に施文。4条残存する。 (2) 輝石、長石、石英、径1㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
8～10 第96図 図版53	P-1356、 4786、1208	5-1区 KU・ 表土	中期後半 曽利III式	深鉢 口縁部外反	口縁部文様帯破片 5YR4/4 にぶい赤褐 7.5YR5/6 明褐	(1) 口縁部に細い粘土紐を斜め方向に格子状に貼付ける。胴部との境に隆帯を貼付ける。 (2) 石英、輝石、長石、金雲母、白色岩片、赤色岩片、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
11 第96図 図版53	P-1589	5-1区 FB	中期後半 曽利III式	深鉢	胴部破片 7.5YR6/6 橙 10YR6/3 にぶい黄褐	(1) 細い半截竹管による縦方向の条線を地文とし、上から細い粘土紐を波状に下垂させる。 (2) 輝石、石英、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
12 第96図 図版53	P-2850	4-1区 AN	中期後半 曽利III式	深鉢	頸部～胴部 7.5YR6/6 橙 10YR6/6 明黄褐	(1) 頸部に細い粘土紐を横方向に波状に貼付ける。胴部は半截竹管による条線を地文とし、細い粘土紐を波状に下垂させる。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
13 第96図 図版53	P-796	4-2区 AN	中期後半 曽利III式	深鉢	頸部破片 7.5YR6/6 橙 7.5YR6/6 橙	(1) 頸部にやや太い沈線で渦巻文様を描く。胴部は半截竹管による縦方向の条線を描く。 (2) 石英、長石、白色粒子、径1～2㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
14 第96図 図版53	P-3175	4-1区 AN	中期後半 曽利III式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/6 明褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 半截竹管で綾杉状に条線を描き、太い沈線を波状に下垂させる。 (2) 石英、長石、1～2㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
15 第96図 図版53	P-238、242	4-1区 AN	中期後半 曽利III式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 半截竹管で斜め方向の条線を引く。 (2) 石英、輝石、長石を含む。	焼成良好 胎土密

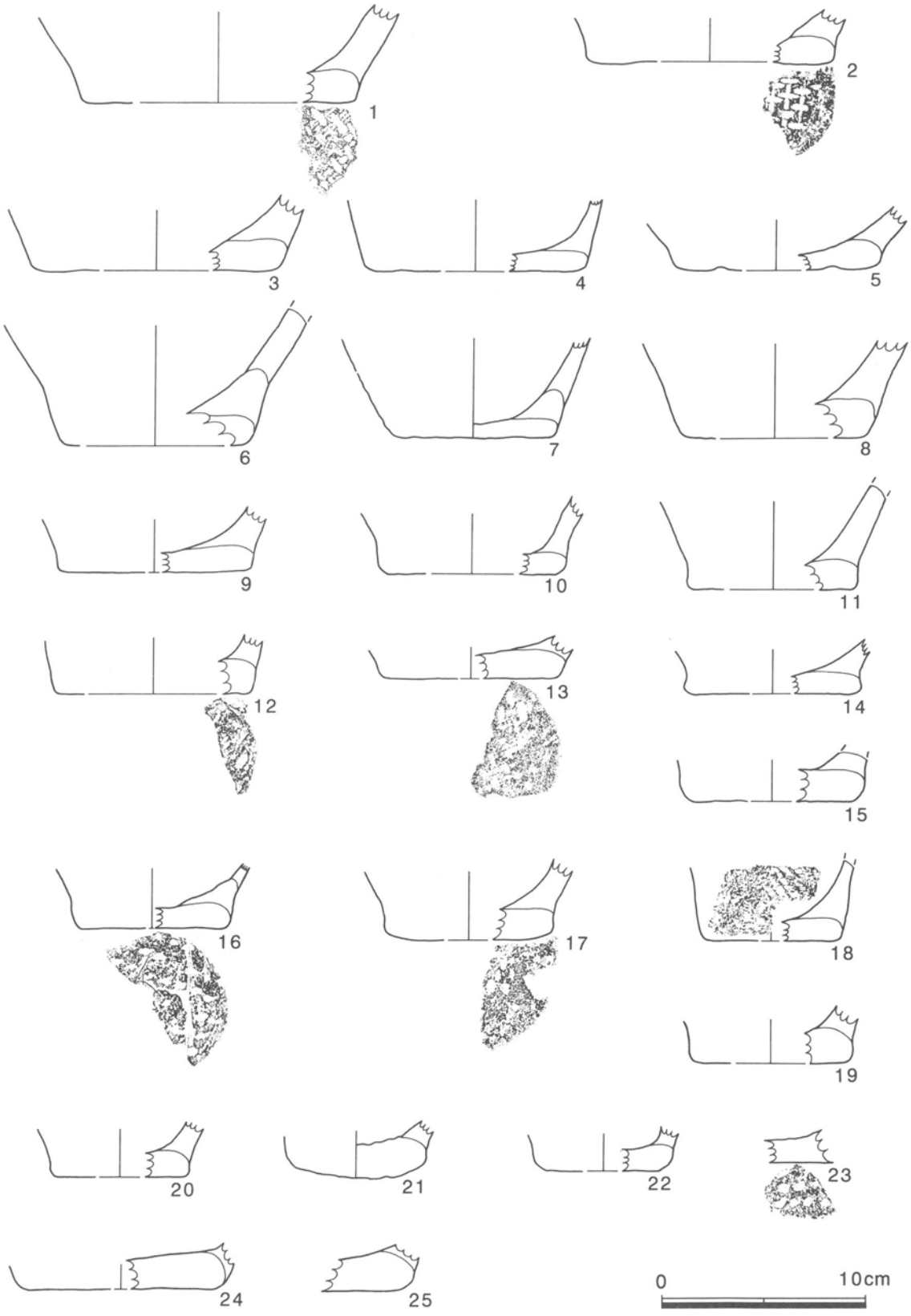
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
16 第96図 図版53	P-2077	5-8区 AN	中期後半 曽利III式カ	不明	口縁部 10YR5/2　灰黄褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁。口唇部の外側に粘土紐を貼付けて厚くする。 (2) 輝石、石英、白色岩片、長石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
17 第96図 図版54	P-271、 272、273、 317、323	5-1区 AN	中期後半 曽利III式	深鉢カ 鍔付	口縁～胴部 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文で直立する口縁の下に低い鍔が付く。鍔から下は粘土紐を貼付けた隆帯と太い沈線で渦巻状の文様を描く。間の区画を細い半裁竹管による条線で充填し、隆帯との境に太い沈線を引く。 (2) 石英、白色粒子、赤色粒子、金雲母を含む。 同一個体：322、267、268、270	焼成良好 胎土密
18 第96図 図版54	P-91、3389、 4380	4-1区 AN～ KU	中期後半 曽利III式	深鉢	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 細い半截竹管による縦方向の条線を施文。 (2) 石英、長石、白色粒子、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
19 第96図 図版54	P-2075	5-8区 AN	中期後半 曽利III式	深鉢	胴部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 半截竹管による縦方向の条線を施文。 (2) 石英、長石を含む。	焼成良好 胎土密
20 第96図 図版54	P-746	4-2区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 10YR6/6　明黄褐 10YR8/3　浅黄橙	(1) 太く浅い沈線で区画し、区画内に細い半截竹管による縦方向の条線を帯状に施文する。 (2) 長石、黒色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
21 第96図 図版54	P1781	4-5区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	(1) 太く浅い沈線で渦巻状の文様を描き、広い区画に細い半截竹管による条線を帯状に施文。 (2) 長石、輝石、石英を多く含む。金雲母を含む。	焼成良好 胎土やや粗
22 第96図 図版54	P-3421	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 半截竹管で区画を描き、区画内を斜方向の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
23 第96図 図版54	P-2984	4-1区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 太く浅い沈線で区画を描き、区画内は深い斜方向の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
24 第96図 図版54	P-3129	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 太い沈線で区画を描き、区画内を斜方向の沈線で充填する。 (2) 石英、輝石、長石、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
25 第96図 図版54	P-3380	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 5YR6/6　橙	(1) 斜方向の沈線を雑多に引く。 (2) 金雲母、石英、長石、輝石、赤色岩片、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
26 第96図 図版54	P-4656	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 7.5YR4/2　灰褐 7.5YR4/4　褐	(1) 細い沈線で区画を描き、区画内は浅い沈線を斜方向に引く。 (2) 長石、金雲母、石英、輝石、赤色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
27 第96図 図版54	P-2468	4-1区 KGP	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR5/4 にぶい褐	(1) 沈線を縦方向に雑多に引く。 (2) 石英、長石、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
28 第96図 図版54	P-3357	4-1区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 太く浅い沈線で区画を描き、区画内は深い斜方向の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石を含む。	焼成良好 胎土粗

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
29 第96図 図版54	P-2695	4-1区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 浅い沈線を縦方向に雑多に引く。 (2) 輝石を多く含む。石英、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
30 第96図 図版54	P-3482	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 半截竹管で区画を描き、区画内を斜方向の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、赤色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
31 第96図 図版54	P-3011	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 浅い沈線を縦方向に雑多に引く。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
32 第96図 図版54	P-3262	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	不明	胴部破片 7.5YR6/6　橙 2.5Y5/3　黄褐	(1) 沈線を縦方向に引く。 (2) 輝石、石英、長石、金雲母、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
33 第96図 図版54	P-2019	5-8区 KGP	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR6/6　明黄褐	(1) 浅い沈線を縦方向に引く。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
34 第96図 図版54	P-4042	3-3区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 太く低い粘土紐を貼付けて渦巻状の文様を描き、他は半截竹管による条線で充填する。粘土紐の周囲は太く浅い沈線で縁取る。 (2) 石英、金雲母、長石、赤色粒子、2.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
35 第97図 図版55	P-3653、 4598、4229	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	口縁部破片 5YR4/6　赤褐 7.5YR4/6　褐	(1) 口縁に平行に沈線を引く。 (2) 長石、石英、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
36 第97図 図版55	P-729	4-2区 AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢カ	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に平行に太い沈線を引く。その下に逆U字状の区画を描く。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、白色岩片、赤色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
37 第97図 図版55	P-4749	4-1区 KU	中期末 曽利IV～V式	深鉢	口縁部破片 2.5Y4/2　暗灰黄 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に平行に太く浅い沈線を引く。その下に逆U字状の区画を描き、中を短い斜線で充填する。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、小礫を含む。	焼成良好 胎土粗
38 第97図 図版55	P-780	4-2区 AN	中期末 曽利V式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で綾杉状の文様を描く。 (2) 白色粒子、2㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
39 第97図 図版55	P-43、783、 3364、247、 3585	4-1区 AN	中期末 曽利V式	深鉢	口縁～胴部 5YR4/6　赤褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 口縁に平行に太い沈線を引く。その下に逆U字状の区画を描き、中を縦方向、斜方向の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、白色粒子、白色岩片、径4㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土やや粗
40 第97図 図版55	P-93、3721、 4688	4-1区 KU～ AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 7.5YR4/6　褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 太い沈線で区画した中を縦方向・斜方向の沈線を雑多に引いて充填する。 (2) 長石、石英、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
41 第97図 図版55	P-2631、 3229、3560、 3590、4482	4-1区 KU～ AN	中期末 曽利IV～V式	深鉢	胴部破片 5YR4/6　赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 沈線で逆U字状に区画した中を沈線を綾杉状に引いて充填する。 (2) 長石、石英、白色粒子、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
42 第97図 図版55	P-2261、 3238	4-1区 KU・ KGP	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で区画した中を縦方向の沈線とハの字状の沈線で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、金雲母、輝石、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土粗
43 第97図 図版55	P 2199	4-1区 KGP	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で区画を描き、区画内にハの字状の文様を描く。 (2) 石英、長石、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
44 第97図 図版55	P-727-5	4-2区 AN	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢 やや小形	口縁～胴部 2.5YR6/3 にぶい黄 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で逆U字形の区画を描き、区画の中に沈線でV字を書く。 (2) 石英、輝石、白色粒子、赤色岩片を含む。	焼成良好 胎土やや粗
45 第97図 図版55	P-4043、 4045、4046	3-3区 AN	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢	口縁～胴部 5YR4/6　赤褐 5YR4/6　赤褐	(1) 口縁に平行に沈線を引く。沈線で綾杉状の文様を描く。区画はなし。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片、赤色岩片、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
46 第97図 図版55	P 2039、 2044	5-8区 AN	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢カ	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で綾杉状の文様を描く。区画はなし。 (2) 石英、輝石、長石、1㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土粗
47 第97図 図版55	P 3697、 4202	4-1区 KU	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で区画を描き、区画内に大小のハの字状の文様を縦方向に揃えて描く。 (2) 石英、長石、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
48 第97図 図版55	P-4634、 3279	4-1区 KU	中期末 曽利Ⅴ式	深鉢	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 断面円形の棒で列点状の文様を描く。 (2) 輝石、石英、2㎜以下の小礫を含む。白色粒子を少量含む。	焼成良好 胎土密
49 第97図 図版55	P2728	4-1区 AN	中期 曽利Ⅴ式カ	深鉢カ	口縁部破片 2.5YR4/1　黄灰 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に平行する沈線を引く。下に沈線の痕跡があり、文様を描いていたと考えられる。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土やや粗
50 第97図 図版55	P-4555	4-1区 AN	中期後半 曽利Ⅴ式カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に平行する太く浅い沈線を引く。 (2) 輝石を多く含む。石英、白色粒子、白色岩片、径4㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
51 第97図 図版55	P-1060	5-1区 AN	中期後半 曽利式カ	不明	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 横方向に沈線を引く。 (2) 輝石、石英、白色粒子、白色岩片、径2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
52 第97図 図版55	P-4442	4-1区 KU	中期後半 曽利式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 半截竹管で斜方向に条線を薄く施文。 (2) 長石、石英、金雲母少、径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
53 第97図 図版55	P-1793	4-5区 AN	中期後半 曽利式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 縦方向に太く浅い沈線を引く。 (2) 長石、輝石、石英、径4～5㎜程度の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
54 第97図 図版55	P-2632	4-1区 AN	中期後半 曽利Ⅴ式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/4 にぶい黄褐	(1) 縦方向に太く浅い沈線を引く。区画内に沈線でハの字カを描く (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密



第98図　縄文時代中期後葉の土器10（小形土器）



第99図　縄文時代中期後葉の土器11（底部破片）

第100図　縄文時代後期の土器

第21表　小形土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
1 第98図 図版56	P-3434	4-1区 KU	中期末 曽利Ⅴ式	小形深鉢 小形	口縁～胴部 2.5Y5/2　暗灰黄 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁の下に平行に沈線を引き、対向U字を胴部に描く。U字の中は逆V字で充填する。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石を含む。白色粒子を多く含む。 復原口径約8cm	焼成良好 胎土密
2 第98図 図版57	P-1779	4-5区 AN	不明 不明	小形深鉢カ 小形・平底	底部近くの胴部破片 7.5YR4/6　褐 7.5YR4/6　褐	(1) 無文。横方向の調整痕あり。 (2) 長石、石英、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
3 第98図 図版56	P-3844、4326、3113、2959、2951	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢 小形・キャリパー形	口縁～胴部破片 10YR4/1　褐灰 10R4/2　灰黄褐	(1) 口縁の下に平行に沈線を引き、地文にLRの縄文を施文。上からU字・下から逆V字の区画を描き、地文を磨り消す。 (2) 石英、輝石を含む。黒色粒子、白色粒子を少量含む。 復原口径約11.1cm	焼成良好 胎土密
4 第98図 図版57	P-3666、3828	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形・把手付きカ	口縁部破片 7.5YR4/2　灰褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁に平行する沈線を引く。胴部は下から細い逆V字を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 石英、輝石、金雲母を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
5 第98図 図版57	P-4073	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形・把手付きカ	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR3/2　黒褐	(1) 口縁に平行する沈線を引く。磨滅が著しいが、地文に単節縄文を施文する。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
6 第98図 図版57	P-2742	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形・把手付きカ	口縁部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に平行して2本の沈線を引き、沈線間は無文帯とする。この下に磨滅が著しいが、単節縄文を施文する。 (2) 輝石、石英、白色粒子、径2㎜以下の白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
7 第98図 図版57	P-246	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢カ 小形・把手付きカ	口縁部破片 7.5YT6/6　橙 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に平行に沈線を引き、口縁に下方から棒状の工具で刺突して楕円様の刺突文を付ける。 (2) 石英、長石、金雲母、輝石を含む。	焼成良好 胎土密
8 第98図 図版56	P-3882	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢カ 小形・把手付き	把手～口縁部破片 10YR4/2　灰黄褐 7.5YR7/6 にぶい橙	(1) 先端が蛇頭の把手を持つ。把手にはLRの縄文を施文。口縁に平行に沈線を引き、胴部は地文にLRの縄文を施文し、沈線で区画を描いているようである。 (2) 長石、約2～3㎜の小礫を含む。	焼成良好 胎土密
9 第98図 図版57	P-4236、2608	4-1区 AN～KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢 小形	胴部破片 10YR6/6　明黄褐 10YR5/2　灰黄褐	(1) 地文にLRの縄文を施文し、細いV字の区画を描いて磨り消す。 (2) 石英、白色粒子、黒色粒子を少量含む。 同一個体：4168、2811、4495、4092、4425、3253、3276、2315	焼成良好 胎土密
10 第98図 図版57	P-3604、3243	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢 小形	胴部破片 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR5/2　灰黄褐	(1) 幅広の浅い沈線でJ字状の区画を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 石英、白色粒子、赤色粒子を少量含む。	焼成良好 胎土密
11 第98図 図版57	P-4581、3406	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢 小形	底部に近い胴部破片 10YR4/2　灰黄褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 地文にRLの縄文を施文し、細いV字の区画を描いて磨り消す。 (2) 長石、石英、黒色粒子、白色粒子を含む。輝石を多く含む。 残存部胴部径7.0cm	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
12 第98図 図版57	P-4035、 4033	3-3区 AN	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形	底部に近い胴部破片 10Y5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 地文にLRの縄文を施文し、細いV字の区画を描いて磨り消す。 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子を含む。輝石を多く含む。	焼成良好 胎土密
13 第98図 図版57	P-4087、 3323	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形	底部に近い胴部破片 10YR6/6　明黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 細く浅い沈線で、縦長の細い区画を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 石英、輝石、白色粒子、黒色粒子を少量含む。 残存部胴部径10.9cm	焼成良好 胎土密
14 第98図 図版57	P-2749、 4457	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形・キャリパー形カ	胴部破片 2.5Y4/1　黄灰 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 沈線でU字状の区画を描き、中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、石英、岩片を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
15～16 第98図 図版57	P-4726、 3050	4-1区 AN・ FB	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) LRの縄文を施文し、沈線で区画して磨り消す。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
17 第98図 図版56	P-4278、 2988、3919、 3875、表採	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形・把手付き	口縁～胴部1/4残存 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁に平行する沈線を引く。胴部は細く浅い沈線を引いて縦長の区画を描くが、中は無文。 (2) 石英、白色粒子、径3㎜以下の白色小礫を含む。	焼成良好 胎土密
18 第98図 図版56	P-3962、 15、3619、 4361、4370、 257、3876	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢 小形	口縁部～胴部1/4残存 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR7/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁の下に、LRの縄文を施文。 (2) 石英、輝石、径3㎜の岩片を含む。	焼成良好 胎土密
19 第98図 図版57	P-3851	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形・把手付きカ	口縁部破片 10YR3/1　黒褐 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) 口縁に平行する沈線を引く。地文にLRの縄文を施文。 (2) 石英、長石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
20 第98図 図版57	P-4032	3-3区 KGP	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 口縁に平行する沈線を引く。地文にRLの縄文を施文し、V字の区画を描いて磨り消す。 (2) 石英、白色粒子、1.5㎜以下の小礫を含む。輝石を多く含む。	焼成良好 胎土密
21 第98図 図版57	P-3258	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式 カ	小形深鉢 小形	口縁部破片 7.5YR4/3　褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 口縁からRLの縄文を施文。 (2) 長石、石英、金雲母、白色粒子、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
22 第98図 図版57	P-3167	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文の口縁の下に、LRの縄文を施文。 (2) 長石、輝石、黒色粒子を含む。石英、白色粒子を少量含む。	焼成良好 胎土密
23 第98図 図版57	P-10、 4458、3879	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢 小形・把手付き	口縁部破片 10YR7/6　明黄褐 10YR7/6　明黄褐	(1) 把手にはLRの縄文を施文。無文の口縁部の下からLRの縄文を施文。 (2) 白色粒子を多く含む。	焼成良好
24～25 第98図 図版57	P-3221、 3132、2945	4-1区 AN～ KU	中期末 加曽利E4式	小形深鉢 小形・波状口縁	口縁部破片 2.5Y4/1　黄灰 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 細い隆帯により区画を作る。区画の中は不明瞭であるが、単節縄文で充填する。 (2) 長石、白色粒子多く含む。石英、輝石を少量含む。	焼成良好 胎土密
26 第98図 図版57	P-3333	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形・波状口縁	口縁部 2.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 細い隆帯で口縁部を区画する。胴部は無文。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、約2～3㎜の岩片を含む。	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
27 第98図 図版56	P-3284、3582、3634、3580、4621、4437、4651	4-1区 KGP ～KU	中期末 加曽利E4式カ	小形注口土器 小形・注口・把手付き	口縁部～底部1/8残存 7.5YR4/3　褐 7.5YR1/3　黒褐	(1) 把手にはRの無節縄文を施文。胴部にはV字を描き、中をRの縄文で充填する。 (2) 白色粒子、3㎜以下の白色岩片を含む。 復原径：口径（13.5cm） 器高（8.6cm）　底部径（5.3cm） 同一個体：2279、4101、3287	焼成良好 注口浅鉢
28 第98図 図版57	P-2366	4-1区 KGP	中期末カ 不明	不明 小形・波状口縁	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 波状口縁の波谷部の下に外に向かって張り出すような突起を付け、突起の付け根部分に上から断面円形の棒で刺突して孔を穿つ。 (2) 長石、石英、黒色粒子、約1㎜の小礫を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好 胎土密
29 第98図 図版57	P-2941	4-1区 AN	中期末 加曽利E4式	小形深鉢カ 小形	把手破片 5YR5/4 にぶい赤褐	(1) LRの縄文を平坦部に施文。 (2) 石英、輝石、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
30 第98図 図版57	P-3422	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢カ 小形	把手破片 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) LRの縄文を施文。 (2) 長石、石英、黒色粒子を含む。	焼成良好 胎土密
31 第98図 図版57	P-4334	4-1区 KU	中期末 加曽利E4式カ	小形深鉢カ 小形	把手破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) RLの縄文を施文。 (2) 白色粒子、輝石を含む。	焼成良好 胎土密

第22表　中期土器底部観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物 (3) 法量 (cm)	備考
1 第99図 図版58	P-2103	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 10YR6/6　明黄褐 10YR8/3　浅黄褐	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 長石、径1～2㎜の小礫を含む。 (3) 底径（13.6cm）　器高（4.8cm）	焼成良好 胎土やや粗
2 第99図 図版58	P-2024	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/5 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 径3㎜岩片、長石、石英、白色粒子を含む。 (3) 底径（12.2cm）　器高（2.6cm）	焼成良好 胎土やや粗
3 第99図 図版58	P-3650	4-1区 KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/5 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 無文。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、白色粒子、白色岩片 (3) 底径（11.4cm）　器高（3.0cm）	焼成良好 胎土密
4 第99図 図版58	P-748	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/5 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文。 (2) 長石、石英、白色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。 (3) 底径（11.0cm）　器高（3.8cm）	焼成良好 胎土密
5 第99図 図版58	P-4787	4-1区 表土	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 10YR7/4 にぶい黄橙 7.5YR6/6　橙	(1) 無文。底面に網代痕カ。 (2) 長石、黒色粒子、白色粒子を含む。 (3) 底径（10.1cm）　器高（3.2cm）	焼成良好 胎土密
6 第99図 図版58	P-3498	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/7 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文。 (2) 長石、石英、金雲母、輝石、径5㎜以下の小礫を含む。 (3) 底径（8.6cm）　器高（6.0cm）	焼成良好 胎土密
7 第99図 図版58	P-4028	3-3区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文。 (2) 2㎜以下の石英、1㎜以下の金雲母、輝石、長石、5㎜以下の赤色岩片、2㎜以下の白色岩片を含む。 (3) 底径7.8cm	焼成良好 胎土密
8 第99図 図版58	P-2337	4-1区 KGP	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/7 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5Y7/4 にぶい橙	(1) 無文。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、赤色粒子、白色粒子、径6㎜以下の小礫を含む。 (3) 底径（8.2cm）　器高（4.7cm）	焼成良好 胎土やや粗

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物 (3) 法量 (cm)	備考
9 第99図 図版58	P-2992	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 無文。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。 (3) 底径 (8.8cm) 器高 (2.7cm)	焼成良好 胎土密
10 第99図 図版58	P-2748	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 7.5YR4/6 褐 7.5YR5/6 明褐	(1) 無文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。 (3) 底径 (8.2cm) 器高 (3.0cm)	焼成良好 胎土密
11 第99図 図版58	P-727-6	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 灰白	(1) 無文。 (2) 石英、輝石、径1㎜の小礫を含む。 (3) 底径 (8.3cm) 器高 (5.1cm)	焼成良好 胎土密
12 第99図 図版58	P-4395	4-1区 KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/7 10YR6/3 にぶい黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、白色岩片、赤色岩片、黒雲母を含む。 (3) 底径 (9.4cm) 器高 (2.7cm)	焼成良好 胎土密
13 第99図 図版58	P-4744	4-1区 FB	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/3 10YR7/6 明黄褐 10YR7/2 にぶい黄橙	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 石英、輝石、長石、金雲母、白色岩片を含む。 (3) 底径 (8.2cm) 器高 (1.5cm)	焼成良好 胎土密
14 第99図 図版58	P-798	4-2区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/4 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR4/1 褐灰	(1) 無文。底面に網代痕カ。 (2) 金雲母、長石、石英、径3㎜の岩片、径1～2㎜の小礫を含む。 (3) 底径8.75cm 器高 (2.7cm)	焼成良好 胎土密
15 第99図 図版58	P -2618-3020	4-1区 AN～ KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/3 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文。 (2) 長石、輝石、石英、金雲母、白色粒子、白色岩片、径5㎜以下の小礫を含む。 (3) 底径 (7.8cm) 器高 (2.1cm)	焼成良好 胎土密
16 第99図 図版58	P -3629-3628	4-1区 KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/2 7.5YR7/6 橙 2.5Y4/1 黄灰	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 輝石、長石、石英、白色岩片、赤色岩片を含む。 (3) 底径 (7.0cm) 器高 (2.95cm)	焼成良好 胎土密
17 第99図 図版58	P-4376	4-1区 KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/5 7.5YR6/4 にぶい橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 長石、輝石、石英、白色岩片、径2㎜以下の小礫を含む。 (3) 底径 (7.6cm) 器高 (3.4cm)	焼成良好 胎土密
18 第99図 図版58	P-2960	4-1区 AN	中期 加曽利Eカ	深鉢カ 平底	底部1/6 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) Lの縄文を縦方向に細長く施文。底面に網代痕カ。 (2) 長石、石英、白色岩片、赤色岩片を含む。 (3) 底径 (6.2cm) 器高 (3.65cm)	焼成良好 胎土密
19 第99図 図版58	P-733	4-2区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/7 10YR7/4 にぶい橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 無文。底面に網代痕カ。 (2) 石英、長石、径約4㎜の岩片、径1～2㎜の小礫を含む。 (3) 底径 (8.0cm) 器高 (2.8cm)	焼成良好 胎土密
20 第99図 図版58	P-3295	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ やや小形で平底	底部1/6 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR7/6 橙	(1) 無文。 (2) 石英、白色粒子、黒色粒子を含む。 (3) 底径 (6.4cm) 器高 (2.40cm)	焼成良好 胎土密
21 第99図 図版58	P -3633-3767	4-1区 AN～ KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部 10YR5/2 灰黄褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 磨滅により不明瞭。無文カ。 (2) 石英、約1～2㎜の小礫。約2～3㎜の岩片を含む。 (3) 器高 (2.8cm)	焼成良好 胎土やや粗
22 第99図 図版58	P-3411	4-1区 KU	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/7 10YR6/3 にぶい黄橙 10YR4/1 褐灰	(1) 無文。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片、金雲母を含む。 (3) 底径 (5.5cm) 器高 (1.85cm)	焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物 (3) 法量 (cm)	備考
23 第99図 図版58	P-3539	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底面の破片 2.5Y6/2 灰黄 2.5Y6/2 灰黄	(1) 底面に網代痕。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好 胎土密
24 第99図 図版58	P-106	4-1区 AN	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/6 10YR7/4 にぶい黄橙 7.5YR7/6 橙	(1) 無文。底面に網代痕。 (2) 石英、白色粒子、約1～2㎜の小礫を含む。 (3) 底径 (9.0cm) 器高 (2.2cm)	焼成良好 胎土密
25 第99図 図版58	P-2029	4-1区 KGP	中期 不明	深鉢カ 平底	底部1/5 7.5YR6/6 橙 7.5YR7/6 橙	(1) 無文。底面に網代痕カ。 (2) 輝石、石英、約1～2㎜の小礫、約3～4㎜の岩片を含む。 (3) 底径実測不能 器高 (2.2cm)	焼成良好 胎土密

第23表　後期土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
1 第100図 図版60	P-1780	4-5区 AN 包含層	縄文後期 称名寺式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6 橙 5YR5/6 明赤褐	(1) LRまたは付加縄の細かい縄文を施文し、太い沈線を引いて磨り消す。 (2) 石英、輝石、径5㎜以下の小礫を含む	焼成良好。胎土密。
2～4 第100図 図版60	P-2529、2646、4402	4-1区 AN～KU 包含層	縄文後期 称名寺式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/6 明黄褐 5YR6/6 橙	(1) 太い沈線により文様を描き、細かいLRの縄文で中を充填する。 (2) 長石、石英、輝石、径1.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好。胎土密。
5 第100図 図版60	P -2155 2080	5-8区 KU 包含層	縄文後期 堀之内1式	深鉢	口縁に近い文様帯 7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/6 橙	(1) 沈線で文様を描き、中を細かいLRの縄文で充填する (2) 長石、輝石を含む。白色粒子を多く含む。	焼成良好。胎土密。 スス付着
6 第100図 図版60	P-2008	2-3区 FB 包含層	縄文後期 堀之内式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) LRカの縄文を施文。 (2) 長石、石英、径2㎜以下の小礫を含む。径4㎜を超える小礫も含む。	焼成良好。胎土密。薄手。
7 第100図 図版60	P-4462-22	4-1区 AN～KU 包含層	縄文後期カ	深鉢 平底	底部1/2 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙	(1) 不明 (2) 長石、白色粒子、赤色粒子を含む。石英を少量含む。	焼成良好。 上げ底状。底径約5cm。
8 第100図 図版60	P -3206-3000	4-1区 KU 包含層	縄文後期カ	深鉢 平底	底部1/3 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 不明。底面網代痕カ。 (2) 石英を少量含む。白色粒子、黒色粒子、白～灰色の小礫を含む。	焼成良好。 やや上げ底ぎみ。 底径約4.7cm
9 第100図 図版60	P-4053、4054-4056-4065、4058、4059、4052	3-3区 AN 包含層	縄文後期 堀之内式カ	深鉢、粗製土器	口縁部～胴部 7.5YR6/4 にぶい橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) RLにRの縄を撚り方向に付加したものを施文。口縁の内側を磨く。 (2) 石英、長石を少量含む。径3㎜以下の白色小礫を多く含む。 同一個体 4014、4051、4055、4057、4061、4063、4064、4066、4067、4070、4071	焼成良好。胎土やや粗い。

2　石器

ここでは4－1区、4－2区、5－8区、3－3区出土の石器を扱う。土器の出土を見ると、時期の異なる物も若干混ざっている可能性があるが、層位的な分離が難しいため、中期の遺物として扱う。

石器は4－1区を中心に多量の出土があった。ほとんどが黒曜石の剝片である。また、製品としては石鏃が最も多く、他の器種はやや少ない傾向にある。

(1)　石鏃

石鏃は破片を含めて83点、未製品17点が出土した。このうち残存状態の良いもの55点を第103図～第106図に図示する。ほとんどが4－1区からの出土で、わずかに4－2区、5－8区から出土したものがある。ほとんどが黒曜石製である。4－1区の中央部からは膨大な量の黒曜石の剝片が出土し、4－2区にも黒曜石の剝片の集中して出土する部分があり、付近で石鏃の製作を行なっていたことがわかる。形状は第24表に示す。長脚の石鏃（第24表B類）が多く、破片も長脚の折れたものがほとんどであった。やや脚の短い三角鏃（第24表C類）が次いで多い。B類・C類以外のものはわずかであった。

黒曜石は肉眼観察ではほとんどが諏訪産のものに似る。このうち10点を選んで蛍光X線分析を行なったが、いずれも諏訪星ケ台産という結果であった。

(2)　尖頭器

1点が出土した。第104図58に図示する。ホルンフェルス製で、3－3区より出土した。表面が劣化し加工が不明瞭であるが。剝片の打点に近い方を基部として両側面を打ち欠いて整形する。側面からの加工は向かって左側にあたる側を正面・裏面とも主に加工している。

(3)　両面加工石器

1点が出土した。第104図59に図示する。形状は尖頭器状に先端を尖らせる加工をしているが、厚みがある。

(4)　石匕

2点が出土した。第105図60・61に図示する。60は4－1区から出土し、ホルンフェルス製でやや上部が厚く、刃部以外は剝離が大きい。61は3－3区から出土し、チャート製で中央部が厚く、正面は全面にわたって緻密な加工を施す。

(5)　スクレーパー

1点が出土した。第105図62に図示する。小形で、黒曜石の剝片の片方の側片を加工する。

(6)　石斧

打製石斧6点、磨製石斧2点が出土した。第105図63～第106図に図示する。63はやや反っている。64、65は短冊状で、65はかなり薄い。66は撥形、67はホタテ貝形をしている。68は小形で、加工も弱く、製作中に割れた石斧の破片の可能性がある。69は刃部の折れた定角式磨製石斧、70は乳房状磨製石斧の刃部破片である。69には柄の装着痕と思われる痕跡が裏面に見られる。

(7)　浮子

軽石製のほぼ完形品の浮子が1点出土した。第107図71に図示する。表面を擦って断面がレンズ状になるように整形する。このほか、軽石の破片が2点出土しているが、残存状況が悪く、加工の有無は不明である。

(8)　石錘

3点が出土した。第107図72～74に図示する。72は大形で、円礫を割って作成している点等、他の石錘とは異なっている。一見、石斧のようにも見えるが、両側縁の加工がくびれ部以外はほとんどないため、石錘とした。73は円礫の両端を打ち欠いている。74は扁平な楕円形の礫を打ち欠いている。表面は滑らかで、擦っている可能性がある。

(9) 石棒

4－1区の南側のやや斜面上になっているところから1点出土した。大半は欠損している。第107図75に図示する。破片のため形状が不明瞭であるが、円柱状に石を加工している。表面を打ち欠いている部分と擦って滑らかにした面がある。

(10) 磨石・叩石・砥石・凹石

破片も含めて43点が出土した。このうち残存状況の良い29点を第108図～第111図に図示する。楕円形の形状が多いが、中には不整形の礫を使用している物もある。

(11) 石皿

12点が出土した。第112図～第113図116に図示する。大半を欠損しているものもある。形状に大中小の異なるサイズが見られる。また、表面が平坦またはわずかに凹むものと、大きく凹むものが存在する。105～107は大形の石皿である。113～114も大形の石皿片と推定される。108～111は中形の石皿である。115は小形で、大形の磨石である可能性があるが、平坦面がやや凹んでいることから、石皿とした。114は板状の石皿片と推定される。112は大きく中央が窪み、113は側縁部に加工が見られる。

(12) 礫器

3点が出土した。第113図117～119に図示する。117は小形で板状に割れた礫片を使用しているが、118、119はやや大きな亜円礫を加工している。118は4.8kgとかなりの重量がある。

(13) その他の石器

楔形石器2点、縦長剥片6点、使用痕剥片6点、再加工剥片18点が出土した。再加工剥片は石鏃的な加工が見られ、未製品の可能性がある。このほか、石斧の石材と同様の剥片が出土している。剥片の中には使用痕のあるものも見られる。

第24表　石鏃分類表

概形	分類	特徴	概形	分類	特徴
	A類	V字形		C-3類	三角鏃・脚先端が直線的
	B-1類	長脚		C-4類	三角鏃・縦長でやや長脚
	B-2類	長脚・脚がやや外に開く・先端鋭角		C-5類	三角鏃・縦長で緩いV字またはU字の基部加工
	B-3類	長脚・縦長・先端鋭角		D類	円基
	C-1類	三角鏃・U字の基部加工		E類	平基
	C-2類	三角鏃・緩いV字の基部加工		F類	有茎鏃

第25表　縄文時代中期石器一覧表

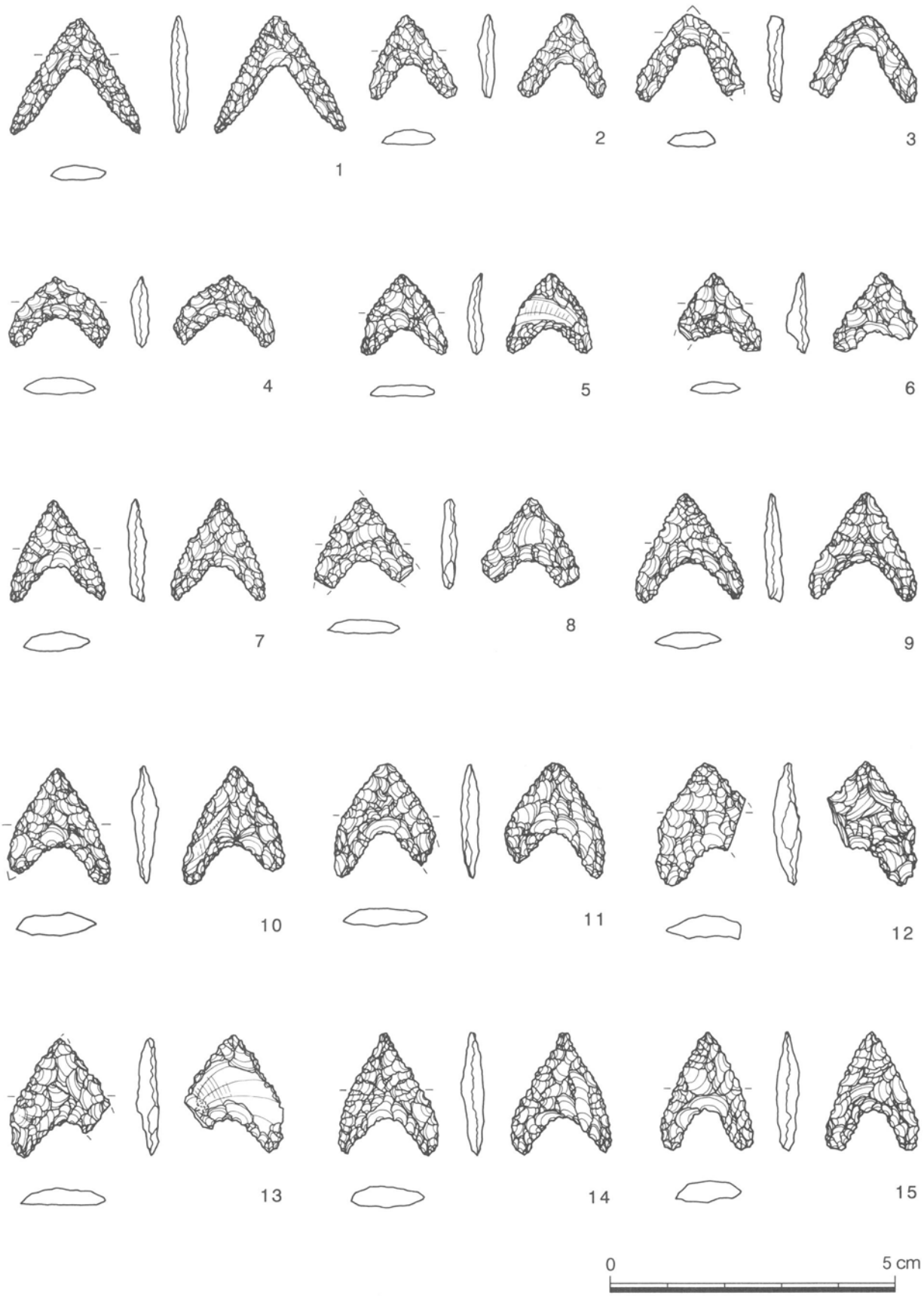
番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1	S-49	石　鏃	Ob	4-2区	KU	2.05	2.3	0.25	0.5	A　類　完形
2	S-2504	石　鏃	Ob	5-8区	KGP	1.5	1.55	0.27	0.4	A　類　完形
3	S-1500	石　鏃	Ob	4-2区	AN	1.55	(1.9)	0.25	0.4	A　類　片脚先端欠損
4	S-3300	石　鏃	Ob	4-1区	AN	1.25	1.8	0.26	0.4	A　類　完形
5	S-4608	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.45	1.55	0.22	0.3	B-1類　完形
6	S-6552	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.4	(1.5)	0.32	0.4	B-1類　片脚先端欠損
7	S-2507	石　鏃	Ob	5-8区	AN	1.8	1.65	0.31	0.5	B-1類　完形
8	S-2908	石　鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.6)	(1.75)	0.22	0.4	B-1類　脚先端欠損
9	S-4290	石　鏃	Ob	4-1区	AN	1.95	1.95	0.27	0.5	B-1類　完形
10	S-634	石　鏃	Ob	3-3区	AN	2.05	1.8	0.42	0.8	B-1類　完形
11	S-5895	石　鏃	Ob	3-3区	AN	2.05	(1.8)	0.28	0.7	B-1類　片脚先端欠損
12	S-7226	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.7	(1.06)	0.42	1.0	B-1類　片脚欠損
13	S-7016	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.6	(1.8)	0.32	0.7	B-1類　片脚先端欠損
14	S-7262	石　鏃	Ob	4-1区	FB	2.15	1.75	0.36	0.8	B-1類　完形
15	S-6830	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.1	1.7	0.35	0.8	B-1類　完形
16	S-3824-1	石　鏃	Ob	4-1区	AN	1.5	1.45	0.28	0.4	B-2類　完形
17	S-2647	石　鏃	Ob	4-1区	KGP	1.8	(1.4)	0.33	0.4	B-2類　片脚欠損
18	S-3992	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.05	1.9	0.23	0.6	B-2類　完形
19	S-4198	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.9)	2.0	0.27	0.8	B-2類　上端欠損
20	S-100	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.35	(1.6)	0.32	0.6	B-2類　片脚欠損
21	S-1383	石　鏃	Ob	4-2区	AN	(1.65)	1.95	0.31	0.7	B-2類　上端欠損
22	S-6885	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(2.15)	(1.7)	0.32	0.6	B-2類　片脚欠損
23	S-4094	石　鏃	Ag	4-1区	AN	2.55	(1.65)	0.45	1.0	B-2類　片脚欠損
24	S-4454	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.05	(1.45)	0.24	0.4	B-3類　完形
25	S-3667	石　鏃	Ob	4-1区	AN	1.45	(1.35)	0.33	0.7	B-3類　片脚欠損
26	S-2499	石　鏃	Ob	5-8区	AN	(2.4)	(1.4)	0.23	0.5	B-3類　片脚欠損
27	S-50	石　鏃	Ob	4-2区	AN	(1.55)	(1.3)	0.25	0.5	B-3類　胴半・片脚欠損
28	S-3583	石　鏃	Ob	4-1区	AN	1.85	(1.55)	0.35	0.7	B-3類　片脚欠損
29	S-2523	石　鏃	Ob	5-8区	FB	(2.1)	(1.65)	0.33	0.8	B-3類　両脚先端欠損
30	S-3022	石　鏃	Ob	4-1区	KGP	3.05	(1.5)	0.25	0.6	B-3類　片脚欠損
31	S-5129	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.9	1.4	0.29	0.5	C-1類　完形
32	S-5059	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.8)	1.5	0.39	0.8	C-1類　完形
33	S-3809	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.1	1.5	0.47	1.1	C-1類　完形
34	S-6241	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(2.35)	(1.7)	0.53	1.4	C-1類　両脚先端欠損
35	S-6746	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.65)	1.8	0.31	0.7	C-1類　上端欠損
36	S-7308	石　鏃	Ob	4-1区	攪乱	1.3	1.35	0.29	0.4	C-2類　完形
37	S-2519	石　鏃	Ob	5-8区	KU	1.35	1.4	0.34	0.5	C-2類　完形
38	S-5444	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.15	(1.35)	0.48	1.3	C-2類　片脚先端欠損
39	S-7309	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.45	1.3	0.32	0.4	C-3類　完形
40	S-6545	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.7	(1.55)	0.36	0.5	C-3類　片脚先端欠損
41	S-1877	石　鏃	Ob	4-2区	KU	2.3	(1.3)	0.38	0.7	C-3類　片脚欠損
42	S-2510	石　鏃	Ob	5-8区	AN	2.65	(1.5)	0.42	1.1	C-4類　片脚先端欠損
43	S-5896	石　鏃	Ob	3-3区	AN	(2.5)	(1.85)	0.37	1.2	C-4類　両脚先端欠損
44	S-2501	石　鏃	Ob	5-8区	AN	(2.45)	(1.65)	0.44	1.5	C-4類　上端・胴?片脚欠損
45	S-6325	石　鏃	RJa	4-1区	KU	2.35	1.9	0.51	1.5	C-5類　完形
46	S-2824	石　鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.9)	1.3	0.39	0.5	C-5類　上端先端欠損
47	S-7255	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.5	(1.85)	0.32	0.9	C-5類　片脚欠損
48	S-6458	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.6	1.8	0.53	1.6	C-5類　完形
49	S-7125	石　鏃	Hor	4-1区		(2.7)	(1.9)	0.4	1.7	C-5類　上端・片脚先端欠損
50	S-5971	石　鏃	Ob	4-1区	KU	1.8	(1.5)	0.30	0.5	C-5類　片脚先端欠損
51	S-631	石　鏃	Rhy	3-3区	AN	2.15	1.3	0.28	0.7	C-5類　完形
52	S-5264	石　鏃	GAn	4-1区	KU	1.3	0.9	0.25	0.3	C-5類　完形。非常に小形。
53	S-1815	石　鏃	Ob	4-2区	AN	2.8	1.25	0.44	1.4	D　類　基部先端欠損
54	S-3582	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.8	1.6	0.47	1.5	D　類　完形
55	S-5964	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.1	1.8	0.43	1.3	D　類　完形
56	S-6755	石　鏃	Ob	4-1区	KU	2.7	2.25	0.55	2.1	E　類　完形
57	S-7307	石　鏃	Ob	4-3区	表土	1.75	1.2	0.27	0.6	F　類　茎部・両脚先端欠損
58	S-6402	尖頭器	Hor	3-3区	FB	4.5	1.7	0.5	4.5	基部の一部欠損。表面劣化のため加工痕不明瞭。
59	S-3950	両面加工石器	Hor	4-1区	AN	4.4	3.05	1.4	16.3	完形。ポイント状に先端を尖らせる。
60	S-7078	石　匕	Hor	4-1区	KU	4.95	6.05	1.6	42.0	完形
61	S-632	石　匕	Ch(Gy)	3-3区	FB	4.15	5.1	1.2	22.7	完形
62	S-6221	スクレーパー	Ob	4-1区	KU	1.3	2.75	0.5	1.7	上部は摂理の割れカ。

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
63	S-5893	打製石斧	Sh	3-3区	AN	11.7	4.05	2.35	147.2	完形。やや反っている。
64	S-1645	打製石斧	Sh	4-2区	KU	9.6	4.0	1.85	83.7	完形。短冊状。
65	S-5261	打製石斧	Sh	4-1区	KU	(9.9)	4.7	0.85	44.4	下部を欠損。短冊状で薄い。
66	S-4434	打製石斧	Sh	4-1区	KU	10.4	6.2	2.5	137.8	完形。撥形。
67	S-5508	打製石斧	MSS	4-1区	KU	11.95	11.3	2.75	467.5	円礫の剝片利用。撥形の変形カ。
68	S-5886	打製石斧	SSI	3-3区	AN	7.95	3.85	1.1	30.6	未製品カ。または刃部の破片カ。
69	S-6234	磨製石斧	GT	4-1区	KU	(10.1)	4.3	1.95	159.6	刃部を欠損。定角式。
70	S-1648	磨製石斧	GS	4-2区	AN	(6.1)	(2.95)	(1.25)	24.2	刃部破片。乳房状カ
71	S-5251	浮　子	Pm	4-1区	KU	9.35	8.25	3.15	45.7	ほぼ完形。中央に径7㎜の穿孔。
72	S-4100	石　錘	MSS	4-1区	AN	11.6	8.6	2.6	292.4	円礫を割り整形した後、2カ所を打欠く。石斧の可能性もある。
73	S-38	石　錘	Sch	4-1区	AN	5.2	6.25	2.25	105.1	完形。円礫を2カ所打欠く。
74	S-7244	石　錘	FG	4-1区	AN	(5.3)	(3.1)	0.95	23.3	1/2欠損。板状の細い石を4カ所打欠く。
75	S-3569	石　棒	PAn	4-1区	AN	(10.15)	9.55	9.0	1300	断面円形の柱状。一部の表面は磨り、一部は表面を打欠く。受熱により赤化、一部にススが付着。
76	S-6414	磨　石	FSS	4-1区	KU	8.15	7.0	3.45	273.8	完形。裏面を磨る。
77	S-1411	磨　石・叩　石	VAn	4-2区	AN	9.3	5.15	3.45	224.6	完形。歎面を磨る。右側面に敲打痕。
78	S-3775	磨　石	FSS	4-1区	AN	7.3	5.1	2.8	154.9	完形。裏面を磨る。
79	S-5537	磨　石	FSS	4-1区	KU	6.2	5.55	2.9	151.9	完形。正面、裏面を磨る。
80	S-2543	磨　石	VAn	4-2区	KU	7.55	6.2	3.95	241.9	完形。裏面を磨る。
81	S-7245	磨　石	FSS	4-1区	KU	8.35	5.35	2.5	154.1	完形。裏面を磨る。
82	S-5885	磨　石	Ba	3-3区	KU	5.35	4.2	2.8	80.6	完形。裏面を磨る。下部がやや厚い。
83	S-7235	磨　石	VBa	4-1区	AN	4.0	4.55	1.55	31.3	完形。正面、裏面を磨る。下部がやや厚い。
84	S-5477	磨　石	PAn	4-1区	KU	4.7	3.9	3.9	74.6	完形。ほぼ全面を磨り、球形になっている。
85	S-7242	磨石・叩石	VAn	4-1区	KU	13.85	10.0	5.8	982.7	完形。裏面を磨る。受熱し全体が赤化。右側面は受熱後に敲打。
86	S-2540	磨　石	VBa	3-3区	KU	11.7	8.4	4.25	522.0	完形。正面を磨りやや凹む。右側面上部は敲打と磨りを行なっている。
87	S-7246	磨石・叩石	PAn	4-1区	AN	10.05	4.9	2.4	162.2	完形。正面、裏面を磨る。下端を敲打。
88	S-52	磨　石	PAn	4-3区	AN	(5.0)	6.15	3.65	145.3	1/5欠損。受熱により割れる。下面を磨る。
89	S-7223	磨　石	VBa	4-1区	KU	(6.75)	(4.05)	(5.55)	103.9	2/3以上欠損。裏面を磨る。
90	S-6219	磨　石	VBa	4-1区	KU	(8.55)	(3.3)	(5.5)	169.4	3/4以上欠損。正面、裏面を磨る。
91	S-7250	磨　石	VBa	4-1区	KU	(6.0)	(5.05)	(5.25)	180.9	3/4以上欠損。裏面を磨る。
92	S-3769	磨石・叩石	VBa	4-1区	AN	7.5	8.4	2.15	171.3	完形。正面を磨る。裏面は3カ所に敲打痕。
93	S-3957	磨石・叩石	Qt	4-1区	AN	8.45	5.95	3.75	272.6	完形。正面の一部を磨る。下端と右側面下部に敲打。裏面中央が凹む。
94	S-7239	磨　石	FSS	4-1区	AN	8.5	6.55	4.35	357.4	ほぼ完形。緻密な石質。裏面を磨る。左右側面と上面に1㎝大のわずかな凹みがある。
95	S-4412	磨　石	PAn	4-1区	KU	6.2	7.75	3.35	280.5	完形。正面、裏面、下面を磨る。
96	S-4069	磨　石・砥　石	MSS	4-1区	AN	(3.8)	3.75	1.75	33.1	1/2以上を欠損。正面、裏面を磨る。
97	S-3774	砥　石・磨　石	FSS	4-1区	AN	11.2	3.35	3.3	212.7	完形。正面、裏面を磨る。裏面がやや反る。
98	S-10	砥　石	PAn	4-1区	KGP	7.4	6.1	1.6	142.2	完形。正面、裏面を磨る。正面がやや凹む。
99	S-7243	凹石・叩石	VBa	4-1区	KU	8.3	8.35	7.0	326.3	完形。三角柱状の石の4面に径3㎝程度の凹みがある。下面は敲打。
100	S-4446	凹石・磨石・叩石	PAn	4-1区	KU	11.45	9.3	5.35	1000.3	完形。正面、裏面の中央が凹む。正面、裏面、両側面を磨る。上端、下端は敲打。
101	S-5891	凹石・磨石・叩石	PAn	3-3区	KU	9.25	9.05	5.5	551.8	完形。磨面はやや不明瞭。裏面と側面を磨る。正面と裏面中央が凹む。
102	S-5888	凹石・磨石・叩石	PAn	4-1区	AN	9.7	7.45	3.2	378.3	完形。周囲が敲打により欠ける。正面と裏面を磨る。正面、裏面の中央が凹む。
103	S-5890	凹石・磨石・叩石	Ba	3-3区	KU	8.35	6.6	3.9	294.8	完形。正面、裏面を磨る。裏面中央、正面中央と下部が凹む。
104	S-7251	凹石・磨石・叩石	PAn	3-3区	AN	8.65	7.65	3.2	280.8	完形。裏面中央が凹む。正面、裏面を磨る。右側面は磨りと敲打。上面を敲打。下端にも敲打痕。
105	S-4958	石　皿	VBa	4-1区	KU	(25.65)	27.1	12.45	11,000	1/3欠損。正面を磨る。
106	S-1410	石　皿	VBa	4-2区	KU	(14.35)	(12.0)	(9.7)	2,070	大半を欠損する。正面を磨る。
107	S-5166	石　皿	PAn	4-1区	KU	(17.75)	(24.9)	10.5	5,650	1/2欠損。正面の一部を磨る。
108	S-4410	石　皿	PAn	4-1区	AN	(10.1)	(15.45)	6.5	1,380	大半を欠損する。正面を磨る。
109	S-6754	石　皿	PAn	4-1区	KU	(11.05)	(16.6)	(6.8)	1,360	2/3以上を欠損。正面を磨る。正面がやや凹む。

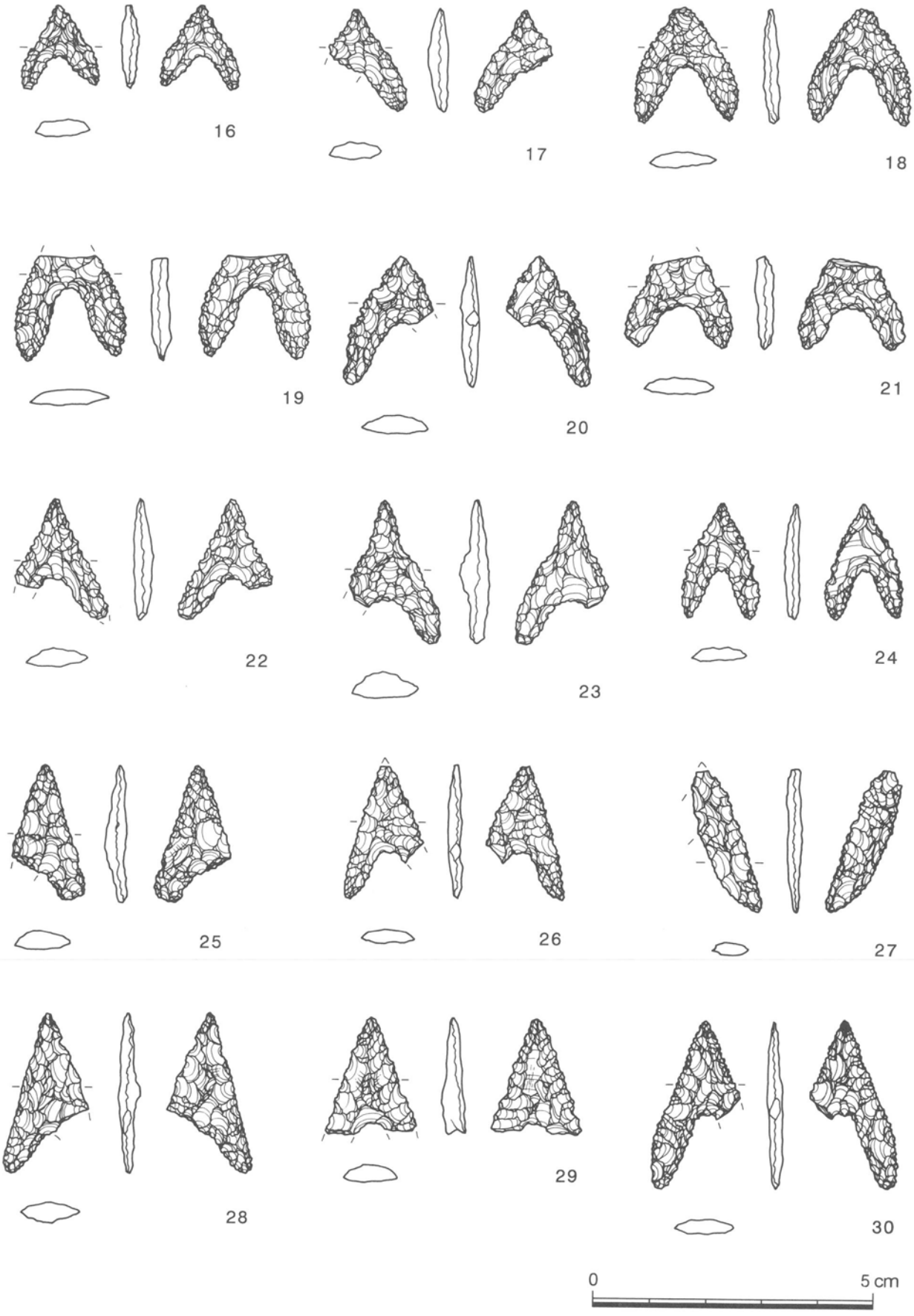
番号	遺物番号	器種名	石材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
110	S-110	石皿	PAn	4-1区	AN	20.8	12.8	6.7	2240	完形。正面を磨る。
111	S-7254	石皿	PAn	4-1区	AN	20.3	17.6	7.25	4030	完形。正面、裏面を磨る。正面がわずかに凹む。上面に風化した敲打の痕跡。全体が受熱し赤化。裏面スス付着。
112	S-3829	石皿	VAn	4-1区	AN	(16.4)	(13.95)	11.95	3510	3/4欠損。正面を磨る。大きく凹む。凹みの周辺部は敲打痕が残る。
113	S-5436	石皿	PAn	4-1区	KU	(15.9)	(19.1)	7.6	2720	2/3以上を欠損。受熱し赤化。中央に浅い溝があり、右側を磨る。左側は敲打。縁は受熱後に薄く割り剝がす。
114	S-6749	石皿	VBa	4-1区	KU	(10.5)	(16.9)	(8.3)	962.5	大半を欠損する。正面を磨る。
115	S-1407	石皿	VAn	4-2区	KU	12.3	9.4	3.8	601.2	完形。小形で正面がやや凹む。両面に敲打による凹みがある。
116	S-7252	石皿	PAn	4-1区	KU	(5.25)	(4.55)	4.85	202.3	大半を欠損。正面を磨る。板状の礫を磨る。
117	S-7241	礫器	PAn	4-1区	KU	13.6	11.05	2.65	462.2	完形。板状の礫を打欠いて下端に刃を作る。
118	S-7315	礫器	PAn	4-1区	AN	24.3	25.35	7.6	4880	完形。受熱した亜円礫を割り、上端と下端に刃を作る。
119	S-2545	礫器	PAn	4-2区	KU	24.7	14.5	5.9	2790	完形。亜円礫の一部を割り、刃を作る。
	S-2618	石鏃	Ob	4-1区	KGP	1.6	1.2	0.25	0.3	C-5類。完形。
	S-2638	石鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.6)	1.75	0.2	0.5	B-1類。上部欠損。
	S-2677	石鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.9)	(1.6)	0.35	0.7	B-1類。両脚欠損。
	S-2701	石鏃	Ob	4-1区	KGP	1.4	(1.4)	0.2	0.2	B-1類。片脚欠損。
	S-2720	石鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.6)	(1.6)	0.35	0.7	B-1類。両脚欠損。
	S-2756	石鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.5)	(1.35)	0.25	0.3	C-1類。下部欠損。
	S-3099	石鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.6)	(1.1)	0.15	0.3	B-3類。両脚欠損。
	S-3144	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.9	(1.15)	0.25	0.4	B-2類。片脚欠損。
	S-3174	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.85	(1.55)	0.3	0.5	B-1類。片脚欠損。
	S-3343	石鏃	Ob	4-1区	AN	(1.9)	(1.5)	0.3	0.7	C-3類。両脚欠損。
	S-3402	石鏃	Ob	4-1区	AN	(1.75)	(1.5)	0.25	0.4	B-3類。両脚欠損。
	S-3824-2	石鏃	Ob	4-1区	AN	(1.55)	(1.3)	0.25	0.4	B-3類。両脚欠損。
	S-3920	石鏃	Ob	4-1区	AN	(2.5)	(1.85)	0.65	2.1	C-2類。両脚欠損。
	S-4140	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.5	(1.25)	0.25	0.4	B-1類。片脚欠損。
	S-4239	石鏃	Ob	4-1区	KU	1.8	1.8	0.45	1.4	E 類。完形。
	S-4346	石鏃	Ob	4-1区	AN	(1.3)	1.3	0.3	0.5	B-1類。上端欠損。
	S-4369	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.3	(1.2)	0.3	0.3	C-4類。片脚欠損。
	S-4411	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.25	(1.15)	0.2	0.3	B-1類。片脚欠損。
	S-4450	石鏃	Ob	4-1区	AN	1.7	(1.3)	0.2	0.3	B-2類。片脚欠損。
	S-4523	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.1	1.5	0.3	0.8	C-3類。片脚欠損。
	S-4624-2	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.7)	(1.0)	0.2	0.2	B-3類。下部欠損。
	S-4655	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.0	1.7	0.35	1.0	C-2類。完形。
	S-5181	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.9)	(1.5)	0.25	0.5	B-3類。両脚欠損。
	S-5257	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.3)	(1.5)	0.3	0.6	C-2類。上端・片脚欠損。
	S-5417	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.5)	(1.6)	0.25	0.4	B-2類。両脚欠損。
	S-5422	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.2	(1.7)	0.4	0.9	C-2類。片脚欠損。
	S-5483	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.3)	(1.4)	0.35	0.5	B-2類。両脚欠損。
	S-5724	石鏃	Ob	4-1区	KU	1.7	(1.05)	0.3	0.3	C-2類。片脚欠損。
	S-5936	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.1	1.35	0.35	0.8	C-5類。片脚欠損。
	S-6235	石鏃	Ob	4-1区	KU	1.6	(1.1)	0.2	0.3	B-2類。片脚欠損。
	S-6287	石鏃	Ob	4-1区	KU	(2.0)	1.65	0.3	1.0	C-2類。上端欠損。
	S-6328	石鏃	Ob	4-1区	KU	1.1	(1.2)	0.2	0.2	B-1類。片脚欠損。
	S-6399	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.55)	(1.6)	0.3	0.5	B-2類。上端・片脚欠損。
	S-6496	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.4)	1.5	0.35	0.9	C-5類。上端欠損。
	S-6515	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.5	(1.6)	0.25	0.8	C-1類。片脚欠損。
	S-6821	石鏃	Ob	4-1区	KU	2.0	(1.35)	0.4	0.5	B-2類。片脚欠損。
	S-6899	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.1)	(1.9)	0.15	0.4	B-2類。上端・片脚欠損
	S-7072	石鏃	Ob	4-1区	KU	(2.25)	(1.3)	0.3	0.6	B-3類。両脚欠損
	S-7099	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.9)	(1.4)	0.2	0.4	B-3類。上端・片脚欠損。
	S-7188	石鏃	Ob	4-1区	KU	(1.8)	(1.0)	0.4	0.6	B-3類。左半・上端・脚先端欠損。
	S-7324	石鏃	Ob	4-1区	表採	(2.0)	(1.35)	0.2	0.4	B-3類。両脚欠損。
	S-7325	石鏃	Ob	4-1区	表採	(2.2)	(1.3)	0.45	0.9	C-5類。上端・片脚欠損。
	S-1515	石鏃	Ob	4-2区	AN	(1.25)	(1.1)	1.05	0.1	両脚欠損。
	S-1548	石鏃	Ob	4-2区	AN	(1.5)	(0.85)	0.25	0.2	脚片。
	S-1581	石鏃	Ob	4-2区	AN	1.7	1.5	0.4	1.0	完形または未製品カ。
	S-1806	石鏃	Ob	4-2区	KU	1.4	(1.3)	0.3	0.4	片脚欠損。

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
	S-1938	石　鏃	Ob	4-2区	KU	(1.7)	(0.6)	0.2	0.1	脚片。
	S-7322	石　鏃	Ob	4-2区	表採	(1.7)	(1.35)	1.25	0.5	上端・片脚欠損。
	S-2505	石　鏃	Ob	5-8区	AN	(1.1)	(0.5)	1.5	0.1	脚片。
	S-2513	石　鏃	Ob	5-8区	KU	(1.4)	(1.1)	0.3	0.5	両脚欠損。
	S-2518	石　鏃	Ob	5-8区	KU	(1.15)	1.05	0.2	0.2	上端欠損。
	S-85-2	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.75)	(0.8)	0.2	0.3	脚片。
	S-2787	石　鏃	Ob	4-1区	KGP	(1.65)	(0.85)	0.2	0.3	脚片。
	S-2956	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.4)	(0.9)	0.2	0.2	脚片。
	S-3933	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.4)	(0.7)	0.3	0.3	脚片。
	S-3981	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.2)	(07)	0.25	0.2	脚片。
	S-4081	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(0.75)	(1.3)	0.2	0.2	上部・脚端欠損。
	S-4147-2	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.5)	(0.5)	0.15	0.1	脚片。
	S-4348	石　鏃	Ob	4-1区	AN	2.1	(1.3)	0.2	0.5	左半分欠損。
	S-4409	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.35)	(0.5)	0.1	0.1	脚片。
	S-4463	石　鏃	Ob	4-1区	AN	(1.1)	(1.0)	0.2	0.2	上部破片。
	S-4521	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.1)	(0.4)	0.15	0.1	脚片。
	S-4624-1	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(0.95)	(1.5)	0.35	0.5	脚片。
	S-4649	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.4)	(0.5)	0.2	0.1	脚片。
	S-4791	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.2)	(0.9)	0.2	0.2	両脚欠損。
	S-5058	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(2.1)	(0.75)	0.2	0.3	脚片。V字形カ。
	S-5185	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.3)	(0.65)	0.15	0.1	脚片。
	S-5189	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.0)	(1.1)	0.2	0.2	脚片。
	S-5411	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.45)	(0.5)	0.25	0.2	脚片。
	S-5435	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(0.9)	(1.0)	0.3	0.2	胴部破片。
	S-5521	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.45)	(0.55)	0.2	0.2	脚片。
	S-5585	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.35)	(0.7)	0.2	0.2	脚片。
	S-5720	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.0)	(0.7)	0.2	0.2	脚片。
	S-5733	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.8)	(0.8)	0.15	0.2	脚片。
	S-6031	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.1)	(1.45)	0.3	0.3	上端・両脚欠損。
	S-6062	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(0.9)	(0.55)	0.2	0.2	脚片。
	S-6063	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.2)	(0.6)	0.2	0.2	脚片。
	S-6403	石　鏃	GAn	3-3区	ZN	(1.6)	(1.0)	0.3	0.3	上部破片。
	S-6537	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.5)	(0.6)	0.2	0.2	脚片。
	S-6955	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(2.4)	(2.3)	0.4	2.0	上端・片脚欠損。大形。
	S-6961	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.0)	(0.75)	0.15	0.15	脚片。
	S-7157	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.15)	(0.8)	0.25	0.25	脚片。
	S-7209	石　鏃	Ob	4-1区	KU	(1.3)	(0.6)	0.2	0.2	脚片。
	S-7322	石　鏃	Ob	4-1区	表土	(1.4)	(0.65)	0.2	0.2	脚片。
	S-2931	石鏃未製品	Ob	4-1区	KGP	2.4	1.9	0.3	1.1	
	S-2978	石鏃未製品	Ob	4-1区	KGP	25	1.5	0.3	1.0	
	S-3004	石鏃未製品	Ob	4-1区	AN	1.8	1.5	0.45	1.0	
	S-3492	石鏃未製品	Ob	4-1区	AN	1.5	1.8	0.25	0.8	
	S-3566	石鏃未製品	Ob	4-1区	AN	1.65	2.0	0.45	1.8	
	S-3861-2	石鏃未製品	Ob	4-1区	AN	2.0	1.7	0.35	1.3	
	S-4366	石鏃未製品	Ob	4-1区	AN	1.7	1.5	0.35	1.2	
	S-5279	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.4	1.3	0.35	0.6	
	S-5331	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.5	1.25	0.2	0.3	
	S-5632	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.5	1.75	0.4	0.7	
	S-5974	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.6	1.3	0.35	0.5	
	S-5999	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.7	2.1	0.35	0.6	
	S-6061	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	2.0	1.6	0.6	1.7	
	S-6298	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	2.0	1.9	0.55	2.1	
	S-6415	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.5	1.3	0.3	0.5	
	S-7200	石鏃未製品	Ob	4-1区	KU	1.85	1.7	0.55	1.4	
	S-4461	楔形石器	Ob	4-1区	AN	1.8	2.0	0.85	3.0	完形。
	S-2620	楔形石器	Ob	4-1区	KGP	1.95	1.6	0.6	1.8	完形。
	S-2512	縦長剝片	Ob	5-8区	KU	(2.05)	0.65	0.2	0.3	
	S-6367	縦長剝片	Ob	4-1区	KU	(1.4)	0.6	0.2	0.2	
	S-3670	縦長剝片	Ob	4-1区	AN	(2.1)	0.75	0.2	0.3	
	S-6381	縦長剝片	Ob	4-1区	KU	(1.6)	0.6	0.15	0.2	
	S-6334	縦長剝片	Ob	4-1区	KU	1.3	0.6	0.15	0.1	完形。
	S-7265	縦長剝片	Ob	4-1区	FB	(1.95)	0.6	0.2	0.2	
	S-5883	使用痕剝片	Hor	3-3区	KU	2.6	4.7	1.3	20.9	石匕カ。

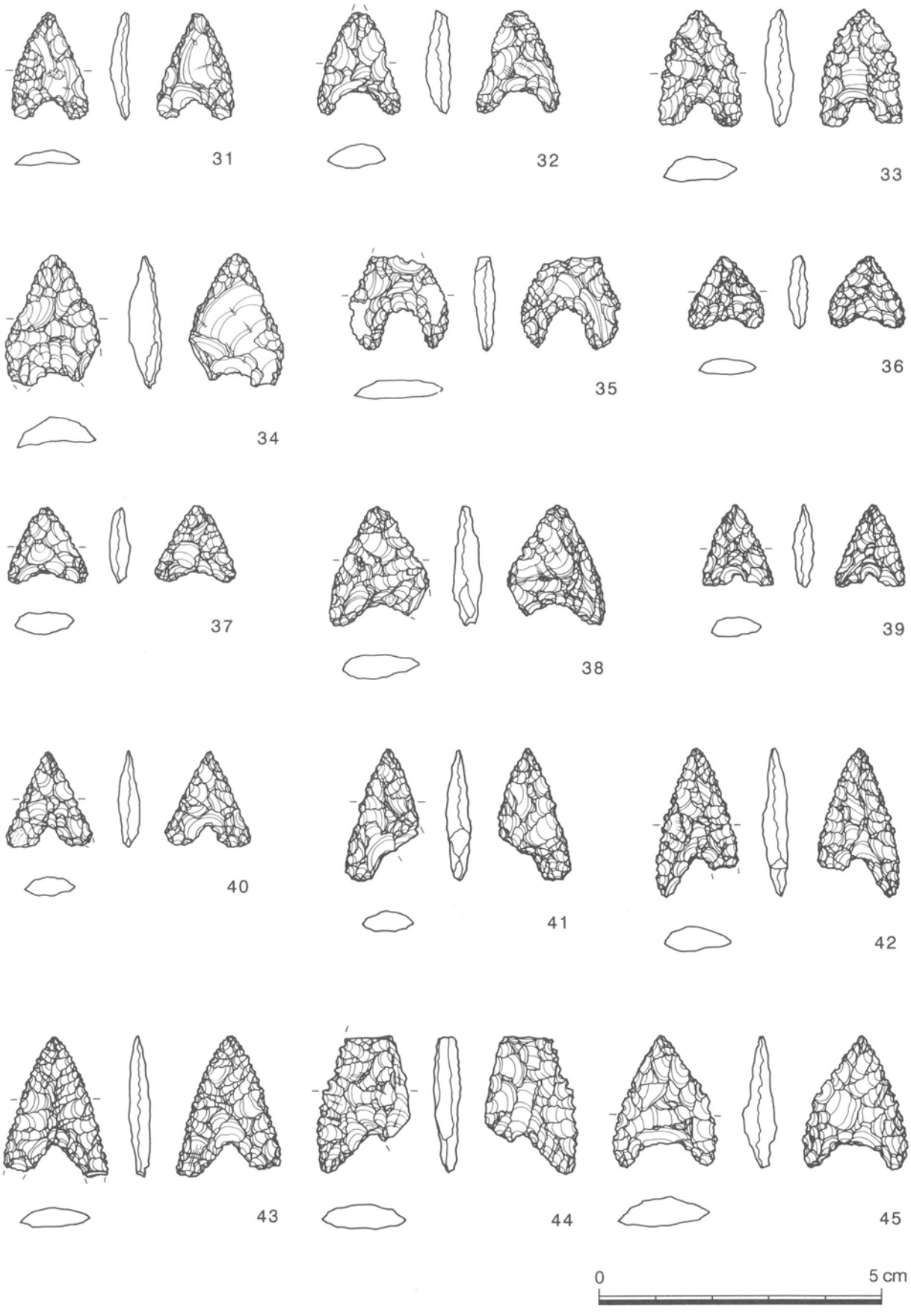
番号	遺物番号	器種名	石材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
	S-4723	使用痕剥片	Hor	4-1区	KU	3.4	5.4	1.55	27.9	石斧片カ。
	S-1409	使用痕剥片	GT	4-2区	AN	6.35	3.6	0.7	20.4	
	S-5602	使用痕剥片	Ob	4-1区	KU	2.5	2.4	1.4	5.7	
	S-4658	使用痕剥片	Ob	4-1区	KU	1.3	3.0	1.45	4.5	
	S-3324	使用痕剥片	Ob	4-1区	AN	2.0	3.8	0.7	3.2	
	S-2732	再加工剥片	Ob	4-1区	KGP	2.1	1.6	0.4	1.0	
	S-2775	再加工剥片	Ob	4-1区	KGP	2.5	1.35	0.6	1.7	
	S-2922	再加工剥片	Ob	4-1区	KGP	1.15	1.95	0.7	1.4	
	S-2974	再加工剥片	Ob	4-1区	AN	3.55	1.9	1.0	4.8	
	S-3012	再加工剥片	Ob	4-1区	AN	1.65	2.3	0.45	1.3	
	S-3455	再加工剥片	Ob	4-1区	KGP	2.25	0.5	0.3	0.3	
	S-4074	再加工剥片	Ob	4-1区	AN	1.7	1.3	0.25	0.6	
	S-4351	再加工剥片	Ob	4-1区	AN	2.3	1.4	0.5	1.7	
	S-4605	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.4	0.95	0.35	0.4	
	S-4617	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.4	1.1	0.45	1.1	
	S-5871	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	2.95	1.5	0.4	1.8	
	S-5927-2	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.1	1.7	0.4	0.8	
	S-6187	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.0	1.6	0.55	0.6	
	S-6218	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	2.0	1.15	0.5	0.7	
	S-6429	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.9	1.8	0.7	1.9	
	S-6535	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.7	1.1	0.75	1.2	
	S-6553	再加工剥片	Ob	4-1区	KU	1.8	1.8	0.45	1.2	
	S-7326	再加工剥片	Ob	4-1区	表土	1.9	1.7	0.3	1.2	
	S-6716	打製石斧カ	Sh	4-1区	KU	7.4	4.75	0.9	37.3	刃部カ。
	S-43	打製石斧カ	CSS	4-1区	AN	4.8	3.2	0.9	20.9	上部破片。
	S-1943	打製石斧カ	Sh	3-3区	AN	5.6	5.9	1.1	27.5	未製品カ。
	S-5889	打製石斧カ	Sh	3-3区	AN	3.8	5.9	0.9	23.5	刃部カ。
	S-6401	剥片	Sh	3-3区	FB	4.7	3.1	0.7	9.5	
	S-5884	剥片	Sh	3-3区	KU	2.95	2.2	0.5	3.6	
	S-5894	剥片	Sh	3-3区	AN	1.6	1.2	0.45	1.5	
	S-2496	剥片	SI	5-8区	AN	6.25	8.65	0.75	53.2	使用痕あり。
	S-2557	剥片	Sh	5-8区	AN	5.1	7.75	0.9	39.3	使用痕あり。
	S-2566	剥片	Sh	4-1区	AN	8.5	2.5	1.3	31.5	
	S-3773	剥片	Sh	4-1区	AN	6.1	5.1	0.75	26.4	使用痕あり。
	S-4098	剥片	SI	4-1区	AN	4.4	5.4	0.95	25.9	使用痕あり。
	S-3783	剥片	Sh	4-1区	AN	3.9	5.0	0.8	15.0	使用痕あり。石斧片カ。
	S-4193	剥片	Sh	4-1区	AN	1.85	4.65	0.6	4.7	
	S-5069	剥片	Sh	4-1区	KU	2.0	4.3	0.7	5.1	
	S-4994	剥片	Sh	4-1区	KU	1.45	2.95	0.35	1.2	
	S-4062	剥片	SI	4-1区	AN	1.85	2.35	0.4	1.0	
	S-4235	剥片	Sh	4-1区	KU	1.5	1.15	0.25	0.4	
	S-3796	剥片	Sh	4-1区	AN	1.4	1.65	0.4	1.1	
	S-4636	剥片	SI	4-1区	KU	11.2	7.15	3.0	229.5	
	S-140	剥片	PAn	4-1区	AN	8.9	7.0	2.2	104.3	大形の剥片。
	S-7234	剥片	FSS	4-1区	AN	5.4	2.6	0.8	12.7	磨石片カ。
	S-4449	剥片	PAn	4-1区	KU	5.9	5.1	0.8	24.7	石斧片カ。
	S-7236	剥片	PAn	4-1区	AN	8.6	7.0	0.85	43.8	下端に使用痕あり礫器カ。
	S-199	磨石片	FSS	4-1区	AN	3.6	1.8	0.9	4.4	
	S-7240	磨石カ	PAn	4-1区	AN	6.3	4.0	2.8	116.7	正面、裏面を磨る。
	S-7253	磨石カ	AmS	4-1区	KU	5.1	7.1	4.3	170.3	平坦面3
	S-7233	磨石カ	PAn	4-1区	AN	6.3	3.9	1.3	52.7	平坦面1
	S-7248	磨石カ	PAn	4-1区	AN	5.8	3.4	3.7	85.8	平坦面1
	S-7237	磨石カ	Qt	4-1区	AN	5.75	3.7	3.0	87.0	平坦面1　完形
	S-7238	磨石カ	PAn	4-1区	KU	5.3	4.8	1.5	35.3	平滑な曲面1
	S-3792	磨石カ	PAn	4-1区	AN	4.0	4.3	2.25	57.0	平坦面2
	S-7232	磨石カ	PAn	4-1区	AN	4.4	3.4	1.55	29.9	平滑な曲面1
	S-7249	磨石カ	Hor	4-1区	KU	2.9	3.2	1.45	16.0	平滑な曲面1
	S-7231	磨石カ	VBa	4-1区	AN	4.2	2.3	1.75	23.0	平坦面1
	S-7247	磨石カ	PAn	4-1区	AN	4.1	3.8	2.85	43.4	平坦面1
	S-7080	磨石カ	Si	4-1区	KU	5.1	2.0	0.95	13.0	平坦面1
	S-2539	磨石カ	SSh(DG)	3-3区	FB	6.7	5.9	3.35	173.0	平坦面2
	S-7310	浮子カ	Pm	4-1区	AN	6.5	5.6	3.55	19.4	元は球状カ。
	S-7128	浮子カ	Pm	4-1区	KU	4.3	2.75	2.4	3.1	元は方形カ。



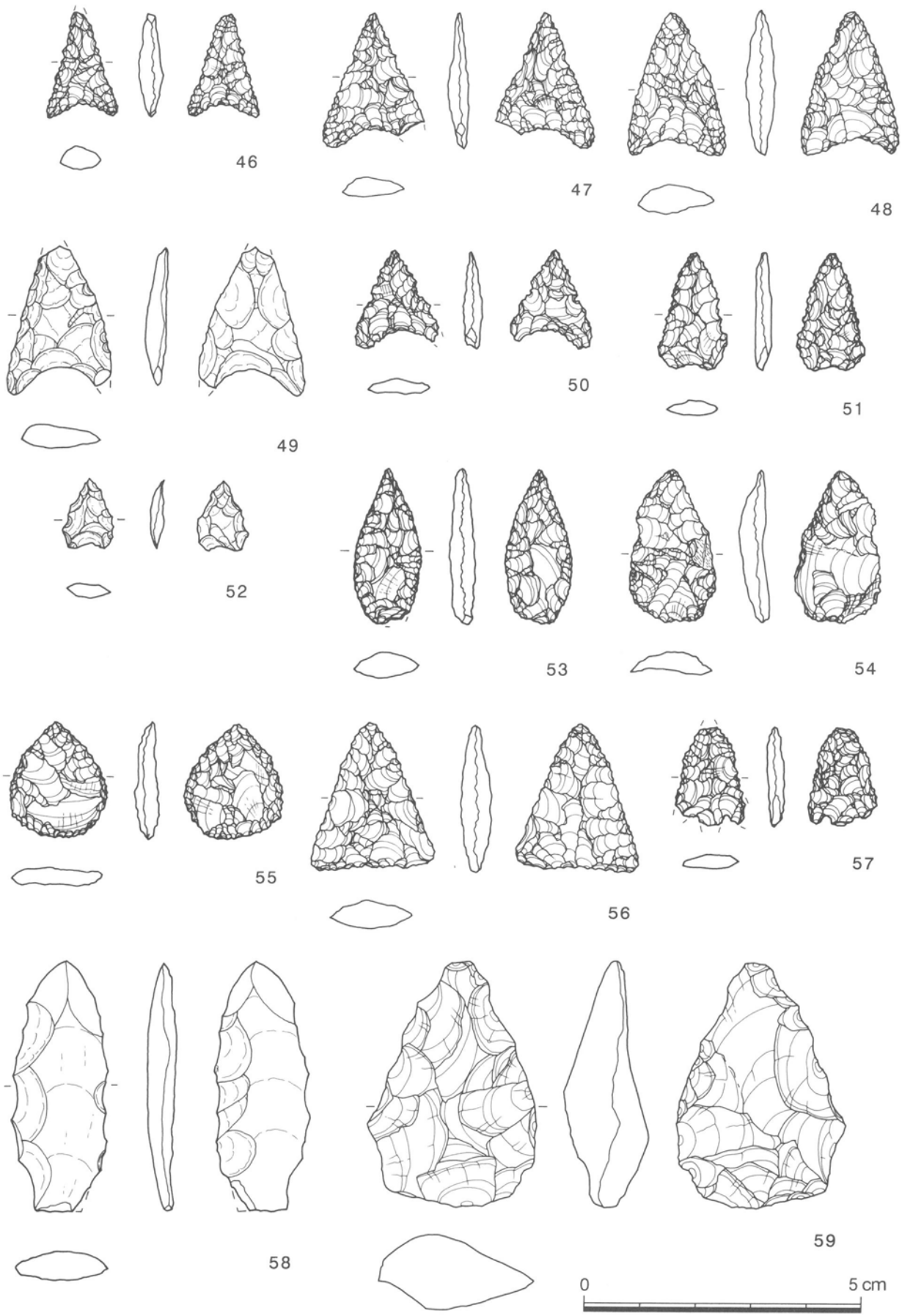
第101図　縄文時代中期石器実測図 1 （石鏃）



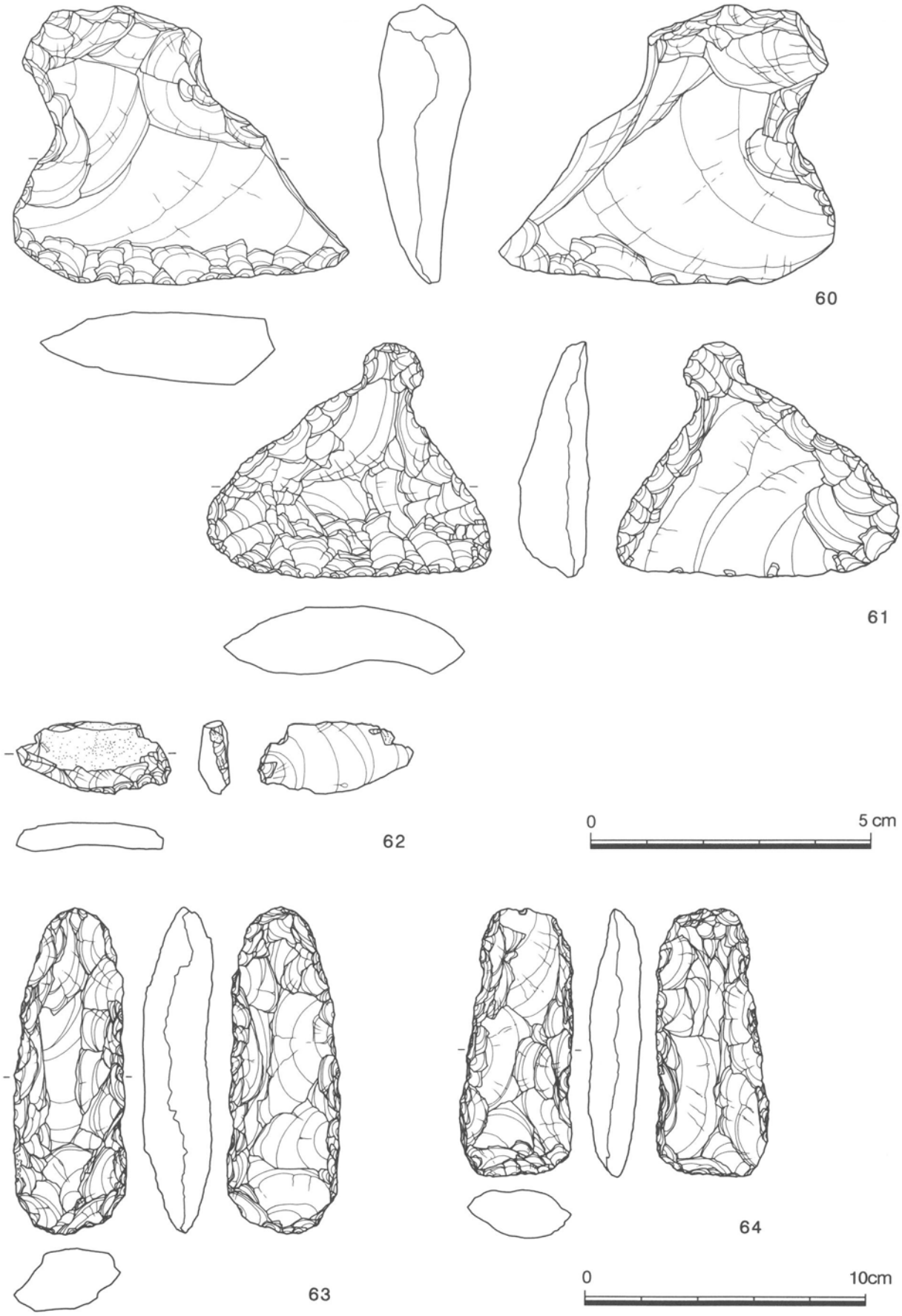
第102図　縄文時代中期石器実測図２（石鏃）



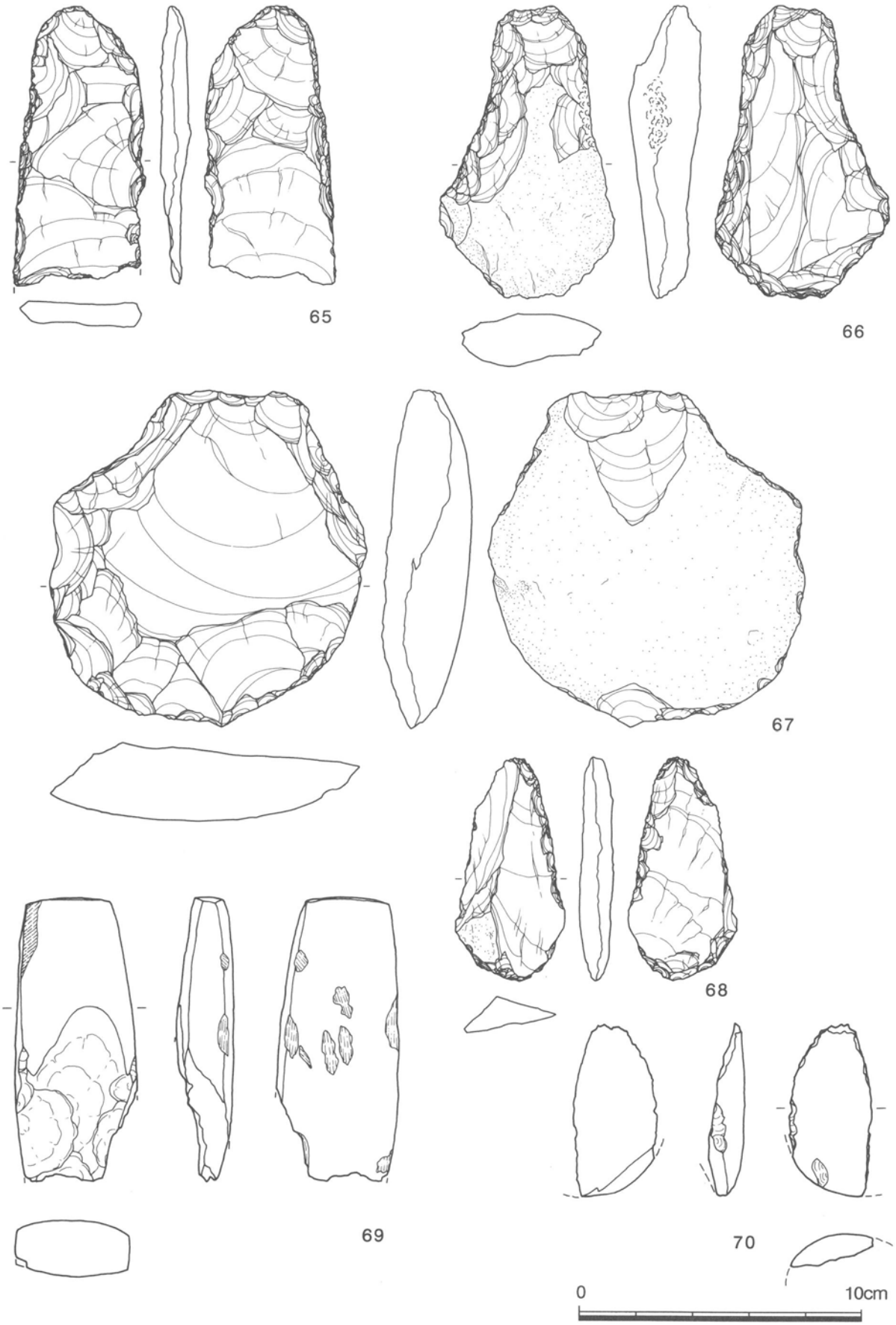
第103図　縄文時代中期石器実測図 3 （石鏃）



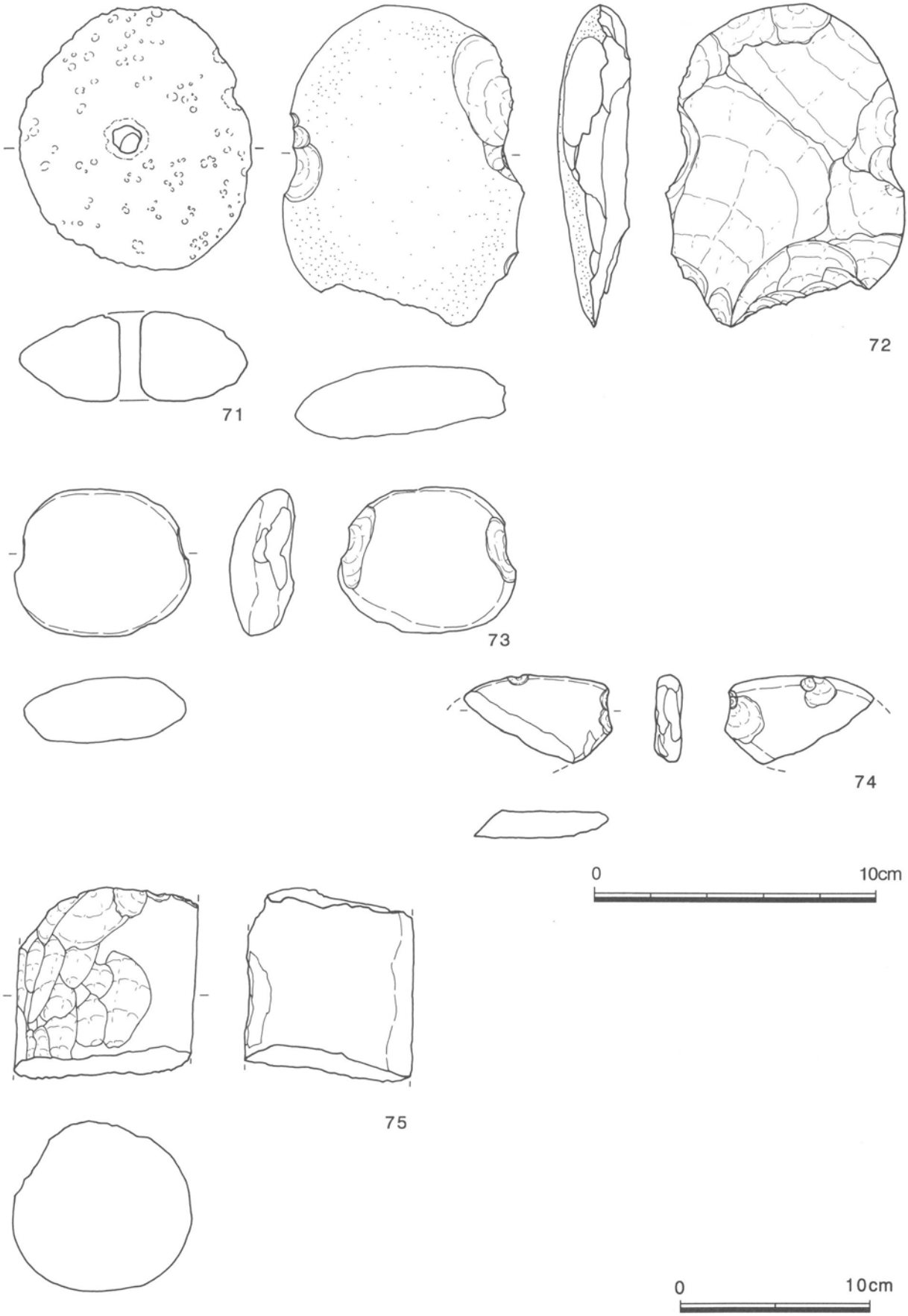
第104図　縄文時代中期石器実測図 4 （石鏃・石匕）



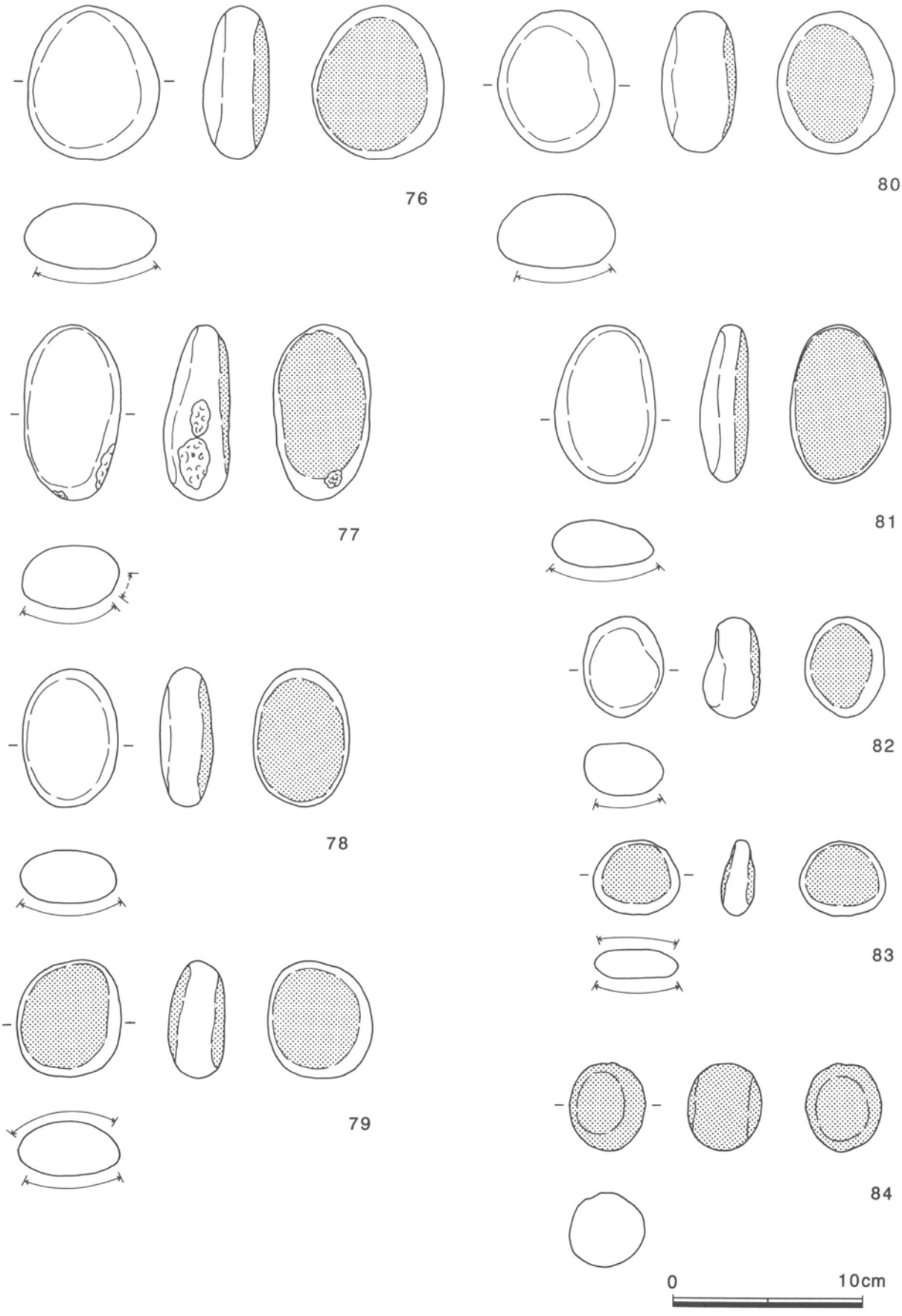
第105図　縄文時代中期石器実測図５（尖頭器等）



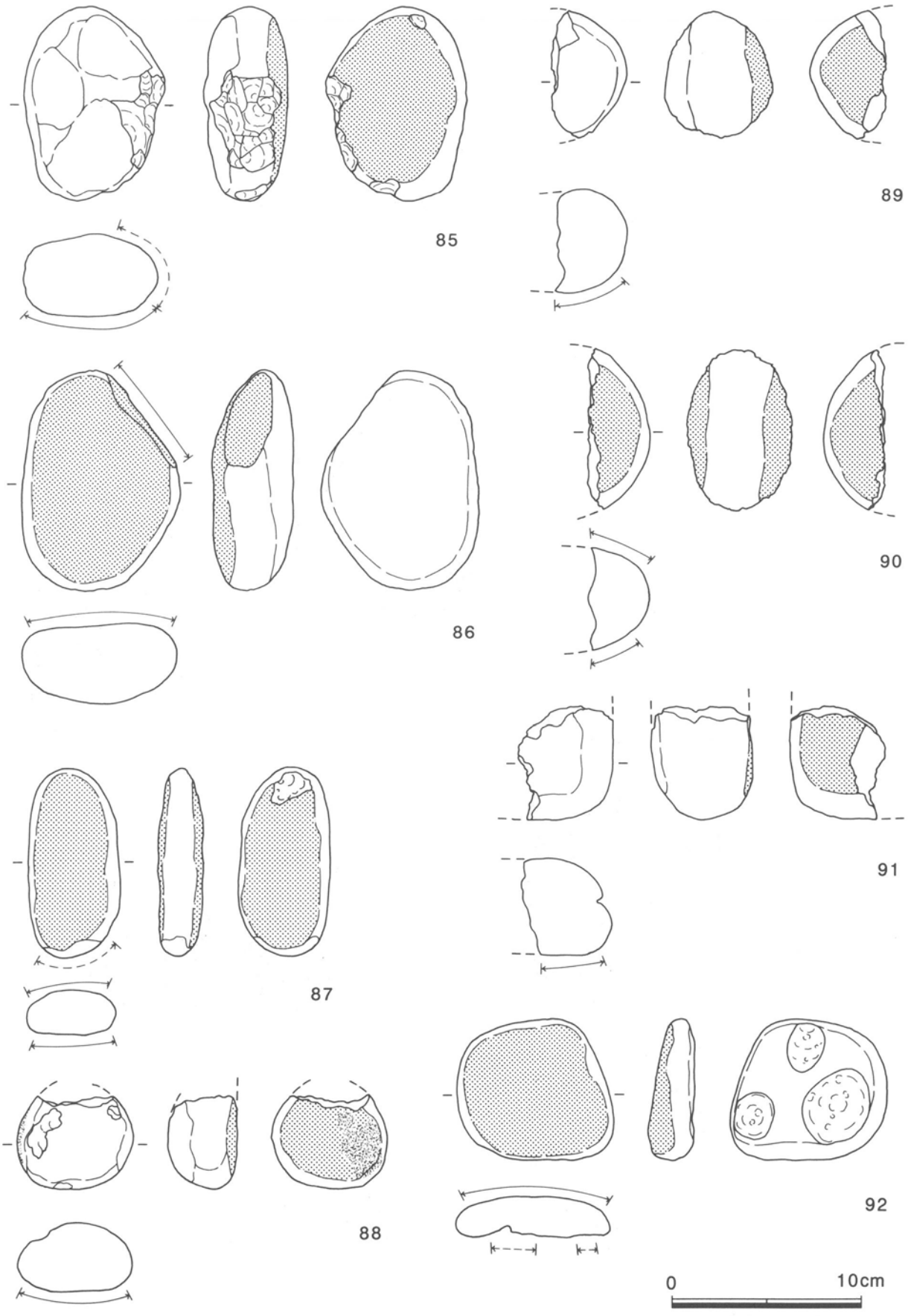
第106図　縄文時代中期石器実測図 6 （石斧）



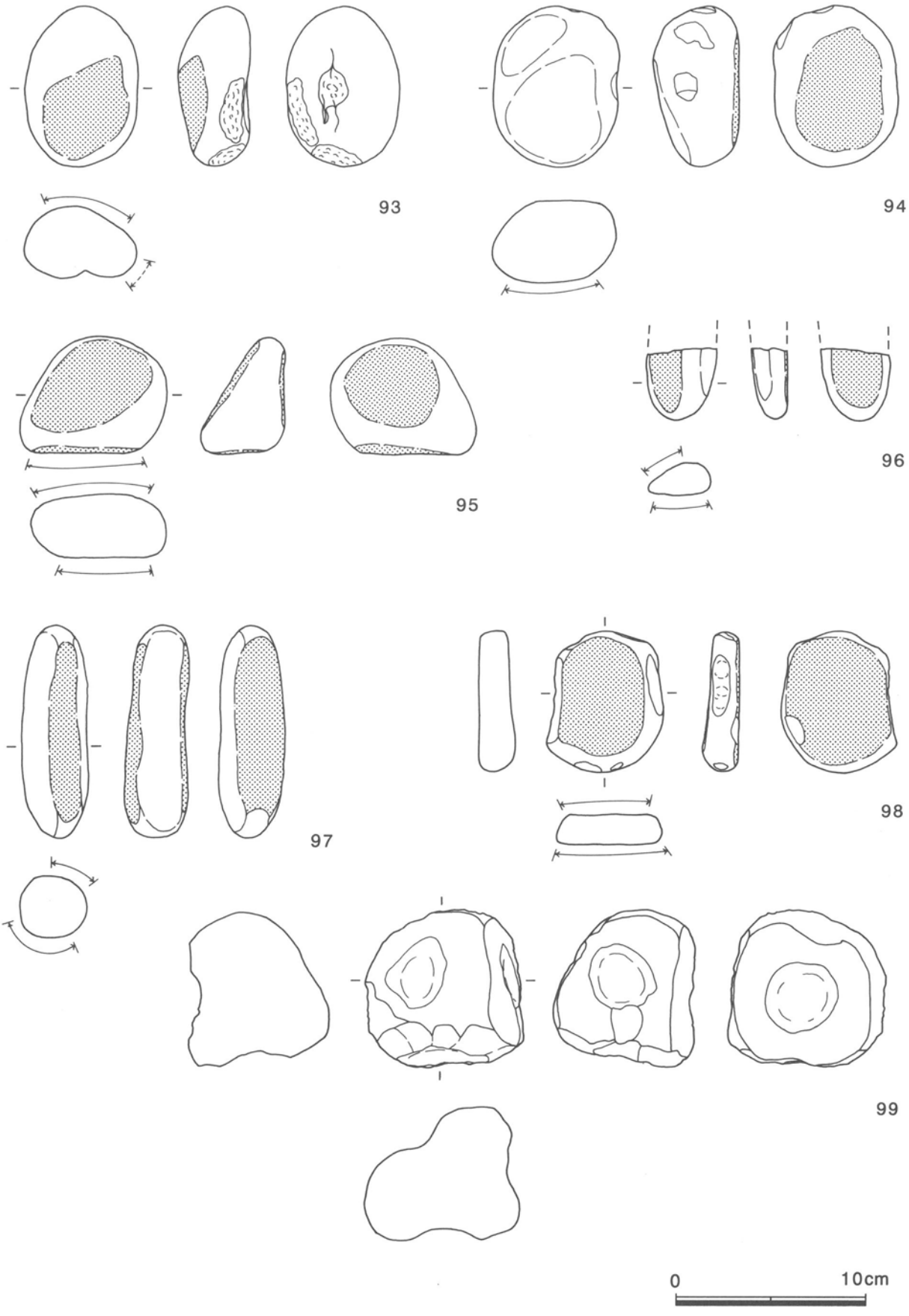
第107図　縄文時代中期石器実測図７（石錘等）



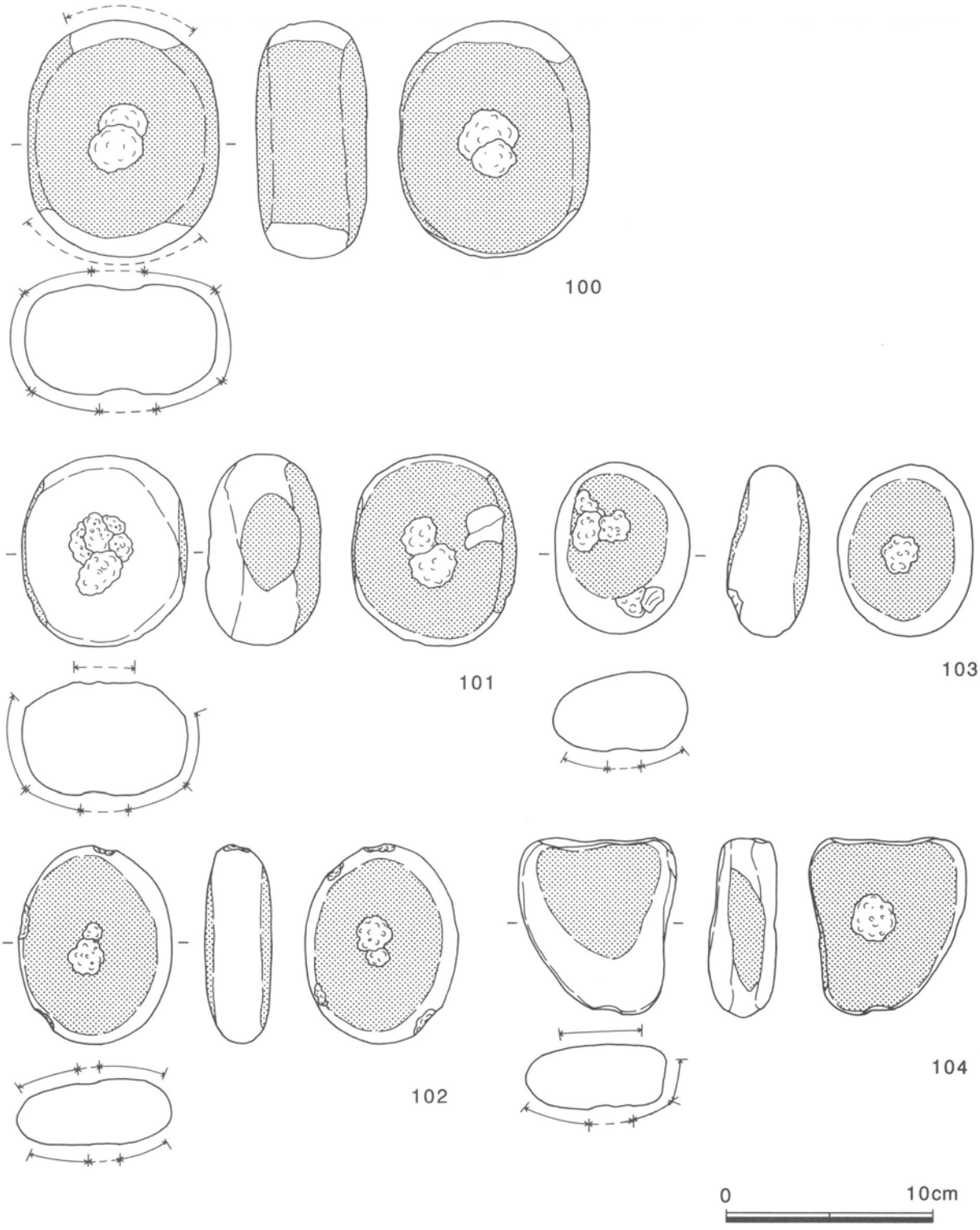
第108図　縄文時代中期石器実測図 8 （磨石等）



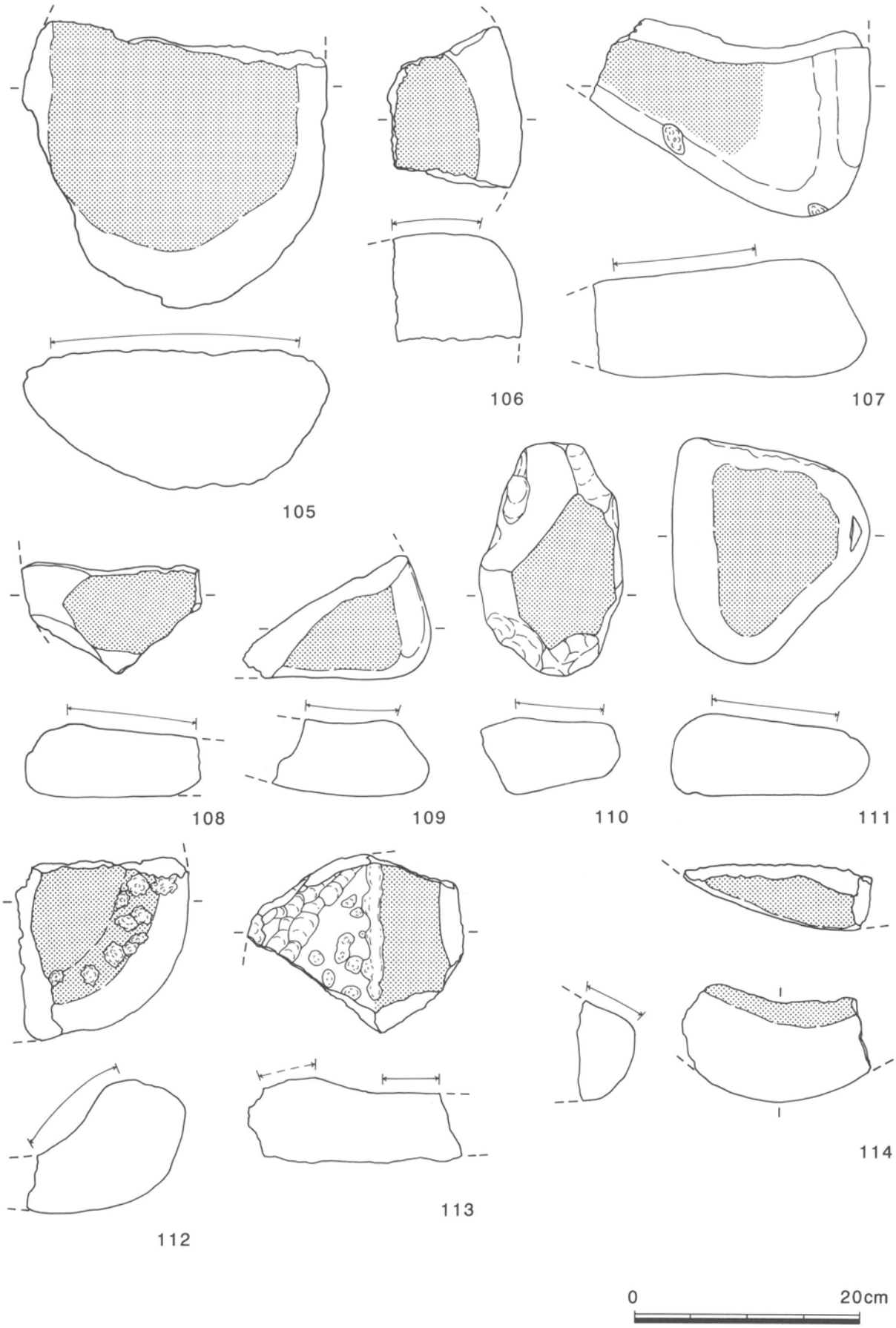
第109図　縄文時代中期石器実測図９（磨石等）



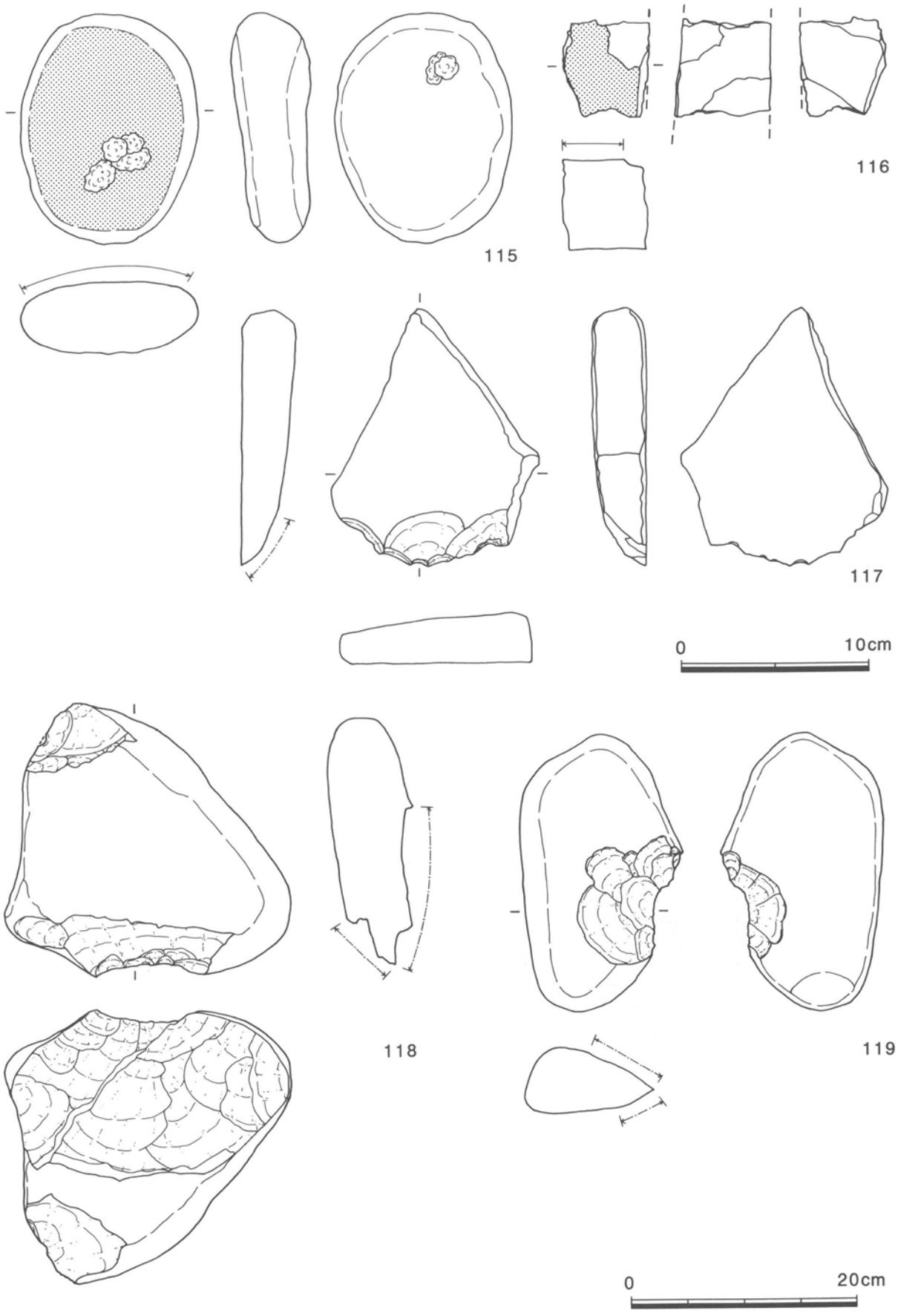
第110図　縄文時代中期石器実測図10（磨石等）



第111図　縄文時代中期石器実測図11（磨石等）



第112図　縄文時代中期石器実測図12（石皿）



第113図　縄文時代中期石器実測図13（石皿等）

3　土製品

第114図に図示する。土器片錘3点と土製円板4点、円板状を意識した土製品4点が出土している。元の土器の形式や搬出する土器の状況から、いずれも縄文時代中期末に属するものと考えられる。

(1)　土器片錘　（1～4）

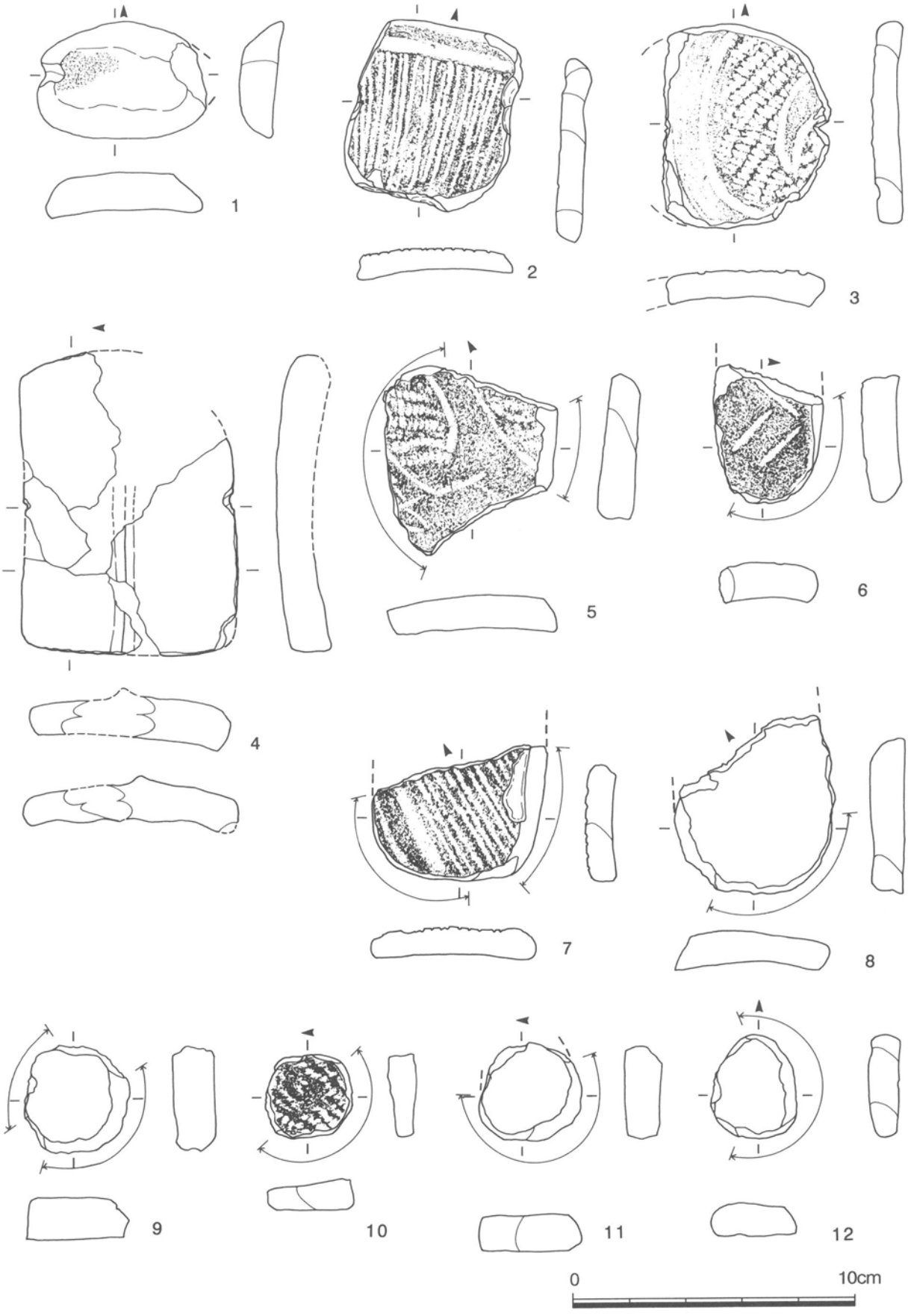
4－1区のKU層より3点が出土した。1は石錘を意識しているものと思われ、周辺部を擦っている。石錘よりは一回りほど小形である。2～4は土器片を割って2は隅丸方形、3は円形、4は方形に仕上げる。いずれも両側に2カ所の装着用の窪みを作る。

(2)　土製円板　（5～12）

5－8区から4－1区にかけて8点が出土した。土器の上下方向と磨っている部位との関係が様々で、土器の上下方向は意識していないと思われる。9は底部の破片である。6～8は円形ではないが、側辺を擦っている状況は9～12と同じで、使用の結果、円形になり廃棄された可能性がある。

第26表　縄文時代土製品観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号 器種名	出土区 層位	法量 長さ 幅 最大厚 (cm)	法量 重量 (g)	特徴	備考
1 第114図 図版59	P-3886 土器片錘	4-1区 KU	4.15 (5.95) 1.3	33.0	右端を一部欠損。土器片の周囲を磨り、石錘の形状に仕上げる。両端を切り欠いている。 黒斑は土器の時のものと考えられる。裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。 土器口縁部付近を使用し、無文でやや厚い。焼成良好。胎土密。長石、輝石を含む。	形式不明 （中期末カ）
2 第114図 図版59	P-3177 土器片錘	4-1区 KU	7.3 5.95 1.15	49.0	ほぼ完形品。方形の土器片の角を磨って、やや丸みをつける。左右、下を打ち欠く。 裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。 土器は口縁部の破片。焼成良好。胎土密。長石、石英、径4㎜以下の小礫を含む。	曽利Ⅴ式カ
3 第114図 図版59	P-4500 土器片錘	4-1区 KU	6.9 (6.25) 0.9	55.2	約1/4を欠損。径7cm前後の円形であったと思われる。土器片の周囲を磨って円形に仕上げ、両端を切り欠く。裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。 土器は胴部の破片。焼成良好。胎土密。長石、径2㎜以下の灰～黒色の小礫を含む。	加曽利E4式
4 第114図 図版59	P -2551-3150- 3153-3525 土器片錘	4-1区 AN～ KU	(10.7) 7.7 1.5	(146.1)	欠損が著しい。隅丸の長方形であったと考えられる。口縁部の破片を利用し、口縁以外の部分は磨って滑らかにしている。小さなV字状の切り欠きが2箇所残存する。 土器は口縁部の破片。焼成良好。胎土密。長石、石英、輝石を含む。径1.5mm以下の小礫を多く含む。	加曽利E4式
5 第114図 図版59	P-2025 土製円板 カ	5-8区 KGP	4.65 6.2 1.3	47.3	完形カ、または上部が一部欠損カ。下端は粘土紐の接合部で割れる。左右の側面を磨り、丸みを帯びている。裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。 土器は底部につながる胴部破片。焼成良好。胎土やや粗い。長石、輝石を含む。径3㎜以下の白～灰色と赤色の小礫を多く含む。石英をわずかに含む。	加曽利E4式
6 第114図 図版59	P-2717 土製円板 カ	4-1区 AN	(4.95) 3.85 1.3	27.3	上部を欠損している。土器片の一部を磨り、平面楕円形に作る。左側面は割れたままの面で、下端から右側面が磨って滑らかになっている。裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。土器は胴部破片。焼成良好。胎土密。長石、赤色粒子、径1.5mm以下の小礫を含む。	曽利Ⅴ式
7 第114図 図版59	P-250 土製円板 カ	5-8区 FB	(4.85) 6.2 1.1	31.6	上部欠損カ。1/2程度残存カ。土器片の周囲を磨って平面を楕円形状にしていると推定される。裏面は加工なし。土器製作時の横ナデのみ。土器は胴部破片。 焼成良好、胎土粗。長石、輝石を多く含む。径1.5㎜の白～灰色の小礫を含む。	曽利Ⅳ～Ⅴ式カ
8 第114図 図版59	P-2045 土製円板 カ	5-8区 AN	6.3 5.7 1.2	45.1	ほぼ完形品カ。上部は粘土紐の接合部で割れていると思われる。左右は割れたままの面。 下端から右側面にかけて磨って丸みがついている。土器は底部に近い胴部破片。 焼成良好。胎土やや粗い。長石、径2㎜以下の白～灰色の小礫を多く含む。 輝石、金雲母をわずかに含む。	加曽利E4式カ
9 第114図 図版59	P-2050 土製円板	5-8区 AN	3.8 3.75 1.5	23.3	完形品。土器の周辺を磨って平面円形状にする。一部割れたままの面あり。 土器は底部破片で、下部が胴部に近い部分カ。厚い平底で、中期末のものと推定される。 焼成良好。胎土粗。長石、石英を多く含む。輝石を含む。径1.5mm以下の白色、赤色の小礫を少量含む。	形式不明 （中期末カ）
10 第114図 図版59	P-4186 土製円板	4-1区 KU	2.95 3.0 1.05	10.0	完形品。土器片を磨って円形にしている。右側面～下面を擦っている。裏面は加工なし。 土器製作時の磨きのみ。やや磨滅している。土器は胴部破片で表面にLRの縄文を施文。 焼成良好。胎土密。長石を多く含む。輝石、石英を含む。金雲母を少量含む。	加曽利E3～4式カ
11 第114図 図版59	P-4527 土製円板	4-1区 KU	(3.7) 3.1 1.1	16.2	上部を一部欠損する。土器片の周囲を磨り、円形にしている。土器は無文の胴部破片。 厚みがあり、中期末と推定される。焼成良好。胎土密。輝石、長石を含む。石英、赤色粒 子を少量含む。	形式不明 （中期末カ）
12 第114図 図版59	P-2815 土製円板	4-1区 AN	3.5 3.6 1.3	13.8	完形品。土器片を磨り、平面卵形にしている。左側面は割れたままの面で、右側面～下面にかけて、擦っている。土器は無文の胴部破片。焼成良好。胎土密。長石、赤色粒子を含む。径1.5mm以下の灰色の小礫を含む。	形式不明 （中期末カ）



第114図　縄文時代中期土製品実測図

第5節　縄文時代早期末～前期初頭の遺構

縄文時代早期末から前期初頭の遺構、遺物は今回の調査区の北端にあたる5－1区より検出された。西側は東名高速道路建設の際に第一次調査が行われ、縄文時代中期から後期にかけての集落址が検出されている。今回の調査中、調査地区の北側部分で昭和44年に行われた第二次調査の際のトレンチ跡を検出した。この時の調査では、この地区に中期の遺構がなく、農地として使用されるために下層までの破壊が進まないことから、FB層には数カ所テストピットを入れたのみで、遺跡の保存を行なったようである。中期を中心とした調査であったが、早期の遺物も若干の出土があったと当時の調査担当者は報告している。その後、畑の耕作により縄文時代中期の包含層の大半は失われてしまったようだ。今回の調査では表土直下に当たるFB層～ZN層より住居址、土坑、焼土等が検出されている。地形的には両端に浅い谷のある尾根上で、南側に緩く傾斜しているがほぼ平坦な地形である。遺構の分布を第115図に示す。

1　住居址

調査区の北寄りで3軒検出された。各住居址の覆土から出土した土器を117図と120図に示したが、全て早期末～前期初頭の下吉井式の時期のものである。いずれの住居も硬く明瞭な床面はなく、床面には薄く炭化物が広がるのみであった。

SB-04は5－1区北側でZN層を精査中、FB層の落ち込みを検出した。第116図に示す。当初は根の攪乱などによって外形が不明瞭であったが、径約2.5m弱の円形で、掘り込みの深さは33cmである。浅い谷に面する北東側に、一段掘り込みが浅い部分が存在し入口を思わせる。また、床の上には大形の石皿（第136図54）が平坦面を下にして置かれていた。焼土は検出されなかったが、ほぼ中央に炭化物が分布している。柱穴は不明瞭で、5カ所で小穴を検出したが、径が10～26cm、深さは10～20cmでやや貧弱である。覆土内の出土土器を第117図1～15に示す。第117図の1は床面より検出された土器である。器壁に条痕文が残るやや薄手の土器であることから、下吉井式でも古い要素を持つと考えられる。覆土中位から出土している4～7も同時期の物と考えられる。このためこの住居は下吉井式の時期でも古い段階の時期で比較的短期間で廃絶されたと考えられる。覆土中位には9～11のような器壁がやや厚く低い隆帯を持つ新しい要素の土器も混ざっている。

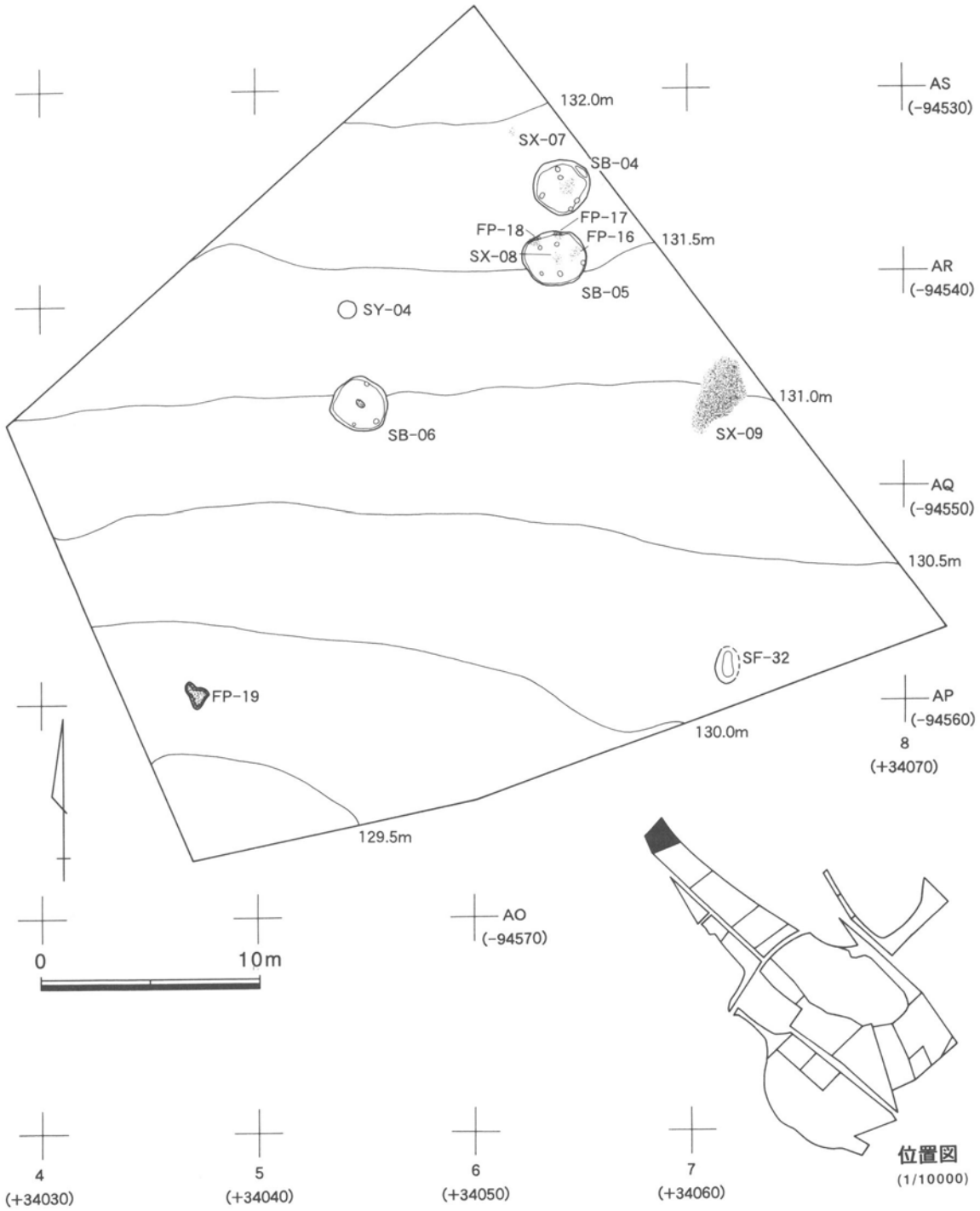
SB-05は5－1区の北側でZN層を精査中、SB-04の南に近接した部分でFB層の落ち込みを検出した。第118図に示す。短径2.4m、長径2.8mの南北方向に長い楕円形である。深さは約20cmが残存している。覆土は中央の径2mが得に暗い色調となっている。覆土中より下吉井式の土器片が出土している。覆土上部には焼土が4カ所検出されたが、床面での明瞭な焼土は検出されず、床面中央に炭化物が分布するのみである。柱穴は不明瞭で、5カ所で小穴を検出したが、径が9～25cm、深さが11cm～31cmとやや貧弱なものが多い。覆土内の出土土器を第117図16～19に示すが非常に出土した土器が少なかった。床面から出土した土器は口縁部に太い隆帯を持つという新しい要素を持つが、隆帯上に貝殻背圧痕を施すという古い要素も合わせ持つ。覆土中位出土の13は胎土から新しい段階のものと思われ、上位には細い隆帯を持つ薄手の土器とやや厚手の土器が含まれている。

SB-06は5－1区中央のやや北寄りでZN層を精査中、FB層の落ち込みを検出した。第119図に示す。径約2.5m弱の円形で、掘り込みの深さは約30cmである。覆土中には遺物が多く、下吉井式の土器片が出土している。床近くでは細かい黒曜石の砕片が多く、土器はほんどなかった。ほぼ中央に地床炉を持ち、短径30cm、長径40cmの楕円状の固く焼きしまった焼土が検出された。柱穴は不明瞭で、3カ所で小穴を検出したが、径17～20cm、深さ15～22cmで非常に貧弱である。覆土内の出土土器を第120図に示す。床面

では土器が検出されていないが、覆土中位には薄手の古い要素を持つ土器を中心として比較的大きな破片が出土したため、古い段階で住居址が廃絶し、そこに土器が捨てられたものと考えられる。28や27などの大形の土器片は床よりも10cmほど浮いており、住居の廃絶後に廃棄されたものと思われる。

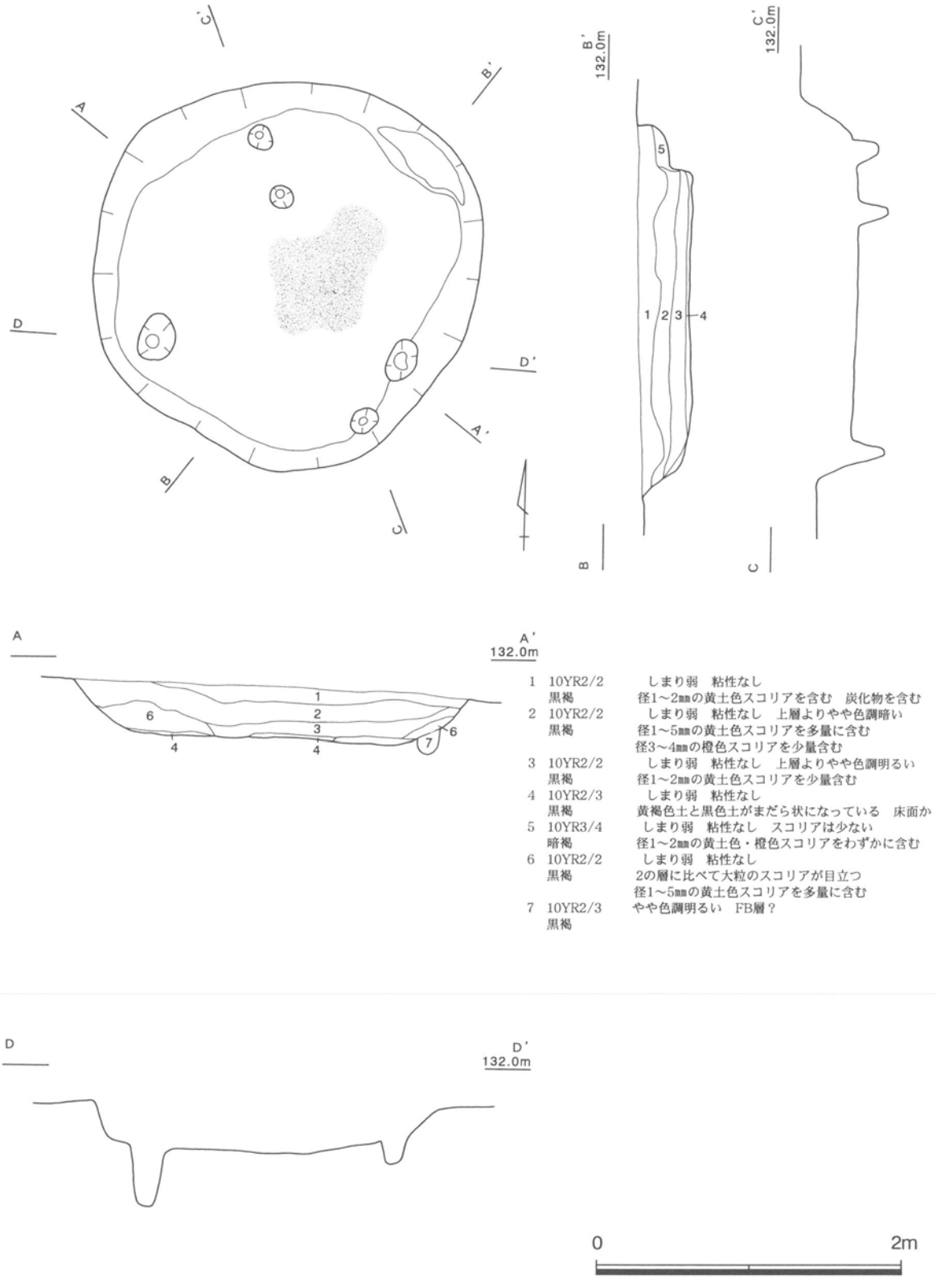
2　集石

SY-04は５－１区北側中央で検出された。第121図に示す。礫が６点固まって出土した。全て受熱により赤化している。表土に近く上部は耕作で破壊され、底部だけが残ったたものと考えられる。



第115図　縄文時代早期末～前期初頭遺構分布図

SB-04

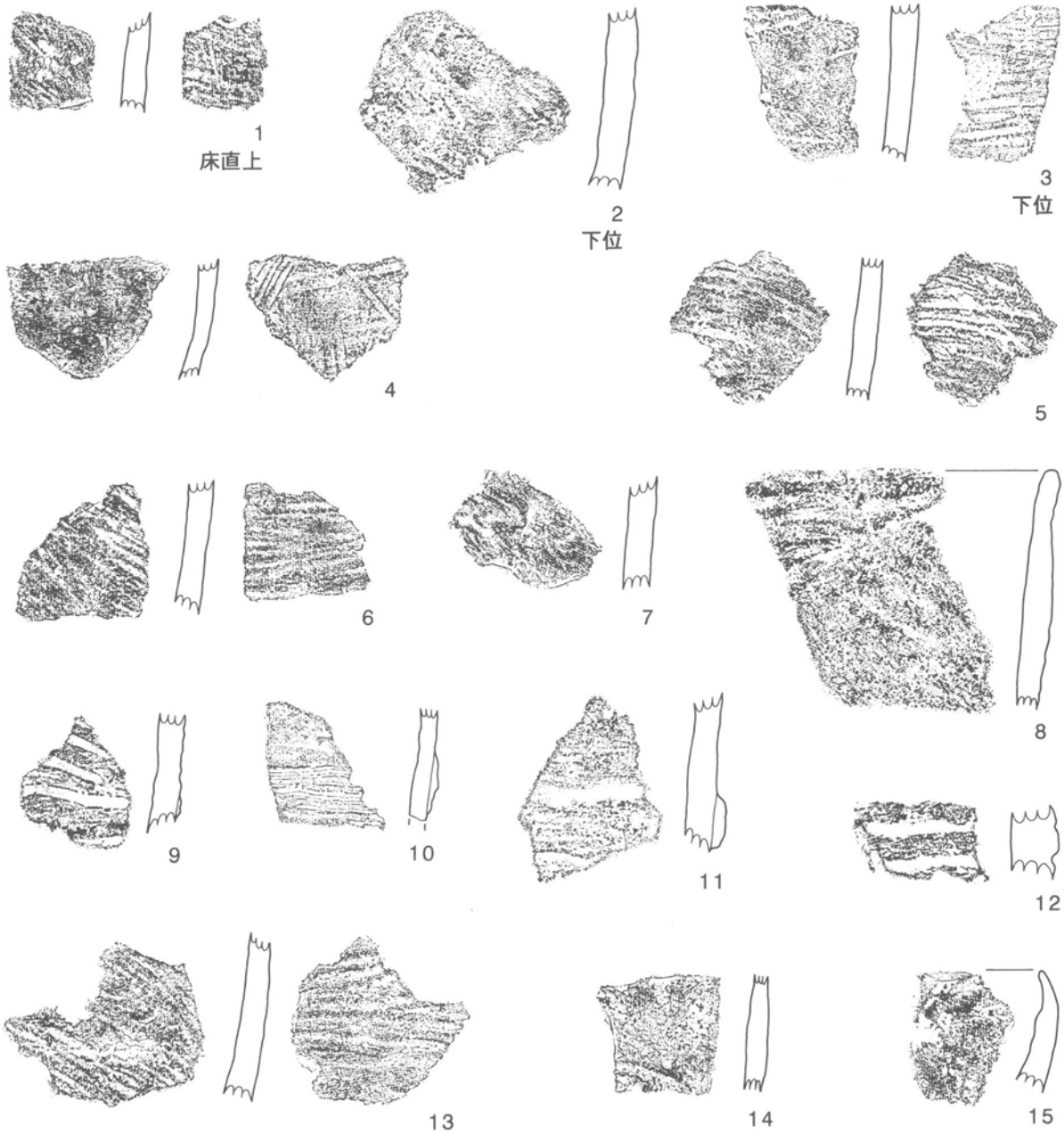


1	10YR2/2 黒褐	しまり弱　粘性なし 径1～2㎜の黄土色スコリアを含む　炭化物を含む
2	10YR2/2 黒褐	しまり弱　粘性なし　上層よりやや色調暗い 径1～5㎜の黄土色スコリアを多量に含む 径3～4㎜の橙色スコリアを少量含む
3	10YR2/2 黒褐	しまり弱　粘性なし　上層よりやや色調明るい 径1～2㎜の黄土色スコリアを少量含む
4	10YR2/3 黒褐	しまり弱　粘性なし 黄褐色土と黒色土がまだら状になっている　床面か
5	10YR3/4 暗褐	しまり弱　粘性なし　スコリアは少ない 径1～2㎜の黄土色・橙色スコリアをわずかに含む
6	10YR2/2 黒褐	しまり弱　粘性なし 2の層に比べて大粒のスコリアが目立つ 径1～5㎜の黄土色スコリアを多量に含む
7	10YR2/3 黒褐	やや色調明るい　FB層？

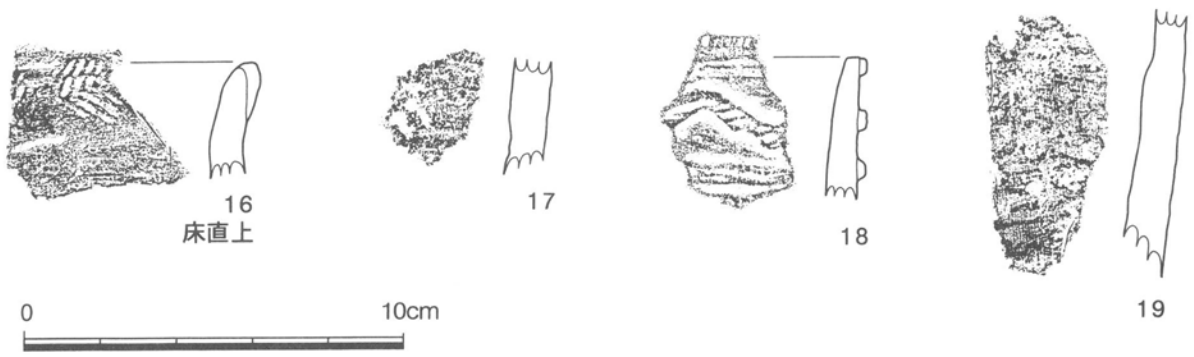
0　2m

第116図　縄文早期末～前期初頭遺構図１（SB-04）

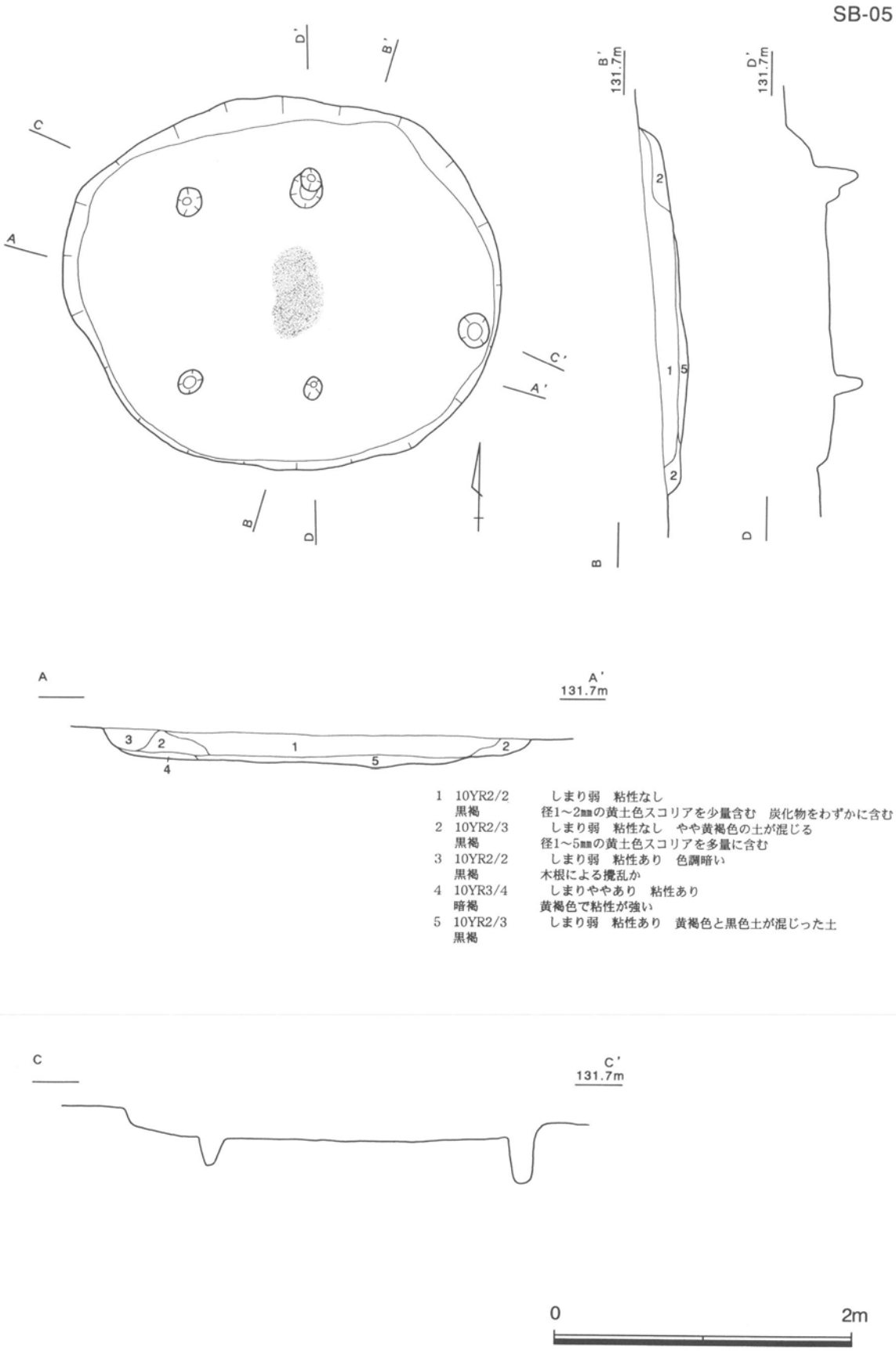
SB-04覆土内出土土器



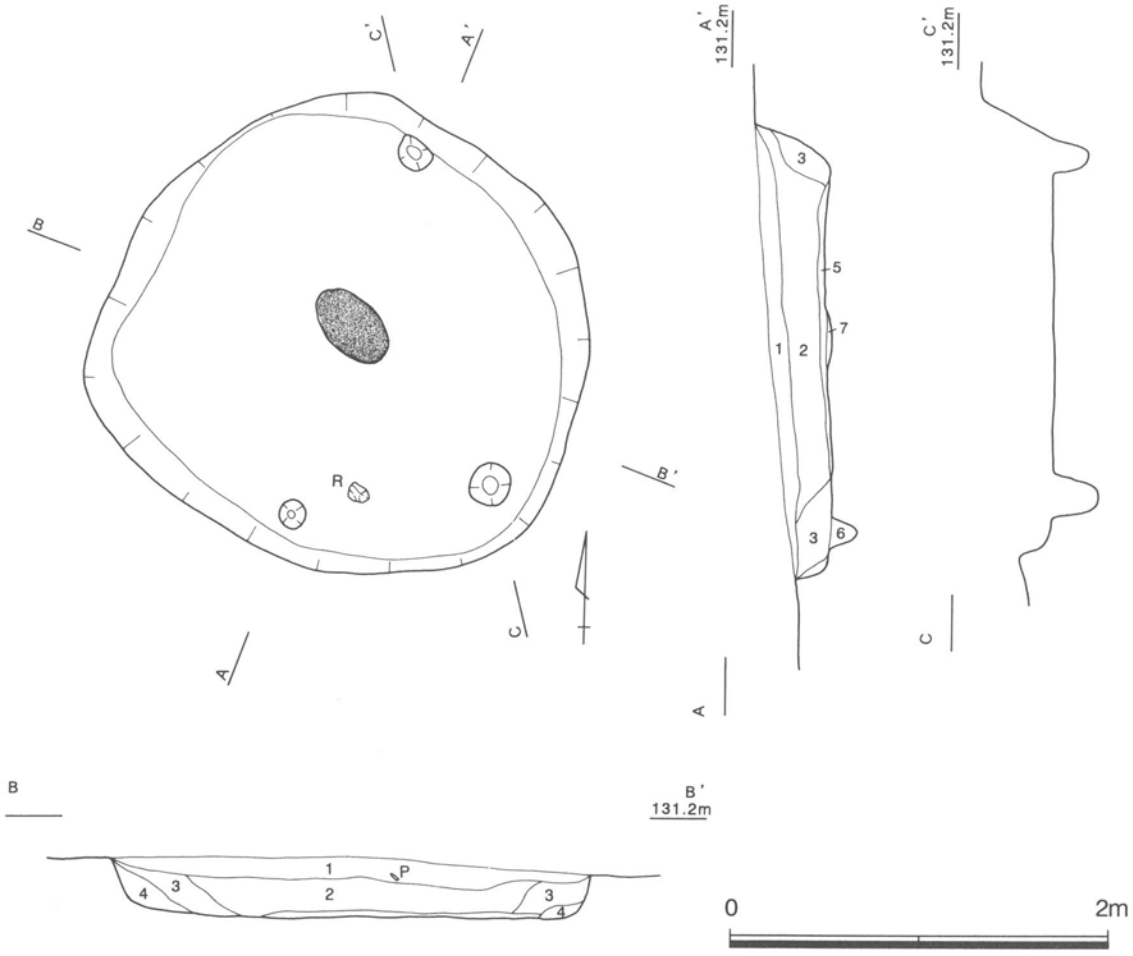
SB-05覆土内出土土器



第117図　SB-04・SB-05覆土内土器

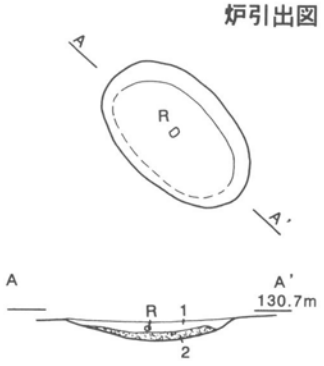


第118図　縄文早期末～前期初頭遺構図２（SB-05）



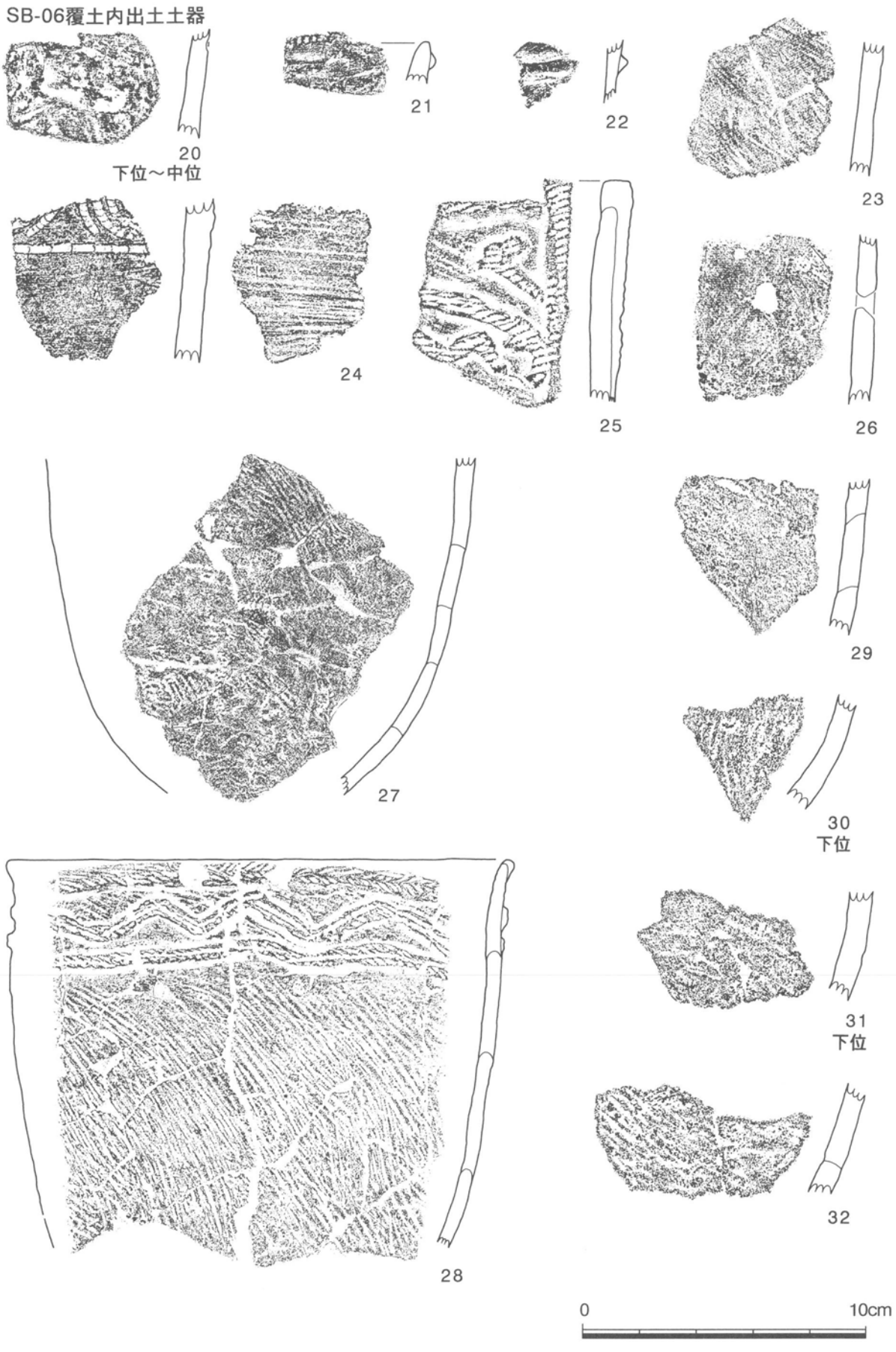
1 10YR2/2～2/3 しまり弱 粘性なし 下層よりやや色調明るくスコリアが多い
黒褐 径1～5㎜の黄土色スコリアを多量に含む 炭化物を含む
2 10YR2/2 しまり弱 粘性なし 上層よりやや色調暗くスコリアが少ない
黒褐 径1～2㎜の黄土色・橙色スコリアを多く含む 炭化物を含む
3 10YR2/3 しまり弱 粘性なし ブロック状に黄褐色の土が混じる
黒褐 径2～5㎜の赤色・橙色スコリアを含む
4 10YR2/3 しまり弱 粘性弱 やや色調が明るい
黒褐 径1～2㎜の赤色・黄土色スコリアをわずかに含む
5 10YR3/3 しまり弱 粘性あり
暗褐 漸移層のような土 炭化物を含む
6 10YR3/4 しまり弱 粘性あり
暗褐 スコリアを含まない
7 10YR2/2 しまりなし 粘性あり
黒褐 径1～15㎜の焼土粒を含む 径2～3㎜の炭化物を含む

炉引出図



1 10YR2/2 しまりなし 粘性あり 径1～1.5㎜の焼土を含む
黒褐 やや色調暗い 径2～3㎜の炭化物を含む
2 10YR4/6 しまりあり 粘性なし 色調の明るい土で固く焼きしまる
にぶい黄橙 上面はやや赤く見えるが焼土はない
固く焼けた土に暗色(10YR2/3)の土がブロック状に落ち込む
暗色(10YR2/3)の土には焼土が混じる

第119図 縄文早期末～前期初頭遺構図3 (SB-06)



第120図　SB-06覆土内土器

第27表　5-1区住居址内出土土器

番号	遺物番号	遺構	覆土内位置	分類	遺物実測図・観察表
1	P-1937	SB-04	床直上	第1群b類	127図38
2	P-1934	SB-04	下位	不明（3群カ）	131図103
3	P-1894	SB-04	下位	不明（3群カ）	131図101
4	P-1818	SB-04	中位	第1群b類	127図36
5	P-1951	SB-04	中位	第1群b類	127図35
6	P-1820	SB-04	中位	第1群b類	127図37
7	P-1908	SB-04	中位	第1群b類	127図39
8	P-1869	SB-04	中位	第4群d類	131図96
9	P-1935	SB-04	中位	第3群	129図60
10	P-1873	SB-04	中位	第3群	129図68
11	P-1933	SB-04	中位	第3群	129図66
12	P-1930	SB-04	中位	第4群a類	130図85
13	P-1871	SB-04	上位	第1群b類	127図40上半部
14	P-1867	SB-04	上位	不明（第1群b類カ）	131図104
15	P-1751	SB-04	上位	不明	131図98
16	P-1969	SB-05	床直上	第4群a類	130図83
17	P-1835	SB-05	中位	不明（3群カ）	131図106
18	P-1832	SB-05	上位	第1群a類	125図11
19	P-1833	SB-05	上位	不明（3群カ）	131図100
20	P-1954	SB-06	下位～中位	不明（3群カ）	131図105
21	P-1960	SB-06	中位	第1群a類	125図14
22	P-1959	SB-06	中位	第1群a類	125図15
23	P-1741、1860、1944	SB-06	中位～上位	不明（3群カ）	131図102
24	P-1770	SB-06	上位	第3群	129図56
25	P-1814	SB-06	上位	第1群a類	125図10
26	P-1736	SB-06	上位	不明（2～3群カ）	131図99
27	P-1973	SB-06	中位	第1群b類	127図30
28	P-1970、1971、1972、2001、1735	SB-06	中位	第1群b類	126図22
29	P-1737	SB-06	中位～上位	第1群b類	127図34
30	P-1813	SB-06	下位	第1群b類	127図31
31	P-1861	SB-06	下位	第1群b類	127図33
32	P-1738	SB-06	上位	第1群b類	127図32

3　陥穴

陥穴と考えられる遺構は調査区の南端のやや東よりで1基検出された。SF-32である。第121図に示す。5－1区でテストピット掘削中、YL層上にFB層が落ち込んでいた。すでに一部がテストピットの掘削作業により削平されてしまっているが、短径85cm、長径151cmの楕円形で、谷に面する南北方向に長い。深さは残存値58cmで、底部はっBB0層上面まで掘込んでいる。落ち込んでいる土がFB層であるため、掘込み面は20cm程度上であると推定される。

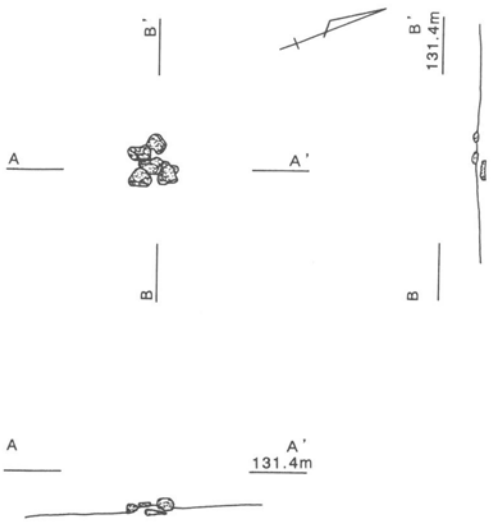
4　焼土・炭化物の集中地点

焼土が4カ所、炭化物の集中地点が3カ所検出された。焼土の状況を第122図に図示する。

FP-16～18は5－1区北側でSB-05の覆土精査中に検出された。FP-16は径30cmの範囲に1～2㎜の細かい焼土粒が分布する。上面より、焼けて赤化した磨石1点が出土した。FP-17は径30cmの範囲に径1～3㎜の細かい焼土粒が分布する。FP-18は径30cmの範囲に1～2㎜の細かい焼土粒が分布する。

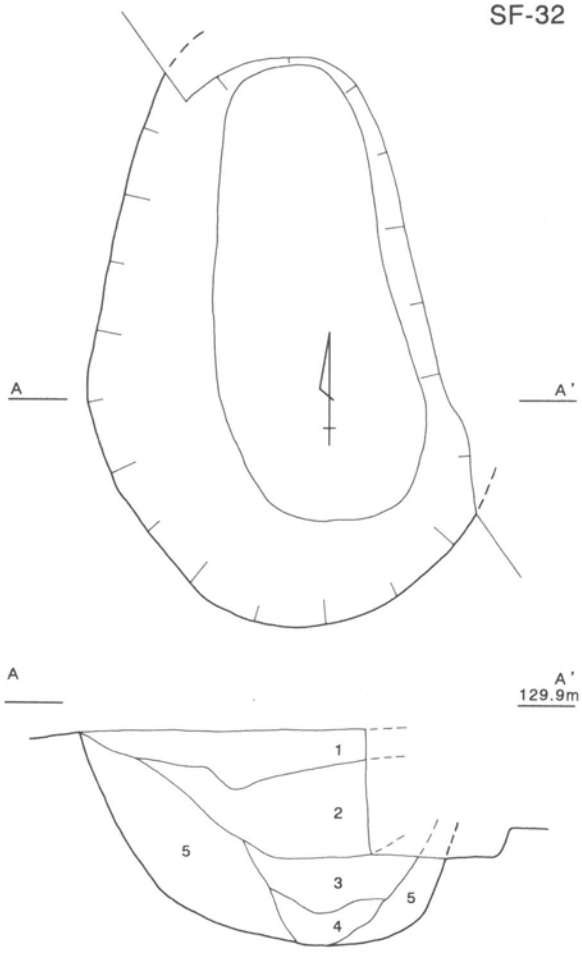
FP-19は5－1区南西隅で表土直下のFB層精査中に検出された。短径50cm、長径60cmの範囲で焼土と炭化物が分布し、周囲にもわずかに散る。

SY-04



遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
SY-04	ZN層	6	6	50cm×40cm	不明	不明	0.3kg

SF-32



1 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性弱　色調暗い
径3～7㎜の橙色スコリアを含む
粒の大きいスコリアが目立つ

2 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性あり
上層よりやや色調明るい
径2～3㎜の橙色・黄土色スコリアを含む
炭化物を少量含む

3 10YR2/3 黒褐　しまりあり　粘性あり
上層と色調は変わらないがやや粘性が強い
径1～2㎜の黄土色スコリアを含む
粒の大きいスコリアが目立つ

4 10YR3/3 暗褐　しまりあり　粘性あり
上層に比べやや色調明るい
粘性が非常に強い
スコリアをほとんど含まないが
径1～2㎜の黄土色スコリアをわずかに含む

5 10YR3/3 暗褐　しまりなし　粘性弱
FB層とYL層が混じったような土
径3～4㎜の赤色スコリアをわずかに含む

0　1m

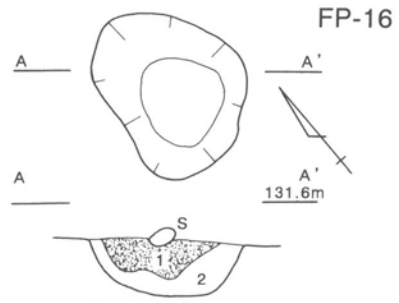
遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-32	5-1区	(151)	(85)	(58)	

第121図　縄文早期末～前期初頭遺構図４（土坑等）

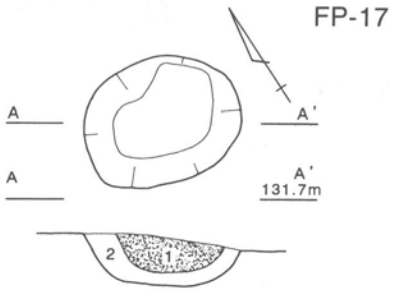
SX-07は５－１区北端でFB層掘削中に検出された。短径28cm、長径46cmの範囲に炭化物と焼土粒が薄く分布している。

SX-08は短径20cm、長径30cmの範囲に１～２㎜の細かい焼土粒が分布する。SB-05の覆土中にあり、SB-04の南東側にあたる。

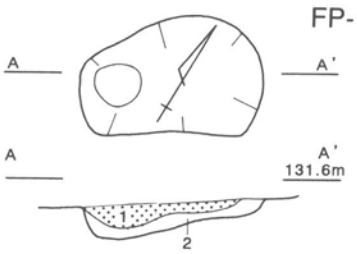
SX-09は５－１区北東で、FB層下部を精査中に２m～３mの範囲で炭化物の分布を検出した。焼土は検出されなかった。炭化物は大きなもので５㎜程度、２～３㎜のものが多い。部分的に炭化物の多いカ所がある。炭化物は表面に薄く分布し、斜面に沿って流れているようである。



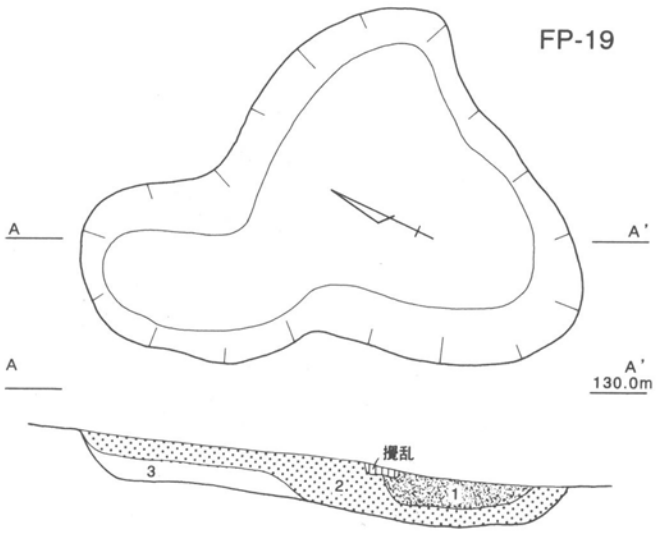
1　7.5YR2/2　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　径1～2㎜の焼土粒を多量に含む
　径3～4㎜の炭化物を含む
2　10YR2/3　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　やや色調明るい
　径1㎜以下の焼土粒を含む



1　7.5YR2/2　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　焼土が多く赤く見える
　焼土粒を多量に含む
　炭化物を含む
2　7.5YR2/2　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　やや色調暗い
　焼土粒・炭化物をわずかに含む



1　10YR2/3　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　径1～2㎜の焼土粒を含む
2　10YR2/3　黒褐
　しまり弱　粘性なし
　径1㎜以下の焼土粒をわずかに含む



1　7.5YR3/3　暗褐　土が赤く見える
　径1～2㎜の焼土粒と炭化物を多量に含む
2　7.5YR2/2　黒褐　色調やや暗い　やや赤く見える
　径1～3㎜のやや大きめの焼土粒を含む　炭化物を含む
3　10YR2/2　黒褐　色調さらに暗い　あまり赤く見えない
　径1㎜以下の焼土粒をわずかに含む　炭化物を少量含む

第122図　縄文早期末～前期初頭遺構図５（焼土）

第6節　縄文時代早期末～前期初頭の遺物

5－1区からは第4節で取り上げた中期の土器がわずかに出土したほかは、ほとんどの遺物が早期末から前期初頭に位置付けられている条痕文系の下吉井式の段階にある土器であった。住居址が検出されたことから、5－1区付近を中心として、この時期の生活址が存在したと考えられるが、北側は東名高速道路建設、南側は構造改善事業により削平され、その範囲を確認することは現在では不可能となっている。

1　土器

ここでは5－1区から出土した条痕文系の土器を取り上げる。主なものを第123図～第129図に図示する。器形や文様などから下吉井式期の土器と考えられる。隆帯と施文方法の違いから、次の4群に大別される。

(1)　第1群土器

口縁部に細い隆帯を用いて文様を表現する土器。内外面に条痕があり器壁は薄い。

a類は、細い隆帯を貼付け、隆帯上に貝殻による背圧痕を残すものである。結果として細い隆帯がつぶされたような形となり、幅が一定ではなくなる。第123図に示す。1～9は文様は下垂する隆帯を張り付け、直線と波状の文様を持つ。10は下垂する隆帯があり、文様帯の幅が広く、複雑な文様を持つ。11は直線的な隆帯の間に波状の隆帯を持つもので、文様帯の幅も狭い。

b類は内外面とも条痕が明瞭で器壁を薄く仕上げる。これに細い隆帯を貼付け、隆帯上に貝殻の側縁圧痕を施すものである。第124～125図に示す。17～20は同一個体と考えられ、下垂する隆帯を張り付け、直線と波状の文様を持つ。22は直線的な隆帯の間に波状の隆帯を持つものである。24は底部で、緩やかに丸くなりながらも尖る。30も比較的接合した胴部破片である。緩やかに底部に向かって丸みを帯びる。

(2)　第2群土器

太い隆帯を貼付け隆帯上に太い押し引きをするもの。器壁はやや薄い。器面調整はかすかに横方向にの条痕はほとんど見られない。第126図に示す。52・54は波底部に弱い突起を持つ波状口縁である。

(3)　第3群土器

口縁部に文様帯があり、文様帯と胴部の境に太く低い隆帯を貼付ける。隆帯上は横または斜め方向の条痕を施す。文様は押し引きまたは沈線で曲線を多用した文様を表現している。器壁がやや厚い。条痕は内面の特に胴部から底部にかけては明瞭である。第127図～128図74に示す。

(4)　第4群土器

文様帯がほとんど存在しないものである。

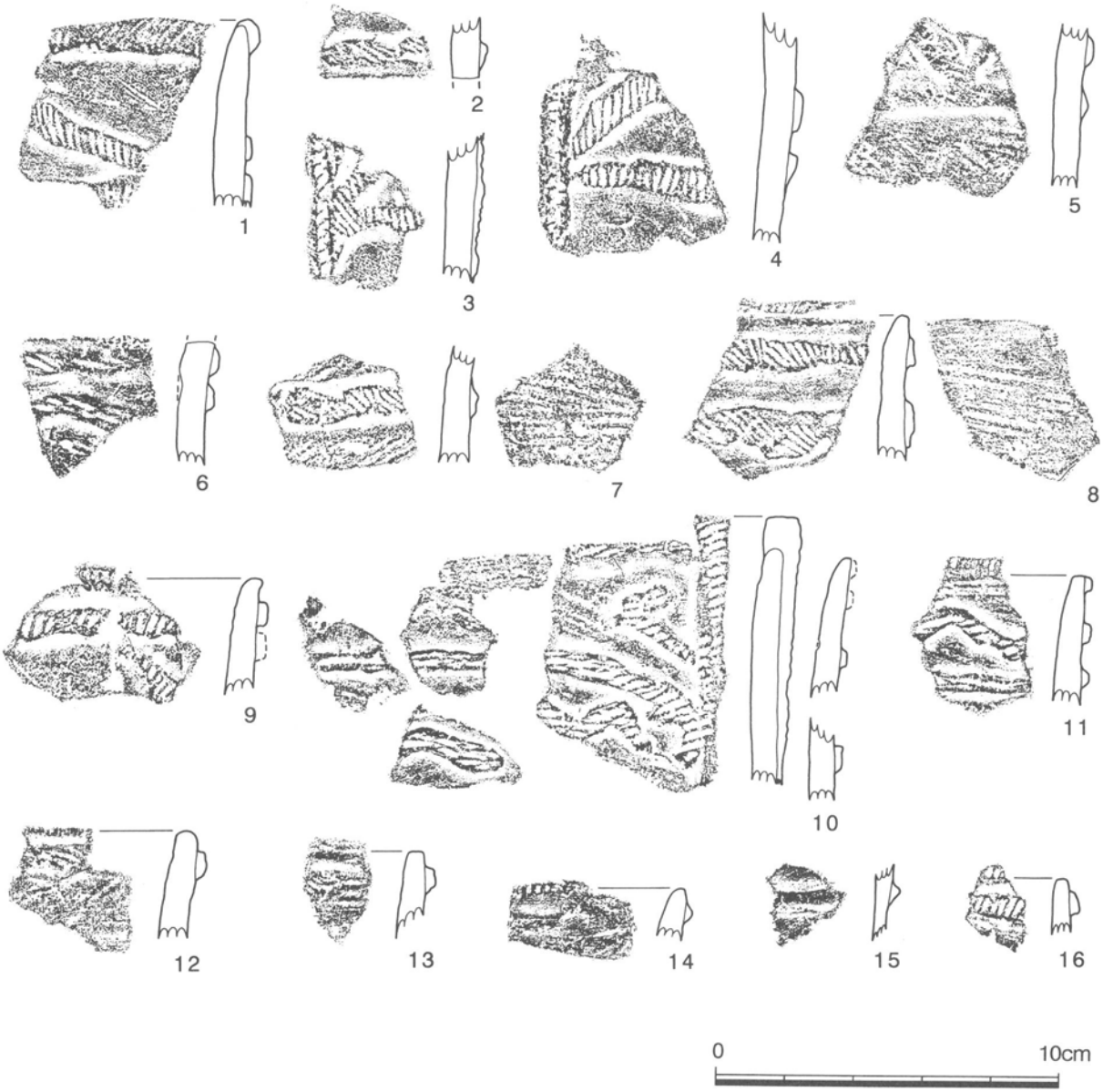
a類は口唇部のみわずかに条痕や沈線による文様が残る。第128図75～85に示す。83は口唇部外側に隆帯があり、隆帯上に貝殻背圧痕を施文しており、古い時期のものである可能性がある。

b類は口縁部文様帯がなく、器面に半裁竹管の斜めの沈線が付けられている。これに属するものは第130図86のみである。やや小形である。

c類は太い粘土紐を口縁部付近に貼付けるもの。無文で条痕がなく、器面が粗い。第129図87～90に示す。87・88は隆帯が非常に太く、繊維を多く含む。

d類は無文で口唇部のみがわずかに厚くなるもの。条痕が無く、器面が粗い。第129図91～97に示す。器面調整の粗いものが多い。

この他、破片のため、分類できなかったものについて第129図98～107に示した。99は補修孔が残る。107は底部の破片である。

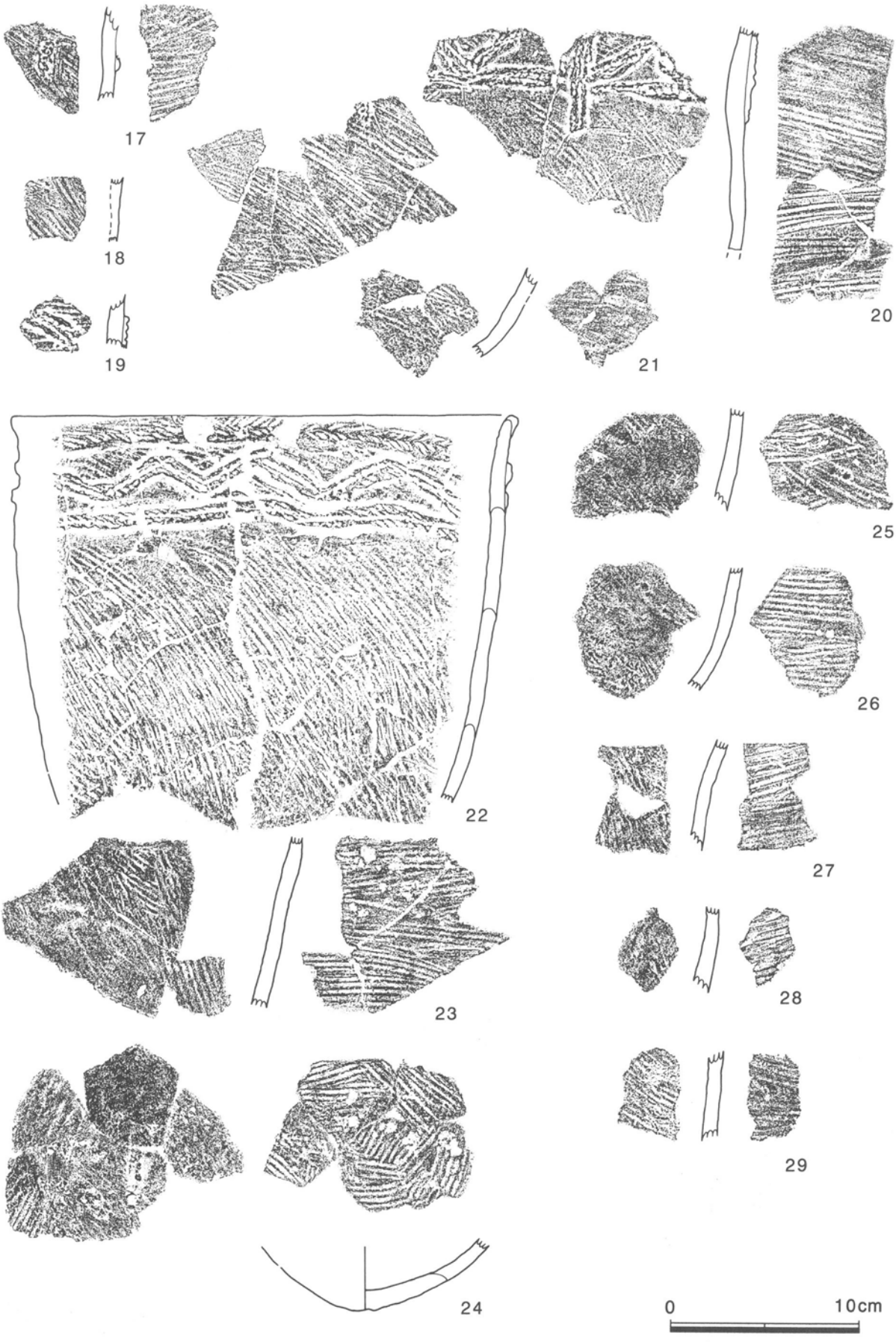


第123図　縄文早期末～前期初頭土器１（１群ａ類）

第28表　第１群土器観察表

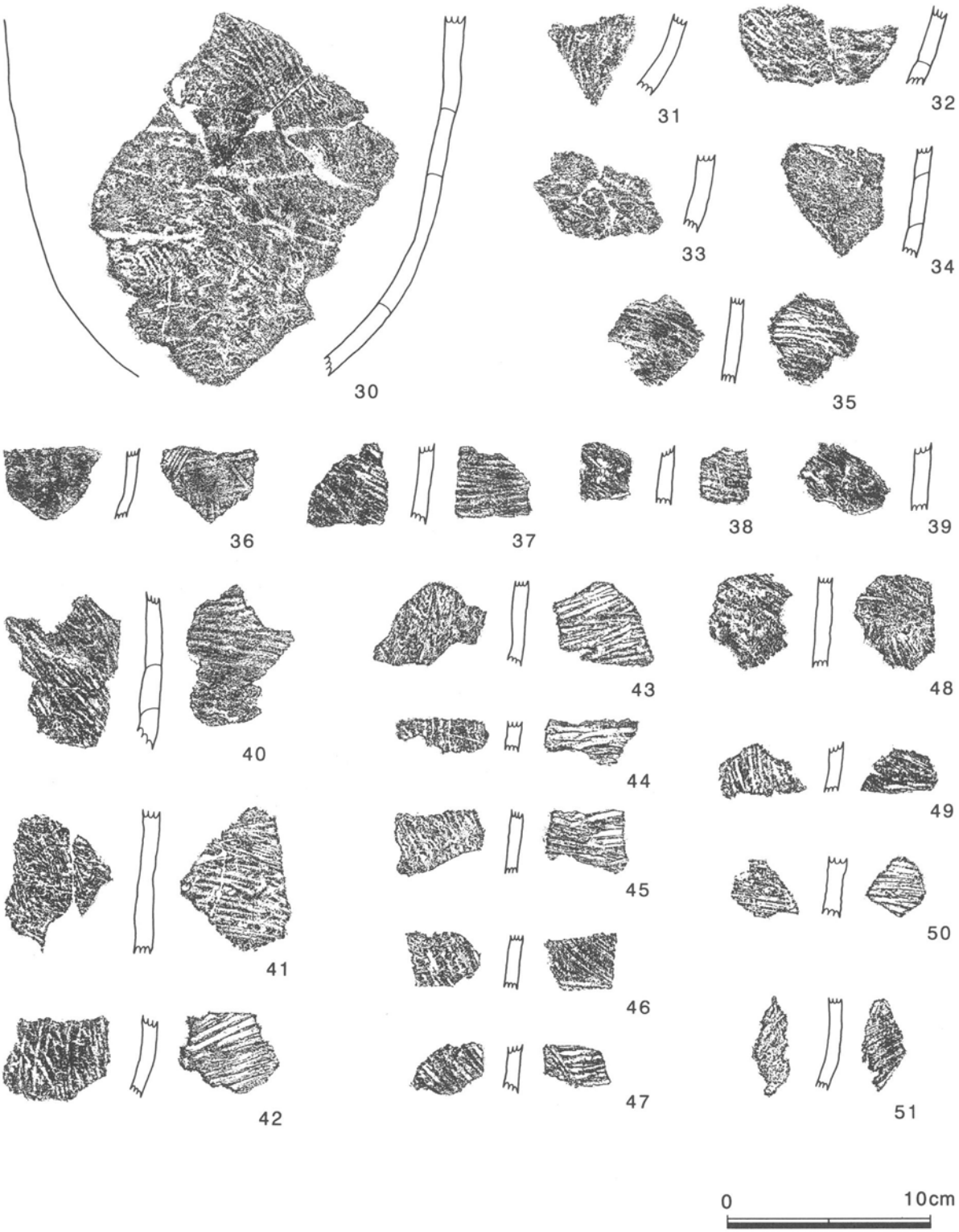
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
1～2 第123図 図版69	P-1610、1580	5-1区 FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢 平縁	口縁部文様帯破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁部に２本の隆帯を回し、その中に波状の隆帯がめぐる。隆帯には貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片、繊維を含む。	第１群a類 焼成良好 胎土密
3～4 第123図 図版69	P-1629、1247	5-1区 KU・FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢	口縁部文様帯破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 直線と曲線の２本の隆帯が残存する。隆帯には貝殻背圧痕を施文。下垂する短い隆帯があり、これには貝殻側縁の沈線を施文する。 (2) 石英、輝石、白色岩片、繊維を含む。	第１群a類 焼成良好 胎土密
5 第123図 図版69	P-1621	5-1区 FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢	口縁部文様帯破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 直線と曲線の２本の隆帯が残存する。隆帯には貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第１群a類 焼成良好 表面磨滅 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
6 第123図 図版69	P-1192	5-1区 KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢	口縁部文様帯破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/6　黄褐	(1) 直線と波状の2本の隆帯が残存する。隆帯には貝殻背圧痕を施文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。長石を少量含む。	第1群a類 焼成良好　表面磨滅 胎土密
7～8 第123図 図版69	P-1609、 1017	5-1区 AN・ FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平縁	口縁部文様帯破片 10YR5/3 にぶい黄橙 7.5YR6/6　橙	(1) 口唇部に上から貝殻背圧痕を施す。口縁下部に隆帯を2本横方向に直線的に回し、隆帯上に貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片、繊維を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
9 第123図 図版69	P-1722	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部文様帯破片 7.5YR4/2　灰褐 5YR5/6　明赤褐	(1) 口唇部に上から貝殻背圧痕を施す。口縁下部に直線と曲線の隆帯を2本貼付け、隆帯上に貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
10～11 第123図 図版69	P-1814、 1084、1090、 1403、1832	5-1区 AN・ FB・ SB-06 覆土・ SB-05 覆土 SB-06、 SB-05、 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁カ	口縁部文様帯破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/3 にぶい黄橙	(1) 口唇部に隆帯を付け、下に複数の隆帯で曲線的な文様をつける。隆帯上は貝殻背圧痕を施す。口唇部内側にも背圧痕をつける。 (2) 石英を多く含む。輝石、白色粒子、白色岩片、径6㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
12～13 第123図 図版69	P-1581、 1977	5-1区 FB・ ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井または塩屋式	深鉢 平口縁	口縁部文様帯破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口唇部に背圧痕をつける。口縁に沿って2本の隆帯を巡らせる。隆帯上には貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
14～15 第123図 図版69	P-1960、 1959	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井または塩屋式	深鉢カ 平口縁カ	口縁部文様帯破片 10YR4/2　灰黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 口唇部に背圧痕をつける。口縁に沿って細い隆帯を巡らせる。隆帯上の施文は磨滅により不明瞭だが、貝殻背圧痕か。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
16 第123図 図版69	P-1817	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井または塩屋式	深鉢カ 平口縁カ	口縁部文様帯破片 7.5YR4/3　褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部に背圧痕をつける。口縁に沿って隆帯を巡らせる。隆帯上には貝殻背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。	第1群a類 焼成良好 胎土密
17～20 第124図 図版69	P-1632、 1481、1640、 1259-1763- 1639-1718- 1604、 312-2013	5-1区 AN～ ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢	口縁部文様帯破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR4/3　褐	(1) 口縁部に平行する隆帯と、波状の隆帯を回し、短い隆帯を下垂させる。隆帯上には貝殻側縁沈線を二重につける。胴部は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
21 第124図 図版69	P-1496、 1533、1651	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR4/4 にぶい赤褐 10YR3/2　黒褐	(1) 外面条痕文。内面は不明瞭だが、条痕カ。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
22 第124図 図版70	P-1970- 1971-1972- 2001-1735	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁～胴部3/4残存 7.5YR4/2　灰褐 10YR5/2　灰褐	(1) 口縁部とその下に2本の隆帯を貼付けて文様帯を作る。隆帯には背圧痕を付けた後に側縁で沈線をつける。 (2) 石英、輝石、5㎜以下の赤色岩片、6㎜以下の小礫を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
23 第124図 図版69	P-311、 1351	5-1区 AN～ ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 5YR6/6　橙	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
24 第124図 図版69	P-999、 1112、1573、 1006	5-1区 AN・ FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 尖底	底部破片 5YR4/6　赤褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密



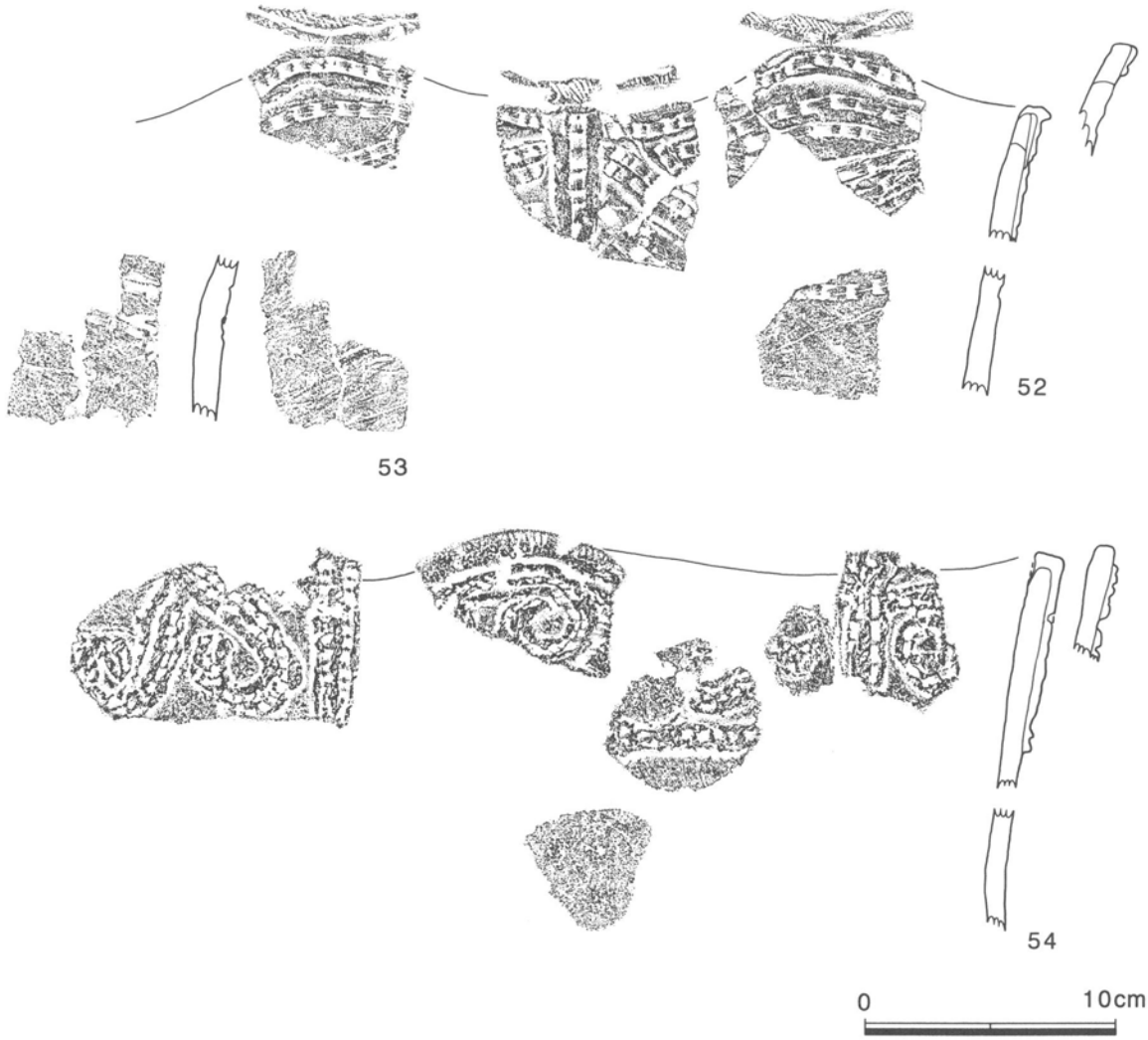
第124図　縄文早期末～前期初頭土器２（１群ｂ類）

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
25 第124図 図版69	P-1018	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
26 第124図 図版70	P-1026	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
27 第124図 図版70	P-1547- 1696	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/5　明褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
28 第124図 図版70	P-1009	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
29 第124図 図版70	P-1905	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR6/4 にぶい黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
30～34 第125図 図版70	P-1973、 1861、1737、 1813、1738	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 10YR3/2　黒褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片、径3㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
35 第125図 図版70	P-1951	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR4/4 にぶい赤褐 10YR4/3 にぶい黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
36 第125図 図版70	P-1818	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/6　褐 7.5YR6/4 にぶい褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
37 第125図 図版70	P-1820	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR4/4 にぶい赤褐 7.5YR4/4　褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
38 第125図 図版70	P-1937	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR6/4 にぶい褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、3㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
39 第125図 図版70	P-1908	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 外面に条痕文。内面も不明瞭だが条痕文があると考えられる。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
40 第125図 図版70	P-1871- 1544	5-1区 SB-04 覆土・ FB SB-04・ 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/4　褐 7.5YR4/2　灰褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密



第125図　縄文早期末～前期初頭土器３（１群ｂ類）

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
41 第125図 図版70	P-1085	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 10YR4/2 灰黄褐 10YR4/2 灰黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
42 第125図 図版70	P-1250	5-1区 KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR4/6 赤褐 10YR4/2 灰黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
43 第125図 図版70	P-1483	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/6 橙	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
44 第125図 図版70	P-1163	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/6 褐 10YR3/2 黒褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
45 第125図 図版70	P-1695	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR3/2 黒褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
46 第125図 図版70	P-1727	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR4/2 灰黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
47 第125図 図版70	P-1713	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
48 第125図 図版70	P-1422	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6 明褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
49 第125図 図版70	P-1575	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6 明赤褐 10YR3/2 黒褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
50 第125図 図版70	P-1657	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6 明褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、白色粒子を含む。長石を少量含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密
51 第125図 図版70	P-1306	5-1区 KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 内外面に条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類 焼成良好 胎土密



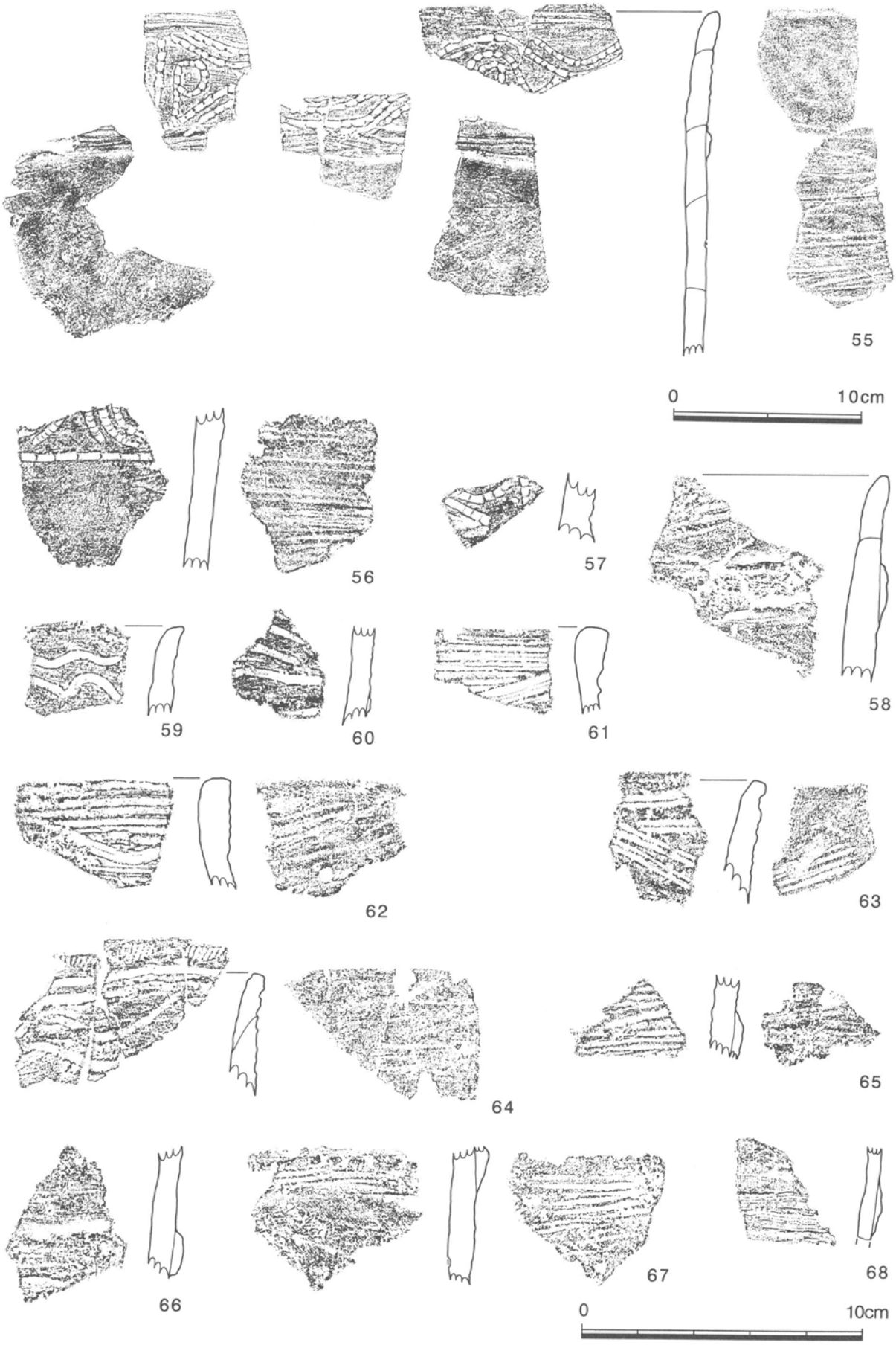
第126図　縄文早期末～前期初頭土器４（２群）

第29表　第２群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
52 第126図 図版71	P-259、1354、1385、1386、1387、1570、1703、	5-1区 AN～FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口縁部に幅広の隆帯を２列、互い違いの波状に貼付け、波底部の隆帯の接近部分に短い隆帯を下垂させる。隆帯上に太いヘラ状の工具で押し引きをする。また、隆帯の下の器壁にも押し引きをしている。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。 同一個体：P-276、277、262-1637、1704、263、1147、1885、1896	第２群 焼成良好 胎土密
53 第126図 図版71	P-1078、1196、1325	5-1区 AN～FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 10YR3/2 黒褐 10YR4/2 灰黄褐	(1) 太いヘラ状の工具で押し引きをする。52と同一カ。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第２群 焼成良好 胎土密
54 第126図 図版71	P-1673-1672、979-1562、1291、1345、1674-1567-1543	5-1区 AN～FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 7.5YR5/6 明褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 太い隆帯でワラビ状の渦巻き文様を表現する。文様間は短い隆帯が下垂する。隆帯上は角棒状の工具で二列の押し引きをする。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片、黒色岩片、径３㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。 同一個体：1565、1290、1370、1165、1671、2005、1287、1542、1675、988、1143、981、1446、1564、1293、1167、1344、1288、1479、973、978	第２群 焼成良好 胎土密

第30表　第３群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
55 第127図 71	P-1336- 1217、1668、 1681-1682、 1209-1587、 1466	5-1区 KU～ FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部～胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR4/2　灰黄褐	(1) 口縁部はやや外反し、隆帯様に作る。胴部と口縁部文様帯の境に幅広の低い隆帯を貼付ける。口縁部と隆帯上には条痕を施文する。文様帯には細い棒状工具で波状とワラビ状の文様を押し引きして描く。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。繊維を含む。 同一個体：2011、1033	第３群 焼成良好 胎土密
56 第127図 72	P-1770	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢	口縁部文様帯～胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR4/1　褐灰	(1) 棒状工具の押し引きでワラビ状または波状の文様を描く。施文方法は55に似るが、胴部との境には隆帯がなく、沈線のみか。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、径３㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
57 第127図 72	P-1501	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	口縁部文様帯破片 7.5YR6/4 にぶい橙 10YR5/2　灰黄褐	(1) 胴部との境に幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕を付ける。細い棒状工具で押し引きをし、渦状の文様を描く。文様は55に似る (2) 石英、長石、輝石、径１㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
58 第127図 72	P-1528、 1558	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部～胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 胴部との境に幅広の低い隆帯を貼付ける。劣化しているが、隆帯上には条痕を付けていたと思われる。口縁部文様帯は狭く、明瞭な文様を欠き、条痕文のみである。	第３群 焼成良好 胎土やや粗
59 第127図 72	P-1447	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 10YR4/1　褐灰 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部はやや外反ぎみ。２状の浅い沈線で波状の文様を描く。 (2) 石英、輝石、白色粒子、径３㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
60 第127図 72	P-1935	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	口縁部文様帯破片 7.5YR4/2　灰褐 10YR1/3　黒褐	(1) ３本以上の浅い沈線により、波状の文様が描かれる。胴部との境には幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上には条痕を付ける。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径２㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
61～62 第127図 72	P1475、 1730	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 口縁部は厚みがあり、やや外反ぎみ、棒状工具で表面を横方向に擦って条痕状にし、さらに太い竹管状の工具で波状の沈線を描く。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径２㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
63 第127図 72	P-1008	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 口唇部には部分的に上から弱い刻みを入れる。細い半裁竹管で沈線を２本並行に引き、波状文カを描く。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。長石を少量含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
64 第127図 72	P-1236	5-1区 KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR4/1　褐灰	(1) 口唇部に貝殻背圧痕を付ける。棒状工具を使って浅い沈線の波状文を描く。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、径２㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
65 第127図 72	P-1777	5-1区 ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	隆帯部破片 10YR3/2　黒褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕を付ける。口縁部文様帯が一部残存するが、条痕が付けられている。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密
66 第127図 72	P-1933	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	口縁部文様帯～胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕を付ける。口縁部文様帯には微かな沈線により、波状文様が描かれる。 (2) 石英、輝石、径３㎜程度の小礫を含む。白色岩片を多く含む。繊維を含む。	第３群 焼成良好 胎土密

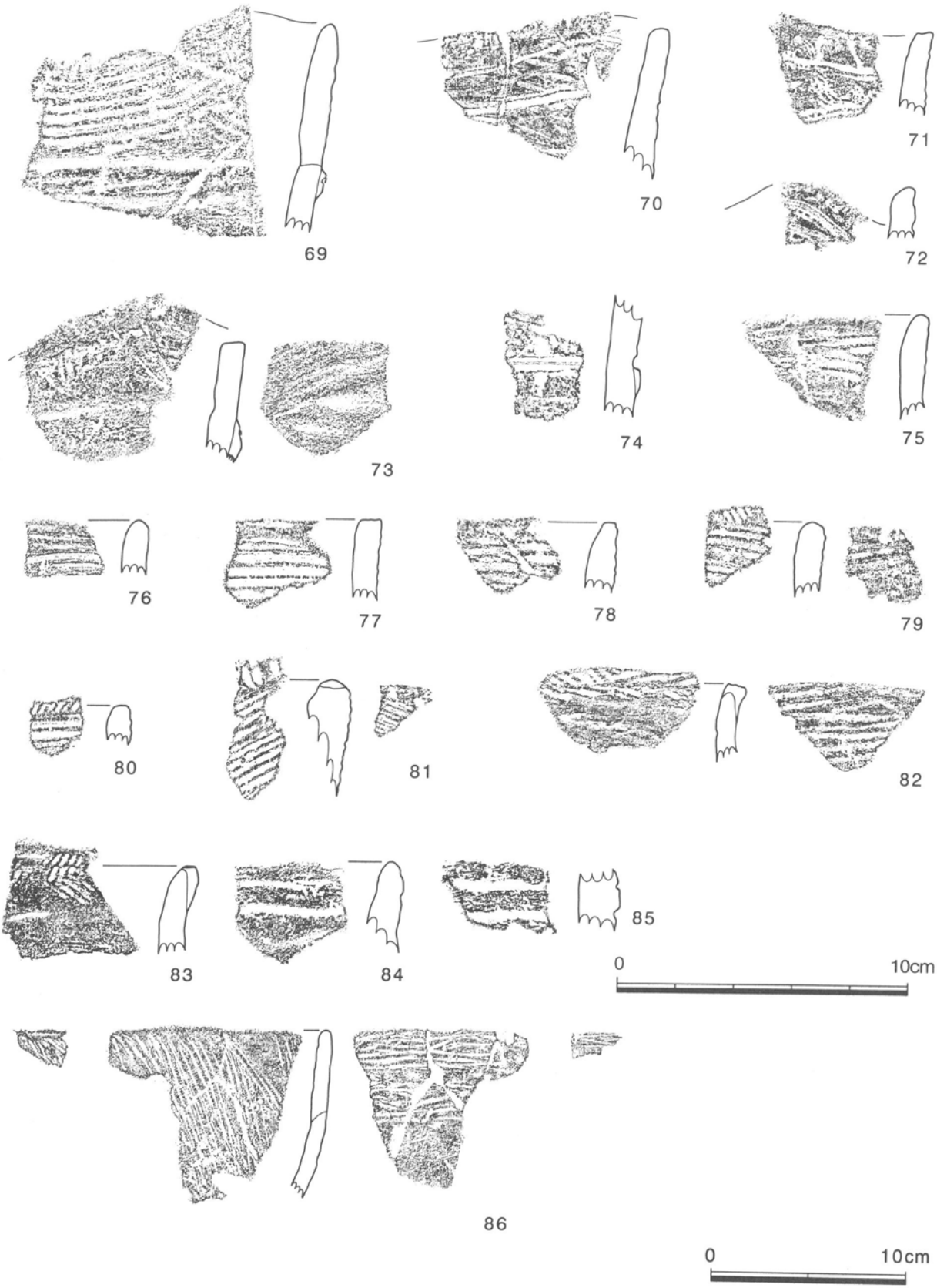


第127図　縄文早期末～前期初頭土器 5 （3 群）

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
67 第127図 72	P-1071	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	口縁部文様帯～胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/4　にぶい褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕を付ける。胴部は無文。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片、径3㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密
68 第127図 72	P-1873	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	隆帯部～胴部破片 10YR2/1　黒 7.5YR4/2　灰褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付け、隆帯上には幅の広い棒状工具で浅い押し引きをする。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密
69 第128図 72	P-976 -1166	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 波状口縁	口縁部から胴部破片 2.5YR6/6　橙 7.5YR5/4　にぶい褐	(1) 低い隆帯を貼付け、隆帯上に条痕を付ける。7本カの平行する沈線で口縁に沿うように波状の文様を描く。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。 外面が受熱している。	第3群 焼成良好 胎土密
70 第128図 72	P-959 -1176	5-1区 AN～ KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 波状口縁	口縁部破片 10YR5/3　にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口唇部に貝殻背圧痕をつける。口縁に沿って波状に浅い沈線2本を引き、沈線間に斜めのごく浅い線を入れる。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土やや粗
71 第128図 72	P-1698	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 7.5YR6/5　明褐 7.5YR5/4　にぶい褐	(1) 半裁竹管で口縁に沿って波状の文様を描く。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密
72 第128図 72	P-4782	5-1区 表土	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 10YR6/4　にぶい黄橙 7.5YR6/4　にぶい橙	(1) 口縁に沿って、浅い沈線で波状文様を描く。 (2) 石英、輝石、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密
73 第128図 72	P-1048	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 10YR3/1　黒褐 7.5YR4/2　灰褐	(1) 幅広の低い隆帯を貼付けるが、隆帯上は無文。口唇部は上から押さえた箇所に数本の沈線がある。隆帯から口唇部までの幅が狭く、隆帯に沿ってナデているが、明瞭な文様は確認出来ない。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密
74 第128図 72	P-1603	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	口縁部文様帯破片 7.5YR6/6　橙 10YR3/1　黒褐	(1) 低い隆帯を貼付け、上部に幅広の沈線を引く。隆帯上は無文。 (2) 石英、輝石、径3㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。	第3群 焼成良好 胎土密

第31表　第4群土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考
75 第128図 72	P-1557	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 波状口縁カ	口縁部破片 10YR5/3　にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に沿ってやや太く浅い沈線を条痕文状につける。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
76 第128図 72	P-1506	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 波状口縁カ	口縁部破片 7.5YR5/4　にぶい褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁に条痕文をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
77 第128図 72	P-1613	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ 平口縁カ	口縁部破片 10YR5/4　にぶい黄褐 7.5YR5/3　にぶい褐	(1) 口縁に沿って横方向に条痕文をつける。 (2) 石英、輝石、径3㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密



第128図　縄文早期末～前期初頭土器 6 （3 ～ 4 群）

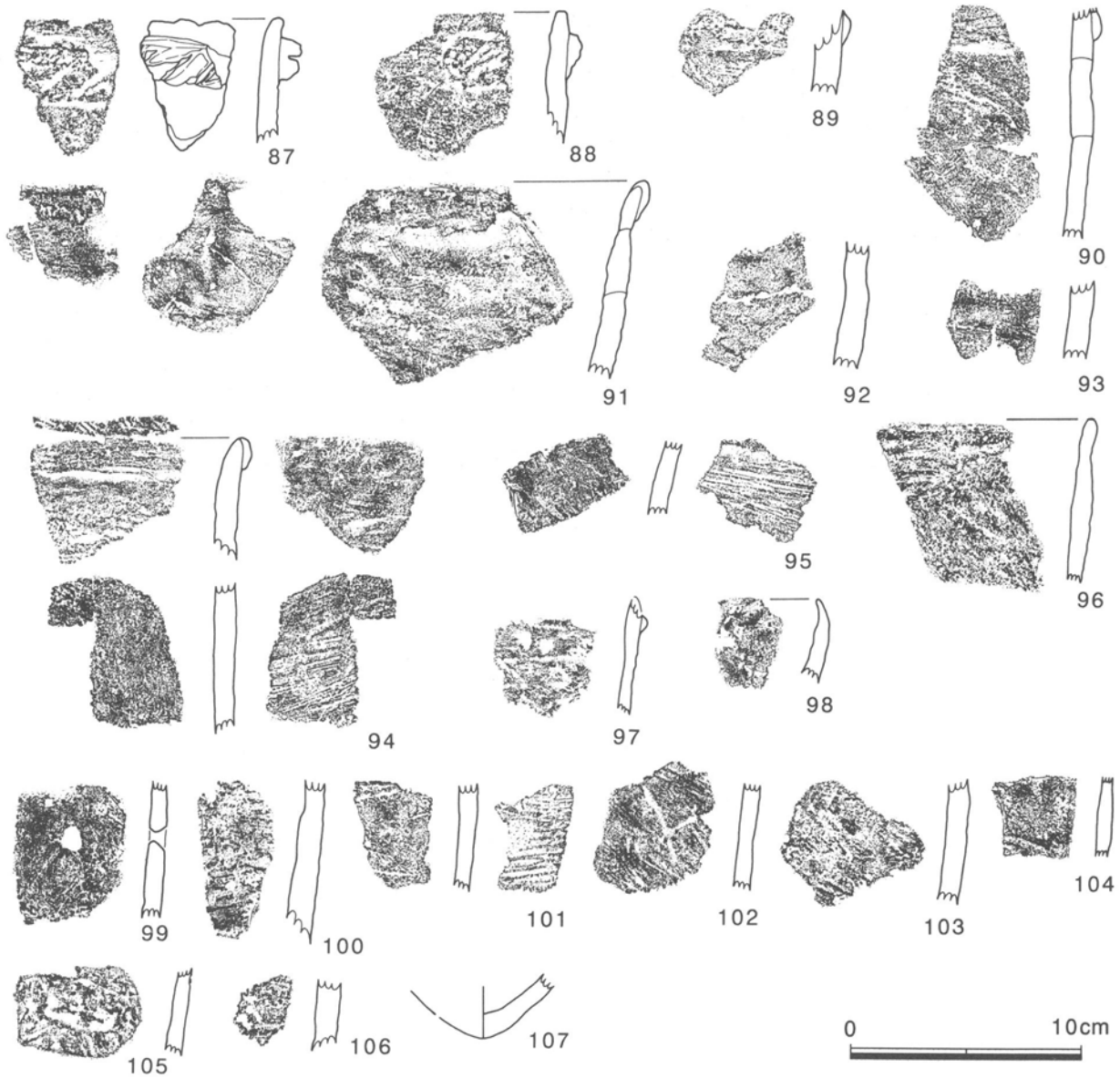
番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
78 第128図 72	P-1484	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁ヵ	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口縁に沿って横方向に条痕文をつける。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
79 第128図 72	P-1173	5-1区 AN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁ヵ	口縁部破片 2.5Y4/1　黄灰 10YR5/2　灰黄褐	(1) 口唇部には上から背圧痕をつける。口縁に沿って横方向に条痕文をつける。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片、赤色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
80 第128図 72	P-4783	5-1区 表土	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部には上から背圧痕をつける。口縁に沿って横方向に条痕文をつける。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
81 第128図 72	P-1663	5-1区 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 5YR6/6　橙	(1) 口唇部には上から刻み目をつける。口縁に沿って横方向に条痕文をつける。内面は条痕文。 (2) 輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
82 第128図 72	P-1421	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 口唇部に隆帯をかぶせるように貼付け、やや厚くする。隆帯上には背圧痕を上と横からつける。隆帯下は無文。内面は条痕文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、径4㎜程度の小礫を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
83 第128図 72	P-1969	5-1区 SB-05 覆土 SB-05	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 10YR3/2　黒褐	(1) 口唇部に低い隆帯をかぶせるように貼付け、やや厚くする。隆帯上には背圧痕を上と横から押し、くの字状の文様となるようにつけている。隆帯下は無文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
84 第128図 72	P-1203	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ 平口縁ヵ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/2　灰褐	(1) 口縁に沿って浅い2本の沈線を引く。 (2) 石英、輝石、径2㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
85 第128図 72	P-1930	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	文様帯破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR3/1　黒褐	(1) 厚い器壁に2本の平行する沈線を引く。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群a類 焼成良好 胎土密
86 第128図 72	P-1065 -1540、1425	5-1区 AN・ FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部から胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 細い半裁竹管による平行する沈線で斜めに何本も浅い沈線を引く。 (2) 石英、長石、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。 口径16cmでやや小形	第4群b類 焼成良好 胎土密
87～88 第129図 72	P-1062、 1406	5-1区 AN・ FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部破片 7.5YR4/3　褐 10YR3/2　黒褐	(1) 粘土紐を2本撚り合わせたものを口縁の下に貼付け、隆帯を作る。胴部は無文。 (2) 石英、長石、金雲母、輝石、径4㎜程度の小礫を含む。繊維を多く含む。	第4群c類 焼成良好 胎土粗
89 第129図 72	P-1836	5-1区 ZN 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢ヵ	隆帯部破片 7.5YR4/2　灰褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 幅広の隆帯を貼付け、隆帯上には部分的に背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群c類 焼成良好 胎土粗
90 第129図 73	P1274-1172	5-1区 AN・ KU 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢	隆帯～胴部破片 10YR4/1　褐灰 10YR3/2　黒褐	(1) 幅の広い高い隆帯を貼付ける。胴部は無文。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。 内面に粘土紐の痕が残り、作りが粗い。	第4群c類 焼成良好 胎土粗

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
91～93 第129図 73	P-1188、1068、1043、1229、1571	5-1区 AN～FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ 平口縁	口縁部破片 5YR4/6　赤褐 7.5YR4/6　褐	(1) 口唇部を包むように粘土紐を貼付け、隆帯状に厚くする。胴部は無文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。 粘土紐の痕が残り、作りが粗い。	第4群d類 焼成良好 胎土粗
94～95 第129図 73	P-1678、1705-1472、1249	5-1区 KU・FB 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢 平口縁	口縁部～胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR7/6　橙	(1) 口縁に粘土紐を貼付け、低い隆帯を作る。口唇部に背圧痕をつける。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第4群d類 焼成良好 胎土粗
96 第129図 73	P-1869	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ 平口縁	口縁部破片 10YR5/6　黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 口唇部に粘土紐を貼付け、やや外反させる。胴部は無文。 (2) 径2㎜以下の小礫を含む。	第4群d類 焼成良好 胎土粗
97 第129図 73	P-1879	5-1区 ZN 包含層	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ 平口縁	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部に粘土紐を貼付ける。胴部は磨滅が著しいが、無文カ。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第4群d類 焼成良好 胎土粗

第32表　群不明土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
98 第129図 73	P-1751	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～前期初頭 下吉井式	不明 平口縁カ	口縁部破片 2.5Y4/1　褐灰 7.5YR6/6　橙	(1) 口縁部が内彎する。無文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	不明 焼成良好 胎土密
99 第129図 73	P-1736	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ 補修孔あり	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。 補修孔は外面から穿つ。	第2～3群カ 焼成良好 胎土密
100 第129図 73	P-1833	5-1区 SB-05 覆土 SB-05	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR4/3 にぶい黄褐	(1) 内外面条痕文 (2) 石英、輝石、径3㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密
101 第129図 73	P-1894	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 内外面条痕文 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密
102 第129図 73	P-1741 -1860-1944	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 内外面条痕文 (2) 石英を多く含む。輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密
103 第129図 73	P-1934	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 外面条痕文。内面は劣化のため不明。 (2) 石英、輝石、白色粒子を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密
104 第129図 73	P-1867	5-1区 SB-04 覆土 SB-04	早期末～前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR4/3　褐 7.5YR5/6　明褐	(1) 内外面条痕文カ (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。繊維を含む。	第1群b類カ 焼成良好 胎土密

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考
105 第129図 図版73	P-1954	5-1区 SB-06 覆土 SB-06	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 内外面条痕文カ (2) 石英、輝石、白色粒子、赤色粒子を含む。繊維を含む。 内面コゲ付着。外面受熱。底部に近い破片カ。	第3群カ 焼成良好 胎土密
106 第129図 図版73	P-1835	5-1区 SB-05 覆土 SB-05	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 外面条痕文。 (2) 石英、輝石、金雲母、径2㎜以下の小礫を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密
107 第129図 図版73	P-1691	5-1区 FB 包含層	早期末～ 前期初頭 下吉井式	深鉢 尖底	底部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 無文 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む。繊維を含む。	第3群カ 焼成良好 胎土密



第129図　縄文早期末～前期初頭土器7（群不明）

2　石器

ここでは５－１区のAN層～ZN層より出土した石器を扱う。土器の出土状況から、５－１区には中期の遺物が若干混じる。このため、石器の中にも中期の可能性のある物が存在する。しかし、遺物の層位的分離が不可能であったため、縄文早期末～前期初頭の遺物として一括して扱う。

(1)　垂飾

表土より１点が出土した。第131図22に図示する。4/3程度欠損しているが、環状になっていたと推定され、耳飾りである可能性が高い。孔が１カ所残存する。明るい色調のの滑石製であり、縄文早期末～前期初頭の遺物と考えられる。

(2)　石鏃

未製品を含めて33点出土した。このうち残存状況の良い21点を第130図～第131図21に図示する。ほとんどが黒曜石製である。先端が鋭角で縦長で無茎の石鏃が多く、下辺の抉りも浅いものが多い。小形のものや横幅のあるものが若干見られるが、これは中期のものである可能性がある。

(3)　石匕

３点出土した。第131図23～第132図25に図示する。23・25はガラス質安山岩製、24はホルンフェルス製である。23・24は横、25は縦に長い。

(4)　石斧

打製石斧が１点出土した。第132図26に図示する。頁岩製、短冊形でやや小形である。このほか石斧の上部と思われる破片が１点出土した。

(5)　石錘

３点出土した。第132図28～30に図示する。28･29は円礫の両側面を打ち欠く。30は表面の劣化により加工が不明瞭だが、円礫の割れたものをさらに加工している。

(6)　スクレーパー

１点出土した。第132図27に図示する。細粒安山岩の礫を割り剝がし、片方の側片を加工して刃を作り出す。

(7)　磨石・叩石・凹石

26点出土した。このうち残存状況の良い物19点を第133図～第135図に図示する。輝石安山岩と玄武岩製のものがほとんどである。楕円形の平坦な形状の物が多いが、やや不整形の物も存在する。31～37は楕円形の平坦なものである。38は非常に小形である。39・40はやや厚みがあり不整形、41・47は側面の一部が打撃によって剝がれているもの、43は両面に窪みを持つ。44・45は側辺の一部を磨るもの、46は全面を磨るもの、48は角度の違う磨面が残るもの、49は磨面を三面持ち、上下を叩石として用いているものである。

(8)　石皿

５点出土した。第136図に図示する。50が輝石安山岩、53が多孔質安山岩、51･52･54は多孔質玄武岩である。いずれも亜円礫を使用したもので、正面が平坦またはやや凹む。54は10mほど離れた位置にある石皿片が接合した。55はSB-04の床面に平坦な面(正面)を下にした形で出土した。完形で23.5kgと重く、住居とともに放棄された物と思われる。

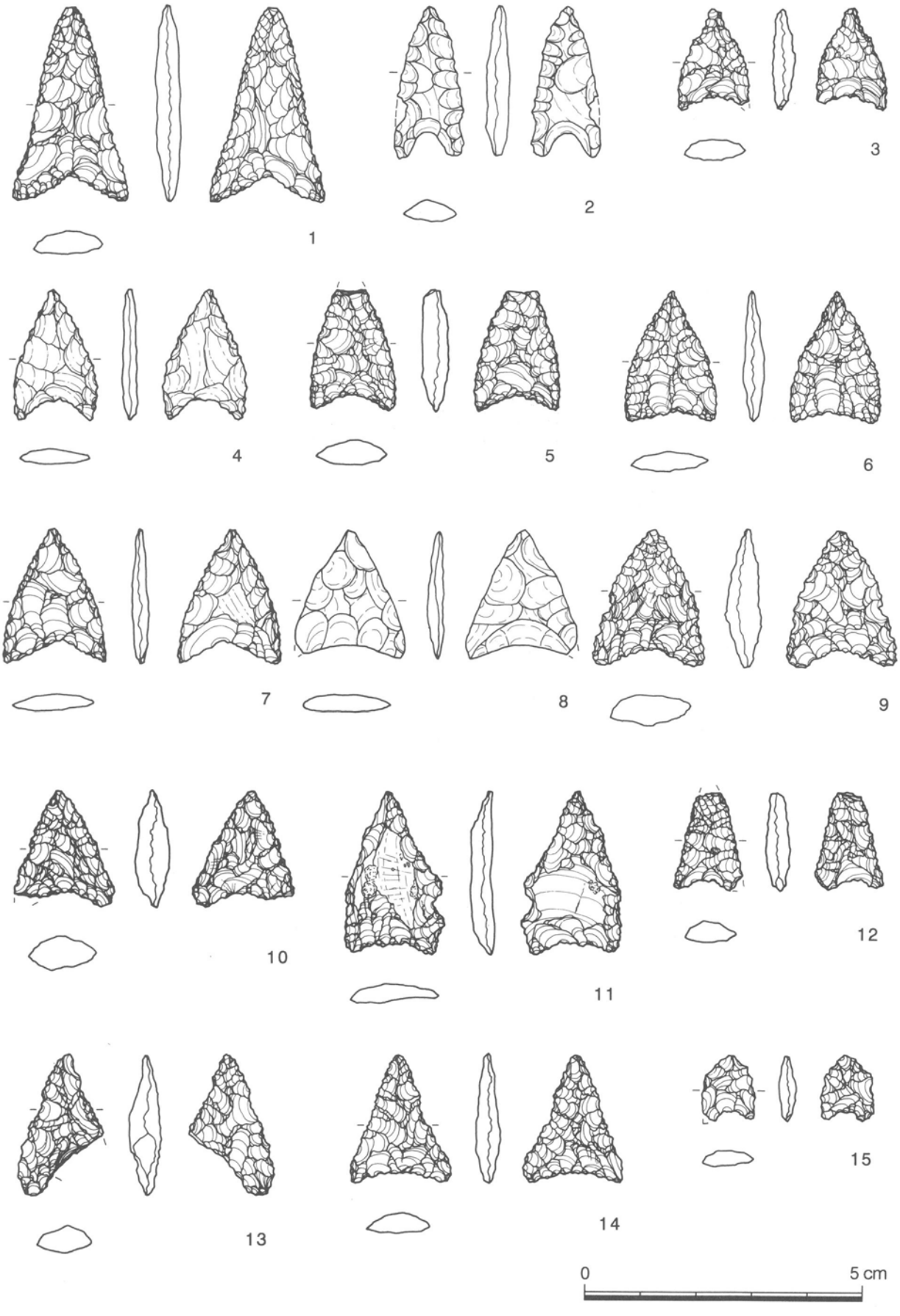
(9)　その他の石器

使用痕剝片２点、尖頭器未製品１点、縦長剝片１点、石核５点が出土した。使用痕剝片は表土からの採集品で、珪質頁岩と黒曜石の剝片である。尖頭器未製品は黒曜石製で、SB-04の覆土中より出土した。縦長剝片は黒曜石製である。石核は黒曜石が４点、ホルンフェルスが１点である。うち、ホルンフェルス製の石核はSB-04の覆土中より出土した。

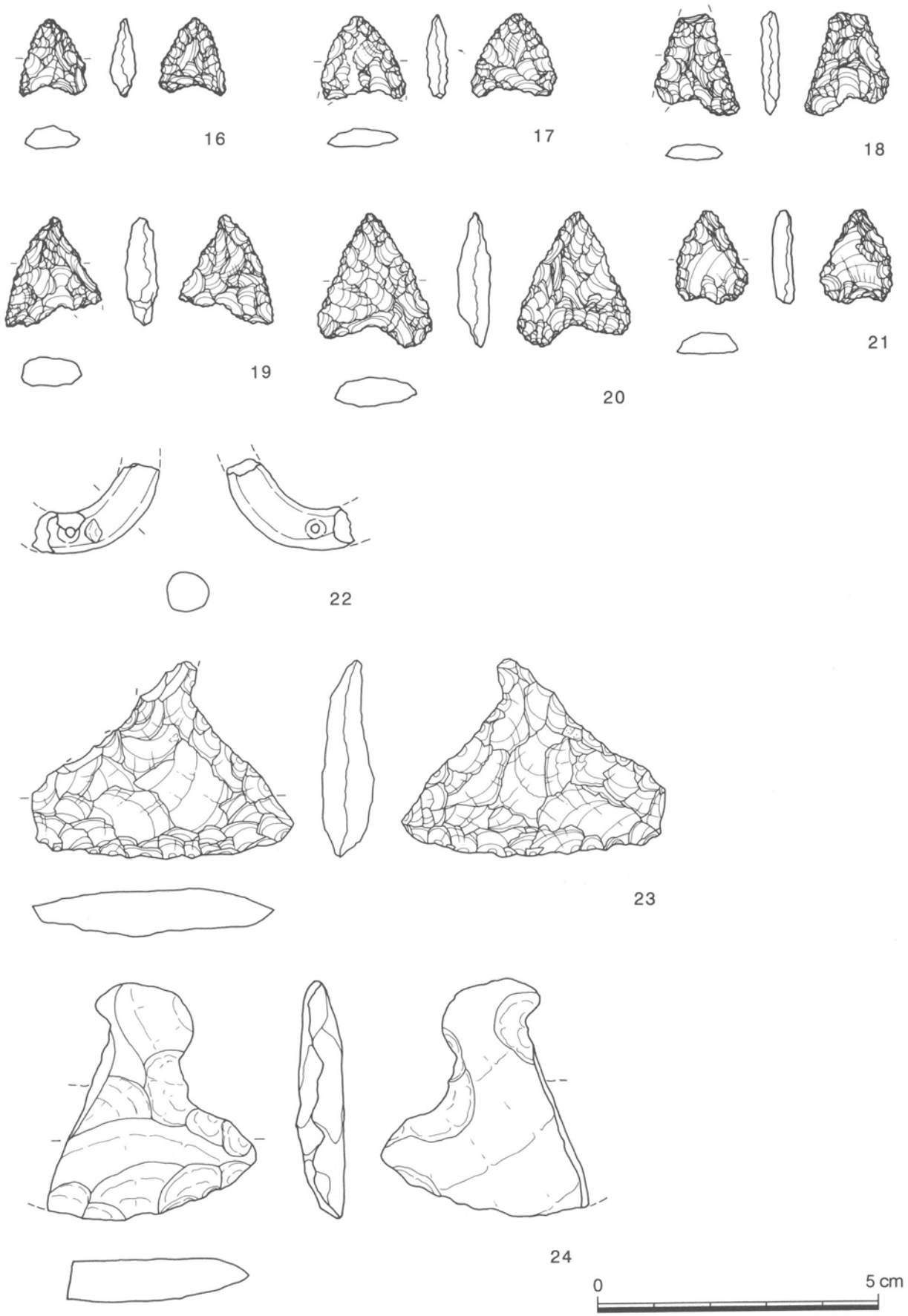
第33表　縄文早期末～前期初頭石器一覧表

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備　考
1	S-7281	石　鏃	GAn	5-1区	攪乱	3.55	2.15	0.43	2.2	無茎凹基　長胴　完形
2	S-2468	石　鏃	Rhy	5-1区	ZN	2.7	1.25	0.42	0.9	無茎凹基　やや長胴　割れにより側縁を一部欠損　表面劣化のため加工痕不明瞭
3	S-2419	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	1.85	(1.3)	0.39	0.7	無茎凹基　ほぼ完形
4	S-2408	石　鏃	GAn	5-1区	ZN	2.4	1.55	0.22	0.7	無茎凹基　完形
5	S-2000	石　鏃	Ob	5-1区	KU	(2.2)	1.55	0.46	1.4	無茎凹基　上端先端欠損
6	S-2449	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	2.4	1.7	0.36	1.0	無茎凹基　完形
7	S-2447	石　鏃	GAn	5-1区	ZN	2.45	1.9	0.25	0.9	無茎凹基　完形
8	S-2113	石　鏃	Hor	5-1区	FB	2.35	2.0	0.31	1.3	無茎凹基　ほぼ完形　脚部先端を欠損　表面劣化のため加工痕不明瞭
9	S-7286	石　鏃	Ob	5-1区	表土	2.5	2.05	0.61	2.1	無茎凹基　ほぼ完形
10	S-2123	石　鏃	Ob	5-1区	FB	2.1	(1.85)	0.59	1.5	無茎凹基　完形
11	S-2239	石　鏃	Ob	5-1区	SB-06覆土	2.95	1.85	0.37	1.6	無茎凹基　片脚先端欠損
12	S-2381	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	(1.75)	(1.25)	0.41	0.7	無茎凹基　ほぼ完形　未製品の可能性がある
13	S-2471	石　鏃	Ob	5-1区	SB-06覆土	2.55	(1.55)	0.53	1.2	無茎凹基　完形
14	S-2467	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	2.3	1.85	0.43	1.1	無茎凹基　片脚欠損
15	S-7306	石　鏃	Ob	5-1区	表土	1.2	1.0	0.28	0.3	無茎凹基　完形　小形
16	S-2117	石　鏃	Ob	5-1区	FB	1.4	1.2	0.4	0.5	無茎凹基　完形　小形
17	S-2454	石　鏃	Ob	5-1区	SB-06覆土	1.5	(1.5)	0.35	0.7	無茎凹基　ほぼ完形　やや小形
18	S-2446	石　鏃	Ob	5-1区	SB-06覆土	(1.85)	(1.55)	0.29	0.7	無茎凹基　ほぼ完形
19	S-2315	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	1.95	(1.75)	0.53	1.4	無茎凹基　上端・片脚先端欠損
20	S-2330	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	2.9	2.05	0.57	1.7	無茎凹基　片脚先端欠損
21	S-2145	石　鏃	Ob	5-1区	FB	1.7	1.3	0.35	0.8	無茎凹基　完形
22	S-7276	垂　飾	Ta	5-1区	表土	(2.7)	0.75	0.7	2.8	3/4程度欠損。穿孔1。
23	S-1997	石　匕	GAn	5-1区	KU	3.5	4.7	0.8	10.8	ほぼ完形。横長。
24	S-2363	石　匕	Hor	5-1区	SB-04覆土	4.25	(3.2)	0.7	11.7	左側の刃部を欠損。横長の形状と考えられる。
25	S-2041	石　匕	GAn	5-1区	FB	6.2	4.65	0.8	11.9	完形。縦長。
26	S-1975	打製石斧	Sh	5-1区	AN	(6.95)	3.1	1.15	36.2	下部を欠損。小形。
27	S-7311	スクレーパー	FAn	5-1区	SB-04覆土	6.2	9.4	2.7	143.5	亜円礫を割り、刃を作り出している。
28	S-2551	石　錘	MSS	5-1区	KU	7.2	5.45	1.7	94.5	円礫の両側を打ち欠く。
29	S-2553	石　錘	MSS	5-1区	ZN	6.85	6.1	1.5	97.1	円礫の両側を打ち欠く。
30	S-2192	石　錘	MSS	5-1区	ZN	4.8	6.1	1.75	74.8	上部欠損。裏面の両側面、下端を打欠く。
31	S-2089	磨石・叩石	PAn	5-1区	FB	9.4	(6.9)	5.0	426.7	約1/2を欠損。正面、裏面を磨る。周囲に打痕が残る。
32	S-2398	磨　石	PAn	5-1区	ZN	8.9	(6.1)	(5.9)	387.2	約1/2を欠損。正面、裏面を磨る。
33	S-2009	磨　石	Ba	5-1区	KU	11.7	9.85	4.5	768.7	完形品。正面、裏面を磨る。
34	S-2043	磨石・叩石	Van	5-1区	FB	9.8	8.0	3.35	333.8	完形品。正面、裏面を磨る。正面はやや凹み、石全体が反ったような形状。
35	S-2355	磨　石	PAn	5-1区	SB-06覆土	8.1	7.15	3.85	266.8	完形品。裏面が磨って平坦になっている。表面は風化が著しい。
36	S-2044	磨　石	PAn	5-1区	FB	(9.1)	8.5	3.75	378.1	上部約1/4を欠損。正面、裏面を磨る。
37	S-2356	磨　石	PAn	5-1区	SB-06覆土	10.7	9.4	4.9	597.3	完形品。裏面を磨る。
38	S-2250	磨　石	Ba	5-1区	ZN	4.55	4.1	3.2	85.2	完形品。表面は全て滑らか。裏面を磨る。
39	S-7312	磨　石	PAn	5-1区	SB-06覆土	7.8	6.0	5.5	269.0	右側面を主に磨る。正面も磨っている。
40	S-7313	磨　石	Ba	5-1区	SB-04覆土	6.9	6.75	4.3	262.1	完形品。裏面、正面、下端を磨る。
41	S-2354	磨　石	PAn	5-1区	SB-06覆土	(8.15)	(7.5)	4.7	320.8	約1/2欠損。受熱し、赤化している。正面、裏面を磨る。右側面は敲打による剝離が多く見られる。
42	S-2317	磨　石	PAn	5-1区	FB	10.0	5.55	3.6	239.4	完形品。裏面を磨る。
43	S-7294	磨石・凹石	VBa	5-1区	表土	10.3	7.2	4.9	499.9	完形品。正面、裏面ともに中央が凹む。右側面を磨る。
44	S-1988	磨　石	PAn	5-1区	KU	(11.0)	(6.35)	(6.25)	310.3	約3/4以上を欠損。表面は全体的に滑らか。右側面下部に敲打痕。
45	S-2318	磨　石	Ba	5-1区	SB-05覆土	11.45	9.65	7.2	1163.5	完形品。両側縁を磨る。

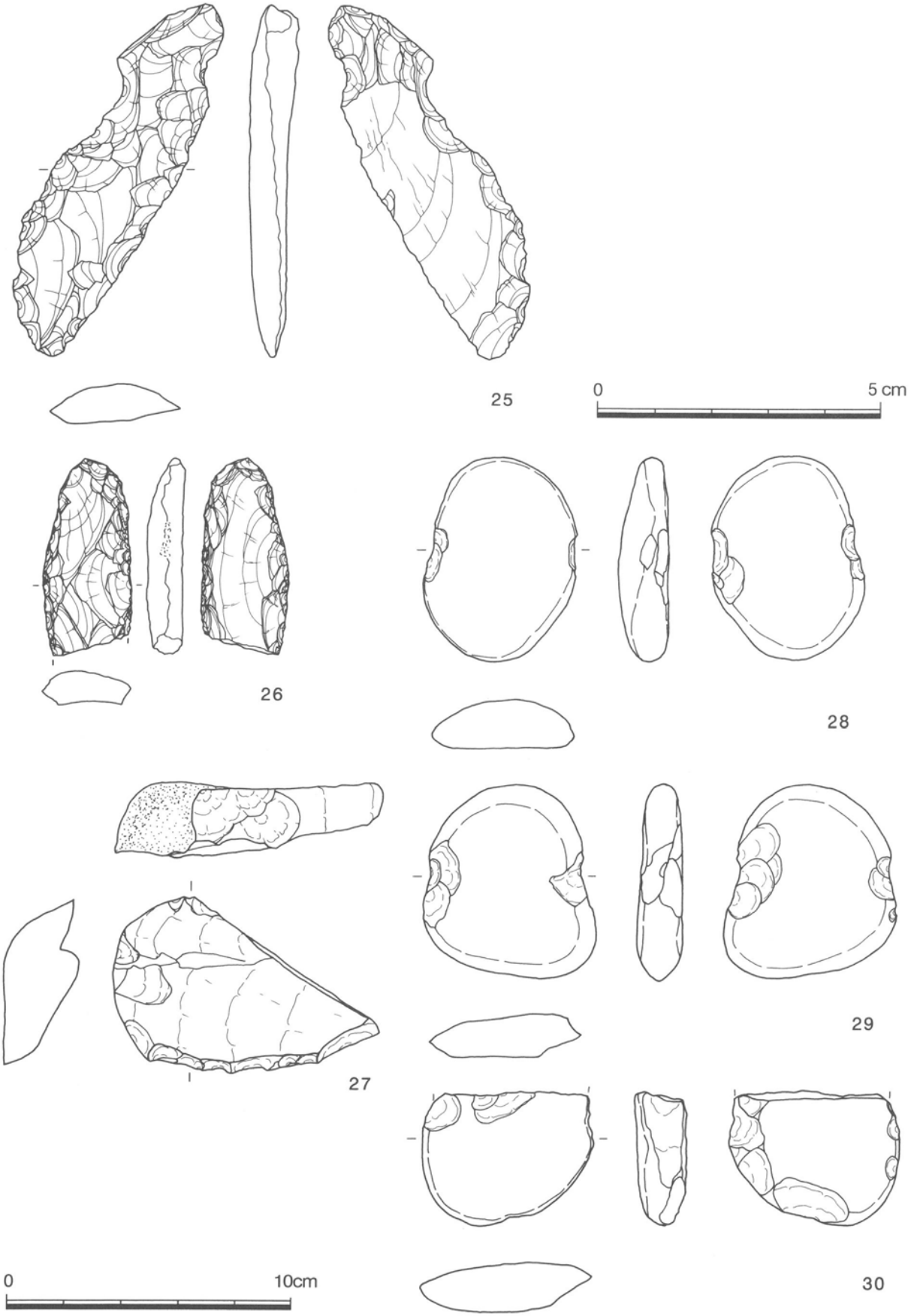
番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
46	S-46	磨　石	VBa	5-1区	AN	(3.6)	(4.8)	2.25	31.2	約1/2欠損。ほぼ全面を磨る。
47	S-7295	磨　石	PAn	5-1区	表土	6.05	5.3	3.65	162.2	完形品。裏面を磨る。右側面上部を敲打している。
48	S-2549	磨　石	PAn	5-1区	AN	10.35	7.35	3.8	424.7	完形品。正面、裏面を磨る。正面左下に別の角度の磨面がある。
49	S-2548	磨石・凹石	PAn	5-1区	AN	6.9	5.4	4.3	189.6	完形品。3面の磨面がある。下端、左側面上部に敲打痕。
50	S-2552	石　皿	PAn	5-1区	FB	(11.2)	(8.8)	5.7	932.8	大半を欠損する。板状の礫をを磨る。
51	S-7314	石　皿	VBa	5-1区	SB-06覆土	(4.95)	(14.05)	(5.9)	371.1	大半を欠損する。正面を磨り、平坦になっている。
52	S-2132	石　皿	VBa	5-1区	FB	(33.45)	(20.9)	9.8	6,850	約1/2欠損。ほぼ全面を磨る。大形の円礫を磨る。正面がやや凹む。
53	S-2131 S-2134	石　皿	VAn	5-1区	FB	(22.3)	26.7	10.55	8,900	2つに割れ、一部を欠損する。正面を磨り、わずかに凹む。やや離れた箇所から出土した。
54	S-2462	石　皿	VBa	5-1区	SB-04床	41.1	32.2	12.9	23,500	完形品。亜円礫を磨る。正面が平坦。平坦面を下にして出土。
	S-2470	石　鏃	GAn	5-1区	ZN	(1.2)	(0.8)	0.2	0.1	脚片
	S-7291	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	(1.1)	(0.8)	0.2	0.2	脚片
	S-2452	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	1.2	(1.05)	0.15	0.2	小形 ほぼ完形
	S-2409	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	(1.1)	(1.05)	0.2	0.3	上端・両脚欠損
	S-7320	石　鏃	Ob	5-1区	表土	(1.1)	(0.7)	0.3	0.1	脚片
	S-2372	石　鏃	Ob	5-1区	ZN	1.8	(1.2)	0.3	0.5	片脚欠損
	S-2159	石鏃カ	Ob	5-1区	FB	(0.7)	(1.1)	0.3	0.1	上部破片
	S-2200	石鏃カ	Ob	5-1区	SB-04覆土	(0.5)	(0.5)	0.3	0.1	細片
	S-7293	石鏃未製品	Ob	5-1区	表土	2.0	1.75	0.85	2.6	
	S-2002	石鏃未製品	Ob	5-1区	KU	1.2	1.2	0.2	0.3	
	S-1978	石鏃未製品	Ob	5-1区	AN	1.75	1.8	0.4	1.1	
	S-2443	石鏃未製品	Ob	5-1区	SB-06覆土	1.55	1.5	0.5	1.1	
	S-7279	使用痕剝片	SSh(DG)	5-1区	表土	3.1	4.7	5.5	19.5	
	S-7321	使用痕剝片	Ob	5-1区	表土	(1.7)	2.75	0.6	2.6	
	S-2414	尖頭器未製品	Ob	5-1区	SB-04覆土	2.3	1.8	1.15	3.7	
	S-1974	石斧カ	Hor	5-1区	AN	(3.8)	(3.4)	2.05	25.7	上部破片
	S-2007	縦長剝片	Ob	5-1区	KU	(2.1)	0.9	0.25	0.4	
	S-2321	石　核	Hor	5-1区	SB-04覆土	5.2	4.2	4.2	114.1	
	S-2015	石　核	Ob	5-1区	FB	3.2	3.6	3.6	46.5	
	S-1958	石　核	Ob	5-1区	AN	3.4	2.8	1.8	16.5	
	S-2114	石　核	Ob	5-1区	FB	2.7	2.2	1.6	7.5	
	S-2120	石　核	Ob	5-1区	FB	2.6	2.3	1.4	6.9	
	S-2084	磨　石	PAn	5-1区	FB	(4.2)	(4.4)	(5.1)	123.4	3/4欠損
	S-2012	磨　石	PAn	5-1区	KU	(5.5)	(3.8)	(5.6)	94.3	大半欠損 スス付着
	S-2550	磨　石	Ba	5-1区	KU	(5.1)	(4.2)	(4.3)	69.9	大半欠損
	S-7296	磨　石	PAn	5-1区	表土	(5.0)	(4.8)	(2.0)	43.0	2/3欠損
	S-2547	磨　石	PAn	5-1区	AN	(3.2)	(3.5)	(4.2)	50.5	大半欠損
	S-7297	磨　石	PAn	5-1区	表土	(4.3)	(1.9)	(3.3)	28.7	大半欠損
	S-7298	砥石カ	CSS	5-1区	表土	(3.6)	(4.6)	(3.0)	36.3	大半欠損



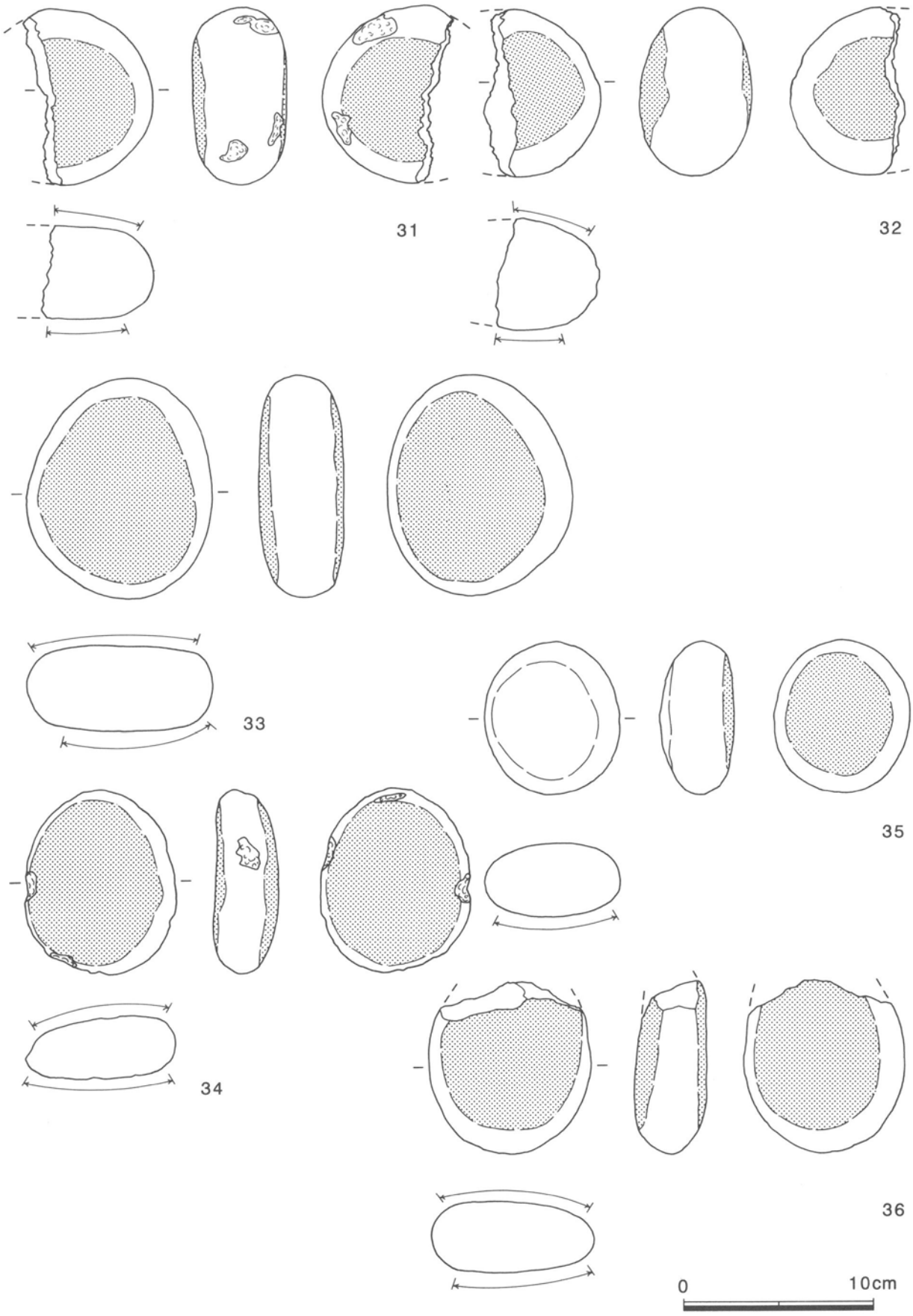
第130図　縄文早期末～前期初頭石器 1 （石鏃等）



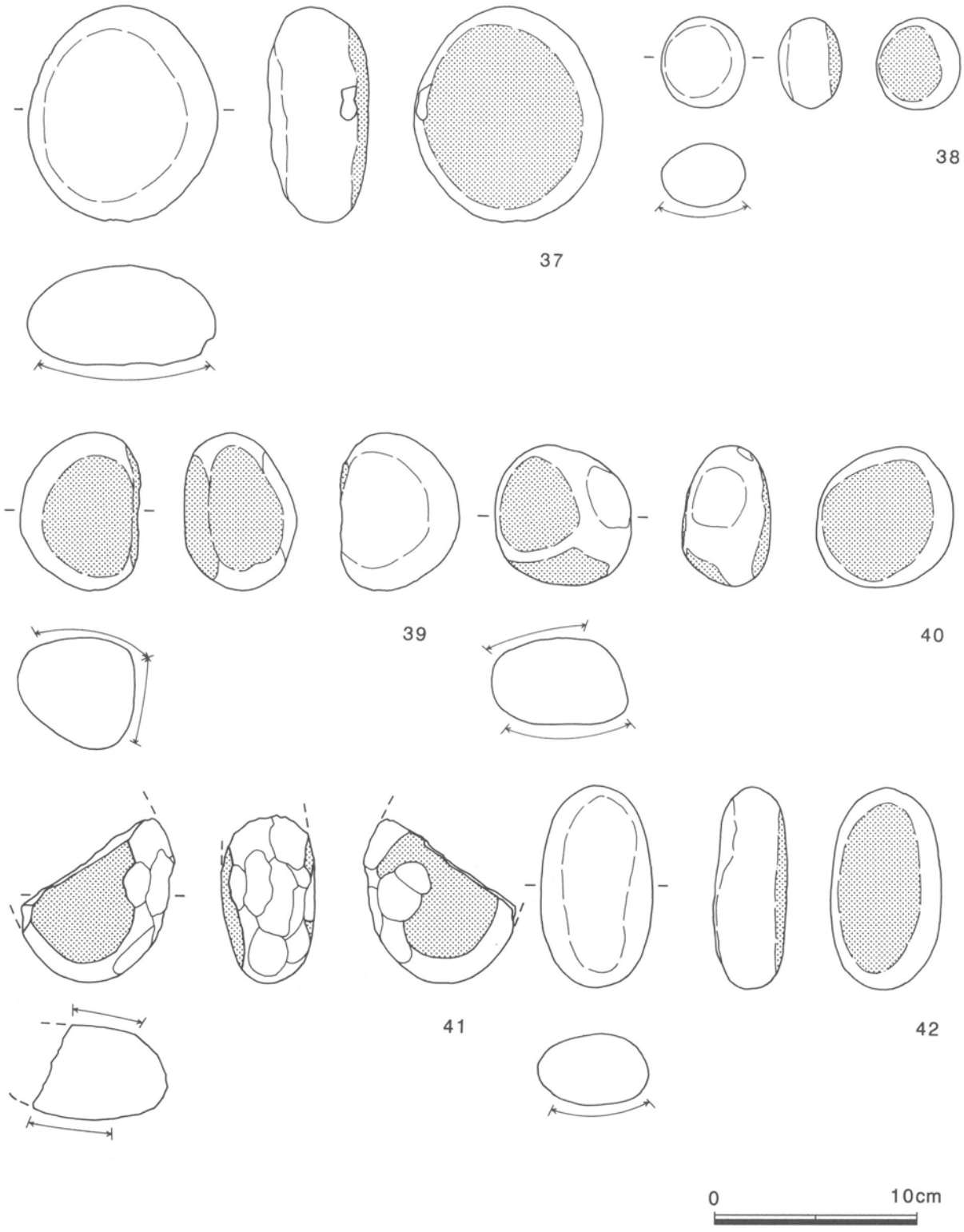
第131図　早期末～前期初頭石器 2 （石鏃等）



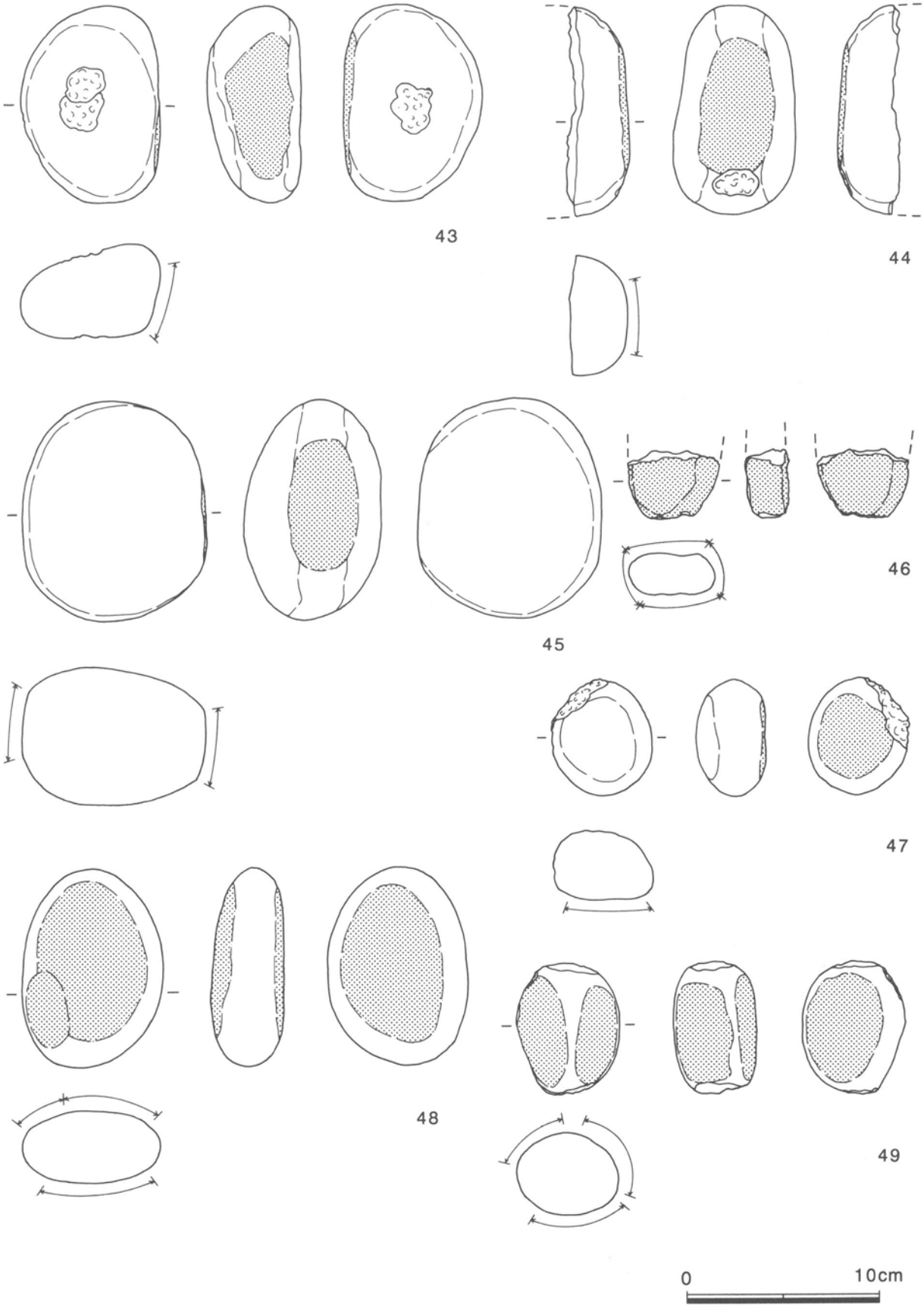
第132図　早期末～前期初頭石器 3 （石斧等）



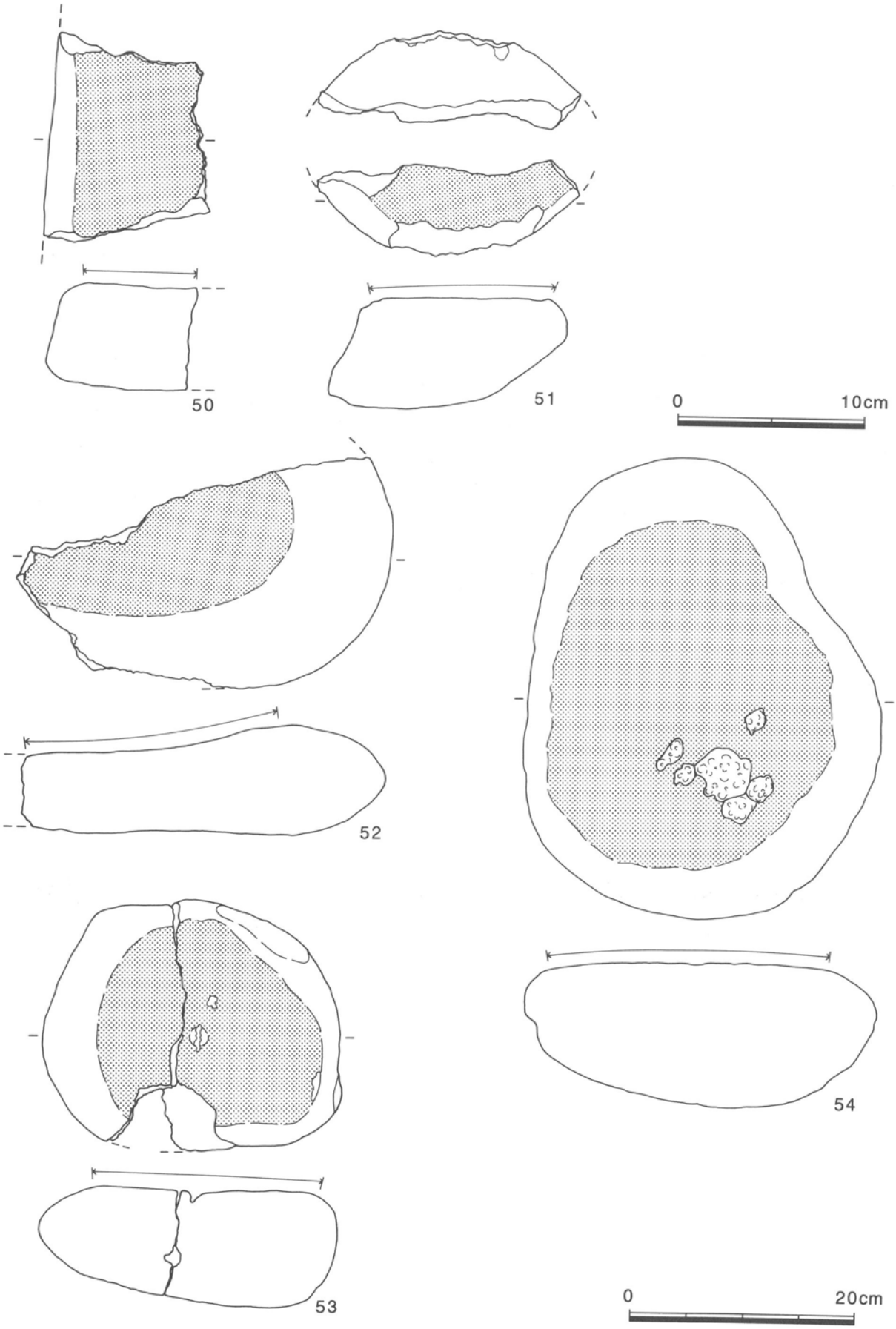
第133図　早期末～前期初頭石器 4 （磨石等）



第134図　早期末～前期初頭石器５（磨石等）



第135図　早期末～前期初頭石器 6 （磨石等）

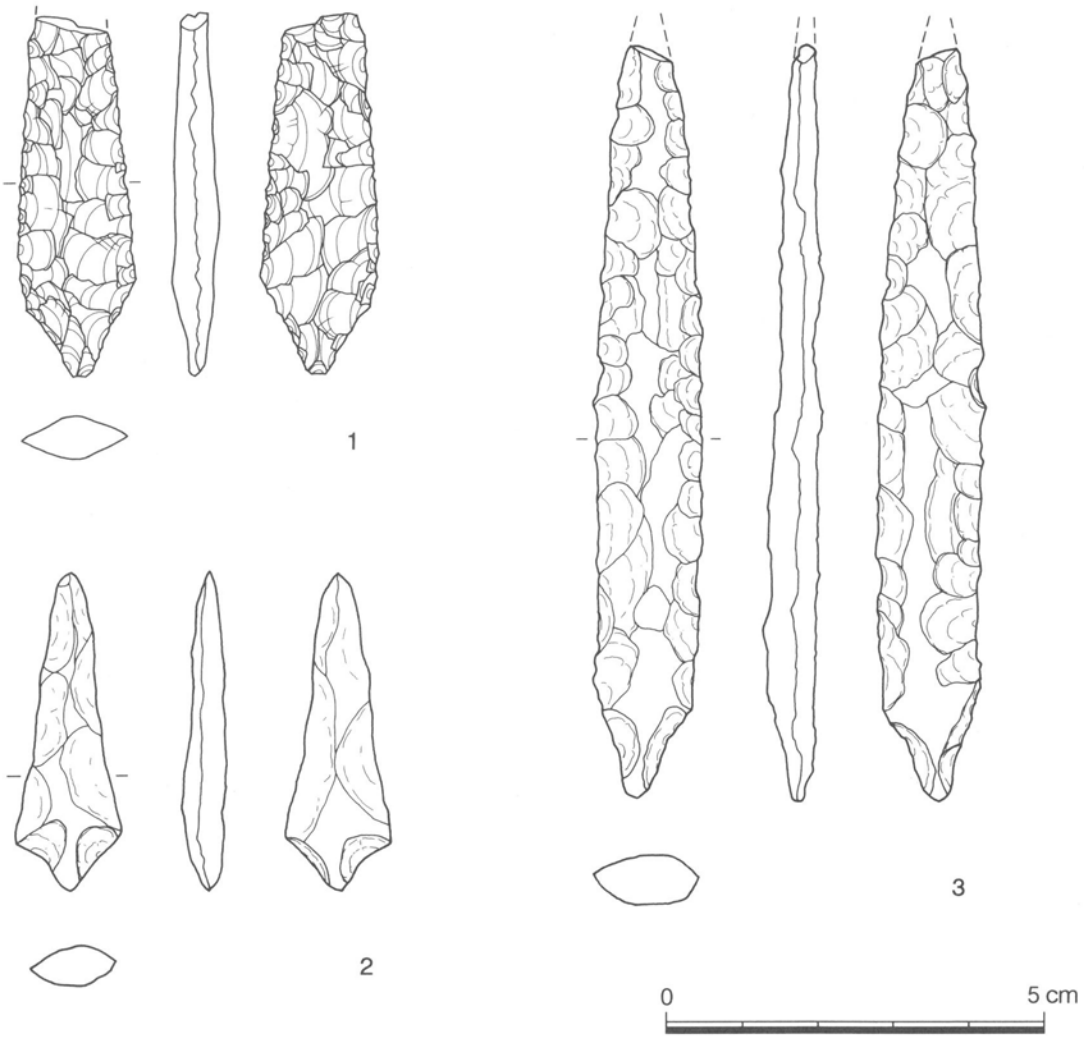


第136図　早期末～前期初頭石器７（石皿）

第７節　その他の縄文時代の遺構

１　縄文時代草創期の遺物

５－１区より１点、５－８区より２点の有舌尖頭器が出土している。第137図に図示する。１は珪質頁岩製、２・３はホルンフェルス製である。１と３は先端を欠損するが、縦に長い形状である。２は表面が劣化していて加工が不明瞭であるが、短い形状である。



第137図　縄文時代草創期遺物実測図

第34表　縄文時代草創期遺物一覧表

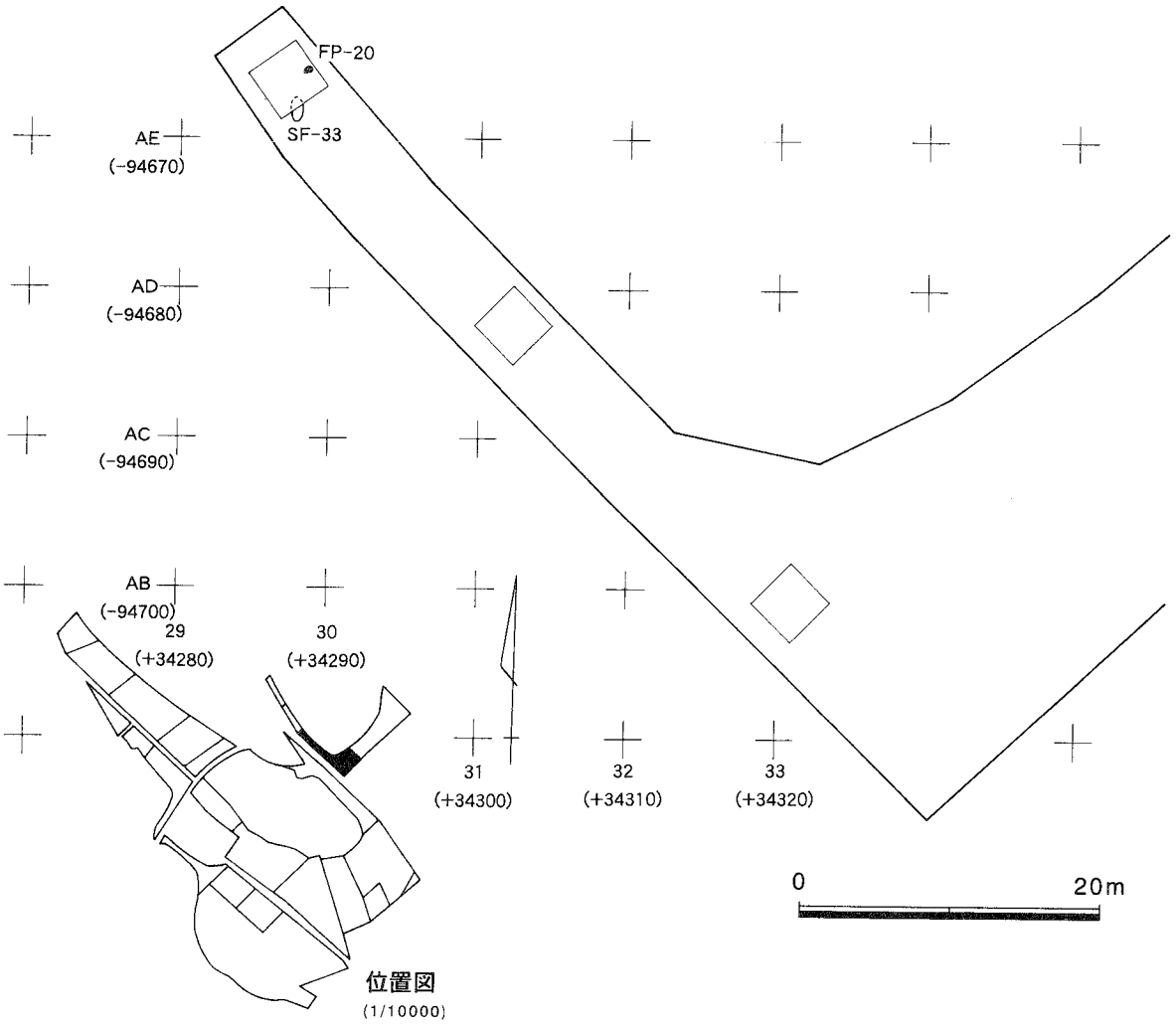
番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1	S-7280	有舌尖頭器	SSh（Gy）	5-1区	表土	4.75	1.6	0.55	4.4	上部約1/3を欠損。
2	S-2524	有舌尖頭器	Hor	5-8区	FB	4.2	1.4	0.55	2.7	小形。表面は磨滅が著しく、加工痕不明瞭。
3	S-114	有舌尖頭器	Hor	5-8区	ZN	(10.0)	1.45	0.65	10.9	10TR出土。先端欠損。３つに折れている。表面の劣化により、加工痕不明瞭。

2　時期不明の遺構

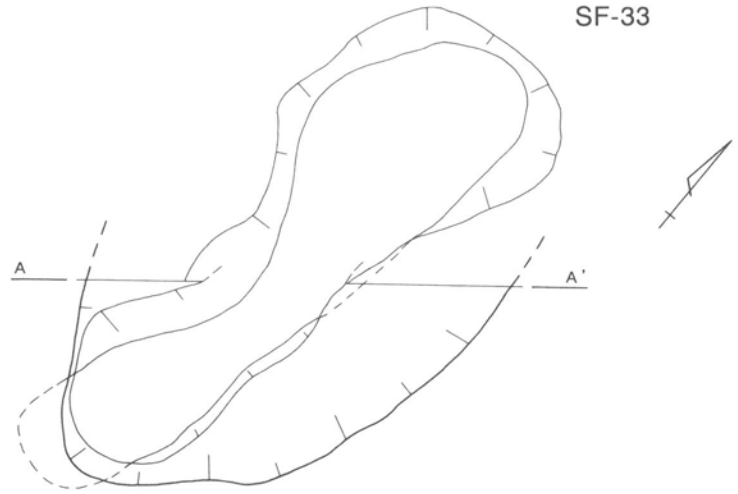
2－3区は現在は埋没して平坦であるが、縄文時代にはやや深い谷地形となっていたようである。この谷を境界として東側は桜畑上遺跡である。調査区西側の谷の肩部より陥穴と焼土が検出された。位置を第138図に示す。遺物が出土しなかったため、時期は不明である。しかし、陥穴は覆土がFB層であること、焼土はAN層より検出されたことから、縄文時代の遺構と考えられる。なお、中峯遺跡から谷へ流れ込んだ遺物として、中期中葉と後期と思われる縄文土器片各1点、小形の石皿2点が出土した。

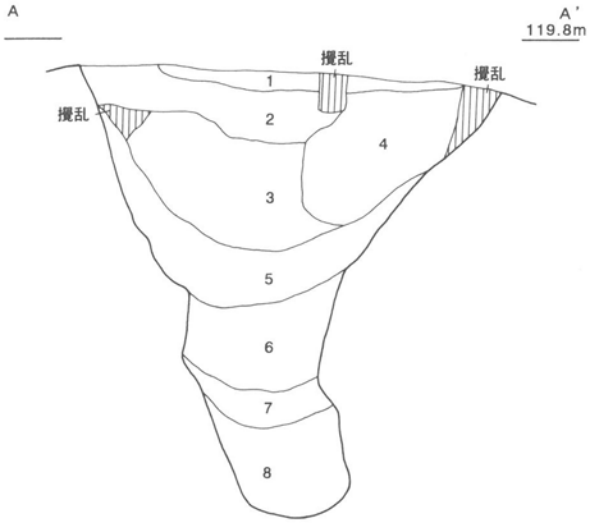
SF-33は2－3区のTP-62掘削中にテストピットの南壁より検出された。形状を第139図に示す。発見が遅れたため、北半分はテストピットで削平されてしまっている。表土直下のYL層に黒色土が落ち込む。上面はやや細長い楕円形と考えられ、谷から尾根に上がる方向に長い。断面が途中でくびれる袋状の陥穴である。底面はSCIII層を少し掘り込んでおり、深さは残存値で118cmである。上部の覆土はFB層に似ており、ややしまっているが、下部はYL層が混じり、しまりがなく粘性が高い。

FP-20は2－3区TP-62の東端に位置し、谷の肩部であるため谷方向に傾斜している。第139図に示す。短径30cm、長径52cmの楕円状の明瞭な焼土である。焼土粒は周囲1mに散っている。焼土の中はやわらかく、焼き締まりがやや弱い。AN層掘り下げ中に検出された。表土に近いために農機具による攪乱を受けているが、上層にはKGP層が残り、縄文時代後期以前の遺構である。遺物は出土しなかった。



第138図　縄文時代時期不明遺構分布図





1 10YR2/3 黒褐　しまり弱　粘性弱　FB層に似る
木根の影響によりやや色調暗い
径1～2㎜の橙色スコリアをごくわずかに含む

2 10YR2/3 黒褐　しまり弱　粘性弱　FB層に似る
3の層よりやや色調明るい
径1～2㎜の橙色スコリアをわずかに含む

3 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性あり　FB層に似る
径1～5㎜の赤色・橙色スコリアを含む
径1～2㎜の黄土色スコリアをわずかに含む

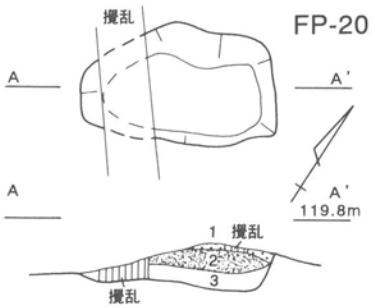
4 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性弱　やや色調明るい
径1～3㎜の橙色スコリアを少量含む

5 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性あり　わずかに色調明るい
径1～3㎜の橙色スコリアを含む

6 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性あり　混ざったような土
色調やや暗い
径1～2㎜の赤色・橙色・黄土色スコリアを含む

7 10YR3/3 暗褐　しまりあり　粘性強　YL層のような土が混じる
径2～7㎜の赤色・橙色スコリアを含む

8 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性強
径1～3㎜の赤色・橙色・黄土色スコリアを多く含む



1 7.5YR3/3 暗褐　しまりなし　粘性なし
径1㎜以下の焼土粒を多く含む　かなり赤く見える
カワゴ平パミス・炭化物を含む

2 7.5YR3/4 暗褐　しまりなし　粘性なし
径1～4㎜の焼土粒が密集　黒色土の混じる赤い層だが
焼きしまっていない

3 7.5YR2/2 黒褐　しまりあり　粘性なし
径1㎜以下の焼土粒を少量含む
炭化物を含む

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-33	2-3区	(168)	(90)	(118)	

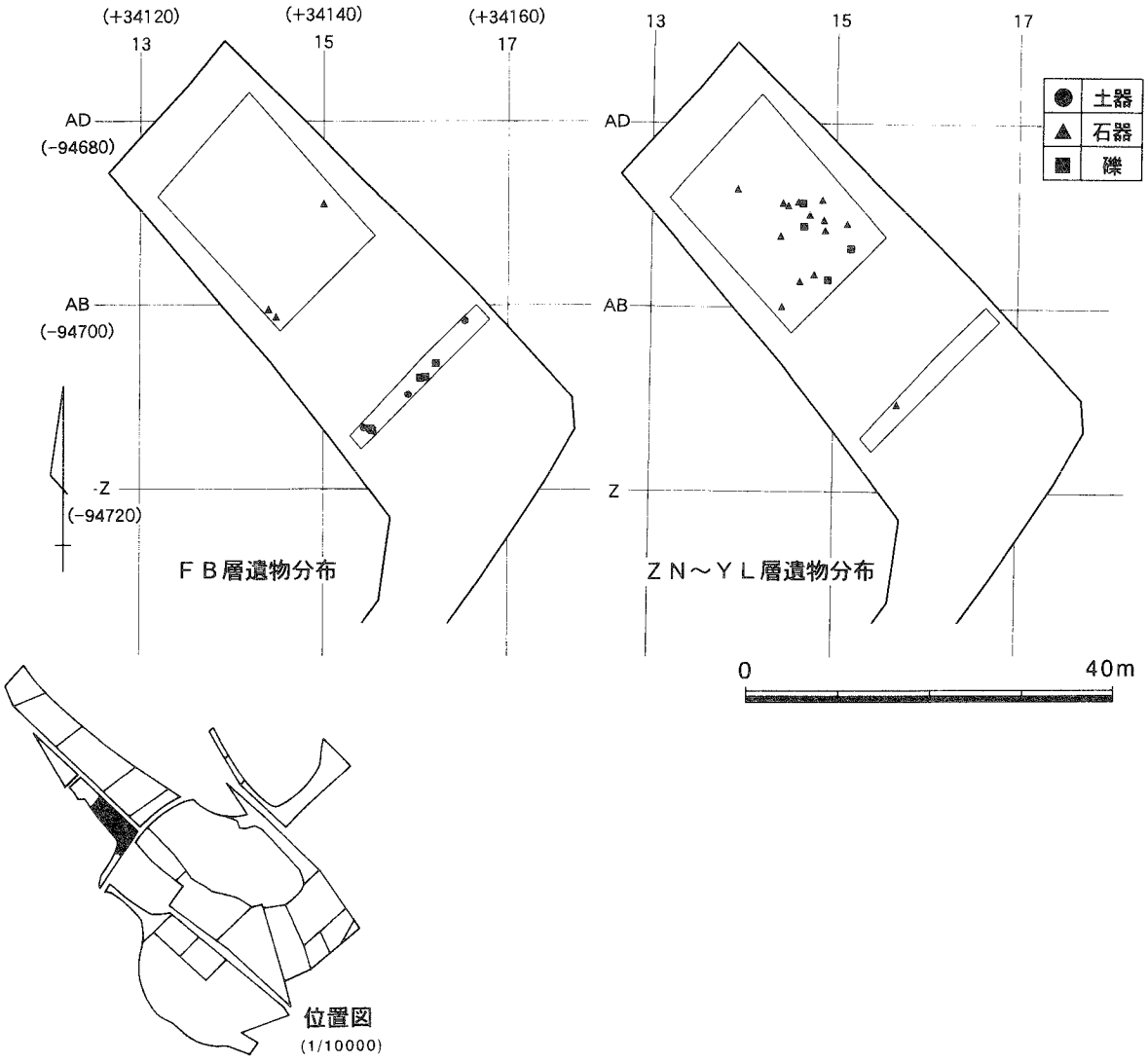
第139図　縄文時代時期不明遺構図

第８節　旧石器時代の遺構・遺物

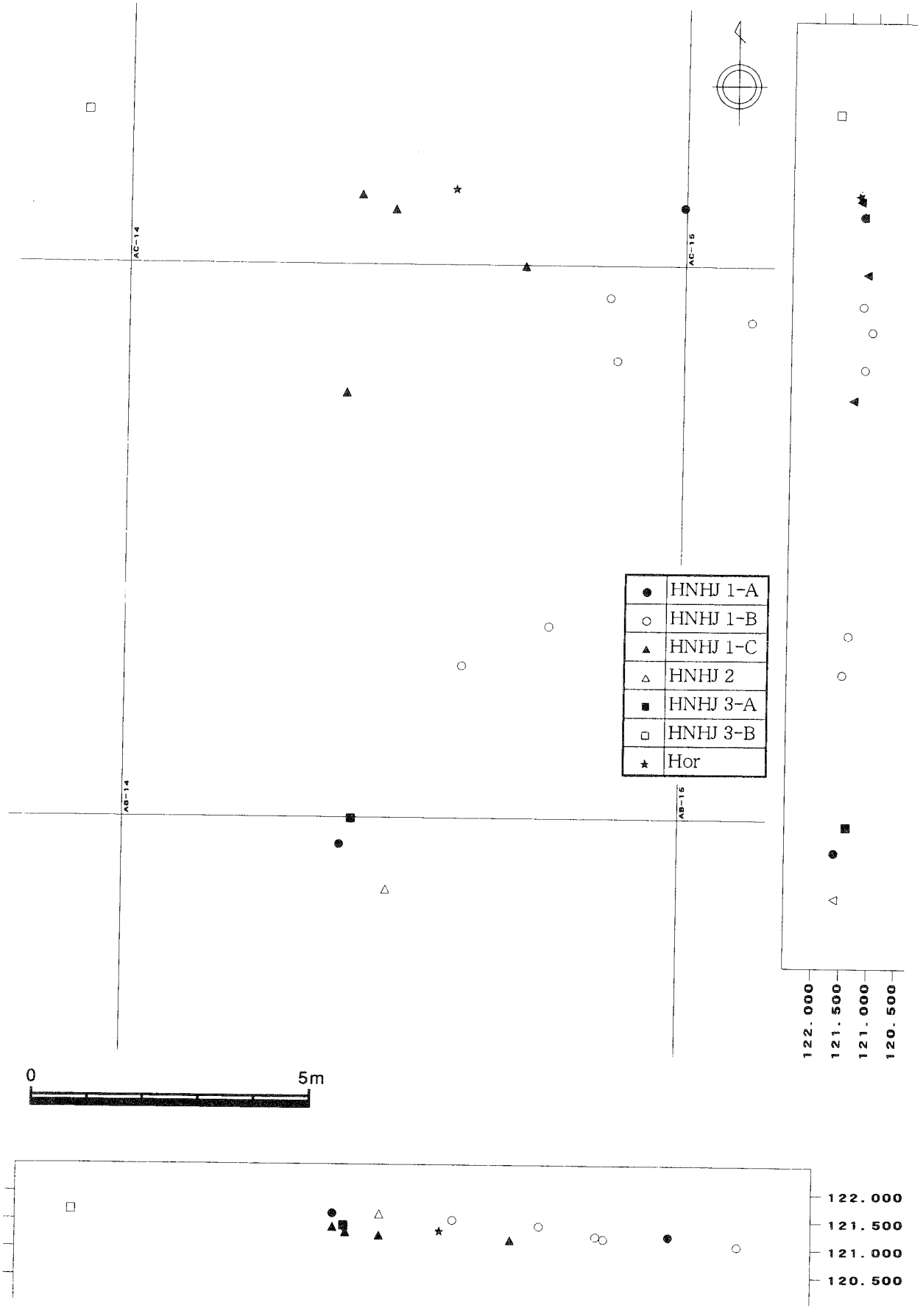
旧石器時代の遺構・遺物は、主に５－４区、３－５区で検出された。５－４区のBBIII層より礫群と石器ブロック、３－５区のSCIIIs-2層より礫群が検出されている。このほか、５－８区北側でFB層下部からYL層にかけて若干の剥片が出土し、４－１区、５－１区からもわずかではあるが、石器が出土している。

１　YL層の遺物

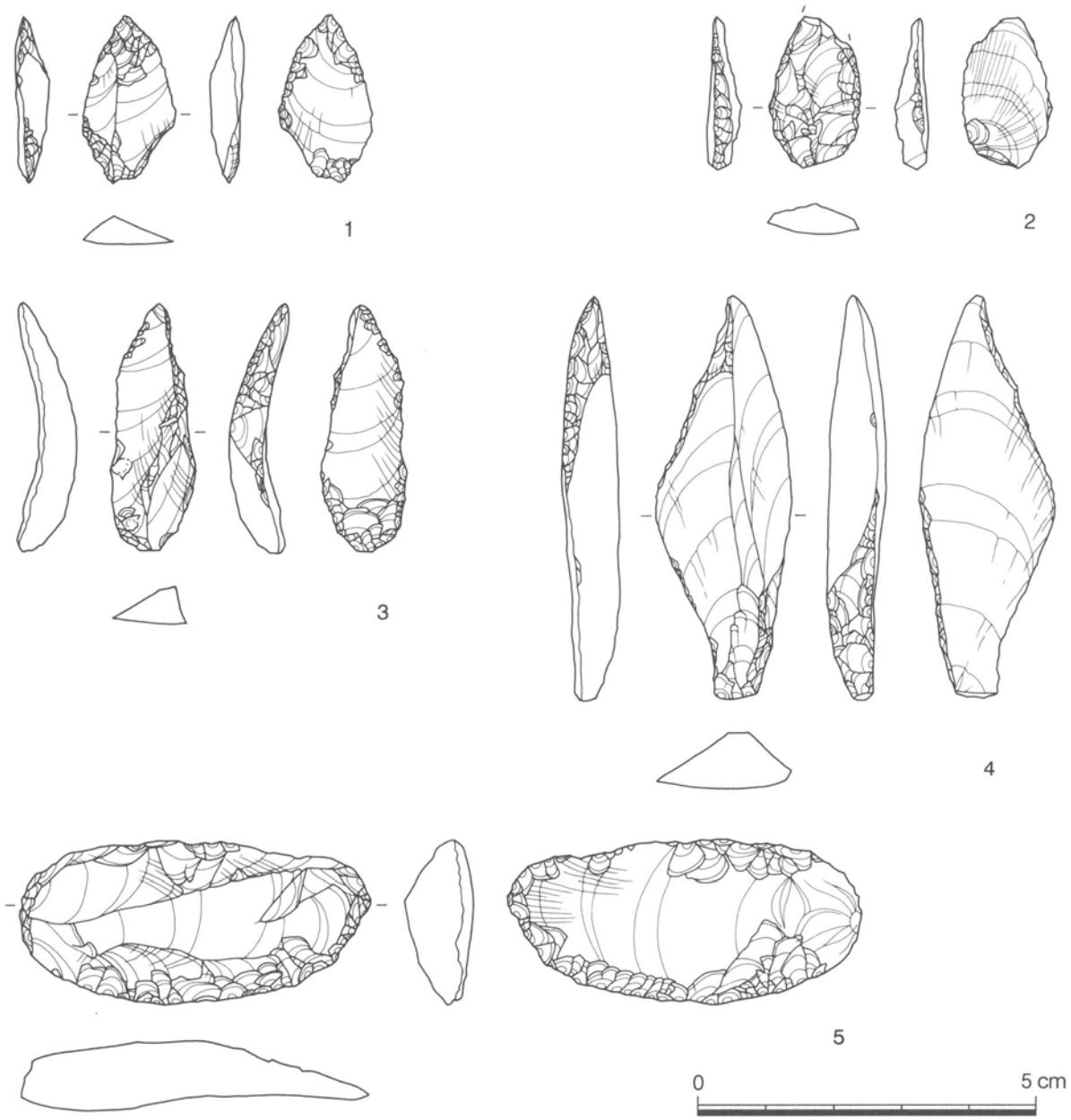
４－１区、５－８区北側、５－１区でわずかに遺物が出土している。４－１区は縄文中期末の包含層ではあるが、尖頭器１点、ナイフ形石器２点、スクレーパー１点が出土した。下層をテストピットで確認したが、ホルンフェルスの剥片２点が検出されたのみである。５－８区は北側調査区でFB層下部からYL層にかけて黒曜石の剥片がわずかに出土した。遺物の分布を第140・141図に示す。５－１区は下層確認中にナイフ形石器１点、礫１点が出土したが、他に遺構、遺物は検出されなかった。主な遺物を第142図に示す。



第140図　５－８区北側遺物分布図



第141図　5－8区石器石材分布図



第142図　YL相当層出土遺物実測図

第35表　旧石器時代（YL相当）遺物一覧表

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層 位	長 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	備　考
1	S-6477	尖頭器	Ob	4-1区	KU	2.45	1.4	0.45	1.0	
2	S-6981	ナイフ形石器	Ob	4-1区	KU	2.2	1.35	0.45	1.2	
3	S-2604	ナイフ形石器	Ob	4-1区	KGP	3.6	1.25	0.6	2.2	
4	S-2491	ナイフ形石器	SSh(BL)	5-1区	BB0	5.9	2.0	0.8	8.0	
5	S-7198	エンドスクレーパー	Ob	4-1区	FB	2.4	5.2	0.95	11.0	
	S-641	ナイフ形石器	Ob	5-8区	ZN	1.9	1.35	0.2	0.4	

2　BBIII層の遺構・遺物

5－4区の痩尾根上より石器ブロック1カ所と礫群2カ所が検出された。位置を第143図に示す。

(1)　石器ブロック

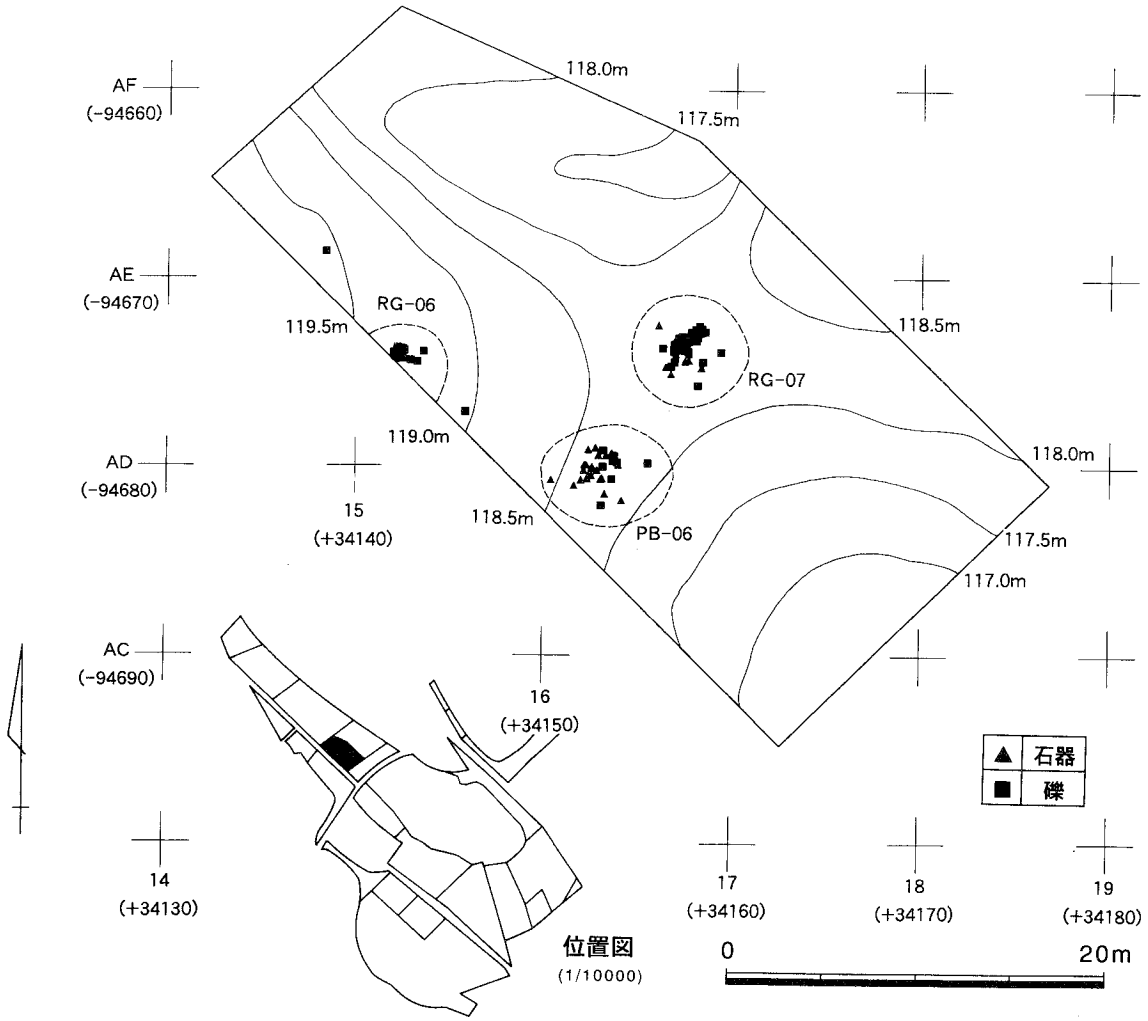
PB-06は径2～3mの範囲にホルンフェルスを中心とした剥片が分布する。礫もわずかに存在し、炭化物をわずかに含む。遺物の分布を144図に示す。

(2)　礫群

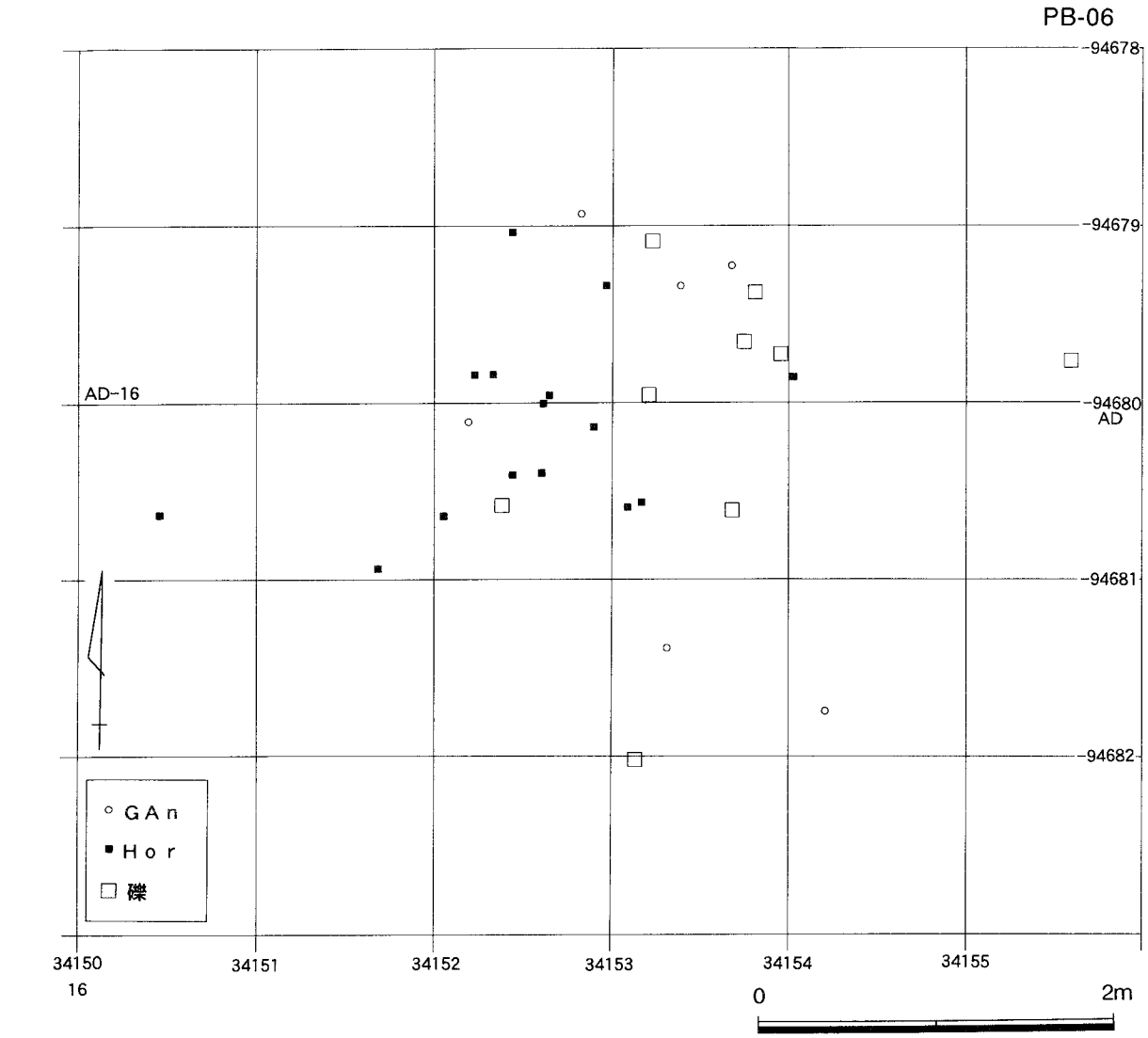
RG-06は1.6×1.8mの範囲に礫が14点分布する。第145図に図示する。礫は全て受熱し表面が赤化している。調査区北側の西壁寄りで検出された。尾根の頂部にあたる位置である。SCII層～BBIII層掘削中に検出された。ほとんどの礫はBBIII層に含まれる。

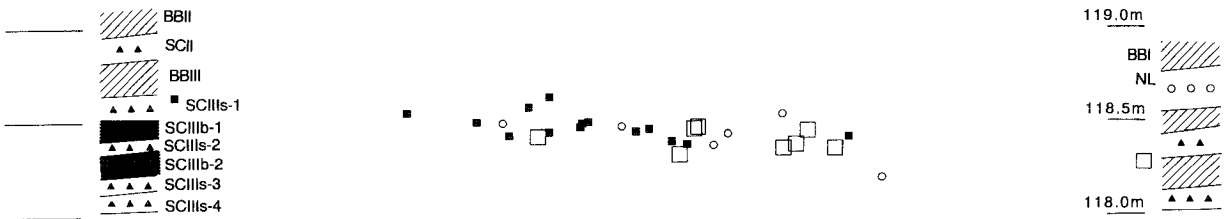
RG-07はSCII層～BBIII層にかけて3.9×3mの範囲に剥片や礫が59点分布する。第146図に図示する。剥片は少量であり、石材がほとんど異なる。

接合作業の結果、剥片は各遺構内のみで接合した。個体別の分布と接合状況を第147図に図示する。また、加工の明瞭な接合37を第150図に図示する。礫も遺構内での接合がほとんどであるが、1点の礫のみが各遺構で接合した。接合状況を第148図に図示する。PB-06で細かい礫片が出土しているため、ここにも礫群が存在したと考えられる。そしてPB-06に伴う礫群の礫はRG-06とRG-07に持ち去られていると推定される。これらから、各遺構はわずかな前後差はあるが、ほぼ同時期のものと見られる。

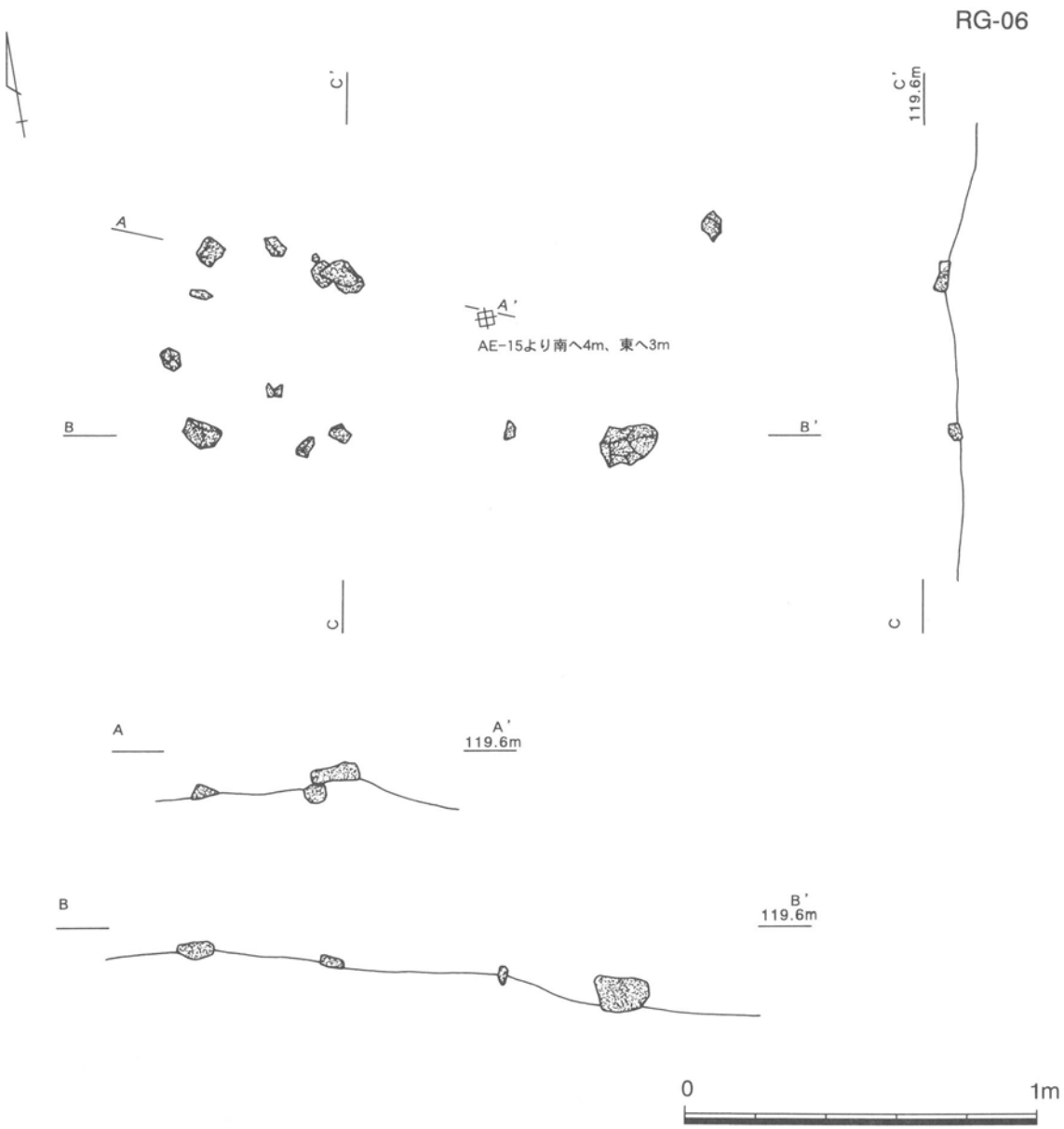


第143図　5－4区BBIII層遺構分布図





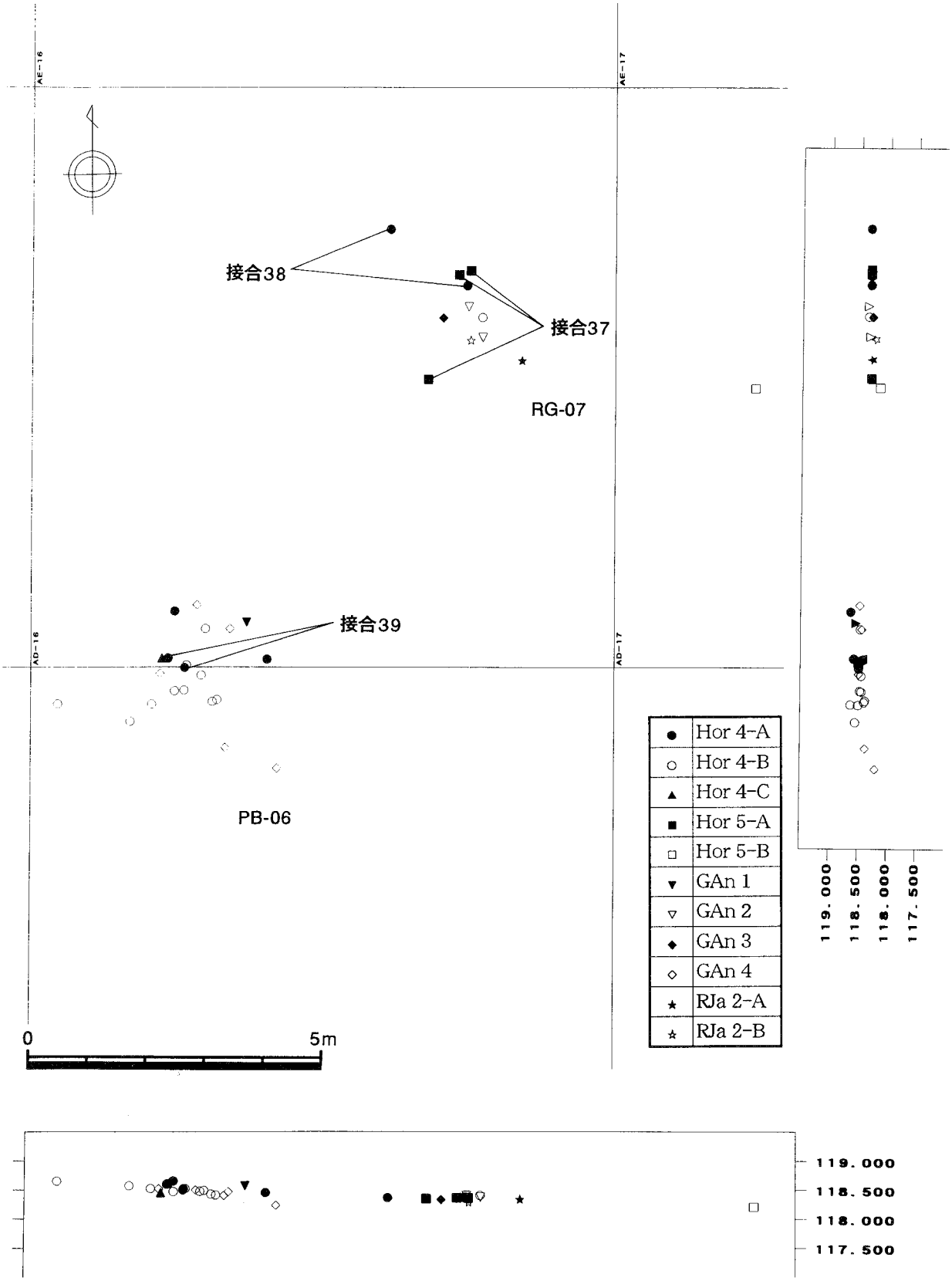
第144図　PB-06遺物分布図



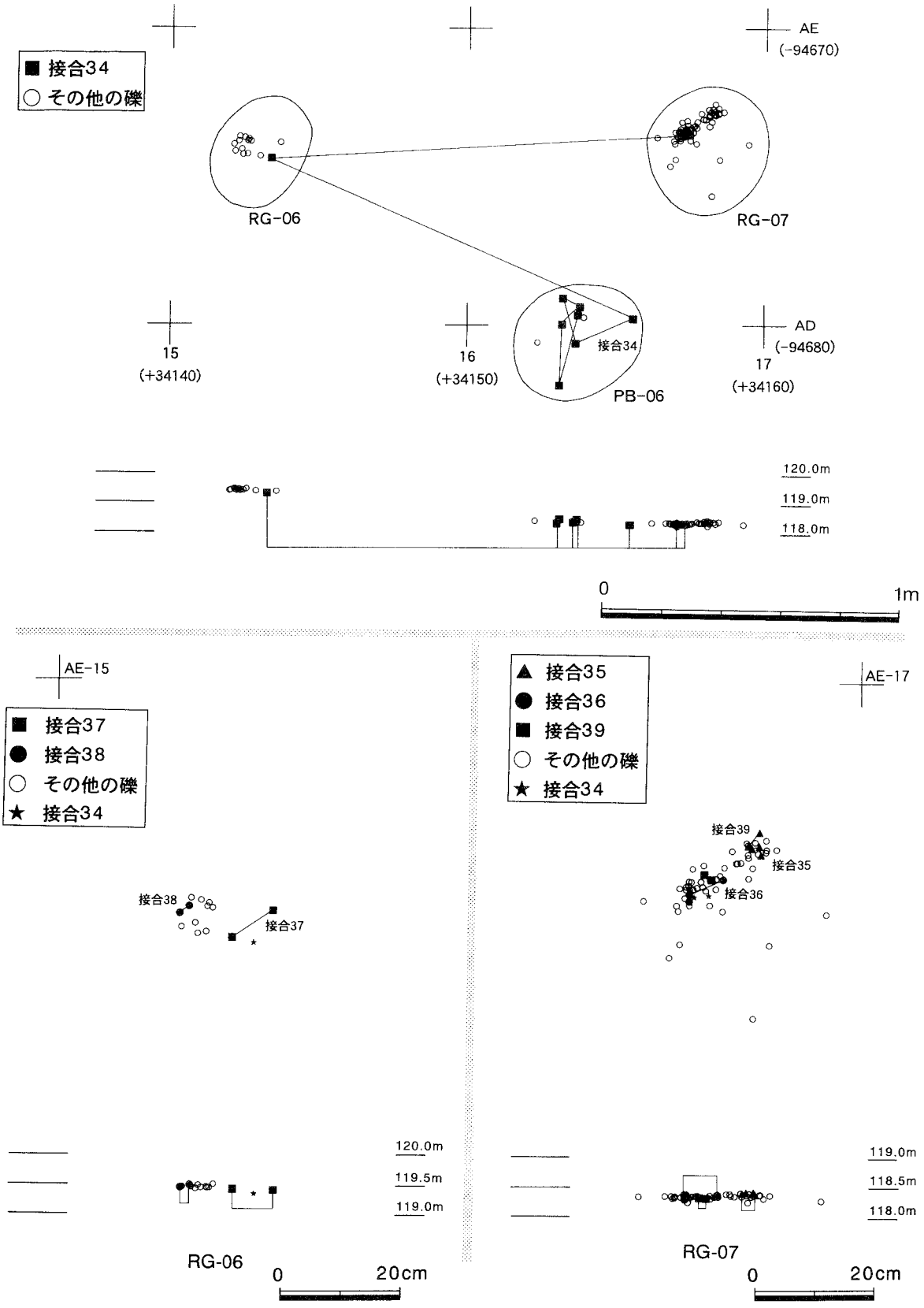
遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
RG-06	BBⅢ層	14	14	180cm×160cm	不明	不明	2.9kg
RG-07	BBⅢ層	59	58	390cm×300cm	不明	不明	6.5kg

第145図　RG-06遺構図

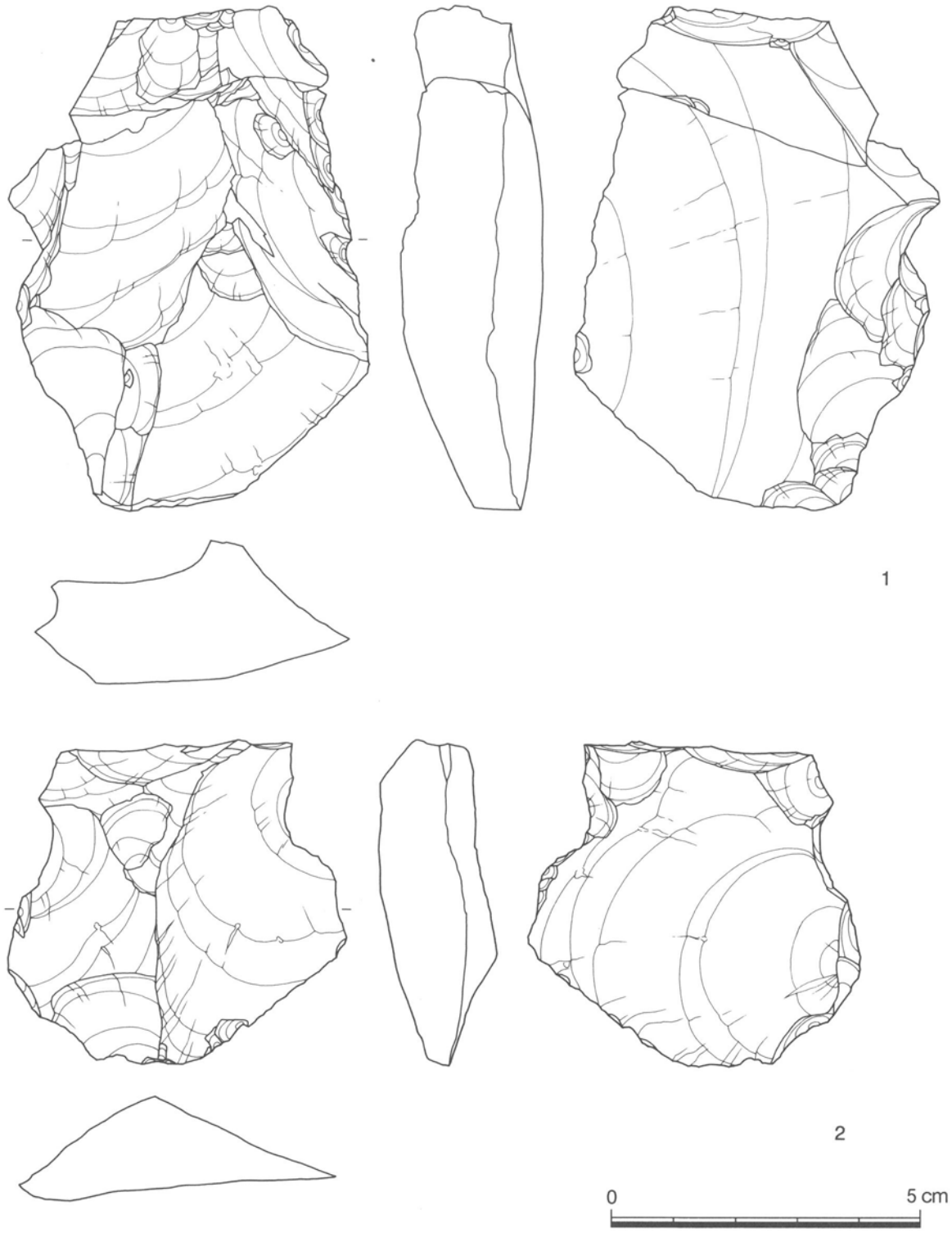
第146図　RG-07遺構図



第147図　BBⅢ層石器石材分布図



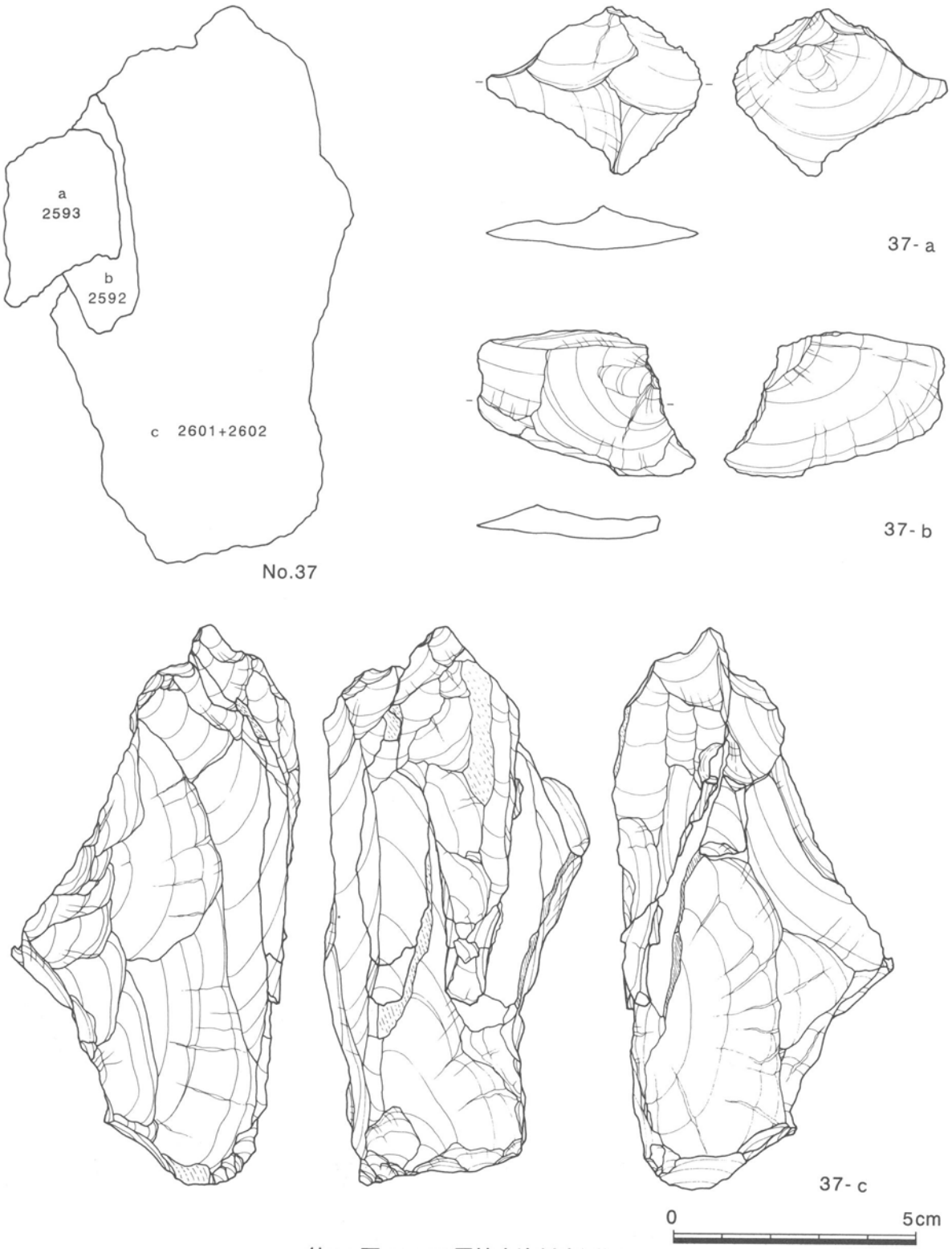
第148図　BBⅢ層礫接合関係図



第149図　BBⅢ層遺物実測図

第36表　旧石器時代（BBIII層）遺物一覧表

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
1	S-2591、2594	スクレーパー	Hor	5-4区	BBIII	8.1	5.9	2.25	107.3	
2	S-2598	使用痕剥片	GAn	5-4区	BBIII	5.2	5.45	1.6	42.2	



第150図　BBⅢ層接合資料実測図

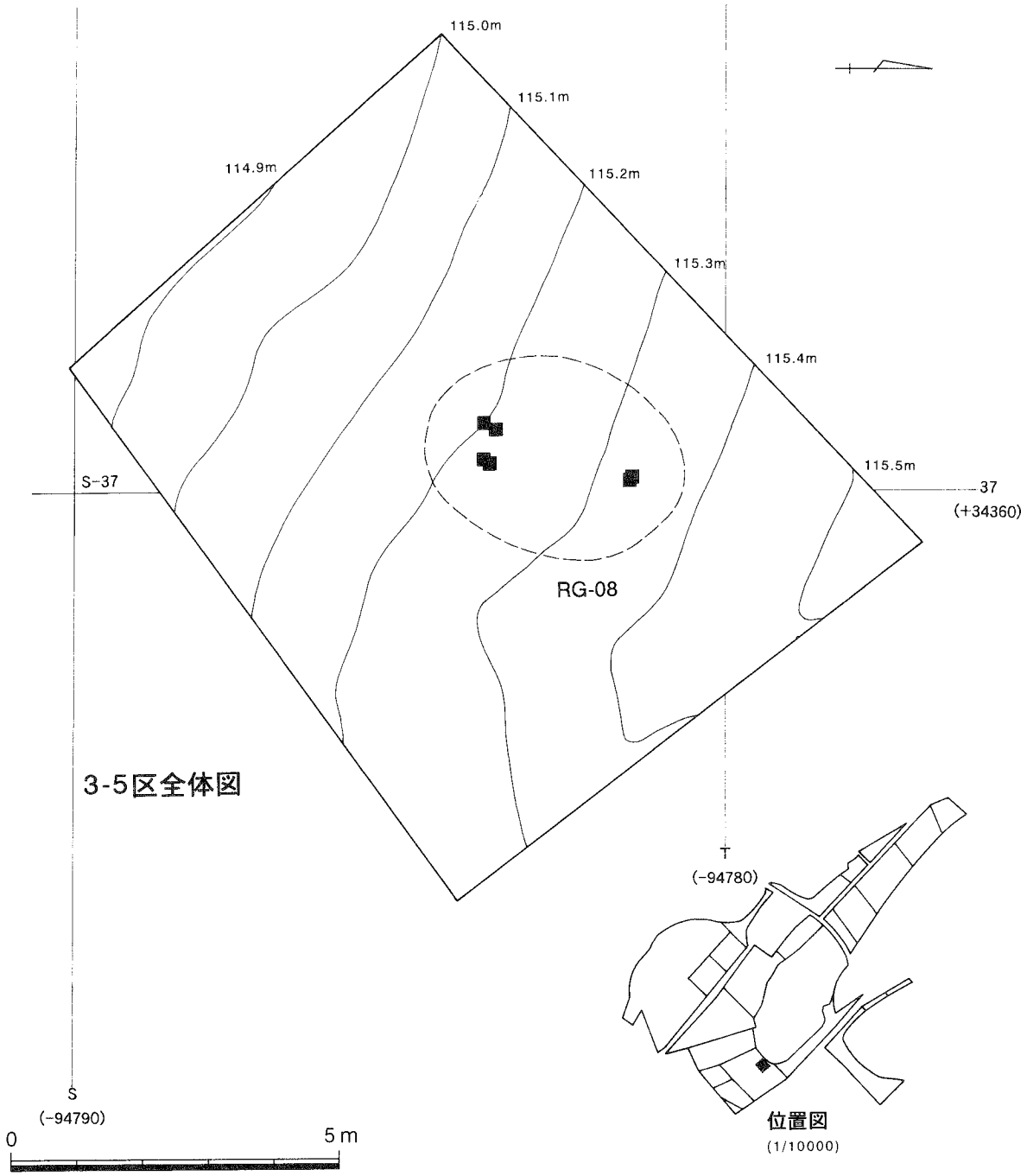
第37表　BBIII層接合資料一覧

接合番号	遺物番号	石材	層位	遺構	加工
37	S-2592、2593、2601、2602	Hor	BBIII	RG-11	
38	S-2571、2583	Hor	BBIII	PB-06	
39	S-2591、2594	Hor	BBIII	RG-11	

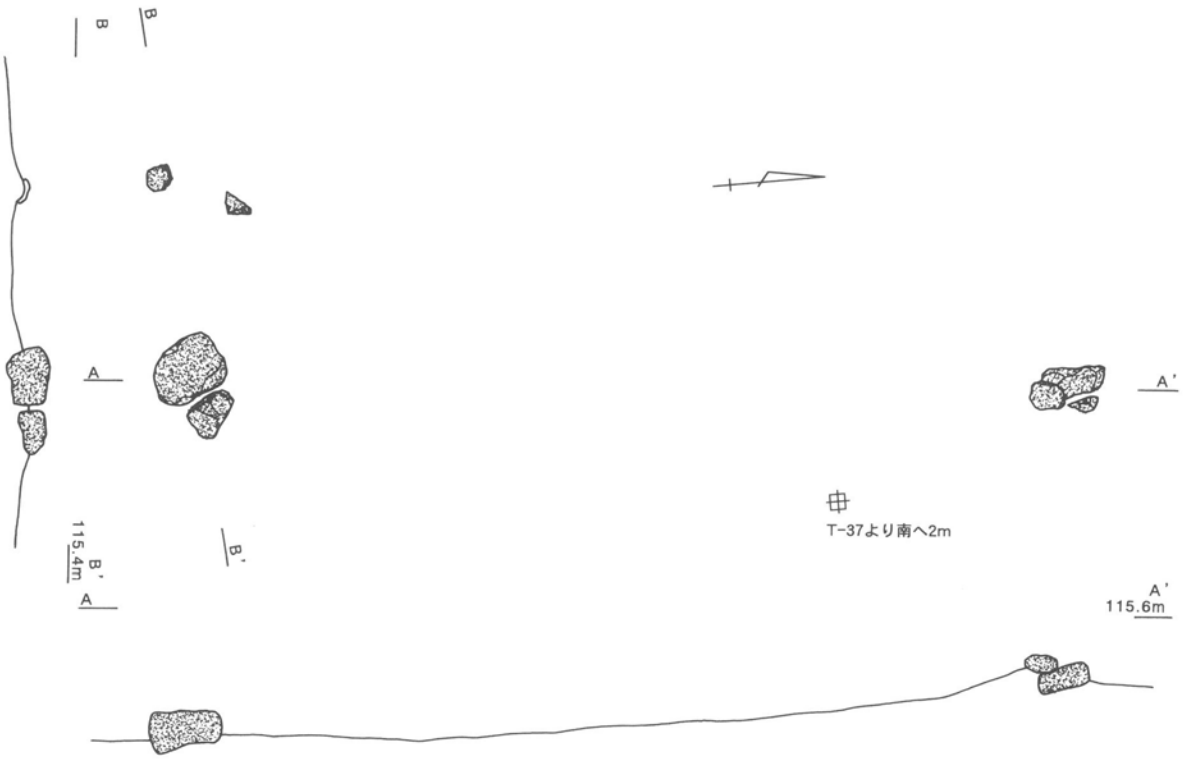
3　SCIIIb-2層の遺構・遺物

3－5区は東側が尾根で、すでに第IIIスコリア上面まで尾根が削平されている。ＳＣIIIb-2層で礫群1カ所が検出された。

RG-08は3－5区の北東側の尾根上に位置する。SCIIIs-2層掘削中に2つの大形の礫が出土し、SCIIIb-2層掘削中にさらに2点を検出した。1m弱の範囲に礫が4点分布している。確認調査中であったため、この部分について拡張を行ない、本調査対応とした。10m四方を掘削して礫を捜したが、約2m離れたところで3点礫が出土した他は遺物の出土はなかった。炭化物も検出されていない。



第151図　3－5区SCIIIb-2層全体図



遺構名	検出面	礫の数	受熱礫の数	礫の広がり	土坑検出面規模	底面の規模	礫の総重量
RG-08	SCⅢ b-2層	6	6	80cm×260cm	不明	不明	5.7kg

第152図　RG-08遺構図

第Ⅳ章　柏窪B遺跡の調査

第１節　柏窪B遺跡の概要

今回の調査で調査した４－５区西側と４－４区は、柏窪B遺跡の中心部の東側に位置する。確認調査により、浅い谷地形で遺構が少ないと考えられることや、遺物はほとんどが尾根の上にある遺跡本体からの流れ込みであることがわかった。このため調査は部分調査とし、トレンチ状に掘削して遺物を取り上げるという調査を行った。第153図に調査位置を示す。この結果、谷の中に中世の円形土坑、縄文時代の陥穴などがわずかに検出され、遺物は縄文時代の遺物を中心に少量出土した。

また、以前はここには低い痩尾根を挟むように浅い谷が入っていたが、昭和40年代の土地構造改善事業で切り盛りが行われて現在では階段状の平坦地となっている。調査により、尾根を切り崩して谷の盛土としている状況が確認された。このため、盛土中より尾根上にあったと考えられる縄文時代の遺物が出土している。

第２節　中世の遺構・遺物

１　遺構

調査区の南側のトレンチを中心に円形土坑が６基出土した。第153図に検出位置を示す。円形土坑は谷に落ちかかる肩部または緩い斜面から検出され、谷の底に近い部分では検出されない。また、遺物はいずれの遺構内からも出土しなかった。覆土と上部の層が黒色土で検出が難しいため、遺構は全てNS層上面で検出した。

SF-34は４－５区の南から２番目のトレンチである20トレンチの東側で検出された。NS層掘削中に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。長径８0cm、短径75cmの円形に近い楕円形でやや径が小さい。深さは残存値で12cmである。底はNS層を掘り込んでいる。

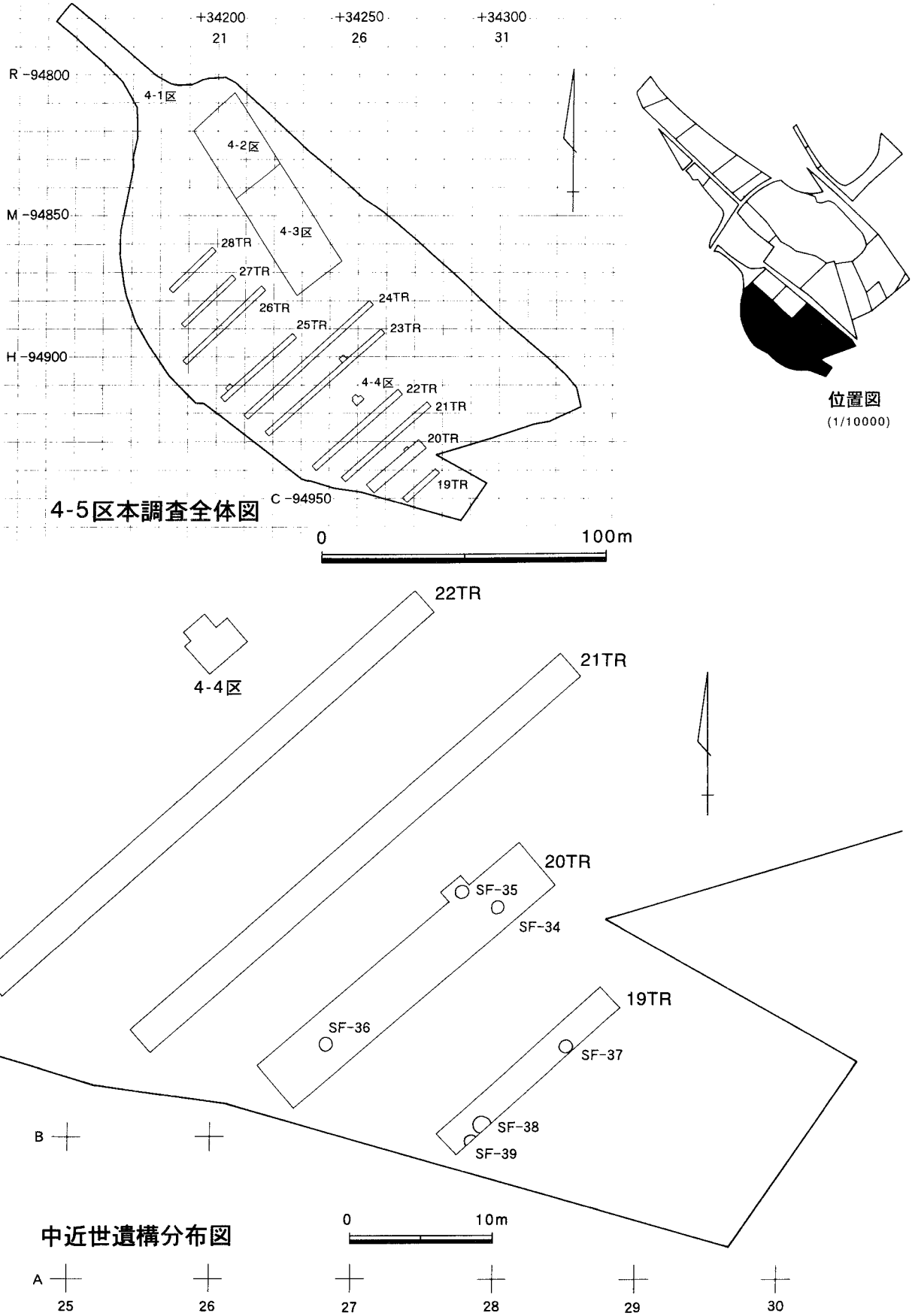
SF-35は４－５区の20トレンチ西側で検出された。緩く谷へ下る斜面に位置する。NS層上面精査中に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。長径115cm、短径103cmの円形に近い楕円形である。深さは残存値で９cmである。底はNS層を掘り込んでいる。

SF-36は４－５区の20トレンチ西側で検出された。緩く谷へ下る斜面に位置する。NS層掘削中に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。長径83cm、短径79cmのほぼ円形で他の物に比べて、やや径が小さい。深さは残存値で８cmである。底はNS層を掘り込んでいる。遺構内の出土遺物はなかったが、付近の上層の黒色土よりカワラケ片と銭貨（景徳元寶）１枚が出土した。

SF-37は４－５区の南端の19トレンチの東側で検出された。NS層上面に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。長径105cm、短径95cmの円形に近い楕円形である。深さは残存値で11cmで、底はNS層を掘り込んでいる。

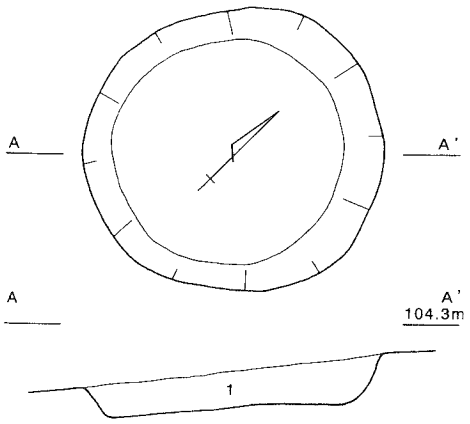
SF-38は４－５区の19トレンチの西端で検出された。SF-39の東側に位置する。NS層掘削中に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。長径130cm、短径123cmの円形である。深さは残存値で21cmで、底は谷に向かってやや深くなるように掘られ、KGP層を掘り込んでいる。

SF-39は４－５区の19トレンチの西端で検出された。SF-47の西側に位置する。NS層掘削中に黒色土が円形に落ち込んでいるのが検出された。径83cmの円形でやや径が小さい。深さは残存値で21cmで、トレンチの壁で観察すると、掘り込み面は15cm程度上になる。底はKGP層を掘り込んでいる。



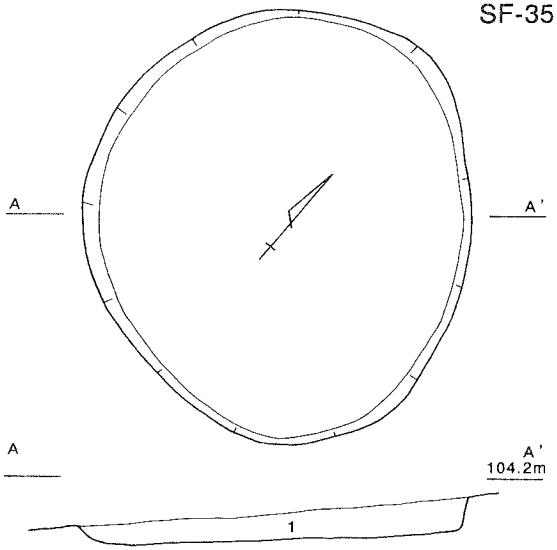
第153図　中世面遺構分布図

SF-34



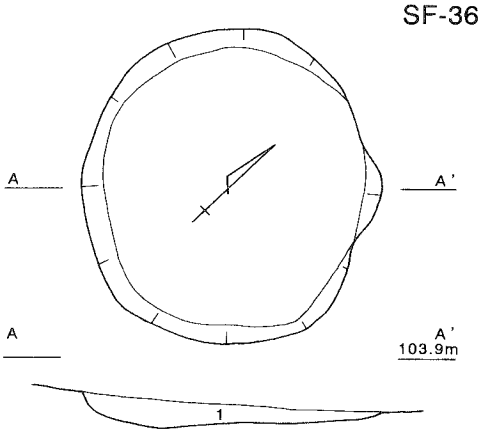
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし　色調やや暗い
　　黒　　径15～30㎜のNS層のブロックを含む
　　径1～2㎜の橙色・赤色スコリアを少量含む
　　パミスを少量含む

SF-35



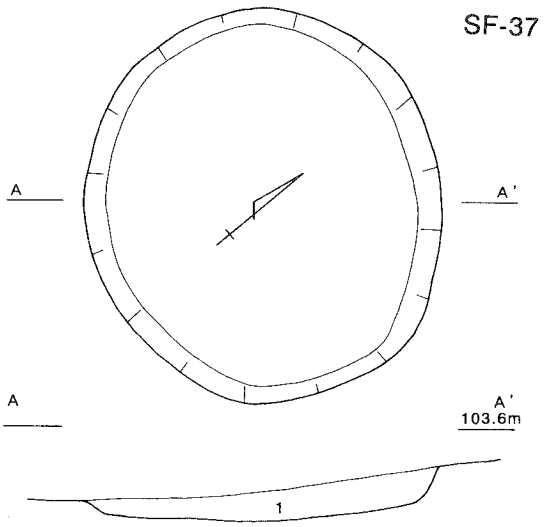
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし　墨のように黒い土
　　黒　　径1～3㎜の橙色スコリアを含む

SF-36



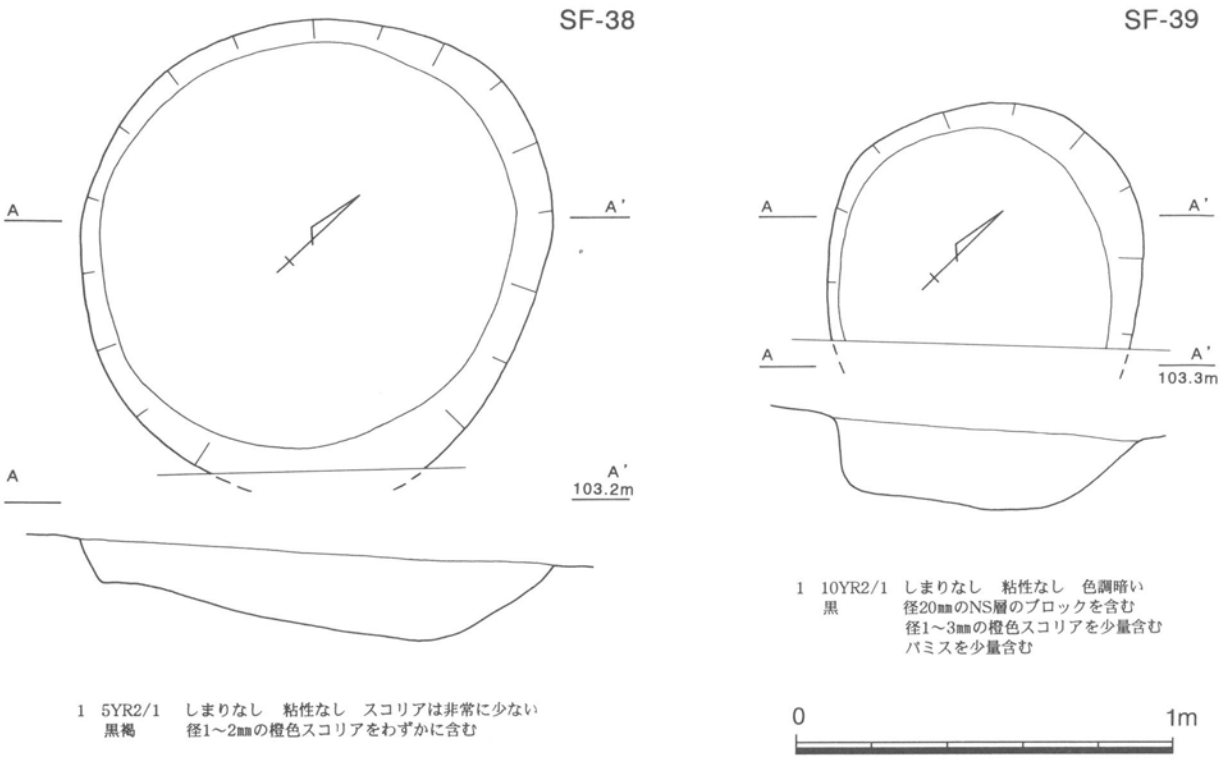
1　10YR2/1　しまりなし　粘性なし
　　黒　　径30㎜くらいのNS層のブロックを含む
　　径1～2㎜の橙色・赤色スコリアを少量含む
　　白色パミスを含む

SF-37



1　2.5YR2/1　しまりなし　粘性なし　墨のように黒い土
　　赤黒　　径30㎜くらいのNS層のブロックを含む
　　径1～2㎜の橙色・赤色スコリアを少量含む
　　パミスを少量含む

第154図　中世面遺構図1（土坑）



遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-34	4-5区	80	75	(12)	
SF-35	4-5区	115	103	(9)	
SF-36	4-5区	83	79	(8)	
SF-37	4-5区	105	95	(11)	
SF-38	4-5区	130	123	(22)	
SF-39	4-5区	(64)	83	(21)	

第155図　中世面遺構図２（土坑）

第156図　出土銭貨拓影

2　遺物

谷のほぼ中央部の中世と推定される黒色土層より銭貨１枚が出土した。景徳元寶（初鋳1004年北宋）である。重量2.8g、文字のある表面の外径は24㎜、内径は18.4㎜、孔は１辺5.2㎜、孔縁は７×7.4㎜である。裏面の内径は18.3㎜、孔縁は7.4㎜×7.4㎜である。裏面の孔縁はやや横に潰れている。このほか、かわらけ片がわずかに出土しているが、細片のため詳細は不明である。

第3節　縄文時代の遺構・遺物

1　遺構

縄文時代の遺構はとして陥穴2基、焼土1カ所が検出された。いずれも遺物を伴わないため、詳細な時期は不明である。検出位置を第157図に示す。

(1)　陥穴

SF-40は4－5区北側の25トレンチ西端で検出された。形状を第159図に示す。表土直下のYL層精査時にFB層が楕円形に落ち込んでいた。短径122cm、長径178cmの楕円形であるが、底部に近い部分は隅丸の長方形状になる。谷に長辺を向ける。深さは残存値で83cmで、上部は広いが、底部に向かってすぼまるような形状である。覆土はほぼFB層で、壁のYL層が一部崩れて混ざっている。

SF-41は4－5区の中に設置された4－4区で検出された。第159図に示す。確認調査時のテストピット北壁にかかって検出した。短径86cm、長径残存値175cmの南北に細長い楕円形の陥穴である。南端の上部は発見が遅れたために底部のみ検出となった。北側は木根の攪乱により壁が不明瞭で、実際にはもう少し小形であった可能性が残る。FB層にKU層が落ち込んでいる。深さは81cmで、底部はYLU層を掘り込んでいる。壁は底部からほぼ垂直に立ち上がる。底部の覆土はFB層に近いが、上部はFB層とKU層が混ざったような土である。

(2)　焼土

FP-21は4－5区北側の24トレンチ西側で検出された。第158図に図示する。浅い谷へ落ちかかる斜面に位置し、長径65cm、短径50cmの斜面方向にやや長い範囲で、径1～3㎜の焼土粒が散っている。KU層下部からFB層上面を精査中検出された。

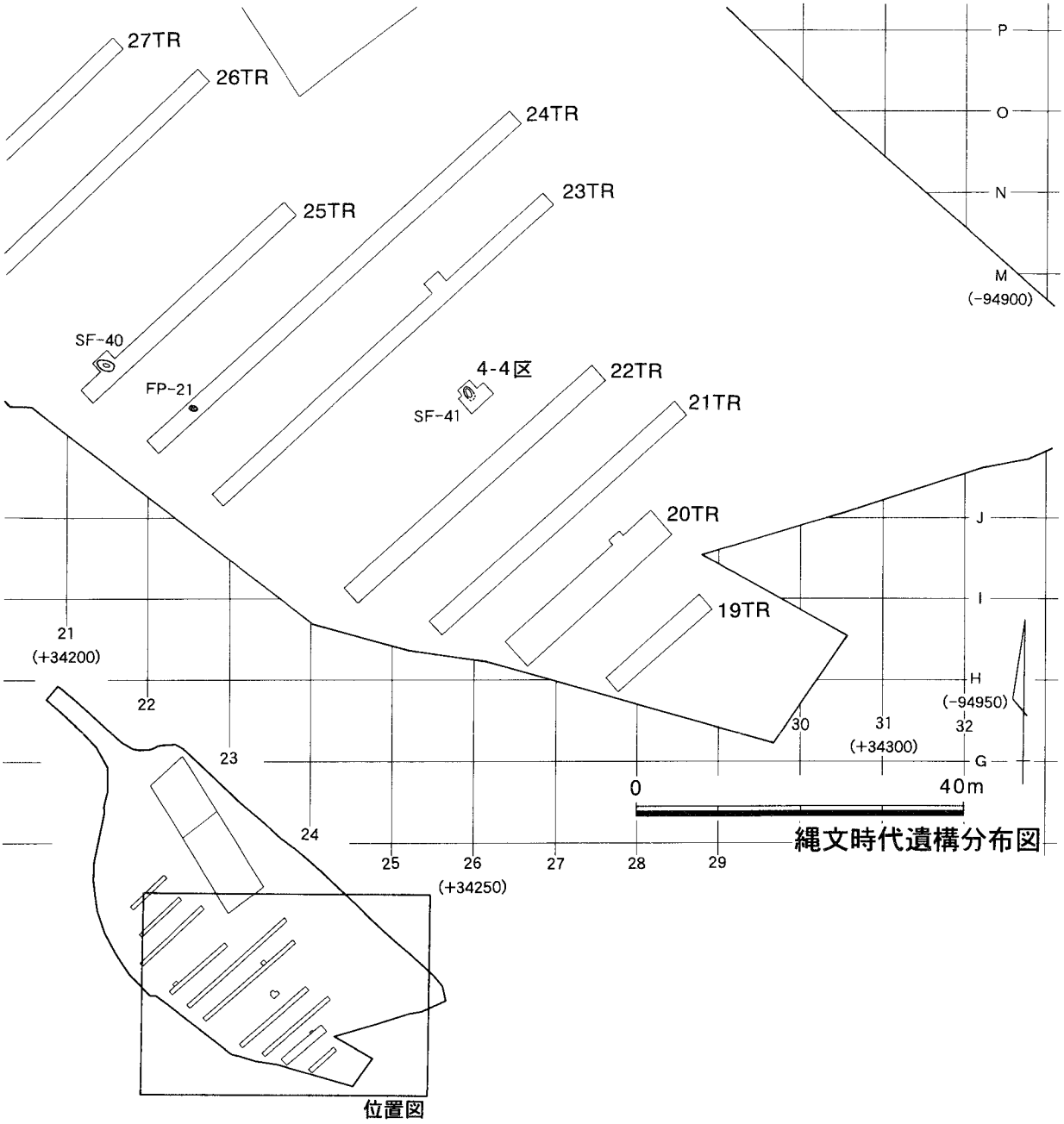
2　遺物

遺物の分布状況を第160図に示す。北西側は北より続く低い尾根で、南東側は浅く広い谷になっている。遺物は尾根上と谷の中から出土した。4－5区の西～南側より出土した遺物をここでは柏窪B遺跡の出土遺物として扱うが、この地区は中峯遺跡との境界にあるため、一部の遺物は中峯遺跡から流れ込んでいるものと考えられる。

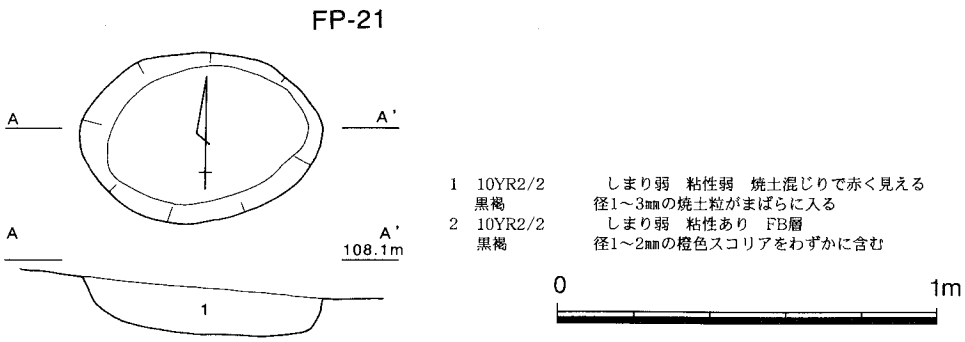
(1)　土器

トレンチ調査に留まったため、土器の量は少ないが、谷の中を中心に検出された。すべて破片で、無文のものが多いが、胎土や土器の厚みなどから縄文時代中期のものが多いと思われる。また、わずかであるが、縄文後期の土器も出土した。このほか土師質の土器、須恵器、カワラケなどの小片が出土している。

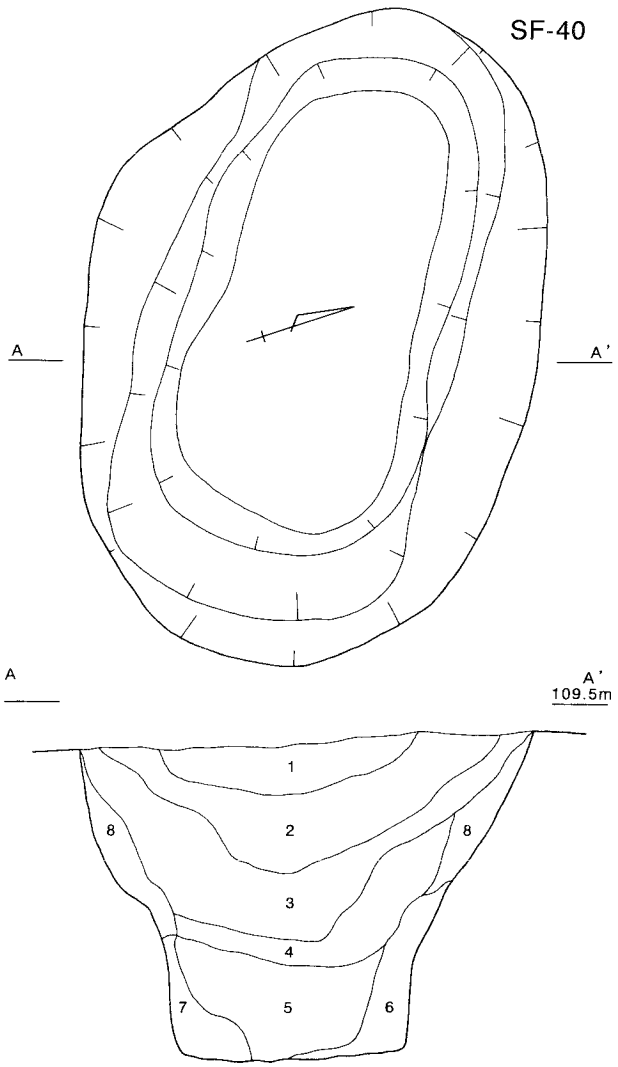
縄文土器について文様の明瞭なものを第161図～第163図に図示する。中期以前の土器としては、早期末～前期初頭の下吉井式と思われる破片が1点(1)と、前期後半の諸磯b式の破片が1点(2)出土した。中期中葉の土器は勝坂式の破片がわずかに（3～15）出土した。施文の状況から7個体分の破片であると思われる。4は角押文のみで古い時期の施文方法を持つが、このほかの破片には三角押文が見られ、いずれも新道期のものであると思われる。中期後半の土器は曽利式（16～20）と、加曽利E式（21～37）の破片が出土している。ほとんどが曽利IV～V期、加曽利E4期で中期末ものである。16は曽利縄文系の破片と思われる。割合的には曽利式より加曽利E式が多い傾向にある。これは中峯遺跡の4－1区の傾向と同じで、4－1区から延びる削平された尾根からの流れ込みである可能性がある。後期の土器は称名寺式（44～46）、堀之内式（47～50）の土器片が出土している。各時期の土器とも4－5区の広範囲に分布し、時期的な偏在性は見出すことが出来なかった。

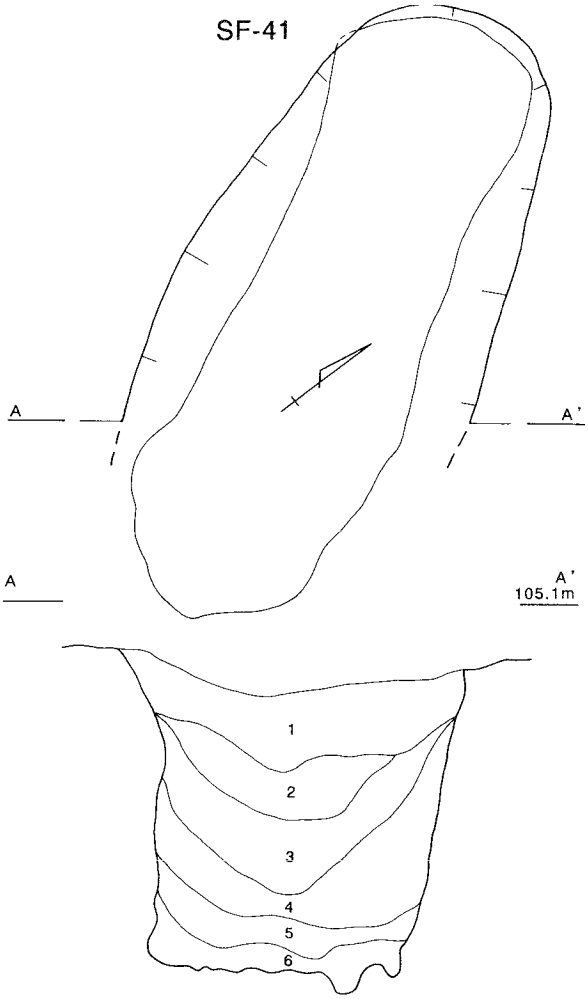


第157図　縄文面遺構分布図



第158図　縄文面遺構図１（焼土）





1 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性あり
径1～5㎜の黄土色・橙色スコリアを多量に含む
2 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性あり　上層よりやや色調暗い
径2×4cmのロームブロックが入っている
径2～4㎜の黄土色・橙色スコリアを少量含む
3 10YR2/2～3/2 黒褐　しまり弱　粘性あり　上層よりやや色調明るい
径1～3㎜の黄土色スコリアを含む
橙色スコリアを少量含む
4 10YR3/3 暗褐　しまり弱　粘性あり　上層よりかなり色調が明るい
径1～5㎜の黄土色スコリアを多量に含む
径3～5㎜の橙色スコリアをわずかに含む
5 10YR2/2 黒褐　しまり弱　粘性あり　やや色調暗い
径2～7㎜の黄土色スコリアを含む
6 10YR2/3 黒褐　しまり弱　粘性あり　5の層よりやや色調明るい
径1～5㎜の黄土色スコリアを少量含む
橙色スコリアをわずかに含む
7 10YR3/3 暗褐　しまりなし　粘性あり　6の層よりもさらに色調明るい
径2～3㎜の橙色スコリアをわずかに含む
やや粒の大きなスコリアが目立つ
8 10YR4/4 褐　しまり弱　粘性あり
壁のYL層が崩れて流れ込んでいる土
スコリアはほとんどなし

1 10YR3/3 暗褐　しまりなし　粘性なし
径2㎜くらいの黄土色・橙色スコリアをわずかに含む
ほとんどスコリアなし
2 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性なし
径1～3㎜の黄土色スコリアを含む
3 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし
径1～5㎜の黄土色スコリア多い
黄色ロームがブロック状に入る
4 10YR2/2 黒褐　しまりなし　粘性なし　FBa層に似る
径2～3㎜の赤色・黄土色スコリアを含む
5 10YR2/3 黒褐　しまりなし　粘性なし
FBaとYLが混ざったような層
赤色スコリアをわずかに含む
6 10YR3/4 暗褐　しまりなし　粘性少しあり
ZN層に似る　黄味が強い

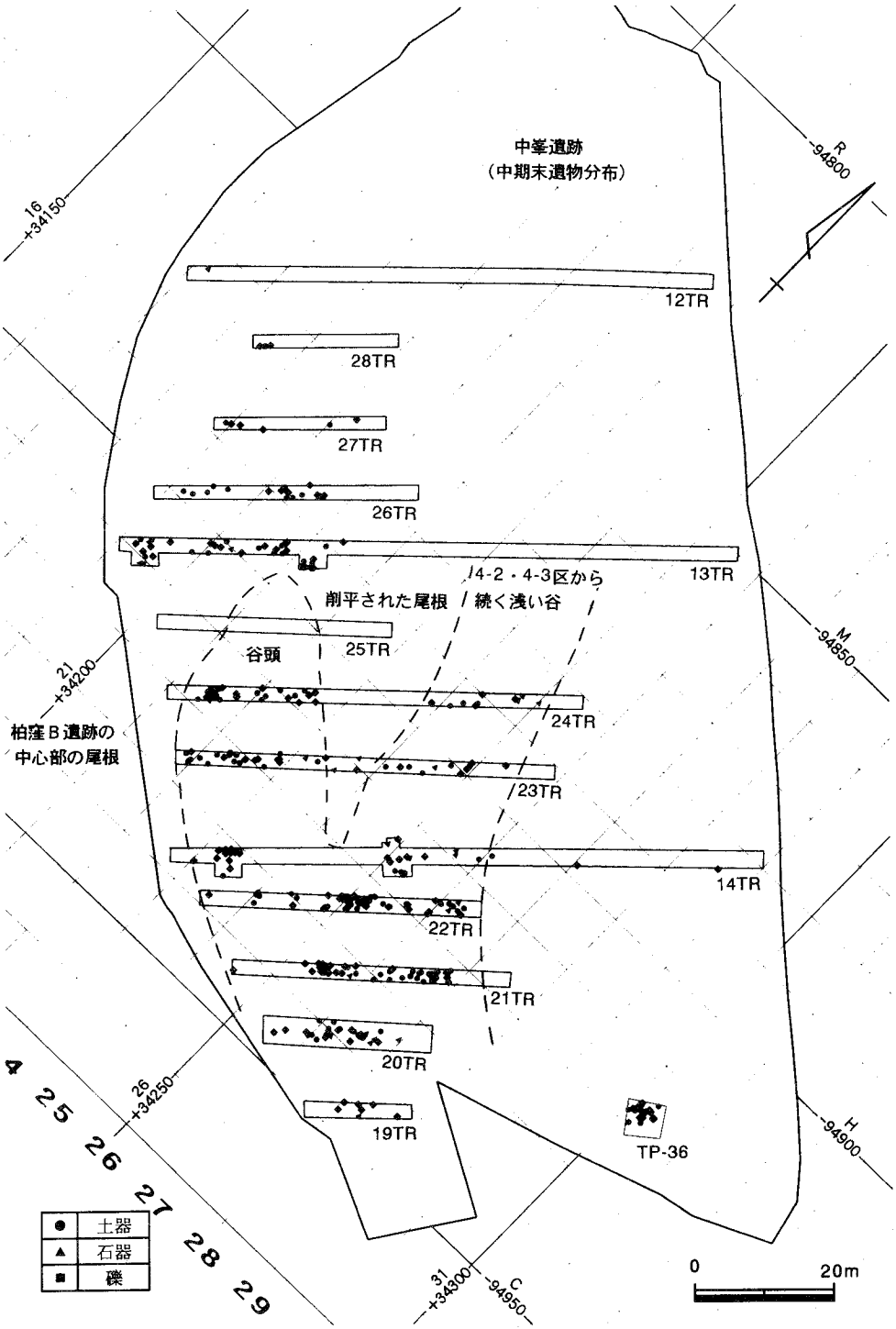
0　1m

遺構番号	出土区	法量（cm）			備　考
		長径	短径	深さ	
SF-40	4-5区	178	122	(83)	
SF-41	4-4区	(175)	86	(81)	

第159図　縄文面遺構図2（土坑）

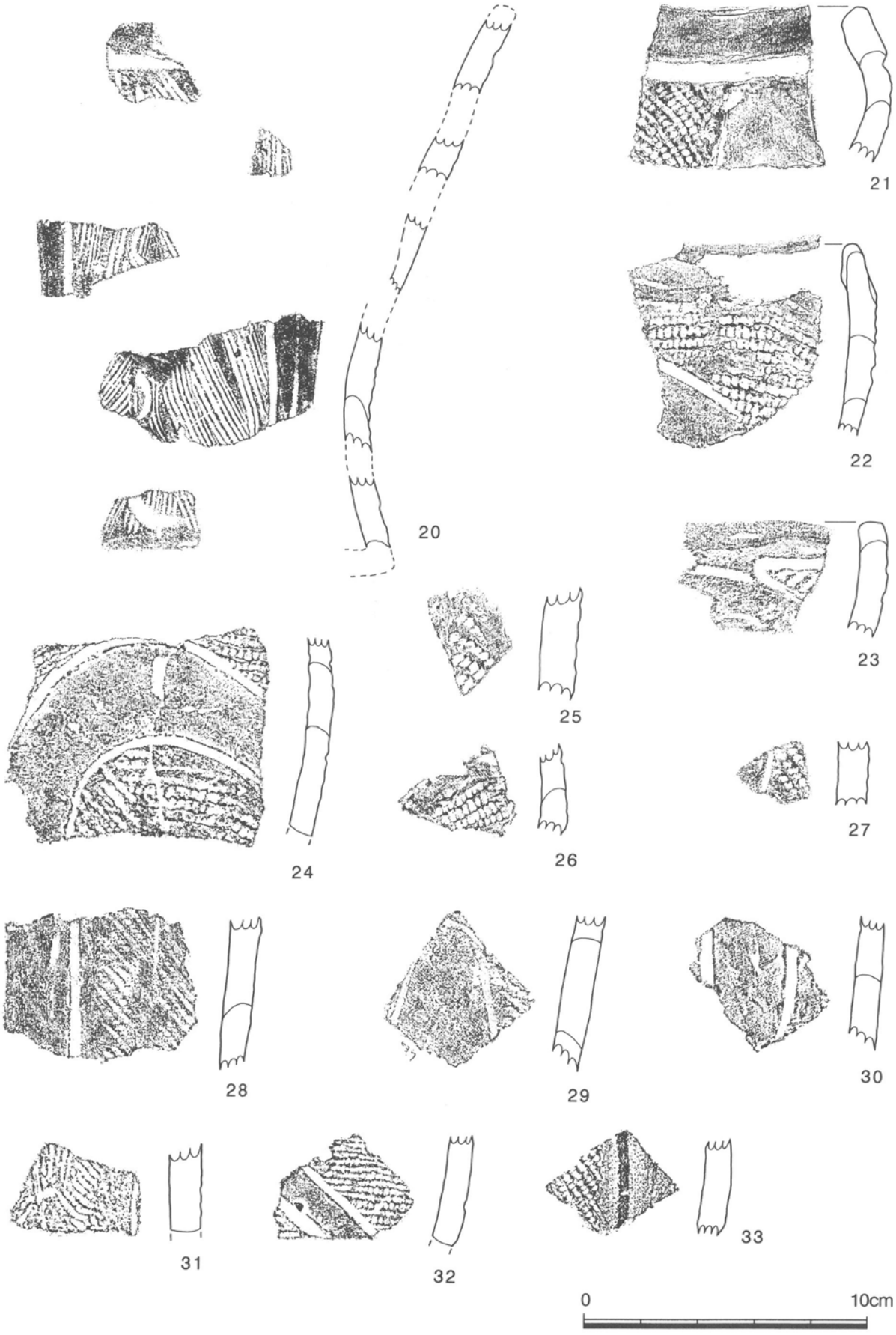
(2) 土製品

土器片錘が１点出土している。第163図52に示す。長楕円形に擦って土器片を整え、両端に刻みを入れる。使用した土器片は隆帯が１条あるのみで時期を特定出来ないが、胎土から中期（曽利式カ）と推定される。

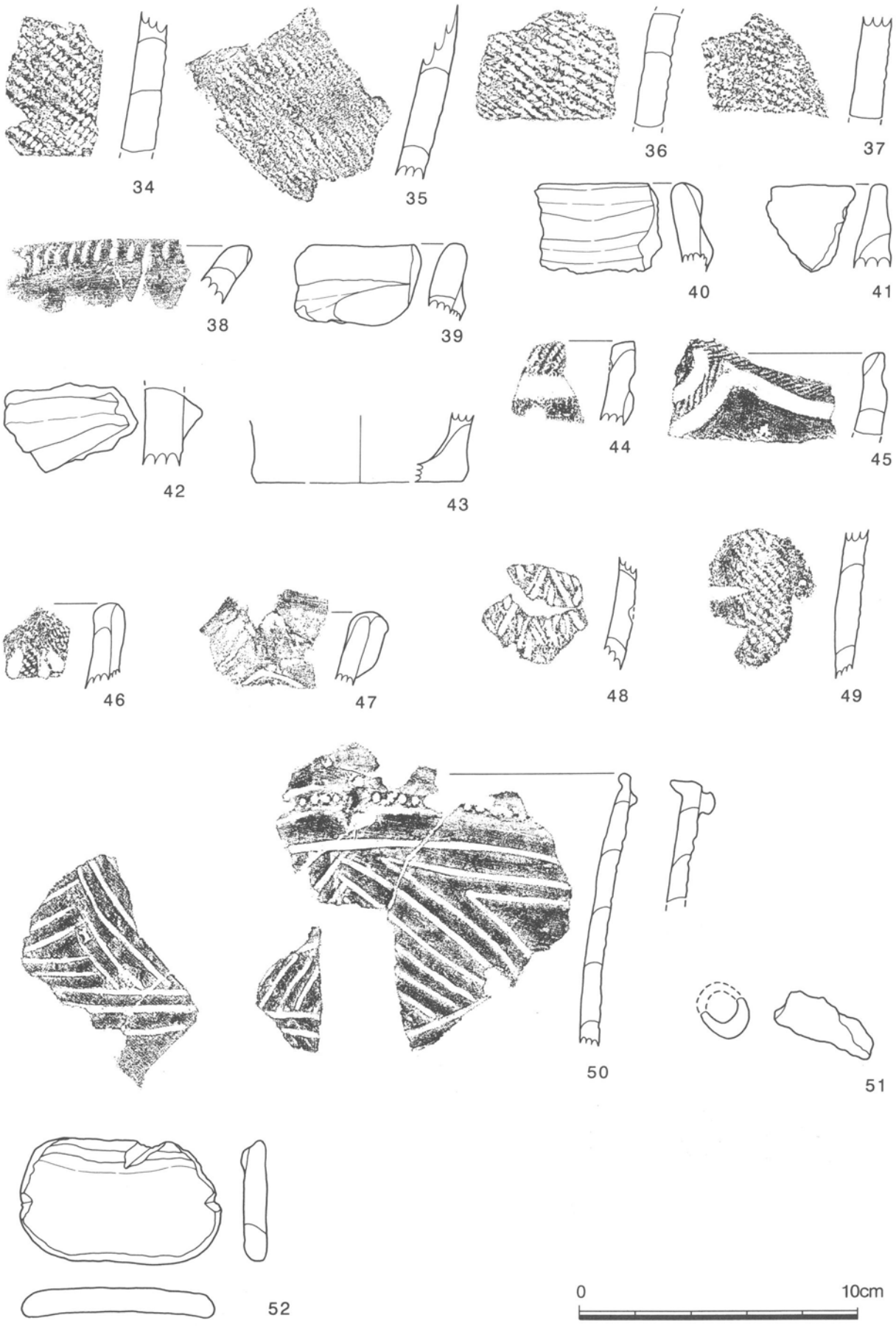


第160図　縄文面遺物分布図

第161図　縄文時代土器実測図 1



第162図　縄文時代土器実測図 2



第163図　縄文時代土器実測図 3

第38表　縄文土器観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1)文様 (2)含有物	備考 全体的に被熱
1 第161図 図版84	P-1791	4-5区 AN 24TR	早期末～ 前期初頭 下吉井式カ	深鉢カ 波状口縁	LI縁部破片 5YR5/6　明赤褐 5YR5/6　明赤褐	(1) 浅い沈線でLI縁部に沿って文様を描く。下部は細い半截竹管による平行沈線が斜めに引かれる。 (2) 長石、石英、輝石、白色岩片、径2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好
2 第161図 図版84	P-1925	4-5区 FB 28TR	前期後半 諸磯b式	深鉢	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR5/3 にぶい黄褐	(1) 地文にRLの縄文を施文。幅広の半截竹管で幾何学的な文様を描く。 (2) 石英、輝石、金雲母、白色粒子を含む。長石を少量含む。	焼成良好
3 第161図 図版84	P-1856	4-5区 KU 21TR	中期中葉 勝坂式 (新道期)	深鉢 楕円か方形のパネル	胴部破片 7.5YR4/2　灰褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 幅の広いキャタピラ文の内側に三角押文を施文。 (2) 長石、輝石、金雲母、白色粒子、赤色粒子、径2㎜の小礫を含む。	焼成良好
4～6 第161図 図版84	P-1842、 1855、6	4-5区 AN・ FB 21TR	中期中葉 勝坂式	深鉢 楕円パネル	胴部破片 7.5YR4/4　褐 10YR4/2　灰黄褐	(1) 幅の狭い角押文。押し引きの間隔がやや広い。 (2) 石英を多く含む。長石、金雲母、輝石、赤色粒子、赤色岩片を含む。	破片は広範囲に散る。 焼成良好
7 第161図 図版84	P-1838- 1841、1843、 1981	4-5区 AN 21・22 TR	中期中葉 勝坂式 (新道期)	深鉢 口唇部やや外反	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部に上から斜めに刻みを入れる。口唇部の外反するくびれ位置に二列の三角押文を施文。その下に無文帯をおいて幅の広いキャタピラ文とこれに平行する三角押文を施文。以下は縄文を施文。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白色岩片を含む	破片はまとまって出土。 焼成良好
8～10 第161図 図版84	P-1803- 1805、1804、 130	4-5区 AN 23TR	中期中葉 勝坂式 (新道期)	深鉢カ	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 三角押文を斜めと横方向に施文。幅の広いキャタピラ文と三角押文の平行する破片もある。 (2) 石英、輝石、白色粒子、赤色粒子、径2㎜の小礫を含む。	まとまって出土。 焼成良好
11～13 第161図 図版84	P-1782、 1808、4757	4-5区 AN・ KU・ 表採 23・24 TR	中期中葉 勝坂式 (新道期)	深鉢カ	口縁部・胴部破片、 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 隆帯の両側に三角押文を2列に施文。楕円パネルの隆帯には刻みを入れる。他の隆帯は刻み無し。 (2) 輝石を多く含む。石英、白色粒子、白色岩片を含む。	やや離れた位置より出土。 焼成良好
14 第161図 図版84	P-4758	4-5区 表採	中期中葉 勝坂式 (新道期)	深鉢	口縁に近い文様帯 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい褐	(1) 隆帯の両側にやや幅の広い三角押文を2列施文。粘土紐を貼付けた把手状の物があるが、欠損している。 (2) 石英、金雲母、長石、白色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好
15 第161図 図版84	P-1853	4-5区 AN 21TR	中期中葉 勝坂式 (新道期カ)	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR4/6　褐 7.5YR4/6　褐	(1) 表面劣化と欠損のため不明瞭。粘土紐を貼付け、三角の突起状の形を作る。口唇部には上からU字に沈線を引く。 (2) 金雲母、石英を多く含む。輝石、長石、赤色粒子を含む。	表面劣化
16 第161図 図版84	P-1913、 1914	4-5区 FB 26TR	中期後半 曽利縄文系	深鉢	頸部～胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 頸部は半截竹管による平行線を引き、断面半円形の隆帯状の文様を作る。地文には磨滅が著しいが、RLの縄文を施文する。 (2) 石英、輝石、白色粒子、白岩片、径2㎜程度の小礫を含む。	近い地点で出土 焼成良好
17 第161図 図版84	P-105	4-5区 KU	中期後半 曽利V式カ	深鉢	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 幅の広い浅い沈線で区画を描く。沈線でハの字形カの文様を描く。 (2) 長石、金雲母、石英、白色粒子を含む。径3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好。胎土やや粗い。

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考 全体的に被熱
18 第161図 図版84	P-4760	4-5区 表採	中期後半 曽利V式	深鉢カ	胴部破片 7.5YR3/2　黒褐 7.5YR3/2　黒褐	(1) 断面半円状の低い隆帯が下垂。隆帯の両側に沈線を引く。また、斜方向の沈線が見られる。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片を含む。	焼成良好
19 第161図 図版84	P-1796	4-5区 AN 23TR	中期末 曽利V式	深鉢	胴部破片 2.5Y6/3 にぶい黄 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 細い棒でハの字を描く (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好
20 第162図 図版84	P-134、135、 129、132、 133、1985	4-5区 AN 14・22 TR	中期後半 曽利IV式カ	深鉢	胴部破片 7.5YR5/6　明褐 5YR6/6　橙	(1) 太い沈線で区画した中をハケ状の施文具で綾杉文を施文。中央に蛇行する太い沈線を下垂させる。 (2) 長石、石英、輝石、白色粒子、赤色粒子、径1㎜程度の小礫を含む。	ほぼまとまって出土。 焼成良好
21 第162図 図版85	P-4761	4-5区 表採	中期末 加曽利E4式	深鉢 口縁部内彎	口縁部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 内彎する口唇部は無文でやや厚く作る。口唇部の下に太い沈線を引き、その下にLRの縄文を施文し、沈線で区画して磨り消す。 (2) 輝石を多く含む。石英、白色粒子、黒色粒子を含む。	焼成良好
22 第162図 図版85	P-1996	4-5区 AN 22TR	中期末 加曽利E4式	深鉢 口縁やや内彎、口唇部のみ外反	口縁部破片 5YR6/5　明赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 口唇部無文。太い沈線で区画した中をLRの縄文で充填する。 (2) 石英、長石、輝石、赤色粒子、白色粒子、径5㎜大の赤色岩片を含む。	焼成良好
23 第162図 図版85	P-4769	4-5区 表採	中期末 加曽利E4式	深鉢	口縁部破片 7.5YR7/6　橙 10YR7/4 にぶい黄橙	(1) 沈線で文様区画を描き、中をLRカの縄文で充填する。 (2) 長石、白色粒子を含む。径2㎜以下の小礫を含む。石英、赤色粒子を少量含む。	焼成良好
24 第162図 図版85	P-1994 -1998	4-5区 AN 22TR	中期末 加曽利E 3～4式	深鉢 胴部は樽状に膨らむ	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 太い沈線で渦巻状の文様を描き、中をLRカの縄文で充填する。 (2) 石英、長石、輝石、赤色岩片、白色岩片を含む。	焼成良好 内面横方向に凹む箇所あり。
25 第162図 図版85	P-146	4-5区 AN 13TR	中期末 加曽利Eカ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR7/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を地文に施文し、沈線を引いて区画を作り、磨り消す。 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子を含む。径1.5㎜の小礫を含む。	焼成良好
26 第162図 図版85	P-2190	4-5区 AN 20TR	中期末 加曽利Eカ	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 沈線の区画の中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、白色粒子を含む。輝石を含む。	焼成良好
27 第162図 図版85	P-1920	4-5区 FB 26TR	中期末 加曽利Eカ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR3/3　暗褐 5YR6/6　橙	(1) 沈線で区画した中をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、金雲母、白色粒子を含む。	焼成良好
28 第162図 図版85	P-4768	4-5区 表採	中期末 加曽利Eカ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/6　明黄褐	(1) 地文にLRの縄文を施文し、沈線を引き、磨り消す。 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子、径2㎜以下の小礫を含む。輝石を少量含む。	焼成良好
29 第162図 図版85	P-4762	4-5区 表採	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 5YR5/6　明赤褐 7.5YR4/4　褐	(1) 地文にLRの縄文を施文し、沈線を区画した後でに磨り消しを行なう。 (2) 輝石、石英、白色岩片、赤色岩片、径2～3㎜の小礫を含む。	焼成良好
30 第162図 図版85	P-1918	4-5区 FB 26TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 磨滅のため不明瞭だが、縄文を施文した後に太い沈線で区画し、磨り消しを行なったと考えられる。 (2) 長石、石英、白色粒子、赤色岩片を含む。	焼成良好

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考 全体的に被熱
31 第162図 図版85	P-1798	4-5区 AN 24TR	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 地文に細かいRLカの縄文を施文し、細い沈線を引いて区画し、磨り消しを行なう。 (2) 長石を多く含む。石英、白色岩片を含む。	焼成良好
32 第162図 図版85	P-1809	4-5区 AN 23TR	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐	(1) 地文にLRのやや細かい縄文を施文し、太い沈線を引いて磨り消す。 (2) 輝石を含む。	焼成良好
33 第162図 図版85	P-127	4-5区 AN 14TR	中期末 加曽利E4式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR8/4　浅黄橙	(1) 細い粘土紐を貼って隆帯を作り、両側を指でナデる。区画の内側をLRの縄文で充填する。 (2) 長石、白色粒子を多く含む。石英、黒色粒子を含む。	焼成良好
34 第163図 図版85	P-1802	4-5区 AN 23TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 7.5YR6/6　橙	(1) LRの縄文を施文。上に縦横方向に繊維状の擦痕が残る。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好
35 第163図 図版85	P-2187	4-5区 KU 20・21 TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 磨滅が著しいが、LRの縄文を施文カ (2) 石英、輝石を多く含む。白色粒子、白色岩片を含む。 同一個体：P-1844、1850、1848、1854	まとまって出土。やや離れる破片あり。 焼成良好
36 第163図 図版85	P-143	4-5区 AN 13TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR5/3 にぶい黄褐 7.5YR5/6　明褐	(1) Lの無節の縄文を施文。 (2) 長石、石英、輝石、赤色岩片、白色岩片を含む。	焼成良好
37 第163図 図版85	P-142	4-5区 AN 13TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を縦方向に帯状に施文。 (2) 石英を多く含む。長石、輝石、白色粒子を含む。	焼成良好
38 第163図 図版85	P-2-P-5	4-5区 KU TP-36	中期末カ	深鉢カ 口唇部やや外反	口縁部破片 7.5YR5/6　明褐 10YR5/4 にぶい黄褐	(1) 無文で、外反する部分に上から刻みを入れる。 (2) 石英、輝石、白色岩片を含む。	焼成良好
39 第163図 図版85	P-4766	4-5区 表採	中期末カ	深鉢カ 鍔付土器カ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 7.5YR6/6　橙	(1) 無文 (2) 輝石を多く含む。石英、白色岩片、黒色岩片を含む。	焼成良好 厚手
40 第163図 図版85	P-4772	4-5区 表採	中期末カ	深鉢カ	口縁部破片 10YR4/2　灰黄褐 7.5YR6/4 にぶい橙	(1) 無文の口縁。粘土紐を口唇部とその下に貼付け、ナデで低い隆帯に仕上げる。 (2) 長石、白色粒子、輝石、3㎜以下の小礫を含む。	焼成良好
41 第163図 図版85	P-128	4-5区 AN 14TR	中期末カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR7/4 にぶい黄褐 10YR7/4 にぶい黄褐	(1) 無文の口縁部 (2) 長石、輝石、赤色粒子、白色粒子、1.5㎜以下の小礫を含む。	焼成良好
42 第163図 図版85	P-1797	4-5区 AN・ KU 23・24 TR	中期後半 加曽利E式カ	深鉢カ	胴部破片 2.5Y7/4　浅黄 2.5Y7/4　浅黄	(1) 無文。断面三角形の高い隆帯を横方向にはりつける。 (2) 石英、輝石、赤色粒子、長石白色粒子を含む。	やや離れて分布。 焼成良好。非常に厚手。 同一個体： 2180、2181
43 第163図 図版85	P-4771	4-5区 表採	中期末カ	深鉢カ 平底	底部破片 5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR5/4 にぶい褐	(1) 底部周辺は無文 (2) 長石、白色粒子、黒色粒子を多く含む。	焼成良好 底部径約8cm

番号 実測図版 写真図版	遺物番号	地区 層位 遺構	年代 型式	器種 器形	残存部位 色調 内面色調	(1) 文様 (2) 含有物	備考 全体的に被熱
44 第163図 図版85	P-79	4-5区 AN 13TR	後期カ 称名寺式カ	深鉢カ	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/6　明黄褐	(1) 太い沈線で区画された口唇部外側の隆帯状の部分にLRの細かい縄文を施文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片、径2㎜程度の小礫を含む。	焼成良好
45 第163図 図版85	P-1790	4-5区 AN 24TR	後期 称名寺式	深鉢カ 波状口縁カ	口縁部破片 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 太い沈線で区画された部分にLRの細かい縄文を施文。 (2) 石英、輝石、白色粒子、径2～3㎜程度の小礫を含む。	焼成良好
46 第163図 図版85	P-137	4-5区 AN 13TR	後期 称名寺式	深鉢カ 三角形状の突起を持つ。	口縁部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 太い沈線で区画された隆帯にLRの細かい縄文を施文。 (2) 石英、輝石、白色岩片、赤色岩片、径2㎜程度の小礫を含む。赤色岩片、径2～3㎜程度の小礫を含む。	焼成良好
47 第163図 図版85	P-140	4-5区 AN 13TR	後期カ 堀之内式カ	深鉢カ	胴部破片 7.5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) LRの縄文を縦方向に帯状に施文。 (2) 輝石を多く含む。石英、金雲母、赤色岩片、白色岩片を含む。	焼成良好 やや薄手
48 第163図 図版85	P-1859	4-5区 AN 21TR	後期カ 堀之内式カ	深鉢カ 粗製土器カ	胴部破片 10YR4/1　褐灰 10YR7/3 にぶい黄橙	(1) LRの縄にLの縄を左巻きに付加した原体を使用して施文。さらに上から半截竹管状のもので沈線を書く。 (2) 石英、輝石、長石、白色岩片を含む。	焼成良好
49 第163図 図版85	P-1799	4-5区 AN 23TR	後期 堀之内Ⅰ式	深鉢カ 波状口縁	口縁部破片 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	(1) 緩い波状口縁の波頂部外側に粘土粒を貼付け、両側からつまんで突起状にする。下部には沈線が残る。 (2) 輝石、白色岩片、赤色岩片を含む。	焼成良好
50 第163図 図版85	P-1987- 2006-2000、 1988、 2007-1991	4-5区 AN 22TR	後期 堀之内Ⅱ式	深鉢カ 口唇部を内側に折り曲げた半円の注口状の窪みがある。	口縁部～胴部破片 5YR6/6　橙 10YR6/4 にぶい黄橙	(1) 口唇部の直下に細い隆帯を貼付け、刻みを入れる。注口の下の隆帯にはさらに粘土紐を貼付けて上下を細い竹管で刺突する。その下には浅い沈線で三角形の文様を書く。 (2) 長石、石英、輝石、金雲母、白色岩片、径5㎜程度の小礫を含む。	まとまって出土。 焼成良好
51 第163図 図版85	P-7	4-5区 FB TP-36	後期カ	注口土器カ	注口部破片	(1) 無文 (2) 輝石、白色粒子を含む。	表面が著しく劣化

第39表　縄文時代土製品観察表

番号 実測図版 写真図版	遺物番号 器種名	区 層位	長さ 幅 最大厚 (cm)	重量 (g)	特徴	備考
52 第163図 図版84	P-4767 土器片 錘	4-5区 表採 13TR	4.65 7.2 0.95	35.7	一部を検出時に欠損するが、ほぼ完形品。土器片の周囲を削って長楕円形にし、左右に刻みを入れる。 土器は無文で太く低い隆帯を貼付けている。裏面は加工なし。土器製作時の磨きのみ。 焼成良好。胎土密。長石、石英、輝石、赤色粒子、径2㎜以下の白～灰白色の小礫を含む。	形式不明。 中期カ

(3) 石器

石器は包含層出土のものと、盛土中より発見されたものがある。層の上下はあるが、土器の出土状況から考えて、いずれも中期に属するものと推定される。全体として数は少ない。第164～166図に製品を図示する。これ以外には、石斧の破片や石斧を作成する段階で生じたと思われる細粒砂岩の剝片等がわずかに見られた。

玉は4－5区南部の谷底の包含層より1点出土した。2/3程度を欠損している。(第164図1)黒色の滑石に上部から円錐状に穿孔している。孔を穿つ位置はやや偏る。

石鏃の製品としては3点のみである。(第164図2～4) 4－5区北端の丘陵上で1点、南端の谷の中より2点が出土した。このほか未製品が1点出土している。

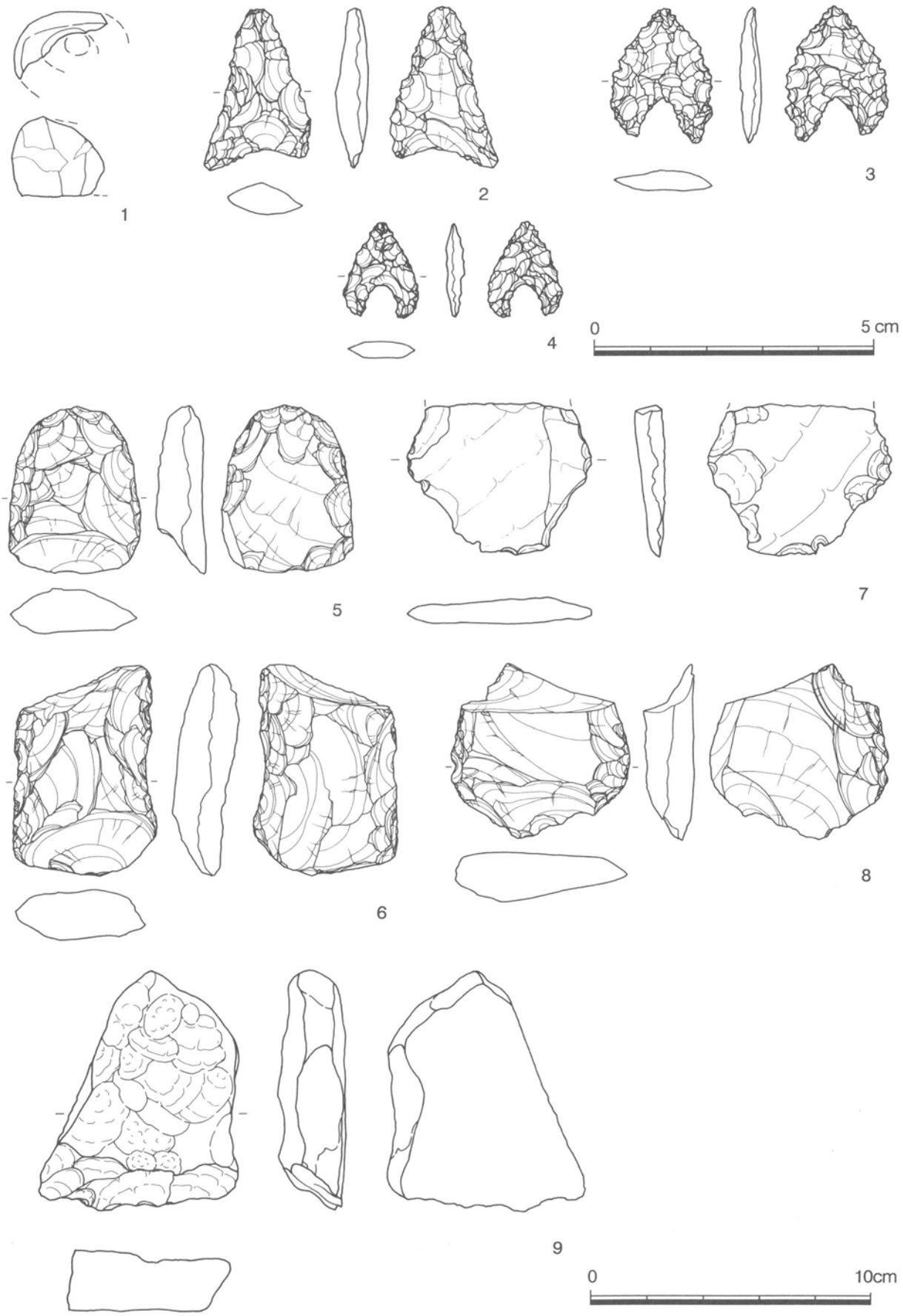
石斧は製品として4点が出土した。(第164図5～8) いずれも4－5区南部の谷の中で、谷に流れ込んだ包含層より3点、中央の尾根を削平した盛土中より1点が出土した。これ以外に石斧片と考えられるものが3点出土しているが、いずれも残存状況が悪い。また両側縁に石斧状の加工があるが刃部が作られていない未製品と思われるものが1点出土したが、これは非常に小形である。

礫器は谷の盛土中であるが、1点出土している。(第164図9) 板状に割れた輝石安山岩の下端を粗く割って刃を作り出している。今回の調査では、中峯遺跡にも同様の遺物が出土している。

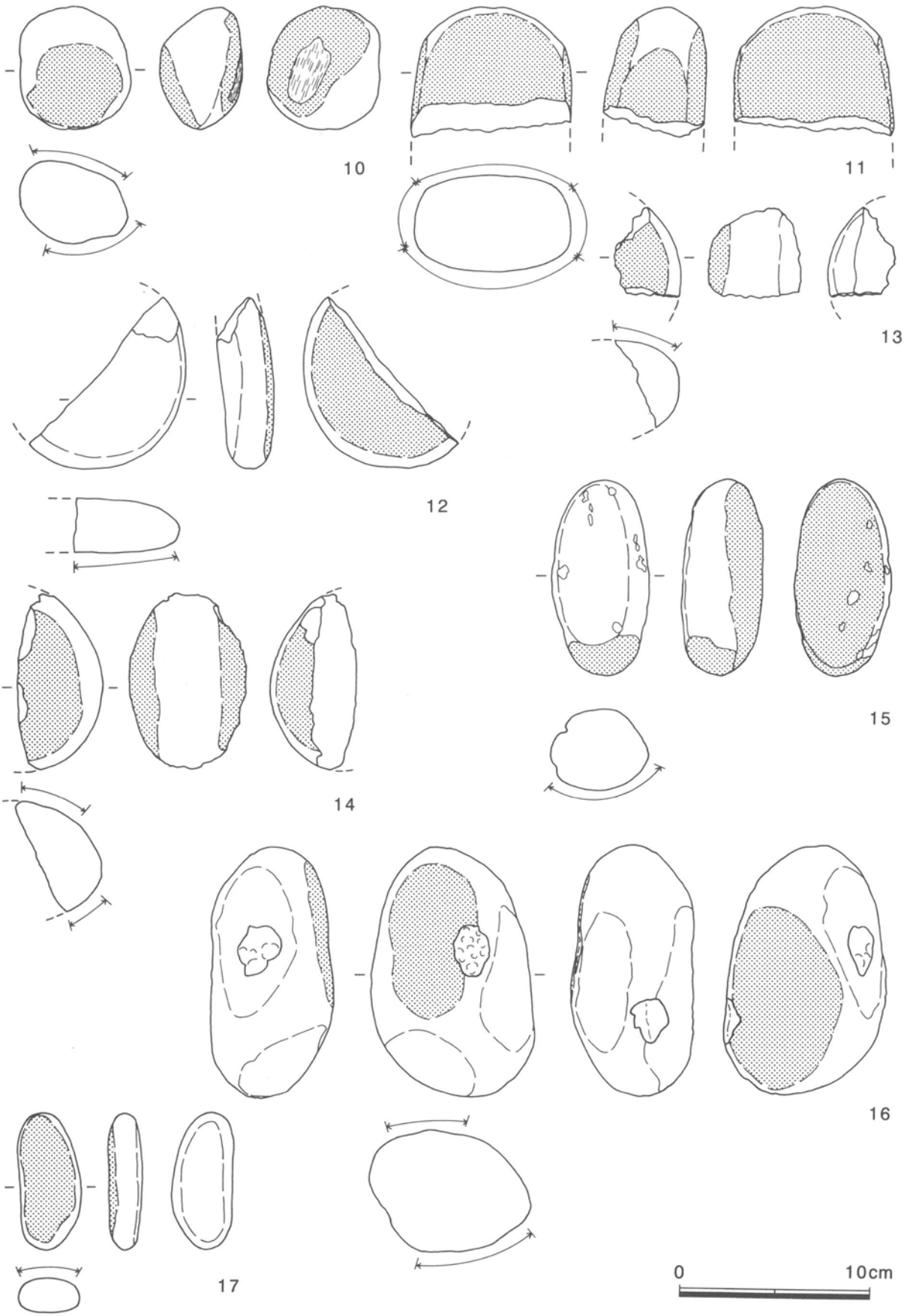
磨石・叩石は形状のわかる8点を図示した。(第165図) 円形のもの、細長いもの、長楕円形のものなど形状は様々である。

第40表　縄文時代石器一覧表

番号	遺物番号	器種名	石　材	区	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備　考
1	S-2475	玉	Ta	22	KU	7.2	3.3	1.85	1.7	約3/4欠損。上面より穿孔。全面を磨く。
2	S-2562	石　鏃	GAn	20	KU	2.9	1.9	0.53	2.2	完形。
3	S-2564	石　鏃	Ob	20	KGP	1.7	1.35	0.32	1.2	完形。
4	S-51	石　鏃	Ob	12	AN	2.4	1.8	0.3	0.4	完形。
5	S-2472	石　斧	Sh	22	KU	6.05	4.7	1.68	55.7	下部約1/2を欠損。上部は平面半円形。
6	S-2474	石　斧	Sh	22	AN	7.55	5.15	2.01	95.6	下部約1/2を欠損。上部は元からの加工カ。下部はやや撥形に開く。
7	S-7303	石　斧	PAn	14	表土(盛土)	(5.4)	6.6	0.9	38.9	上部欠損。
8	S-2563	石　斧	Hor	20	KU	6.3	5.4	1.64	69.1	上部2/3以上を欠損。下端は使用による割れカ。下部が撥形に開き、やや尖った形状カ。
9	S-7302	礫　器	PAn	14	表土(盛土)	12.7	10.6	3.2	556.5	完形。
10	S-3	磨　石	PAn	14	AN	6.45	5.9	4.3	170	正面と裏面の一部を斜に磨る。裏面はさらに一段窪んだ擦痕が残る。
11	S-2327	磨　石	PAn	21	KU	(6.8)	8.45	5.1	430	約1/2を欠損。正面、裏面、左右側面を磨る。
12	S-59	磨　石	MSS	13	AN	(9.05)	(8.2)	2.85	210	約1/2を欠損。やや扁平。全体的に滑らかな表面を持つ。裏面を磨る。
13	S-7301	磨　石	PAn	13	旧耕作土	(4.7)	(3.5)	(4.6)	73.3	約3/4を欠損。全体的に滑らかな表面を持つ。正面を磨る。受熱。
14	S-7300	磨　石	QD	13	表土	(9.2)	(4.5)	(5.85)	265.5	約2/3を欠損。全体的に滑らかな表面を持つ。正面、裏面を磨る。受熱。
15	S-4	磨　石	VAn	14	AN	10.3	5.2	4.2	290	下端は敲打と磨りを行なっている。
16	S-66	凹　石	PAn	13	AN	13.2	8.6	6.4	880	正面、左側面に凹みあり。正面と裏面を磨っていると思われる。
17	S-7299	磨石カ	MSS	14	旧耕作土	1.4	(1.65)	(1.2)	66.1	完形。正面が滑らか。
	S-2476	石鏃未製品	Ob	22	KU	1.8	1.6	0.6	1.6	下部の調整が行なわれていない。三角鏃の未製品
	S-7304	打製石斧	MSS	14	表土(盛土)	3.8	3.65	1.0	18.8	大半を欠損。上部の破片。
	S-2544	打製石斧	FSS	4-4区	AN	4.95	3.7	0.95	12.0	大半を欠損。縁辺部の破片。
	S-58	打製石斧カ	PAn	13	KU	5.65	6.05	10.2	38.3	尖った先端を持つ石斧の刃部カ。
	S-2253	打製石斧カ	Sh	24	AN	9.3	4.7	2.0	72.3	未製品カ。両側縁の加工がある。小形。



第164図　縄文時代石器実測図１（石鏃・石斧等）



第165図　縄文時代石器実測図 2 （磨石等）

第V章　まとめ

桜畑上遺跡

昭和40年代に調査された地域は今回の調査区よりも南側になる。この時の調査では縄文時代中期の勝坂式の遺跡が確認された。しかし、近年行なわれた第二東名や東駿河湾環状道の調査でも遺構・遺物が確認されたように、尾根に沿って北側に長く広がる遺跡であること、内容も調査地点により縄文時代～旧石器時代の幅広い時期が存在することがわかった。

今回の調査地点の縄文時代においては早期の土器、中期初頭の五領ヶ台式の土器などが中心で、わずかに前期～後期の土器が混じる。旧石器時代においてはYL層とBBⅠ層に生活の痕跡が見られた。特にBBⅠ層より検出された石器ブロックと礫群は良好な資料である。NL層以下の層位についてはほとんど遺物が出土していない。これは周辺の調査と同じ状況である。

中峯遺跡

東名高速道路の部分を中心とする縄文時代中期後半の集落が以前の調査で確認されていた。今回の調査では4－1区を中心に多量の縄文土器が出土し、集落の縁辺に存在する捨て場であると考えられる。おそらく、集落の南限であろう。中期末段階の土器がほとんどで、加曽利E4式の土器が圧倒的に多く、東名高速道路部分とはわずかに時期が異なる。中期末においては集落がやや南に移動している可能性がある。また尾根を下った位置にある沼津市の大谷津遺跡の土器と類似し、関係が深いように思われる。

また、北端の5－1区では縄文中期後半の遺物は少なく、中期後半段階では集落の外となる。しかし、下層からは早期末～前期初頭の遺構・遺物が検出されている。遺物がほぼ下吉井式の時期に限定されており、しかも多様な文様が見られるため、下吉井式の変遷を考える上で良好な資料であると思われる。下吉井式以後、続く時代の土器は検出されず、中期中葉までこの地区には生活痕跡がなくなる。

今回の調査ではこれまで調査されていなかった旧石器時代の層の調査も行った。その結果、5－8区周辺のYL層と、5－4区のBBⅢ層から遺構・遺物が検出された。旧石器時代の遺物は量的には少ないが、この地域に古くから生活域が存在していたことが判明した。

このように中峯遺跡の範囲は時期によって中心となる部分が変化するものの、面積・時代とも幅広いことが確認された。尾根上に続く柏窪B遺跡との間も遺物が出土し、一連の遺跡である可能性を残している。

3区は本書では中峯遺跡として扱っているが、桜畑上とも中峯とも間に谷を挟む別の尾根状に立地する。この尾根上には南側に柏窪A遺跡があり、今後の周辺の調査状況により、遺跡名や遺跡範囲について修正を加える必要があるだろう。

柏窪B遺跡

今回の調査は浅い谷部分であるため、遺構・遺物はあまり存在しなかった。このため、調査区は遺跡の縁辺部であり、中心地は南西側の尾根上の部分であると考えられる。谷の南西側が柏窪B遺跡、北西側が中峯遺跡の範囲として従来より周知されている部分である。遺物はこの2つの遺跡の間に分布していた。柏窪B遺跡は本体となる部分は未調査であるため、遺跡の全容は不明瞭であるが、遺物量から推定すると柏窪B遺跡は小規模であるように思われる。

また、今回の調査の遺物は中期後半の遺物が主体で、これに早期、前期、中期中葉、後期の土器がわずかに伴い、柏窪B遺跡の時期構成が推定される。しかし、この構成は隣接する中峯遺跡に似ており、一連の遺跡であるとも考えられるため、柏窪B遺跡の内容については、本体部分の調査を待たなければ明確にはならない。

第Ⅵ章　自然科学分析

第１節　放射性炭素年代測定

山形秀樹（㈱パレオ・ラボ）

1　はじめに

大岡元長窪線埋蔵文化財発掘調査に伴う、桜畑上遺跡および中峯遺跡より検出された炭化物の加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を実施した。

2　試料と方法

試料は、桜畑上遺跡１－２区の各地点から採取した炭化物７点と、中峯遺跡５－８区FP-09覆土から採取した炭化材（アカガシ亜属）１点、４－１区から採取した炭化物２点の併せて３点、合計10点である。

これら試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨（グラファイト）に調整した後、加速器質量分析計（AMS）にて測定した。測定された^{14}C濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した^{14}C濃度を用いて^{14}C年代を算出した。

3　結果

表１に、各試料の同位体分別効果の補正値（基準値-25.0）、同位体分別効果による測定誤差を補正した^{14}C年代、^{14}C年代を暦年代に較正した年代を示す。

^{14}C年代値（yrBP）の算出は、^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5,568年を使用した。また、付記した^{14}C年代誤差（±1σ）は、計数値の標準偏差σに基づいて算出し、標準偏差（One sigma）に相当する年代である。これは、試料の^{14}C年代が、その^{14}C年代誤差範囲内に入る確率が68％であることを意味する。

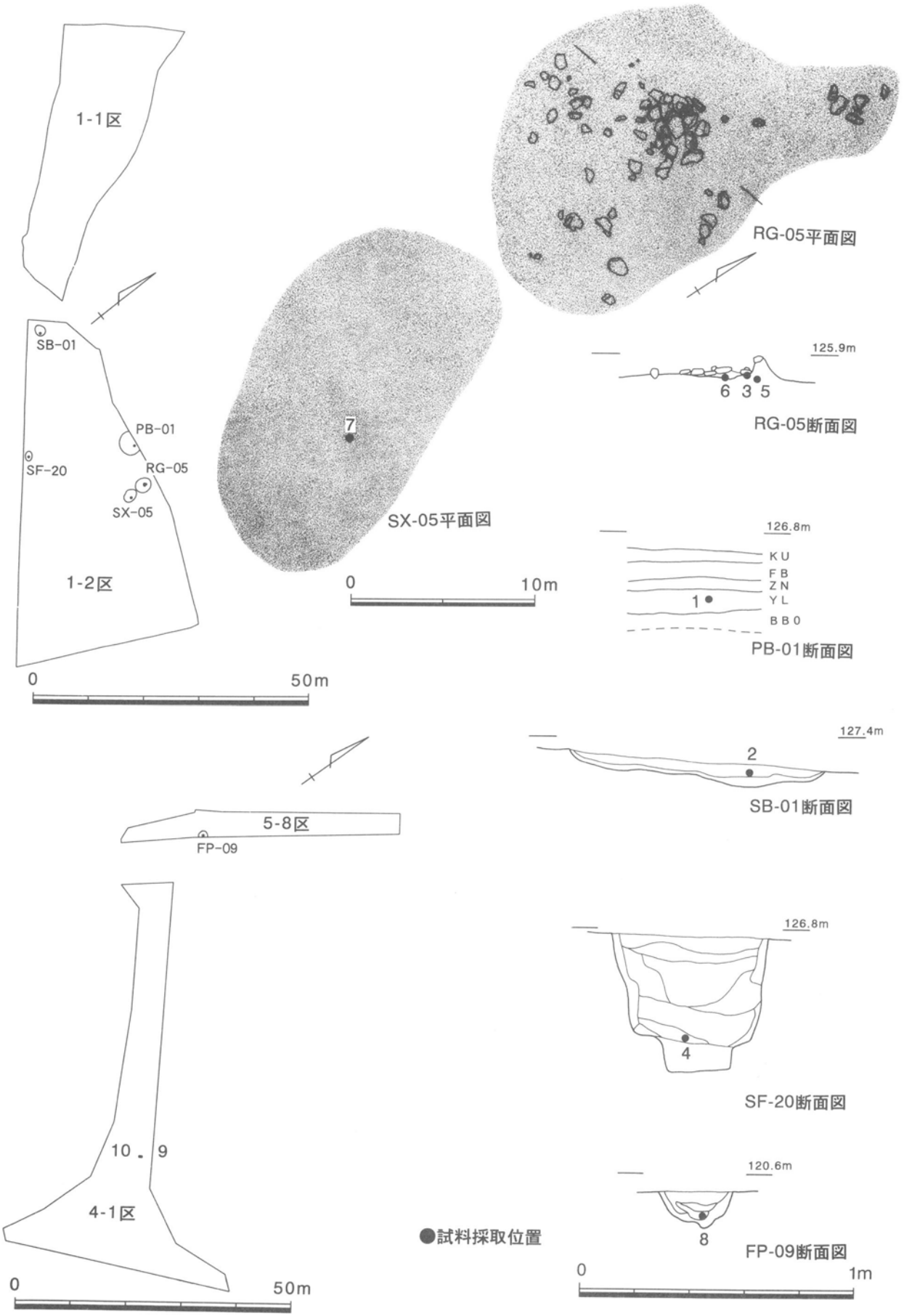
なお、暦年代較正の詳細は、以下の通りである。

暦年代較正

暦年代較正とは、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された^{14}C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動、および半減期の違い（^{14}Cの半減期5,730±40年）を較正し、より正確な年代を求めるために、^{14}C年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のU-Th年代と^{14}C年代の比較、および海成堆積物中の縞状の堆積構造を用いて^{14}C年代と暦年代の関係を調べたデータにより、較正曲線を作成し、これを用いて^{14}C年代を暦年代に較正した年代を算出する。

^{14}C年代を暦年代に較正した年代の算出にCALIB 4.3（CALIB 3.0のバージョンアップ版）を使用した。なお、暦年代較正値は^{14}C年代値に対応する較正曲線上の暦年代値であり、1σ暦年代範囲はプログラム中の確率法を使用して算出された^{14}C年代誤差に相当する暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値はその1σ暦年代範囲の確からしさを示す確率であり、10％未満についてはその表示を省略した。1σ暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲については、表中に下線で示した。

暦年代較正は約二万年前からAD1,950年までが有効であり、該当しないものについては^{14}C年代を暦年代に較正した年代を＊＊＊＊＊と表記した。



第166図　炭化物試料採取位置図

4　考察

各試料は、同位体分別効果の補正および暦年代較正を行なった。暦年代較正した1σ暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲に注目すると、それぞれより確かな年代値の範囲として示された。

引用文献

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎.日本先史時代の^{14}C年代、p. 3 -20.

Stuiver, M. and Reimer, P. J. (1993) Extended ^{14}C Database and Revised CALIB3.0 ^{14}C Age Calibration Program, Radiocarbon, 35, p.215-230.

Stuiver, M., Reimer, P.J., Bard, E., Beck, J.W., Burr, G.S., Hughen, K.A., Kromer, B., McCormac, F.G., v.d. Plicht, J., and Spurk, M. (1998) INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24,000-0 cal BP, Radiocarbon, 40, p.1041-1083.

第41表　放射性炭素年代測定および暦年代較正の結果

番号	測定番号 (測定法)	試料データ	δ^{13}C (‰)	^{14}C年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代	
					暦年代較正値	1σ暦年代範囲
1	PLD-1429 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 TP-2 PB-01 YLM C2	-26.6	4500±40	cal BC 3330 cal BC 3225 cal BC 3175 cal BC 3160 cal BC 3120 cal BC 3105	cal BC 3335 - 3260 (41.6%) cal BC 3240 - 3210 (18.4%) cal BC 3190 - 3150 (20.1%) cal BC 3135 - 3100 (19.9%)
2	PLD-1430 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 SB-01 覆土 C4	-23.8	8500±30	cal BC 7575 cal BC 7560 cal BC 7550	cal BC 7580 - 7545 (100%)
3	PLD-1431 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 RG-05BBI R1518付着	-29.0	24610±100	* * * * *	* * * * *
4	PLD-1432 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 SF-20 覆土 C6	-26.9	4760±40	cal BC 3630 cal BC 3580 cal BC 3535	cal BC 3635 - 3615 (18.0%) cal BC 3610 - 3550 (59.9%) cal BC 3540 - 3520 (22.0%)
5	PLD-1433 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 RG-05 BBI	-28.8	24540±110	* * * * *	* * * * *
6	PLD-1434 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 RG-05 BBI	-27.6	24320±100	* * * * *	* * * * *
7	PLD-1435 (AMS)	桜畑上遺跡 1-2区 SX-05 NL C10	-28.5	25330±110	* * * * *	* * * * *
8	PLD-1436 (AMS)	(アカガシ亜属) 中峯遺跡 5-8区 FP-09 覆土 C11	-28.3	4500±30	cal BC 3330 cal BC 3225 cal BC 3175 cal BC 3160 cal BC 3120 cal BC 3105	cal BC 3335 - 3265 (42.1%) cal BC 3240 - 3210 (18.5%) cal BC 3190 - 3170 (13.8%) cal BC 3135 - 3100 (20.0%)
9	PLD-1437 (AMS)	中峯遺跡 4-1区 AN C12	-29.7	4070±30	cal BC 2615 cal BC 2580	cal BC 2625 - 2565 (65.4%) cal BC 2520 - 2500 (19.7%)
10	PLD-1438 (AMS)	中峯遺跡 4-1区 KU C13	-28.1	4080±30	cal BC 2620 cal BC 2610 cal BC 2595 cal BC 2580	cal BC 2835 - 2820 (13.0%) cal BC 2665 - 2650 (13.4%) cal BC 2630 - 2570 (63.0%) cal BC 2515 - 2500 (10.6%)

第2節　放射性炭素年代測定試料の樹種同定

植田弥生（㈱パレオ・ラボ）

1　はじめに

ここでは、放射性炭素年代測定試料No．8（中峰遺跡　5－8区　FP-09　覆土　C11）の樹種同定結果を報告する。

2　炭化材樹種同定の方法

炭化材の3方向の断面を走査電子顕微鏡で拡大して、材組織を観察しその特徴を基に同定した。横断面（木口）は炭化材を手で割り新鮮な平滑面を出し、接線断面（板目）と放射断面（柾目）は片刃の剃刀を各方向に沿って軽くあて弾くように割り面を出す。この3断面の試料を直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡（日本電子㈱製　JSM-T100型）で観察と写真撮影を行った。

3　結果

試料は、常緑広葉樹のアカガシ亜属であった。当地域は、照葉樹林帯に属しアカガシ亜属は豊富に生育しおり地域の特性を反映した樹種が検出された。アカガシ亜属の材は、丈夫で弾性や耐湿性に優れていて、器具や建築材など多様な樹種利用が知られている。

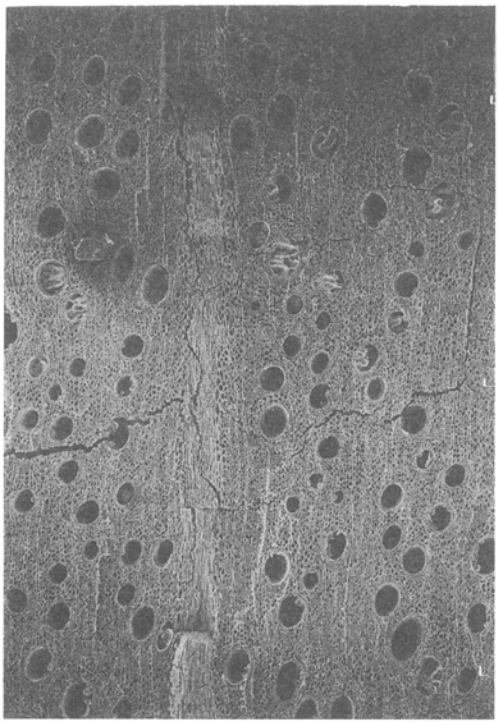
同定された樹種の材組織記載

コナラ属アカガシ亜属 *Quercus subgen. Cyclobalanopsis* ブナ科　図版1　1a-1c

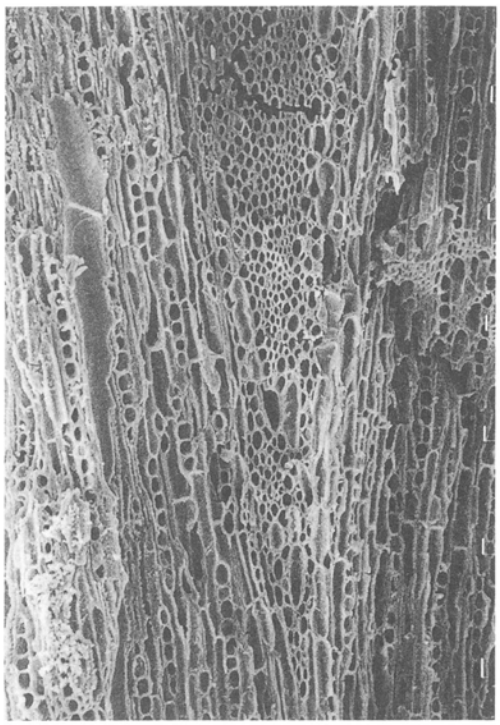
集合放射組織を挟み小型～中型の単独管孔が放射方向に配列する放射孔材。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性、単列のものと広放射組織とがあり、道管との壁孔は孔口が大きく柵状・交互状である。

アカガシ亜属はいわゆるカシ類であり、暖温帯の森林に豊富に生育している。山野に普通のアラカシ・アカガシ・シラカシ、関東以南に多いイチイガシ・ツクバネガシ、寒さに強くブナ帯下部にも分布するウラジロガシなどがある。材組織は類似性が高く種類の識別は出来ない。

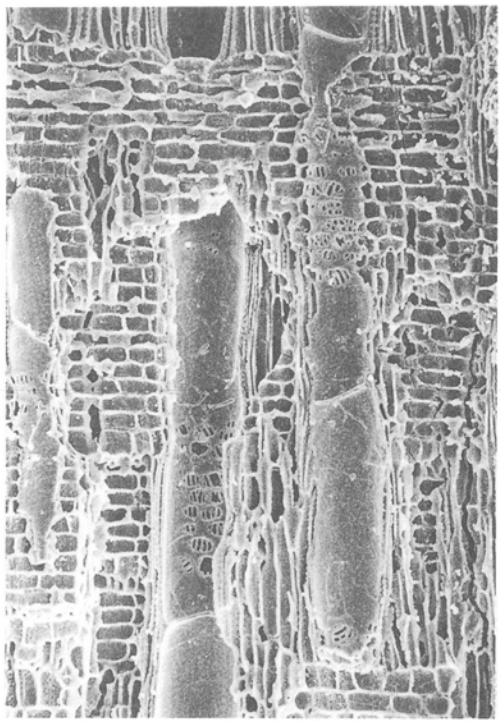
FP-09内炭化材出土状況



1a　アカガシ亜属（横断面）
5-8区FP-09覆土　bar:0.1mm



1b　アカガシ亜属（接線断面）
5-8区FP-09覆土　bar:0.1mm



1c　アカガシ亜属（放射断面）
5-8区FP-09覆土　bar:0.1mm

図版1　大岡元長窪線（中峯遺跡）出土炭化材樹種

第42表　旧石器時代遺物一覧表
（桜畑上遺跡　石器）

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-417	1-2	PB01		ZN	フレイク	Hor		Hor7	20.9	15.8	14.3	2.7	-94510.799	34438.415	126.509
S-418	1-2	PB01		ZN	フレイク	Hor		Hor4	28.9	13.7	8.6	2.8	-94511.835	34440.604	126.550
S-419	1-2	PB01		ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	48.6	19.9	9.1	9.1	-94510.326	34439.309	126.422
S-443-1	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	23.0	16.6	9.3	3.5	-94511.677	34438.703	126.317
S-443-2	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	28.4	13.7	16.1	6.0	-94511.677	34438.703	126.317
S-445-1	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	23.5	22.4	3.8	1.7	-94511.926	34440.023	126.378
S-445-2	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.4	-94511.926	34440.023	126.378
S-446	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	22.3	16.2	8.6	2.4	-94511.375	34438.865	126.330
S-447	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	32.2	25.1	14.4	10.7	-94511.296	34439.064	126.322
S-448	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	25.3	38.9	9.4	8.6	-94511.752	34439.177	126.283
S-449	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor3	19.0	14.4	5.6	1.4	-94512.052	34440.207	126.340
S-451	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor4	18.5	11.6	4.9	1.3	-94511.294	34439.843	126.411
S-452	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.5	-94511.179	34439.352	126.375
S-453	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-E	46.3	42.7	15.1	30.3	-94511.336	34439.254	126.270
S-454	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.6	-94511.064	34438.991	126.363
S-455	1-2	PB01		YLU	パウダー	Hor		Hor2-A	-	-	-	-	-94510.892	34438.537	126.379
S-456	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.9	-94510.279	34438.570	126.328
S-457	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor11-A	-	-	-	0.7	-94510.494	34438.982	126.331
S-458	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor1-A	23.5	38.2	14.5	13.1	-94510.192	34439.154	126.295
S-459	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-E	37.1	35.0	10.5	13.1	-94510.717	34439.500	126.315
S-460	1-2	PB01		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	42.4	19.9	13.3	12.2	-94510.268	34440.095	126.351
S-461	1-2	PB01		YLU	パウダー	Hor		Hor2-A	-	-	-	-	-94510.314	34440.494	126.358
S-465	1-2	PB01	35	YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	20.3	14.5	10.5	3.2	-94511.491	34439.626	126.218
S-466	1-2	PB01	35	YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	28.4	36.1	18.2	16.3	-94511.395	34439.647	126.229
S-467	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	51.0	44.4	16.6	25.6	-94511.437	34439.158	126.210
S-468	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor1-A	15.9	22.1	4.6	1.4	-94511.944	34439.000	126.201
S-469	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	23.0	21.6	8.9	5.0	-94511.913	34438.867	126.211
S-470-1	1-2	PB01		YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	32.4	14.4	5.6	2.5	-94511.477	34438.798	126.271
S-470-2	1-2	PB01		YLM	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	1.6	-94511.477	34438.798	126.271
S-471	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	50.0	36.4	14.0	22.4	-94511.203	34438.952	126.215
S-472	1-2	PB01		YLM	フレイク	Hor		Hor2-A	30.1	26.4	11.6	9.8	-94511.133	34438.668	126.253
S-473	1-2	PB01		YLM	フレイク	Hor		Hor2-A	23.9	15.2	7.1	2.2	-94511.193	34438.549	126.268
S-474	1-2	PB01		YLM	チップ	Hor			-	-	-	0.2	-94511.302	34438.339	126.246
S-475	1-2	PB01		YLM	フレイク	Hor		Hor2-A	23.1	20.1	6.4	2.2	-94510.898	34438.324	126.275
S-476	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	37.5	22.1	9.9	7.9	-94510.963	34438.073	126.214
S-477	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	58.6	31.7	13.8	21.7	-94510.938	34439.201	126.213
S-478	1-2	PB01		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.1	-94510.292	34438.734	126.291
S-479	1-2	PB01		YLU	パウダー	Hor		Hor2-A	-	-	-	4.1	-94510.342	34439.067	126.294
S-480	1-2	PB01		YLM	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.5	-94510.620	34439.749	126.272
S-481	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor1-A	44.8	20.2	10.6	10.3	-94511.641	34439.941	126.181
S-521	1-2	PB01		YLM	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.4	-94511.143	34438.677	126.245
S-522	1-2	PB01		YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	23.5	12.3	5.6	1.8	-94511.071	34439.041	126.245
S-523	1-2	PB01		YLL	パウダー	Hor		Hor2-A	-	-	-	-	-94511.118	34438.952	126.205
S-524	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	20.6	36.0	15.4	11.7	-94511.133	34439.452	126.167
S-525	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	19.0	20.8	8.3	4.4	-94511.064	34439.213	126.185
S-526	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	16.2	9.5	8.8	1.2	-94511.325	34439.239	126.191
S-527	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	15.3	13.0	8.1	1.0	-94511.436	34439.649	126.212
S-528	1-2	PB01		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	24.2	42.7	10.0	9.8	-94511.575	34439.047	126.122
S-529	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	30.1	14.0	9.4	3.7	-94511.826	34439.337	126.166
S-530	1-2	PB01		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	23.8	23.2	7.3	3.0	-94511.052	34439.901	126.141
S-531	1-2	PB01		BB0	チップ	Hor		Hor2-B	-	-	-	0.8	-94510.582	34438.442	126.121
S-563	1-2	PB01		BB0	チップ	Hor		Hor2-E	-	-	-	0.3	-94511.577	34439.016	126.121
S-409	1-2	PB02		ZN	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.901	34448.186	126.558
S-411	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor1-A	21.8	29.0	8.7	5.3	-94515.023	34453.477	126.354
S-412	1-2	PB02		ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	18.8	18.5	4.8	1.3	-94515.345	34451.361	126.476
S-413	1-2	PB02		ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	21.5	28.6	7.8	3.7	-94518.036	34451.121	126.390
S-421	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	34.4	28.8	13.1	13.1	-94512.861	34447.707	126.479
S-429	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor4	33.9	36.3	16.4	15.5	-94515.317	34455.593	126.258
S-439	1-2	PB02		ZN	チップ	Ob	AGKT	AGKT1	-	-	-	0.1	-94517.988	34459.326	125.949
S-487	1-2	PB02		ZN	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.1	-94514.545	34446.505	126.518
S-488	1-2	PB02		ZN	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94515.646	34447.933	126.515
S-489	1-2	PB02		ZN	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94515.592	34449.235	126.468
S-492	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	27.8	22.1	8.8	5.1	-94515.422	34448.083	126.479

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-504	1-2	PB02		ZN	チップ	Hor		Hor2-A			-	0.7	-94513.970	34445.268	126.463
S-507	1-2	PB02		ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	26.0	12.1	6.0	1.6	-94514.894	34448.657	126.404
S-508	1-2	PB02		ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	13.4	11.5	4.3	0.4	-94515.066	34449.878	126.404
S-512	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	38.3	27.6	9.6	10.3	-94513.843	34452.870	126.303
S-513	1-2	PB02		ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ5-A	20.0	18.0	5.8	1.8	-94514.008	34453.557	126.258
S-514	1-2	PB02	36	ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh1-A	57.1	62.0	18.2	34.6	-94514.219	34453.715	126.218
S-515	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor1-B	32.2	28.3	10.6	10.1	94514.148	34454.104	126.208
S-516	1-2	PB02		ZN	チップ	Hor		Hor2-A	-			0.6	94514.372	34454.288	126.230
S-518	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor4	22.4	25.8	11.7	5.4	-94514.774	34453.839	126.311
S-519	1-2	PB02		ZN	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	21.0	11.0	5.7	1.3	-94514.134	34455.184	126.235
S-520	1-2	PB02		ZN	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ5-A	-	-		0.1	-94515.557	34453.085	126.350
S-532	1-2	PB02		YLU	フレイク	SSh(Bl)		SSh4-A	15.4	19.3	5.2	1.1	94513.969	34449.521	126.298
S-533	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	20.9	12.8	6.8	2.0	94515.717	34448.762	126.349
S-534	1-2	PB02	27	ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	23.1	21.2	9.6	2.9	-94515.615	34450.355	126.333
S-535	1-2	PB02	27	ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh4-A	27.9	24.6	8.9	4.8	-94515.896	34450.489	126.321
S-536	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor1-A	41.9	62.4	14.3	38.1	-94514.714	34452.336	126.267
S-537	1-2	PB02		YLU	フレイク	Hor		Hor2-A	20.4	19.5	6.5	2.1	-94514.658	34452.860	126.204
S-538	1-2	PB02		ZN	フレイク	Hor		Hor1-B	21.6	20.3	11.8	4.2	94515.532	34453.785	126.214
S-539	1-2	PB02		ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ6	25.5	19.3	9.0	3.4	-94516.271	34454.178	126.204
S-540	1-2	PB02		YLU	チップ	Hor			-	-	-	0.3	-94513.621	34454.660	126.119
S-541	1-2	PB02		YLU	パウダー	Hor			-		-	-	94513.148	34454.278	126.145
S-557	1-2	PB02		ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-A	17.6	11.1	3.6	0.5	-94515.496	34457.609	126.059
S-558	1-2	PB02		ZN	パウダー	Ob							94514.011	34456.463	126.112
S-559	1-2	PB02		ZN	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-A		-		0.1	-94513.609	34456.478	126.120
S-560	1-2	PB02		ZN	パウダー	Ob				-		-	-94513.622	34456.367	126.181
S-577	1-2	PB02		YL	チップ	SSh(Bl)		SSh4-A	-		-	0.8	94513.645	34447.354	126.303
S-579	1-2	PB02		YLM	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-A	9.2	9.8	4.0	0.2	94514.040	34456.543	126.030
S-580	1-2	PB02		YLL	フレイク	GAn		GAN6	23.2	37.4	10.6	5.3	-94515.217	34455.509	125.947
S-581	1-2	PB02		YLL	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	7.7	10.5	2.0	0.1	-94514.929	34455.150	125.970
S-582	1-2	PB02		YLM	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	20.7	8.1	3.1	0.6	94513.583	34455.676	125.970
S-583	1-2	PB02	19	YLM	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	38.0	19.5	10.4	5.1	-94513.385	34455.711	125.971
S-584	1-2	PB02	19	YLL	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	22.0	20.9	3.1	1.2	94513.482	34455.491	125.957
S-585	1-2	PB02		YLL	チップ	Hor		Hor2-A		-		0.9	-94514.587	34454.526	125.944
S-586	1-2	PB02		YLM	フレイク	Ob	AGKT		8.2	17.1	4.8	0.5	94514.500	34454.187	126.047
S-587	1-2	PB02		YLL	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	15.5	11.1	6.0	0.9	-94513.591	34454.346	126.002
S-588	1-2	PB02		YLM	フレイク	Ob	TSTY	TSTY1	16.0	7.4	7.3	0.9	-94513.405	34454.403	126.013
S-589	1-2	PB02		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	20.3	30.7	5.3	3.4	94513.249	34453.734	125.994
S-590	1-2	PB02	28	YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	15.9	14.3	7.1	1.5	-94514.681	34453.466	126.014
S-591	1-2	PB02	28	YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	24.5	25.3	9.7	6.8	-94514.612	34453.487	126.002
S-592	1-2	PB02		YLM	パウダー	Hor			-	-	-	-	-94514.567	34453.303	126.058
S-593	1-2	PB02		YLU	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ5-A	26.1	24.8	11.2	6.5	-94515.169	34451.785	126.151
S-594	1-2	PB02		YLU	チップ	SSh(Bl)		SSh4-A	-	-	-	0.1	-94515.052	34451.765	126.179
S-595	1-2	PB02		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	21.3	12.5	5.6	1.6	-94512.882	34451.752	126.042
S-608	1-2	PB02	1	BB0	コア	Ob	HNHJ	HNHJ1	25.8	27.3	23.5	12.4	-94517.613	34449.041	126.002
S-609	1-2	PB02		BB0	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	14.5	13.1	5.3	1.0	-94514.497	34448.597	126.012
S-610	1-2	PB02		BB0	チップ	SSh(Bl)		SSh3	-	-	-	0.8	-94514.662	34448.927	126.027
S-611	1-2	PB02		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	26.9	31.9	9.2	9.2	-94514.705	34448.718	126.123
S-612	1-2	PB02	30	BB0	フレイク	SSh(Bl)		SSh3	13.9	13.3	4.3	0.6	-94513.755	34448.149	126.046
S-613	1-2	PB02		BB0	パウダー	Hor		Hor2-E	-	-	-	3.8	-94513.757	34449.389	125.975
S-614	1-2	PB02		YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	32.9	26.3	17.5	12.5	-94514.994	34449.745	126.167
S-615	1-2	PB02		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	17.4	18.3	7.4	2.5	-94514.499	34450.562	126.041
S-616	1-2	PB02		BB0	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	19.3	16.8	7.0	7.8	94514.253	34453.053	125.925
S-617	1-2	PB02	18	YLL	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	27.6	20.8	4.9	2.0	94513.929	34453.816	125.964
S-618	1-2	PB02		BB0	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	13.6	30.5	14.1	4.7	-94512.972	34454.366	125.907
S-619	1-2	PB02		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	64.8	48.0	18.3	41.4	-94513.758	34454.614	125.903
S-620	1-2	PB02	18	BB0	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	19.1	12.7	4.1	0.8	-94514.182	34454.518	125.880
S-621	1-2	PB02		BB0	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	19.1	14.3	3.5	0.5	-94513.796	34454.989	125.805
S-622	1-2	PB02		BB0	フレイク	Ob	TSTY	TSTY4	22.7	10.8	6.3	1.1	-94513.638	34455.341	125.911
S-623	1-2	PB02	18	BB0	フレイク	Ob	AGKT	AGKT1	39.9	26.5	13.0	8.9	-94514.619	34454.732	125.891
S-624	1-2	PB02		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	28.3	9.9	7.8	1.7	-94513.873	34456.206	125.973
S-630	1-2	PB02		BB0	チップ	Hor		Hor2-E	-	-	-	0.1	-94514.982	34449.598	125.997
S-402	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor6	38.3	19.6	6.1	4.8	-94517.763	34444.38	126.570
S-403	1-2	PB03		ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-A	15.7	13.1	3.3	0.4	-94515.541	34444.976	126.599
S-404	1-2	PB03		ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh3	18.1	15.5	10.5	4.0	-94514.465	34444.447	126.595
S-405	1-2	PB03		ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-A	21.4	16.8	10.4	2.4	-94514.296	34443.962	126.607

遺物番号	調査区	遺構	接合No	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-424	1-2	PB03		ZN	チップ	Ob	KZOB	KZOB1-C	-	-	-	0.1	-94517.727	34444.366	126.574
S-425	1-2	PB03		ZN	フレイク	GAn		GAn5	23.3	17.4	6.2	1.6	-94516.269	34442.715	126.612
S-482	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor2-D	55.9	67.5	15.4	48.7	-94516.552	34444.688	126.436
S-483	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	60.1	37.3	21.0	54.6	-94518.680	34444.737	126.422
S-484	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor2-D	44.6	35.0	16.7	31.7	-94517.941	34445.851	126.435
S-485	1-2	PB03	36	YLU	ｻﾌﾞﾏｸﾛﾌﾚｲｸ	SSh(DG)		SSh1-A	68.1	50.6	15.7	43.2	-94518.044	34445.427	126.407
S-490	1-2	PB03		ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ6	41.1	35.6	16.3	15.4	-94518.658	34447.266	126.461
S-491	1-2	PB03		ZN	チップ	Ob	KZOB	KZOB1-B	-	-	-	0.1	-94519.439	34447.008	126.480
S-497	1-2	PB03		ZN	チップ	Hor		Hor1-A	-	-	-	0.5	-94514.254	34441.305	126.530
S-499	1-2	PB03		ZN	ﾅｲﾌ形石器	Ob	SWHD	SWHD5	22.2	13.0	4.2	1.2	-94516.978	34441.194	126.515
S-500	1-2	PB03		ZN	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94516.776	34442.871	126.501
S-501	1-2	PB03	34	ZN	フレイク	Hor		Hor2-E	43.1	24.4	14.4	16.4	-94515.966	34442.638	126.466
S-502	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor1-B	29.4	19.6	10.1	4.4	-94514.283	34443.509	126.529
S-505	1-2	PB03		ZN	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.5	-94517.137	34443.068	126.469
S-506	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	37.6	25.5	9.5	12.0	-94517.304	34442.874	126.465
S-542	1-2	PB03		ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	61.0	28.7	14.6	23.6	-94518.333	34446.208	126.400
S-543	1-2	PB03		YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.5	-94517.249	34444.808	126.382
S-544	1-2	PB03		YLU	フレイク	Hor		Hor2-E	24.2	20.6	15.0	7.9	-94517.445	34443.076	126.382
S-561	1-2	PB03		YLL	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.8	-94517.379	34444.707	126.354
S-567	1-2	PB03		YL	フレイク	Hor		Hor2-A	19.7	10.3	6.3	1.4	-94516.964	34442.976	126.362
S-569	1-2	PB03		YL	フレイク	Ob	SWHD	SWHD1-B	10.7	8.5	2.3	0.1	-94517.935	34447.045	126.355
S-597	1-2	PB03		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	39.2	43.2	16.9	31.8	-94518.073	34442.773	126.201
S-598	1-2	PB03		YLL	フレイク	Hor		Hor2-E	28.8	55.6	21.2	24.0	-94516.844	34442.443	126.229
S-599	1-2	PB03		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	29.9	28.5	13.8	12.9	-94516.301	34443.037	126.185
S-600	1-2	PB03	34	BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	40.5	46.8	16.9	33.5	-94516.705	34443.423	126.156
S-601	1-2	PB03		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	41.4	27.4	6.6	8.4	-94516.406	34443.601	126.170
S-602	1-2	PB03		BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	40.3	22.1	4.8	7.7	94516.901	34444.847	126.086
S-603	1-2	PB03		YLL	フレイク	Hor		Hor2-A	32.3	23.1	12.8	6.1	94516.591	34444.810	126.234
S-604	1-2	PB03		YLM	フレイク	Hor		Hor8	28.6	29.8	4.9	5.0	94518.047	34445.097	126.317
S-605	1-2	PB03		YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	25.3	23.0	12.2	5.9	-94517.057	34445.744	126.320
S-606	1-2	PB03		BB0	フレイク	Hor		Hor8	59.9	58.6	27.1	104.3	-94516.377	34445.848	126.104
S-626	1-2	PB03	29	YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	26.2	8.3	7.0	1.7	94519.191	34443.192	126.317
S-627	1-2	PB03	29	YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	14.2	33.5	8.1	3.8	94519.260	34443.346	126.320
S-628	1-2	PB03		YLL	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-D	19.4	15.8	2.5	0.6	94517.227	34440.003	126.349
S-149	1-2	PB04		SC1	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.5	17.0	3.1	0.7	-94522.748	34439.929	125.863
S-150	1-2	PB04	2	SC1	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	31.7	27.6	15.0	7.6	-94522.359	34440.724	125.862
S-151	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	37.0	15.5	5.8	2.9	-94522.254	34440.502	125.691
S-153	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-C	34.4	23.5	4.1	3.5	-94521.978	34439.846	125.749
S-155	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	17.0	11.0	2.8	0.5	-94520.986	34439.391	125.764
S-156	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-A	37.8	19.9	5.4	5.8	94520.343	34439.522	125.720
S-157	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	18.0	15.4	3.8	0.9	-94520.243	34439.477	125.785
S-158	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	70.8	52.2	19.7	54.1	-94521.224	34439.879	125.728
S-159	1-2	PB04	5	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	27.0	23.0	4.8	4.2	-94521.631	34440.122	125.748
S-160	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	11.9	6.4	0.9	0.1	94521.796	34440.489	125.645
S-162	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	23.9	10.8	4.3	0.9	-94522.089	34440.727	125.750
S-163	1-2	PB04	32	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	19.5	2.50	16.0	7.2	-94522.024	34440.894	125.773
S-164	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	27.5	18.4	7.0	2.8	-94521.865	34440.835	125.707
S-165	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	18.6	21.2	9.0	2.2	-94521.699	34440.730	125.799
S-166	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	25.8	24.7	4.9	3.8	-94521.487	34440.516	125.705
S-167	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	10.1	6.9	2.3	0.1	-94521.435	34440.770	125.696
S-168	1-2	PB04	2	BB I	コア	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	31.2	31.5	15.5	15.8	-94521.513	34440.823	125.765
S-169	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	7.4	6.8	2.5	0.1	-94521.564	34440.959	125.770
S-170	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	11.8	17.5	5.5	1.0	-94520.618	34441.568	125.681
S-171	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-C	18.3	30.8	5.4	3.1	-94521.691	34441.085	125.761
S-172	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	4.3	8.7	1.8	0.1	-94521.761	34441.084	125.742
S-173	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn2-A	26.0	12.4	5.6	1.4	-94521.628	34441.171	125.721
S-175	1-2	PB04	3	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	31.3	13.8	7.4	1.9	-94521.332	34441.018	125.756
S-176	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	18.0	10.7	3.7	0.6	94521.444	34440.864	125.742
S-177	1-2	PB04		BB I	フレイク	SSh(DG)		SSh2	21.9	19.5	3.3	1.1	-94521.367	34440.912	125.711
S-178	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor			11.2	24.4	5.7	1.2	-94521.260	34440.770	125.725
S-180	1-2	PB04	2	BB I	コア	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	32.6	29.1	15.8	9.0	-94521.270	34440.930	125.703
S-181	1-2	PB04	32	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	26.5	19.6	13.9	7.8	-94521.208	34440.950	125.708
S-182	1-2	PB04	3	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	20.8	34.1	13.9	8.3	-94521.187	34440.925	125.688
S-183	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	15.1	11.9	4.0	0.8	-94521.023	34440.827	125.710
S-184	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	24.7	12.2	7.8	1.8	-94520.855	34440.868	125.690

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-185	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	44.2	31.2	8.7	11.0	-94521.131	34441.101	125.705
S-186	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	39.2	22.2	14.3	9.4	-94521.245	34441.125	125.696
S-187	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	13.8	14.3	5.5	0.6	-94521.288	34441.360	125.775
S-188	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	43.8	38.6	14.4	19.6	-94521.018	34441.375	125.756
S-189	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	13.9	10.0	4.6	0.6	-94520.903	34441.366	125.744
S-190	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	31.5	26.1	13.9	9.3	-94520.823	34441.485	125.750
S-650	1-2	PB04		BB I U	フレイク	Ob	SWHD	SWHD2	20.0	13.8	2.7	0.8	-94523.697	34439.862	125.858
S-651	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	48.7	49.1	16.7	38.6	-94524.648	34438.882	125.739
S-653	1-2	PB04	24	BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	43.7	41.4	23.0	34.0	-94523.015	34439.623	125.732
S-655	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD2	24.1	15.7	5.5	1.8	-94523.690	34440.579	125.628
S-656	1-2	PB04		BB I	ナイフ形石器	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	23.6	13.8	6.8	1.9	-94523.359	34440.921	125.707
S-657	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	17.4	12.6	3.3	0.7	-94523.919	34441.063	125.728
S-658	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-C	22.8	18.4	6.9	2.4	-94523.744	34441.171	125.690
S-659	1-2	PB04	20	BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	24.6	35.5	10.2	5.5	-94523.632	34441.253	125.720
S-660	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	16.7	21.1	5.0	1.6	-94523.881	34441.497	125.660
S-661	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	18.0	12.2	4.6	1.1	-94523.663	34441.595	125.701
S-662	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	20.9	11.5	3.6	0.7	-94523.548	34441.514	125.697
S-663	1-2	PB04	4	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	32.3	11.0	7.5	2.1	-94523.383	34441.386	125.753
S-664	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-C	23.6	27.3	4.6	3.3	-94523.198	34441.486	125.757
S-665	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	19.2	14.9	5.0	1.1	-94522.998	34441.700	125.771
S-666	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.5	-94522.908	34441.749	125.702
S-667	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.9	-94522.849	34441.803	125.707
S-668	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.1	-94522.904	34441.588	125.779
S-670	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.849	34441.389	125.760
S-671	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	11.6	9.8	4.2	0.3	-94522.799	34441.262	125.771
S-672	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.6	-94522.995	34441.240	125.791
S-673	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-A	21.4	18.2	8.3	2.1	-94522.869	34441.072	125.760
S-674	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-C	28.1	14.5	9.5	3.6	-94522.659	34441.209	125.775
S-675	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-B	30.1	24.0	8.6	3.8	-94522.753	34441.646	125.730
S-676	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.4	-94522.658	34441.649	125.727
S-677	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.615	34441.694	125.740
S-678	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.606	34441.731	125.704
S-679	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn2-A	19.5	7.5	4.3	0.4	-94522.615	34441.734	125.698
S-680	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.9	-94522.861	34442.201	125.741
S-681	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-B	33.4	20.0	4.8	3.1	-94522.495	34442.300	125.821
S-682	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	54.2	61.8	23.6	61.7	-94522.496	34442.241	125.780
S-683	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.447	34442.160	125.777
S-684	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	21.6	21.1	6.5	2.7	-94522.480	34442.106	125.776
S-685	1-2	PB04	21	BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	11.4	23.2	7.2	2.5	-94522.384	34442.132	125.766
S-686	1-2	PB04	33	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	22.0	15.5	7.5	2.1	-94522.450	34442.040	125.789
S-687	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.8	-94522.292	34441.985	125.767
S-688	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.339	34441.939	125.783
S-689	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-C	-	-	-	0.6	-94522.296	34441.892	125.778
S-690	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.346	34441.876	125.778
S-692	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.5	-94522.529	34441.702	125.765
S-693	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.1	-94522.425	34441.631	125.762
S-694	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.2	-94522.210	34441.796	125.786
S-695	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-B	10.3	19.7	6.7	1.2	-94522.597	34441.601	125.746
S-696	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	27.3	14.6	11.4	3.1	-94522.666	34441.591	125.756
S-697	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94522.575	34441.529	125.777
S-698	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.2	-94522.534	34441.413	125.770
S-699	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-C	-	-		0.1	-94522.435	34441.565	125.772
S-700	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.378	34441.539	125.774
S-701	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.300	34441.561	125.757
S-702	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.4	-94522.253	34441.687	125.781
S-703	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	25.1	15.7	7.3	2.1	-94522.176	34441.628	125.740
S-704	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.4	-94522.146	34441.823	125.759
S-705	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.262	34441.556	125.765
S-706	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.4	-94522.382	34441.431	125.779
S-707	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.4	-94522.238	34441.484	125.776
S-708	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.9	-94522.234	34441.433	125.771
S-709	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.6	-94522.340	34441.343	125.758
S-710	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.120	34441.342	125.750
S-711	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.156	34441.329	125.745
S-712	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.3	-94522.299	34441.309	125.763

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-713	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	11.7	15.4	2.1	0.4	-94522.422	34441.217	125.719
S-714	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94522.388	34441.128	125.780
S-715	1-2	PB04	20	BBI	フレイク	GAn		GAn3-B	50.1	28.4	16.6	18.8	-94522.512	34441.095	125.788
S-716	1-2	PB04		BBI	フレイク	GAn		GAn2-A	29.1	12.2	2.4	1.0	-94522.436	34441.011	125.755
S-717	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.6	11.6	4.1	0.7	-94522.613	34441.001	125.720
S-718	1-2	PB04		BBI	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.728	34440.853	125.710
S-719	1-2	PB04		BBI	フレイク	GAn		GAn3-B	67.7	38.7	19.7	52.2	-94522.785	34440.846	125.711
S-720	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	11.7	9.6	1.4	0.1	94522.463	34440.746	125.699
S-721	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.4	-94522.125	34441.074	125.728
S-722	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	11.4	7.6	1.7	0.1	-94521.981	34441.136	125.731
S-723	1-2	PB04		BBI	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94522.017	34441.087	125.718
S-724	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.6	-94521.990	34440.909	125.710
S-725	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	12.2	3.9	2.9	0.1	-94522.001	34440.844	125.715
S-726	1-2	PB04	4	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	29.2	11.9	4.6	1.3	-94521.868	34440.800	125.705
S-727	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.727	34440.889	125.717
S-728	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.677	34440.818	125.755
S-729	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	10.0	7.5	2.4	0.1	-94521.679	34440.886	125.763
S-730	1-2	PB04	2	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	28.8	27.8	8.5	4.9	-94521.551	34440.885	125.708
S-731	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.537	34440.776	125.721
S-732	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.541	34440.824	125.713
S-733	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	10.8	14.2	5.2	0.4	-94521.324	34440.837	125.708
S-734	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.429	34440.785	125.715
S-735	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.444	34440.905	125.757
S-736	1-2	PB04		BBI	フレイク	SSh(Gy)		SSh2	10.1	9.8	1.3	0.2	-94521.416	34440.973	125.764
S-737	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.117	34440.885	125.641
S-738	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	8.0	11.6	1.7	0.1	-94521.175	34441.098	125.700
S-739	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.306	34441.180	125.688
S-740	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	7.4	18.1	2.5	0.4	-94521.101	34441.187	125.664
S-743	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-B	-		-	0.5	-94521.748	34441.009	125.735
S-744	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.551	34441.066	125.708
S-745	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	12.8	15.0	4.1	0.6	-94521.619	34441.108	125.727
S-746	1-2	PB04	33	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	18.6	11.6	9.3	1.4	-94521.717	34441.056	125.738
S-747	1-2	PB04		BBI	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94521.895	34441.083	125.722
S-748	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.862	34441.187	125.755
S-749	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.807	34441.197	125.742
S-750	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.573	34441.176	125.720
S-751	1-2	PB04	22	BBI	フレイク	GAn		GAn1-B	36.1	13.2	10.3	3.2	-94521.687	34441.326	125.756
S-752	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ch		Ch1	29.7	23.0	7.1	4.7	-94521.795	34441.324	125.758
S-753	1-2	PB04		BBI	フレイク	GAn		GAn3-A	20.8	22.3	7.4	3.7	-94521.752	34441.432	125.770
S-754	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.834	34441.472	125.748
S-755	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.7	-94521.963	34441.604	125.756
S-756	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.859	34441.608	125.757
S-757	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.784	34441.676	125.737
S-758	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.872	34441.736	125.764
S-759	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.896	34441.825	125.762
S-760	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.8	-94521.794	34441.756	125.770
S-761	1-2	PB04		BBI	ナイフ形石器	Hor		Hor12	41.5	14.8	9.2	20.8	-94521.838	34441.846	125.784
S-762	1-2	PB04		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	9.4	7.9	3.1	0.1	-94521.854	34441.922	125.773
S-763	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.816	34442.012	125.765
S-764	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.701	34441.708	125.723
S-765	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.640	34441.830	125.735
S-766	1-2	PB04		BBI	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94521.654	34441.654	125.721
S-767	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.590	34441.568	125.761
S-768	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	21.2	18.2	2.5	0.9	-94521.551	34441.590	125.786
S-769	1-2	PB04	1	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	33.2	22.8	9.4	5.8	-94521.501	34441.815	125.800
S-771	1-2	PB04		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	6.6	7.1	0.5	-	-94521.450	34441.757	125.749
S-772	1-2	PB04		BBI	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94521.365	34441.659	125.725
S-773	1-2	PB04		BBI	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.5	-94521.606	34441.976	125.677
S-774	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	14.1	6.5	2.3	0.1	-94521.604	34442.189	125.739
S-775	1-2	PB04		BBI	フレイク	GAn		GAn3-B	46.0	32.9	18.5	16.6	-94521.494	34442.194	125.763
S-776	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	18.5	27.7	7.5	2.9	-94521.342	34442.193	125.744
S-777	1-2	PB04		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.783	34442.397	125.778
S-778	1-2	PB04	6	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	16.5	10.3	2.2	0.6	-94520.671	34442.535	125.796
S-779	1-2	PB04	6	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	22.4	20.8	4.1	1.4	-94520.528	34442.330	125.730
S-780	1-2	PB04		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	10.3	16.1	2.1	0.4	-94520.816	34442.171	125.792

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-782	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	13.5	10.4	4.5	0.5	94520.666	34442.187	125.803
S-783	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	10.1	10.3	3.6	0.4	-94520.671	34442.124	125.791
S-784	1-2	PB04	31	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	23.4	15.9	6.3	2.8	-94520.698	34442.041	125.780
S-785	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.557	34442.102	125.813
S-786	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	24.9	20.3	12.8	6.0	-94520.404	34442.165	125.821
S-787	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	24.7	12.9	7.7	3.2	-94520.118	34442.095	125.785
S-788	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94520.174	34442.022	125.777
S-789	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	10.9	10.1	4.6	0.5	-94520.267	34441.990	125.771
S-790	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	13.8	7.2	1.5	0.1	-94520.336	34441.959	125.782
S-791	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.410	34441.936	125.777
S-792	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4 B	5.9	7.2	3.1	0.1	-94520.480	34441.953	125.795
S-793	1 2	PB04	1	BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	8.8	9.4	9.6	0.9	-94520.451	34441.934	125.780
S-794	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.408	34441.884	125.784
S-795	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	8.2	7.3	2.0	0.1	-94520.501	34441.866	125.779
S-796	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	7.4	8.3	0.5	-	-94520.483	34441.902	125.784
S-797	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94520.545	34441.900	125.803
S-798	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	8.9	5.4	1.3		-94520.685	34441.965	125.782
S-799	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	12.8	19.2	4.0	1.0	-94520.677	34441.830	125.779
S-800	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	7.6	4.3	3.9	0.1	-94520.553	34441.782	125.751
S-801	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.588	34441.730	125.743
S-802	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.550	34441.710	125.748
S-803	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.464	34441.728	125.766
S-804	1 2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.300	34441.736	125.743
S-805	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.506	34441.641	125.726
S-806	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ8	11.6	11.7	2.9	0.4	-94520.325	34441.416	125.715
S-807	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	12.3	5.9	2.2	0.1	-94520.855	34441.413	125.688
S-808	1 2	PB04	26	BB I	エンドスクレイパー	Ob	HNHJ	HNHJ3 A	22.7	26.8	10.8	5.5	-94519.803	34441.181	125.805
S-809	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.1	14.3	3.6	0.5	-94519.935	34441.168	125.821
S-810	1-2	PB04	26	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	14.2	22.7	9.0	2.6	-94519.916	34440.956	125.866
S-811	1-2	PB04		BB I	エンドスクレイパー	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	19.9	28.1	8.0	4.1	-94520.103	34440.310	125.787
S-812	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	20.4	37.5	10.1	7.3	-94519.721	34442.541	125.806
S-814	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	29.0	18.4	7.5	2.9	94524.988	34441.680	125.691
S-815	1-2	PB04		BB I	ナイフ形石器	Hor		Hor11 B	79.6	32.5	10.0	5.7	-94524.894	34442.094	125.644
S-816	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor10	13.8	26.0	5.9	1.5	-94525.144	34442.129	125.640
S-817	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	45.2	41.3	18.0	19.0	-94523.748	34443.462	125.656
S-818	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	33.7	42.9	15.9	18.3	-94522.853	34443.123	125.679
S-819	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	30.3	38.8	12.4	17.0	-94520.856	34445.220	125.672
S-916	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3 B	27.9	28.5	14.5	9.1	-94523.641	34441.193	125.678
S-917	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-C	-	-	-	0.1	-94522.403	34441.113	125.757
S-918	1 2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	18.8	30.3	6.3	3.5	-94522.627	34441.205	125.771
S-919	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.815	34441.269	125.707
S-921	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.3	-94522.715	34441.541	125.736
S-922	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-A	-	-	-	-	-94522.570	34441.644	125.719
S-923	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.5	-94522.555	34441.818	125.755
S 924	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.2	-94522.422	34441.984	125.761
S-926	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	16.0	12.7	6.6	1.2	-94522.301	34441.822	125.765
S-927	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.4	-94522.455	34441.693	125.750
S-929	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-A	-	-	-	0.1	-94522.259	34441.742	125.751
S-930	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	14.8	15.4	6.3	1.6	-94522.269	34441.694	125.750
S-931	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-C	20.1	13.4	8.0	1.9	-94522.357	34441.708	125.753
S-932	1-2	PB04	23	BB I	フレイク	GAn		GAn3-A	27.3	17.5	7.7	2.8	-94522.403	34441.578	125.735
S-933	1 2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-C	23.7	10.8	3.9	0.7	-94522.446	34441.521	125.756
S-934	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.6	-94522.534	34441.434	125.750
S-935	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.234	34441.520	125.769
S-936	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.6	-94522.154	34441.848	125.747
S-937	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn			-	-	-	-	-94521.968	34441.492	125.731
S-938	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	21.5	25.5	6.5	2.7	-94521.835	34440.944	125.687
S-939	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	8.0	6.9	3.8	0.2	-94521.755	34441.140	125.743
S-940	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	7.9	10.3	2.2	0.1	-94521.683	34441.215	125.727
S-941	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.600	34441.219	125.734
S-942	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.570	34441.145	125.732
S-943	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	32.0	21.1	7.8	4.4	-94521.390	34440.970	125.746
S-944	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	16.0	18.1	5.3	1.3	-94521.427	34440.953	125.725
S-945	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.364	34440.908	125.715
S-946	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.468	34441.707	125.752

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-948	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	8.2	5.5	0.7	-	-94520.500	34441.810	125.759
S-949	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.543	34441.841	125.786
S-950	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.572	34441.912	125.783
S-951	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.428	34441.890	125.778
S-952	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.442	34441.950	125.789
S-953	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.540	34442.093	125.796
S-954	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.406	34442.126	125.801
S-955	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.040	34441.193	125.717
S-956	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.6	-94522.235	34441.912	125.669
S-957	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.866	34441.510	125.723
S-958	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.6	-94522.849	34441.565	125.714
S-959	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.9	-94522.559	34441.296	125.665
S-960	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn3-A	-	-	-	-	-94522.486	34441.409	125.759
S-961	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.6	-94522.348	34441.423	125.763
S-962	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.3	-94522.185	34441.333	125.736
S-963	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.680	34441.310	125.757
S-964	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.887	34441.484	125.748
S-965	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	10.9	5.5	3.6	0.1	-94521.905	34441.769	125.743
S-966	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	13.7	8.3	5.5	0.4	-94521.828	34441.780	125.733
S-967	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94521.735	34441.715	125.709
S-968	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	9.3	8.9	5.2	0.4	-94521.489	34441.778	125.757
S-969	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.518	34441.972	125.782
S-970	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.388	34441.946	125.785
S-971	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.379	34442.139	125.787
S-972	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94522.455	34442.001	125.725
S-973	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.4	-94522.396	34441.943	125.739
S-974	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-C	-	-	-	0.1	-94522.425	34441.881	125.759
S-975	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.2	-94522.333	34441.573	125.749
S-976	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	15.1	8.5	7.5	1.0	-94522.247	34441.533	125.751
S-977	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.3	-94522.235	34441.461	125.774
S-978	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.3	-94522.433	34441.448	125.750
S-979	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.719	34441.479	125.665
S-980	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.4	-94522.592	34441.326	125.686
S-981	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.2	-94522.605	34441.510	125.690
S-982	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.6	-94522.569	34441.581	125.723
S-983	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.492	34441.609	125.746
S-984	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-A	10.7	17.5	5.9	1.2	-94522.474	34441.531	125.747
S-985	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.488	34441.450	125.745
S-986	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-A	-	-	-	0.4	-94522.430	34441.443	125.746
S-987	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.438	34441.627	125.719
S-988	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.344	34441.480	125.773
S-989	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-C	-	-	-	0.1	-94522.365	34441.522	125.738
S-990	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.542	34441.640	125.731
S-991	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.532	34441.723	125.693
S-992	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.2	-94522.465	34441.694	125.725
S-993	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.6	-94522.518	34441.819	125.705
S-994	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.432	34441.770	125.743
S-995	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.492	34441.847	125.742
S-996	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.3	-94522.382	34441.806	125.735
S-997	1-2	PB04	21	BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.8	-94522.373	34441.876	125.720
S-998	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-C	-	-	-	-	-94522.314	34441.750	125.743
S-999	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-A	-	-	-	-	-94522.215	34441.551	125.714
S-1000	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.3	-94522.251	34441.458	125.758
S-1001	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94522.251	34441.349	125.755
S-1002	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-A	-	-	-	0.4	-94522.157	34441.508	125.748
S-1003-1	1-2	PB04		BB I	ナイフ形石器	GAn		GAn2-D	37.7	15.9	6.9	4.6	-94522.141	34441.417	125.718
S-1003-2	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.5	-94522.141	34441.417	125.718
S-1004	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.1	-94522.426	34441.207	125.714
S-1005	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.496	34441.183	125.676
S-1006	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.6	-94522.454	34441.171	125.711
S-1007	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	10.3	8.7	2.4	0.2	-94521.949	34441.692	125.721
S-1008	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.924	34441.600	125.746
S-1009	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.888	34441.572	125.750
S-1010	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.824	34441.470	125.742
S-1012	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.725	34441.398	125.751

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-1013	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	5.1	10.3	2.9	0.1	-94521.699	34441.255	125.691
S-1014	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.664	34441.178	125.727
S-1015	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	11.0	7.1	1.7	0.1	-94521.589	34441.122	125.701
S-1016	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94521.556	34441.726	125.718
S-1017	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.588	34441.657	125.731
S-1018	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.3	-94521.589	34441.629	125.747
S-1019	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.511	34441.586	125.725
S-1021	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4 C	11.7	9.5	2.9	0.3	-94520.790	34442.162	125.778
S-1022	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.693	34442.141	125.772
S-1023	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.689	34442.140	125.772
S 1024	1 2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.667	34441.911	125.774
S-1025	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	11.8	6.0	3.5	0.3	-94520.516	34441.994	125.782
S-1026	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.395	34442.142	125.779
S-1027	1-2	PB04	1	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	11.4	10.8	7.2	0.8	-94520.499	34441.953	125.785
S-1028	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.521	34441.784	125.750
S-1029	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	12.7	6.9	3.1	0.2	-94520.408	34442.208	125.772
S-1030	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.487	34441.610	125.716
S-1031	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.341	34442.039	125.779
S-1032	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	6.5	7.8	2.7	0.1	-94520.316	34441.722	125.730
S-1033	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.404	34441.953	125.778
S-1034	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	6.3	6.5	1.0	-	-94520.192	34442.100	125.728
S-1035	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.277	34441.895	125.737
S-1036	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.330	34441.912	125.773
S-1077	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.475	34441.626	125.744
S-1078	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.3	-94522.470	34441.646	125.738
S-1079	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.4	-94522.571	34441.457	125.686
S-1080	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.573	34441.695	125.647
S-1081	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.435	34441.803	125.712
S-1082	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94521.595	34441.598	125.755
S-1083	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-C	-	-	-	-	-94522.395	34441.754	125.680
S-1084	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.404	34441.841	125.698
S-1085	1-2	PB04	31	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	34.0	23.6	13.3	8.5	-94520.511	34441.926	125.772
S-1086	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.477	34442.094	125.774
S-1087	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.1	-94522.253	34441.471	125.766
S-1088	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.5	-94522.273	34441.468	125.761
S-1089	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-C	-	-	-	-	-94522.327	34441.522	125.726
S-1090	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.537	34441.863	125.779
S-1091	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.420	34441.578	125.735
S-1092	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-C	26.3	9.5	7.1	1.1	-94522.403	34441.533	125.727
S-1093	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.495	34441.985	125.781
S-1094	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.183	34441.551	125.696
S-1095	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.195	34441.509	125.715
S-1096	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.429	34441.870	125.778
S-1097	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn1-A	-	-	-	-	-94522.382	34441.502	125.728
S-1098	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-A	23.0	16.8	6.0	1.4	-94522.398	34441.502	125.728
S-1099	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.370	34442.037	125.776
S-1100	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94522.154	34441.528	125.721
S-1101	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	7.8	9.3	3.5	0.3	-94520.345	34442.127	125.777
S-1102	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.4	-94522.170	34441.388	125.749
S-1103	1-2	PB04	23	BB I	チップ	GAn		GAn3-A	48.5	23.6	9.1	0.8	-94522.231	34441.432	125.729
S-1104	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-A	11.5	12.8	3.1	0.4	-94522.236	34441.487	125.738
S-1105	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94522.249	34441.455	125.735
S-1106	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.456	34441.889	125.783
S-1107	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn1-A	17.4	7.9	8.6	1.1	-94522.430	34441.524	125.734
S-1108	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.429	34442.102	125.777
S-1109	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-B	-	-	-	0.3	-94522.452	34441.581	125.739
S-1110	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-C	-	-	-	0.2	-94522.484	34441.645	125.735
S-1147	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94522.488	34441.682	125.698
S-1148	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-C	-	-	-	0.1	-94522.452	34441.610	125.731
S-1149	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94522.452	34441.551	125.723
S-1150	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.2	-94522.269	34441.478	125.745
S-1151	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.318	34441.946	125.769
S-1152	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.504	34441.902	125.768
S-1153	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.366	34441.996	125.771
S-1154	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94522.149	34441.470	125.650

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-1155	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.362	34442.095	125.767
S-1156	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.523	34442.018	125.780
S-1157	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.5	-94521.879	34441.628	125.724
S-1158	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.546	34441.839	125.777
S-1159	1-2	PB04	24	BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	23.6	38.3	12.3	8.4	-94521.733	34441.374	125.711
S-1160	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.434	34441.872	125.768
S-1161	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.881	34441.532	125.705
S-1162	1-2	PB04		BB I	フレイク	SSh(Gy)		SSh2	19.3	12.3	3.8	0.7	-94521.742	34441.438	125.727
S-1163	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn2-B	-	-	-	0.1	-94522.441	34441.582	125.724
S-1164	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn1-A	-	-	-	0.2	-94522.466	34441.629	125.729
S-1165	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.449	34441.981	125.775
S-1166	1-2	PB04		BB I	パウダー	GAn		GAn2-B	-	-	-	-	-94522.470	34441.643	125.722
S-1167	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	11.7	5.9	2.0	0.1	-94520.509	34441.950	125.769
S-1168	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	9.5	18.5	8.1	1.0	-94520.508	34441.920	125.765
S-1169	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-A	-	-	-	0.1	-94521.877	34441.609	125.732
S-1170	1-2	PB04		BB I	フレイク	Hor		Hor11-A	12.5	6.6	3.6	0.3	-94521.607	34441.638	125.707
S-1171	1-2	PB04		BB I	チップ	GAn		GAn3-B	-	-	-	0.4	-94521.539	34441.678	125.716
S-1172	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-		-	-94520.459	34441.792	125.703
S-1173	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.778	34441.470	125.691
S-1174	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94521.805	34441.534	125.704
S-1175	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	12.8	22.5	5.3	0.9	-94520.594	34441.836	125.760
S-1176	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.673	34441.992	125.767
S-1177	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.706	34441.934	125.767
S-1178	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.428	34442.108	125.757
S-1179	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.463	34441.881	125.768
S-1180	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	12.9	17.7	5.6	0.9	-94520.422	34442.008	125.761
S-1211	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.462	34441.972	125.768
S-1212	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.581	34441.888	125.762
S-1213-1	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.510	34441.893	125.766
S-1213-2	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	7.0	8.1	3.7	0.1	-94520.510	34441.893	125.766
S-1214	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.448	34441.873	125.763
S-1215	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.565	34441.837	125.762
S-1219	1-2	PB04	5	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	8.7	12.8	4.6	0.3	-94520.768	34442.189	125.724
S-1220	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.673	34441.892	125.751
S-1221	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.622	34441.982	125.730
S-1222	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.586	34441.854	125.763
S-1223	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	8.1	8.1	3.5	0.1	-94520.567	34441.924	125.759
S-1224	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94520.461	34441.975	125.765
S-1225	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.498	34441.829	125.766
S-1226	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.449	34441.849	125.758
S-1227	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.337	34441.954	125.748
S-1228	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.355	34442.147	125.742
S-1229	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.434	34441.758	125.684
S-1260	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.367	34442.079	125.732
S-1261	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.379	34441.867	125.713
S-1262	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	7.8	8.8	3.9	0.3	-94520.462	34441.825	125.746
S-1263	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	16.8	5.3	2.6	0.1	-94520.457	34441.839	125.745
S-1264	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.491	34441.950	125.751
S-1265	1-2	PB04		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	9.1	10.0	6.9	1.0	-94520.568	34441.921	125.745
S-1266	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.588	34441.831	125.734
S-1267	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.643	34441.869	125.715
S-1268	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.811	34442.144	125.726
S-1274	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.601	34441.800	125.686
S-1275	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.625	34441.845	125.703
S-1276	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.546	34441.885	125.736
S-1277	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94520.437	34441.840	125.741
S-1278	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.478	34441.953	125.750
S-1279	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.539	34441.928	125.748
S-1280	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.492	34442.026	125.739
S-1281	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.342	34441.901	125.666
S-1342	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	8.3	6.2	2.8	0.1	-94520.574	34441.818	125.672
S-1343	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.550	34441.968	125.727
S-1344	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94520.517	34441.867	125.689
S-1345	1-2	PB04		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	8.9	8.5	3.0	0.1	-94520.469	34441.828	125.702
S-1346	1-2	PB04		YLU	フレイク	SSh(Bl)		SSh1-A	27.1	12.4	4.1	1.4	-94515.699	34425.025	126.755

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-1348	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94520.480	34441.870	125.733
S-1349	1-2	PB04		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94520.443	34441.818	125.685
S-7268	1-2	PB04		BB I	フレイク	GAn		GAn3-B	63.0	34.3	12.3	20.2	94521.772	34441.023	125.727
S-7269	1-2	PB04	22	BB I	フレイク	GAn		GAn1-B	39.5	23.0	16.5	17.6	94521.070	34441.317	125.651
S-820	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	52.5	34.6	7.1	14.1	94518.682	34445.631	125.811
S-821-1	1-2	PB05		BB I	フレイク	SSh(Gy)		SSh2	10.9	27.5	3.1	0.8	94518.674	34445.567	125.810
S-821-2	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor11-A	16.7	23.2	5.6	1.9	94518.674	34445.567	125.810
S-821-3	1-2	PB05		BB I	チップ	Hor		Hor11-A		-	-	1.0	94518.674	34445.567	125.810
S-822	1-2	PB05	1	BB I U	コア	Ob	HNHJ	HNHJ1	16.4	26.4	20.7	7.3	94517.234	34445.605	125.874
S-825	1-2	PB05	10	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	25.5	15.8	11.9	4.2	94515.242	34447.582	125.802
S-827	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	11.1	6.9	5.2	0.3	94514.401	34446.946	125.730
S-828	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	8.8	6.1	1.2	0.1	94514.261	34446.966	125.719
S-829	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	14.4	13.5	4.1	0.6	94513.940	34447.258	125.841
S-831	1-2	PB05		SC1	フレイク	Ob	SWHD	SWHD1-B	8.4	10.3	1.8	0.2	94513.603	34446.583	125.955
S-832	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	5.1	9.1	2.1	0.1	94513.730	34446.676	125.772
S-833	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	43.9	19.4	10.5	9.1	94514.004	34446.411	125.764
S-835	1-2	PB05	10	BB I	コア	Ob	HNHJ	HNHJ2	39.1	32.1	21.4	17.8	94513.985	34446.090	125.776
S-836	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor11-C	42.1	27.2	6.6	9.4	94514.116	34445.854	125.725
S-837	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor11-A	12.4	7.3	5.6	0.4	94514.268	34445.395	125.726
S-838	1-2	PB05	10	BB I	コア	Ob	HNHJ	HNHJ2	26.8	31.4	22.8	16.0	94513.619	34445.913	125.775
S-839	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94513.553	34446.032	125.773
S-840	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	11.2	7.6	2.1	0.2	94513.092	34446.206	125.756
S-841	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.5	7.2	1.6	0.1	94513.224	34446.254	125.765
S-842	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	38.3	24.8	7.0	4.4	94513.326	34446.334	125.756
S-843	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.6	12.1	5.4	0.6	94513.494	34446.380	125.781
S-844	1-2	PB05		BB I	エンドスクレイパー	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	17.4	22.9	5.4	2.6	94513.321	34446.417	125.757
S-845	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-D	26.2	17.5	6.8	2.9	94513.328	34446.526	125.767
S-846	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	13.0	6.7	2.7	0.3	94513.413	34446.511	125.776
S-847	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	16.5	8.0	3.3	0.5	94513.470	34446.703	125.759
S-848	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	10.4	10.8	1.8	0.1	94513.535	34446.941	125.765
S-850	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	13.2	7.2	1.9	0.1	94513.686	34447.016	125.778
S-851	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94513.556	34447.015	125.758
S-852	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	94513.317	34446.937	125.779
S-853	1-2	PB05	12	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	20.9	14.1	4.5	1.0	94513.311	34446.804	125.782
S-854	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	29.6	18.3	7.0	3.5	94513.306	34446.757	125.774
S-855	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94513.232	34446.692	125.745
S-856	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob				-	-	-	94513.095	34446.636	125.759
S-857	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	17.9	10.2	4.5	0.7	94513.077	34446.597	125.756
S-858	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94512.983	34446.595	125.803
S-859	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	11.4	4.4	8.6	0.1	94512.936	34446.521	125.795
S-860	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	8.8	8.9	4.3	0.2	94512.866	34446.622	125.802
S-861	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94512.823	34446.407	125.769
S-862	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94512.867	34446.520	125.773
S-863	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	12.2	3.6	2.3	0.1	94512.809	34446.679	125.774
S-864	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94512.981	34446.790	125.774
S-865	1-2	PB05	9	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	15.0	7.8	4.1	0.3	94513.216	34446.769	125.778
S-866	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	6.2	10.5	1.4	0.1	94513.197	34446.845	125.787
S-867	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	11.8	6.6	5.2	0.4	94513.140	34446.876	125.776
S-868	1-2	PB05	12	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	14.6	9.8	4.1	0.2	94513.025	34446.902	125.800
S-869	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94512.915	34446.959	125.793
S-870	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	10.7	11.7	4.1	0.5	94512.722	34446.851	125.796
S-871	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	7.1	10.3	1.6	0.1	94512.939	34447.026	125.791
S-872	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94513.130	34446.952	125.790
S-874	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	12.8	14.8	4.2	0.4	94513.214	34447.094	125.813
S-876	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	5.5	8.2	5.9	0.1	94512.943	34447.162	125.788
S-877	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	23.2	25.0	6.2	1.9	94512.897	34447.227	125.776
S-878	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	16.8	9.6	2.5	0.3	94513.238	34447.174	125.801
S-880	1-2	PB05		BB I	エンドスクレイパー	Ob	HNHJ	HNHJ2	32.8	38.5	17.1	22.9	94513.737	34447.429	125.754
S-881	1-2	PB05		BB I	フレイク	Hor		Hor10	78.0	44.5	13.4	58.4	94515.362	34445.686	125.772
S-882	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	25.1	16.5	7.2	2.5	94513.695	34447.166	125.749
S-883	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-B	9.9	7.5	1.8	0.1	94513.635	34447.376	125.760
S-885	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	12.1	13.1	4.0	0.4	94513.461	34447.420	125.828
S-886	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	17.3	14.7	4.0	0.6	94513.845	34447.620	125.709
S-887	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	94513.725	34447.701	125.745
S-888	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	11.2	15.8	6.6	0.9	94513.597	34447.561	125.789

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-890	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.143	34447.419	125.790
S-892	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.319	34447.692	125.730
S-893	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.135	34447.667	125.776
S-894	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	21.6	24.2	10.2	3.5	-94513.157	34447.773	125.773
S-895	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	0.1	-94513.237	34447.858	125.739
S-896	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	14.7	12.6	3.5	0.5	-94513.167	34447.862	125.749
S-897	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	8.8	12.2	2.5	0.1	-94513.103	34447.907	125.743
S-898	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.513	34448.036	125.733
S-899	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.402	34448.015	125.733
S-900	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	11.3	4.5	2.5	0.1	-94513.230	34448.041	125.718
S-901	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.2	4.7	1.1	-	-94512.934	34448.057	125.712
S-902	1-2	PB05	13	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	21.5	12.5	7.7	1.3	-94512.848	34448.363	125.731
S-903	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	20.1	11.4	4.9	1.1	-94512.634	34447.858	125.706
S-904	1-2	PB05	14	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	13.1	16.1	4.8	0.8	-94512.756	34447.632	125.741
S-905	1-2	PB05	14	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	16.1	9.4	3.0	0.5	-94512.554	34447.590	125.800
S-906	1-2	PB05	13	BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	10.3	7.1	3.4	0.2	-94512.484	34447.670	125.829
S-907	1-2	PB05		BB I	フレイク	SSh(Gy)		SSh1-B	9.7	18.0	1.7	0.3	-94512.470	34447.465	125.751
S-911	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	11.3	14.7	2.9	0.4	-94515.432	34452.193	125.713
S-912	1-2	PB05		BB I	エンドスクレイパー	Ob	SWHD	SWHD9	31.9	22.2	6.5	4.7	-94514.914	34458.260	125.494
S-914	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	11.9	6.1	1.5	0.1	-94511.824	34445.824	125.788
S-915	1-2	PB05		BB I	フレイク	SSh(Gy)		SSH4-B	8.0	10.8	3.8	0.1	-94512.989	34445.701	125.768
S-1037	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.267	34446.255	125.760
S-1038	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.392	34446.399	125.765
S-1040	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	10.2	12.4	1.6	0.2	-94513.471	34446.576	125.842
S-1041	1-2	PB05	9	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	14.1	10.2	3.4	0.4	-94513.549	34446.661	125.868
S-1042	1-2	PB05		BB I	フレイク	SSh(DG)		SSh1-A	11.7	5.3	1.9	0.2	-94512.977	34446.567	125.766
S-1043	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.080	34446.811	125.784
S-1044	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.179	34446.789	125.786
S-1046	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	12.6	7.3	4.0	0.1	-94513.233	34446.878	125.774
S-1047	1-2	PB05	9	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	18.1	9.5	5.6	0.5	-94513.332	34446.889	125.778
S-1048	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	7.3	10.1	3.5	0.1	-94513.309	34446.918	125.778
S-1050	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.319	34446.947	125.777
S-1051	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.854	34446.744	125.768
S-1053	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	5.5	7.8	2.0	0.1	-94513.107	34446.979	125.752
S-1054	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.210	34447.014	125.775
S-1055	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94513.216	34447.074	125.772
S-1056	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.960	34447.100	125.796
S-1057	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	14.4	19.5	2.5	0.4	-94513.178	34447.153	125.801
S-1061	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.076	34447.320	125.794
S-1062	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.238	34447.336	125.789
S-1063	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	10.2	4.8	1.5	-	-94513.373	34447.257	125.763
S-1064	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.573	34447.116	125.739
S-1065	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.495	34447.190	125.756
S-1066	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	8.1	12.0	3.4	0.2	-94513.704	34446.966	125.776
S-1067	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	8.6	6.2	2.7	0.2	-94513.729	34446.987	125.787
S-1068	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.842	34447.072	125.755
S-1069	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	7.3	8.8	1.4	0.1	-94513.886	34447.102	125.741
S-1071	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.151	34447.807	125.747
S-1072	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.025	34446.840	125.784
S-1073	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.295	34447.692	125.737
S-1075	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.599	34447.475	125.753
S-1076	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.553	34448.037	125.686
S-1111	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.905	34446.305	125.741
S-1112	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.054	34446.521	125.760
S-1113	1-2	PB05	15	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	27.9	15.7	8.7	3.1	-94512.993	34446.591	125.748
S-1114	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.755	34446.457	125.756
S-1115	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.518	34446.592	125.844
S-1116	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.618	34446.632	125.763
S-1117	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.9	11.0	3.6	0.2	-94513.513	34446.686	125.794
S-1118	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.639	34446.882	125.742
S-1119	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	19.8	17.1	4.0	1.1	-94513.482	34446.865	125.756
S-1120	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.373	34446.879	125.760
S-1121	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.311	34446.867	125.770
S-1122	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.285	34446.836	125.760
S-1123	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.267	34446.773	125.769

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-1124	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.147	34446.843	125.774
S-1125	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.074	34446.796	125.774
S-1126	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.954	34446.850	125.779
S-1127	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.893	34446.852	125.757
S-1128	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.118	34446.924	125.765
S-1129	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.2	13.9	4.2	0.7	-94513.141	34447.132	125.776
S-1130	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-B	8.0	8.1	1.3	-	-94513.016	34447.134	125.775
S-1131	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.909	34447.036	125.774
S-1132	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.897	34447.119	125.787
S-1133	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.8	9.5	3.3	0.4	-94513.214	34447.332	125.780
S-1134	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.083	34447.344	125.762
S-1136	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	10.5	6.7	3.0	0.1	-94513.184	34447.786	125.726
S-1137	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.910	34447.493	125.717
S-1139	1-2	PB05		BBI	フレイク	Hor		Hor11-A	17.4	9.9	4.5	0.7	-94512.478	34447.602	125.755
S-1141	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	17.8	9.3	3.3	0.6	-94513.332	34446.961	125.748
S-1142	1-2	PB05	15	BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	14.0	15.8	3.0	0.8	-94513.327	34446.960	125.748
S-1143	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	23.6	14.9	4.3	1.8	-94513.326	34446.970	125.748
S-1144	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.060	34446.846	125.785
S-1145	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.138	34446.747	125.764
S-1146	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-C	8.6	12.9	3.1	0.3	-94520.475	34441.963	125.776
S-1181	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.326	34446.298	125.750
S-1182	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	23.3	15.5	3.4	1.0	-94513.507	34446.647	125.782
S-1183	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94513.368	34446.543	125.763
S-1185	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.918	34446.582	125.764
S-1186	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.086	34446.800	125.764
S-1187	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-B	4.7	9.1	1.2	0.1	-94513.039	34446.891	125.767
S-1188	1-2	PB05		BBI	フレイク	SSh(Gy)		SSh1-A	5.8	13.9	2.3	0.2	-94512.910	34446.802	125.765
S-1190	1-2	PB05		BBI	チップ	SSh(Gy)		SSh1-A	-	-	-	0.1	-94512.656	34446.651	125.742
S-1191	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.608	34446.684	125.734
S-1192	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.518	34446.824	125.716
S-1193	1-2	PB05		BBI	パウダー	SSh(Gy)		SSH1-A	-	-	-	-	-94512.698	34446.803	125.749
S-1194	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	5.3	12.1	1.9	0.1	-94512.932	34446.972	125.763
S-1195	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	6.0	8.6	1.2	-	-94512.916	34447.071	125.747
S-1196	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.668	34447.167	125.743
S-1198	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	9.3	9.5	1.5	0.1	-94513.285	34447.690	125.728
S-1199	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	16.4	8.0	3.6	0.3	-94513.564	34447.141	125.742
S-1200	1-2	PB05	17	BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	8.7	7.4	1.5	-	-94512.955	34446.559	125.765
S-1201	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.963	34446.534	125.751
S-1202	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.920	34446.824	125.770
S-1203	1-2	PB05		BBI	パウダー	SSh(Gy)		SSh1-A	-	-	-	-	-94513.015	34446.926	125.759
S-1204	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.549	34448.278	125.674
S-1205	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.767	34446.871	125.757
S-1206	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	8.2	6.7	2.0	0.1	-94513.936	34447.209	125.739
S-1207	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.539	34447.352	125.748
S-1208	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob							94513.122	34446.826	125.755
S-1210	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.323	34446.559	125.757
S-1230	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.051	34447.063	125.739
S-1231	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.010	34446.935	125.754
S-1232	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.0	9.9	2.8	0.2	-94512.848	34446.873	125.744
S-1234	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.791	34446.834	125.740
S-1235	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.740	34446.799	125.743
S-1236	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	11.3	5.4	2.7	0.2	-94512.848	34446.787	125.760
S-1237	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.970	34446.823	125.746
S-1238	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.080	34446.916	125.747
S-1239	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	8.3	5.9	2.2	-	-94512.824	34446.631	125.742
S-1242	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.865	34446.578	125.754
S-1243	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.912	34446.625	125.751
S-1244	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.028	34446.835	125.738
S-1245	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.953	34446.593	125.762
S-1246	1-2	PB05		BBI	パウダー	不明			-	-	-	-	-94512.881	34446.556	125.756
S-1247	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.044	34446.678	125.733
S-1248	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.101	34446.709	125.749
S-1249	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.177	34446.598	125.748
S-1250	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.234	34446.841	125.755
S-1251	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.307	34446.411	125.732

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-1252	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	17.2	13.9	3.7	0.7	-94513.388	34446.529	125.745
S-1254	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.808	34446.884	125.747
S-1255	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.312	34447.075	125.692
S-1256	1 2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.655	34447.221	125.708
S-1257	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.994	34447.176	125.748
S-1258	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	10.6	10.5	2.2	0.2	-94514.897	34447.810	125.688
S-1259	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.479	34448.082	125.683
S-1282	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	15.1	9.9	3.0	0.3	-94518.284	34445.994	125.723
S-1283	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.037	34446.386	125.738
S-1284	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.144	34446.344	125.731
S-1285	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.323	34446.309	125.709
S-1286	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.098	34446.574	125.744
S-1287	1-2	PB05		BB I	チップ	SSh(Gy)		SSH1-A	-	-	-	0.1	-94518.145	34446.587	125.739
S-1288	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.224	34446.637	125.747
S-1289	1 2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.255	34446.501	125.745
S-1291	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.455	34446.405	125.744
S-1292	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	11.7	5.3	1.8	0.1	-94518.477	34446.556	125.744
S-1293	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	8.4	5.2	2.7	0.1	-94518.493	34446.921	125.739
S-1294	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.546	34446.971	125.747
S-1295	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.2	4.7	1.5	-	-94518.897	34447.428	125.701
S-1296	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	13.1	8.2	2.8	0.3	-94519.185	34446.780	125.719
S-1297	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-B	9.3	5.0	2.0	-	-94518.868	34446.965	125.749
S-1298	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.828	34446.994	125.749
S-1299	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94519.251	34446.663	125.728
S-1300	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	10.2	5.2	1.7	0.1	-94519.173	34446.605	125.738
S-1301	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	10.5	7.7	3.0	0.2	-94518.498	34447.002	125.739
S-1302	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94517.982	34446.621	125.737
S-1303	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.356	34446.527	125.742
S-1304	1-2	PB05		BB I	パウダー	SSh(Gy)		SSH1-A	-	-	-	-	-94518.043	34446.438	125.750
S-1305	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.526	34447.093	125.704
S-1306	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.491	34447.298	125.691
S-1307	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.6	5.1	1.7	-	-94518.827	34447.184	125.714
S-1308	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94518.112	34446.972	125.712
S-1309	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.725	34446.853	125.737
S-1310	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.928	34446.602	125.749
S-1311	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.113	34447.636	125.698
S-1312	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob				-	-	-	-94513.086	34447.012	125.728
S-1313	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.841	34447.032	125.719
S-1314	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	5.5	10.9	2.7	0.1	-94512.981	34446.798	125.739
S-1315	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.155	34446.850	125.733
S-1316	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.298	34446.822	125.736
S-1317	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.336	34446.732	125.751
S-1318	1-2	PB05	9	BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	18.7	29.5	7.9	2.9	-94513.315	34446.803	125.738
S-1319	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.547	34446.711	125.753
S-1320	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.109	34447.315	125.733
S-1321	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.201	34447.350	125.732
S-1322	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	3.9	10.1	3.8	0.1	-94513.286	34447.477	125.724
S-1323	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.417	34447.589	125.722
S-1324	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	13.3	13.2	3.3	0.3	-94513.474	34447.522	125.704
S-1325	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.222	34447.886	125.676
S-1326	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.326	34446.279	125.731
S-1327	1-2	PB05		BB I	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-B	9.5	10.8	2.7	0.2	-94513.338	34446.628	125.738
S-1328	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.248	34446.693	125.752
S-1329	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.298	34446.750	125.748
S-1330	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.223	34446.818	125.738
S-1331	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.230	34446.918	125.741
S-1332	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.064	34446.794	125.742
S-1333	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.993	34446.613	125.736
S-1334	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.960	34446.590	125.745
S-1335	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.803	34446.617	125.722
S-1336	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.775	34446.675	125.734
S-1337	1-2	PB05		BB I	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ1	7.2	9.5	5.4	0.3	-94512.706	34446.779	125.715
S-1339	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.863	34446.928	125.732
S-1340	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.979	34446.937	125.736
S-1341	1-2	PB05		BB I	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.842	34447.323	125.714

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	X座標 (m)	Y座標 (m)	H座標 (m)
S-1351	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.870	34447.160	125.708
S-1352	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.231	34446.689	125.736
S-1353	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.274	34446.985	125.786
S-1354	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.464	34447.371	125.748
S-1355	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.555	34447.810	125.713
S-1356	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94514.619	34448.244	125.688
S-1357	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94513.434	34447.632	125.703
S-1358	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.549	34447.823	125.710
S-1359	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	7.6	10.1	3.5	0.2	-94514.264	34447.621	125.737
S-1360	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	9.8	6.4	1.5	0.1	-94512.953	34446.866	125.733
S-1361	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.170	34447.041	125.740
S-1363	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	10.4	12.0	3.0	0.1	-94513.301	34447.043	125.753
S-1364	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	6.5	8.8	2.7	0.1	-94513.412	34446.928	125.730
S-1366	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.556	34447.003	125.749
S-1367	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.481	34447.134	125.717
S-1368	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.560	34447.261	125.727
S-1369	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	12.1	4.7	2.7	0.1	-94513.567	34447.304	125.726
S-1370	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.417	34447.499	125.712
S-1371	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	12.7	6.2	2.9	0.2	-94513.398	34447.626	125.685
S-1372	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	15.9	6.2	2.5	0.1	-94513.768	34447.196	125.701
S-1373	1-2	PB05	17	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	12.2	20.8	4.8	1.1	-94513.646	34447.027	125.705
S-1374	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.861	34447.007	125.725
S-1375	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	25.8	30.7	8.0	6.8	-94513.549	34447.229	125.728
S-1376	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	7.2	8.5	1.8	0.1	-94513.394	34446.936	125.728
S-1377	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1	25.6	12.8	8.1	2.4	-94513.293	34446.931	125.734
S-1378	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.540	34446.971	125.700
S-1379	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.902	34446.687	125.728
S-1380	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	10.6	6.4	1.5	0.1	-94513.305	34447.217	125.728
S-1381	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.375	34447.113	125.723
S-1730	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8 A	5.7	6.7	1.7	-	-94513.073	34446.381	125.721
S-1731	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	12.2	4.6	3.1	0.1	-94513.154	34446.422	125.718
S-1732	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.235	34446.511	125.722
S-1733	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.284	34446.466	125.727
S-1734	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.350	34446.507	125.729
S-1735	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.563	34446.532	125.736
S-1736	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.307	34446.636	125.735
S-1737	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.214	34446.63	125.720
S-1738	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.234	34446.721	125.719
S-1739	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ4-B	7.6	6.5	2.5	0.1	-94513.349	34446.696	125.729
S-1740	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.330	34446.787	125.747
S-1741	1-2	PB05		BBI	チップ	Ob	SWHD	SWHD8-A	8.8	4.0	2.2	0.1	-94513.327	34446.821	125.737
S-1742	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.259	34446.843	125.711
S-1743	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.232	34446.899	125.727
S-1744	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	SWHD	SWHD8-A	11.3	7.0	1.3	0.1	-94513.162	34446.972	125.707
S-1745	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.071	34446.849	125.725
S-1746	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.038	34446.776	125.720
S-1747	1-2	PB05	8	BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	12.7	12.4	4.6	0.6	-94513.485	34447.060	125.716
S-1748	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.603	34447.458	125.697
S-1749	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94513.148	34447.436	125.707
S-1750	1-2	PB05		BBI	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94512.908	34446.626	125.728
S-1878	1-2	PB05	8	BBI	チップ	Ob	HNHJ	HNHJ2	7.8	5.9	3.6	0.2	-94513.384	34447.921	125.639
S-1879	1-2	PB05		BBI	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	17.1	7.9	2.1	0.2	-94512.990	34448.001	125.654
S-2542	1-2	PB05		BBI	フレイク	GAn		GAn3-A	28.2	49.4	15.8	25.4	-94513.438	34447.647	125.750
S-1270	1-2	RG03	25	BBI	フレイク	Hor		Hor11-A	53.7	48.7	44.5	133.5	-94517.784	34425.852	126.009
S-1271	1-2	RG03	25	BBI	フレイク	Hor		Hor11-A	25.6	56.5	34.2	39.9	-94518.198	34426.204	126.089
S-132				ZN	コア	Ob	KZOB	KZOB1-A	13.6	16.9	10.6	2.2	-94580.738	34372.422	125.885
S-142	1-2			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-B	7.2	12.8	1.7	0.2	-94520.449	34441.095	126.523
S-193	1-3			ZN		RJa			24.3	12.3	11.2	4.5	-94550.599	34486.150	121.009
S-197	1-2			ZN		An(Py)						580	-94530.489	34453.672	125.674
S-220	1-2			KU	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD7	17.3	15.0	3.9	0.8	-94519.113	34448.700	126.695
S-294	1-1			KU	細石器	Ob	SWHD	SWHD1-D	13.7	6.1	1.5	0.1	-94471.089	34379.717	129.590
S-296	1-1			KU	細石器	Ob	SWHD	SWHD1-D	13.7	5.7	1.1	0.1	-94467.536	34379.385	129.594
S-351	1-1			ZN	フレイク	Ob	TSTY	TSTY2	25.1	6.3	4.4	0.4	-94470.502	34377.902	129.530
S-352	1-1			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-C	20.8	15.1	5.3	1.0	-94473.544	34376.297	129.572
S-354	1-1			ZN	パウダー	Ob			-	-	-	-	-94476.791	34380.042	129.328

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-357	1-2			FB	細石器	Ob	KZOB	KZOB4	36.6	9.1	6.5	1.2	-94511.125	34423.103	126.708
S-365	1-1			FB	細石器	Ob	KZOB	KZOB3-B	18.6	6.5	1.8	0.2	-94461.174	34383.253	129.123
S-372	1-2			FB	楔形石器	Ob	WDTY	WDTY2	26.3	23.1	10.3	6.9	-94514.683	34420.286	127.079
S-386	1-1			FB	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD6	30.8	14.2	6.6	2.5	-94467.483	34385.581	128.886
S-388	1-1			ZN	フレイク	Ob	TSTY	TSTY5	36.7	14.5	10.8	5.7	-94473.118	34384.564	128.560
S-389	1-1			ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	31.6	45.1	12.6	22.9	-94466.800	34389.408	128.560
S-390	1-1			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB3-A	17.4	11.7	2.9	0.5	-94463.523	34386.588	128.844
S-391	1-1			ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	30.3	20.2	8.0	4.5	-94461.104	34386.829	128.682
S-392	1-1			ZN	フレイク	Hor		Hor1-A	33.7	25.2	7.7	6.0	-94460.291	34386.294	128.732
S-393	1-1			ZN	フレイク	Ob	SWHD	SWHD1-B	11.9	10.7	2.8	0.3	-94467.742	34376.371	129.591
S-394	1-1			ZN	チップ	Ob			-	-	-	0.1	-94469.979	34375.416	129.671
S-395	1-1			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-A	18.2	10.6	2.8	0.4	-94477.826	34377.911	129.397
S-396	1-1			ZN	フレイク	Hor		Hor1-B	27.5	20.9	5.4	3.2	-94475.067	34394.633	128.392
S-401	1-2			FB	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-A	14.3	8.9	3.1	0.4	-94516.201	34444.333	126.613
S-414	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor4	25.9	19.0	10.2	5.1	-94512.018	34422.629	126.775
S-415	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor2-B	45.6	29.1	12.0	16.4	-94512.916	34424.772	126.768
S-416	1-2			ZN	フレイク	Ob	SWHD	SWHD1-C	32.8	15.9	11.1	4.1	-94517.257	34422.171	127.016
S-420	1-2			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-A	25.9	26.2	7.1	3.7	-94511.586	34443.347	126.467
S-426	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor5	32.9	22.8	6.1	4.2	-94516.104	34437.222	126.603
S-427	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	40.8	18.4	17.7	6.6	-94528.788	34434.588	126.578
S-428	1-2			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB2	24.1	16.1	3.8	1.2	-94528.549	34436.169	126.580
S-432	1-2			FB	細石器	Ob	KZOB	KZOB1-E	13.4	5.5	2.1	0.1	-94527.420	34457.778	125.499
S-433	1-2			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ5-A	20.6	20.5	9.6	2.8	-94526.006	34455.383	125.884
S-434	1-2			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4-A	33.0	23.6	11.4	6.1	-94527.188	34454.566	125.850
S-440	1-1			NL	ナイフ形石器	Hor		Hor13	67.8	18.2	8.0	10.1	-94474.669	34393.299	127.205
S-441	1-2			YLU	フレイク	SSh(DG)		SSh1-C	13.1	18.6	4.5	1.1	-94520.010	34425.507	126.847
S-442	1-2			YLU	フレイク	Hor		Hor1-B	25.7	21.5	8.7	4.3	-94519.247	34426.524	126.787
S-444	1-2			ZN	フレイク	SSh(Gy)		SSh3	26.2	23.8	11.7	5.5	-94506.643	34426.375	125.574
S-450	1-2			BBII	フレイク	Hor		Hor15	30.7	31.3	5.6	4.7	-94474.989	34392.135	126.847
S-463	1-2			ZN	フレイク	Ob	WDTY	WDTY1	39.8	23.8	5.6	4.7	-94512.804	34436.608	126.557
S-464	1-2			BB0	フレイク	Hor		Hor2-E	9.2	35.7	38.4	114.0	-94519.042	34426.971	126.373
S-493	1-2			YLU	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	1.1	-94513.388	34436.875	126.457
S-494	1-2			YLM	フレイク	Hor		Hor2-E	37.5	41.9	19.3	28.9	-94512.605	34432.054	126.291
S-495	1-2			YLU	フレイク	FT		FT1	33.7	32.8	8.8	5.8	-94514.786	34433.628	126.500
S-503	1-2			ZN	フレイク	Ob	KZOB	KZOB1-B	20.5	9.0	4.6	0.5	-94513.941	34443.728	126.513
S-546	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor4	22.5	17.9	6.7	2.6	-94514.912	34436.741	126.543
S-547	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor2-A	25.1	15.1	6.3	2.5	-94512.482	34433.557	126.400
S-549	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor3	28.4	13.6	7.3	2.5	-94512.210	34434.015	126.361
S-550	1-2			YLU		Hor							-94511.645	34434.649	126.325
S-551	1-2			ZN	尖頭器	GAn		GAn4	35.6	13.6	5.6	2.6	-94529.580	34435.962	126.477
S-554	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor4	29.4	16.7	7.1	3.6	-94517.571	34433.767	126.664
S-555	1-2			ZN	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD4	27.1	14.1	6.1	2.2	-94515.592	34438.885	126.504
S-562	1-2			ZN	ナイフ形石器	FT		FT1	25.0	10.6	3.5	1.0	-94517.352	34437.423	126.532
S-564	1-2			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-B	28.7	29.5	12.4	8.6	-94518.580	34430.144	126.718
S-565	1-2			ZN	フレイク	Hor		Hor4	21.8	15.6	12.6	4.3	-94509.925	34433.825	126.109
S-566	1-2			YL	フレイク	Ob	SWHD	SWHD1-B	36.8	17.5	26.7	3.8	-94516.225	34437.500	126.465
S-570	1-2			YL	チップ	Hor		Hor2-E	-	-	-	0.6	-94511.844	34432.752	126.255
S-571	1-2			YL	パウダー	Hor			-	-	-	-	-94512.399	34433.695	126.262
S-572	1-1			ZN	フレイク	Hor		Hor2-C	32.7	17.9	9.7	7.0	-94487.261	34391.564	128.536
S-573	1-1			ZN	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.1	-94486.417	34392.003	128.421
S-574	1-1			YLU	フレイク	Ob	TSTY	TSTY3	30.3	30.9	8.5	6.0	-94484.997	34391.295	128.429
S-575	1-2			YL	フレイク	Hor		Hor2-E	21.6	32.5	8.3	5.8	-94509.488	34434.590	125.998
S-576	1-2			YL	チップ	Hor		Hor2-A	-	-	-	0.6	-94511.658	34433.958	126.152
S-578	1-1			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ5-B	24.3	14.6	5.0	1.5	-94471.780	34380.008	129.358
S-648	1-2			FB	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD1-A	27.9	12.3	4.2	1.0	-94530.092	34430.145	126.746
S-1216	1-2			BBIU	フレイク	Ob	WDTN	WDTN1	21.9	19.9	6.1	1.6	-94513.315	34421.202	126.371
S-1217	1-2			BBI	フレイク	Ob	WDTN	WDTN2	15.5	23.2	5.0	1.9	-94512.901	34419.147	126.330
S-1218	1-2			BBIU	コア	Ob	HNHJ	HNHJ7	46.3	58.6	26.2	64.8	-94523.671	34432.292	125.956
S-1350	1-2		30	BBI	フレイク	SSh(Bl)		SSH3	15.1	16.8	5.6	1.2	-94514.488	34425.787	126.288
S-1751	1-2			BBII	フレイク	Hor		Hor14	70.4	27.3	8.6	11.7	-94517.630	34436.512	125.454

(中峯遺跡　石器)

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-2568	5-4	PB06		SCII	フレイク	Hor		Hor4-A	27.0	24.8	6.4	4.5	-94679.861	34154.040	118.425
S-2569	5-4	PB06		SCII	フレイク	GAn		GAn1	71.8	47.4	10.4	34.4	-94679.230	34153.689	118.545

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	器種	石材	産地	個体別	縦長(mm)	横長(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
S-2570	5-4	PB06		SCII	フレイク	Hor		Hor4-A	22.0	17.1	5.8	2.0	-94679.038	34152.452	118.636
S-2571	5-4	PB06	38	SCII	フレイク	Hor		Hor4-A				3.6	-94679.842	34152.343	118.581
S-2572	5-4	PB06		BBIII	フレイク	GAn		GAn4	30.4	33.8	13.9	10.0	-94679.340	34153.402	118.442
S-2573	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	23.7	11.9	3.8	1.0	-94679.339	34152.982	118.468
S-2574	5-4	PB06		BBIII	フレイク	GAn		GAn4	59.1	37.7	5.1	7.5	-94678.931	34152.837	118.478
S-2575	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-C	35.5	44.1	11.0	19.4	-94679.843	34152.239	118.432
S-2576	5-4	PB06		BBIII	チップ	Hor		Hor4-B	-	-	-	0.1	-94680.139	34152.912	118.454
S-2577	5 4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	22.0	17.5	5.6	1.6	-94680.565	34153.184	118.387
S-2578	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	10.7	4.5	1.7	0.1	-94680.593	34153.104	118.403
S-2579	5-4	PB06		BBIII	フレイク	GAn		GAn4	55.8	31.4	12.0	17.0	-94681.746	34154.217	118.206
S-2581	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	25.5	11.8	8.0	2.4	-94680.640	34152.066	118.503
S-2582-1	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	15.4	20.3	4.4		-94680.937	34151.698	118.552
S-2582-2	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	25.8	17.5	7.9		-94680.937	34151.698	118.552
S-2583	5-4	PB06	38	BBIII	フレイク	Hor		Hor4-A				13.0	-94680.007	34152.627	118.496
S-2584	5-4	PB06		BBIII	フレイク	GAn		GAn4	28.6	16.9	6.3	2.0	-94680.110	34152.204	118.497
S-2585	5-4	PB06		BBIII	チップ	Hor		Hor4-B	-	-	-	0.1	-94679.960	34152.660	118.503
S-2586	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	14.8	8.8	1.6	0.4	-94680.398	34152.617	118.477
S-2587	5-4	PB06		BBIII	チップ	Hor		Hor4-B	-	-	-	0.1	-94680.410	34152.453	118.450
S-2589	5-4	PB06		BBIII	フレイク	GAn		GAn4	15.4	13.1	3.4	0.6	-94681.388	34153.325	118.380
S-2590	5-4	PB06		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	14.2	25.6	4.3	1.7	-94680.632	34150.463	118.633
S-2591	5-4	RG07	39	BBIII	フレイク	Hor		Hor4-A				93.2	-94672.451	34156.127	118.334
S-2592	5-4	RG07	37	BBIII	フレイク	Hor		Hor5-A				7.9	-94673.233	34157.311	118.329
S-2593	5-4	RG07	37	BBIII	フレイク	Hor		Hor5-A				7.9	-94673.160	34157.514	118.324
S-2594	5-4	RG07	39	BBIII	フレイク	Hor		Hor4-A				14.4	-94673.421	34157.452	118.329
S-2595	5-4	RG07		BBIII	フレイク	GAn		GAn2	63.0	40.3	8.5	17.0	-94673.785	34157.481	118.368
S-2596	5-4	RG07		BBIII	フレイク	GAn		GAn3	72.9	45.1	14.5	49.5	-94673.974	34157.044	118.297
S-2597	5-4	RG07		BBIII	フレイク	Hor		Hor4-B	28.7	38.0	7.5	5.8	-94673.967	34157.715	118.369
S-2598	5-4	RG07		BBIII	フレイク	GAn		GAn2	52.0	54.5	16.0	42.2	-94674.312	34157.721	118.338
S-2599	5-4	RG07		BBIII	フレイク	RJa		RJa2-B	26.8	25.2	9.5	4.7	-94674.356	34157.519	118.253
S-2600	5-4	RG07		BBIII	フレイク	RJa		RJa2-A	34.8	34.5	10.2	9.9	-94674.708	34158.397	118.305
S-2601	5-4	RG07	37	BBIII	フレイク	Hor		Hor5-A				28.0	-94675.032	34156.784	118.316
S-2602	5-4	RG07	37	BBIII	フレイク	Hor		Hor5-A				285	-94674.650	34156.510	118.342
S-596	5-4	RG07		BBIII	フレイク	Hor		Hor5-B	43.4	25.8	8.1	5.3	-94675.191	34162.414	118.161
S-2588	5-4			SCII	フレイク	RJa		RJa1	23.4	35.8	16.5	21.6	-94668.878	34139.322	119.704
S-115	5-8			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	22.5	10.3	3.9	0.8	-94688.394	34138.470	121.326
S-116	5-8			YLM	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-C	14.7	14.6	2.2	0.4	-94690.020	34137.112	121.149
S-117	5-8			YLM	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-C	31.1	10.5	9.0	2.6	-94692.330	34133.920	121.371
S-635	5-8			YLL	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-B	27.2	18.8	15.0	6.5	-94687.238	34129.217	121.671
S-636	5-8			YLM	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-C	21.3	14.1	6.3	1.3	-94688.740	34134.150	121.280
S-637	5-8			YLM	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-C	19.7	8.7	5.5	0.6	-94689.007	34134.754	121.224
S-638	5-8			YLU	フレイク	Hor		Hor3	32.2	17.8	8.1	6.9	-94688.624	34135.844	121.307
S-639	5-8			FB	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-A	21.2	16.7	4.6	1.3	-94688.950	34139.963	121.215
S-640	5-8			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	19.8	10.3	2.7	0.4	-94690.584	34138.643	121.215
S-641	5-8			ZN	ナイフ形石器	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	19.0	13.5	2.0	0.4	-94691.723	34138.786	121.174
S-642	5-8			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	37.9	34.6	5.5	7.3	-94691.013	34141.210	121.048
S-643	5-8			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	13.3	12.7	1.5	0.3	-94696.532	34137.626	121.400
S-644	5-8			ZN	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-B	22.6	7.1	5.0	0.9	-94697.252	34136.075	121.501
S-645	5-8			YLM	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ3-A	19.4	15.0	3.3	0.8	-94700.020	34134.113	121.402
S-646	5-8			FB	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ1-A	16.7	21.5	4.3	1.7	-94700.488	34133.915	121.616
S-647	5-8			FB	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ2	17.1	23.2	4.9	1.9	-94701.305	34134.758	121.606
S-2487	2-3			SCIIIb1	フレイク	Hor		Hor6	37.5	33.8	9.9	12.6	-94661.795	34375.287	120.747
S-7266	4-1			YL	フレイク	Hor		Hor1	24.6	13.1	6.7	2.3	-94805.853	34195.299	113.693
S-7267	4-1			YL	フレイク	Hor		Hor2	46.5	46.0	14.3	18.4	-94808.654	34193.876	113.439
S-2493	5-1			BB I	フレイク	Ob	HNHJ	HNHJ4	13.6	24.9	2.4	0.9	-94533.880	34053.031	130.815
S-2491	5-1			BB0	ナイフ形石器	SSh(Bl)		SSh1	59.0	20.0	8.0	8.0	-94550.235	34050.568	129.919
S-2604	4-1			KGP	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD1	36.0	12.5	6.0	2.2	-94776.155	34144.581	119.587
S-6477	4-1			KU	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD2	24.5	14.0	4.5	1.0	-94809.634	34172.847	116.679
S-6981	4-1			KU	ナイフ形石器	Ob	SWHD	SWHD3	22.0	13.5	4.5	1.2	-94800.011	34166.649	117.429
S-7198	4-1			FB	エンドスクレイパー	Ob	SWHD	SWHD4	24.0	52.0	9.5	11.0	-94805.940	34177.698	116.130

（桜畑上遺跡　礫）

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-1346	1-2	RG01		YL	PAn	565	C	-94517.881	34447.035	126.332
R-1347	1-2	RG01		YL	PAn	200	A	-94518.023	34447.177	126.321
R-1348	1-2	RG01		YL	PAn	10	D	-94518.578	34446.862	126.406
R-1349	1-2	RG02	22	YL	PAn	200	D	-94515.286	34450.302	126.231
R-1350	1-2	RG02	22	YL	PAn	70	D	-94515.197	34450.315	126.225
R-1351	1-2	RG02		YL	PAn	30	D	-94514.925	34451.408	126.278
R-1352	1-2	RG02		YL	PAn	190	C	-94515.024	34451.683	126.227
R-1353	1-2	RG02		YL	PAn	35	D	-94515.857	34451.346	126.244
R-1354	1-2	RG02		YL	PAn	200	D	-94515.651	34451.586	126.211
R-1355	1-2	RG02		YL	PAn	20	D	-94516.027	34451.602	126.286
R-1356	1-2	RG02		YL	PAn	70	D	-94516.142	34451.706	126.205
R-1357	1-2	RG02		YL	VBa	410	C	-94516.168	34452.283	126.187
R-1358	1-2	RG02		YL	PAn	15	D	-94515.712	34452.214	126.252
R-1359	1-2	RG02		YL	Ba	390	C	-94515.835	34452.636	126.190
R-1360	1-2	RG02		YL	PAn	20	D	-94516.680	34452.439	126.158
R-1361	1-2	RG02		YL	PAn	20	D	-94514.713	34452.193	126.259
R-1362	1-2	RG02		YL	PAn	300	C	-94513.516	34452.835	126.207
R-1363	1-2	RG02		YL	PAn	20	D	-94515.448	34454.202	126.143
R-1364	1-2	RG02	21	YL	PAn	80	D	-94515.595	34454.045	126.188
R-1365	1-2	RG02	21	YL	PAn	320	D	-94515.652	34454.000	126.184
R-1420	1-2	RG03		BB1	PAn	480	C	-94518.016	34425.245	126.047
R-2305	1-2	RG03		BB1	PAn	50	D	-94517.917	34425.405	126.041
R-2306	1-2	RG03	2	BB1	PAn	180	D	-94518.134	34425.296	126.065
R-2307	1-2	RG03	2	BB1	PAn	50	Dス	-94518.041	34425.316	126.071
R-1401	1-2	RG04	16	BB1	PAn	100	D	-94518.132	34437.174	125.873
R-1402	1-2	RG04		BB1	PAn	150	C	-94517.712	34437.495	125.852
R-1403	1-2	RG04	7	BB1	PAn	220	D	-94517.796	34437.560	125.867
R-1404	1-2	RG04		BB1	PAn	340	C	-94517.809	34437.506	125.844
R-1405	1-2	RG04		BB1	PAn	1	D	-94517.887	34437.499	125.887
R-1406	1-2	RG04	7	BB1	PAn	190	D	-94517.888	34437.590	125.884
R-1407	1-2	RG04	7	BB1	PAn	130	D	-94517.865	34437.652	125.881
R-1408	1-2	RG04		BB1	PAn	170	C	-94517.970	34437.586	125.965
R-1409	1-2	RG04		BB1	PAn	100	C	-94517.998	34437.547	125.879
R-1410	1-2	RG04		BB1	PAn	5	D	-94517.950	34437.471	125.884
R-1411	1-2	RG04	9	BB1	PAn	110	D	-94518.103	34437.539	125.888
R-1412	1-2	RG04	9	BB1	PAn	90	D	-94518.087	34437.611	125.869
R-1413	1-2	RG04	6	BB1	PAn	440	D	-94518.230	34437.581	125.933
R-1414	1-2	RG04		BB1	PAn	230	C	-94519.187	34438.588	125.827
R-1415	1-2	RG04		BB1	PAn	140	D	-94519.292	34438.521	125.855
R-1416	1-2	RG04		BB1	Ba	110	C	-94519.089	34439.230	125.867
R-1417	1-2	RG04		BB1	PAn	110	C	-94519.009	34439.385	125.884
R-1488	1-2	RG04		BB1	PAn	130	C	-94519.068	34439.287	125.725
R-1451	1-2	RG05		BB1	PAn	480	C	-94513.823	34446.202	125.740
R-1452	1-2	RG05		BB1	PAn	60	D	-94513.947	34446.226	125.755
R-1453	1-2	RG05	3	BB1	PAn	50	D	-94514.086	34446.206	125.809
R-1454	1-2	RG05	12	BB1	PAn	450	D	-94513.913	34446.320	125.752
R-1455	1-2	RG05		BB1	PAn	5	D	-94513.810	34446.358	125.728
R-1456	1-2	RG05	4	BB1	PAn	50	D	-94513.875	34446.427	125.781
R-1457	1-2	RG05		BB1	PAn	320	C	-94513.968	34446.477	125.759
R-1458	1-2	RG05		BB1	PAn	170	D	-94513.822	34446.562	125.728
R-1459	1-2	RG05		BB1	PAn	190	D	-94513.929	34446.607	125.725
R-1460	1-2	RG05	3	BB1	PAn	70	D	-94514.051	34446.622	125.754
R-1461	1-2	RG05		BB1	PAn	240	C	-94514.080	34446.490	125.764
R-1462	1-2	RG05		BB1	PAn	150	D	-94514.293	34446.549	125.724
R-1463	1-2	RG05		BB1	PAn	300	C	-94514.110	34447.019	125.713
R-1464	1-2	RG05		BB1	PAn	160	D	-94514.438	34447.161	125.724
R-1465	1-2	RG05	8	BB1	PAn	220	D	-94514.394	34447.226	125.792
R-1466	1-2	RG05	8	BB1	PAn	600	D	-94514.382	34447.227	125.728
R-1467	1-2	RG05		BB1	PAn	1210	C	-94514.196	34447.363	125.733
R-1468	1-2	RG05		BB1	PAn	20	D	-94514.125	34447.378	125.732
R-1469	1-2	RG05		BB1	PAn	1	D	-94514.800	34447.251	125.764
R-1470	1-2	RG05		BB1	PAn	20	D	-94514.772	34447.282	125.747
R-1471	1-2	RG05	7	BB1	PAn	10	D	-94514.494	34447.801	125.705

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-1472	1-2	RG05	7	BB1	PAn	90	D	-94514.501	34447.871	125.714
R-1473	1-2	RG05		BB1	PAn	480	D	-94514.297	34447.669	125.825
R-1474	1-2	RG05		BB1	PAn	5	D	-94513.662	34447.898	125.766
R-1475	1-2	RG05	5	BB1	PAn	230	D	-94513.630	34447.845	125.760
R-1476	1-2	RG05	6	BB1	PAn	320	Dスス	-94513.534	34447.792	125.728
R-1477	1-2	RG05	5	BB1	PAn	310	D	-94513.374	34447.763	125.739
R-1479	1-2	RG05		BB1	PAn	130	C	-94512.859	34447.438	125.716
R-1480	1-2	RG05	5	BB1	PAn	530	D	-94512.304	34447.594	125.710
R-1481	1-2	RG05	11	BB1	PAn	950	D	-94512.321	34447.635	125.708
R-1482	1-2	RG05	11	BB1	PAn	360	D	-94512.260	34447.806	125.715
R-1483	1-2	RG05		BB1	PAn	20	D	-94512.210	34447.739	125.728
R-1484	1-2	RG05	15	BB1	PAn	450	D	-94512.129	34447.682	125.677
R-1485	1-2	RG05	5	BB1	PAn	160	D	-94511.986	34447.777	125.730
R-1489	1-2	RG05		BB1	PAn	1	D	-94513.326	34446.544	125.736
R-1490	1-2	RG05		BB1	PAn	10	D	-94513.398	34446.549	125.736
R-1491	1-2	RG05	7	BB1	PAn	380	D	-94513.579	34446.646	125.731
R-1492	1-2	RG05	20	BB1	PAn	60	D	-94513.687	34446.829	125.718
R-1493	1-2	RG05		BB1	PAn	60	D	-94513.804	34446.836	125.730
R-1494	1-2	RG05	15	BB1	PAn	30	D	-94513.853	34447.238	125.754
R-1495	1-2	RG05	19	BB1	PAn	155	D	-94513.793	34447.167	125.772
R-1496	1-2	RG05	17	BB1	PAn	60	D	-94513.635	34447.155	125.735
R-1497	1-2	RG05		BB1	PAn	155	C	-94513.620	34446.976	125.737
R-1498	1-2	RG05	20	BB1	PAn	35	D	-94513.562	34446.912	125.741
R-1499	1-2	RG05		BB1	PAn	180	C	-94513.459	34446.823	125.746
R-1500	1-2	RG05	19	BB1	PAn	135	D	-94513.368	34446.805	125.758
R-1501	1-2	RG05	20	BB1	PAn	130	D	-94513.310	34446.885	125.750
R-1502	1-2	RG05	18	BB1	PAn	75	D	-94513.219	34446.897	125.741
R-1503	1-2	RG05		BB1	PAn	25	D	-94513.286	34447.003	125.795
R-1504	1-2	RG05		BB1	PAn	10	D	-94513.241	34447.042	125.808
R-1505	1-2	RG05		BB1	PAn	30	D	-94513.196	34446.995	125.766
R-1506	1-2	RG05	19	BB1	PAn	170	D	-94513.382	34446.990	125.779
R-1507	1-2	RG05		BB1	PAn	270	C	-94513.436	34447.054	125.785
R-1508	1-2	RG05	19	BB1	PAn	20	D	-94513.341	34447.287	125.794
R-1509	1-2	RG05		BB1	PAn	630	D	-94513.393	34447.356	125.822
R-1510	1-2	RG05	15	BB1	PAn	140	D	-94513.637	34447.305	125.776
R-1511	1-2	RG05	7	BB1	PAn	20	D	-94513.635	34447.140	125.737
R-1512	1-2	RG05	17	BB1	PAn	60	D	-94513.589	34447.130	125.743
R-1513	1-2	RG05	16	BB1	PAn	100	D	-94513.532	34447.116	125.723
R-1514	1-2	RG05		BB1	PAn	10	D	-94513.422	34446.714	125.723
R-1515	1-2	RG05	15	BB1	PAn	455	D	-94513.621	34447.308	125.732
R-1516	1-2	RG05	14	BB1	PAn	610	D	-94513.500	34447.237	125.745
R-1517	1-2	RG05	14	BB1	PAn	170	D	-94513.497	34447.140	125.747
R-1518	1-2	RG05		BB1	PAn	300	D	-94513.335	34447.264	125.754
R-1519	1-2	RG05		BB1	PAn	1190	C	-94513.365	34447.097	125.749
R-1520	1-2	RG05		BB1	PAn	500	C	-94513.463	34447.067	125.752
R-1521	1-2	RG05	19	BB1	PAn	670	D	-94513.464	34446.900	125.739
R-1522	1-2	RG05	8	BB1	PAn	610	D	-94513.371	34446.988	125.736
R-1523	1-2	RG05	18	BB1	PAn	560	D	-94513.260	34446.962	125.748
R-1524	1-2	RG05	18	BB1	PAn	170	D	-94513.251	34447.047	125.768
R-1525	1-2	RG05	8	BB1	PAn	380	D	-94513.175	34447.034	125.737
R-1526	1-2	RG05	19	BB1	PAn	540	D	-94513.254	34447.127	125.761
R-1527	1-2	RG05	19	BB1	PAn	690	D	-94513.213	34447.248	125.719
R-1528	1-2	RG05	20	BB1	PAn	60	D	-94513.492	34446.985	125.745
R-1529	1-2	RG05	4	BB1	PAn	120	D	-94513.866	34446.425	125.758
R-1530	1-2	RG05	20	BB1	PAn	130	D	-94513.328	34446.889	125.707
R-1531	1-2	RG05	17	BB1	PAn	90	D	-94513.479	34447.076	125.720
R-1532	1-2	RG05	17	BB1	PAn	40	D	-94513.364	34447.164	125.739
R-2273	1-2	RG05	13	BB1	PAn	10	D	-94517.429	34447.713	125.692
R-2274	1-2	RG05	13	BB1U	PAn	30	D	-94517.079	34447.999	125.806
R-2275	1-2	RG05		BB1	PAn	5	D	-94514.702	34447.113	125.841
R-2276	1-2	RG05		SC1	PAn	5	D	-94513.831	34447.030	125.954
R-2277	1-2	RG05		BB1	PAn	1.7	D	-94513.988	34446.315	125.758
R-2278	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94513.749	34446.920	125.807
R-2279	1-2	RG05		BB1	PAn	3.0	D	-94513.175	34447.039	125.793
R-2280	1-2	RG05		BB1	PAn	2.2	D	-94513.169	34447.125	125.804

遺物番号	調査区	遺構	接合No	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-2281	1-2	RG05		BB1	PAn	0.5	D	-94513.106	34447.221	125.798
R-2282	1-2	RG05		BB1	PAn	0.4	D	-94513.492	34447.259	125.796
R-2283	1-2	RG05		BB1	PAn	2.3	D	-94513.335	34447.522	125.796
R-2284	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94512.919	34447.395	125.775
R-2285	1-2	RG05		BB1	PAn	0.5	D	-94512.128	34447.642	125.737
R-2286	1-2	RG05		BB1	PAn	0.6	D	-94511.931	34448.146	125.750
R-2287	1-2	RG05		BB1	PAn	1.8	D	-94513.069	34449.121	125.762
R-2289	1-2	RG05	3	BB1	PAn	10	D	-94513.611	34446.545	125.807
R-2290	1-2	RG05		BB1	PAn	0.4	D	-94513.243	34446.817	125.777
R-2291	1-2	RG05		BB1	PAn	0.4	D	-94513.281	34446.936	125.783
R-2292	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94512.969	34446.936	125.797
R-2293	1-2	RG05		BB1	PAn	2.0	D	-94513.196	34447.064	125.763
R-2294	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94513.127	34447.175	125.791
R-2295	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94513.217	34447.283	125.773
R-2296	1-2	RG05		BB1	PAn	1	D	-94513.361	34447.418	125.787
R-2297	1-2	RG05		BB1	PAn	2.8	D	-94513.463	34447.852	125.713
R-2298	1-2	RG05		BB1	PAn	0.5	D	-94512.581	34447.590	125.767
R-2299	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94513.067	34446.668	125.760
R-2300	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94512.801	34446.703	125.749
R-2301	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94513.023	34447.524	125.720
R-2302	1-2	RG05		BB1	PAn	1.1	D	-94512.166	34447.638	125.707
R-2303	1-2	RG05		BB1	PAn	0.1	D	-94512.928	34446.860	125.750
R-2304	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94512.819	34446.722	125.748
R-2308	1-2	RG05		BB1	PAn	5.0	D	-94518.325	34446.336	125.717
R-2309	1-2	RG05		BB1	Rhy	-	D	-94512.873	34446.779	125.749
R-2310	1-2	RG05		BB1	PAn	1	D	-94516.930	34440.866	125.844
R-2311	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94513.235	34446.995	125.748
R-2312	1-2	RG05		BB1	PAn	-	D	-94513.588	34446.889	125.742
S-152	1-2			BB1	PAn	1.9	○	-94521.980	34440.111	125.722
S-154	1-2			BB1	PAn	665.5		-94521.857	34439.369	125.768
S-161	1-2			BB1	PAn	4.7	○	-94521.980	34440.540	125.635
S-174	1-2			BB1	PAn	0.8	○	-94521.449	34441.081	125.673
S-179	1-2			BB1	PAn	0.5	○	-94521.202	34440.835	125.695
R-3400	1-2			BB1	PAn	0.4		-94522.448	34441.796	125.772
R-194	1-3			SC3b1	PAn	5000	A	-94581.151	34522.388	119.745
R-223	1-2			ZN		20	○	-94521.437	34437.733	126.672
R-277	1-2			ZN		250	○	-94520.752	34440.426	126.588
R-286	1-2			ZN		70	○	-94518.458	34440.116	126.635
R-292	1-2			ZN		290	○	-94530.843	34455.072	125.543
R-295	1-2			BB1	VBa	170	C	-94521.050	34439.393	125.765
R-1108	1-1			ZN		305		-94478.987	34383.893	129.080
R-1110	1-1			ZN		90		-94481.999	34389.676	128.795
R-1186	1-2			ZN		10		-94519.142	34423.703	127.041
R-1264	1-1			ZN		120		-94473.089	34386.564	128.519
R-1265	1-2			ZN		1300	○	-94512.684	34445.305	126.420
R-1266	1-2			ZN		320	○	-94515.043	34445.596	126.577
R-1269	1-2			ZN		500	○	-94512.645	34453.262	126.391
R-1275	1-2			ZN		700	○	-94513.020	34423.084	126.777
R-1276	1-2			ZN		200		-94512.402	34424.204	126.685
R-1277	1-2			ZN		280		-94518.569	34426.664	126.924
R-1278	1-2			ZN		-		-94510.517	34437.090	126.382
R-1283	1-2			ZN		550		-94511.804	34444.384	126.441
R-1287	1-2			ZN		80		-94517.109	34449.713	126.417
R-1288	1-2			ZN		190		-94515.157	34438.734	126.639
R-1289	1-2			ZN		960	○	-94518.026	34431.195	126.778
R-1296	1-2			ZN		180	○	-94517.438	34457.314	126.111
R-1306	1-2			ZN		200	○	-94525.794	34452.938	126.033
R-1307	1-2			ZN		100	○	-94521.071	34451.335	126.209
R-1320	1-2			ZN		50	○	-94538.919	34451.085	125.601
R-1324	1-2			ZN		160	○	-94522.678	34458.124	125.796
R-1325	1-2			ZN		90	○	-94516.889	34461.756	125.757
R-1326	1-2			ZN		100	○	-94510.536	34437.083	126.386
R-1327	1-2			ZN		340		-94511.067	34423.191	126.609
R-1328	1-2			ZN		70	○	-94520.222	34427.329	126.809
R-1329	1-2			YLU	PAn	1030	C	-94534.026	34447.758	125.831

遺物番号	調査区	遺構接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-1330	1-2		ZN		200	○	-94515.426	34451.544	126.366
R-1331	1-2		ZN		90	○	-94517.538	34449.747	126.371
R-1332	1-2		ZN		120	○	-94516.186	34449.533	126.447
R-1333	1-2		ZN	VBa	70	E	-94510.259	34439.574	126.271
R-1334	1-2		YLL	PAn	50	C	-94510.946	34439.345	126.188
R-1335	1-2		ZN		60	○	-94516.947	34451.021	126.345
R-1336	1-2		ZN		200	○	-94516.746	34452.086	126.315
R-1337	1-2		ZN		330		-94516.306	34451.936	126.241
R-1338	1-2		ZN		190	○	-94515.809	34454.358	126.242
R-1343	1-2		ZN		350	○	-94520.640	34430.302	126.755
R-1344	1-2		ZN		160	○	-94520.532	34445.803	126.376
R-1366	1-2		ZN		100	○	-94515.165	34459.462	125.921
R-1367	1-2		ZN		350		-94523.328	34431.364	126.718
R-1368	1-2		YL	PAn	85	C	-94511.647	34434.968	126.230
R-1369	1-2		YL	PAn	100	C	-94511.371	34433.967	126.186
R-1372	1-2		YLU	Ba	280	C	-94515.040	34449.471	126.226
R-1373	1-2		BB0	PAn	115	C	-94514.743	34456.659	125.867
R-1418	1-2		BB1	PAn	515	D	-94514.713	34420.387	126.184
R-1419	1-2		BB1	PAn	120	C	-94514.728	34421.238	126.178
R-1421	1-2		BB1U	PAn	870	D	-94516.645	34443.027	125.940
R-1422	1-2		BB1	PAn	420	D	-94517.014	34440.885	125.839
R-1423	1-2		BB1	PAn	700	D	-94522.298	34441.120	125.743
R-1424	1-2		BB1	PAn	110	C	-94522.663	34442.120	125.705
R-1425	1-2		BB1	PAn	60	C	-94525.085	34441.703	125.724
R-1426	1-2		BB1	PAn	180	C	-94525.683	34441.394	125.703
R-1427	1-2		BB1	Ba	130	C	-94524.875	34442.555	125.640
R-1428	1-2		YLU	PAn	140	D	-94531.781	34435.835	126.264
R-1429	1-2	12	BB1	PAn	410	D	-94515.419	34446.779	125.711
R-1430	1-2	12	BB1	PAn	20	D	-94515.452	34446.700	125.711
R-1431	1-2		BB1	PAn	90	C	94514.766	34445.977	125.702
R-1432	1-2	1	BB1	PAn	110	D	-94514.835	34446.005	125.727
R-1433	1-2	1	BB1	PAn	150	D	-94514.909	34446.008	125.708
R-1434	1-2	7	BB1	PAn	60	D	-94515.171	34445.911	125.777
R-1435	1-2	7	BB1	PAn	160	D	-94515.145	34445.854	125.744
R-1436	1-2	7	BB1	PAn	410	D	-94515.173	34445.781	125.758
R-1437	1-2	7	BB1	PAn	330	D	-94515.267	34445.604	125.784
R-1438	1-2	10	BB1	PAn	115	D	-94515.187	34445.432	125.776
R-1439	1-2		BB1	PAn	1270	D	-94515.504	34445.465	125.752
R-1440	1-2		BB1	PAn	55	C	-94518.011	34445.880	125.795
R-1441	1-2		BB1	PAn	2320	D	-94517.853	34445.203	125.796
R-1442	1-2	13	BB1	PAn	70	D	-94517.046	34447.778	125.778
R-1443	1-2	13	BB1	PAn	100	D	-94517.167	34447.701	125.728
R-1444	1-2		BB1	PAn	150	C	-94515.364	34451.156	125.692
R-1445	1-2		BB1	PAn	220	C	-94513.307	34444.803	125.753
R-1446	1-2	10	BB1	PAn	120	D	-94513.733	34445.506	125.766
R-1447	1-2		BB1	PAn	150	D	-94515.390	34447.555	125.742
R-1448	1-2		BB1	Ba	410	C	-94514.230	34449.123	125.738
R-1449	1-2		BB1	PAn	40	C	-94512.971	34449.056	125.805
R-1450	1-2		BB1	PAn	30	D	-94513.025	34448.414	125.691
R-1486	1-2		BB1	PAn	10	D	-94511.840	34447.982	125.726
R-1487	1-2		BB1	PAn	50	D	-94511.734	34448.117	125.777
R-1581	1-2	19	BB1	PAn	40	D	-94516.296	34448.497	125.652
R-1582	1-2		SC3s3	FG	60	B	-94515.200	34436.867	124.477
R-1583	1-2		SC3s3	FG	15	B	-94516.579	34438.341	124.481
R-2253	1-2		ZN		1		-94513.725	34440.827	126.556
R-2254	1-2		ZN		10		-94516.581	34446.528	126.408
R-2255	1-2		ZN		1		-94511.584	34442.164	126.502
R-2256	1-2		ZN		-		-94516.214	34440.409	126.614
R-2257	1-2		ZN		5		-94516.563	34449.374	126.424
R-2258	1-2		ZN		5		-94517.150	34449.851	126.329
R-2259	1-2		ZN		5		-94517.418	34449.395	126.363
R-2260	1-2		ZN		5		-94514.590	34454.191	126.286
R-2261	1-2		ZN		5		-94516.414	34440.240	126.595
R-2262	1-2		ZN		10		-94517.049	34449.904	126.280
R-2263	1-2		YL	PAn	5	D	-94515.661	34445.350	126.322

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-2265	1-2			YLL	PAn	5	B	-94515.603	34445.674	126.255
R-2266	1-2			BB0	PAn	10	D	-94521.067	34442.375	126.132
R-2267	1-2			YLL	PAn	10	B	-94516.583	34444.818	126.222
R-2268	1-2			BB1	PAn	10	D	-94523.324	34439.488	125.804
R-2269	1-2		7	BB1	PAn	30	D	-94522.878	34439.273	125.733
R-2270	1-2			BB1	PAn	0.8	D	-94522.880	34441.518	125.756
R-2271	1-2			BB1	PAn	0.4	D	-94521.282	34441.330	125.767
R-2272	1-2			BB1	PAn	50	D	-94520.316	34443.290	125.760
R-2288	1-2			BB1	PAn	-	D	-94521.777	34441.336	125.756
R-3399	1-2			BB1		30.4	B	-94522.136	34440.194	125.653

(中峯遺跡　礫)

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-2341	5 4	PB06		BB3	PAn	2380	C	-94679.729	34153.969	118.363
R-2342	5-4	PB06	34	BB3	PAn	225	D	-94679.660	34153.760	118.384
R-2343	5-4	PB06	34	BB3	PAn	720	D	-94682.020	34153.145	118.332
R-2344	5-4	PB06	34	BB3	PAn	75	D	-94679.959	34153.224	118.470
R-2345	5-4	PB06	34	BB3	PAn	10	D	-94679.379	34153.822	118.458
R-2346	5-4	PB06	34	BB3	PAn	5	D	-94679.088	34153.243	118.478
R-2347	5-4	PB06	34	BB3	PAn	15	D	-94680.612	34153.694	118.365
R-2348	5-4	PB06	34	SC2	PAn	80	D	-94679.770	34155.608	118.286
R-3340	5-4	PB06		BB3	PAn	5	D	-94680.581	34152.393	118.425
R-2349	5-4	RG06	37	BB3	PAn	64.8	E	-94673.883	34143.676	119.404
R-2350	5-4	RG06	34	BB3	PAn	1530	D	-94674.414	34143.353	119.350
R-2351	5-4	RG06	37	BB3	PAn	56	D	-94674.336	34142.989	119.423
R-2352	5-4	RG06		BB3	PAn	74.5	D	-94674.244	34142.549	119.462
R-2353	5-4	RG06		BB3	PAn	79.4	D	-94674.269	34142.410	119.487
R-2354	5-4	RG06		BB3	PAn	252.5	C	-94674.159	34142.134	119.465
R-2355	5-4	RG06	38	BB3	PAn	77.5	D	-94673.925	34142.102	119.458
R-2356	5-4	RG06	38	BB3	PAn	23	D	-94673.809	34142.263	119.499
R-2357	5-4	RG06		BB3	PAn	142.4	C	-94673.670	34142.298	119.458
R-2358	5-4	RG06		BB3	Ba	133	C	-94673.706	34142.464	119.450
R-2359	5-4	RG06		BB3	Yba	167.5	C	-94673.811	34142.568	119.449
R-2360	5-4	RG06		BB3	PAn	310	C	-94673.833	34142.668	119.504
R-2409	5-4	RG06		BB3	PAn	21.6	D	-94674.090	34142.368	119.437
R-2410	5-4	RG06		BB3	PAn	6.7	D	-94673.754	34142.600	119.447
R-2361	5-4	RG07		BB3	PAn	240	Dス	-94673.677	34156.354	118.335
R-2362	5-4	RG07		BB3	PAn	2570	C	-94673.847	34156.937	118.302
R-2363	5-4	RG07		BB3	PAn	2.8	Dス	-94673.758	34156.912	118.332
R-2364	5-4	RG07		BB3	PAn	240	Cス	-94673.755	34157.129	118.319
R-2365	5-4	RG07	36	BB3	PAn	10.4	E	-94673.682	34157.126	118.346
R-2366	5-4	RG07		BB3	PAn	1.7	Dス	-94673.632	34157.046	118.315
R-2367	5-4	RG07		BB3	PAn	7.2	D	-94673.460	34156.962	118.308
R-2368	5-4	RG07		BB3	PAn	144.8	Cス	-94673.477	34157.070	118.314
R-2369	5-4	RG07		BB3	PAn	77.4	D	-94673.415	34157.109	118.327
R-2370	5-4	RG07		BB3	PAn	12.7	Dス	-94673.428	34157.074	118.319
R-2371	5-4	RG07		BB3	PAn	6.9	D	-94673.342	34157.121	118.339
R-2372	5-4	RG07		BB3	PAn	20	Dス	-94673.348	34157.162	118.365
R-2373	5-4	RG07		BB3	PAn	7.5	Dス	-94673.441	34157.261	118.329
R-2374	5-4	RG07		BB3	PAn	5.1	Cス	-94673.472	34157.196	118.330
R-2375	5-4	RG07		BB3	PAn	17.6	Dス	-94673.481	34157.135	118.317
R-2376	5-4	RG07	36	BB3	PAn	70.9	E	-94673.569	34157.127	118.296
R-2377	5-4	RG07	34	BB3	PAn	139.6	D	-94673.607	34157.212	118.305
R-2378	5-4	RG07	34	BB3	PAn	840	D	-94673.581	34157.456	118.308
R-2379	5-4	RG07		BB3	PAn	11.4	C	-94673.497	34157.411	118.331
R-2380	5-4	RG07		BB3	Ba	125	E	-94673.476	34157.571	118.351
R-2381	5-4	RG07	36	BB3	PAn	250	E	-94673.313	34157.692	118.341
R-2382	5-4	RG07	39	BB3	PAn	97.8	D	-94673.314	34157.494	118.305
R-2383	5-4	RG07		BB3	PAn	0.9	D	-94673.340	34157.331	118.335
R-2384	5-4	RG07	39	BB3	PAn	28.2	D	-94673.227	34157.380	118.314
R-2385	5-4	RG07		BB3	PAn	10.9	D	-94673.069	34157.367	118.344
R-2386	5-4	RG07		BB3	PAn	0.3	D	-94673.108	34157.713	118.320
R-2387	5-4	RG07		BB3	PAn	2	D	-94672.833	34157.846	118.375
R-2388	5-4	RG07		BB3	PAn	114.7	D	-94673.032	34157.903	118.376

遺物番号	調査区	遺構	接合No.	層位	石材	重量(g)	赤化	X座標(m)	Y座標(m)	H座標(m)
R-2389	5-4	RG07		BB3	PAn	4.4	Dス	-94673.289	34158.117	118.348
R-2390	5-4	RG07		BB3	PAn	41.9	D	-94673.115	34158.181	118.354
R-2391	5-4	RG07		BB3	PAn	104.8	E	-94672.936	34158.112	118.374
R-2392	5-4	RG07	35	BB3	PAn	160	E	-94672.892	34158.317	118.372
R-2393	5-4	RG07	35	BB3	PAn	180	E	-94672.747	34158.289	118.413
R-2394	5-4	RG07	35	BB3	PAn	62.2	E	-94672.779	34158.164	118.411
R-2395	5-4	RG07	35	BB3	PAn	18.8	E	94672.740	34158.102	118.394
R-2396	5-4	RG07		BB3	PAn	1.2	D	-94672.689	34158.083	118.392
R-2397	5-4	RG07		BB3	PAn	5.9	D	-94672.678	34158.226	118.378
R-2398	5-4	RG07	35	BB3	PAn	14.0	E	-94672.512	34158.293	118.393
R-2399	5-4	RG07		BB3	PAn	14.5	D	-94672.652	34158.404	118.367
R-2400	5-4	RG07		BB3	PAn	2.3	D	-94672.804	34158.419	118.359
R-2401	5-4	RG07		BB3	PAn	5.7	D	-94672.847	34158.406	118.361
R-2402	5-4	RG07		BB3	PAn	5.2	D	-94672.809	34158.581	118.358
R-2403	5-4	RG07		BB3	PAn	2.1	D	-94673.853	34157.687	118.326
R-2404	5-4	RG07		BB3	Rhy	25	A	-94673.894	34159.428	118.277
R-2405	5-4	RG07		BB3	PAn	13.7	C	-94674.416	34158.470	118.302
R-2406	5-4	RG07		BB3	PAn	79.5	E	-94674.403	34156.969	118.331
R-2407	5-4	RG07		BB3	PAn	170	Cス	-94674.633	34156.794	118.336
R-2408	5-4	RG07		BB3	PAn	75	C	-94675.650	34158.211	118.235
R-2412	5-4	RG07		BB3	PAn	104.6	C	-94673.748	34157.473	118.287
R-2413	5-4	RG07		BB3	PAn	6.6	Cス	-94673.421	34157.127	118.320
R-2414	5-4	RG07		BB3	PAn	6.8	Dス	-94673.435	34157.357	118.313
R-2415	5-4	RG07		BB3	PAn	44.6	D	-94673.287	34157.586	118.300
R-2416	5-4	RG07		BB3	PAn	31.2	E	-94673.238	34157.643	118.323
R-2417	5-4	RG07		BB3	PAn	96.3	C	-94673.027	34157.931	118.340
R-2418	5-4	RG07		BB3	PAn	86.2	C	-94673.022	34157.987	118.332
R-2419	5-4	RG07		BB3	PAn	40.7	D	-94672.869	34158.268	118.324
R-2420	5-4	RG07		BB3	PAn	10.8	D	-94672.887	34158.106	118.327
R-2421	5-4	RG07		BB3	PAn	13.6	D	-94672.723	34158.106	118.331
R-2422	5-4	RG07		BB3	PAn	30.3	D	-94673.131	34157.185	118.234
R-3215	3-5	RG08		S32	Ba	1260	C	-94781.393	34359.814	115.388
R-3216	3-5	RG08		S32	Ba	250	C	-94781.435	34359.858	115.443
R-3217	3-5	RG08		S32	PAn	3180	C	-94783.695	34359.529	115.206
R-3218	3-5	RG08	40	S32	PAn	85	E	-94783.506	34359.069	115.258
R-3219	3-5	RG08	40	S32	PAn	70	E	-94783.687	34358.967	115.232
R-3220	3-5	RG08		S32	PAn	730	C	-94783.601	34359.590	115.247
R-2339	5-4			SC2	PAn	770	C	-94668.570	34138.450	119.730
R-2411	5-4			SC3	PAn	7.8	D	-94677.061	34145.916	119.012
R-1395	5-8			YLU	PAn	70	E	-94697.136	34139.120	121.093
R-1396	5-8			YLU	PAn	130	E	-94693.727	34141.626	120.889
R-2080	2-3			CH4	PAn	162.5		-94674.594	34361.230	118.794
R-1374	3-3			SC2	PAn	20		-94811.841	34245.548	112.645
R-2326	3-4			YL	PAn	75		-94847.850	34353.064	109.710
R-2327	3-4			YL	PAn	50		-94830.588	34352.104	111.180
R-3394	4-1			BB7	PAn	70		-94815.236	34186.076	112.245

第43表　桜畑上遺跡黒曜石（Ob）個体別分類表

	個体別番号	色　調	縞	含有物	ガラス光沢	気　泡	自然面	個体数
1	KZOB 1-A	透明でやや黒色がかる 一部黒色不透明	灰色～黒色の微細な縞が全体に見られる	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	4
2	KZOB 1-B	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰色～黒色の微細な縞が全体に見られる 1-Aとは縞のパターンが違う	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	3
3	KZOB 1-C	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰色～黒色の微細な縞が全体に見られる 1-Aとは縞のパターンが違う	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	2
4	KZOB 1-D	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰色の微細な波状の縞が全体に見られる	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
5	KZOB 1-E	黒色(HueN1.5/0) 不透明～半透明	暗灰色の微細な縞が全体に見られる	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
6	KZOB 2	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰色のはっきりとした筋状の縞が全体に見られる	0.5㎜程度の石英、長石の白色斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
7	KZOB 3-A,3-B	透明でやや黒色がかる 透明度高い	黒色の微細なはっきりとした筋状の縞	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	1,1
8	KZOB 4	黒色(HueN2/0) 半透明	暗灰色のぼやけた縞が全体に見られる	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
9	AGKT 1	黒色(HueN2/0) やや灰色がかる 半透明～不透明	灰色の微細な波状の縞や筋状の縞が全体に見られる	0.5～1㎜程度の石英、長石の斑晶少し見られる	鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	13
10	WDTY 1	黒色(HueN2/0) 透明～半透明	黒色微粒子のぼやけた縞が全体に見られる	なし	鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	1
11	WDTY 2	黒色(HueN2/0) 透明	暗灰微粒子のぼやけた縞が一部に見られる	なし	鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	1
12	WDTN 1	黒色(HueN2/0) 半透明	暗灰微粒子のぼやけた縞が全体に見られる	なし	やや鋭い		不明　剝離面滑らか	1
13	WDTN 2	黒色(HueN2/0) 透明 透明度高い	黒色から灰色のはっきりとした筋状の縞が全体に見られる	なし	鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	1
14	TSTY 1	黒色(HueN2/0) 透明 透明度高い	灰色の微細な筋状の縞	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い	僅かに見られる	不明　剝離面滑らか	1
15	TSTY 2	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰色の微細なぼやけた縞が一部に見られる	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	1

	個体別番号	色　調	縞	含有物	ガラス光沢	気　泡	自然面	個体数
16	TSTY 3	黒色(HueN2/0)に淡く灰色がかる 透明～半透明	暗灰色の微細な筋状、ぼやけた縞が全体に見られる	0.5mm程度の石英、長石の斑晶僅か　一部白色岩片見られる	鈍い	全体に多い	磨りガラス状　剝離面滑らか	1
17	TSTY 4	黒色(HueN2/0) 透明～半透明	暗灰色の微細なはっきりとした筋状の縞が全体に見られる	微細な球顆が僅かに見られる	やや鋭い		不明　剝離面滑らか	1
18	TSTY 5	黒色(HueN1.5/0) 半透明～不透明	灰色の微細な全筋状の縞が全体に見られる	0.5mm程度の球顆が縞に沿って一部見られる	やや鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	1
19	SWHD 1-A	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰微粒子のぼやけた縞が一部に見られる	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
20	SWHD 1-B	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰微粒子のぼやけた縞が一部に見られる　1-Aとは縞のパターンが若干違い有り	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	4
21	SWHD 1-C	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰微粒子のぼやけた縞が一部に見られる　1-Aとは縞のパターンが若干違い有り	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	1
22	SWHD 1-D	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰微粒子が全体に散在	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	2
23	SWHD 2	黒色(HueN1.5/0) 不透明～透明 透明部は透明度高い	黒色毛状のはっきりとした縞が全体に見られる	3mm程度の球顆が一部に見られる	鋭い		不明　剝離面滑らか	2
24	SWHD 4	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰白色のぼやけた縞が全体に見られる	なし	やや鋭い		不明	1
25	SWHD 5	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰白色のややぼやけた筋状の縞が一部に見られる	なし	鋭い		不明	1
26	SWHD 6	透明でやや黒色がかる 透明度高い	灰白色粒子が雲状に一部見られる	なし	鋭い		不明	1
27	SWHD 7	透明でやや黒色がかる 透明度高い	なし	なし	鋭い		不明	1
28	SWHD 8-A	透明でやや黒色がかる 透明度高い	暗灰～灰色の微細なはっきりとした筋状の縞	なし	鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	34
29	SWHD 8-B	透明でやや黒色がかる 透明度高い	なし	なし	鋭い		不明　剝離面滑らか	11
30	SWHD 9	黒色(HueN2/0) 半透明～透明	暗灰色微粒子が雲状に全体に見られる	1mm程度の球顆が一部に見られる	やや鋭い		不明　剝離面滑らか	1
31	HNHJ 1	黒色(HueN2/0) 不透明	淡灰色の微細な粒子が雲状に全体に見られる	0.5～1mm程度の石英、長石の斑晶少し見られる	やや鋭い		不明　剝離面滑らか	40

	個体別番号	色　調	縞	含有物	ガラス光沢	気　泡	自然面	個体数
32	HNHJ 2	黒色(HueN1.5/0) 不透明 やや黒色強い	微細な暗灰色の筋状の縞が全体に見られる	0.5～1㎜程度の石英、長石の斑晶少し見られる	風化面は鈍いが新鮮面は鋭い		垂角礫面を持ち平垣な面が見られ滑らか　角は潰れ磨りガラス状	52
33	HNHJ 3-A,3-B	黒色(HueN1.5/0) 半透明	微細な灰色のぼやけた縞が一部に見られる　全体に微細な気泡を含みみ一部発泡している　石質は細かい割れが目立ちあまり良くない	0.5㎜程度の球顆や石英、長石斑晶僅かに見られる	やや鋭い		不明	43,1
34	HNHJ 4-A,4-B	黒色(HueN1.5/0) 透明	なし	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	やや鋭い		磨りガラス状　剝離面滑らか	5,35
35	HNHJ 4-C	黒色(HueN1.5/0) 不透明～透明 4-Aに比べ透明度低い	なし	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	やや鋭い		不明　剝離面滑らか	13
36	HNHJ 4-D	黒色(HueN1.5/0) 不透明　やや黒色強い	微細な灰色の筋状の縞僅かに見られる	0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	鋭い		不明	1
37	HNHJ 5-A	黒色(HueN1.5/0) 不透明	微細な灰色のぼやけた縞全体に見られる	0.5～1㎜程度の球顆、石英、長石の斑晶僅かに見られる	風化のため鈍い 新鮮面鋭い		不明　剝離面滑らか	4
38	HNHJ 5-B	黒色(HueN5/0) 不透明	微細な灰色の筋状の縞が一部に見られる	0.5程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	風化のため無し 新鮮面鋭い		不明　剝離面滑らか	1
39	HNHJ 6	黒色(HueN2/0) 不透明	微細な灰白～灰のはっきりとした縞が全体に目立つ	0.5㎜程度の球顆、石英、長石の斑晶僅かに見られる	風化のため鈍い		滑らか　剝離面滑らか	2
40	HNHJ 7	灰色(HueN4/0) 〜 黒色(HueN2/0) 不透明	全体に1～3㎜程度の灰色や黒色の縞が全体に目立つ	1㎜程度の球顆全体に少し含みみ一部密集している 0.5㎜程度の石英、長石の斑晶僅かに見られる	風化のため鈍い 新鮮面鋭い		磨りガラス状	1
41	HNHJ 8	風化面暗灰黄色(Hue2.5Y5/2) 不透明 新鮮面黒色(HueN1.5/0) 不透明	なし	1㎜程度の球顆、一部に見られる	風化のため無し 新鮮面鋭い		不明　剝離面滑らか	1

第44表　桜畑上遺跡ガラス質黒色安山岩（GAn）個体別分類表

	個体別番号	色　調	縞	含有物	気　泡	自然面	個体数
1	1-A	風化面　灰色 (Hue10 Y4/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	全体に微細な縞状の凸凹が全体に見られ、石質は粗粒。	0.5㎜程度の長石斑晶を少し含む。0.5～1㎜程度の黄褐色岩片を少し含む。	微細な円～楕円の気泡が全体に目立つ。	不明。剝片面はザラつき有り。	44点
2	1-B	風化面　灰色 (Hue10 Y4/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞は目立たないが、一部に1-Aと同じ微細な縞状の凸凹が見られる。石質は緻密。	0.5㎜程度の長石斑晶を少し含む。0.5㎜程度の黄褐色岩片を少し含む。	微細な円～楕円の気泡が1-Aに比べ少ない。	不明。剝片面は滑らか。	15点 (うち2点は接合。接合№22)
3	1-C	風化面　灰色 (Hue10 Y4/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	微細なレンズ状～楕円形の気泡が縞状に見られる。石質はやや緻密。	0.5㎜程度の長石を少し含む。0.5～1㎜程度の黄褐色岩片を少し含む。	微細なレンズ状～楕円の気泡が全体に見られる。	不明。剝片面はややザラつき有り。	11点
4	2-A	風化面 オリーブ黒色 (Hue5 Y3/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	0.5～1㎜程度の黄褐色岩片をわずかに含む。	微細なレンズ状～楕円の気泡が全体に少し見られる。	不明。剝片面はややザラつき有り。	9点
5	2-B	風化面 オリーブ黒色 (Hue5Y3/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	なし。	微細なレンズ状～楕円の気泡が全体に少し見られる。	不明。剝片面はややザラつき有り。	23点
6	2-C	風化面　黒色 (Hue5Y3/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	0.5㎜程度の黄褐色岩片をわずかに含む。	微細なレンズ状～楕円の気泡が全体に少し見られる。	不明。剝片面はややザラつき有り。	7点
7	2-D	風化面　黒色 (Hue5Y3/1) 新鮮面　不明	縞はなく緻密な石質。	0.5㎜程度の黄褐色岩片をわずかに含む。	微細な楕円の気泡が全体にわずかに見られる。	不明。剝片面は滑らか。	1点 (ナイフ形石器)
8	3-A	風化面 暗オリーブ色 (Hue5Y4/3) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	全体に1～3㎜程度の緻密な帯と微細な縞状の凸凹が交互に重なり縞をつくる。石質は脆弱。	0.5㎜程度の長石斑晶を少し含む。0.5㎜程度の黄褐色岩片を少し含む。	微細な楕円の気泡が全体に見られる。	不明。剝片面はザラつき有り。	39点 (うち2点接合。接合№21 うち2点接合。接合№23)
9	3-B	風化面 灰オリーブ色 (Hue5 Y4/2) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	全体に1～10㎜程度の緻密な帯と微細な縞状の凸凹が交互に重なり縞をつくる。石質は緻密部と粗粒部が有り。	1～8㎜程度の黄褐色岩片が少し見られる。0.5㎜程度の長石が少し見られる。	微細なレンズ状～楕円の気泡が全体に見られ、緻密な石質部はレンズ状の気泡が目立つ。	不明。剝片面はややザラつき有り。	29点 (うち2点接合。接合№20 うち2点接合。接合№24)
10	3-C	風化面　灰色 (Hue7.5Y4/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	全体に1～3㎜程度の幅の緻密な帯と微細な縞状の凸凹が交互に重なり縞をつくる。石質は緻密。	1～8㎜程度の黄褐色岩片が少し見られ、一部に5～10㎜程度の安山岩質の捕獲岩片が見られる。	微細な円～レンズ状の気泡が全体に見られる。	不明。剝片面は滑らか。	5点
11	4	風化面　鈍い黄褐色 (Hue10YR4/3) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	0.5㎜程度の黄褐色岩片がわずかに見られる。	円～楕円形の気泡が全体に少し見られる。	不明。剝片面少しザラつく。	1点　ポイント
12	5	風化面 オリーブ黒色 (Hue7.5 Y3/1) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	0.5㎜程度の黄褐色岩片がごくわずかに見られる。	楕円～レンズ状の気泡が全体に少し見られる。	不明。剝片面は滑らか。	1点
13	6	風化面 オリーブ黒色 (Hue5Y2/2) 新鮮面　鈍い光沢のある黒色	縞はなく緻密な石質。	0.5㎜程度の長石をわずかに含む。	微細な円～楕円の気泡がわずかに見られる。	不明。剝片面は少しザラつき有り。	1点

第45表　桜畑上遺跡ホルンフェルス個体別分類表

	個体別番号	色　　調	交差組織	鉄サビ状粒子	自然面	その他	個体数
1	1-A	風化面　淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面　赤黒色(Hue10R2/1)	不明　石質は緻密	全体に見られる	円礫面を持ち滑らか	受熱	7
2	1-B	風化面　淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面　赤黒色(Hue10R2/1)	発達していて一部組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱	5
3	2-A	風化面　淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	発達していて組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱	48
4	2-B	風化面　淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	2-Aに比べあまり発達していないが組織に沿って割れているところ有り　石質は緻密	全体に見られる	円礫面を持ち滑らか	受熱	8
5	2-C	風化面　淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR4/1) 2-Aに比べ若干暗色	発達していて組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に見られる	不明		1
6	2-D	風化面 にぶい黄色(Hue2.5Y6/4)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue2.5YR2/1)	不明　石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱	2
7	2-E	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	2-Aに比べあまり発達していないが組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に見られる	円礫面を持ち滑らか	受熱 2-Bに比べ風化の程度が若干違い有り	38
8	3	風化面 灰白色(Hue5Y8/2)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue7.5R1.7/1)	不明　石質は緻密	ごく僅かに見られる	不明		2
9	4	風化面 灰白色(Hue5Y7/2)粘土様物質に薄く覆われる 新鮮面　赤黒色(Hue10R2/1)	不明　石質は緻密	全体に少し見られる	不明	受熱	9
10	5	風化面 灰オリーブ色(Hue5Y5/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue7.5R1.7/1)	不明　石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱	1
11	6	風化面 灰白色(Hue5Y8/2)粘土様物質に薄く覆われる 新鮮面　不明	発達していて一部組織に沿って割れているところ有り	全体に僅かに見られる	不明		1
12	7	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue7.5R2/1)	発達していて一部組織に沿って割れている	全体に僅かに見られる	不明		1
13	8	風化面 浅黄色(Hue2.5Y7/4)粘土様物質に薄く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	不明　石質は緻密	あまり見られないが微細ないぼ状の点が全体に見られる	不明	受熱	2
14	9	風化面 灰白色(Hue5Y7/2)粘土様物質に覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue2.5R1.7/1)	一部に見られ組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に少し見られる	不明		1
15	10	風化面 灰白色(Hue5Y7/2)粘土様物質に薄く覆われる 新鮮面　赤黒色(Hue10R2/1)	不明　石質は緻密	全体に少し見られる	不明	受熱　4に類似	2
16	11-A	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	一部に見られ組織に沿って割れているところ有り 石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱　2-Eに類似	9
17	11-B	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面　不明	不明　石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱　2-Eに類似	1

	個体別番号	色調	交差組織	鉄サビ状粒子	自然面	その他	個体数
18	11-C	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤灰色(Hue2.5YR5/1)	不明 石質は緻密	全体に見られる	円礫面を持ち滑らか	受熱 2-Eに類似	8
19	12	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue10R2/1)	不明 石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱	1
20	13	風化面 淡黄色(Hue5Y8/3)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 不明	不明 石質は緻密	全体に見られる	不明	受熱 11-Bに類似	1
21	14	風化面 オリーブ黄色(Hue5Y6/3)粘土様物質に薄く覆われる 新鮮面 赤黒色(Hue10R1.7/1)	一部に見られる	全体に見られる	不明	受熱	1
22	15	風化面 灰白色(Hue5Y8/2)粘土様物質に厚く覆われる 新鮮面 不明	不明 石質は緻密	ごく僅かに見られる	不明	3に類似	1

第46表 桜畑上遺跡珪質頁岩(SSh)個体別分類表

	個体別番号	色調	縞	含有物	光沢	自然面	その他	個体数
1	1-A	風化面 灰白(Hue10Y8/1)光沢なし 新鮮面 灰色(Hue10Y6/1)光沢少し有り	断線する微細な石英脈が所々見られる	なし		不明 剝離面少しザラつき有り	受熱	10
2	1-B	風化面 灰白(Hue10Y7/1)光沢なし 新鮮面 不明	断線する微細な石英脈が所々見られる	なし		不明 剝離面少しザラつき有り		1
3	1-C	風化面 灰白(Hue5Y8/2)光沢なし 新鮮面 不明	断線する微細な石英脈が所々見られる	なし		不明 剝離面滑らか	受熱	1
4	2	風化面 灰白(Hue5Y7/2)光沢なし 新鮮面 不明		なし		不明 剝離面滑らか	受熱	4
5	3	風化面 灰白(Hue5Y8/2)光沢なし 新鮮面 黒色(Hue5Y2/1)光沢少し有り	断線や交差する微細な石英脈が所々見られる	なし		不明 剝離面滑らか	受熱	5
6	4-A	風化面 灰白(Hue10Y7/1)光沢なし 新鮮面 灰白(Hue10Y8/1)光沢少し有り	断線する微細な石英脈が所々見られる	なし		円礫面を持ち滑らか 剝離面少しザラつき有り		9
7	4-B	風化面 灰白(HueN7/0)光沢なし 新鮮面 不明	微細な石英脈が所々見られる	なし		不明 剝離面少しザラつき有り		1

第47表 桜畑上遺跡凝灰岩(細粒)(FT)個体別分類表

	個体別番号	色調	縞	含有物	光沢	自然面	その他	個体数
1	1	風化面 灰白(HueOY7/2)に、やや緑がかる 新鮮面 不明		なし		不明 剝離面少しザラつき有り		2

第48表 桜畑上遺跡チャート(Ch)個体別分類表

	個体別番号	色調	縞	含有物	光沢	自然面	その他	個体数
1	ch1	灰色(HueN6/0)半透明	細い暗灰色の石英脈が網目状に全体に見られる	なし	脂肪光沢に富む	不明 剝離面滑らか		1

第49表　中峯遺跡黒曜石（Ob）個体別分類表

	個体別番号	色　調	縞	交差組織	含有物	ガラス光沢	自然面	個体数
1	HNHJ 1-A	黒色半透明、亜透明 新鮮面　不明	無し	石質は緻密	1㎜程度の白色珪酸鉱物を微量に含む	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	2
2	HNHJ 1-B	黒色半透明、亜透明 新鮮面　不明	白色で筋状の縞	全体に見られる 石質は緻密	1～2㎜程度の白色珪酸鉱物を微量に含む	鋭いガラス光沢	不明	6
3	HNHJ 1-C	黒色半透明、亜透明 新鮮面　不明	灰色の筋状の縞	全体に見られる 石質は緻密	1㎜程度の白色珪酸鉱物を微量に含む	鋭いガラス光沢	不明	4
4	HNHJ 2	灰色(N4/0) 不透明 新鮮面　不明	灰色(N5/0) 平行で微細な筋状の縞	全体に目立つ 石質は緻密	微細な白色珪酸鉱物を微量に含む	無し	不明　剝片面　ザラつき有り	1
5	HNHJ 3-A	黒色半透明、亜透明 新鮮面　不明	灰色(N5/0) 微細な筋状の縞	全体に見られる 石質は緻密	1㎜程度の白色珪酸鉱物を少量含む	鈍いガラス光沢	不明　剝片面　微細な割れ目立つ	1
6	HNHJ 3-B	黒色半透明、亜透明 新鮮面　不明	灰色(N5/0) 微細な気泡の縞	全体に目立つ 石質は緻密	1㎜程度の白色珪酸鉱物を少量含む	鈍いガラス光沢	不明　剝片面　微細な割れ目立つ	1
7	HNHJ 4	黒色亜透明、不透明 新鮮面　不明	無し 石質は緻密	無し	微細な白色珪酸鉱物を少量含む	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	1
8	SWHD 1	黒色がかる透明 新鮮面　不明	灰褐色 (Hue7.5YR4/2) ぼやけた微細な筋状の縞	全体に見られる 石質は緻密	無し	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	1
9	SWHD 2	黒色不透明 黒色がかる透明　暗褐色 (Hue5YR3/3) 亜透明	①黒色で筋状の縞 ②暗褐色のぼやけた縞	①全体に見られる ②一部に目立つ 石質は緻密	無し	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	1
10	SWHD 3	黒色がかる透明 新鮮面　不明	白色の微細なぼやけた縞	全体に見られる 石質は緻密	無し	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	1
11	SWHD 4	黒色がかる透明	灰色のぼやけた微細な気泡の縞	全体に見られる 石質は緻密	無し	鋭いガラス光沢	不明　剝片面　滑らか	1

第50表　中峯遺跡ガラス質黒色安山岩（GAn）個体別分類表

	個体別番号	色　調	縞	含有物	気　泡	自然面	個体数
1	1	風化面 暗灰黄色(Hue2.5Y4/2) 不透明 新鮮面　暗灰色(N3/0) 鈍い脂肪光沢	無し　石質は緻密	微細な輝石、長石を微量含む	全体に微量見られる	不明　剝片面はザラつき有り	1
2	2	風化面 灰色(Hue7.5Y4/1) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	明黄褐色 (Hue2.5Y7/6) 1～3㎜程度の岩片を一部に含む	1㎜程度の円形、楕円形の気泡が全体に少量見られる	不明　剝片面はザラつき有り	2
3	3	風化面 灰黄色(Hue2.5Y6/2) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	微細な長石を微量含む	微細な楕円形の気泡が全体に微量見られる	不明　剝片面はザラつき有り	1
4	4	風化面　オリーブ褐色 (Hue2.5Y4/3)　不透明	無し　石質は緻密	微細な長石を微量含む	微細な円形の気泡が全体に微量見られる	不明　剝片面はザラつき有り	5

第51表　中峯遺跡ホルンフェルス（Hor）個体別分類表

	個体別番号	色調	交差組織	鉄サビ状粒子	自然面	その他	個体数
1	1	風化面 浅黄色(Hue5Y7/3) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	少量見られる	不明　剝片面は滑らか	受熱	1
2	2	風化面 にぶい黄色(Hue2.5Y6/4) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	微量見られる	不明　剝片面は滑らか	受熱	1
3	3	風化面 淡黄色(Hue2.5Y8/3) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	少量見られる	不明　剝片面は滑らか	受熱	1
4	4-A	風化面 浅黄色(Hue5Y7/3) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	無し	不明　剝片面は滑らか	無し	4
5	4-B	風化面 浅黄色(Hue5Y7/3) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	無し	不明　剝片面は滑らか	無し	11
6	4-C	風化面 浅黄色(Hue2.5Y8/4) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	無し	不明　剝片面は滑らか	受熱	1
7	5-A	風化面 浅黄色(Hue2.5Y7/3) 不透明　新鮮面　不明	一部発達している 石質は緻密	少量見られる	不明　剝片面は滑らか	受熱　一部で暗褐色(Hue10YR3/4)に変色	3
8	5-B	風化面 浅黄色(Hue10YR8/6) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	少量見られる	不明　剝片面は滑らか	受熱　一部で暗褐色(Hue10YR3/4)に変色	1
9	6	風化面 浅黄色(Hue2.5Y8/3) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密	少量見られる	浅黄色粘土様物質に厚く覆われた円礫面でザラつき有り	無し	1

第52表　中峯遺跡珪質頁岩（SSh）個体別分類表

	個体別番号	色調	縞	含有物	光沢	自然面	個体数
1	1	灰色(N4/0) 不透明　新鮮面　不明	無し　石質は緻密、細粒	無し	鋭い脂肪光沢	不明　剝片面　滑らか	1

第53表　中峯遺跡赤玉（RJa）個体別分類表

	個体別番号	色調	交差組織	含有物	光沢	自然面	石質	個体数
1	1	赤褐色(Hue10R4/4) 不透明　赤色(Hue10R4/8) 不透明	白色半透明の石英脈有り 石質は緻密	無し	鈍い脂肪光沢	不明　剝片面は滑らか	緻密	1
2	2-A	赤褐色(Hue10R4/3)	無し　石質は緻密	無し	鈍い脂肪光沢	不明　剝片面は滑らか	緻密	1
3	2-B	赤褐色(Hue10R4/4)	無し　石質は緻密	無し	鈍い脂肪光沢	不明　剝片面は滑らか	緻密	1

第54表　中峯遺跡細粒安山岩（FAn）個体別分類表

	個体別番号	色調	縞	含有物	光沢	自然面	個体数
1	1	浅黄色(Hue8/4) 不透明　新鮮面　不明	無し 石質は緻密、細粒	1㎜程度の長石を一部に含む	無し 新鮮面　不明	不明　剝片面 粉っぽい	1

第55表　桜畑上遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
SBU-1	155	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.91	1	HNKI	78.37	0
SBU-2	157	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-3	159	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.12	1	HNKI	103.16	0
SBU-4	160	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	17.5	1	HNKI	84.43	0
SBU-5	163	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.79	1	HNKI	59.36	0
SBU-6	164	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-7	165	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.16	1	HNKI	110.29	0
SBU-8	167	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	0.48	1	HNKI	104.85	0
SBU-9	168	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.2	1	HNKI	80.58	0
SBU-10	169	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.65	1	HNKI	45.51	0
SBU-11	170	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.06	1	HNKI	77.51	0
SBU-12	172	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-13	175	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.03	1	HNKI	74.65	0
SBU-14	176	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	0.94	1	HNKI	92.21	0
SBU-15	180	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.61	1	HNKI	114.16	0
SBU-16	181	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.95	1	HNKI	65.47	0
SBU-17	182	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.77	1	HNKI	125.32	0
SBU-18	183	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	0.85	1	HNKI	100.47	0
SBU-19	184	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.84	1	HNKI	152.81	0
SBU-20	185	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.72	1	HNKI	129.81	0
SBU-21	187	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-22	188	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.98	1	HNKI	70.02	0
SBU-23	189	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.66	1	HNKI	126.6	0
SBU-24	190	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.49	1	HNKI	128.27	0
SBU-25	650	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	17.05	1	SBIY	138.88	0
SBU-26	655	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.42	1	SBIY	72.13	0
SBU-27	656	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.96	1	HNKI	100.56	0
SBU-28	657	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-29	661	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-30	662	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-31	663	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-32	671	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.52	1	HNKI	110.84	0
SBU-33	686	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	29.5	0.9643	HNKI	31.96	0.0357
SBU-34	713	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.88	1	HNKI	76.68	0
SBU-35	717	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.7	1	HNKI	96.16	0
SBU-36	720	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-37	722	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-38	725	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-39	726	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-40	729	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-41	730	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.25	1	HNKI	124.5	0
SBU-42	733	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.42	1	HNKI	139.1	0
SBU-43	738	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	12.57	1	HNKI	124.58	0
SBU-44	740	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	19.96	1	HNKI	196.55	0
SBU-45	745	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-46	746	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.52	1	HNKI	158.42	0
SBU-47	752	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-48	762	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	24.05	1	HNKI	200.61	0
SBU-49	768	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.19	1	HNKI	72.73	0
SBU-50	769	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.06	1	HNKI	109.24	0
SBU-51	771	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	23.44	1	HNKI	90.69	0
SBU-52	774	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.67	1	HNKI	126.11	0
SBU-53	776	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.48	1	HNKI	84.2	0
SBU-54	778	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.11	1	HNKI	102.37	0
SBU-55	779	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.1	1	HNKI	166.11	0
SBU-56	780	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.46	1	HNKI	126.37	0
SBU-57	781	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	12.41	1	HNKI	152.44	0
SBU-58	782	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.6	1	HNKI	157.81	0
SBU-59	783	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.94	1	HNKI	114.49	0
SBU-60	784	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.15	1	HNKI	104.35	0
SBU-61	786	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.21	1	HNKI	91.2	0
SBU-62	787	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.96	1	HNKI	151.02	0
SBU-63	789	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.19	1	HNKI	128.61	0
SBU-64	790	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.22	1	HNKI	76.87	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
SBU-65	792	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	26.25	1	HNKI	207.04	0
SBU-66	793	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.61	1	HNKI	112.3	0
SBU-67	795	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.89	1	HNKI	127.71	0
SBU-68	796	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	12.99	1	HNKI	108.03	0
SBU-69	798	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.05	1	HNKI	98.27	0
SBU-70	799	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.15	1	HNKI	81.77	0
SBU-71	800	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	12.38	1	HNKI	171.5	0
SBU-72	807	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.87	1	HNKI	127.9	0
SBU-73	808	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.52	1	HNKI	130.69	0
SBU-74	809	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.54	1	HNKI	132.54	0
SBU-75	810	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.53	1	HNKI	111.97	0
SBU-76	811	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.05	1	HNKI	87.76	0
SBU-77	812	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.67	1	HNKI	132.32	0
SBU-78	822	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.94	1	HNKI	115.07	0
SBU-79	825	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.15	1	HNKI	159.4	0
SBU-80	827	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.43	1	HNKI	124.42	0
SBU-81	828	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	5.48	1	SBIY	84.56	0
SBU-82	829	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-83	832	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.46	1	HNKI	106.92	0
SBU-84	835	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.65	1	HNKI	125.05	0
SBU-85	838	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.05	1	HNKI	161.44	0
SBU-86	840	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	22.01	1	HNKI	194.39	0
SBU-87	841	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	18.7	1	HNKI	174.31	0
SBU-88	842	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	22.49	1	HNKI	187.13	0
SBU-89	843	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.03	1	HNKI	105.62	0
SBU-90	844	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.48	1	HNKI	58.41	0
SBU-91	845	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.31	1	HNKI	108.9	0
SBU-92	846	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	22.52	1	HNKI	201.51	0
SBU-93	847	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.12	1	SBIY	86.68	0
SBU-94	848	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.57	1	SBIY	57.66	0
SBU-95	850	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	13.79	1	SBIY	91.41	0
SBU-96	853	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	9.76	1	WDTN	75.45	0
SBU-97	854	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-98	857	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.48	1	HNKI	138.83	0
SBU-99	859	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.65	1	WDTN	72	0
SBU-100	860	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	4.97	1	SBIY	92.04	0
SBU-101	863	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-102	865	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	1.14	1	SBIY	104.17	0
SBU-103	866	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.39	1	SBIY	67.36	0
SBU-104	867	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-105	868	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.95	1	SBIY	59.8	0
SBU-106	870	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	14.57	1	HNKI	173.15	0
SBU-107	871	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.71	1	WDTN	111.36	0
SBU-108	874	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.47	1	SBIY	47.89	0
SBU-109	876	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-110	877	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	15.44	1	WDTN	88.2	0
SBU-111	878	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-112	880	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	17.3	1	HNKI	130.66	0
SBU-113	882	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	20.92	1	HNKI	49.36	0
SBU-114	883	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	13.9	1	SBIY	56.51	0
SBU-115	885	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.8	1	HNKI	117.17	0
SBU-116	886	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	14.2	1	HNKI	75.85	0
SBU-117	888	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.51	1	HNKI	170.29	0
SBU-118	894	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	17.26	1	HNKI	181.44	0
SBU-119	896	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.25	1	HNKI	122.02	0
SBU-120	897	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	25.28	1	HNKI	201.19	0
SBU-121	900	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	28.76	1	HNKI	222.52	0
SBU-122	901	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	40.48	1	HNKI	250.76	0
SBU-123	902	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	27.85	1	HNKI	205.99	0
SBU-124	903	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	21.83	1	HNKI	195.45	0
SBU-125	904	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	14.3	1	HNKI	100.98	0
SBU-126	905	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.86	1	HNKI	86.78	0
SBU-127	906	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	34.09	1	HNKI	228.77	0
SBU-128	911	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	14.39	1	SBIY	107.22	0
SBU-129	912	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.77	1	SBIY	93.93	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図 判別群	判別分析					
				第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
SBU-130	914	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	25.16	1	HNKI	207.24	0
SBU-131	938	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.21	1	HNKI	109.35	0
SBU-132	939	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.94	1	HNKI	54.14	0
SBU-133	940	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.65	1	HNKI	50.46	0
SBU-134	944	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.82	1	HNKI	72.37	0
SBU-135	948	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.69	1	HNKI	112.2	0
SBU-136	965	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.43	1	HNKI	171.76	0
SBU-137	966	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.24	1	HNKI	145.09	0
SBU-138	968	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.15	1	HNKI	144.69	0
SBU-139	1007	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.25	1	HNKI	100.21	0
SBU-140	1013	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	22.91	1	HNKI	203.89	0
SBU-141	1015	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.59	1	HNKI	88.72	0
SBU-142	1021	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.6	1	HNKI	53.92	0
SBU-143	1025	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.43	1	HNKI	96.79	0
SBU-144	1027	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	21	1	HNKI	199.72	0
SBU-145	1029	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.96	1	HNKI	148.82	0
SBU-146	1032	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	0.99	1	HNKI	85.52	0
SBU-147	1034	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.78	1	HNKI	131.08	0
SBU-148	1040	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.27	1	HNKI	77.4	0
SBU-149	1041	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	13.66	1	SBIY	75.5	0
SBU-150	1046	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.83	1	SBIY	74.45	0
SBU-151	1047	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.52	1	SBIY	113.03	0
SBU-152	1048	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	30.64	1	HNKI	227.02	0
SBU-153	1053	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	26.13	1	HNKI	190.67	0
SBU-154	1057	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	11.11	1	SBIY	78.85	0
SBU-155	1063	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.56	1	WDTN	64.96	0
SBU-156	1066	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-157	1067	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5	1	HNKI	111.34	0
SBU-158	1069	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.26	1	WDTN	71.09	0
SBU-159	1085	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.06	1	HNKI	117.76	0
SBU-160	1101	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.08	1	HNKI	110.28	0
SBU-161	1113	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.23	1	SBIY	73.34	0
SBU-162	1117	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.95	1	HNKI	167.55	0
SBU-163	1119	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.11	1	HNKI	59.9	0
SBU-164	1129	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-165	1130	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	18.05	1	WDTN	58.58	0
SBU-166	1133	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.9	1	HNKI	66.93	0
SBU-167	1136	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	62.38	1	HNKI	296.73	0
SBU-168	1141	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.82	1	HNKI	56.37	0
SBU-169	1142	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.93	1	SBIY	87.14	0
SBU-170	1143	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.4	1	HNKI	54.91	0
SBU-171	1146	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.32	1	HNKI	110.95	0
SBU-172	1167	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.55	1	HNKI	123.03	0
SBU-173	1168	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.5	1	HNKI	117.65	0
SBU-174	1175	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.83	1	HNKI	59.49	0
SBU-175	1180	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.36	1	HNKI	79.46	0
SBU-176	1182	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	5.4	1	SBIY	68.2	0
SBU-177	1187	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	12.01	1	SBIY	56.06	0
SBU-178	1194	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.07	1	HNKI	166.03	0
SBU-179	1195	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.12	1	SBIY	65.55	0
SBU-180	1198	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	28.04	1	HNKI	224.77	0
SBU-181	1199	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-182	1200	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.25	1	HNKI	175.03	0
SBU-183	1206	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.72	1	HNKI	147.34	0
SBU-184	1213-①	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.12	1	HNKI	159.57	0
SBU-185	1216	和田土屋橋西群	WDTN	WDTN	9.02	0.9997	WDTM	21.03	0.0003
SBU-186	1217	和田土屋橋西群	WDTN	WDTN	5.03	1	WDTM	34	0
SBU-187	1218	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.07	1	HNKI	144.08	0
SBU-188	1219	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	8.28	1	HNKI	93.39	0
SBU-189	1223	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	32.81	1	HNKI	218.92	0
SBU-190	1232	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.15	1	HNKI	112.87	0
SBU-191	1236	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	2.91	1	SBIY	95.55	0
SBU-192	1239	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.57	1	HNKI	144.84	0
SBU-193	1252	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-194	1258	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.27	1	HNKI	127.02	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
SBU-195	1262	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.84	1	HNKI	87.96	0
SBU-196	1263	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.85	1	HNKI	136.55	0
SBU-197	1265	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.88	1	HNKI	112.24	0
SBU-198	1282	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.39	1	SBIY	75.04	0
SBU-199	1292	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	17.73	0.9993	SBIY	28.79	0.0007
SBU-200	1293	箱根畑宿群	HNHJ	HNIIJ	3.38	1	HNKI	121.12	0
SBU-201	1295	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	32.12	1	HNKI	223.45	0
SBU-202	1296	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.84	1	SBIY	96.48	0
SBU-203	1297	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.23	1	SBIY	67.88	0
SBU-204	1300	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.65	1	SBIY	65.66	0
SBU-205	1301	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	1.17	1	SBIY	80.85	0
SBU-206	1307	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	42.33	1	HNKI	230.09	0
SBU-207	1314	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	9.38	1	SBIY	60.59	0
SBU-208	1318	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	4.83	1	SBIY	98.67	0
SBU-209	1322	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	21.82	1	HNKI	191.61	0
SBU-210	1324	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	17.33	1	HNKI	171.05	0
SBU-211	1327	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	5.27	1	SBIY	57.08	0
SBU-212	1337	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.83	1	HNKI	183.83	0
SBU-213	1342	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.23	1	HNKI	88.76	0
SBU-214	1345	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	21.72	1	HNKI	199.31	0
SBU-215	1359	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.51	1	HNKI	125.34	0
SBU-216	1360	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-217	1363	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-218	1364	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.16	1	WDTN	70.54	0
SBU-219	1369	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	12.15	1	SBIY	57.08	0
SBU-220	1371	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	48.44	1	HNKI	266.26	0
SBU-221	1372	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	23.07	1	HNKI	82.09	0
SBU-222	1373	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	28.13	0.9633	HNKI	30.54	0.0367
SBU-223	1375	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.77	1	HNKI	177.37	0
SBU-224	1376	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	31.62	1	HNKI	219.53	0
SBU-225	1377	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-226	1380	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	11.82	1	WDTN	60.17	0
SBU-227	1730	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.17	1	SBIY	71.08	0
SBU-228	1731	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	2.62	1	SBIY	85.99	0
SBU-229	1739	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.92	1	HNKI	121.55	0
SBU-230	1741	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.87	1	SBIY	98.94	0
SBU-231	1744	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.5	1	WDTN	78.9	0
SBU-232	1747	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	18.63	1	HNKI	36.4	0
SBU-233	1878	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	20.19	1	HNKI	198	0
SBU-234	1879	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	27.56	1	HNKI	217.96	0
SBU-235	149	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.58	1	HNKI	110.19	0
SBU-236	150	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.66	1	HNKI	160.27	0
SBU-237	566	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.62	1	WDTN	114.77	0
SBU-238	569	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	7.99	1	WDTN	86.31	0
SBU-239	574	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	1.78	0.9995	TSHG	13.15	0.0005
SBU-240	579	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.31	1	HNKI	88.38	0
SBU-241	581	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.45	1	HNKT	130.18	0
SBU-242	582	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.55	1	HNKT	85.89	0
SBU-243	583	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.21	1	HNKT	87.12	0
SBU-244	584	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.26	1	HNKT	115.12	0
SBU-245	586	天城柏峠群	AGKT	AGKT	30	1	HNKT	86.94	0
SBU-246	587	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.43	1	HNKT	98.97	0
SBU-247	588	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	13.49	1	TUTI	39.85	0
SBU-248	593	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.25	1	HNKI	121.42	0
SBU-249	608	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.49	1	HNKI	103.27	0
SBU-250	609	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	41.65	1	HNKI	240.92	0
SBU-251	616	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.67	1	HNKT	104.04	0
SBU-252	617	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.21	1	HNKT	96.23	0
SBU-253	618	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.62	1	HNKT	122.27	0
SBU-254	620	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.13	1	HNKT	118.79	0
SBU-255	621	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.74	1	HNKT	102.75	0
SBU-256	622	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	6.78	1	TUTI	22.25	0
SBU-257	623	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.34	1	HNKT	106.62	0
SBU-258	628	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.29	1	KZSN	46.89	0
SBU-259	831	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	6.75	1	SBIY	89.25	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
SBU-260	806	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-261	132	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.67	1	KZSN	68.93	0
SBU-262	220	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	9.75	1	SBIY	82.77	0
SBU-263	357	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	4.83	1	KZSN	47.1	0
SBU-264	372	和田鷹山群	WDTY	WDTY	2.57	1	WDHY	27.63	0
SBU-265	386	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	3.99	1	SBIY	114.26	0
SBU-266	499	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	8.17	1	WDTN	65.74	0
SBU-267	555	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	2.31	1	SBIY	78.52	0
SBU-268	648	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	11.97	1	SBIY	65.67	0
SBU-269	142	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	22.9	1	KZSN	73.71	0
SBU-270	401	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	3.2	1	KZSN	44.47	0
SBU-271	403	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.98	1	HNKI	65.93	0
SBU-272	405	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	16.31	1	KZSN	96.63	0
SBU-273	416	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	1.58	1	SBIY	81.08	0
SBU-274	420	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.06	1	KZSN	79.06	0
SBU-275	424	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.34	1	KZSN	46.07	0
SBU-276	428	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	3.83	1	KZSN	69.58	0
SBU-277	433	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.85	1	HNKI	135.79	0
SBU-278	434	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.33	1	HNKI	68.09	0
SBU-279	439	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.29	1	HNKT	95.72	0
SBU-280	463	和田鷹山群	WDTY	WDTY	2.39	0.9999	WDHY	17.56	0.0001
SBU-281	490	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.64	1	HNKI	180.79	0
SBU-282	491	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	14.57	1	KZSN	52.4	0
SBU-283	503	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	11.94	1	KZSN	62.17	0
SBU-284	513	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.62	1	HNKI	98.11	0
SBU-285	519	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.07	1	HNKT	114.23	0
SBU-286	520	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	31.97	1	HNKI	206.14	0
SBU-287	539	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.35	1	HNKI	128.66	0
SBU-288	557	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.83	1	HNKI	102.8	0
SBU-289	559	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.37	1	HNKI	81.67	0
SBU-290	564	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	10.17	1	HNKI	71.58	0
SBU-291	351	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	5.42	0.9762	TSHG	8.88	0.0238
SBU-292	352	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	15.66	1	KZSN	94.88	0
SBU-293	388	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	12.13	0.9998	TSHG	25.8	0.0001
SBU-294	390	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	3.78	1	KZSN	61.3	0
SBU-295	393	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
SBU-296	395	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.51	1	KZSN	55.71	0
SBU-297	578	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	16.34	1	HNKI	83.1	0

第56表　中峯遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

研究室年間通番	分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
					第1候補産地			第2候補産地		
					判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
MKO2-12591	NKM-1	115	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.48	1	HNKI	107.96	0
MKO2-12592	NKM-2	116	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.83	1	HNKI	104.49	0
MKO2-12593	NKM-3	117	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	9.16	1	HNKI	165.28	0
MKO2-12594	NKM-4	635	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
MKO2-12595	NKM-5	636	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.07	1	HNKI	98.46	0
MKO2-12596	NKM-6	637	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.42	1	HNKI	127.98	0
MKO2-12597	NKM-7	639	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.43	1	HNKI	116.46	0
MKO2-12598	NKM-8	640	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.87	1	HNKI	89.44	0
MKO2-12599	NKM-9	641	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.67	1	HNKI	84.79	0
MKO2-12600	NKM-10	642	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	5.94	1	HNKI	97.79	0
MKO2-12601	NKM-11	643	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	0.94	1	HNKI	114.54	0
MKO2-12602	NKM-12	644	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	15.96	1	HNKI	188.27	0
MKO2-12603	NKM-13	645	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	4.76	1	HNKI	132.71	0
MKO2-12604	NKM-14	646	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.28	1	HNKI	51.84	0
MKO2-12605	NKM-15	647	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	13.93	1	HNKI	157.74	0
MKO2-12606	NKM-16	2604	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.15	1	SBIY	130.99	0
MKO2-12607	NKM-17	6477	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	4.75	1	SBIY	56.46	0
MKO2-12608	NKM-18	6981	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	1.89	1	SBIY	89.78	0
MKO2-12609	NKM-19	7198	諏訪星ケ台群	SWHD	SWHD	10.5	1	WDTN	97.72	0

遺構番号変更表

報告書編集にあたり、報告書用に遺構番号を付け直している。保管されている遺構・遺物のラベル等は現地での番号がそのまま付されているため、遺物確認の際には注意が必要である。

桜畑上遺跡

遺構名	報告書番号	現地での番号	時代	区
土坑・陥穴等	SF-01	SF-12	中世	1-1区
	SF-02	SF-13	中世	1-1区
	SF-03	SF-20	中世	1-1区
	SF-04	SF-19	中世	1-1区
	SF-05	SF-18	中世	1-1区
	SF-06	SF-07	中世	1-1区
	SF-07	SF-14	中世	1-1区
	SF-08	SF-08	中世	1-1区
	SF-09	SF-15	中世	1-1区
	SF-10	SF-17	中世	1-1区
	SF-11	SF-16	中世	1-1区
	SF-12	SF-21	中世	1-2区
	SF-13	SF-25	縄文	1-2区
	SF-14	SF-28	縄文	1-1区
	SF-15	SF-26	縄文	1-1区
	SF-16	SF-27	縄文	1-1区
	SF-17	SF-36	縄文	1-1区
	SF-18	SF-37	縄文	1-2区
	SF-19	SF-39	縄文	1-2区
	SF-20	SF-31	縄文	1-2区
	SF-21	SF-35	縄文	1-2区
	SF-22	SF-30	縄文	1-2区
	SF-23	SF-29	旧石器 (YL)	1-1区
	SF-24	SF-38	旧石器 (YL)	1-2区
集石	SY-01	RG-01	縄文	1-2区
	SY-02	RG-02	縄文	1-2区
	SY-03	RG-03	縄文	1-2区
焼土	FP-01	SX-05	縄文	1-2区拡張部
	FP-02	SX-07	縄文	1-2区拡張部
	FP-03	SX-03	縄文	1-2区
炭化物集中	SX-01	SX-01	縄文	1-2区
	SX-02	SX-04	縄文	1-1区
竪穴状遺構	SB-01	SX-08	縄文	1-2区
	SB-02	SX-06	縄文	1-2区
	SB-03	SX-09	縄文	1-2区
土器集中	PG-01	SX-02	縄文	1-1区
	PG-02	土器集中01	縄文	1-2区
溝状遺構	SD-01	SD-01	中世	1-1区
	SD-02	SF-11	中世	1-2区
小穴	SP-01	SP-01	縄文	1-1区
	SP-02	SP-02	縄文	1-1区
	SP-03	SP-03	縄文	1-1区
	SP-04	SP-09	旧石器 (YL)	1-2区
礫群	RG-01	RG-04	旧石器 (YL)	1-2区
	RG-02	RG-05	旧石器 (YL)	1-2区
石器ブロック	PB-01	PB-01	旧石器 (YL)	1-2区
	PB-02	PB-02	旧石器 (YL)	1-2区
	PB-03	PB-03	旧石器 (YL)	1-2区
	PB-04	PB-04	旧石器 (BBI)	1-2区
	PB-05	PB-05	旧石器 (BBI)	1-2区

柏窪B遺跡

遺構名	報告書番号	現地での番号	時代	区
土坑・陥穴等	SF-34	SF-49	中世	4-5区TR-20
	SF-35	SF-59	中世	4-5区TR-20
	SF-36	SF-58	中世	4-5区TR-20
	SF-37	SF-46	中世	4-5区TR-19
	SF-38	SF-47	中世	4-5区TR-19
	SF-39	SF-48	中世	4-5区TR-19
	SF-40	SF-52	縄文	4-5区
	SF-41	SF-5	縄文	4-4区
焼土等	FP-21	SX-34	縄文	4-5区

中峯遺跡

遺構名	報告書番号	現地での番号	時代	区
土坑・陥穴等	SF-25	SF-41	中世	4-3区
	SF-26	SF-43	中世	4-3区
	SF-27	SF-45	中世	4-3区
	SF-28	SF-44	中世	4-3区
	SF-29	SF-2	中世	4-3区
	SF-30	SF-51	縄文	4-2区
	SF-31	SF-50	縄文	4-2区
	SF-32	SF-54	縄文	5-1区
	SF-33	SF-56	縄文	2-3区
集石	SY-04	RG-09	縄文	5-1区
焼土	FP-04	SX-36	縄文	5-8区
	FP-05	SX-35	縄文	5-8区
	FP-06	SX-12	縄文	5-8区
	FP-07	SX-10	縄文	5-8区
	FP-08	SX-37	縄文	5-8区
	FP-09	SX-38	縄文	5-8区
	FP-10	SX-39	縄文	4-1区
	FP-11	SX-45	縄文	4-1区
	FP-12	SX-43	縄文	4-1区
	FP-13	SX-42	縄文	4-1区
	FP-14	SX-17	縄文	4-2区
	FP-15	SX-44	縄文	3-3区
	FP-16	SX-27	縄文	5-1区
	FP-17	SX-26	縄文	5-1区
	FP-18	SX-29	縄文	5-1区
	FP-19	SX-19	縄文	5-1区
	FP-20	SX-33	縄文	2-3区
炭化物集中等	SX-06	SX-46	縄文	4-1区
	SX-07	SX-18	縄文	5-1区
	SX-08	SX-30	縄文	5-1区
	SX-09	SX-22	縄文	5-1区
住居址	SB-04	SX-23	縄文	5-1区
	SB-05	SX-28	縄文	5-1区
	SB-06	SX-21	縄文	5-1区
溝状遺構	SD-03	SD-03	中近世	4-3区
	SD-04	SD-04	中近世	4-3区
	SD-05	SD-05	中近世	4-3区
礫群	RG-06	RG-10	旧石器 (BBIII)	5-4区
	RG-07	RG-11	旧石器 (BBIII)	5-4区
	RG-08	RG-12	旧石器 (SCIII)	3-5区
石器ブロック	PB-06	PB-06	旧石器 (BBIII)	5-4区